

Gen10 Service Pack for ProLiantコンポーネントリリースノート, v2022.03.0

[BIOS - システムROM](#)

[BIOS \(ログインが必要\) - システムROM](#)

[ドライバー - チップセット](#)

[ドライバー - Lights-Outマネジメント](#)

[ドライバー - ネットワーク](#)

[ドライバー - ストレージ](#)

[ドライバー - ストレージコントローラー](#)

[ドライバー - ストレージファイバーチャネルおよびチャイパーチャネルオーバーイーサーネット](#)

[ドライバー - システム](#)

[ドライバー - システムマネジメント](#)

[ドライバー - ビデオ](#)

[ファームウェア - ブレードインフラストラクチャ](#)

[ファームウェア - Lights-Outマネジメント](#)

[ファームウェア - ネットワーク](#)

[ファームウェア - NVDIMM](#)

[ファームウェア - PCIe NVMeストレージディスク](#)

[ファームウェア - パワーマネジメント](#)

[ファームウェア - SASストレージディスク](#)

[ファームウェア - SATAストレージディスク](#)

[ファームウェア - ストレージコントローラー](#)

[ファームウェア - ストレージファイバーチャネル](#)

[ファームウェア - システム](#)

[オペレーティングシステム - 拡張](#)

[ソフトウェア - Lights-Outマネジメント](#)

[ソフトウェア - マネジメント](#)

[ソフトウェア - ストレージコントローラー](#)

[ソフトウェア - ストレージファイバーチャネル](#)

[ソフトウェア - ストレージファイバーチャネルHBA](#)

[ソフトウェア - システムマネジメント](#)

BIOS - システムROM

[先頭](#)

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant DL20 Gen10 Plusサーバー

バージョン: 1.54_01-13-2022 (推奨)

ファイル名: cp050006.compsig; cp050006.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL20 Gen10 PlusシステムROM - U60

リリースバージョン:

1.54_01-13-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.54_01-13-2022

以前のリビジョン:

1.52_10-29-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。Windows Server 2022は、Secured-coreと呼ばれる新しいセキュリティ機能を追加します。Secured-coreは、インテル® Xeon® プロセッサでのみサポートされます。Secured-coreサーバーは、ハードウェア機能、ファームウェアの有効化、およびWindows Serverオペレーティングシステム機能の組み合わせを使用して、マルウェアおよびルートキットのセキュリティエクспロイトに対する保護を提供します。

Microsoft Secured-coreサポート用の新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加されました。この設定を有効にすると、次のポリシーが変更され、対応するオプションが構成されます。インテル®バーチャライゼーションテクノロジーが有効、インテル® VT-dが有効、インテル® TXTサポートが有効、セキュアブートが有効、TPMが2.0モードで有効。Secured-coreが有効になっている間にこれらの機能のいずれかを無効にすると、Secured-coreが適切に動作しなくなる可能性があります。

レガシーUEFIブートのサポートに追加されました。

インテルPentium CPUのサポートを追加しました。

修正された問題点:

どちらか一方をクリアするときに、電源投入時パスワードと管理者パスワードの両方がクリアされる問題に対処しました。この修正により、2つのパスワードは意図したとおりに独立して扱われます。

このオプションはこのプラットフォームではサポートされていないため、RBSUメニューからDynamic Power Capping Functionality オプションを削除しました。

このオプションはこのプラットフォームではサポートされていないため、RBSUメニューからTPM1.2オプションを削除しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

どちらか一方をクリアするときに、電源投入時パスワードと管理者パスワードの両方がクリアされる問題に対処しました。この修正により、2つのパスワードは意図したとおりに独立して扱われます。

このオプションはこのプラットフォームではサポートされていないため、RBSUメニューからDynamic Power Capping Functionality オプションを削除しました。

このオプションはこのプラットフォームではサポートされていないため、RBSUメニューからTPM1.2オプションを削除しました。

既知の問題点:

なし

拡張

Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。Windows Server 2022は、Secured-coreと呼ばれる新しいセキュリティ機能を追加します。Secured-coreは、インテル® Xeon® プロセッサでのみサポートされます。Secured-coreサーバーは、ハードウェア機能、ファームウェアの有効化、およびWindows Serverオペレーティングシステム機能の組み合わせを使用して、マルウェアおよびルートキットのセキュリティエクспロイトに対する保護を提供します。

Microsoft Secured-coreサポート用の新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加されました。この設定を有効にすると、次のポリシーが変更され、対応するオプションが構成されます。インテル®バーチャライゼーションテクノロジーが有効、インテル® VT-dが有効、インテル® TXTサポートが有効、セキュアブートが有効、TPMが2.0モードで有効。Secured-coreが有効になっている間にこれらの機能のいずれかを無効にすると、Secured-coreが適切に動作しなくなる可能性があります。

レガシーUEFIブートのサポートに追加されました。

インテルPentium CPUのサポートが追加されました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant ML30 Gen10 Plusサーバー

バージョン: 1.54_01-13-2022 (推奨)

ファイル名: cp050009.compsig; cp050009.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant ML30 Gen10 PlusシステムROM - U61

リリースバージョン:

1.54_01-13-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.54_01-13-2022

以前のリビジョン:

1.52_10-29-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。Windows Server 2022は、Secured-coreと呼ばれる新しいセキュリティ機能を追加します。Secured-coreは、インテル® Xeon® プロセッサでのみサポートされます。Secured-coreサーバーは、ハードウェア機能、ファームウェアの有効化、およびWindows Serverオペレーティングシステム機能の組み合わせを使用して、マルウェアおよびルートキットのセキュリティエクスポイトに対する保護を提供します。

Microsoft Secured-coreサポート用の新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加されました。この設定を有効にすると、次のポリシーが変更され、対応するオプションが構成されます。インテル®パーチャライゼーションテクノロジーが有効、インテル® VT-dが有効、インテル® TXTサポートが有効、セキュアブートが有効、TPMが2.0モードで有効。Secured-coreが有効になっている間にこれらの機能のいずれかを無効にすると、Secured-coreが適切に動作しなくなる可能性があります。

レガシーUEFIブートのサポートに追加されました。

インテルPentium CPUのサポートを追加しました。

修正された問題点:

どちらか一方をクリアするときに、電源投入時パスワードと管理者パスワードの両方がクリアされる問題に対処しました。この修正により、2つのパスワードは意図したとおりに独立して扱われます。

このオプションはこのプラットフォームではサポートされていないため、RBSUメニューからDynamic Power Capping Functionality オプションを削除しました。

このオプションはこのプラットフォームではサポートされていないため、RBSUメニューからTPM1.2オプションを削除しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

どちらか一方をクリアするときに、電源投入時パスワードと管理者パスワードの両方がクリアされる問題に対処しました。この修正により、2つのパスワードは意図したとおりに独立して扱われます。

このオプションはこのプラットフォームではサポートされていないため、RBSUメニューからDynamic Power Capping Functionality オプションを削除しました。

このオプションはこのプラットフォームではサポートされていないため、RBSUメニューからTPM1.2オプションを削除しました。

既知の問題点:

なし

拡張

Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。Windows Server 2022は、Secured-coreと呼ばれる新しいセキュリティ機能を追加します。Secured-coreは、インテル® Xeon® プロセッサでのみサポートされます。Secured-coreサーバーは、ハードウェア機能、ファームウェアの有効化、およびWindows Serverオペレーティングシステム機能の組み合わせを使用して、マルウェアおよびルートキットのセキュリティエクスポイトに対する保護を提供します。

Microsoft Secured-coreサポート用の新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加されました。この設定を有効にすると、次のポリシーが変更され、対応するオプションが構成されます。インテル®バーチャライゼーションテクノロジーが有効、インテル® VT-dが有効、インテル® TXTサポートが有効、セキュアブートが有効、TPMが2.0モードで有効。Secured-coreが有効になっている間にこれらの機能のいずれかを無効にすると、Secured-coreが適切に動作しなくなる可能性があります。

レガシーUEFIブートのサポートに追加されました。

インテルPentium CPUのサポートが追加されました。

BIOS (ログインが必要) - システムROM

[先頭](#)

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant DL20 Gen10 (U43)サーバー

バージョン: 2.56_01-20-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u43-2.56_2022_01_20-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u43-2.56_2022_01_20-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update (IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL20 Gen10 システムROM - U43

リリースバージョン:

2.56_01-20-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.56_01-20-2022

以前のリビジョン:

2.54_10-21-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、セキュリティの脆弱性CVE-2021-0092、CVE-2021-0127、CVE-2021-0156、およびCVE-2021-0157の緩和策を提供するIntel Platform Update 2021.2が含まれています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

IPのフラッシュが完了した後に、システムのブートモードがUEFIモードからレガシーモードに変更され、UEFIモードに設定した後にIPに入るときにシステムがハングする可能性がある問題を修正しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update (IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2021-0157として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供する、最新バージョンのインテルIPU 2021.2が含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant ML30 Gen10 (U44)サーバー

バージョン: 2.56_01-20-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u44-2.56_2022_01_20-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u44-2.56_2022_01_20-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!**重要な注意:**

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update (IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant ML30 Gen10システムROM - U44

リリースバージョン:

2.56_01-20-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.56_01-20-2022

以前のリビジョン:

2.54_10-21-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、セキュリティの脆弱性CVE-2021-0092、CVE-2021-0127、CVE-2021-0156、およびCVE-2021-0157の緩和策を提供するIntel Platform Update 2021.2が含まれています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

IPのフラッシュが完了した後に、システムのブートモードがUEFIモードからレガシーモードに変更され、UEFIモードに設定した後にIPに入るときにシステムがハングする可能性がある問題を修正しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正**重要な注意:**

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update (IPU)バージョンIPU.2021.2ガイドンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2021-0157として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供する、最新バージョンのインテルIPU 2021.2が含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant DL20 Gen10 (U43)サーバー

バージョン: 2.56_01-20-2022 (推奨)

ファイル名: cp050865.compsig; cp050865.exe

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update (IPU)バージョンIPU.2021.2ガイドンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL20 Gen10 システムROM - U43

リリースバージョン:

2.56_01-20-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.56_01-20-2022

以前のリビジョン:

2.54_10-21-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、セキュリティの脆弱性CVE-2021-0092、CVE-2021-0127、CVE-2021-0156、およびCVE-2021-0157の緩和策を提供するIntel Platform Update 2021.2が含まれています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

IPのフラッシュが完了した後に、システムのブートモードがUEFIモードからレガシーモードに変更され、UEFIモードに設定した後にIPに入るときにシステムがハングする可能性がある問題を修正しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update (IPU)バージョンIPU.2021.2ガイドンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2021-0157として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供する、最新バージョンのインテルIPU 2021.2が含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant ML30 Gen10 (U44)サーバー

バージョン: 2.56_01-20-2022 (**推奨**)

ファイル名: cp050872.compsig; cp050872.exe

重要な注意!**重要な注意:**

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update (IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant ML30 Gen10システムROM - U44

リリースバージョン:

2.56_01-20-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.56_01-20-2022

以前のリビジョン:

2.54_10-21-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、セキュリティの脆弱性CVE-2021-0092、CVE-2021-0127、CVE-2021-0156、およびCVE-2021-0157の緩和策を提供するIntel Platform Update 2021.2が含まれています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

IPのフラッシュが完了した後に、システムのブートモードがUEFIモードからレガシーモードに変更され、UEFIモードに設定した後にIPに入るときにシステムがハングする可能性がある問題を修正しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正**重要な注意:**

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update (IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2021-0157として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供する、最新バージョンのインテルIPU 2021.2が含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE Apollo 2000 Gen10/HPE ProLiant XL170r/XL190r Gen10 (U38)サーバー

バージョン: 2.62_03-08-2022 (推奨)

ファイル名: U38_2.62_03_08_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update (IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

HPEは、Intel Optane Persistent Memoryを使用しているお客様が、このバージョンのシステムROMにアップデートすることを推奨しています。

提供名:

HPE Apollo 2000 Gen10/HPE ProLiant XL170r/XL190r Gen10システムROM - U38

リリースバージョン:

2.50_05-24-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.50_05-24-2021

以前のリビジョン:

2.42_01-23-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

IPMIウォッチドッグタイマーと呼ばれる新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションがサーバーの可用性に追加されました。有効にすると、システムはブート中にIPMIベースのウォッチドッグタイマーを開始します。これは、ブートハングやその他の予期しないシステムブートの問題から保護するために使用できます。オペレーティングシステムが起動したら、ユーザーの責任でIPMIウォッチドッグタイマーを無効にする必要があります。タイマーを無効にしないと、予期しないサーバーのリセットまたはシャットダウンが発生する可能性があります。

UEFI可変アクセスファームウェア制御と呼ばれる新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションをサーバーセキュリティに追加しました。このオプションを有効にすると、オペレーティングシステムまたはサードパーティユーティリティからのUEFIブート順序などへのUEFI変数の書き込みをブロックするために使用できます。HPEは、通常ではOSインストール時に発生するUEFI変数への書き込みというオペレーティングシステムの通常動作を特に防ぐ場合を除き、この機能を無効にしておくことをお勧めしています。

Windows Server 2022の BIOS TPM 1.2サポートをアップデートしました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにRESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

修正された問題:

Intel Optane DC Persistent Memoryがインストールされ、メモリモード(2LM)または混合モード用に構成されていると、システムで予期しないシャットダウンが発生するか、バンク4またはバンク6のマシントラップが発生する可能性がある問題に対処しました。この問題は、これらのモードのいずれかでIntel Optane DC Persistent Memoryが構成されているシステムにのみ影響します。HPEは、Intel Optane DC Persistent Memoryをメモリモード(2LM)または混合モードで使用しているすべてのお客様に、このバージョンのシステムROMにアップデートすることを推奨します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-24511として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-464に文書化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン

0x02006B06(CPUID 50654)および0x05003103(CPUID 50567)です。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12358、CVE-2020-12360およびCVE-2020-24486として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、インテルテクニカルスペックアップデートに記載されているさまざまな機能問題に対処するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらの問題は、EIBRS Guest/Host and REP MOVSB* MCE on Memory Not Access Issueとしてドキュメント化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

RBSU拡張メモリストオプションが有効になっている場合、POST中にサーバーが応答しなくなる、またはPOSTを完了するのに予想しない時間がかかる問題に対処しました。

インテルXeonスケーラブルプロセッサの混合SKUがインストールされている場合にサーバーが起動できる問題に対処しました。これらの構成では、サーバーはエラーメッセージを表示し、起動を停止する必要があります。

システムROMが最新バージョンのHPE電源装置との電源装置不一致状態をログに記録していた問題に対処しました。この問題が発生したとき、動的消費電力上限と高効率電源装置モードも無効になっていました。この問題を適切に軽減するには、iLOファームウェアバージョン2.50以降も必要です。

既知の問題点:

なし

修正

ファームウェア製品の製品概要から、製品バイナリのダウンロードページのリリースドキュメントU38_2.52_07_08_2021を参照してください。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE Apollo 4510 Gen10/HPE ProLiant XL450 Gen10 (U40) サーバー

バージョン: 2.62_03-08-2022 (推奨)

ファイル名: U40_2.62_03_08_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update (IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE Apollo 4510 Gen10/ProLiant XL450 Gen10システムROM - U40

リリースバージョン:

2.60_01-13-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.60_01-13-2022

以前のリビジョン:

2.58_11-24-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。これは、CVE-2021-0092、CVE-2021-0093、CVE-2021-0144のINTEL-SA-00527(2/8)として文書化されているセキュリティの脆弱性に対するBIOSの緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-

0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

HPE NS204i-p NVMe OS Boot Deviceを搭載したシステムが断続的にシャットダウンし、インテグレートドマネジментログ(IML)に以下のSystem Overheatingメッセージが記録されることがある問題(SIK6906)に対処しました。「System Overheating (Temperature Sensor 47, Location I/O Board, Temperature61)アクション:ファン、プロセッサヒートシンク、およびエアバップルの取り付けを確認してください。」

ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でIPMIウォッチドッグタイマー機能が有効になっている場合に、コールドブート後のブートプロセス中にハング状態が原因でシステムが自動的に再起動しない可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

訂正済みメモリエラーしきい値イベントがインテグレートドマネジментログ(IML)に記録される可能性がある問題に対処しました。修正されたメモリエラーを監視し、未修正のメモリエラーのリスクが高まるため対処が推奨される場合、Corrected Memory Error Threshold Eventを通じてユーザーに通知します。システムROMの以前のバージョンでは、システムが未修正のメモリエラーのリスクが高くない場合に、修正済みメモリエラーしきい値イベントをログに記録することがあります。訂正済みメモリエラーしきい値イベントのためにDIMMを交換する前に、システムROMをこのバージョンまたはそれ以降にアップデートすることを強くお勧めします。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant BL460c Gen10 (I41)サーバー

バージョン: 2.62_03-08-2022 (推奨)

ファイル名: I41_2.62_03_08_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update(IPU)バージョンIPU.2021.2ガイドランスに沿ったアップデートが含まれています。

このシステムROMは、使用できなくなったシステムROMのv2.60リビジョンを使用するシステムにとってクリティカルと見なされます。

System ROM 2.60からSystem ROM 2.62にアップデートしたら、次の手順に進みます。

1. サーバーを再起動し、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [アドバンスドECCサポート]の変更に移動します。
2. 保存して、サーバーを再起動します。
3. [アドバンスドメモリ保護:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]がPOST中または [RBSU] > [アドバンスドメモリ保護]に移動することでロードされることを確認します。[アドバンスドメモリ保護モード:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]が設定されている場合は、手順4と手順5をスキップします。
4. AMPモードがファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)に設定されていない場合は、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]の変更に移動します。
5. 保存して、サーバーを再起動します。

注記:手順1に従ってワークロードプロファイルでAMPモードを[アドバンスドECCサポート]に変更できない場合は、カスタムワークロードプロファイルを設定して[アドバンスドECCサポート]を構成します。手順4で、目的のワークロードプロファイルとAMPモード[アドバンスドECCサポート]に戻します。

詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00121538en_usを参照してください。

提供名:

リリースバージョン:

2.62_03-08-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.62_03-08-2022

以前のリビジョン:

2.60_01-13-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROM(01/13/2022)v2.60の使用時に、アドバンストメモリプロテクション(AMP)モードが[HPEファーストフォールトトレラント(ADDDC)]に構成されている場合でも、AMPモードが[アドバンストECC]に設定された状態でシステムが起動する問題に対処しました。この問題は、AMPモードがADDDC以外のモードに構成されている場合は発生しません。この問題によって、システムROMの他のリビジョンは影響を受けません。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update(IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

このシステムROMは、使用できなくなったシステムROMのv2.60リビジョンを使用するシステムにとってクリティカルと見なされません。

System ROM 2.60からSystem ROM 2.62にアップデートしたら、次の手順に進みます。

1. サーバーを再起動し、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンストメモリ保護] > [アドバンストECCサポート]の変更に移動します。
2. 保存して、サーバーを再起動します。
3. [アドバンストメモリ保護:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]がPOST中または [RBSU] > [アドバンストメモリ保護]に移動することでロードされることを確認します。[アドバンストメモリ保護モード:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]が設定されている場合は、手順4と手順5をスキップします。
4. AMPモードがファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)に設定されていない場合は、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンストメモリ保護] > [ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]の変更に移動します。
5. 保存して、サーバーを再起動します。

注記:手順1に従ってワークロードプロファイルでAMPモードを[アドバンストECCサポート]に変更できない場合は、カスタムワークロードプロファイルを設定して[アドバンストECCサポート]を構成します。手順4で、目的のワークロードプロファイルとAMPモード[アドバンストECCサポート]に戻します。

詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00121538en_usを参照してください。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-

0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROM(01/13/2022)v2.60の使用時に、アドバンスドメモリプロテクション(AMP)モードが[HPEファーストフォールトトレラント(ADDDC)]に構成されている場合でも、AMPモードが[アドバンスドECC]に設定された状態でシステムが起動する問題に対処しました。この問題は、AMPモードがADDDC以外のモードに構成されている場合は発生しません。この問題によって、システムROMの他のリビジョンは影響を受けません。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant DL160 Gen10/DL180 Gen10 (U31)サーバー

バージョン: 2.62_03-08-2022 (推奨)

ファイル名: U31_2.62_03_08_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update(IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

このシステムROMは、使用できなくなったシステムROMのv2.60リビジョンを使用するシステムにとってクリティカルと見なされません。

System ROM 2.60からSystem ROM 2.62にアップデートしたら、次の手順に進みます。

1. サーバーを再起動し、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [アドバンスドECCサポート]の変更に移動します。
2. 保存して、サーバーを再起動します。
3. [アドバンスドメモリ保護:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]がPOST中または [RBSU] > [アドバンスドメモリ保護]に移動することでロードされることを確認します。[アドバンスドメモリ保護モード:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]が設定されている場合は、手順4と手順5をスキップします。
4. AMPモードがファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)に設定されていない場合は、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]の変更に移動します。
5. 保存して、サーバーを再起動します。

注記:手順1に従ってワークロードプロファイルでAMPモードを[アドバンスドECCサポート]に変更できない場合は、カスタムワークロードプロファイルを設定して[アドバンスドECCサポート]を構成します。手順4で、目的のワークロードプロファイルとAMPモード[アドバンスドECCサポート]に戻します。

詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00121538en_usを参照してください。

提供名:

HPE ProLiant DL160 Gen10/DL180 Gen10 システムROM - U31

リリースバージョン:

2.62_03-08-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.62_03-08-2022

以前のリビジョン:

2.60_01-13-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-

0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROM(01/13/2022)v2.60の使用時に、アドバンスドメモリプロテクション(AMP)モードが[HPEファーストフォールトトレラント(ADDDC)]に構成されている場合でも、AMPモードが[アドバンスドECC]に設定された状態でシステムが起動する問題に対処しました。この問題は、AMPモードがADDDC以外のモードに構成されている場合は発生しません。この問題によって、システムROMの他のリビジョンは影響を受けません。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update(IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

このシステムROMは、使用できなくなったシステムROMのv2.60リビジョンを使用するシステムにとってクリティカルと見なされません。

System ROM 2.60からSystem ROM 2.62にアップデートしたら、次の手順に進みます。

1. サーバーを再起動し、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [アドバンスドECCサポート]の変更に移動します。
2. 保存して、サーバーを再起動します。
3. [アドバンスドメモリ保護:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]がPOST中または [RBSU] > [アドバンスドメモリ保護]に移動することでロードされることを確認します。[アドバンスドメモリ保護モード:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]が設定されている場合は、手順4と手順5をスキップします。
4. AMPモードがファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)に設定されていない場合は、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]の変更に移動します。
5. 保存して、サーバーを再起動します。

注記:手順1に従ってワークロードプロファイルでAMPモードを[アドバンスドECCサポート]に変更できない場合は、カスタムワークロードプロファイルを設定して[アドバンスドECCサポート]を構成します。手順4で、目的のワークロードプロファイルとAMPモード[アドバンスドECCサポート]に戻します。

詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00121538en_usを参照してください。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROM(01/13/2022)v2.60の使用時に、アドバンスドメモリプロテクション(AMP)モードが[HPEファーストフォールトトレラント(ADDDC)]に構成されている場合でも、AMPモードが[アドバンスドECC]に設定された状態でシステムが起動する問題に対処しました。この問題は、AMPモードがADDDC以外のモードに構成されている場合は発生しません。この問題によって、システムROMの他のリビジョンは影響を受けません。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant DL560 Gen10/DL580 Gen10 (U34)サーバー

バージョン: 2.62_03-08-2022 (推奨)

ファイル名: U34_2.62_03_08_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update(IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

このシステムROMは、使用できなくなったシステムROMのv2.60リビジョンを使用するシステムにとってクリティカルと見なされません。

System ROM 2.60からSystem ROM 2.62にアップデートしたら、次の手順に進みます。

1. サーバーを再起動し、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [アドバンスドECCサポート]の変更に移動します。
2. 保存して、サーバーを再起動します。
3. [アドバンスドメモリ保護:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]がPOST中または [RBSU] > [アドバンスドメモリ保護]に移動することでロードされることを確認します。[アドバンスドメモリ保護モード:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]が設定されている場合は、手順4と手順5をスキップします。
4. AMPモードがファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)に設定されていない場合は、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]の変更に移動します。
5. 保存して、サーバーを再起動します。

注記:手順1に従ってワークロードプロファイルでAMPモードを[アドバンスドECCサポート]に変更できない場合は、カスタムワークロードプロファイルを設定して[アドバンスドECCサポート]を構成します。手順4で、目的のワークロードプロファイルとAMPモード[アドバンスドECCサポート]に戻します。

詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00121538en_usを参照してください。

提供名:

HPE ProLiant DL560 Gen10/DL580 Gen10システムROM - U34

リリースバージョン:

2.62_03-08-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.62_03-08-2022

以前のリビジョン:

2.60_01-13-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROM(01/13/2022)v2.60の使用時に、アドバンスドメモリプロテクション(AMP)モードが[HPEファーストフォールトトレラント(ADDDC)]に構成されている場合でも、AMPモードが[アドバンスドECC]に設定された状態でシステムが起動する問題に対処しました。この問題は、AMPモードがADDDC以外のモードに構成されている場合は発生しません。この問題によって、システムROMの他のリビジョンは影響を受けません。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update(IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

このシステムROMは、使用できなくなったシステムROMのv2.60リビジョンを使用するシステムにとってクリティカルと見なされません。

System ROM 2.60からSystem ROM 2.62にアップデートしたら、次の手順に進みます。

1. サーバーを再起動し、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [アドバンスドECCサポート]の変更に移動します。

2. 保存して、サーバーを再起動します。

3. [アドバンスドメモリ保護:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]がPOST中または [RBSU] > [アドバンスドメモリ保護]に移動することでロードされることを確認します。[アドバンスドメモリ保護モード:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]が設定されている場合は、手順4と手順5をスキップします。

4. AMPモードがファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)に設定されていない場合は、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]の変更に移動します。

5. 保存して、サーバーを再起動します。

注記:手順1に従ってワークロードプロファイルでAMPモードを[アドバンスドECCサポート]に変更できない場合は、カスタムワークロードプロファイルを設定して[アドバンスドECCサポート]を構成します。手順4で、目的のワークロードプロファイルとAMPモード[アドバンスドECCサポート]に戻します。

詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00121538en_usを参照してください。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROM(01/13/2022)v2.60の使用時に、アドバンスドメモリプロテクション(AMP)モードが[HPEファーストフォールトトレラント(ADDDC)]に構成されている場合でも、AMPモードが[アドバンスドECC]に設定された状態でシステムが起動する問題に対処しました。この問題は、AMPモードがADDDC以外のモードに構成されている場合は発生しません。この問題によって、システムROMの他のリビジョンは影響を受けません。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant ML110 Gen10 (U33)サーバー

バージョン: 2.62_03-08-2022 (推奨)

ファイル名: U33_2.62_03_08_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update(IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

このシステムROMは、使用できなくなったシステムROMのv2.60リビジョンを使用するシステムにとってクリティカルと見なされません。

System ROM 2.60からSystem ROM 2.62にアップデートしたら、次の手順に進みます。

1. サーバーを再起動し、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [アドバンスドECCサポート]の変更に移動します。

2. 保存して、サーバーを再起動します。

3. [アドバンスドメモリ保護:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]がPOST中または [RBSU] > [アドバンスドメモリ保護]に移動することでロードされることを確認します。[アドバンスドメモリ保護モード:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]が設定されている場合は、手順4と手順5をスキップします。

4. AMPモードがファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)に設定されていない場合は、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]の変更に移動します。

5. 保存して、サーバーを再起動します。

注記:手順1に従ってワークロードプロファイルでAMPモードを[アドバンスドECCサポート]に変更できない場合は、カスタムワークロードプロファイルを設定して[アドバンスドECCサポート]を構成します。手順4で、目的のワークロードプロファイルとAMPモード[アドバンスドECCサポート]に戻します。

詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00121538en_usを参照してください。

提供名:

HPE ProLiant ML110 Gen10システムROM - U33

リリースバージョン:

2.62_03-08-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.62_03-08-2022

以前のリビジョン:

2.60_01-13-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROM(01/13/2022)v2.60の使用時に、アドバンスドメモリプロテクション(AMP)モードが[HPEファーストフォールトトレラント(ADDDC)]に構成されている場合でも、AMPモードが[アドバンスドECC]に設定された状態でシステムが起動する問題に対処しました。この問題は、AMPモードがADDDC以外のモードに構成されている場合は発生しません。この問題によって、システムROMの他のリビジョンは影響を受けません。

既知の問題点:

なし

修正**重要な注意:**

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update(IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

このシステムROMは、使用できなくなったシステムROMのv2.60リビジョンを使用するシステムにとってクリティカルと見なされません。

System ROM 2.60からSystem ROM 2.62にアップデートしたら、次の手順に進みます。

1. サーバーを再起動し、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [アドバンスドECCサポート]の変更に移動します。
2. 保存して、サーバーを再起動します。
3. [アドバンスドメモリ保護:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]がPOST中または [RBSU] > [アドバンスドメモリ保護]に移動することでロードされることを確認します。[アドバンスドメモリ保護モード:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]が設定されている場合は、手順4と手順5をスキップします。
4. AMPモードがファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)に設定されていない場合は、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]の変更に移動します。
5. 保存して、サーバーを再起動します。

注記:手順1に従ってワークロードプロファイルでAMPモードを[アドバンスドECCサポート]に変更できない場合は、カスタムワークロードプロファイルを設定して[アドバンスドECCサポート]を構成します。手順4で、目的のワークロードプロファイルとAMPモード[アドバンスドECCサポート]に戻します。

詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00121538en_usを参照してください。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROM(01/13/2022)v2.60の使用時に、アドバンスドメモリプロテクション(AMP)モードが[HPEファーストフォールトトレラント(ADDDC)]に構成されている場合でも、AMPモードが[アドバンスドECC]に設定された状態でシステムが起動する問題に対処しました。この問題は、AMPモードがADDDC以外のモードに構成されている場合は発生しません。この問題によって、システムROMの他のリビジョンは影響を受けません。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant ML350 Gen10 (U41)サーバー

バージョン: 2.62_03-08-2022 (推奨)

ファイル名: U41_2.62_03_08_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update(IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

このシステムROMは、使用できなくなったシステムROMのv2.60リビジョンを使用するシステムにとってクリティカルと見なされません。

System ROM 2.60からSystem ROM 2.62にアップデートしたら、次の手順に進みます。

1. サーバーを再起動し、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [アドバンスドECCサポート]の変更に移動します。
2. 保存して、サーバーを再起動します。
3. [アドバンスドメモリ保護:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]がPOST中または [RBSU] > [アドバンスドメモリ保護]に移動することでロードされることを確認します。[アドバンスドメモリ保護モード:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]が設定されている場合は、手順4と手順5をスキップします。
4. AMPモードがファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)に設定されていない場合は、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]の変更に移動します。
5. 保存して、サーバーを再起動します。

注記:手順1に従ってワークロードプロファイルでAMPモードを[アドバンスドECCサポート]に変更できない場合は、カスタムワークロードプロファイルを設定して[アドバンスドECCサポート]を構成します。手順4で、目的のワークロードプロファイルとAMPモード[アドバンスドECCサポート]に戻します。

詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00121538en_usを参照してください。

提供名:

HPE ProLiant ML350 Gen10システムROM - U41

リリースバージョン:

2.62_03-08-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.62_03-08-2022

以前のリビジョン:

2.60_01-13-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROM(01/13/2022)v2.60の使用時に、アドバンスドメモリプロテクション(AMP)モードが[HPEファーストフォールトトレラント(ADDDC)]に構成されている場合でも、AMPモードが[アドバンスドECC]に設定された状態でシステムが起動する問題に対処しました。この問題は、AMPモードがADDDC以外のモードに構成されている場合は発生しません。この問題によって、システムROMの他のリビジョンは影響を受けません。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update(IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

このシステムROMは、使用できなくなったシステムROMのv2.60リビジョンを使用するシステムにとってクリティカルと見なされません。

System ROM 2.60からSystem ROM 2.62にアップデートしたら、次の手順に進みます。

1. サーバーを再起動し、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [アドバンスドECCサポート]の変更に移動します。
2. 保存して、サーバーを再起動します。
3. [アドバンスドメモリ保護:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]がPOST中または [RBSU] > [アドバンスドメモリ保護]に移動することでロードされることを確認します。[アドバンスドメモリ保護モード:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]が設定されている場合は、手順4と手順5をスキップします。
4. AMPモードがファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)に設定されていない場合は、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]の変更に移動します。
5. 保存して、サーバーを再起動します。

注記:手順1に従ってワークロードプロファイルでAMPモードを[アドバンスドECCサポート]に変更できない場合は、カスタムワークロードプロファイルを設定して[アドバンスドECCサポート]を構成します。手順4で、目的のワークロードプロファイルとAMPモード[アドバンスドECCサポート]に戻します。

詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00121538en_usを参照してください。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROM(01/13/2022)v2.60の使用時に、アドバンスドメモリプロテクション(AMP)モードが[HPEファーストフォールトトレラント(ADDDC)]に構成されている場合でも、AMPモードが[アドバンスドECC]に設定された状態でシステムが起動する問題に対処しました。この問題は、AMPモードがADDDC以外のモードに構成されている場合は発生しません。この問題によって、システムROMの他のリビジョンは影響を受けません。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant XL230k Gen10 (U37) Server

バージョン: 2.62_03-08-2022 (推奨)

ファイル名: U37_2.62_03_08_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update (IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

HPEは、Intel Optane Persistent Memoryを使用しているお客様が、このバージョンのシステムROMにアップデートすることを推奨しています。

提供名:

HPE ProLiant XL230k Gen10システムROM - U37

リリースバージョン:

2.50_05-24-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.50_05-24-2021

以前のリビジョン:

2.42_01-23-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

IPMIウォッチドッグタイマーと呼ばれる新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションがサーバーの可用性に追加されました。有効にすると、システムはブート中にIPMIベースのウォッチドッグタイマーを開始します。これは、ブートハングやその他の予期しないシステムブートの問題から保護するために使用できます。オペレーティングシステムが起動したら、ユーザーの責任でIPMIウォッチドッグタイマーを無効にする必要があります。タイマーを無効にしないと、予期しないサーバーのリセットまたはシャットダウンが発生する可能性があります。

UEFI可変アクセスファームウェア制御と呼ばれる新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションをサーバーセキュリティに追加しました。このオプションを有効にすると、オペレーティングシステムまたはサードパーティユーティリティからのUEFIブート順序などへのUEFI変数の書き込みをブロックするために使用できます。HPEは、通常ではOSインストール時に発生するUEFI変数への書き込みというオペレーティングシステムの通常動作を特に防ぐ場合を除き、この機能を無効にしておくことをお勧めしています。

Windows Server 2022の BIOS TPM 1.2サポートをアップデートしました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにRESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

修正された問題:

Intel Optane DC Persistent Memoryがインストールされ、メモリモード(2LM)または混合モード用に構成されていると、システムで予期しないシャットダウンが発生するか、バンク4またはバンク6のマシントラップが発生する可能性がある問題に対処しました。この問題は、これらのモードのいずれかでIntel Optane DC Persistent Memoryが構成されているシステムにのみ影響します。HPEは、Intel Optane DC Persistent Memoryをメモリモード(2LM)または混合モードで使用しているすべてのお客様に、このバージョンのシステムROMにアップデートすることを推奨します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-24511 として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-464に文書化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン 0x02006B06(CPUID 50654)および0x05003103(CPUID 50567)です。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12358、CVE-2020-12360およびCVE-2020-24486として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、インテルテクニカルスペックアップデートに記載されているさまざまな機能問題に対処するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらの問題は、EIBRS Guest/Host and REP MOVSB* MCE on Memory Not Access Issueとしてドキュメント化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

RBSU拡張メモリテストオプションが有効になっている場合、POST中にサーバーが応答しなくなる、またはPOSTを完了するのに予期しない時間がかかる問題に対処しました。

インテルXeonスケーラブルプロセッサの混合SKUがインストールされている場合にサーバーが起動できる問題に対処しました。これらの構成では、サーバーはエラーメッセージを表示し、起動を停止する必要があります。

システムROMが最新バージョンのHPE電源装置との電源装置不一致状態をログに記録していた問題に対処しました。この問題が発生したとき、動的消費電力上限と高効率電源装置モードも無効になっていました。この問題を適切に軽減するには、iLOファームウェアバージョン2.50以降も必要です。

既知の問題点:

なし

ファームウェア製品の製品概要から、製品バイナリのダウンロードページのリリースドキュメントU37_2.52_07_08_2021を参照してください。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE Apollo 4200 Gen10 Plus/HPE ProLiant XL420 Gen10 Plus(U50)サーバー

バージョン: 1.58_01-13-2022 (推奨)

ファイル名: U50_1.58_01_13_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Apollo 4200 Gen10 Plus/ProLiant XL420 Gen10 PlusシステムROM - U50

リリースバージョン:

1.58_01-13-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.58_01-13-2022

以前のリビジョン:

1.56_11-29-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

工場出荷時デフォルトのリストアの動作を、UEFI、NIC、およびRAIDカードの設定のリストアからUEFIのみに変更しました。

修正された問題点:

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

HPE NS204i-p NVMe OS Boot Deviceを搭載したシステムが断続的にシャットダウンし、インテグレートドマネジメントログ(IML)に以下のSystem Overheatingメッセージが記録されることがある問題

(https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=a00119362en_us&docLocale=en_US)に対処しました。

「System Overheating (Temperature Sensor 47, Location I/O Board, Temperature61)アクション:ファン、プロセッササーヒートシンク、およびエアバップルの取り付けを確認してください。」

ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でIPMIウォッチドッグタイマー機能が有効になっている場合に、コールドブート後のブートプロセス中にハング状態が原因でシステムが自動的に再起動しない可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

HPE NS204i-p NVMe OS Boot Deviceを搭載したシステムが断続的にシャットダウンし、インテグレートドマネジメントログ(IML)に以下のSystem Overheatingメッセージが記録されることがある問題

(https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=a00119362en_us&docLocale=en_US)に対処しました。

「System Overheating (Temperature Sensor 47, Location I/O Board, Temperature61)アクション:ファン、プロセッササーヒートシンク、およびエアバップルの取り付けを確認してください。」

ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でIPMIウォッチドッグタイマー機能が有効になっている場合に、コールドブート後のブートプロセス中にハング状態が原因でシステムが自動的に再起動しない可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

ファームウェア製品のProduct SummaryからDownload Product BinariesページにあるリリースドキュメントU50_1.58_01_13_2022を参照してください。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE Apollo 4200 Gen10/HPE ProLiant XL420 Gen10 (U39) サーバー

バージョン: 2.62_03-08-2022 (**推奨**)

ファイル名: U39_2.62_03_08_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update (IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE Apollo 4200 Gen10/ProLiant XL420 Gen10システムROM - U39

リリースバージョン:

2.60_01-13-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.60_01-13-2022

以前のリビジョン:

2.58_11-24-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。これは、CVE-2021-0092、CVE-2021-0093、CVE-2021-0144のINTEL-SA-00527(2/8)として文書化されているセキュリティの脆弱性に対するBIOSの緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

HPE NS204i-p NVMe OS Boot Deviceを搭載したシステムが断続的にシャットダウンし、インテグレートドマネジメントログ(IML)に以下のSystem Overheatingメッセージが記録されることがある問題(SIK6906)に対処しました。「System Overheating (Temperature Sensor 47, Location I/O Board, Temperature61)アクション:ファン、プロセッサヒートシンク、およびエアパフルの取り付けを確認してください。」

ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でIPMIウォッチドッグタイマー機能が有効になっている場合に、コールドブート後のブートプロセス中にハング状態が原因でシステムが自動的に再起動しない可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

訂正済みメモリエラーしきい値イベントがインテグレートドマネジメントログ(IML)に記録される可能性がある問題に対処しました。修正されたメモリエラーを監視し、未修正のメモリエラーのリスクが高まるため対処が推奨される場合、Corrected Memory Error Threshold Eventを通じてユーザーに通知します。システムROMの以前のバージョンでは、システムが未修正のメモリエラーのリスクが高くない場合に、修正済みメモリエラーしきい値イベントをログに記録することがあります。訂正済みメモリエラーしきい値イベントのためにDIMMを交換する前に、システムROMをこのバージョンまたはそれ以降にアップデートすることを強くお勧めします。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE Apollo 6500 Gen10 Plus/HPE ProLiant XL645d Gen10 Plus(A48) サーバー

バージョン: 2.56_02-10-2022 (推奨)

ファイル名: A48_2.56_02_10_2022.fwpkg

修正

ファームウェア製品の製品概要からダウンロード製品バイナリページにあるリリースドキュメントA48_2.50_07_14_2021を参照してください。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE Apollo 6500 Gen10 Plus/HPE ProLiant XL675d Gen10 Plus(A47) サーバー

バージョン: 2.56_02-10-2022 (推奨)

ファイル名: A47_2.56_02_10_2022.fwpkg

修正

ファームウェア製品の製品概要からダウンロード製品バイナリページにあるリリースドキュメントA47_2.50_07_14_2021を参照してください。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE Apollo 6500 Gen10/HPE ProLiant XL270d Gen10 (U45) サーバー

バージョン: 2.62_03-08-2022 (推奨)

ファイル名: U45_2.62_03_08_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update (IPU)バージョンIPU.2021.1ガイドンスに沿ったアップデートが含まれています。

HPEは、Intel Optane Persistent Memoryを使用しているお客様が、このバージョンのシステムROMにアップデートすることを推奨しています。

提供名:

HPE Apollo 6500 Gen10/HPE ProLiant XL270d Gen10 システムROM - U45

リリースバージョン:

2.50_05-24-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.50_05-24-2021

以前のリビジョン:

2.42_01-23-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

IPMIウォッチドッグタイマーと呼ばれる新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションがサーバーの可用性に追加されました。有効にすると、システムはブート中にIPMIベースのウォッチドッグタイマーを開始します。これは、ブートハングやその他の予期しないシステムブートの問題から保護するために使用できます。オペレーティングシステムが起動したら、ユーザーの責任でIPMIウォッチドッグタイマーを無効にする必要があります。タイマーを無効にしないと、予期しないサーバーのリセットまたはシャットダウンが発生する可能性があります。

UEFI可変アクセスファームウェア制御と呼ばれる新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションをサーバーセキュリティに追加しました。このオプションを有効にすると、オペレーティングシステムまたはサードパーティユーティリティからのUEFIブート順序などへのUEFI変数の書き込みをブロックするために使用できます。HPEは、通常ではOSインストール時に発生するUEFI変数への書き込みというオペレーティングシステムの通常動作を特に防ぐ場合を除き、この機能を無効にしておくことをお勧めしています。

Windows Server 2022の BIOS TPM 1.2サポートをアップデートしました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにRESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

修正された問題:

Intel Optane DC Persistent Memoryがインストールされ、メモリモード(2LM)または混合モード用に構成されていると、システムで予期しないシャットダウンが発生するか、バンク4またはバンク6のマシントラップが発生する可能性がある問題に対処しました。この問題は、これらのモードのいずれかでIntel Optane DC Persistent Memoryが構成されているシステムにのみ影響します。HPEは、Intel Optane DC Persistent Memoryをメモリモード(2LM)または混合モードで使用しているすべてのお客様に、このバージョンのシステムROMにアップデートすることを推奨します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリリースには、CVE-2020-24511として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リリースが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-464に文書化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006B06(CPUID 50654)および0x05003103(CPUID 50567)です。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリリースには、CVE-2020-12358、CVE-2020-12360およびCVE-2020-24486として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リリースが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリリースには、インテルテクニカルスペックアップデートに記載されているさまざまな機能問題に対処するインテル製マイクロコードの最新リリースが含まれています。これらの問題は、EIBRS Guest/Host and REP MOVSB* MCE on Memory Not Access Issueとしてドキュメント化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

RBSU拡張メモリテストオプションが有効になっている場合、POST中にサーバーが応答しなくなる、またはPOSTを完了するのに予期しない時間がかかる問題に対処しました。

インテルXeonスケーラブルプロセッサの混合SKUがインストールされている場合にサーバーが起動できる問題に対処しました。これらの構成では、サーバーはエラーメッセージを表示し、起動を停止する必要があります。

システムROMが最新バージョンのHPE電源装置との電源装置不一致状態をログに記録していた問題に対処しました。この問題が発生したとき、動的消費電力上限と高効率電源装置モードも無効になっていました。この問題を適切に軽減するには、iLOファームウェアバージョン2.50以降も必要です。

既知の問題点:

なし

修正

ファームウェア製品の製品概要から、製品バイナリのダウンロードページのリリースドキュメントU45_2.52_07_08_2021を参照してください。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE DL110 Gen10 Plus Telco(U56)サーバー

バージョン: 1.58_01-13-2022 (推奨)

ファイル名: U56_1.58_01_13_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

リリースバージョン:

1.58_01-13-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.58_01-13-2022

以前のリビジョン:

1.56_11-29-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

工場出荷時デフォルトのリストアの動作を、UEFI、NIC、およびRAIDカードの設定のリストアからUEFIのみに変更しました。

修正された問題点:

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

HPE NS204i-p NVMe OS Boot Deviceを搭載したシステムが断続的にシャットダウンし、インテグレートドマネジメントログ (IML)に以下のSystem Overheatingメッセージが記録されることがある問題

(https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=a00119362en_us&docLocale=en_US)に対処しました。

「System Overheating (Temperature Sensor 47, Location I/O Board, Temperature61)アクション:ファン、プロセッサーヒートシンク、およびエアバッフルの取り付けを確認してください。」

ROMベースセットアップユーティリティ (RBSU)でIPMIウォッチドッグタイマー機能が有効になっている場合に、コールドブート後のブートプロセス中にハング状態が原因でシステムが自動的に再起動しない可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

HPE NS204i-p NVMe OS Boot Deviceを搭載したシステムが断続的にシャットダウンし、インテグレートドマネジメントログ (IML)に以下のSystem Overheatingメッセージが記録されることがある問題

(https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=a00119362en_us&docLocale=en_US)に対処しました。

「System Overheating (Temperature Sensor 47, Location I/O Board, Temperature61)アクション:ファン、プロセッサーヒートシンク、およびエアバッフルの取り付けを確認してください。」

ROMベースセットアップユーティリティ (RBSU)でIPMIウォッチドッグタイマー機能が有効になっている場合に、コールドブート後のブートプロセス中にハング状態が原因でシステムが自動的に再起動しない可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

工場出荷時デフォルトのリストアの動作を、UEFI、NIC、およびRAIDカードの設定のリストアからUEFIのみに変更しました。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant DL20 Gen10 Plus サーバー

バージョン: 1.54_01-13-2022 (推奨)

ファイル名: U60_1.54_01_13_2022.fwpkg

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL20 Gen10 PlusシステムROM - U60

リリースバージョン:

1.54_01-13-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.54_01-13-2022

以前のリビジョン:

1.52_10-29-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。Windows Server 2022は、Secured-coreと呼ばれる新しいセキュリティ機能を追加します。Secured-coreは、インテル® Xeon® プロセッサでのみサポートされます。Secured-coreサーバーは、ハードウェア機能、ファームウェアの有効化、およびWindows Serverオペレーティングシステム機能の組み合わせを使用して、マルウェアおよびルートキットのセキュリティエクスプロイトに対する保護を提供します。

Microsoft Secured-coreサポート用の新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加されました。この設定を有効にすると、次のポリシーが変更され、対応するオプションが構成されます。インテル®バーチャライゼーションテクノロジーが有効、インテル® VT-dが有効、インテル® TXTサポートが有効、セキュアブートが有効、TPMが2.0モードで有効。Secured-coreが有効になっている間にこれらの機能のいずれかを無効にすると、Secured-coreが適切に動作しなくなる可能性があります。

レガシーUEFIブートのサポートに追加されました。

インテルPentium CPUのサポートを追加しました。

修正された問題点:

どちらか一方をクリアするときに、電源投入時パスワードと管理者パスワードの両方がクリアされる問題に対処しました。この修正により、2つのパスワードは意図したとおりに独立して扱われます。

このオプションはこのプラットフォームではサポートされていないため、RBSUメニューからDynamic Power Capping Functionality オプションを削除しました。

このオプションはこのプラットフォームではサポートされていないため、RBSUメニューからTPM1.2オプションを削除しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

どちらか一方をクリアするときに、電源投入時パスワードと管理者パスワードの両方がクリアされる問題に対処しました。この修正により、2つのパスワードは意図したとおりに独立して扱われます。

このオプションはこのプラットフォームではサポートされていないため、RBSUメニューからDynamic Power Capping Functionality オプションを削除しました。

このオプションはこのプラットフォームではサポートされていないため、RBSUメニューからTPM1.2オプションを削除しました。

既知の問題点:

なし

拡張

Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。Windows Server 2022は、Secured-coreと呼ばれる新しいセキュリティ機能を追加します。Secured-coreは、インテル® Xeon® プロセッサでのみサポートされます。Secured-coreサーバーは、ハードウェア機能、ファームウェアの有効化、およびWindows Serverオペレーティングシステム機能の組み合わせを使用して、マルウェアおよびルートキットのセキュリティエクスプロイトに対する保護を提供します。

Microsoft Secured-coreサポート用の新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加されました。この設定を有効にすると、次のポリシーが変更され、対応するオプションが構成されます。インテル®バーチャライゼーションテクノロジーが有効、インテル® VT-dが有効、インテル® TXTサポートが有効、セキュアブートが有効、TPMが2.0モードで有効。Secured-coreが有効になっている間にこれらの機能のいずれかを無効にすると、Secured-coreが適切に動作しなくなる可能性があります。

レガシーUEFIブートのサポートに追加されました。

インテルPentium CPUのサポートが追加されました。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant DL20 Gen10(U43)サーバー

バージョン: 2.56_01-20-2022 (推奨)

ファイル名: U43_2.56_01_20_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update (IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL20 Gen10 システムROM - U43

リリースバージョン:

2.56_01-20-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.56_01-20-2022

以前のリビジョン:

2.54_10-21-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、セキュリティの脆弱性CVE-2021-0092、CVE-2021-0127、CVE-2021-0156、およびCVE-2021-0157の緩和策を提供するIntel Platform Update 2021.2が含まれています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

IPのフラッシュが完了した後に、システムのブートモードがUEFIモードからレガシーモードに変更され、UEFIモードに設定した後にIPに入るときにシステムがハングする可能性がある問題を修正しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update (IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2021-0157として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供する、最新バージョンのインテルIPU 2021.2が含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant DL325 Gen10(A41)サーバー

バージョン: 2.56_02-10-2022 (推奨)

ファイル名: A41_2.56_02_10_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL325 Gen10システムROM - A41

リリースバージョン:

2.56_02-10-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.56_02-10-2022

以前のリビジョン:

2.54_12-03-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

"工場デフォルト設定の復元"機能を使用するとRAIDボリュームが失われる問題に対処しました。

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

Microsoft BitLockerが有効になっているシステムが、OSを正常に再起動した後、ユーザーにドライブのロックを解除するように誤って断続的に要求する可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

"工場デフォルト設定の復元"機能を使用するとRAIDボリュームが失われる問題に対処しました。

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

Microsoft BitLockerが有効になっているシステムが、OSを正常に再起動した後、ユーザーにドライブのロックを解除するように誤って断続的に要求する可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant DL360 Gen10(U32)サーバー

バージョン: 2.62_03-08-2022 (推奨)

ファイル名: U32_2.62_03_08_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update(IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

このシステムROMは、使用できなくなったシステムROMのv2.60リビジョンを使用するシステムにとってクリティカルと見なされません。

System ROM 2.60からSystem ROM 2.62にアップデートしたら、次の手順に進みます。

1. サーバーを再起動し、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [アドバンスドECCサポート]の変更に移動します。
2. 保存して、サーバーを再起動します。
3. [アドバンスドメモリ保護:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]がPOST中または [RBSU] > [アドバンスドメモリ保護]に移動することでロードされることを確認します。[アドバンスドメモリ保護モード:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]が設定されている場合は、手順4と手順5をスキップします。
4. AMPモードがファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)に設定されていない場合は、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]の変更に移動します。
5. 保存して、サーバーを再起動します。

注記:手順1に従ってワークロードプロファイルでAMPモードを[アドバンスドECCサポート]に変更できない場合は、カスタムワークロードプロファイルを設定して[アドバンスドECCサポート]を構成します。手順4で、目的のワークロードプロファイルとAMPモード[アドバンスドECCサポート]に戻します。

詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00121538en_usを参照してください。

提供名:

HPE ProLiant DL360 Gen10システムROM - U32

リリースバージョン:

2.62_03-08-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.62_03-08-2022

以前のリビジョン:

2.60_01-13-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROM(01/13/2022)v2.60の使用時に、アドバンスドメモリプロテクション(AMP)モードが[HPEファーストフォールトトレラント(ADDDC)]に構成されている場合でも、AMPモードが[アドバンスドECC]に設定された状態でシステムが起動する問題に対処しました。この問題は、AMPモードがADDDC以外のモードに構成されている場合は発生しません。この問題によって、システムROMの他のリビジョンは影響を受けません。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update(IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

このシステムROMは、使用できなくなったシステムROMのv2.60リビジョンを使用するシステムにとってクリティカルと見なされません。

System ROM 2.60からSystem ROM 2.62にアップデートしたら、次の手順に進みます。

1. サーバーを再起動し、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [アドバンスドECCサポート]の変更に移動します。
2. 保存して、サーバーを再起動します。
3. [アドバンスドメモリ保護:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]がPOST中または [RBSU] > [アドバンスドメモリ保護]に移動することでロードされることを確認します。[アドバンスドメモリ保護モード:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]が設定されている場合は、手順4と手順5をスキップします。
4. AMPモードがファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)に設定されていない場合は、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]の変更に移動します。
5. 保存して、サーバーを再起動します。

注記:手順1に従ってワークロードプロファイルでAMPモードを[アドバンスドECCサポート]に変更できない場合は、カスタムワークロードプロファイルを設定して[アドバンスドECCサポート]を構成します。手順4で、目的のワークロードプロファイルとAMPモード[アドバンスドECCサポート]に戻します。

詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00121538en_usを参照してください。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROM(01/13/2022)v2.60の使用時に、アドバンスドメモリプロテクション(AMP)モードが[HPEファーストフォールトトレラント(ADDDC)]に構成されている場合でも、AMPモードが[アドバンスドECC]に設定された状態でシステムが起動する問題に対処しました。この問題は、AMPモードがADDDC以外のモードに構成されている場合は発生しません。この問題によって、システムROMの他のリビジョンは影響を受けません。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant DL380 Gen10(U30)サーバー

バージョン: 2.62_03-08-2022 (推奨)

ファイル名: U30_2.62_03_08_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update(IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

このシステムROMは、使用できなくなったシステムROMのv2.60リビジョンを使用するシステムにとってクリティカルと見なされません。

System ROM 2.60からSystem ROM 2.62にアップデートしたら、次の手順に進みます。

1. サーバーを再起動し、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [アドバンスドECCサポート]の変更に移動します。
2. 保存して、サーバーを再起動します。
3. [アドバンスドメモリ保護:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]がPOST中または [RBSU] > [アドバンスドメモリ保護]に移動することでロードされることを確認します。[アドバンスドメモリ保護モード:ファーストフォールトトレラントメモリ

(ADDDC)]が設定されている場合は、手順4と手順5をスキップします。

4. AMPモードがファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)に設定されていない場合は、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]の変更に移動します。

5. 保存して、サーバーを再起動します。

注記:手順1に従ってワークロードプロファイルでAMPモードを[アドバンスドECCサポート]に変更できない場合は、カスタムワークロードプロファイルを設定して[アドバンスドECCサポート]を構成します。手順4で、目的のワークロードプロファイルとAMPモード[アドバンスドECCサポート]に戻します。

詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00121538en_usを参照してください。

提供名:

HPE ProLiant DL380 Gen10システムROM - U30

リリースバージョン:

2.62_03-08-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.62_03-08-2022

以前のリビジョン:

2.60_01-13-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROM(01/13/2022)v2.60の使用時に、アドバンスドメモリプロテクション(AMP)モードが[HPEファーストフォールトトレラント(ADDDC)]に構成されている場合でも、AMPモードが[アドバンスドECC]に設定された状態でシステムが起動する問題に対処しました。この問題は、AMPモードがADDDC以外のモードに構成されている場合は発生しません。この問題によって、システムROMの他のリビジョンは影響を受けません。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update(IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

このシステムROMは、使用できなくなったシステムROMのv2.60リビジョンを使用するシステムにとってクリティカルと見なされません。

System ROM 2.60からSystem ROM 2.62にアップデートしたら、次の手順に進みます。

1. サーバーを再起動し、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [アドバンスドECCサポート]の変更に移動します。

2. 保存して、サーバーを再起動します。

3. [アドバンスドメモリ保護:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]がPOST中または [RBSU] > [アドバンスドメモリ保護]に移動することでロードされることを確認します。[アドバンスドメモリ保護モード:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]が設定されている場合は、手順4と手順5をスキップします。

4. AMPモードがファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)に設定されていない場合は、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]の変更に移動します。

5. 保存して、サーバーを再起動します。

注記:手順1に従ってワークロードプロファイルでAMPモードを[アドバンストECCサポート]に変更できない場合は、カスタムワークロードプロファイルを設定して[アドバンストECCサポート]を構成します。手順4で、目的のワークロードプロファイルとAMPモード[アドバンストECCサポート]に戻します。

詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00121538en_usを参照してください。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROM(01/13/2022)v2.60の使用時に、アドバンストメモリプロテクション(AMP)モードが[HPEファーストフォールトトレラント(ADDDC)]に構成されている場合でも、AMPモードが[アドバンストECC]に設定された状態でシステムが起動する問題に対処しました。この問題は、AMPモードがADDDC以外のモードに構成されている場合は発生しません。この問題によって、システムROMの他のリビジョンは影響を受けません。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant DL385 Gen10(A40)サーバー

バージョン: 2.56_02-10-2022 (推奨)

ファイル名: A40_2.56_02_10_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL385 Gen10システムROM - A40

リリースバージョン:

2.56_02-10-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.56_02-10-2022

以前のリビジョン:

2.54_12-03-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

"工場デフォルト設定の復元"機能を使用するとRAIDボリュームが失われる問題に対処しました。

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

Microsoft BitLockerが有効になっているシステムが、OSを正常に再起動した後、ユーザーにドライブのロックを解除するように誤って断続的に要求する可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

"工場デフォルト設定の復元"機能を使用するとRAIDボリュームが失われる問題に対処しました。

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

Microsoft BitLockerが有効になっているシステムが、OSを正常に再起動した後、ユーザーにドライブのロックを解除するように誤って断続的に要求する可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant ML30 Gen10 Plusサーバー

バージョン: 1.54_01-13-2022 (推奨)

ファイル名: U61_1.54_01_13_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant ML30 Gen10 PlusシステムROM - U61

リリースバージョン:

1.54_01-13-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.54_01-13-2022

以前のリビジョン:

1.52_10-29-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。Windows Server 2022は、Secured-coreと呼ばれる新しいセキュリティ機能を追加します。Secured-coreは、インテル® Xeon® プロセッサでのみサポートされます。Secured-coreサーバーは、ハードウェア機能、ファームウェアの有効化、およびWindows Serverオペレーティングシステム機能の組み合わせを使用して、マルウェアおよびルートキットのセキュリティエクスポloitに対する保護を提供します。

Microsoft Secured-coreサポート用の新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加されました。この設定を有効にすると、次のポリシーが変更され、対応するオプションが構成されます。インテル®バーチャライゼーションテクノロジーが有効、インテル® VT-dが有効、インテル® TXTサポートが有効、セキュアブートが有効、TPMが2.0モードで有効。Secured-coreが有効になっている間にこれらの機能のいずれかを無効にすると、Secured-coreが適切に動作しなくなる可能性があります。

レガシーUEFIブートのサポートに追加されました。

インテルPentium CPUのサポートを追加しました。

修正された問題点:

どちらか一方をクリアするときに、電源投入時パスワードと管理者パスワードの両方がクリアされる問題に対処しました。この修正により、2つのパスワードは意図したとおりに独立して扱われます。

このオプションはこのプラットフォームではサポートされていないため、RBSUメニューからDynamic Power Capping Functionality オプションを削除しました。

このオプションはこのプラットフォームではサポートされていないため、RBSUメニューからTPM1.2オプションを削除しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

どちらか一方をクリアするときに、電源投入時パスワードと管理者パスワードの両方がクリアされる問題に対処しました。この修正により、2つのパスワードは意図したとおりに独立して扱われます。

このオプションはこのプラットフォームではサポートされていないため、RBSUメニューからDynamic Power Capping Functionality オプションを削除しました。

このオプションはこのプラットフォームではサポートされていないため、RBSUメニューからTPM1.2オプションを削除しました。

既知の問題点:

なし

拡張

Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。Windows Server 2022は、Secured-coreと呼ばれる新しいセキュリティ機能を追加します。Secured-coreは、インテル® Xeon® プロセッサでのみサポートされます。Secured-coreサーバーは、ハードウェア機能、ファームウェアの有効化、およびWindows Serverオペレーティングシステム機能の組み合わせを使用して、マルウェアおよびルートキットのセキュリティエクスポイトに対する保護を提供します。

Microsoft Secured-coreサポート用の新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加されました。この設定を有効にすると、次のポリシーが変更され、対応するオプションが構成されます。インテル®バーチャライゼーションテクノロジーが有効、インテル® VT-dが有効、インテル® TXTサポートが有効、セキュアブートが有効、TPMが2.0モードで有効。Secured-coreが有効になっている間にこれらの機能のいずれかを無効にすると、Secured-coreが適切に動作しなくなる可能性があります。

レガシーUEFIブートのサポートに追加されました。

インテルPentium CPUのサポートが追加されました。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant ML30 Gen10(U44)サーバー

バージョン: 2.56_01-20-2022 (推奨)

ファイル名: U44_2.56_01_20_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update (IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant ML30 Gen10システムROM - U44

リリースバージョン:

2.56_01-20-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.56_01-20-2022

以前のリビジョン:

2.54_10-21-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、セキュリティの脆弱性CVE-2021-0092、CVE-2021-0127、CVE-2021-0156、およびCVE-2021-0157の緩和策を提供するIntel Platform Update 2021.2が含まれています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

IPのフラッシュが完了した後に、システムのブートモードがUEFIモードからレガシーモードに変更され、UEFIモードに設定した後にIPに入るときにシステムがハングする可能性がある問題を修正しました。

既知の問題点:

なし

修正**重要な注意:**

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update (IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2021-0157として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供する、最新バージョンのインテルIPU 2021.2が含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant XL220n/XL290n Gen10 Plus 1Uノードおよび2Uノード受注構成サーバー(U47)

バージョン: 1.58_01-13-2022 (推奨)

ファイル名: U47_1.58_01_13_2022.fwpkg

重要な注意!**重要な注意:**

なし

提供名:

HPE ProLiant XL220n Gen10 Plus 1U/XL290n Gen10 Plus2UノードCTOシステムROM-U47

リリースバージョン:

1.58_01-13-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.58_01-13-2022

以前のリビジョン:

1.56_11-29-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

工場出荷時デフォルトのリストアの動作を、UEFI、NIC、およびRAIDカードの設定のリストアからUEFIのみに変更しました。

修正された問題点:

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

HPE NS204i-p NVMe OS Boot Deviceを搭載したシステムが断続的にシャットダウンし、インテグレートドマネジメントログ(IML)に以下のSystem Overheatingメッセージが記録されることがある問題(https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=a00119362en_us)に対処しました。「System Overheating

(Temperature Sensor 47, Location I/O Board, Temperature61)アクション:ファン、プロセッサヒートシンク、およびエアバツフルの取り付けを確認してください。」

ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でIPMIウォッチドッグタイマー機能が有効になっている場合に、コールドブート後のブートプロセス中にハング状態が原因でシステムが自動的に再起動しない可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

HPE NS204i-p NVMe OS Boot Deviceを搭載したシステムが断続的にシャットダウンし、インテグレートドマネジメントログ(IML)に以下のSystem Overheatingメッセージが記録されることがある問題(https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=a00119362en_us)に対処しました。「System Overheating (Temperature Sensor 47, Location I/O Board, Temperature61)アクション:ファン、プロセッサヒートシンク、およびエアバツフルの取り付けを確認してください。」

ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でIPMIウォッチドッグタイマー機能が有効になっている場合に、コールドブート後のブートプロセス中にハング状態が原因でシステムが自動的に再起動しない可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

工場出荷時デフォルトのリストアの動作を、UEFI、NIC、およびRAIDカードの設定のリストアからUEFIのみに変更しました。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant XL225n Gen10 Plus (A46) サーバー

バージョン: 2.56_02-10-2022 (推奨)

ファイル名: A46_2.56_02_10_2022.fwpkg

修正

ファームウェア製品の製品概要からダウンロード製品バイナリページにあるリリースドキュメントA46_2.50_07_14_2021を参照してください。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - MicroServer Gen10 Plus (U48) サーバー

バージョン: 2.56_01-20-2022 (推奨)

ファイル名: U48_2.56_01_20_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update (IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE MicroServer Gen10 PlusシステムROM - U48

リリースバージョン:

2.56_01-20-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.56_01-20-2022

以前のリリース:

2.54_10-21-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このリリースのシステムROMには、セキュリティの脆弱性CVE-2021-0092、CVE-2021-0127、CVE-2021-0156、およびCVE-2021-0157の緩和策を提供するIntel Platform Update 2021.2が含まれています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

IPのフラッシュが完了した後に、システムのブートモードがUEFIモードからレガシーモードに変更され、UEFIモードに設定した後にIPに入るときにシステムがハングする可能性がある問題を修正しました。

既知の問題点:

なし

修正**重要な注意:**

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update (IPU)バージョンIPU.2021.2ガイドラインに沿ったアップデートが含まれています。なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

このシステムROMのリリースには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2021-0157として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供する、最新バージョンのインテルIPU 2021.2が含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュユニバーサルファームウェアパッケージ - HPE ProLiant DL325/DL325 v2/DL345 Gen10 Plus(A43)サーバー

バージョン: 2.56_02-10-2022 (推奨)

ファイル名: A43_2.56_02_10_2022.fwpkg

重要な注意!**重要な注意:**

なし

提供名:

HPE ProLiant DL325/DL325 v2/DL345 Gen10 PlusシステムROM - A43

リリースバージョン:

2.56_02-10-2022

最新の推奨またはクリティカルリリース:

2.56_02-10-2022

以前のリリース:

2.54_12-03-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

"工場デフォルト設定の復元"機能を使用するとRAIDボリュームが失われる問題に対処しました。

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

Microsoft BitLockerが有効になっているシステムが、OSを正常に再起動した後、ユーザーにドライブのロックを解除するように誤って断続的に要求する可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正**重要な注意:**

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

"工場デフォルト設定の復元"機能を使用するとRAIDボリュームが失われる問題に対処しました。

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

Microsoft BitLockerが有効になっているシステムが、OSを正常に再起動した後、ユーザーにドライブのロックを解除するように誤って断続的に要求する可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュユニバーサルファームウェアパッケージ - HPE ProLiant DL360/DL380 Gen10 Plus(U46)サーバー

バージョン: 1.58_01-13-2022 (**推奨**)

ファイル名: U46_1.58_01_13_2022.fwpkg

重要な注意!**重要な注意:**

なし

提供名:

HPE ProLiant DL360/DL380 Gen10 PlusシステムROM - U46

リリースバージョン:

1.58_01-13-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.58_01-13-2022

以前のリビジョン:

1.56_11-29-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

工場出荷時デフォルトのリストアの動作を、UEFI、NIC、およびRAIDカードの設定のリストアからUEFIのみに変更しました。

修正された問題点:

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

HPE NS204i-p NVMe OS Boot Deviceを搭載したシステムが断続的にシャットダウンし、インテグレートドマネジメントログ (IML)に以下のSystem Overheatingメッセージが記録されることがある問題 (https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=a00119362en_us&docLocale=en_US)に対処しました。
「System Overheating (Temperature Sensor 47, Location I/O Board, Temperature61)アクション:ファン、プロセッサクーラーヒートシンク、およびエアバッフルの取り付けを確認してください。」

ROMベースセットアップユーティリティ (RBSU)でIPMIウォッチドッグタイマー機能が有効になっている場合に、コールドブート後のブートプロセス中にハング状態が原因でシステムが自動的に再起動しない可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

HPE NS204i-p NVMe OS Boot Deviceを搭載したシステムが断続的にシャットダウンし、インテグレートドマネジメントログ (IML)に以下のSystem Overheatingメッセージが記録されることがある問題 (https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=a00119362en_us&docLocale=en_US)に対処しました。
「System Overheating (Temperature Sensor 47, Location I/O Board, Temperature61)アクション:ファン、プロセッサクーラーヒートシンク、およびエアバッフルの取り付けを確認してください。」

ROMベースセットアップユーティリティ (RBSU)でIPMIウォッチドッグタイマー機能が有効になっている場合に、コールドブート後のブートプロセス中にハング状態が原因でシステムが自動的に再起動しない可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

工場出荷時デフォルトのリストアの動作を、UEFI、NIC、およびRAIDカードの設定のリストアからUEFIのみに変更しました。

ROMフラッシュユニバーサルファームウェアパッケージ - HPE ProLiant DL365/DL385/DL385 v2 Gen10 Plus(A42)サーバー

バージョン: 2.56_02-10-2022 (推奨)

ファイル名: A42_2.56_02_10_2022.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL365/DL385/DL385 v2 Gen10 PlusシステムROM - A42

リリースバージョン:

2.56_02-10-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.56_02-10-2022

以前のリビジョン:

2.54_12-03-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

"工場デフォルト設定の復元"機能を使用するとRAIDボリュームが失われる問題に対処しました。

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

Microsoft BitLockerが有効になっているシステムが、OSを正常に再起動した後、ユーザーにドライブのロックを解除するように誤って断続的に要求する可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正**重要な注意:**

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

"工場デフォルト設定の復元"機能を使用するとRAIDボリュームが失われる問題に対処しました。

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

Microsoft BitLockerが有効になっているシステムが、OSを正常に再起動した後、ユーザーにドライブのロックを解除するように誤って断続的に要求する可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE Apollo 2000 Gen10/HPE ProLiant XL170r/XL190r Gen10 (U38) サーバー

バージョン: 2.62_03-08-2022 (推奨)

ファイル名: cp051199.compsig; cp051199.exe

重要な注意!**重要な注意:**

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update (IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

HPEは、Intel Optane Persistent Memoryを使用しているお客様が、このバージョンのシステムROMにアップデートすることを推奨しています。

提供名:

HPE Apollo 2000 Gen10/HPE ProLiant XL170r/XL190r Gen10システムROM - U38

リリースバージョン:

2.50_05-24-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.50_05-24-2021

以前のリビジョン:

2.42_01-23-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

IPMIウォッチドッグタイマーと呼ばれる新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションがサーバーの可用性に追加されました。有効にすると、システムはブート中にIPMIベースのウォッチドッグタイマーを開始します。これは、ブートハングやその他の予期しないシステムブートの問題から保護するために使用できます。オペレーティングシステムが起動したら、ユーザーの責任でIPMIウォッチドッグタイマーを無効にする必要があります。タイマーを無効にしないと、予期しないサーバーのリセットまたはシャットダウンが発生する可能性があります。

UEFI可変アクセスファームウェア制御と呼ばれる新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションをサーバーセキュリティに追加しました。このオプションを有効にすると、オペレーティングシステムまたはサードパーティユーティリティからのUEFIブート順序などへのUEFI変数の書き込みをブロックするために使用できます。HPEは、通常ではOSインストール時に発生するUEFI変数への書き込みというオペレーティングシステムの通常動作を特に防ぐ場合を除き、この機能を無効にしておくことをお勧めしています。

Windows Server 2022の BIOS TPM 1.2サポートをアップデートしました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにRESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

修正された問題:

Intel Optane DC Persistent Memoryがインストールされ、メモリモード(2LM)または混合モード用に構成されていると、システムで予期しないシャットダウンが発生するか、バンク4またはバンク6のマシントラップが発生する可能性がある問題に対処しました。この問題は、これらのモードのいずれかでIntel Optane DC Persistent Memoryが構成されているシステムにのみ影響します。HPEは、Intel Optane DC Persistent Memoryをメモリモード(2LM)または混合モードで使用しているすべてのお客様に、このバージョンのシステムROMにアップデートすることを推奨します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-24511として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-464に文書化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006B06(CPUID 50654)および0x05003103(CPUID 50567)です。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12358、CVE-2020-12360およびCVE-2020-24486として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、インテルテクニカルスペックアップデートに記載されているさまざまな機能問題に対処するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらの問題は、EIBRS Guest/Host and REP MOVSB* MCE on Memory Not Access Issueとしてドキュメント化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

RBSU拡張メモリテストオプションが有効になっている場合、POST中にサーバーが応答しなくなる、またはPOSTを完了するのに予期しない時間がかかる問題に対処しました。

インテルXeonスケーラブルプロセッサの混合SKUがインストールされている場合にサーバーが起動できる問題に対処しました。これらの構成では、サーバーはエラーメッセージを表示し、起動を停止する必要があります。

システムROMが最新バージョンのHPE電源装置との電源装置不一致状態をログに記録していた問題に対処しました。この問題が発生したとき、動的消費電力上限と高効率電源装置モードも無効になっていました。この問題を適切に軽減するには、iLOファームウェアバージョン2.50以降も必要です。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

ファームウェア製品の製品概要から、製品バイナリのダウンロードページのリリースドキュメントU38_2.52_07_08_2021を参照してください。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE Apollo 4200 Gen10/HPE ProLiant XL420 Gen10 (U39) サーバー

バージョン: 2.62_03-08-2022 (推奨)

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update (IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE Apollo 4200 Gen10/ProLiant XL420 Gen10システムROM - U39

リリースバージョン:

2.60_01-13-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.60_01-13-2022

以前のリビジョン:

2.58_11-24-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。これは、CVE-2021-0092、CVE-2021-0093、CVE-2021-0144のINTEL-SA-00527(2/8)として文書化されているセキュリティの脆弱性に対するBIOSの緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

HPE NS204i-p NVMe OS Boot Deviceを搭載したシステムが断続的にシャットダウンし、インテグレートドマネジментログ(IML)に以下のSystem Overheatingメッセージが記録されることがある問題(SIK6906)に対処しました。「System Overheating (Temperature Sensor 47, Location I/O Board, Temperature61)アクション:ファン、プロセッサヒートシンク、およびエアバップルの取り付けを確認してください。」

ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でIPMIウォッチドッグタイマー機能が有効になっている場合に、コールドブート後のブートプロセス中にハング状態が原因でシステムが自動的に再起動しない可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

訂正済みメモリエラーしきい値イベントがインテグレートドマネジментログ(IML)に記録される可能性がある問題に対処しました。修正されたメモリエラーを監視し、未修正のメモリエラーのリスクが高まるため対処が推奨される場合、Corrected Memory Error Threshold Eventを通じてユーザーに通知します。システムROMの以前のバージョンでは、システムが未修正のメモリエラーのリスクが高くない場合に、修正済みメモリエラーしきい値イベントをログに記録することがあります。訂正済みメモリエラーしきい値イベントのためにDIMMを交換する前に、システムROMをこのバージョンまたはそれ以降にアップデートすることを強くお勧めします。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE Apollo 4510 Gen10/HPE ProLiant XL450 Gen10 (U40) サーバー

バージョン: 2.62_03-08-2022 (推奨)

ファイル名: cp051281.compsig; cp051281.exe

重要な注意!**重要な注意:**

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update (IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE Apollo 4510 Gen10/ProLiant XL450 Gen10システムROM - U40

リリースバージョン:

2.60_01-13-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.60_01-13-2022

以前のリビジョン:

2.58_11-24-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。これは、CVE-2021-0092、CVE-2021-0093、CVE-2021-0144のINTEL-SA-00527(2/8)として文書化されているセキュリティの脆弱性に対するBIOSの緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

HPE NS204i-p NVMe OS Boot Deviceを搭載したシステムが断続的にシャットダウンし、インテグレートドマネジメントログ(IML)に以下のSystem Overheatingメッセージが記録されることがある問題(SIK6906)に対処しました。「System Overheating (Temperature Sensor 47, Location I/O Board, Temperature61)アクション:ファン、プロセッサヒートシンク、およびエアバップルの取り付けを確認してください。」

ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でIPMIウォッチドッグタイマー機能が有効になっている場合に、コールドブート後のブートプロセス中にハング状態が原因でシステムが自動的に再起動しない可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正**重要な注意:**

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

訂正済みメモリエラーしきい値イベントがインテグレートドマネジメントログ(IML)に記録される可能性がある問題に対処しました。修正されたメモリエラーを監視し、未修正のメモリエラーのリスクが高まるため対処が推奨される場合、Corrected Memory Error Threshold Eventを通じてユーザーに通知します。システムROMの以前のバージョンでは、システムが未修正のメモリエラーのリスクが高くない場合に、修正済みメモリエラーしきい値イベントをログに記録することがあります。訂正済みメモリエラーしきい値イベントのためにDIMMを交換する前に、システムROMをこのバージョンまたはそれ以降にアップデートすることを強くお勧めします。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE Apollo 6500 Gen10/HPE ProLiant XL270d Gen10 (U45) サーバー

バージョン: 2.62_03-08-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u45-2.62_2022_03_08-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u45-2.62_2022_03_08-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update (IPU)バージョンIPU.2021.1ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

HPEは、Intel Optane Persistent Memoryを使用しているお客様が、このバージョンのシステムROMにアップデートすることを推奨しています。

提供名:

HPE Apollo 6500 Gen10/HPE ProLiant XL270d Gen10 システムROM - U45

リリースバージョン:

2.50_05-24-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.50_05-24-2021

以前のリビジョン:

2.42_01-23-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

IPMIウォッチドッグタイマーと呼ばれる新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションがサーバーの可用性に追加されました。有効にすると、システムはブート中にIPMIベースのウォッチドッグタイマーを開始します。これは、ブートハングやその他の予期しないシステムブートの問題から保護するために使用できます。オペレーティングシステムが起動したら、ユーザーの責任でIPMIウォッチドッグタイマーを無効にする必要があります。タイマーを無効にしないと、予期しないサーバーのリセットまたはシャットダウンが発生する可能性があります。

UEFI可変アクセスファームウェア制御と呼ばれる新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションをサーバーセキュリティに追加しました。このオプションを有効にすると、オペレーティングシステムまたはサードパーティユーティリティからのUEFIブート順序などへのUEFI変数の書き込みをブロックするために使用できます。HPEは、通常ではOSインストール時に発生するUEFI変数への書き込みというオペレーティングシステムの通常動作を特に防ぐ場合を除き、この機能を無効にしておくことをお勧めしています。

Windows Server 2022の BIOS TPM 1.2サポートをアップデートしました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにRESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

修正された問題:

Intel Optane DC Persistent Memoryがインストールされ、メモリモード(2LM)または混合モード用に構成されていると、システムで予期しないシャットダウンが発生するか、バンク4またはバンク6のマシントラップが発生する可能性がある問題に対処しました。この問題は、これらのモードのいずれかでIntel Optane DC Persistent Memoryが構成されているシステムにのみ影響します。HPE

は、Intel Optane DC Persistent Memoryをメモリモード(2LM)または混合モードで使用しているすべてのお客様に、このバージョンのシステムROMにアップデートすることを推奨します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-24511として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-464に文書化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006B06(CPUID 50654)および0x05003103(CPUID 50567)です。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12358、CVE-2020-12360およびCVE-2020-24486として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、インテルテクニカルスペックアップデートに記載されているさまざまな機能問題に対処するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらの問題は、EIBRS Guest/Host and REP MOVSB* MCE on Memory Not Access Issueとしてドキュメント化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

RBSU拡張メモリテストオプションが有効になっている場合、POST中にサーバーが応答しなくなる、またはPOSTを完了するのに予想しない時間がかかる問題に対処しました。

インテルXeonスケーラブルプロセッサの混合SKUがインストールされている場合にサーバーが起動できる問題に対処しました。これらの構成では、サーバーはエラーメッセージを表示し、起動を停止する必要があります。

システムROMが最新バージョンのHPE電源装置との電源装置不一致状態をログに記録していた問題に対処しました。この問題が発生したとき、動的消費電力上限と高効率電源装置モードも無効になっていました。この問題を適切に軽減するには、iLOファームウェアバージョン2.50以降も必要です。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

ファームウェア製品の製品概要から、製品バイナリのダウンロードページのリリースドキュメントU45_2.52_07_08_2021を参照してください。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant DL160 Gen10/DL180 Gen10(U31) サーバー

バージョン: 2.62_03-08-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u31-2.62_2022_03_08-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u31-2.62_2022_03_08-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update(IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

このシステムROMは、使用できなくなったシステムROMのv2.60リビジョンを使用するシステムにとってクリティカルと見なされません。

System ROM 2.60からSystem ROM 2.62にアップデートしたら、次の手順に進みます。

1. サーバーを再起動し、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [アドバンスドECCサポート]の変更に移動します。
2. 保存して、サーバーを再起動します。
3. [アドバンスドメモリ保護:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]がPOST中または[RBSU] > [アドバンスドメモリ保護]に移動することでロードされることを確認します。[アドバンスドメモリ保護モード:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]が設定されている場合は、手順4と手順5をスキップします。
4. AMPモードがファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)に設定されていない場合は、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]の変更に移動します。
5. 保存して、サーバーを再起動します。

注記:手順1に従ってワークロードプロファイルでAMPモードを[アドバンストECCサポート]に変更できない場合は、カスタムワークロードプロファイルを設定して[アドバンストECCサポート]を構成します。手順4で、目的のワークロードプロファイルとAMPモード[アドバンストECCサポート]に戻します。

詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00121538en_usを参照してください。

提供名:

HPE ProLiant DL160 Gen10/DL180 Gen10 システムROM - U31

リリースバージョン:

2.62_03-08-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.62_03-08-2022

以前のリビジョン:

2.60_01-13-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROM(01/13/2022)v2.60の使用時に、アドバンストメモリプロテクション(AMP)モードが[HPEファーストフォールトトレラント(ADDDC)]に構成されている場合でも、AMPモードが[アドバンストECC]に設定された状態でシステムが起動する問題に対処しました。この問題は、AMPモードがADDDC以外のモードに構成されている場合は発生しません。この問題によって、システムROMの他のリビジョンは影響を受けません。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update(IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

このシステムROMは、使用できなくなったシステムROMのv2.60リビジョンを使用するシステムにとってクリティカルと見なされません。

System ROM 2.60からSystem ROM 2.62にアップデートしたら、次の手順に進みます。

1. サーバーを再起動し、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンストメモリ保護] > [アドバンストECCサポート]の変更に移動します。
2. 保存して、サーバーを再起動します。
3. [アドバンストメモリ保護:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]がPOST中または [RBSU] > [アドバンストメモリ保護]に移動することでロードされることを確認します。[アドバンストメモリ保護モード:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]が設定されている場合は、手順4と手順5をスキップします。
4. AMPモードがファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)に設定されていない場合は、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンストメモリ保護] > [ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]の変更に移動します。
5. 保存して、サーバーを再起動します。

注記:手順1に従ってワークロードプロファイルでAMPモードを[アドバンストECCサポート]に変更できない場合は、カスタムワークロードプロファイルを設定して[アドバンストECCサポート]を構成します。手順4で、目的のワークロードプロファイルとAMPモード

ド[アドバンストECCサポート]に戻します。

詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00121538en_usを参照してください。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROM(01/13/2022)v2.60の使用時に、アドバンストメモリプロテクション(AMP)モードが[HPEファーストフォールトトレラント(ADDDC)]に構成されている場合でも、AMPモードが[アドバンストECC]に設定された状態でシステムが起動する問題に対処しました。この問題は、AMPモードがADDDC以外のモードに構成されている場合は発生しません。この問題によって、システムROMの他のリビジョンは影響を受けません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant DL20 Gen10 Plus サーバー

バージョン: 1.54_01-13-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u60-1.54_2022_01_13-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u60-1.54_2022_01_13-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL20 Gen10 PlusシステムROM - U60

リリースバージョン:

1.54_01-13-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.54_01-13-2022

以前のリビジョン:

1.52_10-29-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。Windows Server 2022は、Secured-coreと呼ばれる新しいセキュリティ機能を追加します。Secured-coreは、インテル® Xeon® プロセッサでのみサポートされます。Secured-coreサーバーは、ハードウェア機能、ファームウェアの有効化、およびWindows Serverオペレーティングシステム機能の組み合わせを使用して、マルウェアおよびルートキットのセキュリティエクスプロイトに対する保護を提供します。

Microsoft Secured-coreサポート用の新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加されました。この設定を有効にすると、次のポリシーが変更され、対応するオプションが構成されます。インテル®バーチャライゼーションテクノロジーが有効、インテル® VT-dが有効、インテル® TXTサポートが有効、セキュアブートが有効、TPMが2.0モードで有効。Secured-coreが有効になっている間にこれらの機能のいずれかを無効にすると、Secured-coreが適切に動作しなくなる可能性があります。

レガシーUEFIブートのサポートに追加されました。

インテルPentium CPUのサポートを追加しました。

修正された問題点:

どちらか一方をクリアするときに、電源投入時パスワードと管理者パスワードの両方がクリアされる問題に対処しました。この修正により、2つのパスワードは意図したとおりに独立して扱われます。

このオプションはこのプラットフォームではサポートされていないため、RBSUメニューからDynamic Power Capping Functionity オプションを削除しました。

このオプションはこのプラットフォームではサポートされていないため、RBSUメニューからTPM1.2オプションを削除しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

どちらか一方をクリアするときに、電源投入時パスワードと管理者パスワードの両方がクリアされる問題に対処しました。この修正により、2つのパスワードは意図したとおりに独立して扱われます。

このオプションはこのプラットフォームではサポートされていないため、RBSUメニューからDynamic Power Capping Functionity オプションを削除しました。

このオプションはこのプラットフォームではサポートされていないため、RBSUメニューからTPM1.2オプションを削除しました。

既知の問題点:

なし

拡張

Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。Windows Server 2022は、Secured-coreと呼ばれる新しいセキュリティ機能を追加します。Secured-coreは、インテル® Xeon® プロセッサでのみサポートされます。Secured-coreサーバーは、ハードウェア機能、ファームウェアの有効化、およびWindows Serverオペレーティングシステム機能の組み合わせを使用して、マルウェアおよびルートキットのセキュリティエクスポイトに対する保護を提供します。

Microsoft Secured-coreサポート用の新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加されました。この設定を有効にすると、次のポリシーが変更され、対応するオプションが構成されます。インテル®バーチャライゼーションテクノロジーが有効、インテル® VT-dが有効、インテル® TXTサポートが有効、セキュアブートが有効、TPMが2.0モードで有効。Secured-coreが有効になっている間にこれらの機能のいずれかを無効にすると、Secured-coreが適切に動作しなくなる可能性があります。

レガシーUEFIブートのサポートに追加されました。

インテルPentium CPUのサポートが追加されました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant DL325 Gen10 (A41)サーバー

バージョン: 2.56_02-10-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-a41-2.56_2022_02_10-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-a41-2.56_2022_02_10-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL325 Gen10システムROM - A41

リリースバージョン:

2.56_02-10-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.56_02-10-2022

以前のリリース:

2.54_12-03-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

"工場デフォルト設定の復元"機能を使用するとRAIDボリュームが失われる問題に対処しました。

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

Microsoft BitLockerが有効になっているシステムが、OSを正常に再起動した後、ユーザーにドライブのロックを解除するように誤って断続的に要求する可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正**重要な注意:**

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

"工場デフォルト設定の復元"機能を使用するとRAIDボリュームが失われる問題に対処しました。

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

Microsoft BitLockerが有効になっているシステムが、OSを正常に再起動した後、ユーザーにドライブのロックを解除するように誤って断続的に要求する可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant DL360/DL380 Gen10 Plus(U46)サーバー

バージョン: 1.58_01-13-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u46-1.58_2022_01_13-1.1.x86_64.rpm; RPMS/x86_64/firmware-system-u46-1.58_2022_01_13-1.1.x86_64_part1.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u46-1.58_2022_01_13-1.1.x86_64_part2.compsig

重要な注意!**重要な注意:**

なし

提供名:

HPE ProLiant DL360/DL380 Gen10 PlusシステムROM - U46

リリースバージョン:

1.58_01-13-2022

最新の推奨またはクリティカルリリース:

1.58_01-13-2022

以前のリリース:

1.56_11-29-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

工場出荷時デフォルトのリストアの動作を、UEFI、NIC、およびRAIDカードの設定のリストアからUEFIのみに変更しました。

修正された問題点:

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

HPE NS204i-p NVMe OS Boot Deviceを搭載したシステムが断続的にシャットダウンし、インテグレートドマネジメントログ (IML)に以下のSystem Overheatingメッセージが記録されることがある問題 (https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=a00119362en_us&docLocale=en_US)に対処しました。「System Overheating (Temperature Sensor 47, Location I/O Board, Temperature61)アクション:ファン、プロセッサーヒートシンク、およびエアパッフルの取り付けを確認してください。」

ROMベースセットアップユーティリティ (RBSU)でIPMIウォッチドッグタイマー機能が有効になっている場合に、コールドブート後のブートプロセス中にハング状態が原因でシステムが自動的に再起動しない可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

HPE NS204i-p NVMe OS Boot Deviceを搭載したシステムが断続的にシャットダウンし、インテグレートドマネジメントログ (IML)に以下のSystem Overheatingメッセージが記録されることがある問題 (https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=a00119362en_us&docLocale=en_US)に対処しました。「System Overheating (Temperature Sensor 47, Location I/O Board, Temperature61)アクション:ファン、プロセッサーヒートシンク、およびエアパッフルの取り付けを確認してください。」

ROMベースセットアップユーティリティ (RBSU)でIPMIウォッチドッグタイマー機能が有効になっている場合に、コールドブート後のブートプロセス中にハング状態が原因でシステムが自動的に再起動しない可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

工場出荷時デフォルトのリストアの動作を、UEFI、NIC、およびRAIDカードの設定のリストアからUEFIのみに変更しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant DL380 Gen10(U30)サーバー

バージョン: 2.62_03-08-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u30-2.62_2022_03_08-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u30-2.62_2022_03_08-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update(IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

このシステムROMは、使用できなくなったシステムROMのv2.60リビジョンを使用するシステムにとってクリティカルと見なされません。

System ROM 2.60からSystem ROM 2.62にアップデートしたら、次の手順に進みます。

1. サーバーを再起動し、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [アドバンスドECCサポート]の変更に移動します。
2. 保存して、サーバーを再起動します。
3. [アドバンスドメモリ保護:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]がPOST中または [RBSU] > [アドバンスドメモリ保護]に移動することでロードされることを確認します。[アドバンスドメモリ保護モード:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]が設定されている場合は、手順4と手順5をスキップします。
4. AMPモードがファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)に設定されていない場合は、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]の変更に移動します。
5. 保存して、サーバーを再起動します。

注記:手順1に従ってワークロードプロファイルでAMPモードを[アドバンスドECCサポート]に変更できない場合は、カスタムワークロードプロファイルを設定して[アドバンスドECCサポート]を構成します。手順4で、目的のワークロードプロファイルとAMPモード[アドバンスドECCサポート]に戻します。

詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00121538en_usを参照してください。

提供名:

HPE ProLiant DL380 Gen10システムROM - U30

リリースバージョン:

2.62_03-08-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.62_03-08-2022

以前のリビジョン:

2.60_01-13-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROM(01/13/2022)v2.60の使用時に、アドバンスドメモリプロテクション(AMP)モードが[HPEファーストフォールトトレラント(ADDDC)]に構成されている場合でも、AMPモードが[アドバンスドECC]に設定された状態でシステムが起動する問題に対処しました。この問題は、AMPモードがADDDC以外のモードに構成されている場合は発生しません。この問題によって、システムROMの他のリビジョンは影響を受けません。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正**重要な注意:**

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update(IPU)バージョンIPU.2021.2ガイドランスに沿ったアップデートが含まれています。

このシステムROMは、使用できなくなったシステムROMのv2.60リビジョンを使用するシステムにとってクリティカルと見なされません。

System ROM 2.60からSystem ROM 2.62にアップデートしたら、次の手順に進みます。

1. サーバーを再起動し、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [アドバンスドECCサポート]の変更に移動します。
2. 保存して、サーバーを再起動します。
3. [アドバンスドメモリ保護:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]がPOST中または [RBSU] > [アドバンスドメモリ保護]に移動することでロードされることを確認します。[アドバンスドメモリ保護モード:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]が設定されている場合は、手順4と手順5をスキップします。
4. AMPモードがファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)に設定されていない場合は、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]の変更に移動します。
5. 保存して、サーバーを再起動します。

注記:手順1に従ってワークロードプロファイルでAMPモードを[アドバンスドECCサポート]に変更できない場合は、カスタムワークロードプロファイルを設定して[アドバンスドECCサポート]を構成します。手順4で、目的のワークロードプロファイルとAMPモード[アドバンスドECCサポート]に戻します。

詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00121538en_usを参照してください。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROM(01/13/2022)v2.60の使用時に、アドバンスドメモリプロテクション(AMP)モードが[HPEファーストフォールトトレラント(ADDDC)]に構成されている場合でも、AMPモードが[アドバンスドECC]に設定された状態でシステムが起動する問題に対処しました。この問題は、AMPモードがADDDC以外のモードに構成されている場合は発生しません。この問題によって、システムROMの他のリビジョンは影響を受けません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant DL560 Gen10/DL580 Gen10(U34) サーバー

バージョン: 2.62_03-08-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u34-2.62_2022_03_08-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u34-2.62_2022_03_08-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update(IPU)バージョンIPU.2021.2ガイドランスに沿ったアップデートが含まれています。

このシステムROMは、使用できなくなったシステムROMのv2.60リビジョンを使用するシステムにとってクリティカルと見なされません。

System ROM 2.60からSystem ROM 2.62にアップデートしたら、次の手順に進みます。

1. サーバーを再起動し、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [アドバンスドECCサポート]の変更に移動します。
2. 保存して、サーバーを再起動します。
3. [アドバンスドメモリ保護:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]がPOST中または [RBSU] > [アドバンスドメモリ保護]に移動することでロードされることを確認します。[アドバンスドメモリ保護モード:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]が設定されている場合は、手順4と手順5をスキップします。

4. AMPモードがファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)に設定されていない場合は、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスメモリ保護] > [ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]の変更に移動します。

5. 保存して、サーバーを再起動します。

注記:手順1に従ってワークロードプロファイルでAMPモードを[アドバンスECCサポート]に変更できない場合は、カスタムワークロードプロファイルを設定して[アドバンスECCサポート]を構成します。手順4で、目的のワークロードプロファイルとAMPモード[アドバンスECCサポート]に戻します。

詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00121538en_usを参照してください。

提供名:

HPE ProLiant DL560 Gen10/DL580 Gen10システムROM - U34

リリースバージョン:

2.62_03-08-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.62_03-08-2022

以前のリビジョン:

2.60_01-13-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROM(01/13/2022)v2.60の使用時に、アドバンスメモリプロテクション(AMP)モードが[HPEファーストフォールトトレラント(ADDDC)]に構成されている場合でも、AMPモードが[アドバンスECC]に設定された状態でシステムが起動する問題に対処しました。この問題は、AMPモードがADDDC以外のモードに構成されている場合は発生しません。この問題によって、システムROMの他のリビジョンは影響を受けません。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update(IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

このシステムROMは、使用できなくなったシステムROMのv2.60リビジョンを使用するシステムにとってクリティカルと見なされません。

System ROM 2.60からSystem ROM 2.62にアップデートしたら、次の手順に進みます。

1. サーバーを再起動し、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスメモリ保護] > [アドバンスECCサポート]の変更に移動します。

2. 保存して、サーバーを再起動します。

3. [アドバンスメモリ保護:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]がPOST中または [RBSU] > [アドバンスメモリ保護]に移動することでロードされることを確認します。[アドバンスメモリ保護モード:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]が設定されている場合は、手順4と手順5をスキップします。

4. AMPモードがファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)に設定されていない場合は、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスメモリ保護] > [ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]の変更に移動します。

5. 保存して、サーバーを再起動します。

注記:手順1に従ってワークロードプロファイルでAMPモードを[アドバンスドECCサポート]に変更できない場合は、カスタムワークロードプロファイルを設定して[アドバンスドECCサポート]を構成します。手順4で、目的のワークロードプロファイルとAMPモード[アドバンスドECCサポート]に戻します。

詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00121538en_usを参照してください。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROM(01/13/2022)v2.60の使用時に、アドバンスドメモリプロテクション(AMP)モードが[HPEファーストフォールトトレラント(ADDDC)]に構成されている場合でも、AMPモードが[アドバンスドECC]に設定された状態でシステムが起動する問題に対処しました。この問題は、AMPモードがADDDC以外のモードに構成されている場合は発生しません。この問題によって、システムROMの他のリビジョンは影響を受けません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus (U48) サーバー

バージョン: 2.56_01-20-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u48-2.56_2022_01_20-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u48-2.56_2022_01_20-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update (IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE MicroServer Gen10 PlusシステムROM - U48

リリースバージョン:

2.56_01-20-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.56_01-20-2022

以前のリビジョン:

2.54_10-21-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、セキュリティの脆弱性CVE-2021-0092、CVE-2021-0127、CVE-2021-0156、およびCVE-2021-0157の緩和策を提供するIntel Platform Update 2021.2が含まれています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

IPのフラッシュが完了した後に、システムのブートモードがUEFIモードからレガシーモードに変更され、UEFIモードに設定した後にIPに入るときにシステムがハングする可能性がある問題を修正しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update (IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2021-0157として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供する、最新バージョンのインテルIPU 2021.2が含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant XL225n Gen10 Plus (A46) サーバー

バージョン: 2.56_02-10-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-a46-2.56_2022_02_10-1.1.x86_64.rpm; RPMS/x86_64/firmware-system-a46-2.56_2022_02_10-1.1.x86_64_part1.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-a46-2.56_2022_02_10-1.1.x86_64_part2.compsig

修正

ファームウェア製品の製品概要からダウンロード製品バイナリページにあるリリースドキュメントA46_2.50_07_14_2021を参照してください。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant XL230k Gen10 (U37)サーバー

バージョン: 2.62_03-08-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u37-2.62_2022_03_08-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u37-2.62_2022_03_08-1.1.x86_64.rpm

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

ファームウェア製品の製品概要から、製品バイナリのダウンロードページのリリースドキュメントU37_2.52_07_08_2021を参照してください。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE Apollo 6500 Gen10/HPE ProLiant XL270d Gen10 (U45) サーバー

バージョン: 2.62_03-08-2022 (推奨)

ファイル名: cp051196.compsig; cp051196.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Apollo 6500 Gen10/HPE ProLiant XL270d Gen10 システムROM - U45

リリースバージョン:

2.42_01-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.42_01-23-2021

以前のリビジョン:

2.40_10-26-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

修正された問題:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレートドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレートドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレートドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

ファームウェア製品の製品概要から、製品バイナリのダウンロードページのリリースドキュメントU45_2.52_07_08_2021を参照してください。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant DL160 Gen10/DL180 Gen10 (U31)サーバー

バージョン: 2.62_03-08-2022 (推奨)

ファイル名: cp051162.compsig; cp051162.exe

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update(IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

このシステムROMは、使用できなくなったシステムROMのv2.60リビジョンを使用するシステムにとってクリティカルと見なされません。

System ROM 2.60からSystem ROM 2.62にアップデートしたら、次の手順に進みます。

1. サーバーを再起動し、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [アドバンスドECCサポート]の変更に移動します。
2. 保存して、サーバーを再起動します。
3. [アドバンスドメモリ保護:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]がPOST中または [RBSU] > [アドバンスドメモリ保護]に移動することでロードされることを確認します。[アドバンスドメモリ保護モード:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]が設定されている場合は、手順4と手順5をスキップします。
4. AMPモードがファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)に設定されていない場合は、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]の変更に移動します。
5. 保存して、サーバーを再起動します。

注記:手順1に従ってワークロードプロファイルでAMPモードを[アドバンスドECCサポート]に変更できない場合は、カスタムワークロードプロファイルを設定して[アドバンスドECCサポート]を構成します。手順4で、目的のワークロードプロファイルとAMPモード[アドバンスドECCサポート]に戻します。

詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00121538en_usを参照してください。

提供名:

HPE ProLiant DL160 Gen10/DL180 Gen10 システムROM - U31

リリースバージョン:

2.62_03-08-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.62_03-08-2022

以前のリビジョン:

2.60_01-13-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROM(01/13/2022)v2.60の使用時に、アドバンスドメモリプロテクション(AMP)モードが[HPEファーストフォールトトレラント(ADDDC)]に構成されている場合でも、AMPモードが[アドバンスドECC]に設定された状態でシステムが起動する問題に対処しました。この問題は、AMPモードがADDDC以外のモードに構成されている場合は発生しません。この問題によって、システムROMの他のリビジョンは影響を受けません。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update(IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

このシステムROMは、使用できなくなったシステムROMのv2.60リビジョンを使用するシステムにとってクリティカルと見なされません。

System ROM 2.60からSystem ROM 2.62にアップデートしたら、次の手順に進みます。

1. サーバーを再起動し、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [アドバンスドECCサポート]の変更に移動します。
2. 保存して、サーバーを再起動します。
3. [アドバンスドメモリ保護:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]がPOST中または [RBSU] > [アドバンスドメモリ保護]に移動することでロードされることを確認します。[アドバンスドメモリ保護モード:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]が設定されている場合は、手順4と手順5をスキップします。
4. AMPモードがファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)に設定されていない場合は、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]の変更に移動します。
5. 保存して、サーバーを再起動します。

注記:手順1に従ってワークロードプロファイルでAMPモードを[アドバンスドECCサポート]に変更できない場合は、カスタムワークロードプロファイルを設定して[アドバンスドECCサポート]を構成します。手順4で、目的のワークロードプロファイルとAMPモード[アドバンスドECCサポート]に戻します。

詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00121538en_usを参照してください。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROM(01/13/2022)v2.60の使用時に、アドバンスドメモリプロテクション(AMP)モードが[HPEファーストフォールトトレラント(ADDDC)]に構成されている場合でも、AMPモードが[アドバンスドECC]に設定された状態でシステムが起動する問題に対処しました。この問題は、AMPモードがADDDC以外のモードに構成されている場合は発生しません。この問題によって、システムROMの他のリビジョンは影響を受けません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant DL380 Gen10 (U30)サーバー

バージョン: 2.62_03-08-2022 (推奨)

ファイル名: cp051159.compsig; cp051159.exe

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update(IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

このシステムROMは、使用できなくなったシステムROMのv2.60リビジョンを使用するシステムにとってクリティカルと見なされません。

System ROM 2.60からSystem ROM 2.62にアップデートしたら、次の手順に進みます。

1. サーバーを再起動し、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [アドバンスドECCサポート]の変更に移動します。
2. 保存して、サーバーを再起動します。
3. [アドバンスドメモリ保護:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]がPOST中または [RBSU] > [アドバンスドメモリ保護]に移動することでロードされることを確認します。[アドバンスドメモリ保護モード:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]が設定されている場合は、手順4と手順5をスキップします。
4. AMPモードがファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)に設定されていない場合は、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]の変更に移動します。
5. 保存して、サーバーを再起動します。

注記:手順1に従ってワークロードプロファイルでAMPモードを[アドバンストECCサポート]に変更できない場合は、カスタムワークロードプロファイルを設定して[アドバンストECCサポート]を構成します。手順4で、目的のワークロードプロファイルとAMPモード[アドバンストECCサポート]に戻します。

詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00121538en_usを参照してください。

提供名:

HPE ProLiant DL380 Gen10システムROM - U30

リリースバージョン:

2.62_03-08-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.62_03-08-2022

以前のリビジョン:

2.60_01-13-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROM(01/13/2022)v2.60の使用時に、アドバンストメモリプロテクション(AMP)モードが[HPEファーストフォールトトレラント(ADDDC)]に構成されている場合でも、AMPモードが[アドバンストECC]に設定された状態でシステムが起動する問題に対処しました。この問題は、AMPモードがADDDC以外のモードに構成されている場合は発生しません。この問題によって、システムROMの他のリビジョンは影響を受けません。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update(IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

このシステムROMは、使用できなくなったシステムROMのv2.60リビジョンを使用するシステムにとってクリティカルと見なされません。

System ROM 2.60からSystem ROM 2.62にアップデートしたら、次の手順に進みます。

1. サーバーを再起動し、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンストメモリ保護] > [アドバンストECCサポート]の変更に移動します。
2. 保存して、サーバーを再起動します。
3. [アドバンストメモリ保護:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]がPOST中または [RBSU] > [アドバンストメモリ保護]に移動することでロードされることを確認します。[アドバンストメモリ保護モード:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]が設定されている場合は、手順4と手順5をスキップします。
4. AMPモードがファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)に設定されていない場合は、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンストメモリ保護] > [ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]の変更に移動します。
5. 保存して、サーバーを再起動します。

注記:手順1に従ってワークロードプロファイルでAMPモードを[アドバンストECCサポート]に変更できない場合は、カスタムワークロードプロファイルを設定して[アドバンストECCサポート]を構成します。手順4で、目的のワークロードプロファイルとAMPモード

ド[アドバンストECCサポート]に戻します。

詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00121538en_usを参照してください。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROM(01/13/2022)v2.60の使用時に、アドバンストメモリプロテクション(AMP)モードが[HPEファーストフォールトトレラント(ADDDC)]に構成されている場合でも、AMPモードが[アドバンストECC]に設定された状態でシステムが起動する問題に対処しました。この問題は、AMPモードがADDDC以外のモードに構成されている場合は発生しません。この問題によって、システムROMの他のリビジョンは影響を受けません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant DL560 Gen10/DL580 Gen10 (U34)サーバー

バージョン: 2.62_03-08-2022 (推奨)

ファイル名: cp051178.compsig; cp051178.exe

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update(IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

このシステムROMは、使用できなくなったシステムROMのv2.60リビジョンを使用するシステムにとってクリティカルと見なされません。

System ROM 2.60からSystem ROM 2.62にアップデートしたら、次の手順に進みます。

1. サーバーを再起動し、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンストメモリ保護] > [アドバンストECCサポート]の変更に移動します。
2. 保存して、サーバーを再起動します。
3. [アドバンストメモリ保護:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]がPOST中または [RBSU] > [アドバンストメモリ保護]に移動することでロードされることを確認します。[アドバンストメモリ保護モード:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]が設定されている場合は、手順4と手順5をスキップします。
4. AMPモードがファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)に設定されていない場合は、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンストメモリ保護] > [ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]の変更に移動します。
5. 保存して、サーバーを再起動します。

注記:手順1に従ってワークロードプロファイルでAMPモードを[アドバンストECCサポート]に変更できない場合は、カスタムワークロードプロファイルを設定して[アドバンストECCサポート]を構成します。手順4で、目的のワークロードプロファイルとAMPモード[アドバンストECCサポート]に戻します。

詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00121538en_usを参照してください。

提供名:

HPE ProLiant DL560 Gen10/DL580 Gen10システムROM - U34

リリースバージョン:

2.62_03-08-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.62_03-08-2022

以前のリビジョン:

2.60_01-13-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROM(01/13/2022)v2.60の使用時に、アドバンスドメモリプロテクション(AMP)モードが[HPEファーストフォールトトレラント(ADDDC)]に構成されている場合でも、AMPモードが[アドバンスドECC]に設定された状態でシステムが起動する問題に対処しました。この問題は、AMPモードがADDDC以外のモードに構成されている場合は発生しません。この問題によって、システムROMの他のリビジョンは影響を受けません。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正**重要な注意:**

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update(IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

このシステムROMは、使用できなくなったシステムROMのv2.60リビジョンを使用するシステムにとってクリティカルと見なされません。

System ROM 2.60からSystem ROM 2.62にアップデートしたら、次の手順に進みます。

1. サーバーを再起動し、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [アドバンスドECCサポート]の変更に移動します。
2. 保存して、サーバーを再起動します。
3. [アドバンスドメモリ保護:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]がPOST中または [RBSU] > [アドバンスドメモリ保護]に移動することでロードされることを確認します。[アドバンスドメモリ保護モード:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]が設定されている場合は、手順4と手順5をスキップします。
4. AMPモードがファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)に設定されていない場合は、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]の変更に移動します。
5. 保存して、サーバーを再起動します。

注記:手順1に従ってワークロードプロファイルでAMPモードを[アドバンスドECCサポート]に変更できない場合は、カスタムワークロードプロファイルを設定して[アドバンスドECCサポート]を構成します。手順4で、目的のワークロードプロファイルとAMPモード[アドバンスドECCサポート]に戻します。

詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00121538en_usを参照してください。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROM(01/13/2022)v2.60の使用時に、アドバンスドメモリプロテクション(AMP)モードが[HPEファーストフォールトトレラント(ADDDC)]に構成されている場合でも、AMPモードが[アドバンスドECC]に設定された状態でシステムが起動する問題に対処しました。この問題は、AMPモードがADDDC以外のモードに構成されている場合は発生しません。この問題によって、システムROMの他のリビジョンは影響を受けません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus (U48) サーバー

バージョン: 2.56_01-20-2022 (推奨)

ファイル名: cp050882.compsig; cp050882.exe

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update (IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE MicroServer Gen10 PlusシステムROM - U48

リリースバージョン:

2.56_01-20-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.56_01-20-2022

以前のリビジョン:

2.54_10-21-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、セキュリティの脆弱性CVE-2021-0092、CVE-2021-0127、CVE-2021-0156、およびCVE-2021-0157の緩和策を提供するIntel Platform Update 2021.2が含まれています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

IPのフラッシュが完了した後に、システムのブートモードがUEFIモードからレガシーモードに変更され、UEFIモードに設定した後にIPに入るときにシステムがハングする可能性がある問題を修正しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update (IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

このシステムROMのリビジョンには、BIOSアドバイザリおよびCVE-2021-0157として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供する、最新バージョンのインテルIPU 2021.2が含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、CVEレポートサイトに記録されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant XL225n Gen10 Plus (A46) サーバー

バージョン: 2.56_02-10-2022 (推奨)

ファイル名: cp050500.exe; cp050500_part1.compsig; cp050500_part2.compsig

修正

ファームウェア製品の製品概要からダウンロード製品バイナリページにあるリリースドキュメントA46_2.50_07_14_2021を参照してください。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant XL230k Gen10 (U37)サーバー

バージョン: 2.62_03-08-2022 (推奨)

ファイル名: cp051193.compsig; cp051193.exe

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update (IPU)バージョンIPU.2021.1ガイドランスに沿ったアップデートが含まれています。

HPEは、Intel Optane Persistent Memoryを使用しているお客様が、このバージョンのシステムROMにアップデートすることを推奨しています。

提供名:

HPE ProLiant XL230k Gen10システムROM - U37

リリースバージョン:

2.50_05-24-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.50_05-24-2021

以前のリビジョン:

2.42_01-23-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

IPMIウォッチドッグタイマーと呼ばれる新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションがサーバーの可用性に追加されました。有効にすると、システムはブート中にIPMIベースのウォッチドッグタイマーを開始します。これは、ブートハングやその他の予期しないシステムブートの問題から保護するために使用できます。オペレーティングシステムが起動したら、ユーザーの責任でIPMIウォッチドッグタイマーを無効にする必要があります。タイマーを無効にしないと、予期しないサーバーのリセットまたはシャットダウンが発生する可能性があります。

UEFI可変アクセスファームウェア制御と呼ばれる新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションをサーバーセキュリティに追加しました。このオプションを有効にすると、オペレーティングシステムまたはサードパーティユーティリティからのUEFIブート順序などへのUEFI変数の書き込みをブロックするために使用できます。HPEは、通常ではOSインストール時に発生するUEFI変数への書き込みというオペレーティングシステムの通常動作を特に防ぐ場合を除き、この機能を無効にしておくことをお勧めしています。

Windows Server 2022の BIOS TPM 1.2サポートをアップデートしました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにRESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

修正された問題:

Intel Optane DC Persistent Memoryがインストールされ、メモリモード(2LM)または混合モード用に構成されていると、システムで予期しないシャットダウンが発生するか、バンク4またはバンク6のマシントラップが発生する可能性がある問題に対処しました。この問題は、これらのモードのいずれかでIntel Optane DC Persistent Memoryが構成されているシステムにのみ影響します。HPEは、Intel Optane DC Persistent Memoryをメモリモード(2LM)または混合モードで使用しているすべてのお客様に、このバージョンのシステムROMにアップデートすることを推奨します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-24511として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-464に文書化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006B06(CPUID 50654)および0x05003103(CPUID 50567)です。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12358、CVE-2020-12360およびCVE-2020-24486として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、インテルテクニカルスペックアップデートに記載されているさまざまな機能問題に対処するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらの問題は、EIBRS Guest/Host and REP MOVSB* MCE on Memory Not Access Issueとしてドキュメント化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

RBSU拡張メモリテストオプションが有効になっている場合、POST中にサーバーが応答しなくなる、またはPOSTを完了するのに予想しない時間がかかる問題に対処しました。

インテルXeonスケーラブルプロセッサの混合SKUがインストールされている場合にサーバーが起動できる問題に対処しました。これらの構成では、サーバーはエラーメッセージを表示し、起動を停止する必要があります。

システムROMが最新バージョンのHPE電源装置との電源装置不一致状態をログに記録していた問題に対処しました。この問題が発生したとき、動的消費電力上限と高効率電源装置モードも無効になっていました。この問題を適切に軽減するには、iLOファームウェアバージョン2.50以降も必要です。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

ファームウェア製品の製品概要から、製品バイナリのダウンロードページのリリースドキュメントU37_2.52_07_08_2021を参照してください。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE Apollo 2000 Gen10/HPE ProLiant XL170r/XL190r Gen10 (U38) サーバー

バージョン: 2.62_03-08-2022 (**推奨**)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u38-2.62_2022_03_08-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u38-2.62_2022_03_08-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update (IPU)バージョンIPU.2021.1ガイドラインに沿ったアップデートが含まれています。

HPEは、Intel Optane Persistent Memoryを使用しているお客様が、このバージョンのシステムROMにアップデートすることを推奨しています。

提供名:

HPE Apollo 2000 Gen10/HPE ProLiant XL170r/XL190r Gen10システムROM - U38

リリースバージョン:

2.50_05-24-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.50_05-24-2021

以前のリビジョン:

2.42_01-23-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

IPMIウォッチドッグタイマーと呼ばれる新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションがサーバーの可用性に追加されました。有効にすると、システムはブート中にIPMIベースのウォッチドッグタイマーを開始します。これは、ブートハングやその他の予期しないシステムブートの問題から保護するために使用できます。オペレーティングシステムが起動したら、ユーザーの責任でIPMIウォッチドッグタイマーを無効にする必要があります。タイマーを無効にしないと、予期しないサーバーのリセットまたはシャットダウンが発生する可能性があります。

UEFI可変アクセスファームウェア制御と呼ばれる新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションをサーバーセキュリティに追加しました。このオプションを有効にすると、オペレーティングシステムまたはサードパーティユーティリティからのUEFIブート順序などへのUEFI変数の書き込みをブロックするために使用できます。HPEは、通常ではOSインストール時に発生するUEFI変数への書き込みというオペレーティングシステムの通常動作を特に防ぐ場合を除き、この機能を無効にしておくことをお勧めしています。

Windows Server 2022の BIOS TPM 1.2サポートをアップデートしました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにRESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

修正された問題:

Intel Optane DC Persistent Memoryがインストールされ、メモリモード(2LM)または混合モード用に構成されていると、システムで予期しないシャットダウンが発生するか、バンク4またはバンク6のマシンチェックが発生する可能性がある問題に対処しました。この問題は、これらのモードのいずれかでIntel Optane DC Persistent Memoryが構成されているシステムにのみ影響します。HPEは、Intel Optane DC Persistent Memoryをメモリモード(2LM)または混合モードで使用しているすべてのお客様に、このバージョンのシステムROMにアップデートすることを推奨します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-24511 として文書化されているセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-464に文書化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン 0x02006B06(CPUID 50654)および0x05003103(CPUID 50567)です。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-12358、CVE-2020-12360およびCVE-2020-24486として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00463に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、インテルテクニカルスペックアップデートに記載されているさまざまな機能問題に対処するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらの問題は、EIBRS Guest/Host and REP MOVBS* MCE on Memory Not Access Issueとしてドキュメント化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

RBSU拡張メモリテストオプションが有効になっている場合、POST中にサーバーが応答しなくなる、またはPOSTを完了するのに予期しない時間がかかる問題に対処しました。

インテルXeonスケーラブルプロセッサの混合SKUがインストールされている場合にサーバーが起動できる問題に対処しました。これらの構成では、サーバーはエラーメッセージを表示し、起動を停止する必要があります。

システムROMが最新バージョンのHPE電源装置との電源装置不一致状態をログに記録していた問題に対処しました。この問題が発生したとき、動的消費電力上限と高効率電源装置モードも無効になっていました。この問題を適切に軽減するには、iLOファームウェアバージョン2.50以降も必要です。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE Apollo 4200 Gen10 Plus/HPE ProLiant XL420 Gen10 Plus(U50)サーバー

バージョン: 1.58_01-13-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u50-1.58_2022_01_13-1.1.x86_64.rpm; RPMS/x86_64/firmware-system-u50-1.58_2022_01_13-1.1.x86_64_part1.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u50-1.58_2022_01_13-1.1.x86_64_part2.compsig

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Apollo 4200 Gen10 Plus/ProLiant XL420 Gen10 PlusシステムROM - U50

リリースバージョン:

1.58_01-13-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.58_01-13-2022

以前のリビジョン:

1.56_11-29-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

工場出荷時デフォルトのリストアの動作を、UEFI、NIC、およびRAIDカードの設定のリストアからUEFIのみに変更しました。

修正された問題点:

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

HPE NS204i-p NVMe OS Boot Deviceを搭載したシステムが断続的にシャットダウンし、インテグレートドマネジメントログ (IML)に以下のSystem Overheatingメッセージが記録されることがある問題 (https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=a00119362en_us&docLocale=en_US)に対処しました。「System Overheating (Temperature Sensor 47, Location I/O Board, Temperature61)アクション:ファン、プロセッサヒートシンク、およびエアバッフルの取り付けを確認してください。」

ROMベースセットアップユーティリティ (RBSU)でIPMIウォッチドッグタイマー機能が有効になっている場合に、コールドブート後のブートプロセス中にハング状態が原因でシステムが自動的に再起動しない可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正**重要な注意:**

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

HPE NS204i-p NVMe OS Boot Deviceを搭載したシステムが断続的にシャットダウンし、インテグレートドマネジメントログ (IML)に以下のSystem Overheatingメッセージが記録されることがある問題 (https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=a00119362en_us&docLocale=en_US)に対処しました。「System Overheating (Temperature Sensor 47, Location I/O Board, Temperature61)アクション:ファン、プロセッサヒートシンク、およびエアバッフルの取り付けを確認してください。」

ROMベースセットアップユーティリティ (RBSU)でIPMIウォッチドッグタイマー機能が有効になっている場合に、コールドブート後のブートプロセス中にハング状態が原因でシステムが自動的に再起動しない可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

工場出荷時デフォルトのリストアの動作を、UEFI、NIC、およびRAIDカードの設定のリストアからUEFIのみに変更しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE Apollo 4200 Gen10/HPE ProLiant XL420 Gen10 (U39) サーバー

バージョン: 2.62_03-08-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u39-2.62_2022_03_08-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u39-2.62_2022_03_08-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Apollo 4200 Gen10/HPE ProLiant XL420 Gen10システムROM - U39

リリースバージョン:

2.58_11-24-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.58_11-24-2021

以前のリビジョン:

2.56_10-28-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題:

訂正済みメモリエラーしきい値イベントがインテグレートドマネジメントログ(IML)に記録される可能性がある問題に対処しました。修正されたメモリエラーを監視し、未修正のメモリエラーのリスクが高まるため対処が推奨される場合、Corrected Memory Error Threshold Eventを通じてユーザーに通知します。システムROMの以前のバージョンでは、システムが未修正のメモリエラーのリスクが高くない場合に、修正済みメモリエラーしきい値イベントをログに記録することがあります。訂正済みメモリエラーしきい値イベントのためにDIMMを交換する前に、システムROMをこのバージョンまたはそれ以降にアップデートすることを強くお勧めします。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

訂正済みメモリエラーしきい値イベントがインテグレートドマネジメントログ(IML)に記録される可能性がある問題に対処しました。修正されたメモリエラーを監視し、未修正のメモリエラーのリスクが高まるため対処が推奨される場合、Corrected Memory Error Threshold Eventを通じてユーザーに通知します。システムROMの以前のバージョンでは、システムが未修正のメモリエラーのリスクが高くない場合に、修正済みメモリエラーしきい値イベントをログに記録することがあります。訂正済みメモリエラーしきい値イベントのためにDIMMを交換する前に、システムROMをこのバージョンまたはそれ以降にアップデートすることを強くお勧めします。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE Apollo 4510 Gen10/HPE ProLiant XL450 Gen10 (U40) サーバー

バージョン: 2.62_03-08-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u40-2.62_2022_03_08-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u40-2.62_2022_03_08-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update (IPU)バージョンIPU.2021.2ガイドランスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE Apollo 4510 Gen10/ProLiant XL450 Gen10システムROM - U40

リリースバージョン:

2.60_01-13-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.60_01-13-2022

以前のリビジョン:

2.58_11-24-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。これは、CVE-2021-0092、CVE-2021-0093、CVE-2021-0144のINTEL-SA-00527(2/8)として文書化されているセキュリティの脆弱性に対するBIOSの緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

HPE NS204i-p NVMe OS Boot Deviceを搭載したシステムが断続的にシャットダウンし、インテグレートドマネジメントログ(IML)に以下のSystem Overheatingメッセージが記録されることがある問題(SIK6906)に対処しました。「System Overheating (Temperature Sensor 47, Location I/O Board, Temperature61)アクション:ファン、プロセッサヒートシンク、およびエアバップルの取り付けを確認してください。」

ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でIPMIウォッチドッグタイマー機能が有効になっている場合に、コールドブート後のブートプロセス中にハング状態が原因でシステムが自動的に再起動しない可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

訂正済みメモリエラーしきい値イベントがインテグレートドマネジメントログ(IML)に記録される可能性がある問題に対処しました。修正されたメモリエラーを監視し、未修正のメモリエラーのリスクが高まるため対処が推奨される場合、Corrected Memory Error Threshold Eventを通じてユーザーに通知します。システムROMの以前のバージョンでは、システムが未修正のメモリエラーのリスクが高くない場合に、修正済みメモリエラーしきい値イベントをログに記録することがあります。訂正済みメモリエラーしきい値イベントのためにDIMMを交換する前に、システムROMをこのバージョンまたはそれ以降にアップデートすることを強くお勧めします。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE Apollo 6500 Gen10 Plus/HPE ProLiant XL645d Gen10 Plus (A48)サーバー

バージョン: 2.56_02-10-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-a48-2.56_2022_02_10-1.1.x86_64.rpm; RPMS/x86_64/firmware-system-a48-2.56_2022_02_10-1.1.x86_64_part1.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-a48-2.56_2022_02_10-1.1.x86_64_part2.compsig

修正

ファームウェア製品の製品概要からダウンロード製品バイナリページにあるリリースドキュメントA48_2.50_07_14_2021を参照してください。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE Apollo 6500 Gen10 Plus/HPE ProLiant XL675d Gen10 Plus (A47)サーバー

バージョン: 2.56_02-10-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-a47-2.56_2022_02_10-1.1.x86_64.rpm; RPMS/x86_64/firmware-system-a47-2.56_2022_02_10-1.1.x86_64_part1.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-a47-2.56_2022_02_10-1.1.x86_64_part2.compsig

修正

ファームウェア製品の製品概要からダウンロード製品バイナリページにあるリリースドキュメントA47_2.50_07_14_2021を参照してください。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE DL110 Gen10 Plus Telco(U56)サーバー

バージョン: 1.58_01-13-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u56-1.58_2022_01_13-1.1.x86_64.rpm; RPMS/x86_64/firmware-system-u56-1.58_2022_01_13-1.1.x86_64_part1.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u56-1.58_2022_01_13-1.1.x86_64_part2.compsig

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL110 Gen10 PlusシステムROM - U56

リリースバージョン:

1.58_01-13-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.58_01-13-2022

以前のリビジョン:

1.56_11-29-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

工場出荷時デフォルトのリストアの動作を、UEFI、NIC、およびRAIDカードの設定のリストアからUEFIのみに変更しました。

修正された問題点:

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

HPE NS204i-p NVMe OS Boot Deviceを搭載したシステムが断続的にシャットダウンし、インテグレートドマネジメントログ (IML)に以下のSystem Overheatingメッセージが記録されることがある問題
(https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=a00119362en_us&docLocale=en_US)に対処しました。
「System Overheating (Temperature Sensor 47, Location I/O Board, Temperature61)アクション:ファン、プロセッサクーラーヒートシンク、およびエアバッフルの取り付けを確認してください。」

ROMベースセットアップユーティリティ (RBSU)でIPMIウォッチドッグタイマー機能が有効になっている場合に、コールドブート後のブートプロセス中にハング状態が原因でシステムが自動的に再起動しない可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

HPE NS204i-p NVMe OS Boot Deviceを搭載したシステムが断続的にシャットダウンし、インテグレートドマネジメントログ (IML)に以下のSystem Overheatingメッセージが記録されることがある問題
(https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=a00119362en_us&docLocale=en_US)に対処しました。
「System Overheating (Temperature Sensor 47, Location I/O Board, Temperature61)アクション:ファン、プロセッサクーラーヒートシンク、およびエアバッフルの取り付けを確認してください。」

ROMベースセットアップユーティリティ (RBSU)でIPMIウォッチドッグタイマー機能が有効になっている場合に、コールドブート後のブートプロセス中にハング状態が原因でシステムが自動的に再起動しない可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

工場出荷時デフォルトのリストアの動作を、UEFI、NIC、およびRAIDカードの設定のリストアからUEFIのみに変更しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant BL460c Gen10 (I41)サーバー

バージョン: 2.62_03-08-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-i41-2.62_2022_03_08-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-i41-2.62_2022_03_08-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update(IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

このシステムROMは、使用できなくなったシステムROMのv2.60リビジョンを使用するシステムにとってクリティカルと見なされません。

System ROM 2.60からSystem ROM 2.62にアップデートしたら、次の手順に進みます。

1. サーバーを再起動し、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [アドバンスドECCサポート]の変更に移動します。

2. 保存して、サーバーを再起動します。

3. [アドバンスドメモリ保護:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]がPOST中または [RBSU] > [アドバンスドメモリ保護]に移動することでロードされることを確認します。[アドバンスドメモリ保護モード:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]が設定されている場合は、手順4と手順5をスキップします。

4. AMPモードがファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)に設定されていない場合は、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]の変更に移動します。

5. 保存して、サーバーを再起動します。

注記:手順1に従ってワークロードプロファイルでAMPモードを[アドバンスドECCサポート]に変更できない場合は、カスタムワークロードプロファイルを設定して[アドバンスドECCサポート]を構成します。手順4で、目的のワークロードプロファイルとAMPモード[アドバンスドECCサポート]に戻します。

詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00121538en_usを参照してください。

提供名:

HPE ProLiant BL460c Gen10システムROM - I41

リリースバージョン:

2.62_03-08-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.62_03-08-2022

以前のリビジョン:

2.60_01-13-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROM(01/13/2022)v2.60の使用時に、アドバンスドメモリプロテクション(AMP)モードが[HPEファーストフォールトトレラント(ADDDC)]に構成されている場合でも、AMPモードが[アドバンスドECC]に設定された状態でシステムが起動する問題に対処しました。この問題は、AMPモードがADDDC以外のモードに構成されている場合は発生しません。この問題によって、システムROMの他のリビジョンは影響を受けません。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update(IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

このシステムROMは、使用できなくなったシステムROMのv2.60リビジョンを使用するシステムにとってクリティカルと見なされません。

System ROM 2.60からSystem ROM 2.62にアップデートしたら、次の手順に進みます。

1. サーバーを再起動し、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [アドバンスドECCサポート]の変更に移動します。

2. 保存して、サーバーを再起動します。

3. [アドバンスドメモリ保護:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]がPOST中または [RBSU] > [アドバンスドメモリ保護]に移動することでロードされることを確認します。[アドバンスドメモリ保護モード:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]が設定されている場合は、手順4と手順5をスキップします。

4. AMPモードがファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)に設定されていない場合は、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]の変更に移動します。

5. 保存して、サーバーを再起動します。

注記:手順1に従ってワークロードプロファイルでAMPモードを[アドバンスドECCサポート]に変更できない場合は、カスタムワークロードプロファイルを設定して[アドバンスドECCサポート]を構成します。手順4で、目的のワークロードプロファイルとAMPモード[アドバンスドECCサポート]に戻します。

詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00121538en_usを参照してください。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROM(01/13/2022)v2.60の使用時に、アドバンスドメモリプロテクション(AMP)モードが[HPEファーストフォールトトレラント(ADDDC)]に構成されている場合でも、AMPモードが[アドバンスドECC]に設定された状態でシステムが起動する問題に対処しました。この問題は、AMPモードがADDDC以外のモードに構成されている場合は発生しません。この問題によって、システムROMの他のリビジョンは影響を受けません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant DL325/DL325 v2/DL345 Gen10 Plus(A43)サーバー

バージョン: 2.56_02-10-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-a43-2.56_2022_02_10-1.1.x86_64.rpm; RPMS/x86_64/firmware-system-a43-2.56_2022_02_10-1.1.x86_64_part1.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-a43-2.56_2022_02_10-1.1.x86_64_part2.compsig

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL325/DL325 v2/DL345 Gen10 PlusシステムROM - A43

リリースバージョン:

2.56_02-10-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.56_02-10-2022

以前のリビジョン:

2.54_12-03-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

"工場デフォルト設定の復元"機能を使用するとRAIDボリュームが失われる問題に対処しました。

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

Microsoft BitLockerが有効になっているシステムが、OSを正常に再起動した後、ユーザーにドライブのロックを解除するように誤って断続的に要求する可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

"工場デフォルト設定の復元"機能を使用するとRAIDボリュームが失われる問題に対処しました。

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

Microsoft BitLockerが有効になっているシステムが、OSを正常に再起動した後、ユーザーにドライブのロックを解除するように誤って断続的に要求する可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant DL360 Gen10 (U32)サーバー

バージョン: 2.62_03-08-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u32-2.62_2022_03_08-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u32-2.62_2022_03_08-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update(IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

このシステムROMは、使用できなくなったシステムROMのv2.60リビジョンを使用するシステムにとってクリティカルと見なされません。

System ROM 2.60からSystem ROM 2.62にアップデートしたら、次の手順に進みます。

1. サーバーを再起動し、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [アドバンスドECCサポート]の変更に移動します。
2. 保存して、サーバーを再起動します。
3. [アドバンスドメモリ保護:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]がPOST中または [RBSU] > [アドバンスドメモリ保護]に移動することでロードされることを確認します。[アドバンスドメモリ保護モード:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]が設定されている場合は、手順4と手順5をスキップします。
4. AMPモードがファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)に設定されていない場合は、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]の変更に移動します。
5. 保存して、サーバーを再起動します。

注記:手順1に従ってワークロードプロファイルでAMPモードを[アドバンスドECCサポート]に変更できない場合は、カスタムワークロードプロファイルを設定して[アドバンスドECCサポート]を構成します。手順4で、目的のワークロードプロファイルとAMPモード[アドバンスドECCサポート]に戻します。

詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00121538en_usを参照してください。

提供名:

HPE ProLiant DL360 Gen10システムROM - U32

リリースバージョン:

2.62_03-08-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.62_03-08-2022

以前のリビジョン:

2.60_01-13-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROM(01/13/2022)v2.60の使用時に、アドバンスドメモリプロテクション(AMP)モードが[HPEファーストフォールトトレラント(ADDDC)]に構成されている場合でも、AMPモードが[アドバンスドECC]に設定された状態でシステムが起動する問題に対処しました。この問題は、AMPモードがADDDC以外のモードに構成されている場合は発生しません。この問題によって、システムROMの他のリビジョンは影響を受けません。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正**重要な注意:**

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update(IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

このシステムROMは、使用できなくなったシステムROMのv2.60リビジョンを使用するシステムにとってクリティカルと見なされません。

System ROM 2.60からSystem ROM 2.62にアップデートしたら、次の手順に進みます。

1. サーバーを再起動し、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [アドバンスドECCサポート]の変更に移動します。
2. 保存して、サーバーを再起動します。
3. [アドバンスドメモリ保護:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]がPOST中または [RBSU] > [アドバンスドメモリ保護]に移動することでロードされることを確認します。[アドバンスドメモリ保護モード:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]が設定されている場合は、手順4と手順5をスキップします。
4. AMPモードがファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)に設定されていない場合は、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]の変更に移動します。
5. 保存して、サーバーを再起動します。

注記:手順1に従ってワークロードプロファイルでAMPモードを[アドバンスドECCサポート]に変更できない場合は、カスタムワークロードプロファイルを設定して[アドバンスドECCサポート]を構成します。手順4で、目的のワークロードプロファイルとAMPモード[アドバンスドECCサポート]に戻します。

詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00121538en_usを参照してください。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROM(01/13/2022)v2.60の使用時に、アドバンスドメモリプロテクション(AMP)モードが[HPEファーストフォールトトレラント(ADDDC)]に構成されている場合でも、AMPモードが[アドバンスドECC]に設定された状態でシステムが起動する問題に対処しました。この問題は、AMPモードがADDDC以外のモードに構成されている場合は発生しません。この問題によって、システムROMの他のリビジョンは影響を受けません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant DL365/DL385/DL385 v2 Gen10 Plus(A42)サーバー

バージョン: 2.56_02-10-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-a42-2.56_2022_02_10-1.1.x86_64.rpm; RPMS/x86_64/firmware-system-a42-2.56_2022_02_10-1.1.x86_64_part1.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-a42-2.56_2022_02_10-1.1.x86_64_part2.compsig

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL365/DL385/DL385 v2 Gen10 PlusシステムROM - A42

リリースバージョン:

2.56_02-10-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.56_02-10-2022

以前のリビジョン:

2.54_12-03-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

"工場デフォルト設定の復元"機能を使用するとRAIDボリュームが失われる問題に対処しました。

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

Microsoft BitLockerが有効になっているシステムが、OSを正常に再起動した後、ユーザーにドライブのロックを解除するように誤って断続的に要求する可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

"工場デフォルト設定の復元"機能を使用するとRAIDボリュームが失われる問題に対処しました。

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

Microsoft BitLockerが有効になっているシステムが、OSを正常に再起動した後、ユーザーにドライブのロックを解除するように誤って断続的に要求する可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant DL385 Gen10 (A40) サーバー

バージョン: 2.56_02-10-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-a40-2.56_2022_02_10-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-a40-2.56_2022_02_10-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!**重要な注意:**

なし

提供名:

HPE ProLiant DL385 Gen10システムROM - A40

リリースバージョン:

2.56_02-10-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.56_02-10-2022

以前のリビジョン:

2.54_12-03-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

"工場デフォルト設定の復元"機能を使用するとRAIDボリュームが失われる問題に対処しました。

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

Microsoft BitLockerが有効になっているシステムが、OSを正常に再起動した後、ユーザーにドライブのロックを解除するように誤って断続的に要求する可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

"工場デフォルト設定の復元"機能を使用するとRAIDボリュームが失われる問題に対処しました。

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

Microsoft BitLockerが有効になっているシステムが、OSを正常に再起動した後、ユーザーにドライブのロックを解除するように誤って断続的に要求する可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant ML110 Gen10 (U33)サーバー

バージョン: 2.62_03-08-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u33-2.62_2022_03_08-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u33-2.62_2022_03_08-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!**重要な注意:**

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update(IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

このシステムROMは、使用できなくなったシステムROMのv2.60リビジョンを使用するシステムにとってクリティカルと見なされません。

System ROM 2.60からSystem ROM 2.62にアップデートしたら、次の手順に進みます。

1. サーバーを再起動し、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [アドバンスドECCサポート]の変更に移動します。
2. 保存して、サーバーを再起動します。
3. [アドバンスドメモリ保護:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]がPOST中または [RBSU] > [アドバンスドメモリ保護]に移動することでロードされることを確認します。[アドバンスドメモリ保護モード:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]が設定されている場合は、手順4と手順5をスキップします。
4. AMPモードがファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)に設定されていない場合は、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]の変更に移動します。
5. 保存して、サーバーを再起動します。

注記:手順1に従ってワークロードプロファイルでAMPモードを[アドバンスドECCサポート]に変更できない場合は、カスタムワークロードプロファイルを設定して[アドバンスドECCサポート]を構成します。手順4で、目的のワークロードプロファイルとAMPモード[アドバンスドECCサポート]に戻します。

詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00121538en_usを参照してください。

提供名:

HPE ProLiant ML110 Gen10システムROM - U33

リリースバージョン:

2.62_03-08-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.62_03-08-2022

以前のリビジョン:

2.60_01-13-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROM(01/13/2022)v2.60の使用時に、アドバンスドメモリプロテクション(AMP)モードが[HPEファーストフォールトトレラント(ADDDC)]に構成されている場合でも、AMPモードが[アドバンスドECC]に設定された状態でシステムが起動する問題に対処しました。この問題は、AMPモードがADDDC以外のモードに構成されている場合は発生しません。この問題によって、システムROMの他のリビジョンは影響を受けません。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update(IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

このシステムROMは、使用できなくなったシステムROMのv2.60リビジョンを使用するシステムにとってクリティカルと見なされません。

System ROM 2.60からSystem ROM 2.62にアップデートしたら、次の手順に進みます。

1. サーバーを再起動し、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [アドバンスドECCサポート]の変更に移動します。
2. 保存して、サーバーを再起動します。
3. [アドバンスドメモリ保護:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]がPOST中または [RBSU] > [アドバンスドメモリ保護]に移動することでロードされることを確認します。[アドバンスドメモリ保護モード:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]が設定されている場合は、手順4と手順5をスキップします。
4. AMPモードがファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)に設定されていない場合は、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]の変更に移動します。
5. 保存して、サーバーを再起動します。

注記:手順1に従ってワークロードプロファイルでAMPモードを[アドバンスドECCサポート]に変更できない場合は、カスタムワークロードプロファイルを設定して[アドバンスドECCサポート]を構成します。手順4で、目的のワークロードプロファイルとAMPモード[アドバンスドECCサポート]に戻します。

詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00121538en_usを参照してください。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROM(01/13/2022)v2.60の使用時に、アドバンスドメモリプロテクション(AMP)モードが[HPEファーストフォールトトレラント(ADDDC)]に構成されている場合でも、AMPモードが[アドバンスドECC]に設定された状態でシステムが起動する問題に対処しました。この問題は、AMPモードがADDDC以外のモードに構成されている場合は発生しません。この問題によって、システムROMの他のリビジョンは影響を受けません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant ML30 Gen10 Plusサーバー

バージョン: 1.54_01-13-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u61-1.54_2022_01_13-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u61-1.54_2022_01_13-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant ML30 Gen10 PlusシステムROM - U61

リリースバージョン:

1.54_01-13-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.54_01-13-2022

以前のリビジョン:

1.52_10-29-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。Windows Server 2022は、Secured-coreと呼ばれる新しいセキュリティ機能を追加します。Secured-coreは、インテル® Xeon® プロセッサでのみサポートされます。Secured-coreサーバーは、ハードウェア機能、ファームウェアの有効化、およびWindows Serverオペレーティングシステム機能の組み合わせを使用して、マルウェアおよびルートキットのセキュリティエクスプロイトに対する保護を提供します。

Microsoft Secured-coreサポート用の新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加されました。この設定を有効にすると、次のポリシーが変更され、対応するオプションが構成されます。インテル®バーチャライゼーションテクノロジーが有効、インテル® VT-dが有効、インテル® TXTサポートが有効、セキュアブートが有効、TPMが2.0モードで有効。Secured-coreが有効になっている間にこれらの機能のいずれかを無効にすると、Secured-coreが適切に動作しなくなる可能性があります。

レガシーUEFIブートのサポートに追加されました。

インテルPentium CPUのサポートを追加しました。

修正された問題点:

どちらか一方をクリアするときに、電源投入時パスワードと管理者パスワードの両方がクリアされる問題に対処しました。この修正により、2つのパスワードは意図したとおりに独立して扱われます。

このオプションはこのプラットフォームではサポートされていないため、RBSUメニューからDynamic Power Capping Functionality オプションを削除しました。

このオプションはこのプラットフォームではサポートされていないため、RBSUメニューからTPM1.2オプションを削除しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

どちらか一方をクリアするときに、電源投入時パスワードと管理者パスワードの両方がクリアされる問題に対処しました。この修正により、2つのパスワードは意図したとおりに独立して扱われます。

このオプションはこのプラットフォームではサポートされていないため、RBSUメニューからDynamic Power Capping Functionality オプションを削除しました。

このオプションはこのプラットフォームではサポートされていないため、RBSUメニューからTPM1.2オプションを削除しました。

既知の問題点:

なし

拡張

Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。Windows Server 2022は、Secured-coreと呼ばれる新しいセキュリティ機能を追加します。Secured-coreは、インテル® Xeon® プロセッサでのみサポートされます。Secured-coreサーバーは、ハードウェア機能、ファームウェアの有効化、およびWindows Serverオペレーティングシステム機能の組み合わせを使用し、マルウェアおよびルートキットのセキュリティエクスポloitに対する保護を提供します。

Microsoft Secured-coreサポート用の新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加されました。この設定を有効にすると、次のポリシーが変更され、対応するオプションが構成されます。インテル®バーチャライゼーションテクノロジーが有効、インテル® VT-dが有効、インテル® TXTサポートが有効、セキュアブートが有効、TPMが2.0モードで有効。Secured-coreが有効になっている間にこれらの機能のいずれかを無効にすると、Secured-coreが適切に動作しなくなる可能性があります。

レガシーUEFIブートのサポートに追加されました。

インテルPentium CPUのサポートが追加されました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant ML350 Gen10 (U41) サーバー

バージョン: 2.62_03-08-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u41-2.62_2022_03_08-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u41-2.62_2022_03_08-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update(IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

このシステムROMは、使用できなくなったシステムROMのv2.60リビジョンを使用するシステムにとってクリティカルと見なされません。

System ROM 2.60からSystem ROM 2.62にアップデートしたら、次の手順に進みます。

1. サーバーを再起動し、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [アドバンスドECCサポート]の変更に移動します。
2. 保存して、サーバーを再起動します。
3. [アドバンスドメモリ保護:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]がPOST中または [RBSU] > [アドバンスドメモリ保護]に移動することでロードされることを確認します。[アドバンスドメモリ保護モード:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]が設定されている場合は、手順4と手順5をスキップします。
4. AMPモードがファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)に設定されていない場合は、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]の変更に移動します。
5. 保存して、サーバーを再起動します。

注記:手順1に従ってワークロードプロファイルでAMPモードを[アドバンスドECCサポート]に変更できない場合は、カスタムワークロードプロファイルを設定して[アドバンスドECCサポート]を構成します。手順4で、目的のワークロードプロファイルとAMPモード[アドバンスドECCサポート]に戻します。

詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00121538en_usを参照してください。

提供名:

HPE ProLiant ML350 Gen10システムROM - U41

リリースバージョン:

2.62_03-08-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.62_03-08-2022

以前のリリース:

2.60_01-13-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このリリースのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROM(01/13/2022)v2.60の使用時に、アドバンスドメモリプロテクション(AMP)モードが[HPEファーストフォールトトレラント(ADDDC)]に構成されている場合でも、AMPモードが[アドバンスドECC]に設定された状態でシステムが起動する問題に対処しました。この問題は、AMPモードがADDDC以外のモードに構成されている場合は発生しません。この問題によって、システムROMの他のリリースは影響を受けません。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update(IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

このシステムROMは、使用できなくなったシステムROMのv2.60リリースを使用するシステムにとってクリティカルと見なされません。

System ROM 2.60からSystem ROM 2.62にアップデートしたら、次の手順に進みます。

1. サーバーを再起動し、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [アドバンスドECCサポート]の変更に移動します。
2. 保存して、サーバーを再起動します。
3. [アドバンスドメモリ保護:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]がPOST中または [RBSU] > [アドバンスドメモリ保護]に移動することでロードされることを確認します。[アドバンスドメモリ保護モード:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]が設定されている場合は、手順4と手順5をスキップします。
4. AMPモードがファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)に設定されていない場合は、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]の変更に移動します。
5. 保存して、サーバーを再起動します。

注記:手順1に従ってワークロードプロファイルでAMPモードを[アドバンスドECCサポート]に変更できない場合は、カスタムワークロードプロファイルを設定して[アドバンスドECCサポート]を構成します。手順4で、目的のワークロードプロファイルとAMPモード[アドバンスドECCサポート]に戻します。

詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00121538en_usを参照してください。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このリリースのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROM(01/13/2022)v2.60の使用時に、アドバンスドメモリプロテクション(AMP)モードが[HPEファーストフォールトトレラント(ADDDC)]に構成されている場合でも、AMPモードが[アドバンスドECC]に設定された状態でシステムが起動する問題に対処しました。この問題は、AMPモードがADDDC以外のモードに構成されている場合は発生しません。この問題によって、システムROMの他のリビジョンは影響を受けません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant XL220n/XL290n Gen10 Plus 1Uノードおよび2Uノード受注構成サーバー(U47)

バージョン: 1.58_01-13-2022 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u47-1.58_2022_01_13-1.1.x86_64.rpm; RPMS/x86_64/firmware-system-u47-1.58_2022_01_13-1.1.x86_64_part1.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u47-1.58_2022_01_13-1.1.x86_64_part2.compsig

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant XL220n Gen10 Plus 1U/XL290n Gen10 Plus2UノードCTOシステムROM-U47

リリースバージョン:

1.58_01-13-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.58_01-13-2022

以前のリビジョン:

1.56_11-29-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

工場出荷時デフォルトのリストアの動作を、UEFI、NIC、およびRAIDカードの設定のリストアからUEFIのみに変更しました。

修正された問題点:

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

HPE NS204i-p NVMe OS Boot Deviceを搭載したシステムが断続的にシャットダウンし、インテグレートドマネジメントログ(IML)に以下のSystem Overheatingメッセージが記録されることがある問題 (https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=a00119362en_us)に対処しました。「System Overheating (Temperature Sensor 47, Location I/O Board, Temperature61)アクション:ファン、プロセッサヒートシンク、およびエアバップルの取り付けを確認してください。」

ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でIPMIウォッチドッグタイマー機能が有効になっている場合に、コールドブート後のブートプロセス中にハング状態が原因でシステムが自動的に再起動しない可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

HPE NS204i-p NVMe OS Boot Deviceを搭載したシステムが断続的にシャットダウンし、インテグレートドマネジメントログ (IML)に以下のSystem Overheatingメッセージが記録されることがある問題 (https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=a00119362en_us)に対処しました。「System Overheating (Temperature Sensor 47, Location I/O Board, Temperature61)アクション:ファン、プロセッサヒートシンク、およびエアパッフルの取り付けを確認してください。」

ROMベースセットアップユーティリティ (RBSU)でIPMIウォッチドッグタイマー機能が有効になっている場合に、コールドブート後のブートプロセス中にハング状態が原因でシステムが自動的に再起動しない可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

工場出荷時デフォルトのリストアの動作を、UEFI、NIC、およびRAIDカードの設定のリストアからUEFIのみに変更しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE Apollo 4200 Gen10 Plus/HPE ProLiant XL420 Gen10 Plus(U50)サーバー

バージョン: 1.58_01-13-2022 (推奨)

ファイル名: cp050647.exe; cp050647_part1.compsig; cp050647_part2.compsig

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Apollo 4200 Gen10 Plus/ProLiant XL420 Gen10 PlusシステムROM - U50

リリースバージョン:

1.58_01-13-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.58_01-13-2022

以前のリビジョン:

1.56_11-29-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

工場出荷時デフォルトのリストアの動作を、UEFI、NIC、およびRAIDカードの設定のリストアからUEFIのみに変更しました。

修正された問題点:

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

HPE NS204i-p NVMe OS Boot Deviceを搭載したシステムが断続的にシャットダウンし、インテグレートドマネジメントログ (IML)に以下のSystem Overheatingメッセージが記録されることがある問題 (https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=a00119362en_us&docLocale=en_US)に対処しました。「System Overheating (Temperature Sensor 47, Location I/O Board, Temperature61)アクション:ファン、プロセッサヒートシンク、およびエアパッフルの取り付けを確認してください。」

ROMベースセットアップユーティリティ (RBSU)でIPMIウォッチドッグタイマー機能が有効になっている場合に、コールドブート後のブートプロセス中にハング状態が原因でシステムが自動的に再起動しない可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

HPE NS204i-p NVMe OS Boot Deviceを搭載したシステムが断続的にシャットダウンし、インテグレートドマネジメントログ(IML)に以下のSystem Overheatingメッセージが記録されることがある問題

(https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=a00119362en_us&docLocale=en_US)に対処しました。

「System Overheating (Temperature Sensor 47, Location I/O Board, Temperature61)アクション:ファン、プロセッサヒートシンク、およびエアバッフルの取り付けを確認してください。」

ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でIPMIウォッチドッグタイマー機能が有効になっている場合に、コールドブート後のブートプロセス中にハング状態が原因でシステムが自動的に再起動しない可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

工場出荷時デフォルトのリストアの動作を、UEFI、NIC、およびRAIDカードの設定のリストアからUEFIのみに変更しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE Apollo 6500 Gen10 Plus/HPE ProLiant XL645d Gen10 Plus (A48)サーバー

バージョン: 2.56_02-10-2022 (推奨)

ファイル名: cp050506.exe; cp050506_part1.compsig; cp050506_part2.compsig

修正

ファームウェア製品の製品概要からダウンロード製品バイナリページにあるリリースドキュメントA48_2.50_07_14_2021を参照してください。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE Apollo 6500 Gen10 Plus/HPE ProLiant XL675d Gen10 Plus (A47)サーバー

バージョン: 2.56_02-10-2022 (推奨)

ファイル名: cp050503.exe; cp050503_part1.compsig; cp050503_part2.compsig

修正

ファームウェア製品の製品概要からダウンロード製品バイナリページにあるリリースドキュメントA47_2.50_07_14_2021を参照してください。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant BL460c Gen10 (I41)サーバー

バージョン: 2.62_03-08-2022 (推奨)

ファイル名: cp051120.compsig; cp051120.exe

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update(IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

このシステムROMは、使用できなくなったシステムROMのv2.60リビジョンを使用するシステムにとってクリティカルと見なされません。

System ROM 2.60からSystem ROM 2.62にアップデートしたら、次の手順に進みます。

1. サーバーを再起動し、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [アドバンスドECCサポート]の変更に移動します。
2. 保存して、サーバーを再起動します。
3. [アドバンスドメモリ保護:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]がPOST中または [RBSU] > [アドバンスドメモリ保護]に移動することでロードされることを確認します。[アドバンスドメモリ保護モード:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]が設定されている場合は、手順4と手順5をスキップします。
4. AMPモードがファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)に設定されていない場合は、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]の変更に移動します。
5. 保存して、サーバーを再起動します。

注記:手順1に従ってワークロードプロファイルでAMPモードを[アドバンスドECCサポート]に変更できない場合は、カスタムワークロードプロファイルを設定して[アドバンスドECCサポート]を構成します。手順4で、目的のワークロードプロファイルとAMPモード[アドバンスドECCサポート]に戻します。

詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00121538en_usを参照してください。

提供名:

HPE ProLiant BL460c Gen10システムROM - I41

リリースバージョン:

2.62_03-08-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.62_03-08-2022

以前のリビジョン:

2.60_01-13-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROM(01/13/2022)v2.60の使用時に、アドバンスドメモリプロテクション(AMP)モードが[HPEファーストフォールトトレラント(ADDDC)]に構成されている場合でも、AMPモードが[アドバンスドECC]に設定された状態でシステムが起動する問題に対処しました。この問題は、AMPモードがADDDC以外のモードに構成されている場合は発生しません。この問題によって、システムROMの他のリビジョンは影響を受けません。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update(IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

このシステムROMは、使用できなくなったシステムROMのv2.60リビジョンを使用するシステムにとってクリティカルと見なされません。

System ROM 2.60からSystem ROM 2.62にアップデートしたら、次の手順に進みます。

1. サーバーを再起動し、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [アドバンスドECCサポート]の変更に移動します。
2. 保存して、サーバーを再起動します。
3. [アドバンスドメモリ保護:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]がPOST中または [RBSU] > [アドバンスドメモリ保護]に移動することでロードされることを確認します。[アドバンスドメモリ保護モード:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]が設定されている場合は、手順4と手順5をスキップします。
4. AMPモードがファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)に設定されていない場合は、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]の変更に移動します。
5. 保存して、サーバーを再起動します。

注記:手順1に従ってワークロードプロファイルでAMPモードを[アドバンスドECCサポート]に変更できない場合は、カスタムワークロードプロファイルを設定して[アドバンスドECCサポート]を構成します。手順4で、目的のワークロードプロファイルとAMPモード[アドバンスドECCサポート]に戻します。

詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00121538en_usを参照してください。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROM(01/13/2022)v2.60の使用時に、アドバンスドメモリプロテクション(AMP)モードが[HPEファーストフォールトトレラント(ADDDC)]に構成されている場合でも、AMPモードが[アドバンスドECC]に設定された状態でシステムが起動する問題に対処しました。この問題は、AMPモードがADDDC以外のモードに構成されている場合は発生しません。この問題によって、システムROMの他のリビジョンは影響を受けません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant DL325 Gen10 (A41) サーバー

バージョン: 2.56_02-10-2022 (推奨)

ファイル名: cp050797.compsig; cp050797.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL325 Gen10システムROM - A41

リリースバージョン:

2.56_02-10-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.56_02-10-2022

以前のリビジョン:

2.54_12-03-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

"工場デフォルト設定の復元"機能を使用するとRAIDボリュームが失われる問題に対処しました。

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

Microsoft BitLockerが有効になっているシステムが、OSを正常に再起動した後、ユーザーにドライブのロックを解除するように誤って断続的に要求する可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

"工場デフォルト設定の復元"機能を使用するとRAIDボリュームが失われる問題に対処しました。

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

Microsoft BitLockerが有効になっているシステムが、OSを正常に再起動した後、ユーザーにドライブのロックを解除するように誤って断続的に要求する可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant DL325/DL325 v2/DL345 Gen10 Plus(A43)サーバー

バージョン: 2.56_02-10-2022 (推奨)

ファイル名: cp050442.exe; cp050442_part1.compsig; cp050442_part2.compsig

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL325/DL325 v2/DL345 Gen10 PlusシステムROM - A43

リリースバージョン:

2.56_02-10-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.56_02-10-2022

以前のリビジョン:

2.54_12-03-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

"工場デフォルト設定の復元"機能を使用するとRAIDボリュームが失われる問題に対処しました。

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

Microsoft BitLockerが有効になっているシステムが、OSを正常に再起動した後、ユーザーにドライブのロックを解除するように誤って断続的に要求する可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

"工場デフォルト設定の復元"機能を使用するとRAIDボリュームが失われる問題に対処しました。

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

Microsoft BitLockerが有効になっているシステムが、OSを正常に再起動した後、ユーザーにドライブのロックを解除するように誤って断続的に要求する可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant DL360 Gen10 (U32)サーバー

バージョン: 2.62_03-08-2022 (推奨)

ファイル名: cp051168.compsig; cp051168.exe

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update(IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

このシステムROMは、使用できなくなったシステムROMのv2.60リビジョンを使用するシステムにとってクリティカルと見なされません。

System ROM 2.60からSystem ROM 2.62にアップデートしたら、次の手順に進みます。

1. サーバーを再起動し、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [アドバンスドECCサポート]の変更に移動します。
2. 保存して、サーバーを再起動します。
3. [アドバンスドメモリ保護:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]がPOST中または [RBSU] > [アドバンスドメモリ保護]に移動することでロードされることを確認します。[アドバンスドメモリ保護モード:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]が設定されている場合は、手順4と手順5をスキップします。
4. AMPモードがファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)に設定されていない場合は、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]の変更に移動します。
5. 保存して、サーバーを再起動します。

注記:手順1に従ってワークロードプロファイルでAMPモードを[アドバンスドECCサポート]に変更できない場合は、カスタムワークロードプロファイルを設定して[アドバンスドECCサポート]を構成します。手順4で、目的のワークロードプロファイルとAMPモード[アドバンスドECCサポート]に戻します。

詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00121538en_usを参照してください。

提供名:

HPE ProLiant DL360 Gen10システムROM - U32

リリースバージョン:

2.62_03-08-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.62_03-08-2022

以前のリビジョン:

2.60_01-13-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROM(01/13/2022)v2.60の使用時に、アドバンスドメモリプロテクション(AMP)モードが[HPEファーストフォールトトレラント(ADDDC)]に構成されている場合でも、AMPモードが[アドバンスドECC]に設定された状態でシステムが起動する問題に対処しました。この問題は、AMPモードがADDDC以外のモードに構成されている場合は発生しません。この問題によって、システムROMの他のリビジョンは影響を受けません。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正**重要な注意:**

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update(IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

このシステムROMは、使用できなくなったシステムROMのv2.60リビジョンを使用するシステムにとってクリティカルと見なされません。

System ROM 2.60からSystem ROM 2.62にアップデートしたら、次の手順に進みます。

1. サーバーを再起動し、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [アドバンスドECCサポート]の変更に移動します。
2. 保存して、サーバーを再起動します。
3. [アドバンスドメモリ保護:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]がPOST中または [RBSU] > [アドバンスドメモリ保護]に移動することでロードされることを確認します。[アドバンスドメモリ保護モード:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]が設定されている場合は、手順4と手順5をスキップします。
4. AMPモードがファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)に設定されていない場合は、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]の変更に移動します。
5. 保存して、サーバーを再起動します。

注記:手順1に従ってワークロードプロファイルでAMPモードを[アドバンスドECCサポート]に変更できない場合は、カスタムワークロードプロファイルを設定して[アドバンスドECCサポート]を構成します。手順4で、目的のワークロードプロファイルとAMPモード[アドバンスドECCサポート]に戻します。

詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00121538en_usを参照してください。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROM(01/13/2022)v2.60の使用時に、アドバンスドメモリプロテクション(AMP)モードが[HPEファーストフォールトトレラント(ADDDC)]に構成されている場合でも、AMPモードが[アドバンスドECC]に設定された状態でシステムが起動する問題に対処しました。この問題は、AMPモードがADDDC以外のモードに構成されている場合は発生しません。この問題によって、システムROMの他のリビジョンは影響を受けません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant DL360/DL380 Gen10 Plus(U46)サーバー

バージョン: 1.58_01-13-2022 (推奨)

ファイル名: cp050612.exe; cp050612_part1.compsig; cp050612_part2.compsig

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL360/DL380 Gen10 PlusシステムROM - U46

リリースバージョン:

1.58_01-13-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.58_01-13-2022

以前のリビジョン:

1.56_11-29-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

工場出荷時デフォルトのリストアの動作を、UEFI、NIC、およびRAIDカードの設定のリストアからUEFIのみに変更しました。

修正された問題点:

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

HPE NS204i-p NVMe OS Boot Deviceを搭載したシステムが断続的にシャットダウンし、インテグレートドマネジメントログ(IML)に以下のSystem Overheatingメッセージが記録されることがある問題

(https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=a00119362en_us&docLocale=en_US)に対処しました。

「System Overheating (Temperature Sensor 47, Location I/O Board, Temperature61)アクション:ファン、プロセッサヒートシンク、およびエアパッフルの取り付けを確認してください。」

ROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)でIPMIウォッチドッグタイマー機能が有効になっている場合に、コールドブート後のブートプロセス中にハング状態が原因でシステムが自動的に再起動しない可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

HPE NS204i-p NVMe OS Boot Deviceを搭載したシステムが断続的にシャットダウンし、インテグレートドマネジメントログ (IML)に以下のSystem Overheatingメッセージが記録されることがある問題

(https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=a00119362en_us&docLocale=en_US)に対処しました。

「System Overheating (Temperature Sensor 47, Location I/O Board, Temperature61)アクション:ファン、プロセッサヒートシンク、およびエアバッフルの取り付けを確認してください。」

ROMベースセットアップユーティリティ (RBSU)でIPMIウォッチドッグタイマー機能が有効になっている場合に、コールドブート後のブートプロセス中にハング状態が原因でシステムが自動的に再起動しない可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

工場出荷時デフォルトのリストアの動作を、UEFI、NIC、およびRAIDカードの設定のリストアからUEFIのみに変更しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant DL365/DL385/DL385 v2 Gen10 Plus(A42)サーバー

バージョン: 2.56_02-10-2022 (推奨)

ファイル名: cp050447.exe; cp050447_part1.compsig; cp050447_part2.compsig

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL365/DL385/DL385 v2 Gen10 PlusシステムROM - A42

リリースバージョン:

2.56_02-10-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.56_02-10-2022

以前のリビジョン:

2.54_12-03-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

"工場デフォルト設定の復元"機能を使用するとRAIDボリュームが失われる問題に対処しました。

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

Microsoft BitLockerが有効になっているシステムが、OSを正常に再起動した後、ユーザーにドライブのロックを解除するように誤って断続的に要求する可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正**重要な注意:**

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

"工場デフォルト設定の復元"機能を使用するとRAIDボリュームが失われる問題に対処しました。

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

Microsoft BitLockerが有効になっているシステムが、OSを正常に再起動した後、ユーザーにドライブのロックを解除するように誤って断続的に要求する可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant DL385 Gen10 (A40) サーバー

バージョン: 2.56_02-10-2022 (推奨)

ファイル名: cp050794.compsig; cp050794.exe

重要な注意!**重要な注意:**

なし

提供名:

HPE ProLiant DL385 Gen10システムROM - A40

リリースバージョン:

2.56_02-10-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.56_02-10-2022

以前のリビジョン:

2.54_12-03-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

"工場デフォルト設定の復元"機能を使用するとRAIDボリュームが失われる問題に対処しました。

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

Microsoft BitLockerが有効になっているシステムが、OSを正常に再起動した後、ユーザーにドライブのロックを解除するように誤って断続的に要求する可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

"工場デフォルト設定の復元"機能を使用するとRAIDボリュームが失われる問題に対処しました。

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

Microsoft BitLockerが有効になっているシステムが、OSを正常に再起動した後、ユーザーにドライブのロックを解除するように誤って断続的に要求する可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant ML110 Gen10 (U33)サーバー

バージョン: 2.62_03-08-2022 (推奨)

ファイル名: cp051284.compsig; cp051284.exe

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update(IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

このシステムROMは、使用できなくなったシステムROMのv2.60リビジョンを使用するシステムにとってクリティカルと見なされません。

System ROM 2.60からSystem ROM 2.62にアップデートしたら、次の手順に進みます。

1. サーバーを再起動し、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [アドバンスドECCサポート]の変更に移動します。
2. 保存して、サーバーを再起動します。
3. [アドバンスドメモリ保護:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]がPOST中または [RBSU] > [アドバンスドメモリ保護]に移動することでロードされることを確認します。[アドバンスドメモリ保護モード:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]が設定されている場合は、手順4と手順5をスキップします。
4. AMPモードがファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)に設定されていない場合は、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]の変更に移動します。
5. 保存して、サーバーを再起動します。

注記:手順1に従ってワークロードプロファイルでAMPモードを[アドバンスドECCサポート]に変更できない場合は、カスタムワークロードプロファイルを設定して[アドバンスドECCサポート]を構成します。手順4で、目的のワークロードプロファイルとAMPモード[アドバンスドECCサポート]に戻します。

詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00121538en_usを参照してください。

提供名:

HPE ProLiant ML110 Gen10システムROM - U33

リリースバージョン:

2.62_03-08-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.62_03-08-2022

以前のリリース:

2.60_01-13-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このリリースのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROM(01/13/2022)v2.60の使用時に、アドバンスドメモリプロテクション(AMP)モードが[HPEファーストフォールトトレラント(ADDDC)]に構成されている場合でも、AMPモードが[アドバンスドECC]に設定された状態でシステムが起動する問題に対処しました。この問題は、AMPモードがADDDC以外のモードに構成されている場合は発生しません。この問題によって、システムROMの他のリリースは影響を受けません。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update(IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

このシステムROMは、使用できなくなったシステムROMのv2.60リリースを使用するシステムにとってクリティカルと見なされません。

System ROM 2.60からSystem ROM 2.62にアップデートしたら、次の手順に進みます。

1. サーバーを再起動し、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [アドバンスドECCサポート]の変更に移動します。
2. 保存して、サーバーを再起動します。
3. [アドバンスドメモリ保護:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]がPOST中または [RBSU] > [アドバンスドメモリ保護]に移動することでロードされることを確認します。[アドバンスドメモリ保護モード:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]が設定されている場合は、手順4と手順5をスキップします。
4. AMPモードがファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)に設定されていない場合は、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]の変更に移動します。
5. 保存して、サーバーを再起動します。

注記:手順1に従ってワークロードプロファイルでAMPモードを[アドバンスドECCサポート]に変更できない場合は、カスタムワークロードプロファイルを設定して[アドバンスドECCサポート]を構成します。手順4で、目的のワークロードプロファイルとAMPモード[アドバンスドECCサポート]に戻します。

詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00121538en_usを参照してください。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このリリースのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROM(01/13/2022)v2.60の使用時に、アドバンスドメモリプロテクション(AMP)モードが[HPEファーストフォールトトレラント(ADDDC)]に構成されている場合でも、AMPモードが[アドバンスドECC]に設定された状態でシステムが起動する問題に対処しました。この問題は、AMPモードがADDDC以外のモードに構成されている場合は発生しません。この問題によって、システムROMの他のリビジョンは影響を受けません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant ML350 Gen10 (U41) サーバー

バージョン: 2.62_03-08-2022 (推奨)

ファイル名: cp051331.compsig; cp051331.exe

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update(IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

このシステムROMは、使用できなくなったシステムROMのv2.60リビジョンを使用するシステムにとってクリティカルと見なされません。

System ROM 2.60からSystem ROM 2.62にアップデートしたら、次の手順に進みます。

1. サーバーを再起動し、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [アドバンスドECCサポート]の変更に移動します。
2. 保存して、サーバーを再起動します。
3. [アドバンスドメモリ保護:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]がPOST中または [RBSU] > [アドバンスドメモリ保護]に移動することでロードされることを確認します。[アドバンスドメモリ保護モード:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]が設定されている場合は、手順4と手順5をスキップします。
4. AMPモードがファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)に設定されていない場合は、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]の変更に移動します。
5. 保存して、サーバーを再起動します。

注記:手順1に従ってワークロードプロファイルでAMPモードを[アドバンスドECCサポート]に変更できない場合は、カスタムワークロードプロファイルを設定して[アドバンスドECCサポート]を構成します。手順4で、目的のワークロードプロファイルとAMPモード[アドバンスドECCサポート]に戻します。

詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00121538en_usを参照してください。

提供名:

HPE ProLiant ML350 Gen10システムROM - U41

リリースバージョン:

2.62_03-08-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.62_03-08-2022

以前のリビジョン:

2.60_01-13-2022

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROM(01/13/2022)v2.60の使用時に、アドバンスドメモリプロテクション(AMP)モードが[HPEファーストフォールトトレラント(ADDDC)]に構成されている場合でも、AMPモードが[アドバンスドECC]に設定された状態でシステムが起動する問題に対処しました。この問題は、AMPモードがADDDC以外のモードに構成されている場合は発生しません。この問題によって、システムROMの他のリビジョンは影響を受けません。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、Intel Platform Update(IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

このシステムROMは、使用できなくなったシステムROMのv2.60リビジョンを使用するシステムにとってクリティカルと見なされません。

System ROM 2.60からSystem ROM 2.62にアップデートしたら、次の手順に進みます。

1. サーバーを再起動し、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [アドバンスドECCサポート]の変更に移動します。
2. 保存して、サーバーを再起動します。
3. [アドバンスドメモリ保護:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]がPOST中または [RBSU] > [アドバンスドメモリ保護]に移動することでロードされることを確認します。[アドバンスドメモリ保護モード:ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]が設定されている場合は、手順4と手順5をスキップします。
4. AMPモードがファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)に設定されていない場合は、[BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)] > [アドバンスドメモリ保護] > [ファーストフォールトトレラントメモリ(ADDDC)]の変更に移動します。
5. 保存して、サーバーを再起動します。

注記:手順1に従ってワークロードプロファイルでAMPモードを[アドバンスドECCサポート]に変更できない場合は、カスタムワークロードプロファイルを設定して[アドバンスドECCサポート]を構成します。手順4で、目的のワークロードプロファイルとAMPモード[アドバンスドECCサポート]に戻します。

詳しくは、https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00121538en_usを参照してください。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このリビジョンのシステムROMには、Intel Platform Update 2021.2が含まれています。INTEL-SA-00527 (2/8) に記載されている CVE-2021-0099, CVE-2021-0103, CVE-2021-0107, CVE-2021-0111, CVE-2021-0114, CVE-2021-0115, CVE-2021-0116, CVE-2021-0117, CVE-2021-0118, CVE-2021-0125, CVE-2021-0124 に対する認証コードモジュール(ACM)の緩和策を提供します。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

システムROM(01/13/2022)v2.60の使用時に、アドバンスドメモリプロテクション(AMP)モードが[HPEファーストフォールトトレラント(ADDDC)]に構成されている場合でも、AMPモードが[アドバンスドECC]に設定された状態でシステムが起動する問題に対処しました。この問題は、AMPモードがADDDC以外のモードに構成されている場合は発生しません。この問題によって、システムROMの他のリビジョンは影響を受けません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant XL220n/XL290n Gen10 Plus 1Uノードおよび2Uノード受注構成サーバー(U47)

バージョン: 1.58_01-13-2022 (推奨)

ファイル名: cp050758.exe; cp050758_part1.compsig; cp050758_part2.compsig

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant XL220n Gen10 Plus 1U/XL290n Gen10 Plus2U ノードCTOシステムROM-U47

リリースバージョン:

1.58_01-13-2022

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.58_01-13-2022

以前のリビジョン:

1.56_11-29-2021

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

工場出荷時デフォルトのリストアの動作を、UEFI、NIC、およびRAIDカードの設定のリストアからUEFIのみに変更しました。

修正された問題点:

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

HPE NS204i-p NVMe OS Boot Deviceを搭載したシステムが断続的にシャットダウンし、インテグレートドマネジメントログ (IML)に以下のSystem Overheatingメッセージが記録されることがある問題 (https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=a00119362en_us)に対処しました。「System Overheating (Temperature Sensor 47, Location I/O Board, Temperature61)アクション:ファン、プロセッサヒートシンク、およびエアバップルの取り付けを確認してください。」

ROMベースセットアップユーティリティ (RBSU)でIPMIウォッチドッグタイマー機能が有効になっている場合に、コールドブート後のブートプロセス中にハング状態が原因でシステムが自動的に再起動しない可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

管理者パスワードと電源投入時パスワードが設定されている場合、電源投入時パスワードをクリアした後に管理者パスワードもクリアされる問題に対処しました。

HPE NS204i-p NVMe OS Boot Deviceを搭載したシステムが断続的にシャットダウンし、インテグレートドマネジメントログ (IML)に以下のSystem Overheatingメッセージが記録されることがある問題 (https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=a00119362en_us)に対処しました。「System Overheating (Temperature Sensor 47, Location I/O Board, Temperature61)アクション:ファン、プロセッサヒートシンク、およびエアバップルの取り付けを確認してください。」

ROMベースセットアップユーティリティ (RBSU)でIPMIウォッチドッグタイマー機能が有効になっている場合に、コールドブート後のブートプロセス中にハング状態が原因でシステムが自動的に再起動しない可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

ドライバー - チップセット

先頭

Microsoft Windows用AMD EPYCプロセッサの識別子

バージョン: 4.2.0.0 (推奨)

ファイル名: cp050588.compsig; cp050588.exe

修正

- バージョン管理の問題を修正しました

Microsoft Windows用Intel Xeon E-22xxプロセッサの識別子

バージョン: 10.1.18807.8279 (推奨)

ファイル名: cp050604.compsig; cp050604.exe

修正

- バージョン管理の問題を修正しました

Microsoft Windows用Intel Xeon E-23xxプロセッサの識別子

バージョン: 10.1.18807.8279 (推奨)

ファイル名: cp050605.compsig; cp050605.exe

修正

- バージョン管理の問題を修正しました

Microsoft Windows用Intel Xeon スケーラブルプロセッサ (第1および第2世代) 識別子

バージョン: 10.1.18807.8279 (B) (推奨)

ファイル名: cp050589.compsig; cp050589.exe

修正

- バージョン管理の問題を修正しました

Microsoft Windows用Intel Xeon スケーラブルプロセッサ (第3世代) 識別子

バージョン: 10.1.18807.8279 (推奨)

ファイル名: cp050590.compsig; cp050590.exe

修正

- バージョン管理の問題を修正しました

拡張

- インストール時間を変更しました

ドライバー - Lights-Out マネジメント

先頭

ESXi 7.0用のHPE iLOネイティブドライバー

バージョン: 10.7.5 (推奨)

ファイル名: ilo-driver_700.10.7.5.2-1OEM.700.1.0.15843807_17856914.zip

修正

- リロード時およびクイックブートが有効になっているときにコントローラーが正しく機能できるように、ドライバーのアンロード機能を修正しました。

ドライバー - ネットワーク

[先頭](#)

Broadcom NetXtreme-E ドライバー for Microsoft Windows Server 2019

バージョン: 219.0.44.0 (推奨)

ファイル名: cp047541.compsig; cp047541.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、BCM5741xアダプター用のBroadcomファームウェアパッケージ、バージョン219.0.144.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品では、1つの仮想関数(VF)につき32個以上の仮想関数(VF)を作成することができないという問題を修正しました。
- この製品は、大量のTXトラフィック中にBSODが発生する問題を修正します。
- この製品は、仮想機能でドライバー初期化エラーが発生する問題を修正します
- この製品は、Windows 2019でインボックスドライバーのアップデート後に発生するBSODの問題を修正します。
- この製品は、Base-Tデバイスのリンク速度オプションが無効である問題を修正します
- この製品は、Windows仮想マシンホストのVFが無効である問題を修正します

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ BCM57412 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ BCM57412アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT BCM57416 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT BCM57416アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414アダプター

Broadcom NetXtreme-E ドライバー for Microsoft Windows Server 2022

バージョン: 219.0.44.0 (推奨)

ファイル名: cp047542.compsig; cp047542.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、BCM5741xアダプター用のBroadcomファームウェアパッケージ、バージョン219.0.144.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ BCM57412 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ BCM57412アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT BCM57416 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT BCM57416アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414アダプター

Broadcom NetXtreme-E ドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 218.0.32.0 (オプション)

ファイル名: cp045254.compsig; cp045254.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*Broadcom NetXtreme-E* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for *Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.4.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、致命的でないエラーの後でシステムが回復するときにシステムがフリーズして再起動する問題を修正します。
- この製品は、WindowsがホストOSである場合に、特定の仮想OSでVFがロードされない問題を修正します。
- この製品は、IRP SystemBufferアクセスの競合状態によって引き起こされるユーザーモードRDMAのBSoD(Blue Screen of Death)の問題を修正します。
- この製品は、NDISドライバーのアンインストール時に発生するWindows Stop Error BSoD(Blue Screen of Death)を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10 Gb 2ポートBaseT BCM57416アダプター
- HPE Ethernet 10 Gb 2ポートBaseT BCM57416 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10 Gb 2ポートSFP+ BCM57412アダプター
- HPE Ethernet 10 Gb 2ポートSFP+ BCM57412 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414アダプター

Broadcom NX1 1Gbドライバーfor Windows Server x64 Editions

バージョン: 219.0.1.0 (推奨)

ファイル名: cp048940.compsig; cp048940.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NX1オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Windows Server x64 Editions*、バージョン5.2.5.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

初期バージョン

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Broadcom BCM5720 Ethernet 1Gb 2ポートBASE-T LOMアダプターfor HPE

HPE Blade Emulex 10/20 GbE iSCSIドライバーfor Windows Server 2016

バージョン: 12.0.1171.0 (オプション)

ファイル名: cp039931.compsig; cp039931.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex コンバードネットワークアダプター - Windows (x64)*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20 GbE iSCSIドライバーfor Windows Server 2019

バージョン: 12.0.1171.0 (B) (オプション)

ファイル名: cp049074.compsig; cp049074.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex コンバージドネットワークアダプター - Windows (x64)*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は現在、HPE ProLiant BL660c Gen9サーバーをサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbE iSCSIドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7

バージョン: 12.0.1342.0-1 (**オプション**)

ファイル名: kmod-be2iscsi_bl-12.0.1342.0-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-be2iscsi_bl-12.0.1342.0-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-be2iscsi_bl-12.0.1342.0-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-be2iscsi_bl-12.0.1342.0-1.rhel7u9.x86_64.rpm

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPEファームウェアフラッシュfor Emulexメザニンコンバージドネットワークアダプターfor Linux (x64)*、バージョン2021.02.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8および9をサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbE iSCSIドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 12.0.1342.0-1 (B) (**オプション**)

ファイル名: kmod-be2iscsi_bl-12.0.1342.0-1.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-be2iscsi_bl-12.0.1342.0-1.rhel8u2.x86_64.rpm; kmod-be2iscsi_bl-12.0.1342.0-1.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-be2iscsi_bl-12.0.1342.0-1.rhel8u3.x86_64.rpm

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Bladeファームウェアフラッシュfor Emulexメザニンコンバージドネットワークアダプターfor Linux (x64)*、バージョン2021.09.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は現在、HPE ProLiant BL660c Gen9サーバーをサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbE iSCSIドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12

バージョン: 12.0.1342.0-1 (**オプション**)

ファイル名: be2iscsi_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; be2iscsi_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; be2iscsi_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; be2iscsi_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPEファームウェアフラッシュfor Emulexメザニンコンバージドネットワークアダプターfor Linux (x64)*、バージョン2021.02.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 SP5をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbE iSCSIドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 12.0.1342.0-1 (B) (オプション)

ファイル名: be2iscsi_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; be2iscsi_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; be2iscsi_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; be2iscsi_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPEファームウェアフラッシュfor Emulexメザニンコンバージドネットワークアダプターfor Linux (x64)*、バージョン2021.02.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 15 SP2をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbE iSCSIドライバーfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2019.12.20 (オプション)

ファイル名: cp039936.compsig; cp039936.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibspot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*Emulexコンバージドネットワークアダプター用HPEファームウェアフラッシュ - VMware vSphere 6.5*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbE iSCSIドライバーfor VMware vSphere 6.7

バージョン: 2019.12.20 (オプション)

ファイル名: cp039935.compsig; cp039935.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibstdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、Emulexコンバードネットワークアダプター用HPEファームウェアフラッシュ - VMware vSphere 6.7、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbEドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12

バージョン: 12.0.1342.0-1 (オプション)

ファイル名: be2net_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; be2net_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; be2net_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; be2net_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、HPEファームウェアフラッシュfor Emulexメザニンコンバードネットワークアダプターfor Linux (x64)、バージョン2021.02.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 SP5をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbEドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 12.0.1342.0-1 (B) (オプション)

ファイル名: be2net_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; be2net_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; be2net_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; be2net_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、HPEファームウェアフラッシュfor Emulexメザニンコンバードネットワークアダプターfor Linux (x64)、バージョン2021.02.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 15 SP2をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbEドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 7

バージョン: 12.0.1342.0-1 (オプション)

ファイル名: kmod-be2net_bl-12.0.1342.0-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-be2net_bl-12.0.1342.0-1.rhel7u8.x86_64.rpm;

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPEファームウェアフラッシュfor Emulexメザニンコンバージドネットワークアダプターfor Linux (x64)*、バージョン2021.02.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8および9をサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbEドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 12.0.1342.0-1 (B) (オプション)

ファイル名: kmod-be2net_bl-12.0.1342.0-1.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-be2net_bl-12.0.1342.0-1.rhel8u2.x86_64.rpm;
kmod-be2net_bl-12.0.1342.0-1.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-be2net_bl-12.0.1342.0-1.rhel8u3.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Bladeファームウェアフラッシュfor Emulexメザニンコンバージドネットワークアダプターfor Linux (x64)*、バージョン2021.09.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は現在、HPE ProLiant BL660c Gen9サーバーをサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbEドライバーfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2020.03.09 (オプション)

ファイル名: cp042919.compsig; cp042919.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex Converged Network Adapters for VMware vSphere 6.5*、バージョン2019.12.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、ネットワークの接続性に影響するvmnicフラッピングの問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbEドライバーfor VMware vSphere 6.7

バージョン: 2020.03.09 (オプション)

ファイル名: cp042920.compsig; cp042920.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.com およびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Emulex*コンバージドネットワークアダプター用HPEファームウェアフラッシュ - VMware vSphere 6.7、バージョン2019.12.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、ネットワークの接続性に影響するvmnicフラッピングの問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbEドライバーfor Windows Server 2016

バージョン: 12.0.1344.0 (オプション)

ファイル名: cp045173.compsig; cp045173.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade*ファームウェアフラッシュfor *Emulex*メザニンコンバージドネットワークアダプターfor *Microsoft Windows Server 2016/2019(x64)*、バージョン2021.09.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

このドライバーは、WindowsイベントID 67の後に発生するWindows停止エラー(BSOD)に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbEドライバーfor Windows Server 2019

バージョン: 12.0.1344.0 (オプション)

ファイル名: cp045174.compsig; cp045174.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade*ファームウェアフラッシュfor *Emulex*メザニンコンバージドネットワークアダプターfor *Microsoft Windows Server 2016/2019(x64)*、バージョン2021.09.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

このドライバーは、WindowsイベントID 67の後に発生するWindows停止エラー(BSOD)に対処します。
このドライバーは、ソフトウェアデファインドデータセンター(SDDC)のBSODが発生する問題を修正します。

拡張

この製品は現在、HPE ProLiant BL660c Gen9サーバーをサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Intel ixgbenドライバーfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2021.04.19 (オプション)

ファイル名: cp045171.compsig; cp045171.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.com およびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware、バージョン1.2.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、計算時のVFの問題、PFインターフェイスのリセット、リンク状態の伝播、およびVLANトランクのシナリオに対処します。

拡張

この製品は現在、VMware vSphere 6.5 U3をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intel ixgbenドライバーfor VMware vSphere 6.7

バージョン: 2021.09.01 (オプション)

ファイル名: cp045170.compsig; cp045170.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.com およびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware、バージョン1.2.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、サポートされる仮想機能の最大数を修正します。

この製品は、ハードウェアVLANオフロードの問題に対処します。

この製品は、双方向トラフィック中のTX/ハングに対処します。

この製品は、NetQ RSSおよびVMDQのシナリオに関する問題に対処します。

この製品は、DPDK環境でSRIOVが有効になっている場合のMTU設定に関する問題に対処します

この製品は、PFインターフェイスのないいくつかのVFシナリオに関する問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intel ixgbevドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7

バージョン: 4.9.3-1 (オプション)

ファイル名: kmod-hp-ixgbev_bl-4.9.3-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbev_bl-4.9.3-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbev_bl-4.9.3-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbev_bl-4.9.3-1.rhel7u9.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Linux*、バージョン1.2.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、複数のVFが同じ重複したMACアドレスを持つSRIOVを有効にするときに見られる問題を修正します。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8および9をサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intel ixgbevフドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 4.9.3-1 (B) (オプション)

ファイル名: kmod-hp-ixgbev_bl-4.9.3-1.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbev_bl-4.9.3-1.rhel8u2.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbev_bl-4.9.3-2.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbev_bl-4.9.3-2.rhel8u3.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Linux*、バージョン1.2.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は現在、HPE ProLiant BL660c Gen9サーバーをサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intel ixgbevフドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 12

バージョン: 4.9.3-1 (オプション)

ファイル名: hp-ixgbev_bl-kmp-default-4.9.3_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; hp-ixgbev_bl-kmp-default-4.9.3_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-ixgbev_bl-kmp-default-4.9.3_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; hp-ixgbev_bl-kmp-default-4.9.3_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Linux*、バージョン1.2.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、複数のVFが同じ重複したMACアドレスを持つSRIOVを有効にするときに見られる問題を修正します。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 SP5をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intel ixgbevfドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 4.9.3-1 (B) (オプション)

ファイル名: hp-ixgbevf_bl-kmp-default-4.9.3_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; hp-ixgbevf_bl-kmp-default-4.9.3_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; hp-ixgbevf_bl-kmp-default-4.9.3_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; hp-ixgbevf_bl-kmp-default-4.9.3_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for *Linux*、バージョン1.2.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、複数のVFが同じ重複したMACアドレスを持つSRIOVを有効にするときに見られる問題を修正します。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 15 SP2をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intel ixgbeドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7

バージョン: 5.9.4-1 (オプション)

ファイル名: kmod-hp-ixgbe_bl-5.9.4-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbe_bl-5.9.4-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbe_bl-5.9.4-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbe_bl-5.9.4-1.rhel7u9.x86_64.rpm

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for *Linux*、バージョン1.2.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8および9をサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560M アダプター

HPE Blade Intel ixgbeドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 5.9.4-1 (B) (オプション)

ファイル名: kmod-hp-ixgbe_bl-5.9.4-1.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbe_bl-5.9.4-1.rhel8u2.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbe_bl-5.9.4-2.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbe_bl-5.9.4-2.rhel8u3.x86_64.rpm

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for *Linux*、バージョン1.2.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は現在、HPE ProLiant BL660c Gen9サーバーをサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intel ixgbeドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 12

バージョン: 5.9.4-1 (オプション)

ファイル名: hp-ixgbe_bl-kmp-default-5.9.4_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; hp-ixgbe_bl-kmp-default-5.9.4_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-ixgbe_bl-kmp-default-5.9.4_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; hp-ixgbe_bl-kmp-default-5.9.4_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor *Linux*、バージョン1.2.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 SP5をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intel ixgbeドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 5.9.4-1 (B) (オプション)

ファイル名: hp-ixgbe_bl-kmp-default-5.9.4_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; hp-ixgbe_bl-kmp-default-5.9.4_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; hp-ixgbe_bl-kmp-default-5.9.4_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; hp-ixgbe_bl-kmp-default-5.9.4_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor *Linux*、バージョン1.2.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 15 SP2をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intel ixnドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 4.1.199.0 (オプション)

ファイル名: cp045176.compsig; cp045176.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップデートユーティリティfor *Windows Server x64 Edition*、バージョン1.0.2.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、アップデートされたWindowsインストーラライブラリ、ixtmsg.dll、nicco5.dll、およびnicinitx.dllとの互換性を維持してアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のHPE Intel ネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intel ixnドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 4.1.197.0 (B) (オプション)

ファイル名: cp049075.compsig; cp049075.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップデートユーティリティfor Windows Server x64 Edition、バージョン1.0.5.2以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は現在、HPE ProLiant BL660c Gen9サーバーをサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のHPE Intel ネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intel vxnドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 2.1.192.0 (オプション)

ファイル名: cp045179.compsig; cp045179.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップデートユーティリティfor Windows Server x64 Edition、バージョン1.0.2.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

事前要件

このドライバーではホストドライバーバージョン4.1.199.0以降が必要です。

修正

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリ、vxnmsg.dll、nicco5.dll、およびnicinvxn.dllとの互換性を維持してアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のHPE Intel ネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intel vxnドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 2.1.191.0 (B) (オプション)

ファイル名: cp049076.compsig; cp049076.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップデートユーティリティfor Windows Server x64 Edition、バージョン1.0.5.2以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

事前要件

このドライバーではホストドライバーバージョン4.1.197.0以降が必要です。

拡張

この製品は現在、HPE ProLiant BL660c Gen9サーバーをサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のHPE Intel ネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade QLogic iSCSI Offload IO Daemon for SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3

バージョン: 2.11.5.13-3 (B) (オプション)

ファイル名: iscsiuiobl-2.11.5.13-3.sles12sp3.x86_64.compsig; iscsiuiobl-2.11.5.13-3.sles12sp3.x86_64.rpm

修正

この製品は、SUMがサポートするシステムにインストールするためにそれらを正しく識別することができるビルド設定で再コンパイルされました。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2 10/20 GbE マルチファンクションドライバーfor Windows Server x64 Editions

バージョン: 7.13.206.0 (オプション)

ファイル名: cp047540.compsig; cp047540.exe

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for *Windows Server x64 Editions*、バージョン1.0.5.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

このドライバーは、NIC VMSwitchで無効なvPort IDが使用された場合にWindows停止エラー(BSOD)が発生する問題を修正します。

このドライバーは、仮想マシキュー(VMQ)が有効になっている場合にネットワークが断続的に切断される問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバー for VMware vSphere 6.5

バージョン: 2021.09.01 (オプション)

ファイル名: cp047831.compsig; cp047831.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションで使用することを目的としています。vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for *VMware*、バージョン1.5.2以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、アイドル状態なしでデバイス状態が変化するときが発生するPSODに対処します。
この製品は、ファブリックログインのスケジューリング中に発生するPSODに対処します。
この製品は、PSODの問題に対処して、作業キューの即時フラッシュおよびアンロード/静止メカニズムを強化します。

拡張

この製品は、HPE XP7ストレージレイのPLOGIを強化します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバー for VMware vSphere 6.7

バージョン: 2021.09.01 (オプション)

ファイル名: cp047629.compsig; cp047629.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションで使用することを目的としています。vmware.comおよびHPE vibstdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware、バージョン1.5.2以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、データダンプの収集中に発生するPSODに対処します。
この製品は、アップリンクリセットの失敗時に見られるPSODに対処します。
この製品は、アイドル状態なしでデバイス状態が変化するときが発生するPSODに対処します。
この製品は、ファブリックログインのスケジューリング中に発生するPSODに対処します。
この製品は、PSODの問題に対処して、作業キューの即時フラッシュおよびアンロード/静止メカニズムを強化します。

拡張

この製品は、HPE XP7ストレージレイのPLOGIを強化します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバー for VMware vSphere 7.0

バージョン: 2021.09.01 (オプション)

ファイル名: cp047630.compsig; cp047630.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションで使用することを目的としています。vmware.comおよびHPE vibstdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware、バージョン1.5.2以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、データダンプの収集中に発生するPSODに対処します。
この製品は、アップリンクリセットの失敗時に見られるPSODに対処します。

この製品は、アイドル状態なしでデバイス状態が変化するときが発生するPSODに対処します。

この製品は、ファブリックログインのスケジューリング中に発生するPSODに対処します。

この製品は、PSODの問題に対処して、作業キューの即時フラッシュおよびアンロード/静止メカニズムを強化します。

拡張

この製品は現在、VMware ESXi 7.0 U3をサポートしています。

この製品は、HPE XP7ストレージアレイのPLOGIを強化します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 7

バージョン: 7.14.80-5 (オプション)

ファイル名: kmod-netxtreme2_bl-7.14.80-5.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-netxtreme2_bl-7.14.80-5.rhel7u8.x86_64.rpm;

kmod-netxtreme2_bl-7.14.80-5.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-netxtreme2_bl-7.14.80-5.rhel7u9.x86_64.rpm

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor *Linux*、バージョン1.5.2以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、ファームウェアバージョン1.5.xとの互換性を維持してアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 7.14.80-5 (オプション)

ファイル名: kmod-netxtreme2_bl-7.14.80-5.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-netxtreme2_bl-7.14.80-5.rhel8u3.x86_64.rpm;

kmod-netxtreme2_bl-7.14.80-5.rhel8u4.x86_64.compsig; kmod-netxtreme2_bl-7.14.80-5.rhel8u4.x86_64.rpm

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor *Linux*、バージョン1.5.2以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 8 Update 4をサポートします。

この製品は現在、HPE ProLiant BL660c Gen9サーバーをサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
 - HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
 - HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
 - HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター
-

HPE Blade QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 12

バージョン: 7.14.80-5 (オプション)

ファイル名: netxtreme2_bl-kmp-default-7.14.80_k4.12.14_120-5.sles12sp5.x86_64.compsig; netxtreme2_bl-kmp-default-7.14.80_k4.12.14_120-5.sles12sp5.x86_64.rpm

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor *Linux*、バージョン1.5.2以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、ファームウェアバージョン1.5.xとの互換性を維持してアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 7.14.80-5 (オプション)

ファイル名: netxtreme2_bl-kmp-default-7.14.80_k5.3.18_22-5.sles15sp2.x86_64.compsig; netxtreme2_bl-kmp-default-7.14.80_k5.3.18_22-5.sles15sp2.x86_64.rpm; netxtreme2_bl-kmp-default-7.14.80_k5.3.18_57-5.sles15sp3.x86_64.compsig; netxtreme2_bl-kmp-default-7.14.80_k5.3.18_57-5.sles15sp3.x86_64.rpm

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor *Linux*、バージョン1.5.2以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は現在、SUSE Linux Enterprise Server 15 SP3をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2 iSCSI Offload IO Daemon for SUSE Linux Enterprise Server 15 SP1

バージョン: 2.11.5.13-3 (B) (オプション)

ファイル名: iscsiuiobl-2.11.5.13-3.sles15sp1.x86_64.compsig; iscsiuiobl-2.11.5.13-3.sles15sp1.x86_64.rpm

修正

この製品は、SUMがサポートするシステムにインストールするためにそれらを正しく識別することができるビルド設定で再コンパイルされました。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリ for Red Hat Enterprise Linux 7 Update 9

バージョン: 219.0.8.0 (推奨)

ファイル名: libbnxt_re-219.0.8.0-rhel7u9.x86_64.compsig; libbnxt_re-219.0.8.0-rhel7u9.x86_64.rpm; README

事前要件

この製品をインストールする前に、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for Red Hat Enterprise Linux 7*、バージョン1.10.2-219.0.48.0以降をインストールする必要があります。

RoCEライブラリをインストールする前に、ターゲットシステムにlibibverbsおよびrdma-coreパッケージをインストールしておく必要があります。まだインストールしていない場合は、オペレーティングシステムのインストールメディアからパッケージを取得できます。

修正

- この製品は、イーサネットインターフェイスのダウン状態でファームウェアがリセットされたときにハードウェアリソースマネージャー(HWRM)タイムアウトが発生する問題に対応しています。
- この製品は、トラフィックが多いときに受信(RX)パケットがクラッシュする問題に対応しています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

HPE Broadcom NetXtreme-E ドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 1.10.2-219.0.55.0 (推奨)

ファイル名: bnxt_en-kmp-default-1.10.2_k4.12.14_120-219.0.55.0.sles12sp5.x86_64.compsig; bnxt_en-kmp-default-1.10.2_k4.12.14_120-219.0.55.0.sles12sp5.x86_64.rpm; README

重要な注意!

このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E*ファームウェアバージョン、218.0.259000以降を推奨しています。

修正

- この製品は、トラフィックが多いときに受信(RX)パケットがクラッシュする問題に対応しています。
- この製品は、物理機能(PF)インターフェイスが管理上ダウンしているときに仮想機能(VF)を構成できない問題に対処します。
- この製品は、ファームウェアリセットの進行中にドライバーがアンロードされるとシステムがクラッシュする問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

HPE Broadcom NetXtreme-E ドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 1.10.2-219.0.55.0 (推奨)

ファイル名: bnxt_en-kmp-default-1.10.2_k5.3.18_22-219.0.55.0.sles15sp2.x86_64.compsig; bnxt_en-kmp-default-1.10.2_k5.3.18_22-219.0.55.0.sles15sp2.x86_64.rpm; bnxt_en-kmp-default-1.10.2_k5.3.18_57-219.0.55.0.sles15sp3.x86_64.compsig; bnxt_en-kmp-default-1.10.2_k5.3.18_57-219.0.55.0.sles15sp3.x86_64.rpm; README

重要な注意！

このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E*ファームウェアバージョン、218.0.259000以降を推奨しています。

修正

- この製品は、トラフィックが多いときに受信(RX)パケットがクラッシュする問題に対応しています。
- この製品は、物理機能(PF)インターフェイスが管理上ダウンしているときに仮想機能(VF)を構成できない問題に対処します。
- この製品は、ファームウェアリセットの進行中にドライバーがアンロードされるとシステムがクラッシュする問題に対処します。

拡張

この製品は現在、Suse Linux Enterprise Server 15 Service Pack 3をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

HPE Broadcom NetXtreme-E ドライバー for VMware vSphere 6.5

バージョン: 2021.09.04 (**推奨**)

ファイル名: cp049059.compsig; cp049059.zip

重要な注意！

- このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.com およびHPE vibspot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。
- このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E*ファームウェアバージョン、218.0.259000以降を推奨しています。

拡張

この製品は、ファームウェアのリセット/エラー回復のカウンターをサポートするために必要な追加のドライバー入出力制御(ioctl)を強化します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 631SFP28アダプター

HPE Broadcom NetXtreme-E ドライバー for VMware vSphere 6.7

バージョン: 2021.09.04 (**推奨**)

ファイル名: cp047899.compsig; cp047899.zip

重要な注意！

- このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.com およびHPE vibspot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。
- このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E*ファームウェアバージョン、218.0.259000以降を推奨しています。

拡張

この製品は、ファームウェアのヘルスデータの新しいクエリを強化します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 631SFP28アダプター

HPE Broadcom NetXtreme-E ドライバー for VMware vSphere 7.0

バージョン: 2021.09.04 (推奨)

ファイル名: cp047900.compsig; cp047900.zip

重要な注意!

- このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.com およびHPE vibstdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。
- このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E*ファームウェアバージョン、218.0.259000以降を推奨しています。

拡張

この製品は、ファームウェアのヘルスデータの新しいクエリを強化します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 631SFP28アダプター

HPE Broadcom NetXtreme-E ドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 219.0.44.0 (推奨)

ファイル名: cp047875.compsig; cp047875.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*BCM5741x*アダプター用の*HPE Broadcom NetXtreme-E*ファームウェアパッケージ、バージョン218.0.259000以降を推奨しています。

修正

- この製品では、1つの仮想関数(VF)につき32個以上の仮想関数(VF)を作成することができないという問題を修正しました。
- この製品は、大量のTXトラフィック中にBSODが発生する問題を修正します。
- この製品は、仮想機能でドライバー初期化エラーが発生する問題を修正します
- この製品は、Windows 2019でインボックスドライバーのアップデート後に発生するBSODの問題を修正します。
- この製品は、Base-Tデバイスのリンク速度オプションが無効である問題を修正します
- この製品は、Windows仮想マシンホストのVFが無効である問題を修正します

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター

- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター

HPE Broadcom NetXtreme-E ドライバー for Windows Server 2022

バージョン: 219.0.44.0 (推奨)

ファイル名: cp047876.compsig; cp047876.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、BCM5741xアダプター用のHPE Broadcom NetXtreme-Eファームウェアパッケージ、バージョン218.0.259000以降を推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 535Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター

HPE Broadcom NetXtreme-E ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7

バージョン: 1.10.2-219.0.55.0 (推奨)

ファイル名: kmod-bnxt_en-1.10.2-219.0.55.0.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-bnxt_en-1.10.2-219.0.55.0.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-bnxt_en-1.10.2-219.0.55.0.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-bnxt_en-1.10.2-219.0.55.0.rhel7u9.x86_64.rpm; README

重要な注意!

このファームウェアとともに使用する場合は、HPE Broadcom NetXtreme-Eファームウェアバージョン、218.0.259000以降を推奨しています。

修正

- この製品は、トラフィックが多いときに受信(RX)パケットがクラッシュする問題に対応しています。
- この製品は、物理機能(PF)インターフェイスが管理上ダウンしているときに仮想機能(VF)を構成できない問題に対処します。
- この製品は、ファームウェアリセットの進行中にドライバーがアンロードされるとシステムがクラッシュする問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

HPE Broadcom NetXtreme-E ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 1.10.2-219.0.55.0 (推奨)

ファイル名: kmod-bnxt_en-1.10.2-219.0.55.0.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-bnxt_en-1.10.2-219.0.55.0.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-bnxt_en-1.10.2-219.0.55.0.rhel8u4.x86_64.compsig; kmod-bnxt_en-1.10.2-219.0.55.0.rhel8u4.x86_64.rpm; README

重要な注意！

このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E*ファームウェアバージョン、218.0.259000以降を推奨しています。

修正

- この製品は、トラフィックが多いときに受信(RX)パケットがクラッシュする問題に対応しています。
- この製品は、物理機能(PF)インターフェイスが管理上ダウンしているときに仮想機能(VF)を構成できない問題に対処します。
- この製品は、ファームウェアリセットの進行中にドライバーがアンロードされるとシステムがクラッシュする問題に対処します。

拡張

この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 8 Update 4をサポートしています

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

HPE Broadcom NX1 1Gbドライバーfor Windows Server x64 Edition

バージョン: 219.0.1.0 (**推奨**)

ファイル名: cp047793.compsig; cp047793.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NX1*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor *Windows Server x64 Editions*、バージョン5.2.5.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、OSのシャットダウン中にWindowsドライバーがNMI/RSODを引き起こす問題を修正します

拡張

この製品は、Microsoft Windows Server 2022をサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 330iアダプター(22BD)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8)
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 332Tアダプター

HPE Broadcom tg3 Ethernetドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 3.139b-1 (**オプション**)

ファイル名: kmod-tg3-3.139b-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-tg3-3.139b-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-tg3-3.139b-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-tg3-3.139b-1.rhel7u9.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE NX1 Broadcom Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン2.27.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

これらの製品は、tg3タイマーが起動したときにすでにダウンしているにもかかわらず、ドライバーがPHY(物理層)にアクセスしようとする競合状態の問題を修正します。

拡張

この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 7 Update 9をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 330iアダプター(22BD)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8)
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 332Tアダプター

HPE Broadcom tg3 Ethernetドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 3.139b-1 (B) (オプション)

ファイル名: kmod-tg3-3.139b-1.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-tg3-3.139b-1.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-tg3-3.139b-1.rhel8u4.x86_64.compsig; kmod-tg3-3.139b-1.rhel8u4.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE NX1 Broadcom Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン2.28.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 8 Update 4をサポートしています

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 330iアダプター(22BD)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8)
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 332Tアダプター

HPE Broadcom tg3 Ethernetドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 3.139b-2 (B) (オプション)

ファイル名: README; tg3-kmp-default-3.139b_k4.12.14_120-2.sles12sp5.x86_64.compsig; tg3-kmp-default-3.139b_k4.12.14_120-2.sles12sp5.x86_64.rpm

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE NX1 Broadcom Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン2.28.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品では、SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 4のサポートが削除されました。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 330iアダプター(22BD)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター

- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8)
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 332Tアダプター

HPE Broadcom tg3 Ethernetドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 3.139b-2 (B) (オプション)

ファイル名: README; tg3-kmp-default-3.139b_k5.3.18_22-2.sles15sp2.x86_64.compsig; tg3-kmp-default-3.139b_k5.3.18_22-2.sles15sp2.x86_64.rpm; tg3-kmp-default-3.139b_k5.3.18_57-2.sles15sp3.x86_64.compsig; tg3-kmp-default-3.139b_k5.3.18_57-2.sles15sp3.x86_64.rpm

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE NX1 Broadcom Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン2.28.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は現在、Suse Linux Enterprise Server 15 Service Pack 3をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 330iアダプター(22BD)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 332iアダプター(22E8)
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbE iSCSIドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 12.0.1171.0 (C) (オプション)

ファイル名: cp044561.compsig; cp044561.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*Emulexコンバードネットワークアダプター用HPEファームウェアフラッシュ - Windows(x64)*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバード ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbE iSCSIドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 12.0.1171.0 (C) (オプション)

ファイル名: cp044562.compsig; cp044562.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*Emulexコンバードネットワークアダプター用HPEファームウェアフラッシュ - Windows(x64)*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbEドライバー for VMware vSphere 6.5

バージョン: 2020.09.14 (オプション)

ファイル名: cp044545.compsig; cp044545.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.com およびHPE vibspot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、Emulexコンバージドネットワークアダプター用HPEファームウェアフラッシュ - VMware vSphere 6.5、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbEドライバー for VMware vSphere 6.7

バージョン: 2020.09.14 (オプション)

ファイル名: cp044546.compsig; cp044546.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.com およびHPE vibspot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、Emulexコンバージドネットワークアダプター用HPEファームウェアフラッシュ - VMware vSphere 6.7、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbEドライバーfor Windows Server 2016

バージョン: 12.0.1195.0 (C) (オプション)

ファイル名: cp044541.compsig; cp044541.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、Emulexコンバージドネットワークアダプター用HPEファームウェアフラッシュ - Windows(x64)、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbEドライバーfor Windows Server 2019

バージョン: 12.0.1195.0 (C) (オプション)

ファイル名: cp044542.compsig; cp044542.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、Emulexコンバージドネットワークアダプター用HPEファームウェアフラッシュ - Windows(x64)、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20GbE iSCSI ドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 12.0.1342.0-1 (オプション)

ファイル名: be2iscsi-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; be2iscsi-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; be2iscsi-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; be2iscsi-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、HPE Firmware Flash for Emulex コンバージドネットワークアダプター - Linux (x64)、バージョン2020.08.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 5をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E 10Gbコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E 10GBASE-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE Emulex 10/20GbE iSCSI ドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 12.0.1342.0-1 (オプション)

ファイル名: be2iscsi-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; be2iscsi-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; be2iscsi-kmp-default-12.0.1342.0_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; be2iscsi-kmp-default-12.0.1342.0_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - Linux (x64)、バージョン2020.08.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 1およびSUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 2をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E 10Gbコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E 10GBASE-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE Emulex 10/20GbE iSCSI ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 12.0.1342.0-1 (オプション)

ファイル名: kmod-be2iscsi-12.0.1342.0-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-be2iscsi-12.0.1342.0-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-be2iscsi-12.0.1342.0-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-be2iscsi-12.0.1342.0-1.rhel7u9.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - Linux (x64)、バージョン2020.08.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8およびRed Hat Enterprise Linux 7 Update 9をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E 10Gbコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E 10GBASE-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE Emulex 10/20GbE iSCSI ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 12.0.1342.0-1 (オプション)

ファイル名: kmod-be2iscsi-12.0.1342.0-1.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-be2iscsi-12.0.1342.0-1.rhel8u2.x86_64.rpm; kmod-be2iscsi-12.0.1342.0-1.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-be2iscsi-12.0.1342.0-1.rhel8u3.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - Linux (x64)、バージョン2020.08.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2およびRed Hat Enterprise Linux 8 Update 3をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E 10Gbコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E 10GBASE-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE Emulex 10/20GbE iSCSIドライバーfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2020.09.14 (オプション)

ファイル名: cp044543.compsig; cp044543.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.com およびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*Emulex*コンバージドネットワークアダプター用HPEファームウェアフラッシュ - VMware vSphere 6.5、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20GbE iSCSIドライバーfor VMware vSphere 6.7

バージョン: 2020.09.14 (オプション)

ファイル名: cp044544.compsig; cp044544.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.com およびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*Emulex*コンバージドネットワークアダプター用HPEファームウェアフラッシュ - VMware vSphere 6.7、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20GbE ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 12.0.1342.0-1 (オプション)

ファイル名: kmod-be2net-12.0.1342.0-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-be2net-12.0.1342.0-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-be2net-12.0.1342.0-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-be2net-12.0.1342.0-1.rhel7u9.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - Linux (x64)、バージョン2020.08.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8およびRed Hat Enterprise Linux 7 Update 9をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E 10Gbコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E 10GBASE-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE Emulex 10/20GbE ドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 12.0.1342.0-1 (オプション)

ファイル名: be2net-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; be2net-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; be2net-kmp-default-12.0.1342.0_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; be2net-kmp-default-12.0.1342.0_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - Linux(x64)、バージョン2019.12.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 2をサポートしています。

この製品は、SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 1以降にbe2netドライバーをインストールするためのelx_net_install.shインストールスクリプトをサポートするようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E 10Gbコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E 10GBASE-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE Emulex 10/20GbE ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 12.0.1342.0-1 (オプション)

ファイル名: kmod-be2net-12.0.1342.0-1.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-be2net-12.0.1342.0-1.rhel8u2.x86_64.rpm; kmod-be2net-12.0.1342.0-1.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-be2net-12.0.1342.0-1.rhel8u3.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - Linux (x64)、バージョン2020.08.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

- この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2およびRed Hat Enterprise Linux 8 Update 3をサポートしていません。
- この製品は、Red Hat Enterprise Linux 8 Update 1以降にbe2netドライバーをインストールするためのelx_net_install.sh インストールスクリプトをサポートするようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E 10Gbコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E 10GBASE-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE Emulex 10/20GbEドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 12.0.1342.0-1 (**オプション**)

ファイル名: be2net-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; be2net-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; be2net-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; be2net-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - Linux (x64)、バージョン2020.08.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 5をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E 10Gbコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E 10GBASE-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE Intel E1Rドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 12.16.4.1 (**推奨**)

ファイル名: cp047043.compsig; cp047043.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions、バージョン5.2.5.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリNicInE1R.dllおよびe1rmsg.dllとの互換性を維持してアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPE Intel E1Rネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 363iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366i通信ボード

- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4-port 366Tアダプター

HPE Intel E1Rドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 12.18.12.1 (推奨)

ファイル名: cp047044.compsig; cp047044.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions、バージョン5.2.5.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリNicInE1R.dllおよびe1rmsg.dllとの互換性を維持してアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPE Intel E1Rネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 363iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4-port 366Tアダプター

HPE Intel E1Rドライバー for Windows Server 2022

バージョン: 13.0.9.0 (推奨)

ファイル名: cp049621.compsig; cp049621.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions、バージョン5.2.6.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

初期バージョン

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPE Intel E1Rネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2-port 361iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2-port 361Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート363iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート366iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4-port 366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート366Tアダプター

HPE Intel i40eaドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 1.16.62.0 (推奨)

ファイル名: cp047045.compsig; cp047045.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions、バージョン5.2.5.50以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリi40eamsg.dllとの互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター

HPE Intel i40eaドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 1.16.62.0 (推奨)

ファイル名: cp047046.compsig; cp047046.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions、バージョン5.2.5.50以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリi40eamsg.dllとの互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター

HPE Intel i40eaドライバー for Windows Server 2022

バージョン: 1.16.139.0 (推奨)

ファイル名: cp049616.compsig; cp049616.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions、バージョン5.2.6.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

初期バージョン

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+ アダプター

HPE Intel i40ebドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 1.16.62.0 (推奨)

ファイル名: cp047047.compsig; cp047047.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions、バージョン5.2.5.50以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリi40ebmsg.dllとの互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel i40ebドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 1.16.62.0 (推奨)

ファイル名: cp047048.compsig; cp047048.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions、バージョン5.2.5.50以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリi40ebmsg.dllとの互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel i40ebドライバー for Windows Server 2022

バージョン: 1.16.141.0 (推奨)

ファイル名: cp049617.compsig; cp049617.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions、バージョン5.2.6.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

初期バージョン

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel i40enドライバー for VMware vSphere 6.7

バージョン: 2021.12.00 (推奨)

ファイル名: cp047109.compsig; cp047109.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.com およびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for VMware*、バージョン3.15.50以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、ドライバーのロード時のPSODに関する問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター

HPE Intel i40enドライバーfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2021.12.00 (推奨)

ファイル名: cp049058.compsig; cp049058.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.com およびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for VMware*、バージョン3.15.50以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、ドライバーのロード時のPSODに関する問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター

HPE Intel i40eドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 2.17.4-1 (推奨)

ファイル名: kmod-hp-i40e-2.17.4-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-hp-i40e-2.17.4-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-i40e-2.17.4-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-hp-i40e-2.17.4-1.rhel7u9.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.22.50以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、crc_errorおよびsize_errorカウンターで二重カウントされる問題に対処します。
- この製品は、veb-statsが有効になっていた場合に、veb_tcのサイズが無効であるためにethtoolステータスが警告をトリガーする問題に対処します。
- この製品は、PFリセットに関するカーネルエラーメッセージが失敗した問題に対処します。
- この製品は、アダプターLEDがethtoolコマンドで点滅しない問題に対処します
- この製品は、物理機能がtpid設定を同期できない問題に対処します
- この製品は、Virtual Station Interface(VSI)がリセットされたときのLinuxカーネルの問題(カーネルOops)に関する問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 563i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel i40eドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 2.17.4-1 (推奨)

ファイル名: kmod-hp-i40e-2.17.4-1.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-hp-i40e-2.17.4-1.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-hp-i40e-2.17.4-1.rhel8u4.x86_64.compsig; kmod-hp-i40e-2.17.4-1.rhel8u4.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン 1.22.50以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、crc_errorおよびsize_errorカウンターで二重カウントされる問題に対処します。
- この製品は、veb-statsが有効になっていた場合に、veb_tcのサイズが無効であるためにethtoolステータスが警告をトリガーする問題に対処します。
- この製品は、PFリセットに関するカーネルエラーメッセージが失敗した問題に対処します。
- この製品は、アダプターLEDがethtoolコマンドで点滅しない問題に対処します
- この製品は、物理機能がtpid設定を同期できない問題に対処します
- この製品は、Virtual Station Interface(VSI)がリセットされたときのLinuxカーネルの問題(カーネルOops)に関する問題に対処します。

拡張

この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 8 Update 4をサポートしています

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 563i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel i40eドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 2.17.4-1 (推奨)

ファイル名: hp-i40e-kmp-default-2.17.4_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; hp-i40e-kmp-default-2.17.4_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン 1.22.50以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、`crc_error`および`size_error`カウンターで二重カウントされる問題に対処します。
- この製品は、`veb-stats`が有効になっていた場合に、`veb_tc`のサイズが無効であるために`ethtool`ステータスが警告をトリガーする問題に対処します。
- この製品は、PFリセットに関するカーネルエラーメッセージが失敗した問題に対処します。
- この製品は、アダプターLEDが`ethtool`コマンドで点滅しない問題に対処します
- この製品は、物理機能が`tpid`設定を同期できない問題に対処します
- この製品は、Virtual Station Interface(VSI)がリセットされたときのLinuxカーネルの問題(カーネルOops)に関する問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 563i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel i40eドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 2.17.4-1 (推奨)

ファイル名: `hp-i40e-kmp-default-2.17.4_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig`; `hp-i40e-kmp-default-2.17.4_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm`; `hp-i40e-kmp-default-2.17.4_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.compsig`; `hp-i40e-kmp-default-2.17.4_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.rpm`; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン 1.22.50以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、`crc_error`および`size_error`カウンターで二重カウントされる問題に対処します。
- この製品は、`veb-stats`が有効になっていた場合に、`veb_tc`のサイズが無効であるために`ethtool`ステータスが警告をトリガーする問題に対処します。
- この製品は、PFリセットに関するカーネルエラーメッセージが失敗した問題に対処します。
- この製品は、アダプターLEDが`ethtool`コマンドで点滅しない問題に対処します
- この製品は、物理機能が`tpid`設定を同期できない問題に対処します
- この製品は、Virtual Station Interface(VSI)がリセットされたときのLinuxカーネルの問題(カーネルOops)に関する問題に対処します。

拡張

この製品は現在、Suse Linux Enterprise Server 15 Service Pack 3をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 563i アダプター

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel iavf ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 4.2.7-1 (推奨)

ファイル名: kmod-hp-iavf-4.2.7-1.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-hp-iavf-4.2.7-1.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-hp-iavf-4.2.7-1.rhel8u4.x86_64.compsig; kmod-hp-iavf-4.2.7-1.rhel8u4.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.22.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、VM LinuxのVFインターフェイスでMTUを変更した後にHyperVのPingが失われる問題に対処します
- この製品は、VFがbonding-alb/tlbモードに追加されたときに、ボンドを介したトラフィックの中断と完全なトラフィックの停止につながる可能性のある問題に対処します

拡張

この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 8 Update 4をサポートしています

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート369iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート563iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel iavf ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 4.2.7-1 (推奨)

ファイル名: kmod-hp-iavf-4.2.7-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-hp-iavf-4.2.7-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-iavf-4.2.7-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-hp-iavf-4.2.7-1.rhel7u9.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.22.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、VM LinuxのVFインターフェイスでMTUを変更した後にHyperVのPingが失われる問題に対処します
- この製品は、VFがbonding-alb/tlbモードに追加されたときに、ボンドを介したトラフィックの中断と完全なトラフィックの停止につながる可能性のある問題に対処します

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 563i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel iavfドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 4.2.7-1 (推奨)

ファイル名: hp-iavf-kmp-default-4.2.7_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; hp-iavf-kmp-default-4.2.7_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.22.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、VM LinuxのVFインターフェイスでMTUを変更した後にHyperVのPingが失われる問題に対処します
- この製品は、VFがbonding-alb/tlbモードに追加されたときに、ボンドを介したトラフィックの中断と完全なトラフィックの停止につながる可能性のある問題に対処します

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート369iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート563iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel iavfドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 4.2.7-1 (推奨)

ファイル名: hp-iavf-kmp-default-4.2.7_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; hp-iavf-kmp-default-4.2.7_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; hp-iavf-kmp-default-4.2.7_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.compsig; hp-iavf-kmp-default-4.2.7_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.22.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、VM LinuxのVFインターフェイスでMTUを変更した後にHyperVのPingが失われる問題に対処します
- この製品は、VFがbonding-alb/tlbモードに追加されたときに、ボンドを介したトラフィックの中断と完全なトラフィックの停止につながる可能性のある問題に対処します

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 3をサポートしています

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 563i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel iavfドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 1.12.9.0 (オプション)

ファイル名: cp045011.compsig; cp045011.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Editions*、バージョン5.2.4.0またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

事前要件

このドライバーではホストドライバーバージョン1.13.104.0以降が必要です。

拡張

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリiavfmsg.dllとの互換性を維持してアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のHPE Intel i40eaネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター

この製品は、以下のHPE Intel i40ebネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター

HPE Intel iavfドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 1.12.9.0 (オプション)

ファイル名: cp045010.compsig; cp045010.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Editions*、バージョン5.2.4.0またはそれ以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

事前要件

このドライバーではホストドライバーバージョン1.13.104.0以降が必要です。

拡張

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリiavfmsg.dllとの互換性を維持してアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のHPE Intel i40eaネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター

この製品は、以下のHPE Intel i40ebネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター

HPE Intel iavfドライバー for Windows Server 2022

バージョン: 1.13.8.0 (推奨)

ファイル名: cp049687.compsig; cp049687.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.6.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

事前要件

このドライバーではホストドライバーバージョン1.16.139.0以降が必要です。

拡張

初期バージョン。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のHPE Intel i40eaネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+ アダプター

この製品は、以下のHPE Intel i40ebネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター

HPE Intel igbn ドライバー for VMware vSphere 6.5

バージョン: 2021.09.04 (推奨)

ファイル名: cp049060.compsig; cp049060.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.com およびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware、バージョン3.15.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、TX/RXリングのハングの検出および回復手順の信頼性を向上させます。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター

HPE Intel igbn ドライバー for VMware vSphere 6.7

バージョン: 2021.09.04 (推奨)

ファイル名: cp047110.compsig; cp047110.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.com およびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware、バージョン3.15.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、TX/RXリングのハングの検出および回復手順の信頼性を向上させます。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366iアダプター
- HPE Ethernet 1 Gb 4ポート366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター

HPE Intel igbnドライバーfor VMware vSphere 7.0

バージョン: 2021.09.04 (推奨)

ファイル名: cp0471111.compsig; cp0471111.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.com およびHPE vibstdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor VMware、バージョン3.15.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、次の新しいサーバーをサポートしています。

- HPE ProLiant DL20 Gen10 Plusサーバー
- HPE ProLiant ML30 Gen10 Plusサーバー

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366iアダプター
- HPE Ethernet 1 Gb 4ポート366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター

HPE Intel igbドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 6.8.5-2 (推奨)

ファイル名: kmod-hp-igb-6.8.5-2.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-hp-igb-6.8.5-2.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-igb-6.8.5-2.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-hp-igb-6.8.5-2.rhel7u9.x86_64.rpm; README

修正

この製品は、Linuxでファームウェアアップデートが失敗する問題を修正します

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のIntelネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1 Gb 4ポート366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター

HPE Intel igbドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 6.8.5-2 (推奨)

ファイル名: kmod-hp-igb-6.8.5-2.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-hp-igb-6.8.5-2.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-hp-igb-6.8.5-2.rhel8u4.x86_64.compsig; kmod-hp-igb-6.8.5-2.rhel8u4.x86_64.rpm; README

修正

この製品は、Linuxでファームウェアアップデートが失敗する問題を修正します

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のIntelネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1 Gb 4ポート366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター

HPE Intel igbドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 6.8.5-2 (推奨)

ファイル名: hp-igb-kmp-default-6.8.5_k4.12.14_120-2.sles12sp5.x86_64.compsig; hp-igb-kmp-default-6.8.5_k4.12.14_120-2.sles12sp5.x86_64.rpm; README

修正

この製品は、Linuxでファームウェアアップデートが失敗する問題を修正します

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のIntelネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1 Gb 4ポート366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター

HPE Intel igbドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 6.8.5-2 (推奨)

ファイル名: hp-igb-kmp-default-6.8.5_k5.3.18_22-2.sles15sp2.x86_64.compsig; hp-igb-kmp-default-6.8.5_k5.3.18_22-2.sles15sp2.x86_64.rpm; hp-igb-kmp-default-6.8.5_k5.3.18_57-2.sles15sp3.x86_64.compsig; hp-igb-kmp-default-6.8.5_k5.3.18_57-2.sles15sp3.x86_64.rpm; README

修正

この製品は、Linuxでファームウェアアップデートが失敗する問題を修正します

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のIntelネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1 Gb 4ポート366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター

HPE Intel ixgbenドライバーfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2021.12.00 (推奨)

ファイル名: cp049117.compsig; cp049117.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.com およびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for VMware*, バージョン3.15.50以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、機能していないMACスプーフィング対策に関する問題を修正します
- この製品は、仮想関数カウンターの正しくない値に関する問題を修正します

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター

HPE Intel ixgbenドライバーfor VMware vSphere 6.7

バージョン: 2021.12.00 (推奨)

ファイル名: cp047114.compsig; cp047114.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.com およびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for VMware*, バージョン3.15.50以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、機能していないMACスプーフィング対策に関する問題を修正します
- この製品は、仮想関数カウンターの正しくない値に関する問題を修正します

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター

HPE Intel ixgbenドライバーfor VMware vSphere 7.0

バージョン: 2021.12.00 (推奨)

ファイル名: cp047115.compsig; cp047115.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.com およびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for VMware*, バージョン3.15.50以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、機能していないMACスプーフィング対策に関する問題を修正します
- この製品は、仮想関数カウンターの正しくない値に関する問題を修正します

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター

HPE Intel ixgbevfドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 4.13.3-1 (推奨)

ファイル名: kmod-hp-ixgbevf-4.13.3-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbevf-4.13.3-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbevf-4.13.3-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbevf-4.13.3-1.rhel7u9.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン 1.22.50以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、潜在的なメモリリークに関する問題に対処します
- この製品は、eXpress Data Path(XDP)フレームサイズの計算に関する問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560Mアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター

HPE Intel ixgbevfドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 4.13.3-1 (推奨)

ファイル名: kmod-hp-ixgbevf-4.13.3-1.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbevf-4.13.3-1.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbevf-4.13.3-1.rhel8u4.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbevf-4.13.3-1.rhel8u4.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン 1.22.50以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、潜在的なメモリリークに関する問題に対処します
- この製品は、eXpress Data Path(XDP)フレームサイズの計算に関する問題に対処します。

拡張

この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 8 Update 4をサポートしています

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560Mアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター

HPE Intel ixgbevfドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 4.13.3-1 (推奨)

ファイル名: hp-ixgbevf-kmp-default-4.13.3_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; hp-ixgbevf-kmp-default-4.13.3_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン 1.22.50以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、潜在的なメモリリークに関する問題に対処します
- この製品は、eXpress Data Path(XDP)フレームサイズの計算に関する問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560Mアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター

HPE Intel ixgbevfドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 4.13.3-1 (推奨)

ファイル名: hp-ixgbevf-kmp-default-4.13.3_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; hp-ixgbevf-kmp-default-4.13.3_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; hp-ixgbevf-kmp-default-4.13.3_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.compsig; hp-ixgbevf-kmp-default-4.13.3_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン 1.22.50以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、潜在的なメモリリークに関する問題に対処します
- この製品は、eXpress Data Path(XDP)フレームサイズの計算に関する問題に対処します。

拡張

この製品は現在、Suse Linux Enterprise Server 15 Service Pack 3をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560Mアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター

HPE Intel ixgbeドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 5.13.4-1 (推奨)

ファイル名: kmod-hp-ixgbe-5.13.4-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbe-5.13.4-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbe-5.13.4-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbe-5.13.4-1.rhel7u9.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン 1.22.50以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、SRIOVが無効になっているときにMDD(悪意のあるドライバーの検出)を有効にするメカニズムを強化します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560Mアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター

HPE Intel ixgbeドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 5.13.4-1 (推奨)

ファイル名: kmod-hp-ixgbe-5.13.4-1.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbe-5.13.4-1.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbe-5.13.4-1.rhel8u4.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbe-5.13.4-1.rhel8u4.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン 1.22.50以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

- この製品は、SRIOVが無効になっているときにMDD(悪意のあるドライバーの検出)を有効にするメカニズムを強化します。
- この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 8 Update 4をサポートしています

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560Mアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター

HPE Intel ixgbeドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 5.13.4-1 (推奨)

ファイル名: hp-ixgbe-kmp-default-5.13.4_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; hp-ixgbe-kmp-default-5.13.4_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン 1.22.50以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、SRIOVが無効になっているときにMDD(悪意のあるドライバーの検出)を有効にするメカニズムを強化します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560Mアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター

HPE Intel ixgbeドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 5.13.4-1 (推奨)

ファイル名: hp-ixgbe-kmp-default-5.13.4_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; hp-ixgbe-kmp-default-5.13.4_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; hp-ixgbe-kmp-default-5.13.4_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.compsig; hp-ixgbe-kmp-default-5.13.4_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.22.50以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

- この製品は、SRIOVが無効になっているときにMDD(悪意のあるドライバーの検出)を有効にするメカニズムを強化します。
- この製品は現在、Suse Linux Enterprise Server 15 Service Pack 3をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560Mアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター

HPE Intel ixnドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 4.1.239.0 (推奨)

ファイル名: cp047056.compsig; cp047056.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Windows Server x64 Editions*、バージョン5.2.5.50以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリNicInIXN.dllおよびixnmsg.dllとの互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560FLR-SFP+アダプター
 - HPE Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+アダプター
-

HPE Intel ixnドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 4.1.239.0 (推奨)

ファイル名: cp047049.compsig; cp047049.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions、バージョン5.2.5.50以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリNicInIXN.dllおよびixnmsg.dllとの互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+アダプター

HPE Intel vxnドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 2.1.243.0 (推奨)

ファイル名: cp047054.compsig; cp047054.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions、バージョン5.2.5.50以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

事前要件

このドライバーではホストドライバーバージョンixn 4.1.239.0、ixt 4.1.229.0以降が必要です。

拡張

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリNicInVXN.dllおよびvxnmsg.dllとの互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のHPE Intelネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター

このソフトウェアは、以下のHPE Intelネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター

HPE Intel vxnドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 2.1.241.0 (推奨)

ファイル名: cp047055.compsig; cp047055.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions、バージョン5.2.5.50以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

事前要件

このドライバーではホストドライバーバージョンixn 4.1.239.0、ixt 4.1.228.0以降が必要です。

拡張

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリNicInVXN.dllおよびvxnmsg.dllとの互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のHPE Intelネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター

このソフトウェアは、以下のHPE Intelネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター

HPE Intel vxsドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 2.1.232.0 (推奨)

ファイル名: cp047084.comsig; cp047084.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions、バージョン5.2.5.50以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

事前要件

このドライバーではホストドライバーバージョン4.1.239.0以降が必要です。

拡張

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリNicInVXS.dllおよびvxsmg.dllとの互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター

HPE Mellanox CX4LXおよびCX5ドライバー for Microsoft Windows Server 2016

バージョン: 2.80.25134.0 (推奨)

ファイル名: cp050319.comsig; cp050319.exe

修正

- この製品は、RxトラフィックでvPortを削除するときに、システムがクラッシュする可能性がある問題を修正します。
- この製品は、ドライバーのいずれかがアップデートされていない場合でも、インストールプロセスが正常に完了する問題を修正します。
- この製品は、TCPタイムスタンプオプション(ts-val)が存在し、MSBがRSCと一緒に設定されている場合に、トラフィックが失われ、接続が切断される問題を解決します。

拡張

このドライバーにより、イベントビューアーは長い名前に関連するOSの制限に対処できるようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28 アダプター
- HPE Ethernet 25Gb 2-port 640SFP28 アダプター
- HPE Ethernet 25Gb 2ポート640FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+ アダプター
- HPE InfiniBand EDR/イーサーネット 100Gb 2ポート841QSFP28アダプター
- HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター
- HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28 Adapter

- HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFP Adapter

HPE Mellanox CX4LXおよびCX5ドライバー for Microsoft Windows Server 2019

バージョン: 2.80.25134.0 (推奨)

ファイル名: cp050320.compsig; cp050320.exe

修正

- この製品は、RxトラフィックでvPortを削除するときに、システムがクラッシュする可能性がある問題を修正します。
- この製品は、ドライバーのいずれかがアップデートされていない場合でも、インストールプロセスが正常に完了する問題を修正します。
- この製品は、TCPタイムスタンプオプション(ts-val)が存在し、MSBがRSCと一緒に設定されている場合に、トラフィックが失われ、接続が切断される問題を解決します。

拡張

このドライバーにより、イベントビューアーは長い名前に関連するOSの制限に対処できるようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28 アダプター
- HPE Ethernet 25Gb 2-port 640SFP28 アダプター
- HPE Ethernet 25Gb 2ポート640FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+ アダプター
- HPE InfiniBand EDR/イーサネット 100Gb 2ポート841QSFP28アダプター
- HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター
- HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28 Adapter
- HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFP Adapter

HPE Mellanox CX4LXおよびCX5ドライバー for Microsoft Windows Server 2022

バージョン: 2.80.25134.0 (推奨)

ファイル名: cp050321.compsig; cp050321.exe

修正

- この製品は、RxトラフィックでvPortを削除するときに、システムがクラッシュする可能性がある問題を修正します。
- この製品は、ドライバーのいずれかがアップデートされていない場合でも、インストールプロセスが正常に完了する問題を修正します。
- この製品は、TCPタイムスタンプオプション(ts-val)が存在し、MSBがRSCと一緒に設定されている場合に、トラフィックが失われ、接続が切断される問題を解決します。

拡張

このドライバーにより、イベントビューアーは長い名前に関連するOSの制限に対処できるようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 100Gb 1ポート842QSFP28アダプター
- HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28アダプター
- HPE Ethernet 25Gb 2ポート640FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+ アダプター
- HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2-port 841QSFP28 Adapter
- HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター
- HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28アダプター
- HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2-port 547FLR-QSFP Adapter

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet) ConnectX-3 Proドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8 (x86_64)

バージョン: 4.9-4.0.8.1 (推奨)

ファイル名: kmod-mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.4.0.8.1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-mlnx-ofa_kernel-4.9-

OFED.4.9.4.0.8.1.rhel7u8.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.4.0.8.1.rhel7u8.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.4.0.8.1.rhel7u8.x86_64.rpm

重要な注意！

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信リポジトリ (https://downloads.linux.hpe.com/SDR/project/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

事前要件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題がバージョン4.9-4.0.8.1で修正されました。

- 特定のLinuxオペレーティングシステムで、再起動後にopenibdが自動的にロードされませんでした。

拡張

バージョン4.9-4.0.8.1には新機能の追加も変更もありません。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 7 Update 8 (x86_64)カーネルは、次の通りです。
3.10.0-1127.el7 - (x86_64) および将来アップデートされるカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet) ConnectX-3 Proドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 8 update 4 (x86_64)

バージョン: 4.9-4.0.8.1 (**推奨**)

ファイル名: kmod-mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.4.0.8.1.rhel8u4.x86_64.compsig; kmod-mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.4.0.8.1.rhel8u4.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.4.0.8.1.rhel8u4.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.4.0.8.1.rhel8u4.x86_64.rpm

修正

以下の問題がバージョン4.9-4.0.8.1で修正されました。

- 特定のLinuxオペレーティングシステムで、再起動後にopenibdが自動的にロードされませんでした。

拡張

バージョン4.9-4.0.8.1には新機能の追加も変更もありません。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet) ConnectX-3 Proドライバーfor SUSE LINUX Enterprise Server 12 SP4 (AMD64/EM64T)

バージョン: 4.9-4.0.8.1 (**推奨**)

ファイル名: mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.4.0.8.1.sles12sp4.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.4.0.8.1.sles12sp4.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-4.9_k4.12.14_94.41-OFED.4.9.4.0.8.1.sles12sp4.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-4.9_k4.12.14_94.41-OFED.4.9.4.0.8.1.sles12sp4.x86_64.rpm

重要な注意！

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信リポジトリ (https://downloads.linux.hpe.com/SDR/project/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

事前要件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題がバージョン4.9-4.0.8.1で修正されました。

- 特定のLinuxオペレーティングシステムで、再起動後にopenibdが自動的にロードされませんでした。

拡張

バージョン4.9-4.0.8.1には新機能の追加も変更もありません。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 12 SP4(AMD64/EM64T)のカーネルは、次のとおりです。
4.12.14-94.41-default -(AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet) ConnectX-4、ConnectX-5、およびConnectX-6ドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8 (x86_64)

バージョン: 5.5 (推奨)

ファイル名: kmod-mlnx-ofa_kernel-5.5-OFED.5.5.1.0.3.1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-mlnx-ofa_kernel-5.5-OFED.5.5.1.0.3.1.rhel7u8.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-5.5-OFED.5.5.1.0.3.1.rhel7u8.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-5.5-OFED.5.5.1.0.3.1.rhel7u8.x86_64.rpm

重要な注意!

Mellanox Ethernet + RoCE Linux ドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信リポジトリ (http://downloads.linux.hpe.com/SDR/repo/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

事前要件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題点がバージョン5.5で修正されました。

- 一部のディストリビューションには/usr/bin/pythonがなくなったため、python3ヘッダー行(shebang行)に不整合が生じる可能性があります。
- ドライバーでDCT(Dynamically Connected Transport)のPCPベース優先度を設定しなかったため、DCT応答パケットはユーザー優先度なしで送信されました。
- ボンディングスタンバイポートでtcpdumpを実行すると、ネットワーク接続が失われました。
- サスペンドフローはVLANデータを解放したため、再開フロー中にデータが復元されませんでした。
- フラグメンテーションを伴う接続追跡ルールは0 statsでした。
- OVSブリッジがボンディングインターフェイスで構成され、IPがOVS内部(ブリッジ)ポートを介して構成されている場合、トラフィックは通過できませんでした。
- IPsec暗号オフロードを備えたVXLANは機能していませんでした。
- VF LAGモードでドライバーを再起動すると、カーネルのクラッシュなどの望ましくない動作が発生する可能性があります。

拡張

バージョン5.5での変更点と新機能。

- ConnectX-4以降では、switchdevモードのmlx5リプレゼンター上で機能するVLANサポートを備えたブリッジオフロードのサポートが追加されました。

- ConnectX-5以降では、TCルールを使用して最大32の宛先にパケットレプリケーションをオフロードするためのサポートが追加されました。
- ConnectX-4以降では、RDMA統計情報ツールを拡張して、netlinkを使用したベンダー固有のオプションカウンターの動的設定をサポートしました。オプションのカウンター(cc_rx_ce_pkts、cc_rx_cnp_pkts、cc_tx_cnp_pkts)がmlx5_ibに追加されます。
- ConnectX-5以降では、mixdevmを介して、特定のPCIサブ機能(SF)または仮想機能(VF)を信頼できる機能としてマークするためのサポートが追加されました。デバイス/ファームウェアは、特権とリソースへのアクセスを定義する方法を決定します。
- すべてのチップセットで、VFメモリの枯渇を防ぐためのサポートが追加されました。この機能は、各VFメモリ消費量に制限を設定できるsysfsを(システム管理者に)公開します。注記:現在、この機能はイーサネットでのみサポートされています。
- ConnectX-5以降では、HTB qdiscをNICにオフロードするためのサポートが追加され、単一のロックポイントを排除することで拡張性が向上しています。構成はTCコマンドで行います。注記:カーネル5.15以降が必要です。256ノードに制限されています。
- PTPとCQEの圧縮を同時にアクティブ化するためのサポートが追加されました。CQE圧縮はPTPの精度を損なう可能性があるため、この機能により、圧縮の対象とならない専用キューにPTPパケットを移動できます。ただし、この構成はaRFSの設定と競合します。CQE圧縮をオフにすると、トラフィックに一時的な中断が発生し、同期が失われる可能性があります。これを克服するには、同期を再開します。

注記:この組み合わせは、イーサネットドライバーでのみサポートされます。IPoIBやリプレゼンターなどの他のドライバープロファイルは、この組み合わせをサポートしていません。

- 複数のmlx-ofa_kernel開発ヘッダーパッケージ(同じmlx-ofa_kernelパッケージバージョンの異なるカーネルバージョン用)を同じシステムに並列でインストールできるようになりました。
- ConnectX-6 Dxでは、fast-failoverモードでのOVSグループのサポートとOVSを使用したVF_LAG構成により、OVSフェイルオーバーが改善されました。
- ConnectX-6 Dxでは、デバイスごとにバッファードロップカウンターからヘアピンを公開するためのサポートが追加されました。この機能は、クエリされたデバイスで開かれたヘアピンキューにのみ関連するバッファードロップを表示します。

このカウントモードを有効にするには(ヘアピンルールを作成する前にこれを行う必要があります)、次を使用します。echo "on" > /sys/class/net//hp_oob_cnt_mode。ここでは、構成されたデバイスに着信するトラフィックが送信のために転送されるピアデバイスです。

ドロップカウンターを読み取るには、次を使用します。cat /sys/class/net//hp_oob_cnt

- ConnectX-6 Dxでは、ボンディング(VF LAG)をサポートするためにブリッジオフロードを追加し、アップリンクリプレゼンターの代わりにボンディングデバイスをブリッジに接続しました。
- ConnectX-6 Dxでは、switchdevモードにおけるRxでのVLANブッシュ(ワイヤーからVF)およびTxでのVLANポップ(ワイヤーからVF)のOOBサポートが追加されました。
- ConnectX-6 Dxでは、FDBルールの複数のフローステアリング優先度のサポートが追加されました。
- ConnectX-6 Dx以降では、RX再同期操作の高負荷に対するドライバー耐障害性のサポートが追加されました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 7 Update 8 (x86_64)カーネルは、次の通りです。
3.10.0-1127.el7 - (x86_64) および将来アップデートされるカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet) ConnectX-4、ConnectX-5、およびConnectX-6ドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 8 Update 4 (x86_64)

バージョン: 5.5 (推奨)

ファイル名: kmod-mlx-ofa_kernel-5.5-OFED.5.5.1.0.3.1.rhel8u4.x86_64.compsig; kmod-mlx-ofa_kernel-5.5-OFED.5.5.1.0.3.1.rhel8u4.x86_64.rpm; mlx-ofa_kernel-5.5-OFED.5.5.1.0.3.1.rhel8u4.x86_64.compsig; mlx-ofa_kernel-5.5-OFED.5.5.1.0.3.1.rhel8u4.x86_64.rpm

重要な注意!

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみをサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信リポジトリ(https://downloads.linux.hpe.com/SDR/project/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

修正

以下の問題点がバージョン5.5で修正されました。

- 一部のディストリビューションには/usr/bin/pythonがなくなったため、python3ヘッダー行(shebang行)に不整合が生じる可能性があります。

バージョン: 5.5 (推奨)

ファイル名: kmod-mlnx-ofa_kernel-5.5-OFED.5.5.1.0.3.1.rhel8u5.x86_64.compsig; kmod-mlnx-ofa_kernel-5.5-OFED.5.5.1.0.3.1.rhel8u5.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-5.5-OFED.5.5.1.0.3.1.rhel8u5.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-5.5-OFED.5.5.1.0.3.1.rhel8u5.x86_64.rpm

修正

以下の問題点がバージョン5.5で修正されました。

- 一部のディストリビューションには/usr/bin/pythonがなくなったため、python3ヘッダー行(shebang行)に不整合が生じる可能性があります。
- ドライバーでDCT(Dynamically Connected Transport)のPCPベース優先度を設定しなかったため、DCT応答パケットはユーザー優先度なしで送信されました。
- ボンディングスタンバイポートでtcpdumpを実行すると、ネットワーク接続が失われました。
- サスペンドフローはVLANデータを解放したため、再開フロー中にデータが復元されませんでした。
- フラグメンテーションを伴う接続追跡ルールは0 statsでした。
- OVSブリッジがボンディングインターフェイスで構成され、IPがOVS内部(ブリッジ)ポートを介して構成されている場合、トラフィックは通過できませんでした。
- IPsec暗号オフロードを備えたVXLANは機能していませんでした。
- VF LAGモードでドライバーを再起動すると、カーネルのクラッシュなどの望ましくない動作が発生する可能性があります。

拡張

バージョン5.5での変更点と新機能。

- ConnectX-4以降では、switchdevモードのmlx5リプレゼンター上で機能するVLANサポートを備えたブリッジオフロードのサポートが追加されました。
- ConnectX-5以降では、TCルールを使用して最大32の宛先にパケットレプリケーションをオフロードするためのサポートが追加されました。
- ConnectX-4以降では、RDMA統計情報ツールを拡張して、netlinkを使用したベンダー固有のオプションカウンターの動的設定をサポートしました。オプションのカウンター(cc_rx_ce_pkts, cc_rx_cnp_pkts, cc_tx_cnp_pkts)がmlx5_ibに追加されます。
- ConnectX-5以降では、mlxdevmを介して、特定のPCIサブ機能(SF)または仮想機能(VF)を信頼できる機能としてマークするためのサポートが追加されました。デバイス/ファームウェアは、特権とリソースへのアクセスを定義する方法を決定します。
- すべてのチップセットで、VFメモリの枯渇を防ぐためのサポートが追加されました。この機能は、各VFメモリ消費量に制限を設定できるsysfsを(システム管理者に)公開します。注記:現在、この機能はイーサネットでのみサポートされています。
- ConnectX-5以降では、HTB qdiscをNICにオフロードするためのサポートが追加され、単一のロックポイントを排除することで拡張性が向上しています。構成はTCコマンドで行います。注記:カーネル5.15以降が必要です。256ノードに制限されています。
- PTPとCQEの圧縮を同時にアクティブ化するためのサポートが追加されました。CQE圧縮はPTPの精度を損なう可能性があるため、この機能により、圧縮の対象とならない専用キューにPTPパケットを移動できます。ただし、この構成はaRFSの設定と競合します。CQE圧縮をオフにすると、トラフィックに一時的な中断が発生し、同期が失われる可能性があります。これを克服するには、同期を再開します。

注記:この組み合わせは、イーサネットドライバーでのみサポートされます。IPoIBやリプレゼンターなどの他のドライバープロファイルは、この組み合わせをサポートしていません。

- 複数のmlnx-ofa_kernel開発ヘッダーパッケージ(同じmlnx-ofa_kernelパッケージバージョンの異なるカーネルバージョン用)を同じシステムに並列でインストールできるようになりました。
- ConnectX-6 Dxでは、fast-failoverモードでのOVSグループのサポートとOVSを使用したVF_LAG構成により、OVSフェイルオーバーが改善されました。
- ConnectX-6 Dxでは、デバイスごとにバッファードロップカウンターからヘアピンを公開するためのサポートが追加されました。この機能は、クエリされたデバイスで開かれたヘアピンキューにのみ関連するバッファードロップを表示します。

このカウントモードを有効にするには(ヘアピンルールを作成する前にこれを行う必要があります)、次を使用します。echo "on" > /sys/class/net//hp_oob_cnt_mode。ここでは、構成されたデバイスに着信するトラフィックが送信のために転送されるピアデバイスです。

ドロップカウンターを読み取るには、次を使用します。cat /sys/class/net//hp_oob_cnt

- ConnectX-6 Dxでは、ボンディング(VF LAG)をサポートするためにブリッジオフロードを追加し、アップリンクリプレゼンターの代わりにボンディングデバイスをブリッジに接続しました。
- ConnectX-6 Dxでは、switchdevモードにおけるRxでのVLANプッシュ(ワイヤーからVF)およびTxでのVLANポップ(ワイヤーからVF)のOOBサポートが追加されました。
- ConnectX-6 Dxでは、FDBルールの複数のフローステアリング優先度のサポートが追加されました。
- ConnectX-6 Dx以降では、RX再同期操作の高負荷に対するドライバー耐障害性のサポートが追加されました。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet) ConnectX-4、ConnectX-5、およびConnectX-6ドライバーfor SUSE LINUX Enterprise Server 12 SP4 (AMD64/EM64T)

バージョン: 5.5 (推奨)

ファイル名: mlnx-ofa_kernel-5.5-OFED.5.5.1.0.3.1.sles12sp4.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-5.5-OFED.5.5.1.0.3.1.sles12sp4.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-5.5_k4.12.14_94.41-OFED.5.5.1.0.3.1.sles12sp4.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-5.5_k4.12.14_94.41-OFED.5.5.1.0.3.1.sles12sp4.x86_64.rpm

重要な注意!

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみをサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信リポジトリ (http://downloads.linux.hpe.com/SDR/repo/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

事前要件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題点がバージョン5.5で修正されました。

- 一部のディストリビューションには/usr/bin/pythonがなくなったため、python3ヘッダー行(shebang行)に不整合が生じる可能性があります。
- ドライバーでDCT(Dynamically Connected Transport)のPCPベース優先度を設定しなかったため、DCT応答パケットはユーザー優先度なしで送信されました。
- ボンディングスタンバイポートでtcpdumpを実行すると、ネットワーク接続が失われました。
- サスペンドフローはVLANデータを解放したため、再開フロー中にデータが復元されませんでした。
- フラグメンテーションを伴う接続追跡ルールは0 statsでした。
- OVSブリッジがボンディングインターフェイスで構成され、IPがOVS内部(ブリッジ)ポートを介して構成されている場合、トラフィックは通過できませんでした。
- IPsec暗号オフロードを備えたVXLANは機能していませんでした。
- VF LAGモードでドライバーを再起動すると、カーネルのクラッシュなどの望ましくない動作が発生する可能性があります。

拡張

バージョン5.5での変更点と新機能。

- ConnectX-4以降では、switchdevモードのmlx5リプレゼンター上で機能するVLANサポートを備えたブリッジオフロードのサポートが追加されました。
- ConnectX-5以降では、TCルールを使用して最大32の宛先にパケットレプリケーションをオフロードするためのサポートが追加されました。
- ConnectX-4以降では、RDMA統計情報ツールを拡張して、netlinkを使用したベンダー固有のオプションカウンターの動的設定をサポートしました。オプションのカウンター(cc_rx_ce_pkts、cc_rx_cnp_pkts、cc_tx_cnp_pkts)がmlx5_ibに追加されます。
- ConnectX-5以降では、mlxdevmを介して、特定のPCIサブ機能(SF)または仮想機能(VF)を信頼できる機能としてマークするためのサポートが追加されました。デバイス/ファームウェアは、特権とリソースへのアクセスを定義する方法を決定します。
- すべてのチップセットで、VFメモリの枯渇を防ぐためのサポートが追加されました。この機能は、各VFメモリ消費量に制限を設定できるsysfsを(システム管理者に)公開します。注記:現在、この機能はイーサネットでのみサポートされています。
- ConnectX-5以降では、HTB qdiscをNICにオフロードするためのサポートが追加され、単一のロックポイントを排除することで拡張性が向上しています。構成はTCコマンドで行います。注記:カーネル5.15以降が必要です。256ノードに制限されています。
- PTPとCQEの圧縮を同時にアクティブ化するためのサポートが追加されました。CQE圧縮はPTPの精度を損なう可能性があるため、この機能により、圧縮の対象とならない専用キューにPTPパケットを移動できます。ただし、この構成はaRFSの設定と競合します。CQE圧縮をオフにすると、トラフィックに一時的な中断が発生し、同期が失われる可能性があります。これを克服するには、同期を再開します。

注記:この組み合わせは、イーサネットドライバーでのみサポートされます。IPoIBやリプレゼンターなどの他のドライバープロファイルは、この組み合わせをサポートしていません。

- 複数のmlnx-ofa_kernel開発ヘッダーパッケージ(同じmlnx-ofa_kernelパッケージバージョンの異なるカーネルバージョン)を同じシステムに並列でインストールできるようになりました。
- ConnectX-6 Dxでは、fast-failoverモードでのOVSグループのサポートとOVSを使用したVF_LAG構成により、OVSフェイルオーバーが改善されました。

- ConnectX-6 Dxでは、デバイスごとにバッファドロップカウンターからヘアピンを公開するためのサポートが追加されました。この機能は、クエリされたデバイスで開かれたヘアピンキューにのみ関連するバッファドロップを表示します。

このカウントモードを有効にするには(ヘアピンルールを作成する前にこれを行う必要があります)、次を使用します。echo "on" > /sys/class/net//hp_oob_cnt_mode。ここでは、構成されたデバイスに着信するトラフィックが送信のために転送されるピアデバイスです。

ドロップカウンターを読み取るには、次を使用します。cat /sys/class/net//hp_oob_cnt

- ConnectX-6 Dxでは、ボンディング(VF LAG)をサポートするためにブリッジオフロードを追加し、アップリンクリプレゼンターの代わりにボンディングデバイスをブリッジに接続しました。
- ConnectX-6 Dxでは、switchdevモードにおけるRxでのVLANプッシュ(ワイヤーからVF)およびTxでのVLANポップ(ワイヤーからVF)のOOBサポートが追加されました。
- ConnectX-6 Dxでは、FDBルールの複数のフローステアリング優先度のサポートが追加されました。
- ConnectX-6 Dx以降では、RX再同期操作の高負荷に対するドライバー耐障害性のサポートが追加されました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 12 SP4(AMD64/EM64T)のカーネルは、次のとおりです。
4.12.14-94.41-default -(AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet) ConnectX-4、ConnectX-5、およびConnectX-6ドライバーfor SUSE LINUX Enterprise Server 12 SP5 (AMD64/EM64T)

バージョン: 5.5 (推奨)

ファイル名: mlnx-ofa_kernel-5.5-OFED.5.5.1.0.3.1.sles12sp5.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-5.5-OFED.5.5.1.0.3.1.sles12sp5.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-5.5_k4.12.14_120-OFED.5.5.1.0.3.1.sles12sp5.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-5.5_k4.12.14_120-OFED.5.5.1.0.3.1.sles12sp5.x86_64.rpm

重要な注意!

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみをサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信リポジトリ (http://downloads.linux.hpe.com/SDR/repo/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

事前要件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題点がバージョン5.5で修正されました。

- 一部のディストリビューションには/usr/bin/pythonがなくなったため、python3ヘッダー行(shebang行)に不整合が生じる可能性があります。
- ドライバーでDCT(Dynamically Connected Transport)のPCPベース優先度を設定しなかったため、DCT応答パケットはユーザー優先度なしで送信されました。
- ボンディングスタンバイポートでtcpdumpを実行すると、ネットワーク接続が失われました。
- サスペンドフローはVLANデータを解放したため、再開フロー中にデータが復元されませんでした。
- フラグメンテーションを伴う接続追跡ルールは0 statsでした。
- OVSブリッジがボンディングインターフェイスで構成され、IPがOVS内部(ブリッジ)ポートを介して構成されている場合、トラフィックは通過できませんでした。
- IPsec暗号オフロードを備えたVXLANは機能していませんでした。
- VF LAGモードでドライバーを再起動すると、カーネルのクラッシュなどの望ましくない動作が発生する可能性があります。

拡張

バージョン5.5での変更点と新機能。

- ConnectX-4以降では、switchdevモードのmlx5リプレゼンター上で機能するVLANサポートを備えたブリッジオフロードのサポートが追加されました。
- ConnectX-5以降では、TCルールを使用して最大32の宛先にパケットレプリケーションをオフロードするためのサポートが追加されました。
- ConnectX-4以降では、RDMA統計情報ツールを拡張して、netlinkを使用したベンダー固有のオプションカウンターの動的設定をサポートしました。オプションのカウンター(cc_rx_ce_pkts、cc_rx_cnp_pkts、cc_tx_cnp_pkts)がmlx5_ibに追加されます。
- ConnectX-5以降では、mlxdevmを介して、特定のPCIサブ機能(SF)または仮想機能(VF)を信頼できる機能としてマークするためのサポートが追加されました。デバイス/ファームウェアは、特権とリソースへのアクセスを定義する方法を決定します。
- すべてのチップセットで、VFメモリの枯渇を防ぐためのサポートが追加されました。この機能は、各VFメモリ消費量に制限を設定できるsysfsを(システム管理者に)公開します。注記:現在、この機能はイーサネットでのみサポートされています。
- ConnectX-5以降では、HTB qdiscをNICにオフロードするためのサポートが追加され、単一のロックポイントを排除することで拡張性が向上しています。構成はTCコマンドで行います。注記:カーネル5.15以降が必要です。256ノードに制限されています。
- PTPとCQEの圧縮を同時にアクティブ化するためのサポートが追加されました。CQE圧縮はPTPの精度を損なう可能性があるため、この機能により、圧縮の対象とならない専用キューにPTPパケットを移動できます。ただし、この構成はaRFSの設定と競合します。CQE圧縮をオフにすると、トラフィックに一時的な中断が発生し、同期が失われる可能性があります。これを克服するには、同期を再開します。

注記:この組み合わせは、イーサネットドライバーでのみサポートされます。IPoIBやリプレゼンターなどの他のドライバープロファイルは、この組み合わせをサポートしていません。

- 複数のmlx-ofa_kernel開発ヘッダーパッケージ(同じmlx-ofa_kernelパッケージバージョンの異なるカーネルバージョン用)を同じシステムに並列でインストールできるようになりました。
- ConnectX-6 Dxでは、fast-failoverモードでのOVSグループのサポートとOVSを使用したVF_LAG構成により、OVSフェイルオーバーが改善されました。
- ConnectX-6 Dxでは、デバイスごとにバッファードロップカウンターからヘアピンを公開するためのサポートが追加されました。この機能は、クエリされたデバイスで開かれたヘアピンキューにのみ関連するバッファードロップを表示します。

このカウントモードを有効にするには(ヘアピンルールを作成する前にこれを行う必要があります)、次を使用します。echo "on" > /sys/class/net//hp_oob_cnt_mode。ここでは、構成されたデバイスに着信するトラフィックが送信のために転送されるピアデバイスです。

ドロップカウンターを読み取るには、次を使用します。cat /sys/class/net//hp_oob_cnt

- ConnectX-6 Dxでは、ボンディング(VF LAG)をサポートするためにブリッジオフロードを追加し、アップリンクリプレゼンターの代わりにボンディングデバイスをブリッジに接続しました。
- ConnectX-6 Dxでは、switchdevモードにおけるRxでのVLANプッシュ(ワイヤーからVF)およびTxでのVLANポップ(ワイヤーからVF)のOOBサポートが追加されました。
- ConnectX-6 Dxでは、FDBルールの複数のフローステアリング優先度のサポートが追加されました。
- ConnectX-6 Dx以降では、RX再同期操作の高負荷に対するドライバー耐障害性のサポートが追加されました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 12 SP5(AMD64/EM64T)のカーネルは、次のとおりです。
4.12.14-120-default-(AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet) ConnectX-4、ConnectX-5、およびConnectX-6ドライバーfor SUSE LINUX Enterprise Server 15 SP2 (AMD64/EM64T)

バージョン: 5.5 (推奨)

ファイル名: mlx-ofa_kernel-5.5-OFED.5.5.1.0.3.1.sles15sp2.x86_64.compsig; mlx-ofa_kernel-5.5-OFED.5.5.1.0.3.1.sles15sp2.x86_64.rpm; mlx-ofa_kernel-kmp-default-5.5_k5.3.18_22-OFED.5.5.1.0.3.1.sles15sp2.x86_64.compsig; mlx-ofa_kernel-kmp-default-5.5_k5.3.18_22-OFED.5.5.1.0.3.1.sles15sp2.x86_64.rpm

重要な注意!

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみをサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信リポジトリ(https://downloads.linux.hpe.com/SDR/project/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

事前要件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題点がバージョン5.5で修正されました。

- 一部のディストリビューションには/usr/bin/pythonがなくなったため、python3ヘッダー行(shebang行)に不整合が生じる可能性があります。
- ドライバーでDCT(Dynamically Connected Transport)のPCPベース優先度を設定しなかったため、DCT応答パケットはユーザー優先度なしで送信されました。
- ボンディングスタンバイポートでtcpdumpを実行すると、ネットワーク接続が失われました。
- サスペンドフローはVLANデータを解放したため、再開フロー中にデータが復元されませんでした。
- フラグメンテーションを伴う接続追跡ルールは0 statsでした。
- OVSブリッジがボンディングインターフェイスで構成され、IPがOVS内部(ブリッジ)ポートを介して構成されている場合、トラフィックは通過できませんでした。
- IPsec暗号オフロードを備えたVXLANは機能していませんでした。
- VF LAGモードでドライバーを再起動すると、カーネルのクラッシュなどの望ましくない動作が発生する可能性があります。

拡張

バージョン5.5での変更点と新機能。

- ConnectX-4以降では、switchdevモードのmlx5リプレゼンター上で機能するVLANサポートを備えたブリッジオフロードのサポートが追加されました。
- ConnectX-5以降では、TCルールを使用して最大32の宛先にパケットレプリケーションをオフロードするためのサポートが追加されました。
- ConnectX-4以降では、RDMA統計情報ツールを拡張して、netlinkを使用したベンダー固有のオプションカウンターの動的設定をサポートしました。オプションのカウンター(cc_rx_ce_pkts, cc_rx_cnp_pkts, cc_tx_cnp_pkts)がmlx5_ibに追加されます。
- ConnectX-5以降では、mlxdevmを介して、特定のPCIサブ機能(SF)または仮想機能(VF)を信頼できる機能としてマークするためのサポートが追加されました。デバイス/ファームウェアは、特権とリソースへのアクセスを定義する方法を決定します。
- すべてのチップセットで、VFメモリの枯渇を防ぐためのサポートが追加されました。この機能は、各VFメモリ消費量に制限を設定できるsysfsを(システム管理者に)公開します。注記:現在、この機能はイーサネットでのみサポートされています。
- ConnectX-5以降では、HTB qdiscをNICにオフロードするためのサポートが追加され、単一のロックポイントを排除することで拡張性が向上しています。構成はTCコマンドで行います。注記:カーネル5.15以降が必要です。256ノードに制限されています。
- PTPとCQEの圧縮を同時にアクティブ化するためのサポートが追加されました。CQE圧縮はPTPの精度を損なう可能性があるため、この機能により、圧縮の対象とならない専用キューにPTPパケットを移動できます。ただし、この構成はaRFSの設定と競合します。CQE圧縮をオフにすると、トラフィックに一時的な中断が発生し、同期が失われる可能性があります。これを克服するには、同期を再開します。

注記:この組み合わせは、イーサネットドライバーでのみサポートされます。IPoIBやリプレゼンターなどの他のドライバープロファイルは、この組み合わせをサポートしていません。

- 複数のmlx-ofa_kernel開発ヘッダーパッケージ(同じmlx-ofa_kernelパッケージバージョンの異なるカーネルバージョン用)を同じシステムに並列でインストールできるようになりました。
- ConnectX-6 Dxでは、fast-failoverモードでのOVSグループのサポートとOVSを使用したVF_LAG構成により、OVSフェイルオーバーが改善されました。
- ConnectX-6 Dxでは、デバイスごとにバッファードロップカウンターからヘアピンを公開するためのサポートが追加されました。この機能は、クエリされたデバイスで開かれたヘアピンキューにのみ関連するバッファードロップを表示します。

このカウントモードを有効にするには(ヘアピンルールを作成する前にこれを行う必要があります)、次を使用します。echo "on" > /sys/class/net//hp_oob_cnt_mode。ここでは、構成されたデバイスに着信するトラフィックが送信のために転送されるピアデバイスです。

ドロップカウンターを読み取るには、次を使用します。cat /sys/class/net//hp_oob_cnt

- ConnectX-6 Dxでは、ボンディング(VF LAG)をサポートするためにブリッジオフロードを追加し、アップリンクリプレゼンターの代わりにボンディングデバイスをブリッジに接続しました。
- ConnectX-6 Dxでは、switchdevモードにおけるRxでのVLANプッシュ(ワイヤーからVF)およびTxでのVLANポップ(ワイヤーからVF)のOOBサポートが追加されました。
- ConnectX-6 Dxでは、FDBルールの複数のフローステアリング優先度のサポートが追加されました。
- ConnectX-6 Dx以降では、RX再同期操作の高負荷に対するドライバー耐障害性のサポートが追加されました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 15 SP2(AMD64/EM64T)のカーネルは、次のとおりです。
5.3.18-22-default -(AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet) ConnectX-4、ConnectX-5およびConnectX-6 ドライバー(Red Hat Enterprise Linux 7 Update 9 (x86_64))

バージョン: 5.5 (推奨)

ファイル名: kmod-mlnx-ofa_kernel-5.5-OFED.5.5.1.0.3.1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-mlnx-ofa_kernel-5.5-OFED.5.5.1.0.3.1.rhel7u9.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-5.5-OFED.5.5.1.0.3.1.rhel7u9.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-5.5-OFED.5.5.1.0.3.1.rhel7u9.x86_64.rpm

重要な注意!

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信リポジトリ (http://downloads.linux.hpe.com/SDR/repo/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

事前要件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題点がバージョン5.5で修正されました。

- 一部のディストリビューションには/usr/bin/pythonがなくなったため、python3ヘッダー行(shebang行)に不整合が生じる可能性があります。
- ドライバーでDCT(Dynamically Connected Transport)のPCPベース優先度を設定しなかったため、DCT応答パケットはユーザー優先度なしで送信されました。
- ボンディングスタンバイポートでtcpdumpを実行すると、ネットワーク接続が失われました。
- サスペンドフローはVLANデータを解放したため、再開フロー中にデータが復元されませんでした。
- フラグメンテーションを伴う接続追跡ルールは0 statsでした。
- OVSブリッジがボンディングインターフェイスで構成され、IPがOVS内部(ブリッジ)ポートを介して構成されている場合、トラフィックは通過できませんでした。
- IPsec暗号オフロードを備えたVXLANは機能していませんでした。
- VF LAGモードでドライバーを再起動すると、カーネルのクラッシュなどの望ましくない動作が発生する可能性があります。

拡張

バージョン5.5での変更点と新機能。

- ConnectX-4以降では、switchdevモードのmlx5リプレゼンター上で機能するVLANサポートを備えたブリッジオフロードのサポートが追加されました。
- ConnectX-5以降では、TCルールを使用して最大32の宛先にパケットレプリケーションをオフロードするためのサポートが追加されました。
- ConnectX-4以降では、RDMA統計情報ツールを拡張して、netlinkを使用したベンダー固有のオプションカウンターの動的設定をサポートしました。オプションのカウンター(cc_rx_ce_pkts, cc_rx_cnp_pkts, cc_tx_cnp_pkts)がmlx5_ibに追加されます。
- ConnectX-5以降では、mlxdevmを介して、特定のPCIサブ機能(SF)または仮想機能(VF)を信頼できる機能としてマークするためのサポートが追加されました。デバイス/ファームウェアは、特権とリソースへのアクセスを定義する方法を決定します。
- すべてのチップセットで、VFメモリの枯渇を防ぐためのサポートが追加されました。この機能は、各VFメモリ消費量に制限を設定できるsysfsを(システム管理者に)公開します。注記:現在、この機能はイーサネットでのみサポートされています。
- ConnectX-5以降では、HTB qdiscをNICにオフロードするためのサポートが追加され、単一のロックポイントを排除することで拡張性が向上しています。構成はTCコマンドで行います。注記:カーネル5.15以降が必要です。256ノードに制限されています。
- PTPとCQEの圧縮を同時にアクティブ化するためのサポートが追加されました。CQE圧縮はPTPの精度を損なう可能性があるため、この機能により、圧縮の対象とならない専用キューにPTPパケットを移動できます。ただし、この構成はaRFSの設定と競合します。CQE圧縮をオフにすると、トラフィックに一時的な中断が発生し、同期が失われる可能性があります。これを克服するには、同期を再開します。

注記:この組み合わせは、イーサネットドライバーでのみサポートされます。IPoIBやリプレゼンターなどの他のドライバープロファイルは、この組み合わせをサポートしていません。

- 複数のmlnx-ofa_kernel開発ヘッダーパッケージ(同じmlnx-ofa_kernelパッケージバージョンの異なるカーネルバージョン用)を同じシステムに並列でインストールできるようになりました。
- ConnectX-6 Dxでは、fast-failoverモードでのOVSグループのサポートとOVSを使用したVF_LAG構成により、OVSフェイルオーバーが改善されました。
- ConnectX-6 Dxでは、デバイスごとにバッファードロップカウンターからヘアピンを公開するためのサポートが追加されました。この機能は、クエリされたデバイスで開かれたヘアピンキューにのみ関連するバッファードロップを表示します。

このカウントモードを有効にするには(ヘアピンルールを作成する前にこれを行う必要があります)、次を使用します。echo "on" > /sys/class/net//hp_oob_cnt_mode。ここでは、構成されたデバイスに着信するトラフィックが送信のために転送されるピアデバイスです。

ドロップカウンターを読み取るには、次を使用します。cat /sys/class/net//hp_oob_cnt

- ConnectX-6 Dxでは、ボンディング(VF LAG)をサポートするためにブリッジオフロードを追加し、アップリンクリプレゼンターの代わりにボンディングデバイスをブリッジに接続しました。
- ConnectX-6 Dxでは、switchdevモードにおけるRxでのVLANプッシュ(ワイヤーからVF)およびTxでのVLANポップ(ワイヤーからVF)のOOBサポートが追加されました。
- ConnectX-6 Dxでは、FDBルールの複数のフローステアリング優先度のサポートが追加されました。
- ConnectX-6 Dx以降では、RX再同期操作の高負荷に対するドライバー耐障害性のサポートが追加されました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 7 Update 9 (x86_64)カーネルは、次の通りです。
3.10.0-1160.el7 - (x86_64) および将来アップデートされるカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet) ドライバー for SUSE LINUX Enterprise Server 12 SP5 (AMD64/EM64T)

バージョン: 4.9-4.0.8.1 (**推奨**)

ファイル名: mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.4.0.8.1.sles12sp5.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.4.0.8.1.sles12sp5.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-4.9_k4.12.14_120-OFED.4.9.4.0.8.1.sles12sp5.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-4.9_k4.12.14_120-OFED.4.9.4.0.8.1.sles12sp5.x86_64.rpm

重要な注意!

Mellanox Ethernet + RoCE Linux ドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみをサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信リポジトリ (https://downloads.linux.hpe.com/SDR/project/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

事前要件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題がバージョン4.9-4.0.8.1で修正されました。

- 特定のLinuxオペレーティングシステムで、再起動後にopenibdが自動的にロードされませんでした。

拡張

バージョン4.9-4.0.8.1には新機能の追加も変更もありません。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 12 SP5(AMD64/EM64T)のカーネルは、次のとおりです。
4.12.14-120-default -(AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet)ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 Update 9 (x86_64)

バージョン: 4.9-4.0.8.1 (推奨)

ファイル名: kmod-mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.4.0.8.1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.4.0.8.1.rhel7u9.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.4.0.8.1.rhel7u9.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.4.0.8.1.rhel7u9.x86_64.rpm

重要な注意!

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみをサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信リポジトリ (https://downloads.linux.hpe.com/SDR/project/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

事前要件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題がバージョン4.9-4.0.8.1で修正されました。

- 特定のLinuxオペレーティングシステムで、再起動後にopenibdが自動的にロードされませんでした。

拡張

バージョン4.9-4.0.8.1には新機能の追加も変更もありません。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 7 Update 9 (x86_64)カーネルは、次の通りです。
3.10.0-1160.el7 - (x86_64) および将来アップデートされるカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet)ドライバー for SUSE LINUX Enterprise Server 15 SP1 (AMD64/EM64T)

バージョン: 4.9-4.0.8.1 (推奨)

ファイル名: mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.4.0.8.1.sles15sp3.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.4.0.8.1.sles15sp3.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-4.9_k5.3.18_57-OFED.4.9.4.0.8.1.sles15sp3.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-4.9_k5.3.18_57-OFED.4.9.4.0.8.1.sles15sp3.x86_64.rpm

修正

以下の問題がバージョン4.9-4.0.8.1で修正されました。

- 特定のLinuxオペレーティングシステムで、再起動後にopenibdが自動的にロードされませんでした。

拡張

バージョン4.9-4.0.8.1には新機能の追加も変更もありません。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet)ドライバー for SUSE LINUX Enterprise Server 15 SP2 (AMD64/EM64T)

バージョン: 4.9-4.0.8.1 (推奨)

ファイル名: mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.4.0.8.1.sles15sp2.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.4.0.8.1.sles15sp2.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-4.9_k5.3.18_22-

重要な注意！

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信リポジトリ (https://downloads.linux.hpe.com/SDR/project/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

事前要件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題がバージョン4.9-4.0.8.1で修正されました。

- 特定のLinuxオペレーティングシステムで、再起動後にopenibdが自動的にロードされませんでした。

拡張

バージョン4.9-4.0.8.1には新機能の追加も変更もありません。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 15 SP2(AMD64/EM64T)のカーネルは、次のとおりです。
5.3.18-22-default -(AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。

HPE Mellanox RoCE(RDMA over Converged Ethernet)ConnectX-4、ConnectX-5およびConnectX-6ドライバー(SUSE LINUX Enterprise Server 15 SP3 (AMD64/EM64T))

バージョン: 5.5 (推奨)

ファイル名: mlnx-ofa_kernel-5.5-OFED.5.5.1.0.3.1.sles15sp3.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-5.5-OFED.5.5.1.0.3.1.sles15sp3.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-5.5_k5.3.18_57-OFED.5.5.1.0.3.1.sles15sp3.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-5.5_k5.3.18_57-OFED.5.5.1.0.3.1.sles15sp3.x86_64.rpm

重要な注意！

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信リポジトリ (https://downloads.linux.hpe.com/SDR/project/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

事前要件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題点がバージョン5.5で修正されました。

- 一部のディストリビューションには/usr/bin/pythonがなくなったため、python3ヘッダー行(shebang行)に不整合が生じる可能性があります。
- ドライバーでDCT(Dynamically Connected Transport)のPCPベース優先度を設定しなかったため、DCT応答パケットはユーザー優先度なしで送信されました。
- ボンディングスタンバイポートでtcpdumpを実行すると、ネットワーク接続が失われました。
- サスペンドフローはVLANデータを解放したため、再開フロー中にデータが復元されませんでした。
- フラグメンテーションを伴う接続追跡ルールは0 statsでした。

- OVSブリッジがボンディングインターフェイスで構成され、IPがOVS内部(ブリッジ)ポートを介して構成されている場合、トラフィックは通過できませんでした。
- IPsec暗号オフロードを備えたVXLANは機能していませんでした。
- VF LAGモードでドライバーを再起動すると、カーネルのクラッシュなどの望ましくない動作が発生する可能性があります。

拡張

バージョン5.5での変更点と新機能。

- ConnectX-4以降では、switchdevモードのmlx5リプレゼンター上で機能するVLANサポートを備えたブリッジオフロードのサポートが追加されました。
- ConnectX-5以降では、TCルールを使用して最大32の宛先にパケットレプリケーションをオフロードするためのサポートが追加されました。
- ConnectX-4以降では、RDMA統計情報ツールを拡張して、netlinkを使用したベンダー固有のオプションカウンターの動的設定をサポートしました。オプションのカウンター(cc_rx_ce_pkts、cc_rx_cnp_pkts、cc_tx_cnp_pkts)がmlx5_ibに追加されます。
- ConnectX-5以降では、mlxdevmを介して、特定のPCIサブ機能(SF)または仮想機能(VF)を信頼できる機能としてマークするためのサポートが追加されました。デバイス/ファームウェアは、特権とリソースへのアクセスを定義する方法を決定します。
- すべてのチップセットで、VFメモリの枯渇を防ぐためのサポートが追加されました。この機能は、各VFメモリ消費量に制限を設定できるsysfsを(システム管理者に)公開します。注記:現在、この機能はイーサネットでのみサポートされています。
- ConnectX-5以降では、HTB qdiscをNICにオフロードするためのサポートが追加され、単一のロックポイントを排除することで拡張性が向上しています。構成はTCコマンドで行います。注記:カーネル5.15以降が必要です。256ノードに制限されています。
- PTPとCQEの圧縮を同時にアクティブ化するためのサポートが追加されました。CQE圧縮はPTPの精度を損なう可能性があるため、この機能により、圧縮の対象とならない専用キューにPTPパケットを移動できます。ただし、この構成はaRFSの設定と競合します。CQE圧縮をオフにすると、トラフィックに一時的な中断が発生し、同期が失われる可能性があります。これを克服するには、同期を再開します。

注記:この組み合わせは、イーサネットドライバーでのみサポートされます。IPoIBやリプレゼンターなどの他のドライバープロファイルは、この組み合わせをサポートしていません。

- 複数のmlx-ofa_kernel開発ヘッダーパッケージ(同じmlx-ofa_kernelパッケージバージョンの異なるカーネルバージョン用)を同じシステムに並列でインストールできるようになりました。
- ConnectX-6 Dxでは、fast-failoverモードでのOVSグループのサポートとOVSを使用したVF_LAG構成により、OVSフェイルオーバーが改善されました。
- ConnectX-6 Dxでは、デバイスごとにバッファードロップカウンターからヘアピンを公開するためのサポートが追加されました。この機能は、クエリされたデバイスで開かれたヘアピンキューにのみ関連するバッファードロップを表示します。

このカウントモードを有効にするには(ヘアピンルールを作成する前にこれを行う必要があります)、次を使用します。echo "on" > /sys/class/net//hp_oob_cnt_mode。ここでは、構成されたデバイスに着信するトラフィックが送信のために転送されるピアデバイスです。

ドロップカウンターを読み取るには、次を使用します。cat /sys/class/net//hp_oob_cnt

- ConnectX-6 Dxでは、ボンディング(VF LAG)をサポートするためにブリッジオフロードを追加し、アップリンクリプレゼンターの代わりにボンディングデバイスをブリッジに接続しました。
- ConnectX-6 Dxでは、switchdevモードにおけるRxでのVLANブッシュ(ワイヤーからVF)およびTxでのVLANポップ(ワイヤーからVF)のOOBサポートが追加されました。
- ConnectX-6 Dxでは、FDBルールの複数のフローステアリング優先度のサポートが追加されました。
- ConnectX-6 Dx以降では、RX再同期操作の高負荷に対するドライバー耐障害性のサポートが追加されました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 15 SP3(AMD64/EM64T)のカーネルは、次のとおりです。5.3.18-46-default -(AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。

HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEマルチファンクショナルドライバー for VMware vSphere 6.7

バージョン: 2022.03.23 (推奨)

ファイル名: cp050054.compsig; cp050054.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションで使用することを目的としています。vmware.comおよびHPE vibspot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

これらのドライバーとともに使用する場合は、以下に示すファームウェアを推奨しています。

- Arrowheadアダプター用HPE QLogic FastLinQファームウェアパッケージ、バージョン8.55.27(B)以降。
- HPE QLogic FastLinQオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware、バージョン1.20.1以降。

修正

この製品は、SR-IOV構成後にLinuxおよびVMware OSに仮想ネットワークアダプターが存在しない問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300R コンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEマルチファンクショナルドライバーfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2021.09.04 (推奨)

ファイル名: cp049003.compsig; cp049003.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションで使用することを目的としています。vmware.comおよびHPE vibspot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

これらのドライバーとともに使用する場合は、Arrowheadアダプター用HPE QLogic FastLinQファームウェアパッケージ、バージョン8.55.27以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、さまざまなシナリオでファームウェアデバッグデータの収集を強化します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300R コンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEマルチファンクショナルドライバーfor VMware vSphere 7.0

バージョン: 2022.03.23 (推奨)

ファイル名: cp049986.compsig; cp049986.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションで使用することを目的としています。vmware.comおよびHPE vibspot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

これらのドライバーとともに使用する場合は、以下に示すファームウェアを推奨しています。

- Arrowheadアダプター用HPE QLogic FastLinQファームウェアパッケージ、バージョン8.55.27(B)以降。
- HPE QLogic FastLinQオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware、バージョン1.20.1以降。

修正

この製品は、SR-IOV構成後にLinuxおよびVMware OSに仮想ネットワークアダプターが存在しない問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300R コンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2 10/20 GbE マルチファンクションドライバ for Windows Server x64 Editions

バージョン: 7.13.206.0 (推奨)

ファイル名: cp047060.compsig; cp047060.exe

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for *Windows Server x64 Editions*、バージョン5.2.5.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、NPAR SRIOV-EPモードを有効にしてアップグレードしているときにシステムがクラッシュする問題を修正します。
- この製品は、WS2022 PCS構成でWindows NDISドライバーのBSODが発生する問題を修正します。

拡張

この製品は、Microsoft Windows Server 2022をサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート533FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1100Rデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-Tコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバ for SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 7.15.02-1 (推奨)

ファイル名: netxtreme2-kmp-default-7.15.02_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; netxtreme2-kmp-default-7.15.02_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; netxtreme2-kmp-default-7.15.02_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.compsig; netxtreme2-kmp-default-7.15.02_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for *Linux x86_64*、バージョン2.29.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、Linuxホスト上のWindows仮想マシンゲストがファームウェアアサートにつながる場合を修正しました

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HP StoreFabric CN1100R デュアルポートコンバージドネットワークアダプター

- HPE StoreFabric CN1100R-Tコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 7.15.02-1 (推奨)

ファイル名: kmod-netxtreme2-7.15.02-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-netxtreme2-7.15.02-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-netxtreme2-7.15.02-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-netxtreme2-7.15.02-1.rhel7u9.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Linux x86_64*、バージョン2.30.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、Linuxホスト上のWindows仮想マシンゲストがファームウェアアサートにつながる場合を修正しました

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート533FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1100Rデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-Tコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 7.15.02-1 (推奨)

ファイル名: kmod-netxtreme2-7.15.02-1.rhel8u4.x86_64.compsig; kmod-netxtreme2-7.15.02-1.rhel8u4.x86_64.rpm; kmod-netxtreme2-7.15.03-2.rhel8u5.x86_64.compsig; kmod-netxtreme2-7.15.03-2.rhel8u5.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Linux x86_64*、バージョン2.30.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、Linuxホスト上のWindows仮想マシンゲストがファームウェアアサートにつながる場合を修正しました

拡張

この製品は、RedHat Linux Enterprise Server 8 Update 5をサポートしています

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HP StoreFabric CN1100R デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-Tコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 7.15.02-1 (推奨)

ファイル名: netxtreme2-kmp-default-7.15.02_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; netxtreme2-kmp-default-7.15.02_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64*、バージョン2.30.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、Linuxホスト上のWindows仮想マシンゲストがファームウェアアサートにつながる場合を修正しました

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HP StoreFabric CN1100R デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-Tコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバー for VMware vSphere 7.0

バージョン: 2022.03.23 (推奨)

ファイル名: cp049987.compsig; cp049987.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションで使用することを目的としています。vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

HPEは、このドライバーでの使用に、*HPE QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware*、バージョン1.30.0以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

この製品は、XVLAN環境を設定するときにPSODが発生する問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+ アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 533FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1100Rデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R 10GBASE-T 2ポートコンバージドネットワークアダプター

Intel i350ドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 12.16.4.1 (推奨)

ファイル名: cp047041.compsig; cp047041.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions*、バージョン5.2.5.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリNicInE1R.dllおよびe1rmsg.dllとの互換性を維持してアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPE Intel Powervilleネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 4ポートBaseT I350-T4アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポートBaseT I350-T4 OCP3アダプター
- インテル(R) I350 Gigabit Network Connection

Intel i350ドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 12.18.12.1 (推奨)

ファイル名: cp047042.compsig; cp047042.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Windows Server x64 Editions、バージョン5.2.5.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリNicInE1R.dllおよびe1rmsg.dllとの互換性を維持してアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPE Intel E1Rネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 4ポートBaseT I350-T4アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポートBaseT I350-T4 OCP3アダプター
- インテル(R) I350 Gigabit Network Connection

Intel i350ドライバー for Windows Server 2022

バージョン: 13.0.9.0 (推奨)

ファイル名: cp049614.compsig; cp049614.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Windows Server x64 Editions、バージョン5.2.6.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

初期バージョン

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPE Intel E1Rネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 4ポートBaseT I350-T4アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポートBaseT I350-T4 OCP3アダプター
- インテル(R) I350 Gigabit Network Connection

Intel i40eaドライバーfor Windows Server 2016

バージョン: 1.16.62.0 (推奨)

ファイル名: cp047039.compsig; cp047039.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Windows Server x64 Editions、バージョン5.2.5.50以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリi40eamsg.dllとの互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPE Intel I40EAネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2アダプター

Intel i40eaドライバーfor Windows Server 2019

バージョン: 1.16.62.0 (推奨)

ファイル名: cp047040.compsig; cp047040.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Windows Server x64 Editions、バージョン5.2.5.50以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリi40eamsg.dllとの互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPE Intel I40EAネットワークアダプターをサポートします。

- Intel X710-DA2 Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ OCP3アダプターfor HPE
- Intel X710-DA2 Ethernet 10Gb 2ポート SFP+アダプターfor HPE

Intel i40eaドライバーfor Windows Server 2022

バージョン: 1.16.139.0 (推奨)

ファイル名: cp049618.compsig; cp049618.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Windows Server x64 Editions、バージョン5.2.6.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

初期バージョン

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPE Intel I40EAネットワークアダプターをサポートします。

- Intel X710-DA2 Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ OCP3アダプターfor HPE
- Intel X710-DA2 Ethernet 10Gb 2ポート SFP+アダプターfor HPE

Intel iavfドライバーfor Windows Server 2016

バージョン: 1.12.9.0 (C) (推奨)

ファイル名: cp048046.compsig; cp048046.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Windows Server x64 Editions、バージョン5.2.5.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

事前要件

このドライバーには、次のホストドライバーバージョンが必要です。

- Intel i40eaドライバー、バージョン1.16.62.0以降。
- Intel iceaドライバー、バージョン1.9.65.0以降。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Intel E810-2CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE

- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のIntel VFネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ OCP3 X710-DA2アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2アダプター
- Intel E810-2CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

Intel iavfドライバーfor Windows Server 2019

バージョン: 1.12.9.0 (C) (推奨)

ファイル名: cp048047.compsig; cp048047.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Windows Server x64 Editions、バージョン5.2.5.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

事前要件

このドライバーには、次のホストドライバーバージョンが必要です。

- Intel i40eaドライバー、バージョン1.16.62.0以降。
- Intel iceaドライバー、バージョン1.9.65.0以降。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Intel E810-2CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のIntel VFネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ OCP3 X710-DA2アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2アダプター
- Intel E810-2CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

Intel iavfドライバーfor Windows Server 2022

バージョン: 1.13.8.0 (推奨)

ファイル名: cp049615.compsig; cp049615.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Windows Server x64 Editions、バージョン5.2.6.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

事前要件

このドライバーには、次のホストドライバーバージョンが必要です。

- Intel i40eaドライバー、バージョン1.16.139.0以降。

- Intel icaa ドライバー、バージョン1.10.51.0以降。

拡張

初期バージョン

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のIntel VFネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ OCP3 X710-DA2アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2アダプター
- Intel E810-2CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

Intel icaa ドライバーfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2022.03.23 (推奨)

ファイル名: cp050786.compsig; cp050786.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションで使用することを目的としています。vmware.comおよびHPE vibspot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、Intelファームウェアパッケージfor E810イーサネットアダプター、バージョン3.10以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、Intelファームウェアパッケージfor E810イーサネットアダプター(PLDM)バージョン3.10との互換性を維持するためにアップデートされています

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-2CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

Intel icaa ドライバーfor VMware vSphere 6.7

バージョン: 2022.03.23 (推奨)

ファイル名: cp050787.compsig; cp050787.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションで使用することを目的としています。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibspot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、Intelファームウェアパッケージfor E810イーサネットアダプター、バージョン3.10以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、Intelファームウェアパッケージfor E810イーサネットアダプター(PLDM)バージョン3.10との互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-2CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

Intel ica ドライバーfor VMware vSphere 7.0

バージョン: 2022.03.23 (推奨)

ファイル名: cp050788.compsig; cp050788.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションで使用することを目的としています。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、Intelファームウェアパッケージfor E810イーサーネットアダプター、バージョン3.10以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、Intelファームウェアパッケージfor E810イーサーネットアダプター(PLDM)バージョン3.10との互換性を維持するためにアップデートされています

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-2CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

Intel ica ドライバーfor Microsoft Windows Server 2022

バージョン: 1.10.51.0 (推奨)

ファイル名: cp049269.compsig; cp049269.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、Intelファームウェアパッケージfor Columbiaville(FWPKG)、バージョン3.10以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

初期バージョン

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPE Intel ICEAネットワークアダプターをサポートします。

- Intel E810-2CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

Intel iceaドライバーfor Windows Server 2016

バージョン: 1.9.65.0 (推奨)

ファイル名: cp048044.compsig; cp048044.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*Intelファームウェアパッケージfor Columbiaville(FWPKG)*、バージョン3.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Intel E810-2CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPE Intel ICEAネットワークアダプターをサポートします。

- Intel E810-2CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

Intel iceaドライバーfor Windows Server 2019

バージョン: 1.9.65.0 (推奨)

ファイル名: cp048045.compsig; cp048045.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*Intelファームウェアパッケージfor Columbiaville(FWPKG)*、バージョン3.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Intel E810-2CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPE Intel ICEAネットワークアダプターをサポートします。

- Intel E810-2CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

Intel iceドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 1.6.4-1 (推奨)

ファイル名: kmod-ice-1.6.4-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-ice-1.6.4-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-ice-1.6.4-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-ice-1.6.4-1.rhel7u9.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*Intelファームウェアパッケージfor E810イーサーネットアダプター*、バージョン3.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-2CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

Intel iceドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 1.6.4-1 (推奨)

ファイル名: kmod-ice-1.6.4-1.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-ice-1.6.4-1.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-ice-1.6.4-1.rhel8u4.x86_64.compsig; kmod-ice-1.6.4-1.rhel8u4.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*Intelファームウェアパッケージfor E810イーサーネットアダプター*、バージョン3.00以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-2CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

Intel iceドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 1.6.4-1 (推奨)

ファイル名: ice-kmp-default-1.6.4_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; ice-kmp-default-1.6.4_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*Intelファームウェアパッケージfor E810イーサーネットアダプター*、バージョン3.00以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-2CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE

- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

Intel iceドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 1.6.4-1 (推奨)

ファイル名: ice-kmp-default-1.6.4_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; ice-kmp-default-1.6.4_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; ice-kmp-default-1.6.4_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.compsig; ice-kmp-default-1.6.4_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、Intelファームウェアパッケージfor E810イーサネットアダプター、バージョン3.00以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-2CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

Marvell FastLinQ 10/25/50 GbEドライバー for Windows Server x64 Edition

バージョン: 8.58.20.0 (推奨)

ファイル名: cp049988.compsig; cp049988.exe

重要な注意!

これらドライバーとともに使用する場合は、Arrowheadアダプター用Marvell FastLinQファームウェアパッケージ、バージョン8.55.14以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、システムがqendaネットワークドライバーでバグチェック0xE4を発生させる可能性がある問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 QL41232HQCU OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 QL41232HLCUアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 4ポートSFP+ QL41134HLCUアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート BaseT QL41132HLRJアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート BaseT QL41132HQRJ OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ QL41132HQCU OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ QL41132HLCUアダプター

Mellanox ConnectX-4、ConnectX-5、およびConnectX-6 "nmlx5_en"ドライバーコンポーネントfor VMware ESXi 6.7

バージョン: 2021.04.15 (A) (推奨)

ファイル名: cp050401.compsig; cp050401.zip

重要な注意!

バージョン4.17.71.1での既知の問題:

- リアクションポイントプロトコルのECN調整パラメーターinitialAlphaValueは変更できません。
- ENSが有効にされている場合、SRI-OVはサポートされません。

- 確立されたアクティブなRDMA接続(QP)の最大数は現在5000です。
- ENS(拡張ネットワークスタック)は現在、ConnectX-6 Dxアダプターカードでサポートされていません。
- ETS値を0に設定すると、WQEタイムアウトが発生することがあります。
- PSODは、ENS VMK上のvMotion中に発生する場合があります。
- ENS DVSからのENSアップリンク切断中に、キューがまだ割り当てられていること、または要求されたキューが使用されていないことに関する以下のエラーメッセージが表示される場合があります。
- ドライバーのライブアンロードはサポートされていません。これを行うと、max_vfsパラメーターが設定されている場合にPSODが発生する可能性があります。
- ECN統計カウンターaccumulatorsPeriodとecnMarkedRoce-Packetsには誤った値が表示され、クリアすることはできません。
- RSSの最大値は、CPUコアの数よりも少なくなければなりません。
- ハードウェアは、最大256Bのヘッダーのみをオフロードできます。
- "esxcli network sriovnic vf stats"コマンドはサポートされていません。vmknicsでこのコマンドを実行すると、障害メッセージが表示されます。
- 同じHCAの異なるポートに接続されているPVとSR-IOV VFの間にトラフィックはありません。
- vSphere Clientの"ゲストMTU変更を許可する"オプションを設定する機能は現在機能していません。SR-IOVのゲストMTUの変更は許可されますが、ポートのMTUには影響を与えず、ゲストのMTUはPF MTUと同じままです。
- ゲストにIB PCIバススルーデバイスまたはIB VFが割り当てられている場合、ゲスト用のVMware Toolsネットワーク情報が正しくない可能性があります。これは、インターフェイスやIPなどのゲストネットワーク情報をvCenterに表示する方法に影響します。
- バススルーモードのvmnicsでの操作はサポートされていません。
- 'esxcli mellanox uplink link info -u 'コマンドは、'Auto negotiation'機能を常に'true'としてレポートします。
- SMP MAD(ibnetdiscover、sminfo、iblinkinfo、smpdump、ibqueryerr、ibdiagnet、smpquery)は、VFではサポートされていません。
- Wake-on-LANは、無効なパラメーターが提供されたときには通知しません。
- ネストされたESXiが正しく機能しない可能性があります。
- デバイスRSSは、ブロードキャストトラフィックで十分なRXリングにトラフィックをハッシュすることに失敗します。
- ストレス状態ではウォッチドッグが現れ、アップリンクがアップしたり、ダウンしたりします。
- ENS DVSからのENSアップリンク切断中に、キューがまだ割り当てられていること、または要求されたキューが使用されていないことに関する以下のエラーメッセージが表示される場合があります。"ドライバーはOSの問題をカバーしているため、メッセージは情報提供のみを目的としています。"
- max_vfsモジュールのパラメーター範囲は"0-128"ですが、ファームウェアの制限により、単一ポートデバイスごとにサポートされるVFは次のとおりです：
 - ConnectX-4: 最大127
 - ConnectX-5: 最大127

ESXi 6.7ドライバーバージョン4.17.70.1のリリースノートについて詳しくは、以下のリンクを参照してください：
https://www.mellanox.com/page/products_dyn?product_family=29&mtag=vmware_driver

修正

以下の問題点がドライバーバージョン4.17.71.1で修正されました。

- ENSが有効になっている場合は、SRI-OVがサポートされませんでした。
- ドライバーのライブアンロードはサポートされていませんでした。これを行うと、max_vfsパラメーターが設定されている場合にPSODが発生する可能性があります。
- 確立されたアクティブなRDMA接続(QP)の最大数は5000でした。
- ENSはConnectX-6 Dxアダプターカードでサポートされていませんでした。
- ETS値を0に設定すると、WQEタイムアウトが発生しました。

拡張

Smartコンポーネントバージョン2021.04.15(A)の変更点と新機能:

- 以下のアダプターのサポートを追加しました。
 - Mellanox MCX631432AS-ADAI Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE(部品番号:P42044-B21)
 - Mellanox MCX631102AS-ADAT Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE(部品番号:P42041-B21)

バージョン4.17.71.1の新機能および変更:

- ConnectX-6 Lxデバイスのサポートを追加しました。
- RDMAネットワークを介した最大10K接続の拡張サポート
- メモリ制約を下げるために、モジュールパラメーター"supported_num_ports"のデフォルト値を1にアップデートしました。注記:ユーザーは、システムにインストールされているポートの数に対応する値を設定する必要があります。

- SR-IOVインターフェイスへのマルチキャストトラフィックを分離するために"sriov_mc_isolation"モジュールパラメーターを追加しました。デフォルト値はOFFです。

サポートしているデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | デバイス名 | PSID |
|------------|--|---------------|
| 764282-B21 | HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+Mアダプター | HP_1350110023 |
| 764283-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+Mアダプター | HP_1360110017 |
| 764284-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFPアダプター | HP_1370110017 |
| P24837-B21 | HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 642SFP28アダプター | HPE0000000054 |
| P11338-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+アダプター | HP_1200111023 |
| 764285-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター | HP_1380110017 |
| 764286-B21 | HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター | HP_1390110023 |
| 825110-B21 | HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28 Adapter | HP_2180110032 |
| 825111-B21 | HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター | HP_2190110032 |
| 872726-B21 | HPE InfiniBand EDR/イーサネット 100Gb 2ポート841QSFP28アダプター | HPE0000000009 |
| 879482-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFPアダプター | HPE0000000022 |
| 868779-B21 | HPE Synergy 6410C 25/50Gb Ethernetアダプター | HPE0000000006 |
| 779793-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター | HP_1200111023 |
| 779799-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター | HP_2240110004 |
| 817749-B21 | HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28アダプター | HP_2690110034 |
| 817753-B21 | HPE Ethernet 25Gb 2-port 640SFP28 アダプター | HP_2420110034 |
| P21927-B21 | HPE Ethernet 100Gb 2ポート QSFP28 MCX516A-CCHTアダプター | MT_0000000417 |
| P10112-B21 | HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX562A-ACAI OCP3アダプター | MT_0000000241 |
| P13188-B21 | HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX512F-ACHTアダプター | MT_0000000416 |
| P11341-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター | MT_0000000238 |
| P21930-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4121A-XCHTアダプター | MT_0000000414 |
| 874253-B21 | HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28アダプター | HPE0000000014 |
| P25960-B21 | HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 MCX623106AS-CDATアダプター | MT_0000000437 |
| P06154-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター | HPE0000000034 |
| P06250-B21 | HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター | HPE0000000035 |
| P06251-B21 | HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポート940QSFP56 x16アダプター | HPE0000000036 |
| P23664-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートMCX653105A-HDAT QSFP56 x16アダプター | MT_0000000451 |
| P23665-B21 | HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポートMCX653105A-ECAT QSFP56 x16アダプター | MT_0000000452 |
| P23666-B21 | HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポートMCX653106A-ECAT QSFP56 x16アダプター | MT_0000000453 |
| P10180-B21 | Mellanox MCX623105AS-VDAT Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56アダプターfor HPE | MT_0000000435 |
| P31246-B21 | HPE Ethernet 100Gb 1ポートQSFP28 PCIe3 x16 MCX515A-CCATアダプター | MT_0000000591 |
| P31323-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 PCIe4 x16 OCP3 MCX653435A-HDAIアダプター | MT_0000000592 |
| P31348-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 2ポートQSFP56 PCIe4 x16 OCP3 MCX653436A-HDAIアダプター | MT_0000000593 |
| P31324-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 2ポートQSFP56 PCIe4 x16 MCX653106A-HDATアダプター | MT_0000000594 |

Mellanox ConnectX-4、ConnectX-5、およびConnectX-6 "nmlx5_en"ドライバーコンポーネントfor VMware ESXi 7.0 Update 2およびUpdate 3

バージョン: 2021.04.21 (A) (推奨)

ファイル名: cp050400.compsig; cp050400.zip

重要な注意!

重要:バージョン4.21.71.1はESXi 7.0 U2をサポートします。

バージョン4.21.71.101での既知の問題:

- アップリンク値とVF MTU値の不一致により、CQEでエラーが発生する場合があります。
回避策:アップリンクとVF MTUの値を揃えます。
- sriov_mc_isolationモジュールパラメーターを有効にすると、vmknicsおよびエミュレートされたNICのマルチキャストとIPv6トラフィックが失われる場合があります。
回避策:モジュールパラメーターを設定解除するか、0に設定します。
- RDMAは、ENS(Enhanced Network Stack)モデル2を使用するハイパーバイザーではサポートされていません。
- vSphere Clientの"ゲストMTU変更を許可する"オプションを設定する機能は現在機能していません。SR-IOVのゲストMTUの変更は許可されますが、ポートのMTUには影響を与えず、ゲストのMTUはPF MTUと同じままです。
- ECN(明示的輻輳通知)統計カウンターaccumulatorsPeriodおよびecnMarkedRocePacketsに誤った値が表示され、クリアできません。
- リアクションポイントプロトコルのECN調整パラメーターinitialAlphaValueは変更できません。
- ポートがダウンしてレポートが実行された後、カードの速度がゼロのままです。
- 名前空間の使用時に、vMotionの後にRoCEトラフィックが失敗する場合があります。
- レガシーSR-IOVはモデル1ではサポートされていません。
- ENSモード時にスケジューラをHCLKに変更するとトラフィックが失われる場合があります。
- 'esxcli mellanox uplink link info -u'コマンドで、'Auto negotiation'機能が常に'true'とレポートされます。
- SMP MAD(ibnetdiscover、sminfo、iblinkinfo、smpdump、ibqueryerr、ibdiagnet、smpquery)は、VFではサポートされていません。
- max_vfsモジュールのパラメーター範囲は"0-128"ですが、ファームウェアの制限により、単一ポートデバイスごとにサポートされるVFは次のとおりです:
 - ConnectX-4 / ConnectX-5:最大127

修正

ドライバーバージョン4.21.71.101に含まれる修正点:

- VMware Update Managerでは、バージョン管理スキームが古いメタデータxmlとのバンドルが受け入れられないため、このツールとの互換性の問題を修正しました。メタデータxmlに新しいバージョン管理スキームが含まれるようになりました。

拡張

Smartコンポーネントバージョン2021.04.21には、以下の変更と新機能が含まれます。

- 以下のデバイスのサポートを追加しました。
 - Mellanox MCX631432AS-ADAI Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプター for HPE(部品番号:P42044-B21)
 - Mellanox MCX631102AS-ADAT Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプター for HPE(HPE部品番号:P42044-B21)

ドライバーバージョン4.21.71.101の新機能および変更:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
 - vSan over RDMA。
 - ENSモデル0のための受信側スケージング(RSS)。
 - RxパスフローのルックアップがオフロードされたENS FPOモデル1(ConnectX5以降)
 - Txパスの部分アクション実行がオフロードされたENS FPOモデル1(ConnectX5以降)
 - パススルーテクノロジーとしてSR-IOVを備えたENS FPOモデル2(ConnectX5以降)
 - 200GbEのリンク速度。
 - ConnectX-6 Lxデバイス。
 - ハードウェアオフロードを使用したData Center Bridging Capability Exchange(DCBX)プロトコル。
 - SR-IOVインターフェイスへのマルチキャストトラフィックを分離するためのsriov_mc_isolationモジュールパラメーター。デフォルト値はOFFです。
 - ens_fallback_modelは、OSからENSモデルを照会するためのオプションがサポートされていない場合のデフォルトのフォールバックモードを設定します。デフォルトはモデル1です。
- RDMAネットワークを介した最大10K接続の拡張サポート
- メモリ制約を下げるために、カーネルパラメーター"supported_num_ports"のデフォルト値を1にアップデートしました。
注記:ユーザーは、システムにインストールされているポートの数に対応する値を設定する必要があります。

サポートしているデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | デバイス名 | PSID |
|------------|---|---------------|
| 764282-B21 | HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+Mアダプター | HP_1350110023 |
| 764283-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+Mアダプター | HP_1360110017 |
| 764284-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFPアダプター | HP_1370110017 |
| P24837-B21 | HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 642SFP28アダプター | HPE0000000054 |
| P11338-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+アダプター | HP_1200111023 |
| 764285-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター | HP_1380110017 |

| | | |
|------------|--|---------------|
| 764286-B21 | HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター | HP_1390110023 |
| 825110-B21 | HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28 Adapter | HP_2180110032 |
| 825111-B21 | HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター | HP_2190110032 |
| 872726-B21 | HPE InfiniBand EDR/イーサネット 100Gb 2ポート841QSFP28アダプター | HPE000000009 |
| 879482-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFPアダプター | HPE000000022 |
| 868779-B21 | HPE Synergy 6410C 25/50Gb Ethernetアダプター | HPE000000006 |
| 779793-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター | HP_1200111023 |
| 779799-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター | HP_2240110004 |
| 817749-B21 | HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28アダプター | HP_2690110034 |
| 817753-B21 | HPE Ethernet 25Gb 2-port 640SFP28 アダプター | HP_2420110034 |
| P21927-B21 | HPE Ethernet 100Gb 2ポート QSFP28 MCX516A-CCHTアダプター | MT_0000000417 |
| P10112-B21 | HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX562A-ACAI OCP3アダプター | MT_0000000241 |
| P13188-B21 | HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX512F-ACHTアダプター | MT_0000000416 |
| P11341-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター | MT_0000000238 |
| P21930-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4121A-XCHTアダプター | MT_0000000414 |
| 874253-B21 | HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28アダプター | HPE000000014 |
| P25960-B21 | HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 MCX623106AS-CDATアダプター | MT_0000000437 |
| P06154-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター | HPE0000000034 |
| P06250-B21 | HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター | HPE0000000035 |
| P06251-B21 | HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポート940QSFP56 x16アダプター | HPE0000000036 |
| P23664-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートMCX653105A-HDAT QSFP56 x16アダプター | MT_0000000451 |
| P23665-B21 | HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポートMCX653105A-ECAT QSFP56 x16アダプター | MT_0000000452 |
| P23666-B21 | HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポートMCX653106A-ECAT QSFP56 x16アダプター | MT_0000000453 |
| P10180-B21 | Mellanox MCX623105AS-VDAT Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56アダプターfor HPE | MT_0000000435 |
| P31246-B21 | HPE Ethernet 100Gb 1ポートQSFP28 PCIe3 x16 MCX515A-CCATアダプター | MT_0000000591 |
| P31323-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 PCIe4 x16 OCP3 MCX653435A-HDAIアダプター | MT_0000000592 |
| P31348-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 2ポートQSFP56 PCIe4 x16 OCP3 MCX653436A-HDAIアダプター | MT_0000000593 |
| P31324-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 2ポートQSFP56 PCIe4 x16 MCX653106A-HDATアダプター | MT_0000000594 |

Mellanox ConnectX-4、ConnectX-5、およびConnectX-6「nmlx5_en」VMwareESXi6.5用ドライバーコンポーネント

バージョン: 2021.04.15 (A) (推奨)

ファイル名: cp050402.compsig; cp050402.zip

重要な注意!

バージョン4.16.71.1での既知の問題:

- 確立されたアクティブなRDMA接続(QP)の最大数は現在5000です。
- ETS値を0に設定すると、WQEタイムアウトが発生することがあります。
- リアクションポイントプロトコルのECN調整パラメーターinitialAlphaValueは変更できません。
- ECN統計カウンターaccumulatorsPeriodとecnMarkedRoce-Packetsには誤った値が表示され、クリアすることはできません。
- ハードウェアは、最大256バイトのヘッダーのみをオフロードできます。
- "esxcli network sriovnic vf stats"コマンドはサポートされていません。
- 同じHCA上の異なるポートに接続されたPV機能とSR-IOV VF間でトラフィックを送信することはできません。
- vSphere Clientの"ゲストMTU変更を許可する"オプションを設定する機能は現在機能していません。SR-IOVのゲストMTUの変更は許可されますが、ポートのMTUには影響を与えず、ゲストのMTUはPF MTUと同じままです。
- Geneveの長さのサポートは56バイトに制限されています。オプションの長さが56バイトを超える受信パケットは廃棄されます。
- ConnectX-4/ConnectX-4 Lxの古いファームウェアのバージョンとの相互作用により、以下の内部ファームウェアエラーが発生する可能性があります。

- デバイスの状態が損なわれる
- synd 0x1: ファームウェアの内部エラー
- extSync 0x94ee
- 'esxcli mellanox uplink link info -u 'コマンドは、'Auto negotiation'機能を常に'true'としてレポートします。
- Wake-on-LANは、無効なパラメーターが提供されたときには通知しません。
- ネストされたESXiが正しく機能しない可能性があります。
- デバイスRSSは、ブロードキャストトラフィックで十分なRXリングにトラフィックをハッシュすることに失敗します。
- ストレス状態では'ウォッチドッグ'が現れ、アップリンクがアップしたり、ダウンしたりします。
- VXLANインターフェイスを介したVGTトラフィックは現在サポートされていません。
- SMP MAD(ibnetdiscover、sminfo、iblinkinfo、smpdump、ibqueryerr、ibdiagnet、smpquery)は、VFではサポートされていません。
- max_vfsモジュールのパラメーター範囲は"0-128"ですが、ファームウェアの制限により、単一ポートごとにサポートされるVFは次のとおりです：
 - ConnectX-4: 最大127
 - ConnectX-5: 最大63

修正

以下の問題点がバージョン4.16.71.1で修正されました。

- ConnectX-6では、最大100GbEのリンク速度のみがサポートされていました。
- ドライバーのライブアンロードはサポートされていません。これを行うと、max_vfsパラメーターが設定されている場合にPSODが発生する可能性があります。
- 確立されたアクティブなRDMA接続(QP)の最大数は5000でした。
- ETS値を0に設定すると、WQEタイムアウトが発生しました。

拡張

Smartコンポーネントバージョン2021.04.15(A)の変更点と新機能:

- 以下のアダプターのサポートを追加しました。
 - Mellanox MCX631432AS-ADAI Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE(部品番号:P42044-B21)
 - Mellanox MCX631102AS-ADAT Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE(部品番号:P42041-B21)

バージョン4.16.71.1の新機能および変更:

- ConnectX-6 Lxデバイスのサポートを追加しました。
- RDMAネットワークを介した最大10K接続の拡張サポート
- メモリ制約を下げるために、モジュールパラメーター"supported_num_ports"のデフォルト値を1にアップデートしました。注記:ユーザーは、システムにインストールされているポートの数に対応する値を設定する必要があります。
- SR-IOVインターフェイスへのマルチキャストトラフィックを分離するために"sriov_mc_isolation"モジュールパラメーターを追加しました。デフォルト値はOFFです。

サポートしているデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | デバイス名 | PSID |
|------------|---|---------------|
| 764282-B21 | HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+Mアダプター | HP_1350110023 |
| 764283-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+Mアダプター | HP_1360110017 |
| 764284-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFPアダプター | HP_1370110017 |
| P24837-B21 | HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 642SFP28アダプター | HPE0000000054 |
| P11338-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+アダプター | HP_1200111023 |
| 764285-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター | HP_1380110017 |
| 764286-B21 | HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター | HP_1390110023 |
| 825110-B21 | HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28 Adapter | HP_2180110032 |
| 825111-B21 | HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター | HP_2190110032 |
| 872726-B21 | HPE InfiniBand EDR/イーサーネット 100Gb 2ポート841QSFP28アダプター | HPE0000000009 |
| 879482-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFPアダプター | HPE0000000022 |
| 868779-B21 | HPE Synergy 6410C 25/50Gb Ethernetアダプター | HPE0000000006 |
| 779793-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター | HP_1200111023 |
| 779799-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター | HP_2240110004 |
| 817749-B21 | HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28アダプター | HP_2690110034 |
| 817753-B21 | HPE Ethernet 25Gb 2-port 640SFP28 アダプター | HP_2420110034 |

| | | |
|------------|---|---------------|
| P21927-B21 | HPE Ethernet 100Gb 2ポート QSFP28 MCX516A-CCHTアダプター | MT_0000000417 |
| P10112-B21 | HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX562A-ACAI OCP3アダプター | MT_0000000241 |
| P13188-B21 | HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX512F-ACHTアダプター | MT_0000000416 |
| P11341-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター | MT_0000000238 |
| P21930-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4121A-XCHTアダプター | MT_0000000414 |
| 874253-B21 | HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28アダプター | HPE0000000014 |
| P25960-B21 | HPE Ethernet 100Gb 2ポート QSFP56 MCX623106AS-CDATアダプター | MT_0000000437 |
| P06154-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポート 940QSFP56 x16アダプター | HPE0000000034 |
| P06250-B21 | HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポート 940QSFP56 x16アダプター | HPE0000000035 |
| P06251-B21 | HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポート 940QSFP56 x16アダプター | HPE0000000036 |
| P23664-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポート MCX653105A-HDAT QSFP56 x16アダプター | MT_0000000451 |
| P23665-B21 | HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポート MCX653105A-ECAT QSFP56 x16アダプター | MT_0000000452 |
| P23666-B21 | HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポート MCX653106A-ECAT QSFP56 x16アダプター | MT_0000000453 |
| P10180-B21 | Mellanox MCX623105AS-VDAT Ethernet 200Gb 1ポート QSFP56アダプター for HPE | MT_0000000435 |
| P31246-B21 | HPE Ethernet 100Gb 1ポート QSFP28 PCIe3 x16 MCX515A-CCATアダプター | MT_0000000591 |
| P31323-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポート QSFP56 PCIe4 x16 OCP3 MCX653435A-HDAIアダプター | MT_0000000592 |
| P31348-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 2ポート QSFP56 PCIe4 x16 OCP3 MCX653436A-HDAIアダプター | MT_0000000593 |
| P31324-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 2ポート QSFP56 PCIe4 x16 MCX653106A-HDATアダプター | MT_0000000594 |

Mellanox CX5およびCX6DXドライバー for Microsoft Windows Server 2016

バージョン: 2.80.25134.0 (推奨)

ファイル名: cp050316.compsig; cp050316.exe

修正

- この製品は、RxトラフィックでvPortを削除するときに、システムがクラッシュする可能性がある問題を修正します。
- この製品は、ドライバーのいずれかがアップデートされていない場合でも、インストールプロセスが正常に完了する問題を修正します。
- この製品は、TCPタイムスタンプオプション(ts-val)が存在し、MSBがRSCと一緒に設定されている場合に、トラフィックが失われ、接続が切断される問題を解決します。

拡張

このドライバーにより、イベントビューアーは長い名前に関連するOSの制限に対処できるようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX512F-ACATアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX562A-ACAI OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4121A-XCATアダプター
- HPE Ethernet 100Gb 2ポート QSFP28 MCX516A-CCATアダプター
- HPE Ethernet 100Gb 2ポート QSFP56 MCX623436AS-CDATアダプター
- HPE Ethernet 100Gb 2ポート QSFP56 MCX623106AS-CDATアダプター

Mellanox CX5およびCX6DXドライバー for Microsoft Windows Server 2019

バージョン: 2.80.25134.0 (推奨)

ファイル名: cp050317.compsig; cp050317.exe

修正

- この製品は、RxトラフィックでvPortを削除するときに、システムがクラッシュする可能性がある問題を修正します。
- この製品は、ドライバーのいずれかがアップデートされていない場合でも、インストールプロセスが正常に完了する問題を修正します。
- この製品は、TCPタイムスタンプオプション(ts-val)が存在し、MSBがRSCと一緒に設定されている場合に、トラフィックが失われ、接続が切断される問題を解決します。

拡張

このドライバーにより、イベントビューアーは長い名前に関連するOSの制限に対処できるようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX512F-ACATアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX562A-ACAI OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4121A-XCATアダプター
- HPE Ethernet 100Gb 2ポート QSFP28 MCX516A-CCATアダプター
- HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 MCX623436AS-CDATアダプター
- HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 MCX623106AS-CDATアダプター

Mellanox CX5およびCX6DXドライバーfor Microsoft Windows Server 2022

バージョン: 2.80.25134.0 (推奨)

ファイル名: cp050318.compsig; cp050318.exe

修正

- この製品は、RxトラフィックでvPortを削除するときに、システムがクラッシュする可能性がある問題を修正します。
- この製品は、ドライバーのいずれかがアップデートされていない場合でも、インストールプロセスが正常に完了する問題を修正します。
- この製品は、TCPタイムスタンプオプション(ts-val)が存在し、MSBがRSCと一緒に設定されている場合に、トラフィックが失われ、接続が切断される問題を解決します。

拡張

このドライバーにより、イベントビューアーは長い名前に関連するOSの制限に対処できるようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX512F-ACATアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX562A-ACAI OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4121A-XCATアダプター
- HPE Ethernet 100Gb 2ポート QSFP28 MCX516A-CCATアダプター
- HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 MCX623436AS-CDATアダプター
- HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 MCX623106AS-CDATアダプター

net-mstカーネルモジュールドライバーコンポーネント for VMware ESXi 6.5および6.7

バージョン: 2020.11.11 (B) (推奨)

ファイル名: cp050399.compsig; cp050399.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。HPE vibstap.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

事前要件

NA

拡張

NMSTバージョン4.12.0.105

このバージョンでは、すべての最新Mellanoxアダプター(ConnectX6、ConnectX6-Dx、およびConnectX6-Lxチップセットベースのアダプターを含む)でファームウェアアップデートのサポートが追加されています。

サポートしているデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | デバイス名 | PSID |
|------------|--|---------------|
| 764282-B21 | HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+Mアダプター | HP_1350110023 |
| 764283-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+Mアダプター | HP_1360110017 |
| 764284-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFPアダプター | HP_1370110017 |
| P24837-B21 | HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 642SFP28アダプター | HPE0000000054 |
| P11338-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+アダプター | HP_1200111023 |
| 764285-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター | HP_1380110017 |
| 764286-B21 | HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター | HP_1390110023 |
| 825110-B21 | HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28 Adapter | HP_2180110032 |
| 825111-B21 | HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター | HP_2190110032 |
| 872726-B21 | HPE InfiniBand EDR/イーサネット 100Gb 2ポート841QSFP28アダプター | HPE0000000009 |
| 879482-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFPアダプター | HPE0000000022 |
| 868779-B21 | HPE Synergy 6410C 25/50Gb Ethernetアダプター | HPE0000000006 |
| 779793-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター | HP_1200111023 |
| 779799-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター | HP_2240110004 |
| 817749-B21 | HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28アダプター | HP_2690110034 |
| 817753-B21 | HPE Ethernet 25Gb 2-port 640SFP28 アダプター | HP_2420110034 |
| P21927-B21 | HPE Ethernet 100Gb 2ポート QSFP28 MCX516A-CCHTアダプター | MT_0000000417 |
| P10112-B21 | HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX562A-ACAI OCP3アダプター | MT_0000000241 |
| P13188-B21 | HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX512F-ACHTアダプター | MT_0000000416 |
| P11341-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター | MT_0000000238 |
| P21930-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4121A-XCHTアダプター | MT_0000000414 |
| 874253-B21 | HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28アダプター | HPE0000000014 |
| P25960-B21 | HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 MCX623106AS-CDATアダプター | MT_0000000437 |
| P06154-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター | HPE0000000034 |
| P06250-B21 | HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター | HPE0000000035 |
| P06251-B21 | HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポート940QSFP56 x16アダプター | HPE0000000036 |
| P23664-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートMCX653105A-HDAT QSFP56 x16アダプター | MT_0000000451 |
| P23665-B21 | HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポートMCX653105A-ECAT QSFP56 x16アダプター | MT_0000000452 |
| P23666-B21 | HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポートMCX653106A-ECAT QSFP56 x16アダプター | MT_0000000453 |
| P10180-B21 | Mellanox MCX623105AS-VDAT Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56アダプターfor HPE | MT_0000000435 |
| P31246-B21 | HPE Ethernet 100Gb 1ポートQSFP28 PCIe3 x16 MCX515A-CCATアダプター | MT_0000000591 |
| P31323-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 PCIe4 x16 OCP3 MCX653435A-HDAIアダプター | MT_0000000592 |
| P31348-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 2ポートQSFP56 PCIe4 x16 OCP3 MCX653436A-HDAIアダプター | MT_0000000593 |
| P31324-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 2ポートQSFP56 PCIe4 x16 MCX653106A-HDATアダプター | MT_0000000594 |

net-mstカーネルモジュールドライバコンポーネントfor VMware ESXi 7.0

バージョン: 2020.11.11 (B) (推奨)

ファイル名: cp050896.compsig; cp050896.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションで使用することを目的としています。HPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

事前要件

NA

拡張

NMSTバージョン 4.14.3.3

このバージョンでは、すべての最新Mellanoxアダプター(ConnectX6、ConnectX6-Dx、およびConnectX6-Lxチップセットベースのアダプターを含む)でファームウェアアップデートのサポートが追加されています。

サポートしているデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | デバイス名 | PSID |
|------------|--|---------------|
| 764282-B21 | HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+Mアダプター | HP_1350110023 |
| 764283-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+Mアダプター | HP_1360110017 |
| 764284-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFPアダプター | HP_1370110017 |
| P24837-B21 | HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 642SFP28アダプター | HPE0000000054 |
| P11338-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+アダプター | HP_1200111023 |
| 764285-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター | HP_1380110017 |
| 764286-B21 | HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター | HP_1390110023 |
| 825110-B21 | HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28 Adapter | HP_2180110032 |
| 825111-B21 | HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター | HP_2190110032 |
| 872726-B21 | HPE InfiniBand EDR/イーサネット 100Gb 2ポート841QSFP28アダプター | HPE0000000009 |
| 879482-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFPアダプター | HPE0000000022 |
| 868779-B21 | HPE Synergy 6410C 25/50Gb Ethernetアダプター | HPE0000000006 |
| 779793-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター | HP_1200111023 |
| 779799-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター | HP_2240110004 |
| 817749-B21 | HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28アダプター | HP_2690110034 |
| 817753-B21 | HPE Ethernet 25Gb 2-port 640SFP28 アダプター | HP_2420110034 |
| P21927-B21 | HPE Ethernet 100Gb 2ポート QSFP28 MCX516A-CCHTアダプター | MT_0000000417 |
| P10112-B21 | HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX562A-ACAI OCP3アダプター | MT_0000000241 |
| P13188-B21 | HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX512F-ACHTアダプター | MT_0000000416 |
| P11341-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター | MT_0000000238 |
| P21930-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4121A-XCHTアダプター | MT_0000000414 |
| 874253-B21 | HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28アダプター | HPE0000000014 |
| P25960-B21 | HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 MCX623106AS-CDATアダプター | MT_0000000437 |
| P06154-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター | HPE0000000034 |
| P06250-B21 | HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター | HPE0000000035 |
| P06251-B21 | HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポート940QSFP56 x16アダプター | HPE0000000036 |
| P23664-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートMCX653105A-HDAT QSFP56 x16アダプター | MT_0000000451 |
| P23665-B21 | HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポートMCX653105A-ECAT QSFP56 x16アダプター | MT_0000000452 |
| P23666-B21 | HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポートMCX653106A-ECAT QSFP56 x16アダプター | MT_0000000453 |
| P10180-B21 | Mellanox MCX623105AS-VDAT Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56アダプターfor HPE | MT_0000000435 |
| P31246-B21 | HPE Ethernet 100Gb 1ポートQSFP28 PCIe3 x16 MCX515A-CCATアダプター | MT_0000000591 |
| P31323-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 PCIe4 x16 OCP3 MCX653435A-HDAIアダプター | MT_0000000592 |
| P31348-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 2ポートQSFP56 PCIe4 x16 OCP3 MCX653436A-HDAIアダプター | MT_0000000593 |
| P31324-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 2ポートQSFP56 PCIe4 x16 MCX653106A-HDATアダ | MT_0000000594 |

nmlx4_enドライバーコンポーネント for VMware 6.5

バージョン: 2020.11.11 (推奨)

ファイル名: cp046261.compsig; cp046261.zip

重要な注意!

既知の問題点:

- ConnectX-3 Pro 10Gアダプターカードでは、"esxcli network nic get"コマンド実行時に40Gの速度のサポートが間違っ報告されます。
- ポートがDOWNしている場合、管理インターフェイスの"ポートタイプ"フィールドは、デバイスがサポートするポートタイプの1つを次の順序で示します。TP, FIBER, DA, NONE。ポートが複数のケーブルタイプをサポートしている場合、上記のリストの最初のタイプが表示されます。
- ポートがUPの場合、管理インターフェイスのポートタイプフィールド(nmlx_en_MgmtIFPortType)は、サポートされているすべてのタイプのうち現在接続されているものを示します。
- 管理インターフェイスのポートタイプフィールドは、SFP-to-RJ45ケーブルをFIBERとして報告します。
- 管理インターフェイスの自動ネゴシエーションフィールドは、"esxcli network nic get -n vmnicX"フィールド"Pause Autonegotiate"に相当します。

ESXi 6.5ドライバーバージョン3.16.11.10のリリースノートについて詳しくは、以下のリンクを参照してください:

https://www.mellanox.com/page/products_dyn?product_family=29&mtag=vmware_driver

拡張

バージョン3.16.70.2の変更および新機能:

- ネットワークアダプターのトラフィックが停止する問題を解決しました。
- LACP(リンクアグリゲーション制御プロトコル)bondingプロトコルを破壊した内部マルチキャストループバックの問題を修正しました。

サポートしているデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | デバイス名 | PSID |
|------------|---|----------------|
| 764282-B21 | HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+Mアダプター | HP_1350110023 |
| 764283-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+Mアダプター | HP_1360110017 |
| 764284-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFPアダプター | HP_1370110017 |
| 764285-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター | HP_1380110017 |
| 764286-B21 | HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター | HP_1390110023 |
| 779793-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター | HP_1200111023) |
| 779799-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター | HP_2240110004 |

nmlx4_enドライバーコンポーネント for VMware ESXi 6.7

バージョン: 2020.11.11 (推奨)

ファイル名: cp046262.compsig; cp046262.zip

重要な注意!

バージョン3.17.70.1での既知の問題:

- ConnectX-3 Pro 10Gアダプターカードでは、"esxcli network nic get"コマンド実行時に40Gの速度のサポートが間違っ報告されます。
- ポートがDOWNしている場合、管理インターフェイスのポートタイプフィールド(nmlx_en_MgmtIFPortType)は、デバイスがサポートするポートタイプの1つを次の順序で示します。TP, FIBER, DA, NONE。ケーブルが複数のタイプをサポートしている場合、上記のリストの最初のタイプが表示されます。
- ポートがUPの場合、管理インターフェイスのポートタイプフィールド(nmlx_en_MgmtIFPortType)は、サポートされているすべてのタイプのうち現在接続されているものを示します。
- 管理インターフェイスのポートタイプフィールド(nmlx_en_MgmtIFPortType)は、SFP-to-RJ45ケーブルをFIBERとして報告します。
- 管理インターフェイスの自動ネゴシエーションフィールド(nmlx_en_MgmtIFAutoNegMode)は、"esxcli network nic get -n vmnicX"フィールド"Pause Autonegotiate"に相当します。

拡張

バージョン3.17.70.1の変更点および新機能:

- アダプターカードのPSIDがPrivstats(プライベート統計)に表示されるようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | デバイス名 | PSID |
|------------|---|----------------|
| 764282-B21 | HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+Mアダプター | HP_1350110023 |
| 764283-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+Mアダプター | HP_1360110017 |
| 764284-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFPアダプター | HP_1370110017 |
| 764285-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター | HP_1380110017 |
| 764286-B21 | HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター | HP_1390110023 |
| 779793-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター | HP_1200111023) |
| 779799-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター | HP_2240110004 |

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8用HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリ

バージョン: 219.0.8.0 (推奨)

ファイル名: libbnxt_re-219.0.8.0-rhel7u8.x86_64.compsig; libbnxt_re-219.0.8.0-rhel7u8.x86_64.rpm; README

事前要件

この製品をインストールする前に、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for Red Hat Enterprise Linux 7*、バージョン1.10.2-219.0.48.0以降をインストールする必要があります。

RoCEライブラリをインストールする前に、ターゲットシステムにlibibverbsおよびrdma-coreパッケージをインストールしておく必要があります。まだインストールしていない場合は、オペレーティングシステムのインストールメディアからパッケージを取得できます。

修正

- この製品は、イーサネットインターフェイスのダウン状態でファームウェアがリセットされたときにハードウェアリソースマネージャー(HWRM)タイムアウトが発生する問題に対応しています。
- この製品は、トラフィックが多いときに受信(RX)パケットがクラッシュする問題に対応しています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64用HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEドライバー

バージョン: 8.55.15.0-1 (推奨)

ファイル名: kmod-qlgc-fastlinq-8.55.15.0-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-qlgc-fastlinq-8.55.15.0-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-qlgc-fastlinq-8.55.15.0-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-qlgc-fastlinq-8.55.15.0-1.rhel7u9.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、以下に示すファームウェアを推奨しています。

- Arrowheadアダプター用HPE QLogic FastLinQファームウェアパッケージ、バージョン8.55.27(B)以降。
- HPE QLogic FastLinQオンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Linux x86_64、バージョン1.20.1以降。

拡張

この製品は、rdmaメモリ割り当てのエラーリターン中のエラーログを改善します

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-T コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300R コンバージドネットワークアダプター

Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2用HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリ

バージョン: 218.0.7.0 (オプション)

ファイル名: libbnxt_re-218.0.7.0-rhel8u2.x86_64.compsig; libbnxt_re-218.0.7.0-rhel8u2.x86_64.rpm; README

事前要件

この製品をインストールする前に、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for Red Hat Enterprise Linux 8*、バージョン1.10.2-218.0.65.0以降をインストールする必要があります。

RoCEライブラリをインストールする前に、ターゲットシステムにlibibverbおよびrdma-coreパッケージをインストールしておく必要があります。まだインストールしていない場合は、オペレーティングシステムのインストールメディアからパッケージを取得できます。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

Red Hat Enterprise Linux 8 Update 3用HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリ

バージョン: 218.0.7.0 (オプション)

ファイル名: libbnxt_re-218.0.7.0-rhel8u3.x86_64.compsig; libbnxt_re-218.0.7.0-rhel8u3.x86_64.rpm; README

事前要件

この製品をインストールする前に、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for Red Hat Enterprise Linux 8*、バージョン1.10.2-218.0.65.0以降をインストールする必要があります。

RoCEライブラリをインストールする前に、ターゲットシステムにlibibverbおよびrdma-coreパッケージをインストールしておく必要があります。まだインストールしていない場合は、オペレーティングシステムのインストールメディアからパッケージを取得できます。

拡張

最初のリリースです。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

Red Hat Enterprise Linux 8 Update 4用HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリ

バージョン: 219.0.8.0 (B) (推奨)

ファイル名: libbnxt_re-219.0.8.0-rhel8u4.x86_64.compsig; libbnxt_re-219.0.8.0-rhel8u4.x86_64.rpm; README

事前要件

この製品をインストールする前に、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for Red Hat Enterprise Linux 8*、バージョン1.10.2-219.0.48.0以降をインストールする必要があります。

RoCEライブラリをインストールする前に、ターゲットシステムにlibibverbsおよびrdma-coreパッケージをインストールしておく必要があります。まだインストールしていない場合は、オペレーティングシステムのインストールメディアからパッケージを取得できます。

修正

- この製品は、イーサネットインターフェイスのダウン状態でファームウェアがリセットされたときにハードウェアリソースマネージャー(HWRM)タイムアウトが発生する問題に対応しています。
- この製品は、トラフィックが多いときに受信(RX)パケットがクラッシュする問題に対応しています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

Red Hat Enterprise Linux 8用HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEドライバー

バージョン: 8.55.15.0-1 (推奨)

ファイル名: kmod-qlgc-fastlinq-8.55.15.0-1.rhel8u4.x86_64.compsig; kmod-qlgc-fastlinq-8.55.15.0-1.rhel8u4.x86_64.rpm; kmod-qlgc-fastlinq-8.59.6.0-1.rhel8u5.x86_64.compsig; kmod-qlgc-fastlinq-8.59.6.0-1.rhel8u5.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、以下に示すファームウェアを推奨しています。

- Arrowheadアダプター用HPE QLogic FastLinQファームウェアパッケージ、バージョン8.55.27(B)以降。
- HPE QLogic FastLinQオンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Linux x86_64、バージョン1.20.1以降。

拡張

この製品は、rdmaメモリ割り当てのエラーリターン中のエラーログを改善します

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-T コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300R コンバージドネットワークアダプター

Red Hat Enterprise Linux用Linux Intelドライバービルドバンドル

バージョン: 1.0.5.0 (オプション)

ファイル名: hp-i40e-2.16.11-1.all.src.rpm; hp-iavf-4.2.7-1.all.src.rpm; hp-igb-6.7.2-2.all.src.rpm; hp-ixgbe-5.12.5-1.all.src.rpm; hp-ixgbevf-4.12.4-1.all.src.rpm; i40e-README; iaavf-README; ice-1.6.4-1.all.src.rpm; ice-README; igb-README; irdma-1.6.28-1.all.src.rpm; irdma-README; ixgbe-README; ixgbevf-README; kmod-hp-i40e-2.16.11-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-i40e-2.16.11-1.rhel7u9.x86_64.rpm; kmod-hp-i40e-2.16.11-1.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-hp-i40e-2.16.11-1.rhel8u4.x86_64.rpm; kmod-hp-iavf-4.2.7-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-iavf-4.2.7-

1.rhel7u9.x86_64.rpm; kmod-hp-iavf-4.2.7-1.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-hp-iavf-4.2.7-1.rhel8u4.x86_64.rpm; kmod-hp-igb-6.7.2-2.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-igb-6.7.2-2.rhel7u9.x86_64.rpm; kmod-hp-igb-6.7.2-2.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-hp-igb-6.7.2-2.rhel8u4.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbe-5.12.5-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbe-5.12.5-1.rhel7u9.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbe-5.12.5-1.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbe-5.12.5-1.rhel8u4.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbev-4.12.4-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbev-4.12.4-1.rhel7u9.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbev-4.12.4-1.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbev-4.12.4-1.rhel8u4.x86_64.rpm; kmod-ice-1.6.4-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-ice-1.6.4-1.rhel7u9.x86_64.rpm; kmod-ice-1.6.4-1.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-ice-1.6.4-1.rhel8u4.x86_64.rpm; kmod-irdma-1.6.28-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-irdma-1.6.28-1.rhel7u9.x86_64.rpm; kmod-irdma-1.6.28-1.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-irdma-1.6.28-1.rhel8u4.x86_64.rpm

拡張

Gen10PlusSnap5

Red Hat Enterprise Linux用Linux Intelドライバービルドバンドル

バージョン: 1.0.5.5 (推奨)

ファイル名: hp-i40e-2.17.4-1.all.src.rpm; hp-igb-6.8.5-2.all.src.rpm; hp-ixgbe-5.13.4-1.all.src.rpm; hp-ixgbev-4.13.3-1.all.src.rpm; i40e-README; iavf-README; ice-1.6.7-1.all.src.rpm; ice-README; igb-README; irdma-1.6.28-1.all.src.rpm; irdma-README; ixgbe-README; ixgbev-README; kmod-hp-i40e-2.17.4-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-i40e-2.17.4-1.rhel7u9.x86_64.rpm; kmod-hp-i40e-2.17.4-1.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-hp-i40e-2.17.4-1.rhel8u4.x86_64.rpm; kmod-hp-igb-6.8.5-2.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-igb-6.8.5-2.rhel7u9.x86_64.rpm; kmod-hp-igb-6.8.5-2.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-hp-igb-6.8.5-2.rhel8u4.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbe-5.13.4-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbe-5.13.4-1.rhel7u9.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbe-5.13.4-1.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbe-5.13.4-1.rhel8u4.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbev-4.13.3-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbev-4.13.3-1.rhel7u9.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbev-4.13.3-1.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbev-4.13.3-1.rhel8u4.x86_64.rpm; kmod-ice-1.6.7-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-ice-1.6.7-1.rhel7u9.x86_64.rpm; kmod-ice-1.6.7-1.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-ice-1.6.7-1.rhel8u4.x86_64.rpm; kmod-irdma-1.6.28-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-irdma-1.6.28-1.rhel7u9.x86_64.rpm; kmod-irdma-1.6.28-1.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-irdma-1.6.28-1.rhel8u4.x86_64.rpm

拡張

Gen10PlusSnap5Post

SUSE Linux Enterprise Server 12 SP4(AMD64/EM64T)向けのHPE Mellanox MFTドライバーおよびFirmware Tools

バージョン: 4.18 (推奨)

ファイル名: kernel-mft-mlnx-kmp-default-4.18.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; kernel-mft-mlnx-kmp-default-4.18.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; mft-4.18.0-106.sles12sp4.x86_64.compsig; mft-4.18.0-106.sles12sp4.x86_64.rpm

修正

セキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート向けのMFT前提条件のRPM。

拡張

セキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート向けのMFT前提条件のRPM。

SUSE Linux Enterprise Server 12 SP4用HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリ

バージョン: 218.0.7.0 (オプション)

ファイル名: libbnxt_re-218.0.7.0-sles12sp4.x86_64.compsig; libbnxt_re-218.0.7.0-sles12sp4.x86_64.rpm; README

事前要件

この製品をインストールする前に、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for SUSE Linux Enterprise Server 12*、バージョン1.10.2-218.0.65.0以降をインストールする必要があります。

RoCEライブラリをインストールする前に、ターゲットシステムにlibibverbsおよびrdma-coreパッケージをインストールしておく必要があります。まだインストールしていない場合は、オペレーティングシステムのインストールメディアからパッケージを取得できます。

修正

この製品は、rdma-core v29(rdmaユーザースペースアプリケーション)をサポートするようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

SUSE Linux Enterprise Server 12 SP5用HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリ

バージョン: 219.0.8.0 (推奨)

ファイル名: libbnxt_re-219.0.8.0-sles12sp5.x86_64.compsig; libbnxt_re-219.0.8.0-sles12sp5.x86_64.rpm; README

事前要件

この製品をインストールする前に、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for SUSE Linux Enterprise Server 12*、バージョン1.10.2-219.0.48.0以降をインストールする必要があります。

RoCEライブラリをインストールする前に、ターゲットシステムにlibibverbsおよびrdma-coreパッケージをインストールしておく必要があります。まだインストールしていない場合は、オペレーティングシステムのインストールメディアからパッケージを取得できます。

修正

- この製品は、イーサネットインターフェイスのダウン状態でファームウェアがリセットされたときにハードウェアリソースマネージャー(HWRM)タイムアウトが発生する問題に対応しています。
- この製品は、トラフィックが多いときに受信(RX)パケットがクラッシュする問題に対応しています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64用HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEドライバー

バージョン: 8.55.15.0-1 (推奨)

ファイル名: qlgc-fastlinq-kmp-default-8.55.15.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; qlgc-fastlinq-kmp-default-8.55.15.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、以下に示すファームウェアを推奨しています。

- *Arrowhead*アダプター用HPE QLogic FastLinQファームウェアパッケージ、バージョン8.55.27(B)以降。
- HPE QLogic FastLinQオンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Linux x86_64、バージョン1.20.1以降。

拡張

この製品は、rdmaメモリ割り当てのエラーリターン中のエラーログを改善します

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-T コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300R コンバージドネットワークアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 15 SP1用HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリ

バージョン: 218.0.7.0 (オプション)

ファイル名: libbnxt_re-218.0.7.0-sles15sp1.x86_64.compsig; libbnxt_re-218.0.7.0-sles15sp1.x86_64.rpm; README

事前要件

この製品をインストールする前に、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for SUSE Linux Enterprise Server 15*、バージョン 1.10.2-218.0.65.0以降をインストールする必要があります。

RoCEライブラリをインストールする前に、ターゲットシステムにlibibverbおよびrdma-coreパッケージをインストールしておく必要があります。まだインストールしていない場合は、オペレーティングシステムのインストールメディアからパッケージを取得できます。

修正

この製品は、rdma-core v29(rdmaユーザースペースアプリケーション)をサポートするようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

SUSE Linux Enterprise Server 15 SP2用HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリ

バージョン: 219.0.8.0 (推奨)

ファイル名: libbnxt_re-219.0.8.0-sles15sp2.x86_64.compsig; libbnxt_re-219.0.8.0-sles15sp2.x86_64.rpm; README

事前要件

この製品をインストールする前に、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for SUSE Linux Enterprise Server 15*、バージョン 1.10.2-219.0.48.0以降をインストールする必要があります。

RoCEライブラリをインストールする前に、ターゲットシステムにlibibverbおよびrdma-coreパッケージをインストールしておく必要があります。まだインストールしていない場合は、オペレーティングシステムのインストールメディアからパッケージを取得できます。

修正

- この製品は、イーサネットインターフェイスのダウン状態でファームウェアがリセットされたときにハードウェアリソースマネージャー(HWRM)タイムアウトが発生する問題に対応しています。
- この製品は、トラフィックが多いときに受信(RX)パケットがクラッシュする問題に対応しています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

SUSE Linux Enterprise Server 15 SP3用HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリ

バージョン: 219.0.8.0 (B) (推奨)

ファイル名: libbnxt_re-219.0.8.0-sles15sp3.x86_64.compsig; libbnxt_re-219.0.8.0-sles15sp3.x86_64.rpm; README

事前要件

この製品をインストールする前に、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for SUSE Linux Enterprise Server 15*、バージョン 1.10.2-219.0.48.0以降をインストールする必要があります。

RoCEライブラリをインストールする前に、ターゲットシステムにlibibverbおよびrdma-coreパッケージをインストールしておく必要があります。まだインストールしていない場合は、オペレーティングシステムのインストールメディアからパッケージを取得できます。

修正

- この製品は、イーサネットインターフェイスのダウン状態でファームウェアがリセットされたときにハードウェアリソースマネージャー(HWRM)タイムアウトが発生する問題に対応しています。
- この製品は、トラフィックが多いときに受信(RX)パケットがクラッシュする問題に対応しています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

SUSE Linux Enterprise Server 15用HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリ

バージョン: 216.0.88.3 (オプション)

ファイル名: libbnxt_re-216.0.88.3-sles15sp0.x86_64.compsig; libbnxt_re-216.0.88.3-sles15sp0.x86_64.rpm; README

事前要件

この製品をインストールする前に、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for SUSE Linux Enterprise Server 15*、バージョン 1.10.1-216.0.169.4以降をインストールする必要があります。

RoCEライブラリをインストールする前に、ターゲットシステムにlibibverbおよびrdma-coreパッケージをインストールしておく必要があります。まだインストールしていない場合は、オペレーティングシステムのインストールメディアからパッケージを取得できます。

修正

- この製品は、システムの再起動後にRoCEボン드가自動的に作成されない問題を修正します。
- この製品は、ホットプラグ操作の実行後にエラー/パフォーマンスが劣化する可能性がある問題を修正します。

拡張

- この製品は、リンクアグリゲーションが有効になっている場合、VFでのRoCEドライバーのロードを無効にするようになりました。
- この製品は、rdma-core v22をサポートするようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 15用HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEドライバー

バージョン: 8.55.15.0-1 (推奨)

ファイル名: qlgc-fastlinq-kmp-default-8.55.15.0_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; qlgc-fastlinq-kmp-default-8.55.15.0_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; qlgc-fastlinq-kmp-default-8.55.15.0_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.compsig; qlgc-fastlinq-kmp-default-8.55.15.0_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、以下に示すファームウェアを推奨しています。

- Arrowheadアダプター用HPE QLogic FastLinQファームウェアパッケージ、バージョン8.55.27(B)以降。
- HPE QLogic FastLinQオンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Linux x86_64、バージョン1.20.1以降。

拡張

この製品は、rdmaメモリ割り当てのエラーリターン中のエラーログを改善します

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-T コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300R コンバージドネットワークアダプター

SUSE Linux Enterprise Server用Linux Intelドライバービルドバンドル

バージョン: 1.0.5.0 (オプション)

ファイル名: hp-i40e-2.16.11-1.all.src.rpm; hp-i40e-kmp-default-2.16.11_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-i40e-kmp-default-2.16.11_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; hp-i40e-kmp-default-2.16.11_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.rpm; hp-iaavf-4.2.7-1.all.src.rpm; hp-iaavf-kmp-default-4.2.7_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-iaavf-kmp-default-4.2.7_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; hp-iaavf-kmp-default-4.2.7_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.rpm; hp-igb-6.7.2-2.all.src.rpm; hp-igb-kmp-default-6.7.2_k4.12.14_120-2.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-igb-kmp-default-6.7.2_k5.3.18_22-2.sles15sp2.x86_64.rpm; hp-igb-kmp-default-6.7.2_k5.3.18_57-2.sles15sp3.x86_64.rpm; hp-ixgbe-5.12.5-1.all.src.rpm; hp-ixgbe-kmp-default-5.12.5_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-ixgbe-kmp-default-5.12.5_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; hp-ixgbe-kmp-default-5.12.5_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.rpm; hp-ixgbev-4.12.4-1.all.src.rpm; hp-ixgbev-kmp-default-4.12.4_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-ixgbev-kmp-default-4.12.4_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; hp-ixgbev-kmp-default-4.12.4_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.rpm; i40e-README; iaavf-README; ice-1.6.4-1.all.src.rpm; ice-kmp-default-1.6.4_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; ice-kmp-default-1.6.4_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; ice-kmp-default-1.6.4_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.rpm; ice-README; igb-README; irdma-1.6.28-1.all.src.rpm; irdma-kmp-default-1.6.28_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; irdma-kmp-default-1.6.28_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; irdma-kmp-default-1.6.28_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.rpm; irdma-README; ixgbe-README; ixgbev-README

拡張

Gen10PlusSnap5

SUSE Linux Enterprise Server用Linux Intelドライバービルドバンドル

バージョン: 1.0.5.5 (オプション)

ファイル名: hp-i40e-2.17.4-1.all.src.rpm; hp-i40e-kmp-default-2.17.4_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-i40e-kmp-default-2.17.4_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; hp-i40e-kmp-default-2.17.4_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.rpm; hp-igb-6.8.5-2.all.src.rpm; hp-igb-kmp-default-6.8.5_k4.12.14_120-2.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-igb-kmp-default-6.8.5_k5.3.18_22-2.sles15sp2.x86_64.rpm; hp-igb-kmp-default-6.8.5_k5.3.18_57-2.sles15sp3.x86_64.rpm; hp-ixgbe-5.13.4-1.all.src.rpm; hp-ixgbe-kmp-default-5.13.4_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-ixgbe-kmp-default-5.13.4_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; hp-ixgbe-kmp-default-5.13.4_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.rpm; hp-ixgbev-4.13.3-1.all.src.rpm; hp-ixgbev-kmp-default-4.13.3_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-ixgbev-kmp-default-4.13.3_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; hp-ixgbev-kmp-default-4.13.3_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.rpm; i40e-README; iaavf-README; ice-1.6.7-1.all.src.rpm; ice-kmp-default-1.6.7_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; ice-kmp-default-1.6.7_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; ice-kmp-default-1.6.7_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.rpm; ice-README; igb-README; irdma-1.6.28-1.all.src.rpm; irdma-kmp-default-1.6.28_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; irdma-kmp-default-1.6.28_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; irdma-kmp-default-1.6.28_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.rpm; irdma-README; ixgbe-README; ixgbev-README

拡張

Gen10PlusSnap5PostまたはMSB ?

VMware ESXi 6.5および6.7 MSTドライバーオフラインバンドル for Mellanoxアダプター

バージョン: 4.12.0.105 (推奨)

ファイル名: MLNX-NMST-ESX-6.5.0-4.12.0.105.zip

拡張

VM65/67 nmst 4.12.0.105

VMware vSphere 6.5用HPE QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバー

バージョン: 2021.09.04 (推奨)

ファイル名: cp047871.compsig; cp047871.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションで使用することを目的としています。vmware.comおよびHPE vibstdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

HPEは、このドライバーでの使用に、*HPE QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware*、バージョン1.29.0で提供されるファームウェアをおすすめします。

拡張

この製品は、データログの照合メカニズムを強化します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+ アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 533FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1100Rデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R 10GBASE-T 2ポートコンバージドネットワークアダプター

VMware vSphere 6.7用HPE QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバー

バージョン: 2022.03.23 (推奨)

ファイル名: cp050055.compsig; cp050055.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションで使用することを目的としています。vmware.comおよびHPE vibstdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

HPEは、このドライバーでの使用に、*HPE QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware*、バージョン1.30.0で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

この製品は、XVLAN環境を設定するときにPSODが発生する問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+ アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 533FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1100Rデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R 10GBASE-T 2ポートコンバージドネットワークアダプター

Windows Server 2016用HPE Intel ix3ドライバー

バージョン: 4.1.239.0 (推奨)

ファイル名: cp047050.compsig; cp047050.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions、バージョン5.2.5.50以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリNicInIXS.dllおよびixsmg.dllとの互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター

Windows Server 2019用HPE Intel ixsドライバー

バージョン: 4.1.239.0 (**推奨**)

ファイル名: cp047051.compsig; cp047051.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions、バージョン5.2.5.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリNicInIXS.dllおよびixsmg.dllとの互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター

Windows Server 2019用HPE Intel vxsドライバー

バージョン: 2.1.230.0 (**推奨**)

ファイル名: cp047085.compsig; cp047085.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions、バージョン5.2.5.50以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

事前要件

このドライバーではホストドライバーバージョン4.1.239.0以降が必要です。

拡張

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリNicInVXS.dllおよびvxsmg.dllとの互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター

Windows Server 2022用HPE Intel ixsドライバー

バージョン: 4.1.246.0 (推奨)

ファイル名: cp049619.compsig; cp049619.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions、バージョン5.2.6.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

初期バージョン

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562Tアダプター

Windows Server 2022用HPE Intel vxsドライバー

バージョン: 2.1.241.0 (推奨)

ファイル名: cp049620.compsig; cp049620.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions、バージョン5.2.6.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

事前要件

このドライバーではホストドライバーバージョン4.1.246.0以降が必要です。

拡張

初期バージョン

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2-port 562Tアダプター

Windows Server x64 Edition用HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEドライバー

バージョン: 8.58.20.0 (推奨)

ファイル名: cp049989.compsig; cp049989.exe

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、以下に示すファームウェアを推奨しています。

- Arrowheadアダプター用HPE QLogic FastLinQファームウェアパッケージ、バージョン8.55.27(B)以降。
- HPE QLogic FastLinQオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions、バージョン5.2.6.0以降。

修正

この製品は、システムがqendaネットワークドライバーでバグチェック0xE4を発生させる可能性がある問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター

- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-T コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300R コンバージドネットワークアダプター

ドライバー - ストレージ

[先頭](#)

HPE SmartアレイS100i SR Gen10 SW RAIDドライバーfor Windows Server 2016およびWindows Server 2019

バージョン: 106.12.6.0 (B) (クリティカル)

ファイル名: cp048017.compsig; cp048017.exe

修正

RAID 0/1/5/10フォールトトレラントモードで構成されたRAIDボリュームの初期構成または操作中に、HPE Smartアレイs100iソフトウェアRAIDで潜在的なデータの不整合が発生する可能性がある問題に対処しました。

この問題は、Smartアレイs100iサポートを有効にしていないシステムには影響しません。

- 詳しくは、[カスタマー通知a00097789en_us](#)を参照してください

重要な情報:

- 単一のRAID 0論理ドライブで構成されたアレイは影響を受けません。
- 単一のRAID 1論理ドライブで構成されたアレイは影響を受けません。

HPE SmartアレイS100i SR Gen10 SW RAIDドライバーfor Windows Server 2022

バージョン: 1010.14.0.0 (推奨)

ファイル名: cp049244.compsig; cp049244.exe

拡張

最初のリリース

HPE SmartストレージSR100i Gen10 Plus SW RAIDドライバーfor Windows Server 2016およびWindows Server 2019

バージョン: 106.124.90.1233 (推奨)

ファイル名: cp049976.compsig; cp049976.exe

修正

- Windows BSODは、SR1R00iで構成されたNVMeドライブが故障しており、通信に失敗した場合に発生します。

HPE SmartストレージSR100i Gen10 Plus SW RAIDドライバーfor Windows Server 2022

バージョン: 1010.124.90.1233 (推奨)

ファイル名: cp049977.compsig; cp049977.exe

修正

- Windows BSODは、SR1R00iで構成されたNVMeドライブが故障しており、通信に失敗した場合に発生します。

ドライバー - ストレージコントローラー

[先頭](#)

64-bit Red Hat Enterprise Linux 7用HPE SmartアレイP824i-p MRコントローラードライバー

バージョン: 07.706.05.00-14 (推奨)

ファイル名: kmod-megaraid_sas-07.706.05.00-14.rhel7u5.x86_64.compsig; kmod-megaraid_sas-07.706.05.00-14.rhel7u5.x86_64.rpm; kmod-megaraid_sas-07.706.05.00-14.rhel7u6.x86_64.compsig; kmod-megaraid_sas-07.706.05.00-14.rhel7u6.x86_64.rpm

拡張

ProLiant機能のサポートを追加しました(メガセルステータス、AHS、Spade、サニタイズ & エクスパンダー)

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 7 (64-bit)カーネルは、次の通りです。

3.10.0-693.el7 - Red Hat Enterprise Linux 7 Update 4 (64-bit)およびUpdate 4用の今後のerrataカーネル。

3.10.0-862.el7- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 5 (64-bit)およびUpdate 5用の今後のerrataカーネル。

64-bit SUSE LINUX Enterprise Server 12用HPE SmartアレイP824i-p MRコントローラードライバー

バージョン: 07.706.05.00-14 (**推奨**)

ファイル名: lsi-megaraid_sas-kmp-default-07.706.05.00-14.sles12sp3.x86_64.compsig; lsi-megaraid_sas-kmp-default-07.706.05.00-14.sles12sp3.x86_64.rpm; lsi-megaraid_sas-kmp-default-07.706.05.00-14.sles12sp4.x86_64.compsig; lsi-megaraid_sas-kmp-default-07.706.05.00-14.sles12sp4.x86_64.rpm

拡張

ProLiant機能のサポートを追加しました(Megacellステータス、AHS、Spade、サニタイズおよびエキスパンダー)

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterpriseサーバー 12 (64-bit)カーネルは、次のとおりです。

4.4.21-69-default - SUSE LINUX Enterpriseサーバー12 (64-bit) SP2 plus future errata.

4.4.73-5.1 - SUSE LINUX Enterpriseサーバー12 (64-bit) SP3 plus future errata.

64-bit SUSE LINUX Enterprise Server 15用HPE SmartアレイP824i-p MRコントローラードライバー

バージョン: 07.706.05.00-14 (**推奨**)

ファイル名: lsi-megaraid_sas-kmp-default-07.706.05.00-14.sles15sp0.x86_64.compsig; lsi-megaraid_sas-kmp-default-07.706.05.00-14.sles15sp0.x86_64.rpm

拡張

ProLiant機能のサポートを追加しました(メガセルステータス、AHS、Spade、サニタイズ & エクスパンダー)

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterpriseサーバー15(64-bit)カーネルは、次の通りです。

4.12.14-23 - SUSE LINUX Enterpriseサーバー15 (64-bit) SP0 plus future errata.

HPE MR416i-a、MR416i-p、MR216i-a、MR216i-pコントローラ(64-bit)ドライバーfor vSphere 6.7

バージョン: 7.716.03.00 (B) (**推奨**)

ファイル名: Broadcom-lsi-mr3_7.716.03.00-10EM.670.0.0.8169922-offline_bundle-17653784.zip

拡張

- 最初のリリース

HPE MR416i-a、MR416i-p、MR216i-a、MR216i-pコントローラ(64-bit)ドライバーfor vSphere 6.7 (ドライバーコンポーネント)

バージョン: 2021.04.01 (B) (**推奨**)

ファイル名: cp049485.compsig; cp049485.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションで使用することを目的としています。これは、vmware.comおよびHPE vbsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

拡張

- DL20 Gen10 Plusサーバーのサポートを追加しました。

HPE MR416i-a、MR416i-p、MR216i-a、MR216i-pコントローラー(64-bit)ドライバーfor vSphere 7.0

バージョン: 7.716.03.00 (B) (推奨)

ファイル名: Broadcom-lsi-mr3_7.716.03.00-1OEM.700.1.0.15843807_17632848.zip

拡張

- 最初のリリース

HPE MR416i-a、MR416i-p、MR216i-a、MR216i-pコントローラー(64-bit)ドライバーfor vSphere 7.0 (ドライバーコンポーネント)

バージョン: 2021.04.01 (B) (推奨)

ファイル名: cp049486.compsig; cp049486.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションで使用することを目的としています。これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

拡張

- DL20 Gen10 Plusサーバーのサポートを追加しました。

HPE MR416i-a、MR416i-p、MR216i-a、MR216i-pコントローラードライバーfor 64-bit Red Hat Enterprise Linux 7

バージョン: 07.716.02.00 (B) (推奨)

ファイル名: kmod-megaraid_sas-07.716.02.00-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-megaraid_sas-07.716.02.00-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-megaraid_sas-07.716.02.00-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-megaraid_sas-07.716.02.00-1.rhel7u9.x86_64.rpm

拡張

- DL20 Gen10 Plusサーバーのサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 7(64-bit)カーネルは、次のとおりです。

3.10.0-1127.el7 - Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8(64-bit)およびUpdate 8用の今後のerrataカーネル。

3.10.0-1160.el7 - Red Hat Enterprise Linux 7 Update 9(64-bit)およびUpdate 9用の今後のerrataカーネル。

HPE MR416i-a、MR416i-p、MR216i-a、MR216i-pコントローラードライバーfor 64-bit Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 07.719.04.00 (推奨)

ファイル名: kmod-megaraid_sas-07.719.04.00_el8.4-1.x86_64.compsig; kmod-megaraid_sas-07.719.04.00_el8.4-1.x86_64.rpm

拡張

新しいOS RHEL8.4をサポート

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 8(64ビット)のカーネルは、次のとおりです。

4.18.0-193.el8 - Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2(64-bit)およびUpdate 2用の今後のerrataカーネル。

4.18.0-240.el8 - Red Hat Enterprise Linux 8 Update 3(64-bit)およびUpdate 3用の今後のerrataカーネル。

HPE MR416i-a、MR416i-p、MR216i-a、MR216i-pコントローラードライバーfor 64-bit SUSE LINUX Enterprise Server 15

バージョン: 07.719.04.00 (**推奨**)

ファイル名: lsi-megaraid_sas-kmp-default-07.719.04.00_sles15sp2-1.x86_64.compsig; lsi-megaraid_sas-kmp-default-07.719.04.00_sles15sp2-1.x86_64.rpm; lsi-megaraid_sas-kmp-default-07.719.04.00_sles15sp3-1.x86_64.compsig; lsi-megaraid_sas-kmp-default-07.719.04.00_sles15sp3-1.x86_64.rpm

拡張

新しいOS SLES15SP3をサポート

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterpriseサーバー 15 (64-bit)カーネルは、次の通りです。

4.12.14-23 - SUSE LINUX Enterprise Server 15 (64-bit) SP0 plus future errata。

4.12.14-195 - SUSE LINUX Enterprise Server 15 (64-bit) SP1 plus future errata。

5.3.18-22 - SUSE LINUX Enterprise Server 15 (64-bit) SP2 plus future errata。

5.3.18-57 - SUSE LINUX Enterpriseサーバー15 (64-bit) SP3 plus future errata。

HPE MR416i-p、MR416i-a、MR216i-p、MR216i-a 64-bit コントローラードライバーfor Microsoft Windows 2019 edition。

バージョン: 7.716.3.0 (B) (**推奨**)

ファイル名: cp049482.compsig; cp049482.exe

拡張

- DL20 Gen10 Plusサーバーのサポートを追加しました。

HPE MR416i-p、MR416i-a、MR216i-p、MR216i-a 64-bit コントローラードライバーfor Microsoft Windows 2022 edition。

バージョン: 7.719.6.0 (**推奨**)

ファイル名: cp050771.compsig; cp050771.exe

拡張

新しいOS Windows 2022をサポート

HPE MR416i-p、MR416i-a、MR216i-p、MR216i-a 64-bitコントローラードライバーfor Microsoft Windows 2016 edition。

バージョン: 7.716.3.0 (B) (**推奨**)

ファイル名: cp049479.compsig; cp049479.exe

拡張

- DL20 Gen10 Plusサーバーのサポートを追加しました。

HPE MR416i-p、MR416i-a、MR216i-p、MR216i-aコントローラードライバーfor 64-bit SUSE LINUX Enterprise Server 12

バージョン: 07.716.02.00 (C) (**推奨**)

ファイル名: lsi-megaraid_sas-kmp-default-07.716.02.00_sles12sp4-1.x86_64.compsig; lsi-megaraid_sas-kmp-default-07.716.02.00_sles12sp4-1.x86_64.rpm; lsi-megaraid_sas-kmp-default-07.716.02.00_sles12sp5-1.x86_64.compsig; lsi-megaraid_sas-kmp-default-07.716.02.00_sles12sp5-1.x86_64.rpm

修正

- SUSE Linux Enterprise Server 12および15ドライバーを実行しているMR416/MR216コントローラーを搭載したHPE ProLiant Gen10 Plusシステムで、セキュアブートを有効にすると起動に失敗する問題を修正しました。詳細については、SID8038を参照してください。

拡張

- DL20 Gen10 Plusサーバーのサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 12 (64-bit)カーネルは、次の通りです。

4.12.14-94.41 - SUSE LINUX Enterprise Server 12 (64-bit) SP4 plus future errata.

4.12.14-120 - SUSE LINUX Enterprise Server 12 (64-bit) SP5 plus future errata.

HPE ProLiant Gen10 SmartアレイおよびGen10 Plus Smart RAIDコントローラードライバーfor VMware vSphere 6.7(ドライバーコンポーネント)。

バージョン: 2021.09.01 (推奨)

ファイル名: cp047415.compsig; cp047415.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。 vmware.comから利用可能なものと同じドライバに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルを含むzipです。

修正

- システムがMBTツールを実行しているときのPSODの問題
- 論理ボリュームの再構築中にOSの起動が失敗する可能性がある問題を修正しました。
- 論理ディスクがOSに公開されない問題を修正しました。
- デバイスリセット中のログ吐出の問題を修正しました。
- タスク管理機能ハンドラーのPSODの問題
- 物理ディスクに関してvSANログが示すレイテンシが高くなっている問題を修正しました。
- オフラインであるデバイスのIO失敗を回避するために問題を修正しました。
- 無視できるエラーに対してエラーメッセージが出力される問題を修正しました。

HPE ProLiant Gen10 SmartアレイおよびGen10 Plus Smart RAIDコントローラードライバーfor VMware vSphere 6.7(バンドルファイル)

バージョン: 67.4150.0.119 (推奨)

ファイル名: Microchip-smartpqj_67.4150.0.119-10EM.670.0.0.8169922-offline_bundle-18384766.zip

修正

- システムがMBTツールを実行しているときのPSODの問題
- 論理ボリュームの再構築中にOSの起動が失敗する可能性がある問題を修正しました。
- 論理ディスクがOSに公開されない問題を修正しました。
- デバイスリセット中のログ吐出の問題を修正しました。
- タスク管理機能ハンドラーのPSODの問題
- 物理ディスクに関してvSANログが示すレイテンシが高くなっている問題を修正しました。
- オフラインであるデバイスのIO失敗を回避するために問題を修正しました。
- 無視できるエラーに対してエラーメッセージが出力される問題を修正しました。

HPE ProLiant Gen10 SmartアレイおよびGen10 Plus Smart RAIDコントローラードライバーfor VMware vSphere 7.0(ドライバーコンポーネント)。

バージョン: 2021.09.01 (推奨)

ファイル名: cp047416.compsig; cp047416.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。 vmware.comから利用可能なものと同じドライバに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルを含むzipです。

修正

- システムがMBTツールを実行しているときのPSODの問題
- 論理ボリュームの再構築中にOSの起動が失敗する可能性がある問題を修正しました。
- 論理ディスクがOSに公開されない問題を修正しました。
- デバイスリセット中のログ吐出の問題を修正しました。
- タスク管理機能ハンドラーのPSODの問題
- 物理ディスクに関してvSANログが示すレイテンシが高くなっている問題を修正しました。
- オフラインであるデバイスのIO失敗を回避するために問題を修正しました。
- 無視できるエラーに対してエラーメッセージが出力される問題を修正しました。

HPE ProLiant Gen10 SmartアレイおよびGen10 Plus Smart RAIDコントローラードライバーfor VMware vSphere 7.0(バンドルファイル)

バージョン: 70.4150.0.119 (推奨)

ファイル名: Microchip-smartpqi_70.4150.0.119-1OEM.700.1.0.15843807_18380949.zip

修正

- システムがMBTツールを実行しているときのPSODの問題
- 論理ボリュームの再構築中にOSの起動が失敗する可能性がある問題を修正しました。
- 論理ディスクがOSに公開されない問題を修正しました。
- デバイスリセット中のログ吐出の問題を修正しました。
- タスク管理機能ハンドラーのPSODの問題
- 物理ディスクに関してvSANログが示すレイテンシが高くなっている問題を修正しました。
- オフラインであるデバイスのIO失敗を回避するために問題を修正しました。
- 無視できるエラーに対してエラーメッセージが出力される問題を修正しました。

HPE ProLiant Gen10 Smartアレイコントローラー(64ビット)ドライバーfor SUSE LINUX Enterprise Server 12 (64-bit)

バージョン: 2.1.16-030 (推奨)

ファイル名: smartpqi-kmp-default-2.1.16-030.sles12sp4.x86_64.compsig; smartpqi-kmp-default-2.1.16-030.sles12sp4.x86_64.rpm; smartpqi-kmp-default-2.1.16-030.sles12sp5.x86_64.compsig; smartpqi-kmp-default-2.1.16-030.sles12sp5.x86_64.rpm

修正

- ドライブを物理的に取り出した後、OSからの削除が最大30秒遅れる可能性がある問題を修正しました。
- デバイスPOSTのリンクダウンで未処理の要求とSCSI属性へのアクセスによってハングが発生する問題を修正しました。
- sysfsの/sys/bus/pci/devices/./removeノードに書き込むと、コントローラーが無効になり、コントローラーへの未処理のI/Oがあるプロセス、またはSmartPQIドライバーによって公開されたデバイスのsysfsを介してデバイス属性にアクセスしようとするプロセスがハングしているように見えることがある問題を修正しました。
- LinuxカーネルがsysfsにSATAドライブとそのエンクロージャーの間のシンボリックリンクを作成していなかった問題を修正しました。
- RAID 10論理ドライブで256Kの順次読み取りを実行したときに一貫したパフォーマンスが得られない問題を修正しました。
- コントローラーのブートタイムアウトのエラーメッセージに間違った秒数が表示される問題を修正しました。
- 一部のシステムでシステムがサスペンド(S3)状態に移行するときにドライバーがスピンドアウンする問題を修正しました。
- 拡張後の論理ドライブのサイズが反映されない問題を修正しました。論理ドライブのサイズを変更した後も、lsblkコマンドでは以前の論理ボリュームのサイズが表示されます。
- コントローラーがロックアップ状態の場合、kdump中にOSがシェルにドロップする問題を修正しました。
- 論理ドライブの作成時に論理ドライブが公開されるまで時間がかかる問題を修正しました。
- I/O中にいずれかのパスに障害が発生し、マルチパスデバイスでSmartPathが無効になると、RAIDパスでI/Oが再試行される問題を修正しました。これらの要求はRAIDパス内の存在しないデバイスに送信され、ファームウェアはこれらの要求にILLEGAL REQUESTと'Invalid field in parameter list'というセンスデータで応答していました。
- Linuxでのウォームブート中にコントローラーがドライブをスピンドアウンする問題を修正しました。
- Ultriumテープドライブおよびメディアチェンジャー用の重複したデバイスノードが作成される問題を修正しました。

拡張

- sysfsにSATA NCQ優先順位のサポートを有効にする機能が追加されました。このドライバーには、I/OユーティリティでSATA NCQ優先順位のサポートを有効にし、SCSIコマンドのI/Oの優先順位を認識し、優先順位の情報をコントローラーファームウェアに渡すために、デバイス属性sas_ncq_prio_enableが必要でした。このデバイス属性は、デバイスがNCQ優先順位をサポートし、コントローラーファームウェアがNCQ優先順位属性を使用してI/Oを処理できる場合にのみ機能します。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

4.12.14-94.41.1 - SUSE LINUX Enterprise Server 12 (64-bit) SP4 plus future errata。

HPE ProLiant Gen10 Smartアレイコントローラー(64ビット)ドライバーfor SUSE LINUX Enterprise Server 15 (64-bit)

バージョン: 2.1.16-030 (推奨)

ファイル名: smartpqi-kmp-default-2.1.16-030.sles15sp2.x86_64.compsig; smartpqi-kmp-default-2.1.16-030.sles15sp2.x86_64.rpm; smartpqi-kmp-default-2.1.16-030.sles15sp3.x86_64.compsig; smartpqi-kmp-default-2.1.16-030.sles15sp3.x86_64.rpm

修正

- ドライブを物理的に取り出した後、OSからの削除が最大30秒遅れる可能性がある問題を修正しました。
- デバイスPOSTのリンクダウンで未処理の要求とSCSI属性へのアクセスによってハングが発生する問題を修正しました。
- sysfsの/sys/bus/pci/devices/::./removeノードに書き込むと、コントローラーが無効になり、コントローラーへの未処理のI/Oがあるプロセス、またはSmartPQIドライバーによって公開されたデバイスのsysfsを介してデバイス属性にアクセスしようとするプロセスがハングしているように見えることがある問題を修正しました。
- LinuxカーネルがsysfsにSATAドライブとそのエンクロージャーの間のシンボリックリンクを作成していなかった問題を修正しました。
- RAID 10論理ドライブで256Kの順次読み取りを実行したときに一貫したパフォーマンスが得られない問題を修正しました。
- コントローラーのブートタイムアウトのエラーメッセージに間違った秒数が表示される問題を修正しました。
- 一部のシステムでシステムがサスペンド(S3)状態に移行するときにドライバーがスピンドアウンする問題を修正しました。
- 拡張後の論理ドライブのサイズが反映されない問題を修正しました。論理ドライブのサイズを変更した後も、lsblkコマンドでは以前の論理ボリュームのサイズが表示されます。
- コントローラーがロックアップ状態の場合、kdump中にOSがシェルにドロップする問題を修正しました。
- 論理ドライブの作成時に論理ドライブが公開されるまで時間がかかる問題を修正しました。
- I/O中にいずれかのパスに障害が発生し、マルチパスデバイスでSmartPathが無効になると、RAIDパスでI/Oが再試行される問題を修正しました。これらの要求はRAIDパス内の存在しないデバイスに送信され、ファームウェアはこれらの要求にILLEGAL REQUESTと'Invalid field in parameter list'というセンスデータで応答していました。
- Linuxでのウォームブート中にコントローラーがドライブをスピンドアウンする問題を修正しました。
- Ultriumテープドライブおよびメディアチェンジャー用の重複したデバイスノードが作成される問題を修正しました。

拡張

- sysfsにSATA NCQ優先順位のサポートを有効にする機能が追加されました。このドライバーには、I/OユーティリティでSATA NCQ優先順位のサポートを有効にし、SCSIコマンドのI/Oの優先順位を認識し、優先順位の情報をコントローラーファームウェアに渡すために、デバイス属性sas_ncq_prio_enableが必要でした。このデバイス属性は、デバイスがNCQ優先順位をサポートし、コントローラーファームウェアがNCQ優先順位属性を使用してI/Oを処理できる場合のみ機能します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーディスクでサポートされるSUSE LINUX Enterpriseサーバー 15(64-bit)カーネルは、次のとおりです。
-default - SUSE LINUX Enterpriseサーバー15(64-bit)および今後のerrataカーネル

HPE ProLiant Gen10 Smartアレイコントローラードライバーfor VMware ESXi 6.5 (バンドルファイル)

バージョン: 65.4150.0.119 (推奨)

ファイル名: VMW-ESX-6.5.0-smartpqi-65.4150.0.119-offline_bundle-18379836.zip

修正

- システムがMBTツールを実行しているときのPSODの問題
- 論理ボリュームの再構築中にOSの起動が失敗する可能性がある問題を修正しました。
- 論理ディスクがOSに公開されない問題を修正しました。
- デバイスリセット中のログ吐出の問題を修正しました。
- タスク管理機能ハンドラーのPSODの問題
- 物理ディスクに関してvSANログが示すレイテンシが高くなっている問題を修正しました。
- オフラインであるデバイスのIO失敗を回避するために問題を修正しました。

HPE ProLiant Gen10 Smartアレイコントローラードライバーfor VMware vSphere 6.5(ドライバーコンポーネント)

バージョン: 2021.09.01 (推奨)

ファイル名: cp047414.compsig; cp047414.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。 vmware.comから利用可能なものと同じドライバーに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルを含むzipです。

修正

- システムがMBTツールを実行しているときのPSODの問題
- 論理ボリュームの再構築中にOSの起動が失敗する可能性がある問題を修正しました。
- 論理ディスクがOSに公開されない問題を修正しました。
- デバイスリセット中のログ吐出の問題を修正しました。
- タスク管理機能ハンドラーのPSODの問題

- 物理ディスクに関してvSANログが示すレイテンシが高くなっている問題を修正しました。
- オフラインであるデバイスのIO失敗を回避するために問題を修正しました。
- 無視できるエラーに対してエラーメッセージが出力される問題を修正しました。

HPE ProLiant Gen10 および Gen10 Plus Smartアレイコントローラー(64ビット) ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 (64-bit)

バージョン: 2.1.16-030 (推奨)

ファイル名: kmod-smartpqi-2.1.16-030.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-smartpqi-2.1.16-030.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-smartpqi-2.1.16-030.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-smartpqi-2.1.16-030.rhel7u9.x86_64.rpm

修正

- ドライブを物理的に取り出した後、OSからの削除が最大30秒遅れる可能性がある問題を修正しました。
- デバイスPOSTのリンクダウンで未処理の要求とSCSI属性へのアクセスによってハングが発生する問題を修正しました。
- sysfsの/sys/bus/pci/devices/::./removeノードに書き込むと、コントローラーが無効になり、コントローラーへの未処理のI/Oがあるプロセス、またはSmartPQIドライバーによって公開されたデバイスのsysfsを介してデバイス属性にアクセスしようとするプロセスがハングしているように見えることがある問題を修正しました。
- LinuxカーネルがsysfsにSATAドライブとそのエンクロージャーの間のシンボリックリンクを作成していなかった問題を修正しました。
- RAID 10論理ドライブで256Kの順次読み取りを実行したときに一貫したパフォーマンスが得られない問題を修正しました。
- コントローラーのブートタイムアウトのエラーメッセージに間違った秒数が表示される問題を修正しました。
- 一部のシステムでシステムがサスペンド(S3)状態に移行するときにドライバーがスピンドアウンする問題を修正しました。
- 拡張後の論理ドライブのサイズが反映されない問題を修正しました。論理ドライブのサイズを変更した後も、lsblkコマンドでは以前の論理ボリュームのサイズが表示されます。
- コントローラーがロックアップ状態の場合、kdump中にOSがシェルにドロップする問題を修正しました。
- 論理ドライブの作成時に論理ドライブが公開されるまで時間がかかる問題を修正しました。
- I/O中にいずれかのパスに障害が発生し、マルチパスデバイスでSmartPathが無効になると、RAIDパスでI/Oが再試行される問題を修正しました。これらの要求はRAIDパス内の存在しないデバイスに送信され、ファームウェアはこれらの要求にILLEGAL REQUESTと'Invalid field in parameter list'というセンスデータで応答していました。
- Linuxでのウォームブート中にコントローラーがドライブをスピンドアウンする問題を修正しました。
- Ultriumテープドライブおよびメディアチェンジャー用の重複したデバイスノードが作成される問題を修正しました。

拡張

- sysfsにSATA NCQ優先順位のサポートを有効にする機能が追加されました。このドライバーには、I/OユーティリティでSATA NCQ優先順位のサポートを有効にし、SCSIコマンドのI/Oの優先順位を認識し、優先順位の情報をコントローラーファームウェアに渡すために、デバイス属性sas_ncq_prio_enableが必要でした。このデバイス属性は、デバイスがNCQ優先順位をサポートし、コントローラーファームウェアがNCQ優先順位属性を使用してI/Oを処理できる場合にのみ機能します。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 7(64-bit)カーネルは、次のとおりです。

3.10.0-957.el7- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 6 (64-bit)およびfuture errata kernels for update 6.

HPE ProLiant Gen10 および Gen10 Plus Smartアレイコントローラー(64ビット)ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8 (64-bit)

バージョン: 2.1.16-030 (推奨)

ファイル名: kmod-smartpqi-2.1.16-030.rhel8u4.x86_64.compsig; kmod-smartpqi-2.1.16-030.rhel8u4.x86_64.rpm; kmod-smartpqi-2.1.16-030.rhel8u5.x86_64.compsig; kmod-smartpqi-2.1.16-030.rhel8u5.x86_64.rpm

修正

- ドライブを物理的に取り出した後、OSからの削除が最大30秒遅れる可能性がある問題を修正しました。
- デバイスPOSTのリンクダウンで未処理の要求とSCSI属性へのアクセスによってハングが発生する問題を修正しました。
- sysfsの/sys/bus/pci/devices/::./removeノードに書き込むと、コントローラーが無効になり、コントローラーへの未処理のI/Oがあるプロセス、またはSmartPQIドライバーによって公開されたデバイスのsysfsを介してデバイス属性にアクセスしようとするプロセスがハングしているように見えることがある問題を修正しました。
- LinuxカーネルがsysfsにSATAドライブとそのエンクロージャーの間のシンボリックリンクを作成していなかった問題を修正しました。
- RAID 10論理ドライブで256Kの順次読み取りを実行したときに一貫したパフォーマンスが得られない問題を修正しました。
- コントローラーのブートタイムアウトのエラーメッセージに間違った秒数が表示される問題を修正しました。
- 一部のシステムでシステムがサスペンド(S3)状態に移行するときにドライバーがスピンドアウンする問題を修正しました。

- 拡張後の論理ドライブのサイズが反映されない問題を修正しました。論理ドライブのサイズを変更した後も、lsblkコマンドでは以前の論理ボリュームのサイズが表示されます。
- コントローラーがロックアップ状態の場合、kdump中にOSがシェルにドロップする問題を修正しました。
- 論理ドライブの作成時に論理ドライブが公開されるまで時間がかかる問題を修正しました。
- I/O中にいずれかのバスに障害が発生し、マルチバスデバイスでSmartPathが無効になると、RAIDバスでI/Oが再試行される問題を修正しました。これらの要求はRAIDバス内の存在しないデバイスに送信され、ファームウェアはこれらの要求にILLEGAL REQUESTと'Invalid field in parameter list'というセンスデータで応答していました。
- Linuxでのウォームブート中にコントローラーがドライブをスピンドアウンする問題を修正しました。
- Ultriumテープドライブおよびメディアチェンジャー用の重複したデバイスノードが作成される問題を修正しました。

拡張

- sysfsにSATA NCQ優先順位のサポートを有効にする機能が追加されました。このドライバーには、I/OユーティリティでSATA NCQ優先順位のサポートを有効にし、SCSIコマンドのI/Oの優先順位を認識し、優先順位の情報をコントローラーファームウェアに渡すために、デバイス属性sas_ncq_prio_enableが必要でした。このデバイス属性は、デバイスがNCQ優先順位をサポートし、コントローラーファームウェアがNCQ優先順位属性を使用してI/Oを処理できる場合にのみ機能します。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 8(64ビット)カーネルは、次のとおりです。

-デフォルト- Red Hat Enterprise Linux 8 Update 0(64ビット)

HPE SmartアレイGen10およびGen10 Plusコントローラードライバーfor Windows Server 2016、Windows Server 2019、およびWindows Server 2022

バージョン: 1010.24.0.1005 (推奨)

ファイル名: cp049387.compsig; cp049387.exe

修正

- ファームウェアでロックアップが発生したときにドライバーがクラッシュする問題を修正しました。
- RAID 10論理ドライブで256Kの順次読み取りを実行したときに一貫したパフォーマンスが得られない問題を修正しました。

拡張

- レジストリ値"PostTimeOut"のサポートを追加しました。ユーザーは、このレジストリ値を場所"HKLM¥CurrentControlSet¥Enum¥PCI¥DeviceParameters¥SmartPqi"に追加して、コントローラーのデフォルトのPOSTタイムアウト値である3分をオーバーライドできます。有効な範囲は30~1800秒です。

vSphere 6.5用HPE SmartアレイP824i-p MRコントローラー(64ビット)ドライバー

バージョン: 7.706.09.00 (推奨)

ファイル名: Release_Notes_lsi-mr3-7.706.09.00-10EM_6.5.txt; VMW-ESX-6.5.0-lsi_mr3-7.706.09.00-12102431.zip

修正

JBODモードで見られるvSANフォールトトレランステストの失敗に対処しました。

vSphere 6.5用HPE SmartアレイP824i-p MRコントローラー(64ビット)ドライバー(ドライバーコンポーネント)

バージョン: 2019.12.13 (推奨)

ファイル名: cp042803.compsig; cp042803.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。これは、vmware.comおよびHPE vibspot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

修正

JBODモードで見られるvSANフォールトトレランステストの失敗に対処しました。

vSphere 6.7用HPE SmartアレイP824i-p MRコントローラー(64ビット)ドライバー

バージョン: 7.706.09.00 (推奨)

ファイル名: Release_Notes_lsi-mr3-7.706.09.00-10EM.txt; VMW-ESX-6.7.0-lsi_mr3-7.706.09.00-offline_bundle-12095481.zip

修正

JBODモードで見られるvSANフォールトトレランステストの失敗に対処しました。

vSphere 6.7用HPE SmartアレイP824i-p MRコントローラー(64ビット)ドライバー(ドライバーコンポーネント)

バージョン: 2019.12.13 (推奨)

ファイル名: cp042807.compsig; cp042807.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

修正

JBODモードで見られるvSANフォールトトレランステストの失敗に対処しました。

Windows 2016エディション用HPE Smart Array P824i-p MR 64-bitコントローラードライバー。

バージョン: 6.714.18.0 (推奨)

ファイル名: cp034411.compsig; cp034411.exe

拡張

- Apollo 4510システムのサポートを追加しました

Windows 2019エディション用HPE SmartアレイP824i-p MR 64-bitコントローラードライバー。

バージョン: 6.714.18.0 (推奨)

ファイル名: cp038009.compsig; cp038009.exe

拡張

Microsoft Windows Server 2019初回リリース

ドライバー - ストレージファイバーチャネルおよびチャイバーチャネルオーバーイーサーネット 先頭

HPE Blade Storageメザニンファイバーチャネルオーバーイーサーネットアダプターキットfor x64 Emulex Storportドライバー - Microsoft Windows Server 2016

バージョン: 12.0.1192.0 (b) (推奨)

ファイル名: cp046759.compsig; cp046759.exe

重要な注意!

リリースノート:

[HPE Emulexアダプターリリースノート](#)

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

ドライバーバージョン12.0.1192.0にアップデートしました

rawドライバーファイルフォルダーを削除しました。 rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを抽出し、その後Emulexインストーラーを抽出することによって取得することができます。 次のコマンドを使用します。

```
brcmdrvr-fcoe-version.exe /q2 extract=2
```

抽出されたファイルは次に置かれます。

```
C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Broadcom¥Drivers¥FCoE-version
```

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 たとえば、以下のようになります。

```
C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Broadcom¥Drivers¥FCoE-version¥x64¥win2012
```

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Storageメザニンファイバーチャネルオーバーイーサーネットワークアダプターキットfor x64 Emulex Storportドライバー - Microsoft Windows Server 2019

バージョン: 12.0.1192.0 (b) (推奨)

ファイル名: cp046758.compsig; cp046758.exe

重要な注意!

リリースノート:

[HPE Emulexアダプターリリースノート](#)

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

ドライバーバージョン12.0.1192.0にアップデートしました

rawドライバーファイルフォルダーを削除しました。 rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを抽出し、その後Emulexインストーラーを抽出することによって取得することができます。 次のコマンドを使用します。

```
brcmdrvr-fcoe-version.exe /q2 extract=2
```

抽出されたファイルは次に置かれます。

```
C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Broadcom¥Drivers¥FCoE-version
```

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 たとえば、以下のようになります。

```
C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Broadcom¥Drivers¥FCoE-version¥x64¥win2012
```

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

Windows Server 2022

バージョン: 9.4.5.20 (推奨)

ファイル名: cp047201.compsig; cp047201.exe

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

修正

以下を修正しました。

- "fwload"レジストリパラメーターを削除しました。
- リンクアップ/ダウンメッセージがWindowsシステムイベントログに記録されないことがあるという望ましくない動作を修正しました。
- ファブリックポート識別番号(FPIN)およびユニバーサルストレージエリアネットワーク(SAN)輻輳緩和(USCM)統計のレポートに関する望ましくない動作を修正しました。
- "SCSI Check Condition"コマンドまたはケーブルブルが発生するとテープドライブへの接続が回復しない可能性があるという望ましくない動作を修正しました。

拡張

以下を追加しました。

- Windows 2022用の初期ドライバー
- ファブリックポート識別番号(FPIN)およびユニバーサルストレージエリアネットワーク(SAN)輻輳緩和(USCM)輻輳管理アルゴリズムを改善しました

バージョン9.4.5.20にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Storageファイバーチャネルアダプターキットfor x64 Emulex Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2016

バージョン: 12.8.351.7 (c) (推奨)

ファイル名: cp049962.compsig; cp049962.exe

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

ドライバーバージョン12.8.351.7にアップデートしました

rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを抽出し、その後Emulexインストーラーを抽出することによって取得することができます。 次のコマンドを使用します。

```
elxdrv-fc-version.exe /q2 extract=2
```

抽出されたファイルは次に置かれます。

```
C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version
```

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。たとえば、以下のようになります。

C:\¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version¥x64¥win2019

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Storageファイバーチャネルアダプターキットfor x64 Emulex Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2019

バージョン: 12.8.351.7 (c) (推奨)

ファイル名: cp049960.compsig; cp049960.exe

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

ドライバーバージョン12.8.351.7にアップデートしました

rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを抽出し、その後Emulexインストーラーを抽出することによって取得することができます。次のコマンドを使用します。

```
elxdrv-fc-version.exe /q2 extract=2
```

抽出されたファイルは次に置かれます。

C:\¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。たとえば、以下のようになります。

C:\¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version¥x64¥win2019

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Storageファイバーチャネルアダプターキットfor x64 Emulex Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2022

バージョン: 12.8.518.0 (c) (推奨)

ファイル名: cp049961.compsig; cp049961.exe

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

以下のサポートを追加しました。

- Windows Server 2022のサポートを追加しました

ドライバーバージョン12.8.518.0にアップデートしました

rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを抽出し、その後Emulexインストーラーを抽出することによって取得することができます。 次のコマンドを使用します。

```
elxdrv-vc-version.exe /q2 extract=2
```

抽出されたファイルは次に置かれます。

```
C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version
```

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 たとえば、以下のようになります。

```
C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version¥x64¥win2019
```

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Storageファイバーチャネルアダプターキットfor x64 QLogic Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2016

バージョン: 9.4.5.20 (推奨)

ファイル名: cp046828.compsig; cp046828.exe

重要な注意!

リリースノート:

[HPE QLogicアダプターリリースノート](#)

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

修正

以下を修正しました。

- "fwload"レジストリパラメーターを削除しました。
- リンクアップ/ダウンメッセージがWindowsシステムイベントログに記録されないことがあるという望ましくない動作を修正しました。
- ファブリックポート識別番号(FPIN)およびユニバーサルストレージエリアネットワーク(SAN)輻輳緩和(USCM)統計のレポートに関する望ましくない動作を修正しました。
- "SCSI Check Condition"コマンドまたはケーブルプルが発生するとテープドライブへの接続が回復しない可能性があるという望ましくない動作を修正しました。
- シャットダウン中にサーバーでBlue Screen Of Death(BSOD)0x0000009fメッセージが発生する可能性があるという望ましくない動作を修正しました。これは以下で説明されています。 [アドバイザリ:HPEホストバスアダプター - Microsoft](#)

[Windows Server 2016/2019 Hyper-V環境を実行し、QLogic Storportドライバーv9.4.2.20を使用する特定のHPE HBAが組み込まれているHPEプラットフォームで、Bug Check 0x9Fイベントが発生することがある](#)

拡張

以下を追加しました。

- ファブリックポート識別番号(FPIN)およびユニバーサルストレージエリアネットワーク(SAN)輻輳緩和(USCM)輻輳管理アルゴリズムを改善しました。

バージョン9.4.5.20にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Storageファイバーチャネルアダプターキットfor x64 QLogic Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2019

バージョン: 9.4.5.20 (推奨)

ファイル名: cp046829.compsig; cp046829.exe

重要な注意!

リリースノート:

[HPE QLogicアダプターリリースノート](#)

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

修正

以下を修正しました。

- "fwload"レジストリパラメーターを削除しました。
- リンクアップ/ダウンメッセージがWindowsシステムイベントログに記録されないことがあるという望ましくない動作を修正しました。
- ファブリックポート識別番号(FPIN)およびユニバーサルストレージエリアネットワーク(SAN)輻輳緩和(USCM)統計のレポートに関する望ましくない動作を修正しました。
- "SCSI Check Condition"コマンドまたはケーブルブルブルが発生するとテープドライブへの接続が回復しない可能性があるという望ましくない動作を修正しました。これは以下で説明されています。 [アドバイザリ:HPEホストバスアダプター - Microsoft Windows Server 2016/2019 Hyper-V環境を実行し、QLogic Storportドライバーv9.4.2.20を使用する特定のHPE HBAが組み込まれているHPEプラットフォームで、Bug Check 0x9Fイベントが発生することがある](#)
- シャットダウン中にサーバーでBlue Screen Of Death(BSOD)0x0000009fメッセージが発生する可能性があるという望ましくない動作を修正しました。これは以下で説明されています。 [アドバイザリ:HPEホストバスアダプター - Microsoft Windows Server 2016/2019 Hyper-V環境を実行し、QLogic Storportドライバーv9.4.2.20を使用する特定のHPE HBAが組み込まれているHPEプラットフォームで、Bug Check 0x9Fイベントが発生することがある](#)

拡張

以下を追加しました。

- ファブリックポート識別番号(FPIN)およびユニバーサルストレージエリアネットワーク(SAN)輻輳緩和(USCM)輻輳管理アルゴリズムを改善しました。

バージョン9.4.5.20にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Storageファイバーチャネルオーバーイーサーネットワークアダプターキットfor x64 Emulex Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2016

バージョン: 12.0.1192.0 (f) (推奨)

ファイル名: cp046770.compsig; cp046770.exe

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

ドライバーバージョン12.0.1192.0にアップデートしました

rawドライバーファイルフォルダーを削除しました。 rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを抽出し、その後Emulexインストーラーを抽出することによって取得することができます。 次のコマンドを使用します。

```
brcmdrvr-fcoe-version.exe /q2 extract=2
```

抽出されたファイルは次に置かれます。

```
C:\%Users%\Administrator\Documents\Broadcom\Drivers\FCoE-version
```

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 たとえば、以下のようになります。

```
C:\%Users%\Administrator\Documents\Broadcom\Drivers\FCoE-version\x64\win2012
```

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE Storageファイバーチャネルオーバーイーサーネットワークアダプターキットfor x64 Emulex Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2019

バージョン: 12.0.1192.0 (g) (推奨)

ファイル名: cp046769.compsig; cp046769.exe

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

ドライバーバージョン12.0.1192.0にアップデートしました

rawドライバーファイルフォルダーを削除しました。 rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを抽出し、その後Emulexインストーラーを抽出することによって取得することができます。 次のコマンドを使用します。

```
brcmdrvr-fcoe-version.exe /q2 extract=2
```

抽出されたファイルは次に置かれます。

```
C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Broadcom¥Drivers¥FCoE-version
```

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 たとえば、以下のようになります。

```
C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Broadcom¥Drivers¥FCoE-version¥x64¥win2012
```

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE Storageメザニンファイバーチャネルアダプターキットfor x64 Emulex Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2016

バージョン: 12.8.351.7 (推奨)

ファイル名: cp046791.compsig; cp046791.exe

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

ドライバーバージョン12.8.351.7にアップデートしました

rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを抽出し、その後Emulexインストーラーを抽出することによって取得することができます。 次のコマンドを使用します。

```
elxdrv-rfc-version.exe /q2 extract=2
```

抽出されたファイルは次に置かれます。

```
C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version
```

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 たとえば、以下のようになります。

```
C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version¥x64¥win2019
```

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

HPE Storageメザニンファイバーチャネルアダプターキットfor x64 Emulex Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2019

バージョン: 12.8.351.7 (推奨)

ファイル名: cp046790.compsig; cp046790.exe

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

ドライバーバージョン12.8.351.7にアップデートしました

rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを抽出し、その後Emulexインストーラーを抽出することによって取得することができます。 次のコマンドを使用します。

```
elxdrv-fc-version.exe /q2 extract=2
```

抽出されたファイルは次に置かれます。

```
C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version
```

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 たとえば、以下のようになります。

```
C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version¥x64¥win2019
```

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

HPE Storageメザニンファイバーチャネルアダプターキットfor x64 QLogic Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2016

バージョン: 9.4.5.20 (b) (推奨)

ファイル名: cp046782.compsig; cp046782.exe

重要な注意!

リリースノート:

[HPE QLogicアダプターリリースノート](#)

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

修正

以下を修正しました。

- "fwload"レジストリパラメーターを削除しました。
- リンクアップ/ダウンメッセージがWindowsシステムイベントログに記録されないことがあるという望ましくない動作を修正しました。
- ファブリックポート識別番号(FPIN)およびユニバーサルストレージエリアネットワーク(SAN)輻輳緩和(USCM)統計のレポートに関する望ましくない動作を修正しました。
- "SCSI Check Condition"コマンドまたはケーブルプルが発生するとテープドライブへの接続が回復しない可能性があるという望ましくない動作を修正しました。
- シャットダウン中にサーバーでBlue Screen Of Death(BSOD)0x0000009fメッセージが発生する可能性があるという望ましくない動作を修正しました。これは以下で説明されています。[アドバイザリ:HPEホストバスアダプター - Microsoft Windows Server 2016/2019 Hyper-V環境を実行し、QLogic Storportドライバーv9.4.2.20を使用する特定のHPE HBAが組み込まれているHPEプラットフォームで、Bug Check 0x9Fイベントが発生することがある](#)

拡張

以下を追加しました。

- ファブリックポート識別番号(FPIN)およびユニバーサルストレージエリアネットワーク(SAN)輻輳緩和(USCM)輻輳管理アルゴリズムを改善しました。

バージョン9.4.5.20にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このバージョンのインネーブルメントキットは、以下のデバイスをサポートします:

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

HPE Storageメザニンファイバーチャネルアダプターキットfor x64 QLogic Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2019

バージョン: 9.4.5.20 (b) (推奨)

ファイル名: cp046783.compsig; cp046783.exe

重要な注意!

リリースノート:

[HPE QLogicアダプターリリースノート](#)

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

修正

以下を修正しました。

- "fwload"レジストリパラメーターを削除しました。
- リンクアップ/ダウンメッセージがWindowsシステムイベントログに記録されないことがあるという望ましくない動作を修正しました。
- ファブリックポート識別番号(FPIN)およびユニバーサルストレージエリアネットワーク(SAN)輻輳緩和(USCM)統計のレポートに関する望ましくない動作を修正しました。
- "SCSI Check Condition"コマンドまたはケーブルプルが発生するとテープドライブへの接続が回復しない可能性があるという望ましくない動作を修正しました。
- シャットダウン中にサーバーでBlue Screen Of Death(BSOD)0x0000009fメッセージが発生する可能性があるという望ましくない動作を修正しました。これは以下で説明されています。 [アドバイザリ:HPEホストバスアダプター - Microsoft Windows Server 2016/2019 Hyper-V環境を実行し、QLogic Storportドライバーv9.4.2.20を使用する特定のHPE HBAが組み込まれているHPEプラットフォームで、Bug Check 0x9Fイベントが発生することがある](#)

拡張

以下を追加しました。

- ファブリックポート識別番号(FPIN)およびユニバーサルストレージエリアネットワーク(SAN)輻輳緩和(USCM)輻輳管理アルゴリズムを改善しました。

バージョン9.4.5.20にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このバージョンのインネーブルメントキットは、以下のデバイスをサポートします:

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8 Serverファイバーチャネルオーバーイーサーネット(FCoE)ドライバーキットfor HPE Storage Emulex(BRCM)コンバージドネットワークアダプターおよびメザニンコンバージドネットワークアダプター(CNA)

バージョン: 12.0.1342.0 (b) (推奨)

ファイル名: kmod-brcmfcoe-12.0.1342.0-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-brcmfcoe-12.0.1342.0-1.rhel7u8.x86_64.rpm

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

ドライバーバージョン12.0.1342.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8 Serverファイバーチャネルドライバーキットfor HPE Emulexホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター

バージョン: 12.8.528.7 (b) (推奨)

ファイル名: kmod-elx-lpfc-12.8.528.7-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-elx-lpfc-12.8.528.7-1.rhel7u8.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE Emulexアダプターリリースノート](#)

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

ドライバーバージョン12.8.528.7にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPEファイバーチャネル16Gb LPe1605メザニン

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8 Serverファイバーチャネルドライバーキットfor HPE QLogicホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター

バージョン: 10.02.01.00.a14-k1 (b) (推奨)

ファイル名: kmod-qlgc-qla2xxx-10.02.01.00.a14_k1-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-qlgc-qla2xxx-10.02.01.00.a14_k1-1.rhel7u8.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE QLogicアダプターリリースノート](#)

注記:

1. QLogicドライバーのベース名は、"qlgc"に変更されています。"hpqlgc"ドライバーからのアップデートがサポートされていません。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

ドライバーバージョン10.02.01.00.a14-k1にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 9 Serverファイバーチャネルオーバーイーサーネット(FCoE)ドライバーキットfor HPE Storage Emulex(BRCM)コンバージドネットワークアダプターおよびメザニンコンバージドネットワークアダプター(CNA)

バージョン: 12.0.1342.0 (b) (推奨)

ファイル名: kmod-brcmfcoe-12.0.1342.0-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-brcmfcoe-12.0.1342.0-1.rhel7u9.x86_64.rpm

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

ドライバーバージョン12.0.1342.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 9 Serverファイバーチャネルドライバーキットfor HPE Emulexホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター

バージョン: 12.8.528.29 (推奨)

ファイル名: kmod-elx-lpfc-12.8.528.29_k3.10.0_1160.36.2-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-elx-lpfc-12.8.528.29_k3.10.0_1160.36.2-1.rhel7u9.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE Emulexアダプターリリースノート](#)

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

ドライバーバージョン12.8.528.29にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPEファイバーチャネル16Gb LPe1605メザニンホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 9 Serverファイバーチャネルドライバーキットfor HPE QLogicホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター

バージョン: 10.02.01.00.a14-k1 (b) (推奨)

ファイル名: kmod-qlgc-qla2xxx-10.02.01.00.a14_k1-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-qlgc-qla2xxx-10.02.01.00.a14_k1-1.rhel7u9.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE QLogicアダプターリリースノート](#)

注記:

1. QLogicドライバーのベース名は、"qlgc"に変更されています。"hpqlgc"ドライバーからのアップデートがサポートされていません。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

ドライバーバージョン10.02.01.00.a14-k1にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

Red Hat Enterprise Linux 8 Update 3 Serverファイバーチャネルオーバーイーサネット(FCoE)ドライバーキットfor HPE Storage Emulex(BRCM)コンバージドネットワークアダプターおよびメザニンコンバージドネットワークアダプター(CNA)

バージョン: 12.0.1342.0 (b) (推奨)

ファイル名: kmod-brcmfcoe-12.0.1342.0-1.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-brcmfcoe-12.0.1342.0-1.rhel8u3.x86_64.rpm

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

ドライバーバージョン12.0.1342.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

Red Hat Enterprise Linux 8 Update 4 Serverファイバーチャネルドライバーキットfor HPE Emulexホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター

バージョン: 12.8.528.7 (c) (推奨)

ファイル名: kmod-elx-lpfc-12.8.528.7-1.rhel8u4.x86_64.compsig; kmod-elx-lpfc-12.8.528.7-1.rhel8u4.x86_64.rpm

拡張

以下のサポートを追加しました。

- RHEL 8.4のサポートを追加しました

ドライバーバージョン12.8.528.7にアップデートしました

Red Hat Enterprise Linux 8 Update 4 Serverファイバーチャネルドライバーキットfor HPE QLogicホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター

バージョン: 10.02.01.01.a2-k1 (推奨)

ファイル名: kmod-qlgc-qla2xxx-10.02.01.01.a2_k1-4.rhel8u4.x86_64.compsig; kmod-qlgc-qla2xxx-10.02.01.01.a2_k1-4.rhel8u4.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE QLogicアダプターリリースノート](#)

注記:

1. QLogicドライバーのベース名は、"qlgc"に変更されています。"hpqlgc"ドライバーからのアップデートがサポートされていません。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

以下を追加しました。

- RHEL 8.4の初期ドライバー

ドライバーバージョン10.02.01.01.a2-k1にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

Red Hat Enterprise Linux 8 Update 5 Serverファイバーチャネルドライバーキットfor HPE Emulexホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター

バージョン: 12.8.528.24 (推奨)

ファイル名: kmod-elx-lpfc-12.8.528.24-1.rhel8u5.x86_64.compsig; kmod-elx-lpfc-12.8.528.24-1.rhel8u5.x86_64.rpm

拡張

ドライバーバージョン12.8.528.24にアップデートしました

Red Hat Enterprise Linux 8 Update 5 Serverファイバーチャネルドライバーキットfor HPE QLogicホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター

バージョン: 10.02.06.03-k1 (推奨)

ファイル名: kmod-qlgc-qla2xxx-10.02.06.03_k1-1.rhel8u5.x86_64.compsig; kmod-qlgc-qla2xxx-10.02.06.03_k1-1.rhel8u5.x86_64.rpm

拡張

以下を追加しました。

- RHEL 8.5の初期ドライバー

バージョン10.02.06.03-k1にドライバーをアップデートしました

SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 5ファイバーチャネルオーバーイーサネット(FCoE)ドライバーキットfor HPE Storage Emulex(BRCM)コンバージドネットワークアダプターおよびメザニンコンバージドネットワークアダプター(CNA)

バージョン: 12.0.1342.0 (b) (推奨)

ファイル名: brcmfcoe-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; brcmfcoe-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

ドライバーバージョン12.0.1342.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 5ファイバーチャネルドライバーキットfor HPE Emulexホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター

バージョン: 12.8.528.7 (c) (推奨)

ファイル名: elx-lpfc-kmp-default-12.8.528.7_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; elx-lpfc-kmp-default-12.8.528.7_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE Emulexアダプターリリースノート](#)

同じドライバーバージョンの書き換えは、-reinstallオプションを使用して実行する必要があります

例: rpm -Uvh elx-lpfc-kmp-default-..x86_64.rpm --reinstall

詳しくは、次のナレッジベースを参照してください。 <https://www.suse.com/support/kb/doc/?id=000019640>

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

ドライバーバージョン12.8.528.7にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPEファイバーチャネル16Gb LPe1605メザニン

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
 - HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
 - HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
 - HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
-

SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 5ファイバーチャネルドライバーキットfor HPE QLogicホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター

バージョン: 10.02.01.00.a14-k1 (b) (推奨)

ファイル名: qlgc-qla2xxx-kmp-default-10.02.01.00.a14_k1_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; qlgc-qla2xxx-kmp-default-10.02.01.00.a14_k1_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE QLogicアダプターリリースノート](#)

注記:

1. QLogicドライバーのベース名は、"qlgc"に変更されています。"hpqlgc"ドライバーからのアップデートがサポートされていません。
2. 同じドライバーバージョンの書き換えは、-forceまたは--replacepkgsと--nodepsオプションを使用して実行する必要があります

例: rpm -Uvh kmod-qla2xxx-..x86_64.rpm -force --nodeps

rpm -Uvh kmod-qla2xxx-..x86_64.rpm -replacepkgs --nodeps

詳しくは、次のナレッジベースを参照してください。 <https://www.suse.com/support/kb/doc/?id=000019640>

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

ドライバーバージョン10.02.01.00.a14-k1にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 2ファイバーチャネルオーバーイーサネット(FCoE)ドライバーキットfor HPE Storage Emulex(BRCM)コンバージドネットワークアダプターおよびメザニンコンバージドネットワークアダプター(CNA)

バージョン: 12.0.1342.0 (b) (推奨)

ファイル名: brcmfcoe-kmp-default-12.0.1342.0_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; brcmfcoe-kmp-default-12.0.1342.0_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

ドライバーバージョン12.0.1342.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 2ファイバーチャネルドライバーキットfor HPE Emulexホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター

バージョン: 12.8.528.7 (推奨)

ファイル名: elx-lpfc-kmp-default-12.8.528.7_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; elx-lpfc-kmp-default-12.8.528.7_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE Emulexアダプターリリースノート](#)

同じドライバーバージョンの書き換えは、-reinstallオプションを使用して実行する必要があります

例: rpm -Uvh elx-lpfc-kmp-default-..x86_64.rpm --reinstall

詳しくは、次のナレッジベースを参照してください。 <https://www.suse.com/support/kb/doc/?id=000019640>

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

ドライバーバージョン12.8.528.7にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPEファイバーチャネル16Gb LPe1605メザニン

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
 - HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
 - HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
 - HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
-

SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 2ファイバーチャネルドライバーキットfor HPE QLogicホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター

バージョン: 10.02.01.00.a14-k1 (b) (推奨)

ファイル名: qlgc-qla2xxx-kmp-default-10.02.01.00.a14_k1_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; qlgc-qla2xxx-kmp-default-10.02.01.00.a14_k1_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm

重要な注意!

注記:

1. 同じドライバーバージョンの書き換えは、`-force`または`--replacepkgs`と`--nodeps`オプションを使用して実行する必要があります

例: `rpm -Uvh kmod-qla2xxx-..x86_64.rpm -force --nodeps`

`rpm -Uvh kmod-qla2xxx-..x86_64.rpm --replacepkgs --nodeps`

詳しくは、次のナレッジベースを参照してください。 <https://www.suse.com/support/kb/doc/?id=000019640>

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

ドライバーバージョン10.02.01.00.a14-k1にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 3ファイバーチャネルドライバーキットfor HPE Emulexホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター

バージョン: 12.8.528.7 (推奨)

ファイル名: elx-lpfc-kmp-default-12.8.528.7_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.compsig; elx-lpfc-kmp-default-12.8.528.7_k5.3.18_57-1.sles15sp3.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE Emulexアダプターリリースノート](#)

同じドライバーバージョンの書き換えは、`-reinstall`オプションを使用して実行する必要があります

例: `rpm -Uvh elx-lpfc-kmp-default-..x86_64.rpm --reinstall`

詳しくは、次のナレッジベースを参照してください。 <https://www.suse.com/support/kb/doc/?id=000019640>

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

以下のサポートを追加しました。

- SLES 15 SP3のサポートを追加しました。

ドライバーバージョン12.8.528.7にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPEファイバーチャネル16Gb LPe1605メザニン

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 3ファイバーチャネルドライバーキットfor HPE QLogicホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター

バージョン: 10.02.01.00.a14-k1 (b) (推奨)

ファイル名: qlgc-qla2xxx-kmp-default-10.02.01.00.a14_k1_k5.3.18_57-4.sles15sp3.x86_64.compsig; qlgc-qla2xxx-kmp-default-10.02.01.00.a14_k1_k5.3.18_57-4.sles15sp3.x86_64.rpm

重要な注意!

注記:

1. 同じドライバーバージョンの書き換えは、`-force`または`--replacepkgs`と`--nodeps`オプションを使用して実行する必要があります

例: `rpm -Uvh kmod-qla2xxx-...x86_64.rpm -force --nodeps`

`rpm -Uvh kmod-qla2xxx-...x86_64.rpm -replacepkgs --nodeps`

詳しくは、次のナレッジベースを参照してください。 <https://www.suse.com/support/kb/doc/?id=000019640>

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

ドライバーバージョン10.02.01.00.a14-k1にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

ドライバー - システム

[先頭](#)

HPE不揮発性メモリドライバーfor Microsoft Windows Server 2016

バージョン: 3.0.2.0 (B) (**推奨**)

ファイル名: cp047945.compsig; cp047945.exe

重要な注意!

このSmartコンポーネントバージョン3.0.2.0には、HPE NVMバスドライバーHpeNvmBus.sysバージョン3.0.2.0およびHPE NVM ディスクドライバーHpeNvmDisk0101バージョン3.0.2.0が含まれています。

拡張

- Windows Server 2012 R2のサポートを削除しました

ドライバー - システムマネジメント

[先頭](#)

ESXi 7.0用のHPE CRUネイティブドライバー

バージョン: 7.0.10 (**推奨**)

ファイル名: cru_driver_700.10.16_1OEM.700.0.0.14828939_signed_component_15675715.zip

拡張

VMware ESXi 7.0のサポート

iLO 5 チャネルインターフェースドライバー for Windows Server 2012 R2

バージョン: 4.6.0.0 (**オプション**)

ファイル名: cp040013.compsig; cp040013.exe

拡張

iLO 5バージョン2.xファームウェアのサポートを追加します。

iLO 5チャネルインターフェイスドライバーfor Microsoft Windows Server 2016およびMicrosoft Windows Server 2019

バージョン: 4.7.1.0 (B) (**オプション**)

ファイル名: cp047941.compsig; cp047941.exe

拡張

- Snap5プラットフォームのサポートが追加されました

iLO 5チャネルインターフェイスドライバーfor Microsoft Windows Server 2022

バージョン: 4.7.1.0 (B) (**推奨**)

ファイル名: cp049467.compsig; cp049467.exe

修正

- ドライバーの宛先フォルダーを修正

iLO 5チャンネルインターフェイスドライバーfor Windows Server 2016およびWindows Server 2019

バージョン: 4.6.0.0 (C) (オプション)

ファイル名: cp041932.compsig; cp041932.exe

拡張

TBD

iLO 5自動サーバー復旧ドライバーfor Microsoft Windows Server 2022

バージョン: 4.7.1.0 (オプション)

ファイル名: cp047544.compsig; cp047544.exe

重要な注意!

iLO 5 Channel Interface Driver(バージョン4.1.0.0以前)をインストールすると、このドライバーが上書きされます。上書きを避けるには、バージョン4.1.0.0(B)以降のiLO 5 Channel Interface Driverを使用してください。

拡張

最初のリリース。

Microsoft Windows Server 2016およびMicrosoft Windows Server 2019用iLO 5自動サーバー復旧ドライバー

バージョン: 4.7.1.0 (B) (オプション)

ファイル名: cp047942.compsig; cp047942.exe

重要な注意!

iLO 5 Channel Interface Driver(バージョン4.1.0.0以前)をインストールすると、このドライバーが上書きされます。上書きを避けるには、バージョン4.1.0.0(B)以降のiLO 5 Channel Interface Driverを使用してください。

拡張

- Snap5プラットフォームのサポートが追加されました

Microsoft Windows Server 2022用のSwitchtec PCIeスイッチ管理ドライバー

バージョン: 15.52.13.445 (推奨)

ファイル名: cp049472.compsig; cp049472.exe

拡張

最初のリリースです

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるデバイス:

- Switchtec PFX 100xG4管理EP
- Switchtec PFX 52xG4管理EP

Windows Server 2016およびServer 2019用のSwitchtec PCIeスイッチ管理ドライバー

バージョン: 12.52.0.676 (推奨)

ファイル名: cp046195.compsig; cp046195.exe

拡張

- Apollo 6500 Gen10 Plus XL675dおよびXL645dのサポート

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるデバイス:

- Switchtec PFX 100xG4管理EP
- Switchtec PFX 52xG4管理EP

ドライバー - ビデオ

[先頭](#)

Matrox G200eH3ビデオコントローラードライバーfor Microsoft Windows 64ビット

バージョン: 9.15.1.248 (オプション)

ファイル名: cp048496.compsig; cp048496.exe

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。
- Edgelineプラットフォームのサポートが追加されました

ファームウェア - ブレードインフラストラクチャ

[先頭](#)

HPE BladeSystem c-Class Virtual Connectファームウェア、Ethernet plus 8 Gb 20ポートおよび8/16 Gb 24ポートFC Editionコンポーネント for Linux

バージョン: 4.85 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-vceth-4.85-1.1.x86_64.rpm

事前要件

『HPE Virtual Connectリリースノート』のバージョン4.85には、前提条件が含まれていて、次のURLにあります:
<http://www.hpe.com/info/vc/manuals>

修正

バージョン4.85で解決した問題のリストは、<http://www.hpe.com/info/vc/manuals>にあるHPE Virtual Connectリリースノートに記載されています。

拡張

バージョン4.85での機能強化のリストは、<http://www.hpe.com/info/vc/manuals>にあるHPE Virtual Connectリリースノートに記載されています。

サポートしているデバイスおよび機能

HPE Virtual Connect FlexFabric 10Gb/24ポートモジュール for c-Class BladeSystem

HPE Virtual Connect 8Gb 24ポート ファイバーチャネルモジュール for c-Class BladeSystem

HPE バーチャルコネク ト 8Gb 20ポート ファイバーチャネルモジュール for c-Class BladeSystem

HPE バーチャルコネク ト Flex-10/10Dモジュール for c-Class BladeSystem

HPE Virtual Connect FlexFabric-20/40 F8モジュールfor HPE BladeSystem c-Class

HPE バーチャルコネク ト 16Gb 24ポート ファイバーチャネルモジュール for c-Class BladeSystem

HPE BladeSystem c-Class Virtual Connectファームウェア、Ethernet plus 8Gb 20ポートおよび8/16 Gb 24ポートFC Editionコンポーネントfor Windows

バージョン: 4.85 (推奨)

ファイル名: cp043332.exe

事前要件

HPE Virtual Connectリリースノートのバージョン4.85には、前提条件が含まれていて、次のURLにあります：<http://www.hpe.com/info/vc/manuals>

修正

バージョン4.85で解決した問題のリストは、<http://www.hpe.com/info/vc/manuals>にあるHPE Virtual Connectリリースノートに記載されています。

拡張

バージョン4.85での機能強化のリストは、<http://www.hpe.com/info/vc/manuals>にあるHPE Virtual Connectリリースノートに記載されています。

サポートしているデバイスおよび機能

HPE Virtual Connect FlexFabric 10Gb/24ポートモジュール for c-Class BladeSystem

HPE Virtual Connect 8Gb 24ポート ファイバーチャネルモジュール for c-Class BladeSystem

HPE バーチャルコネクト 8Gb 20ポート ファイバーチャネルモジュール for c-Class BladeSystem

HPE バーチャルコネクト Flex-10/10Dモジュール for c-Class BladeSystem

HPE Virtual Connect FlexFabric-20/40 F8モジュールfor HPE BladeSystem c-Class

HPE バーチャルコネクト 16Gb 24ポート ファイバーチャネルモジュール for c-Class BladeSystem

オンラインHP 6Gb SAS BLスイッチファームウェア Smart Component for Linux (x86/x64)

バージョン: 4.3.6.0 (B) (オプション)

ファイル名: RPMS/i586/firmware-solex6gb-solex-4.3.6.0-2.1.i586.rpm

重要な注意!

注記:システムが以前にバージョン4.3.6.0にアップデートされている場合、4.3.6.0(B)にアップデートする必要はありません。

拡張

- SUSE LINUX Enterprise Server 15 OSのサポートを追加しました。

オンラインHPE 6 Gb SAS BLスイッチファームウェアSmart Component for Windows (x86/x64)

バージョン: 4.3.6.0 (C) (オプション)

ファイル名: cp038273.exe

拡張

- Smart Update Managerとの統合を強化しました

オンラインHPE BladeSystem c-Class Onboard Administratorファームウェアコンポーネント for Linux

バージョン: 4.97 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-oa-4.97-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意

- **ファームウェアアップグレード**
 - OA 4.50のリリースを開始するにあたって、ファームウェアのイメージの信頼性を強化するために標準化されたコード署名と認証のメカニズムが導入されています。
 - ファームウェアのROMイメージを使用している顧客がOAをアップグレードすることに関して
 - ファームウェアバージョンが3.50以前のOAに関して、まずOAを3.50にアップグレードし、それからOA 4.50以降へのアップグレードを続けます。
 - Smart コンポーネントを使用している顧客がOAをアップグレードすることに関して
 - HPE Smart コンポーネントに依存するOAファームウェアのアップグレードメカニズム(例:EFM)は、この変更の影響を受けません。SmartコンポーネントはOA 4.50以降へのアップグレードを行う前に、OA 3.50への中間アップグレードを行います。
- EFM

- OAは4 GB以下のサイズのSPP ISOイメージだけをサポートします。エンクロージャーDVD形式で直接保存されているか、付随したUSBキーか、特定のURL経由で遠隔でマウントされているかのどれかとなります。もしISOイメージが4 GBを越える場合、CLI SHOW FIRMWARE MANAGEMENTコマンドはISO URLステータスを"Invalid URL"と表示しません。
- SPP ISOイメージが4 GB以上である場合、OA EFMブレードファームウェアのアップデートプロセスには不要なコンポーネントを除外したカスタムISOイメージを作成する必要があります。カスタムISOには、少なくともHPE ProLiant BLシリーズのサーバー用ファームウェアコンポーネントだけは含める必要があります。(カスタムISO画像を作成するためにHPE SUMを使用しているときは、コンポーネントの種類としてファームウェアを選択し、サーバーの種類としてHPE ProLiant BLシリーズを選択してください。)OA EFM機能に交換性があるカスタムISO画像の作成の情報については、『HPE BladeSystem Onboard Administratorユーザーガイド』をご覧ください。HP SUMに関する詳しい情報はHPE Smart Update Managerのオンラインヘルプまたは次で見つけることができます。
<https://www.hpe.com/servers/hpsum/documentation>
- FIPS
 - Onboard Administrator 4.71は、<http://csrc.nist.gov/groups/STM/cmvp/documents/140-1/140InProgress.pdf>にある140-2 In Process Listで参照されるようにFIPS認定です。
- IPv6
 - DHCPv6の有効化またはSLAACエンクロージャーIPv6設定の有効化がOnboard Administrator上で無効にされている場合、それらそれぞれの構成に基づいて、これらのアドレスが自動的に期限切れになるまで、エンクロージャー内のiLOのそれぞれのDHCPv6またはSLAACアドレスは保持されます。iLOのマニュアルリセットはすぐにこれらのアドレスを解放します。

事前要件

OAのWebインターフェイスにアクセスするには、のIPアドレスと、互換性のあるWebブラウザを用意する必要があります。アプリケーションには、

HTTPS(SSL/TLSで暗号化されたセッションでやり取りされるHTTPパケット)でアクセスする必要があります。

OAのWebインターフェイスには、JavaScript 1.3またはこれに相当するものをサポートするXSLT対応ブラウザが必要です。

以下では、サポートされているブラウザを示します。

- Microsoft Internet Explorer 11
- Mozilla Firefox 67.0.4(64ビット)
- Google Chrome 77.0.3865.90 (Official Build) (64ビット)

修正

全般

- 異なるSSHセッションから同時にUPDATE ILO cliコマンドを実行すると、一部のコマンドが操作不能になるという問題に対処しました
- IPv6環境でのSETSERVER DVD CONNECTcliコマンドの使用に関する問題を修正しました。
- System Rom RBSUでのブレードのProduct IDアップデートがOnboard Administratorに反映されない問題に対処しました。
- フラッシュからの証明書読み取り操作を利用して、証明書読み取りの失敗を最小限に抑えます。
- EngineBootカウントの増分時にEngineTimeがリセットされなかったSNMPv3プロトコルの問題を修正しました。
- ブレード検出の失敗に関連する問題に対処しました
- DHE暗号を使用してOnboard Administratorとの通信を確立できないSmart Componentの問題を修正しました。
- ECDSA暗号の有効化/無効化機能に関連する問題に対処しました。
- 構成スクリプトにSSH暗号リストを追加しました
- エンクロージャーが静的IP構成用に構成されている場合、IPv4 DynamicDNSを有効にできないOnboard Administrator GUIの問題を修正しました。
- CLIコマンドSETSSL_SESSIONTIMEOUTおよびSETSECURESHでのヘルプメッセージ表示の問題を修正しました。
- トラップレシーバーの追加/削除のためにEngineBootカウントが2つ増加するSNMPの問題に対処しました。
- 言語パックがOnboard Administratorにアップロードされたときに発生する問題をオンラインヘルプ(OLH)ページに表示する問題を修正しました。

セキュリティ

以下のセキュリティの脆弱性が修正されました:

- Onboard AdministratorのWebサーバーの応答が拡張され、X-Content-Type-Optionsセキュリティヘッダーが含まれるようになりました。
- CVE-2011-3026-libpng: ヒープバッファオーバーフロー
- CVE-2018-1000517-BusyBoxwgetバージョンにバッファオーバーフローの脆弱性が含まれています
- CVE-2020-1971-EDIPARTYNAME NULLポインタの逆参照

- CVE-2020-15861-Net-SNMPで権限昇格が可能
- CVE-2020-15862-Net-SNMPは、rootとして任意のコマンドを実行する機能を提供します。
- CVE-2019-20892 -SNMPv3が一括リクエストの問題を取得

問題点および解決策

ブラウザ

- OA GUIはChromeのバージョン43.0.2357.10から44.0.2383ではアクセスできません。この問題は、Chrome(またはWebKit)の"復帰"によって発生しています。FirefoxやInternet Explorerなどの代替のブラウザを使用するか、別のバージョンのChromeを試す必要があります。
- iLOホスト名を使用したOAからのSSO-to-iLO接続は、Windows 8のMicrosoft Internet Explorer 11で失敗します。Internet Explorer 10またはInternet Explorer 11を備えたWindows 8システムでは、OA Web GUIセッションがIPアドレスの代わりにホスト名を使用してロードされている場合、OA Web GUIからSSOを使用してiLOウィンドウを開こうとすると、目的の新しいウィンドウではなくOA Web GUIウィンドウにiLOページが読み込まれる可能性があります。この問題はInternet Explorerのバグであると判断され、Internet Explorerの将来のリリースまたはアップデートで修正される予定です。この問題を回避するには、IPアドレスを使用してOA Web GUIをロードするか、Internet Explorerの設定で適切なゾーンの保護モードをオフにします。この問題はInternet Explorerブラウザのみで発生します。

FIPS

2048ビット未満のサイズの証明書は、OA 4.20以降のOAファームウェアによって強制されるFIPS要件に準拠していません。OAファームウェアバージョン4.40以降を実行しているOAがFIPSモードON/DEBUGで動作し、以前のバージョンのOAファームウェアを実行しているときにインストールされた1024ビットのLDAP証明書で構成されている場合、非準拠の証明書が存在するためにFIPSモードON/DEBUGは劣化状態で動作しているとみなされます。このFIPS-劣化モードで動作している間に、OA GUIのネットワークアクセス>FIPSタブからFIPSモードをオフに設定しようとすると失敗し、選択したFIPSモードが既に有効になっているというエラーメッセージが表示されます。非準拠の証明書が削除されると、FIPS-劣化モードの動作ステータスはクリアされ、FIPSモードはGUIインターフェイスから正常にOFFに設定できます。OA CLIコマンドSET FIPS MODE OFFを使用すると、OAにインストールされている非準拠の1024ビットLDAP証明書を使用しても、FIPSモードをオフに設定できます。

IRC

Gen10 Blade用の.net IRCコンソールを開くことができない、Gen9 Bladeも同じ問題があります。JavaアプレットとWebstartはロードされますが、仮想メディアのマウントは失敗します。回避策として、ターミナルクライアントにインストールされているIRCアプリケーション(HPE Lights-Outスタンドアロンリモートコンソール)を使用してIRCを起動することです。

EFM

Gen 10 BladeでEFMを使用するには、HPSUM 8.0.0でカスタムSPP ISOを作成する際にオプション/フィルター"Make Bootable ISO file"と"Enclosure Firmware Management"を選択してください。詳しくは、HPE SUM 8.0.0ユーザーガイドを参照してください。

CAC

- CACモードのSSHでは、TelnetおよびXML応答プロトコルは無効になります。
- リンクされたエンクロージャーがCACモードになっている場合、リンクされたエンクロージャーのログインは動作しません。
- サービスアカウントの詳細を正確に指定しないと、証明書を使用したLDAPユーザーのログインは失敗します。
- CACの使用を開始する前にリカバリプランを立てることを強くお勧めします。OA設定で問題が起こった場合、OAをシリアルポートまたはInsight DisplayパネルおよびUSB KEYからリカバリできる場合があります。いずれの方法もOAへの物理アクセスが必要です。ただし、LCD PINが設定されている(または忘れた)場合、およびローカルアカウントが無効になっているかCACが正しく設定されていない場合、リカバリする唯一の方法はシリアルポート経由です。OAの復旧が必要な最も一般的な状況を2つ挙げると、LDAPが無効なローカルアカウントで誤って設定されている場合と、CACが証明書にアクセスしないよう設定されている場合です。

設定可能なSSHポート番号

スタンバイOAが4.85未満のファームウェアバージョンを実行していて、アクティブOAのファームウェア同期機能を使用してファームウェアバージョンが4.85以上にアップデートした場合、ファームウェアのアップデートおよびスタンバイOAの再起動後、SSHポートは構成されたポート番号で開きません。回避策は、スタンバイOAを再起動することです。SSHポートは、次回再起動時に設定されたポートで開きます。SSHポートがアクティブOAのデフォルトポート22で構成されている場合は、この問題が発生しません。

Smart コンポーネント

OAがFIPSONまたはFIPSTOP-SECRETモードであり、使用する暗号のいずれかである場合 Diffie-Hellman(DH)キーが有効になっていると、OA Smart Component 4.96以前のバージョンを使用したファームウェアのアップグレードまたはダウングレードが失敗し、次のエラーが発生する場合があります。

Error: 1013: クライアントは、Onboard Administratorに接続できません。ターゲットアドレスが正しく、お使いのシステムからアクセスできることを確認してください。

FIPSまたは

TLS_DHE_RSA_WITH_3DES_EDE_CBC_SHA
TLS_DHE_RSA_WITH_AES_128_GCM_SHA256
TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384
TLS_DHE_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256
TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA256

FIPS TOP-SECRET

TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384

Smartを介してOAのアップグレードまたはダウングレードを実行すると、同じエラーが発生する可能性があります

Update Manager(SUM)の結果、SUMに次のエラーメッセージが表示されます。

| コンポーネント | パッケージ | 展開ステータス |
|----------|--|--------------------|
| cpC39063 | オンラインHPE BladeSystem c-Class Onboard Administrator for Windows | アップデートでエラーが返されました。 |

この障害が発生すると、OAスマートコンポーネントのログファイルに次のメッセージが表示されます。

Error: 1013: クライアントは、Onboard Administratorに接続できません。

ターゲットアドレスが正しく、お使いのシステムからアクセスできることを確認してください。

この問題の回避策は、DHキーを使用するすべての暗号を無効にして、ファームウェアのアップグレードまたはダウングレードを再実行することです。

暗号の無効化は、CLIコマンドDISABLE SSLCIPHERまたはGUIを使用して実行できます。ファームウェアのアップグレードまたはダウングレードが完了すると、無効にされた暗号を再度有効にすることができます。

iLOファームウェアのアップデート

UPDATE ILOコマンドは、OAバージョン4.90および4.90未満でiLO5ファームウェアバージョン2.10以降のアップデートに失敗します。この問題は、iLO5ファームウェアバージョン2.10に新しい署名が導入されたことが原因で発生します。

回避策は、OAファームウェアを4.95にアップデートしてから、UPDATE ILOコマンドを試すことです。この問題はOAバージョンでは発生しません 4.70以降

拡張

Onboard Administrator 4.97は、以下の機能強化に対するサポートを提供します:

ハードウェアの追加

- なし

特徴: 追加と変更

全般

- 新しい機能がSNMPに追加され、v1 / v2cプロトコルの有効化/無効化オプションをサポートします。
- 緊急ブレーキ(eブレーキ)がアクティブ化および非アクティブ化されたイベント用に、新しいSNMPトラップが追加されました。
- 新しいNIDECファンのファームウェアアップデートのサポートが追加されました。
- ファームウェアバージョン1.8をサポートするように拡張されたPowerPICファームウェアアップデート。
- Onboard Administrator GUIで、iLO HTML5 IRC コンソールのサポートが追加されました。

セキュリティ

- SSHには、キー交換(KEX)アルゴリズムの有効化/無効化をサポートする新機能が追加されています。

オンラインHPE BladeSystem c-Class Onboard Administratorファームウェアコンポーネント for Windows

バージョン: 4.97 (推奨)

ファイル名: cp046217.exe

重要な注意!

重要な注意

- **ファームウェアアップグレード**
 - OA 4.50のリリースを開始するにあたって、ファームウェアのイメージの信頼性を強化するために標準化されたコード署名と認証のメカニズムが導入されています。
 - ファームウェアのROMイメージを使用している顧客がOAをアップグレードすることに関して
 - ファームウェアバージョンが3.50以前のOAに関して、まずOAを3.50にアップグレードし、それからOA 4.50以降へのアップグレードを続けます。
 - Smart コンポーネントを使用している顧客がOAをアップグレードすることに関して
 - HPE Smart コンポーネントに依存するOAファームウェアのアップグレードメカニズム(例:EFM)は、この変更に影響を受けません。SmartコンポーネントはOA 4.50以降へのアップグレードを行う前に、OA 3.50への中間アップグレードを行います。
- **EFM**
 - OAは4 GB以下のサイズのSPP ISOイメージだけをサポートします。エンクロージャーDVD形式で直接保存されているか、付随したUSBキーか、特定のURL経由で遠隔でマウントされているかのどれかとなります。もしISOイメージが4 GBを越える場合、CLI SHOW FIRMWARE MANAGEMENTコマンドはISO URLステータスを"Invalid URL"と表示します。
 - SPP ISOイメージが4 GB以上である場合、OA EFMブレードファームウェアのアップデートプロセスには不要なコンポーネントを除外したカスタムISOイメージを作成する必要があります。カスタムISOには、少なくともHPE ProLiant BLシリーズのサーバー用ファームウェアコンポーネントだけは含める必要があります。(カスタムISO画像を作成するためにHPE SUMを使用しているときは、コンポーネントの種類としてファームウェアを選択し、サーバーの種類としてHPE ProLiant BLシリーズを選択してください。)OA EFM機能に交換性があるカスタムISO画像の作成の情報については、『*HPE BladeSystem Onboard Administratorユーザーガイド*』をご覧ください。HP SUMに関する詳しい情報はHPE Smart Update Managerのオンラインヘルプまたは次で見つけることができます。
<https://www.hpe.com/servers/hpsum/documentation>
- **FIPS**
 - Onboard Administrator 4.71は、<http://csrc.nist.gov/groups/STM/cmvp/documents/140-1/140InProgress.pdf>にある140-2 In Process Listで参照されるようにFIPS認定です。
- **IPv6**
 - DHCPv6の有効化またはSLAACエンクロージャーIPv6設定の有効化がOnboard Administrator上で無効にされている場合、それらそれぞれの構成に基づいて、これらのアドレスが自動的に期限切れになるまで、エンクロージャー内のiLOのそれぞれのDHCPv6またはSLAACアドレスは保持されます。iLOのマニュアルリセットはすぐにこれらのアドレスを解放します。

事前要件

OAのWebインターフェイスにアクセスするには、のIPアドレスと、互換性のあるWebブラウザーを用意する必要があります。アプリケーションには、

HTTPS(SSL/TLSで暗号化されたセッションでやり取りされるHTTPパケット)でアクセスする必要があります。

OAのWebインターフェイスには、JavaScript 1.3またはこれに相当するものをサポートするXSLT対応ブラウザーが必要です。

以下では、サポートされているブラウザーを示します。

- Microsoft Internet Explorer 11
- Mozilla Firefox 67.0.4(64ビット)
- Google Chrome 77.0.3865.90 (Official Build) (64ビット)

修正

全般

- 異なるSSHセッションから同時にUPDATE ILO cliコマンドを実行すると、一部のコマンドが操作不能になるという問題に対処しました
- IPv6環境でのSETSERVER DVD CONNECTcliコマンドの使用に関する問題を修正しました。
- System Rom RBSUでのブレードのProductIDアップデートがOnboard Administratorに反映されない問題に対処しました。
- フラッシュからの証明書読み取り操作を利用して、証明書読み取りの失敗を最小限に抑えます。
- EngineBootカウントの増分時にEngineTimeがリセットされなかったSNMPv3プロトコルの問題を修正しました。
- ブレード検出の失敗に関連する問題に対処しました
- DHE暗号を使用してOnboard Administratorとの通信を確立できないSmart Componentの問題を修正しました。
- ECDSA暗号の有効化/無効化機能に関連する問題に対処しました。
- 構成スクリプトにSSH暗号リストを追加しました
- エンクロージャーが静的IP構成用に構成されている場合、IPv4 DynamicDNSを有効にできないOnboard Administrator GUIの問題を修正しました。
- CLIコマンドSETSSL_SESSIONTIMEOUTおよびSETSECURESHでのヘルプメッセージ表示の問題を修正しました。
- トラップレシーバーの追加/削除のためにEngineBootカウントが2つ増加するSNMPの問題に対処しました。
- 言語パックがOnboard Administratorにアップロードされたときに発生する問題をオンラインヘルプ(OLH)ページに表示する問題を修正しました。

セキュリティ

以下のセキュリティの脆弱性が修正されました:

- Onboard AdministratorのWebサーバーの応答が拡張され、X-Content-Type-Optionsセキュリティヘッダーが含まれるようになりました。
- CVE-2011-3026-libpng: ヒープバッファオーバーフロー
- CVE-2018-1000517-BusyBoxwgetバージョンにバッファオーバーフローの脆弱性が含まれています
- CVE-2020-1971-EDIPARTYNAMENULLポインタの逆参照
- CVE-2020-15861-Net-SNMPで権限昇格が可能
- CVE-2020-15862-Net-SNMPは、rootとして任意のコマンドを実行する機能を提供します。
- CVE-2019-20892 -SNMPv3が一括リクエストの問題を取得

問題点および解決策

ブラウザ

- OA GUIはChromeのバージョン43.0.2357.10から44.0.2383ではアクセスできません。この問題は、Chrome(またはWebKit)の"回帰"によって発生しています。FirefoxやInternet Explorerなどの代替のブラウザを使用するか、別のバージョンのChromeを試す必要があります。
- iLOホスト名を使用したOAからのSSO-to-iLO接続は、Windows 8のMicrosoft Internet Explorer 11で失敗します。Internet Explorer 10またはInternet Explorer 11を備えたWindows 8システムでは、OA Web GUIセッションがIPアドレスの代わりにホスト名を使用してロードされている場合、OA Web GUIからSSOを使用してiLOウィンドウを開こうとすると、目的の新しいウィンドウではなくOA Web GUIウィンドウにiLOページが読み込まれる可能性があります。この問題はInternet Explorerのバグであると判断され、Internet Explorerの将来のリリースまたはアップデートで修正される予定です。この問題を回避するには、IPアドレスを使用してOA Web GUIをロードするか、Internet Explorerの設定で適切なゾーンの保護モードをオフにします。この問題はInternet Explorerブラウザのみで発生します。

FIPS

2048ビット未満のサイズの証明書は、OA 4.20以降のOAファームウェアによって強制されるFIPS要件に準拠していません。OAファームウェアバージョン4.40以降を実行しているOAがFIPSモードON/DEBUGで動作し、以前のバージョンのOAファームウェアを実行しているときにインストールされた1024ビットのLDAP証明書で構成されている場合、非準拠の証明書が存在するためにFIPSモードON/DEBUGは劣化状態で動作しているとみなされます。このFIPS-劣化モードで動作している間に、OA GUIのネットワークアクセス>FIPSタブからFIPSモードをオフに設定しようとすると失敗し、選択したFIPSモードが既に有効になっているというエラーメッセージが表示されます。非準拠の証明書が削除されると、FIPS-劣化モードの動作ステータスはクリアされ、FIPSモードはGUIインターフェイスから正常にOFFに設定できます。OA CLIコマンドSET FIPS MODE OFFを使用すると、OAにインストールされている非準拠の1024ビットLDAP証明書を使用しても、FIPSモードをオフに設定できます。

IRC

Gen10 Blade用の.net IRCコンソールを開くことができない、Gen9 Bladeも同じ問題があります。JavaアプレットとWebstartはロードされますが、仮想メディアのマウントは失敗します。回避策として、ターミナルクライアントにインストールされているIRCアプリケーション(HPE Lights-Outスタンドアロンリモートコンソール)を使用してIRCを起動することです。

EFM

Gen 10 BladeでEFMを使用するには、HPSUM 8.0.0でカスタムSPP ISOを作成する際にオプション/フィルター"Make Bootable ISO file"と"Enclosure Firmware Management"を選択してください。詳しくは、HPE SUM 8.0.0ユーザーガイドを参照してください。

CAC

- CACモードのSSHでは、TelnetおよびXML応答プロトコルは無効になります。
- リンクされたエンクロージャーがCACモードになっている場合、リンクされたエンクロージャーのログインは動作しません。
- サービスアカウントの詳細を正確に指定しないと、証明書を使用したLDAPユーザーのログインは失敗します。
- CACの使用を開始する前にリカバリプランを立てることを強くお勧めします。 OA設定で問題が起こった場合、OAをシリアルポートまたはInsight DisplayパネルおよびUSB KEYからリカバリできる場合があります。いずれの方法もOAへの物理アクセスが必要です。ただし、LCD PINが設定されている(または忘れた)場合、およびローカルアカウントが無効になっているかCACが正しく設定されていない場合、リカバリする唯一の方法はシリアルポート経由です。OAの復旧が必要な最も一般的な状況を2つ挙げると、LDAPが無効なローカルアカウントで誤って設定されている場合と、CACが証明書にアクセスしないよう設定されている場合です。

設定可能なSSHポート番号

スタンバイOAが4.85未満のファームウェアバージョンを実行していて、アクティブOAのファームウェア同期機能を使用してファームウェアバージョンが4.85以上にアップデートした場合、ファームウェアのアップデートおよびスタンバイOAの再起動後、SSHポートは構成されたポート番号で開きません。回避策は、スタンバイOAを再起動することです。SSHポートは、次回起動時に設定されたポートで開きます。SSHポートがアクティブOAのデフォルトポート22で構成されている場合は、この問題が発生しません。

Smart コンポーネント

OAがFIPSONまたはFIPSTOP-SECRETモードであり、使用する暗号のいずれかである場合 Diffie-Hellman(DH)キーが有効になっている場合、OA Smart Component 4.96以前のバージョンを使用したファームウェアのアップグレードまたはダウングレードは、次のエラーで失敗する可能性があります。

Error: 1013: クライアントは、Onboard Administratorに接続できません。ターゲットアドレスが正しく、お使いのシステムからアクセスできることを確認してください。

FIPSまたは

TLS_DHE_RSA_WITH_3DES_EDE_CBC_SHA
TLS_DHE_RSA_WITH_AES_128_GCM_SHA256
TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384
TLS_DHE_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256
TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA256

FIPS TOP-SECRET

TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384

Smartを介してOAのアップグレードまたはダウングレードを実行すると、同じエラーが発生する可能性があります

Update Manager(SUM)の結果、SUMに次のエラーメッセージが表示されます。

| コンポーネント | パッケージ | 展開ステータス |
|----------|--|---------------------|
| cpC39063 | オンラインHPE BladeSystem c-Class Onboard Administrator for Windows | アップグレードでエラーが返されました。 |
| | ログの参照 | |

この障害が発生すると、OAスマートコンポーネントのログファイルに次のメッセージが表示されます。

Error: 1013: クライアントは、Onboard Administratorに接続できません。

ターゲットアドレスが正しく、お使いのシステムからアクセスできることを確認してください。

この問題の回避策は、DHキーを使用するすべての暗号を無効にして、ファームウェアのアップグレードまたはダウングレードを再実行することです。

暗号の無効化は、CLIコマンドDISABLE SSLCIPHERまたはGUIを使用して実行できます。ファームウェアのアップグレードまたはダウングレードが完了すると、無効にされた暗号を再度有効にすることができます。

iLOファームウェアのアップデート

UPDATE ILOコマンドは、OAバージョン4.90および4.90未満でiLO5ファームウェアバージョン2.10以降のアップデートに失敗します。この問題は、iLO5ファームウェアバージョン2.10に新しい署名が導入されたことが原因で発生します。

回避策は、OAファームウェアを4.95にアップデートしてから、UPDATE ILOコマンドを試すことです。この問題はOAバージョン4.95以降では発生しません。

拡張

Onboard Administrator 4.97は、以下の機能強化に対するサポートを提供します：

ハードウェアの追加

- なし

特徴: 追加と変更

全般

- 新しい機能がSNMPに追加され、v1 / v2cプロトコルの有効化/無効化オプションをサポートします。
- 緊急ブレーキ(eブレーキ)がアクティブ化および非アクティブ化されたイベント用に、新しいSNMPトラップが追加されました。
- 新しいNIDECファンのファームウェアアップデートのサポートが追加されました。
- ファームウェアバージョン1.8をサポートするように拡張されたPowerPICファームウェアアップデート。
- Onboard Administrator GUIで、iLO HTML5 IRCコンソールのサポートが追加されました。

セキュリティ

- SSHには、キー交換(KEX)アルゴリズムの有効化/無効化をサポートする新機能が追加されています。

ファームウェア - Lights-Outマネジメント

[先頭](#)

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE Integrated Lights-Out 5

バージョン: 2.65 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-ilo5-2.65-1.1.x86_64.rpm; RPMS/x86_64/firmware-ilo5-2.65-1.1.x86_64_part1.compsig; RPMS/x86_64/firmware-ilo5-2.65-1.1.x86_64_part2.compsig

修正

- ファームウェアベースラインを正常に反映するには、展開を2回実行する必要があります。
- Redfish APIの応答が変更されると、Oneviewはポートマップ情報を完全に検出できなくなります。
- RFサブスクリプションは、特定の状況で使い果たされます。
- クリティカルIMLイベントがiLO GUIで手動で修復済みとしてマークされている場合、Oneviewはサーバーを「クリティカル」としてマークします。
- IMLの破損が発生した場合、iLOは自動回復できません。
- 再起動をまたぐとアダプター仮想化モードが持続しません。
- Edgelineプラットフォームでは、IPアドレスが使用されている場合、iLO GUIは最初の試行でレンダリングされません。
- SSO権限を変更するためのRIBCLスクリプトを実行した後、iLO Webサーバーが応答しなくなります。
- 暗号化が有効になっている場合、AMD Gen10サーバーがPOSTを完了するまでに最大5分かかる場合があります。
- EL1000シャーシにインストールされている場合、Nvidia P1000が検出されない場合があります。
- Intel N3000ネットワークエンドポイントがe910tサーバーで正しく報告されません。
- ipmitoolは、ネットワークポートリンクの数が正しくありません。

拡張

- OpenLDAPベースのディレクトリサーバーを使用したLDAPv3ベースの認証の検証。
- RDEの読み取りおよび書き込み操作のサポートが追加されました。
- 直接接続されたUBM用の共通PLDMベースのパッケージを使用したファームウェアアップデートのサポートが追加されました (1/2/3/4)。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64- HPE Integrated Lights-Out 5

バージョン: 2.65 (推奨)

ファイル名: cp049685.exe; cp049685_part1.compsig; cp049685_part2.compsig

修正

- ファームウェアベースラインを正常に反映するには、展開を2回実行する必要があります。
- Redfish APIの応答が変更されると、Oneviewはポートマップ情報を完全に検出できなくなります。
- RFサブスクリプションは、特定の状況で使い果たされます。
- クリティカルIMLイベントがiLO GUIで手動で修復済みとしてマークされている場合、Oneviewはサーバーを「クリティカル」としてマークします。
- IMLの破損が発生した場合、iLOは自動回復できません。
- 再起動をまたぐとアダプター仮想化モードが持続しません。
- Edgelineプラットフォームでは、IPアドレスが使用されている場合、iLO GUIは最初の試行でレンダリングされません。
- SSO権限を変更するためのRIBCLスクリプトを実行した後、iLO Webサーバーが応答しなくなります。
- 暗号化が有効になっている場合、AMD Gen10サーバーがPOSTを完了するまでに最大5分かかる場合があります。
- EL1000シャーシにインストールされている場合、Nvidia P1000が検出されない場合があります。
- Intel N3000ネットワークエンドポイントがe910tサーバーで正しく報告されません。
- ipmitoolは、ネットワークポートリンクの数が正しくありません。

拡張

- OpenLDAPベースのディレクトリサーバーを使用したLDAPv3ベースの認証の検証。
- RDEの読み取りおよび書き込み操作のサポートが追加されました。
- 直接接続されたUBM用の共通PLDMベースのパッケージを使用したファームウェアアップデートのサポートが追加されました (1/2/3/4)。

オンラインROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE Integrated Lights-Out 5

バージョン: 2.65 (推奨)

ファイル名: ilo5_265.fwpkg

修正

- ファームウェアベースラインを正常に反映するには、展開を2回実行する必要があります。
- Redfish APIの応答が変更されると、Oneviewはポートマップ情報を完全に検出できなくなります。
- RFサブスクリプションは、特定の状況で使い果たされます。
- クリティカルIMLイベントがiLO GUIで手動で修復済みとしてマークされている場合、Oneviewはサーバーを「クリティカル」としてマークします。
- IMLの破損が発生した場合、iLOは自動回復できません。
- 再起動をまたぐとアダプター仮想化モードが持続しません。
- Edgelineプラットフォームでは、IPアドレスが使用されている場合、iLO GUIは最初の試行でレンダリングされません。
- SSO権限を変更するためのRIBCLスクリプトを実行した後、iLO Webサーバーが応答しなくなります。
- 暗号化が有効になっている場合、AMD Gen10サーバーがPOSTを完了するまでに最大5分かかる場合があります。
- EL1000シャーシにインストールされている場合、Nvidia P1000が検出されない場合があります。
- Intel N3000ネットワークエンドポイントがe910tサーバーで正しく報告されません。
- ipmitoolは、ネットワークポートリンクの数が正しくありません。

拡張

- OpenLDAPベースのディレクトリサーバーを使用したLDAPv3ベースの認証の検証。
- RDEの読み取りおよび書き込み操作のサポートが追加されました。
- 直接接続されたUBM用の共通PLDMベースのパッケージを使用したファームウェアアップデートのサポートが追加されました (1/2/3/4)。

ファームウェア - ネットワーク

先頭

Arrowheadアダプター用HPE QLogic FastLinQファームウェアパッケージ

バージョン: 8.55.27 (B) (推奨)

ファイル名: ql_hp_ah_mbi_8.55.27_pldm.fwpkg

重要な注意！

ファームウェアのインストールについては、OSとドライバーの依存関係はありません。
本番稼働中のファームウェア互換性のために、ファームウェアパッケージ製品で使用するドライバーとして以下を推奨しています。

- Linux用HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEドライバー、バージョン8.55.14.0-2以降
- Microsoft Windows Server x64 Edition用HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEドライバー、バージョン8.58.16.0以降
- VMware用HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEマルチファンクションドライバー、バージョン2021.09.04以降

拡張

サポートされているプラットフォームでのこの製品の調整。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート622FLR-SFP28アダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300Rコンバージドネットワークアダプター

Arrowheadアダプター用Marvell FastLinQファームウェアパッケージ

バージョン: 8.55.14 (推奨)

ファイル名: ql_ah_mbi_open_8.55.14_pldm.fwpkg

重要な注意！

ファームウェアのインストールについては、OSとドライバーの依存関係はありません。
本番稼働中のファームウェア互換性のために、ファームウェアパッケージ製品で使用するドライバーとして以下を推奨しています。

- Microsoft Windows Server x64 Edition用Marvell FastLinQ 10/25/50 GbEドライバー、バージョン8.58.16.0以降
- Linux用HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEドライバー、バージョン8.55.14.0-2以降
- VMware用HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEマルチファンクションドライバー、バージョン2021.09.04以降

修正

この製品には、サポートPLDMファームウェアアップグレードベースの改善が含まれています。

拡張

初期バージョン

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 QL41232HLCUアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 QL41232HQCU OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT QL41132HLRJAアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT QL41132HQRJ OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ QL41132HLCUアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ QL41132HQCU OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 4ポートSFP+ QL41134HLCUアダプター

Broadcom NX1オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64

バージョン: 2.28.3 (推奨)

ファイル名: firmware-nic-bcm-open-2.28.3-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-bcm-open-2.28.3-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom tg3 Ethernet*ドライバー、バージョン3.139b以降を推奨しています。

事前要件

このパッケージは、ご使用のネットワークアダプターのための適切なドライバーがインストールされ、ファームウェアをアップデートする前にすべてのイーサネットポートをアップしている必要があります。

- コマンドラインに従ってイーサネットデバイスを起動します。

```
# ifup ethXまたはifconfig ethX upまたはwicked ifup ethX
```

ローカルシステムでアダプター用のネットワークインターフェイスが構成されない場合は、インターフェイスを起動するためのネットワーク構成ファイルを作成する必要があります。

- たとえば、sles15sp1では、/etc/sysconfig/network/の下にifcfg-ethXファイルを作成します

拡張

初期バージョン

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Broadcom BCM5720 Ethernet 1Gb 2ポートBASE-T LOMアダプターfor HPE

Broadcom NX1オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware

バージョン: 1.29.3 (推奨)

ファイル名: CP048908.compsig; CP048908.zip

重要な注意!

このソフトウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンを含むコンボイメージv20.19.31が含まれています:

| NIC | ブートコードバージョン | PXEバージョン | NCSIバージョン | UEFIバージョン | CCMバージョン |
|----------------------------------|-------------|----------|-----------|-----------|------------|
| BCM 5720 1GbE 2p BASE-T LOMアダプター | 1.42 | 21.6.0 | 1.5.30 | 21.6.28 | 218.0.10.0 |

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

拡張

初期バージョン

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Broadcom BCM5720 Ethernet 1Gb 2ポートBASE-T LOMアダプターfor HPE

Broadcom NX1オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Edition

バージョン: 5.2.5.0 (推奨)

ファイル名: cp048909.compsig; cp048909.exe

重要な注意!

このファームウェアとともに使用する場合は、*Broadcom NX1 1Gbドライバーfor Windows Server x64 Editions*、バージョン219.0.1.0以降を推奨しています。

このソフトウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンを含むコンボイメージv20.19.31が含まれています:

| NIC | ブートコードバージョン | PXEバージョン | NCSIバージョン | UEFIバージョン | CCMバージョン |
|-----|-------------|----------|-----------|-----------|----------|
| | | | | | |

| | | | | | |
|----------------------------------|------|--------|--------|---------|------------|
| BCM 5720 1GbE 2p BASE-T LOMアダプター | 1.42 | 21.6.0 | 1.5.30 | 21.6.28 | 218.0.10.0 |
|----------------------------------|------|--------|--------|---------|------------|

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

拡張

初期バージョン

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Broadcom BCM5720 Ethernet 1Gb 2ポートBASE-T LOMアダプターfor HPE

Broadcomファームウェアパッケージfor BCM5741xアダプター

バージョン: 219.0.144.0 (推奨)

ファイル名: bcm219.0.144.0.pup.fwpkg

重要な注意!

ファームウェアのインストールについては、OSとドライバーの依存関係はありません。
本番稼働中のファームウェア互換性のために、ファームウェアパッケージ製品で使用するドライバーとして以下を推奨しています。

- Microsoft Windows Server用Broadcom NetXtreme-Eドライバー、バージョン219.0.44.0以降
- Linux用HPE Broadcom NetXtreme-Eドライバー、バージョン1.10.2-219.0.55.0以降
- VMware用HPE Broadcom NetXtreme-Eドライバー、バージョン2021.09.04以降

修正

- この製品は、NVMの断片化が原因でファームウェアアップデートが予期せず失敗する問題に対処します。
- この製品は、Broadcom BCM57416 Ethernet 10Gb 2ポートBASE-T OCP3アダプターのSSIDの問題を修正します

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ BCM57412アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ BCM57412 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT BCM57416アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT BCM57416 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414 OCP3アダプター

HPE Blade Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux

バージョン: 1.2.3 (オプション)

ファイル名: firmware-nic-intel-bl-1.2.3-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-intel-bl-1.2.3-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

HPEでは、このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel ixgbe Drivers for Linux*、バージョン5.9.4以降を推奨しています。

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8および9をサポートします。
この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2および3をサポートしています。

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 SP5をサポートしています。
この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 15 SP2をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions

バージョン: 1.0.5.2 (オプション)

ファイル名: cp047539.compsig; cp047539.exe

重要な注意!

HPEでは、このファームウェアとともに使用する場合は、ご使用のシステムに適用可能な次のドライバーのいずれかを推奨しています:

- HPE Blade Intel ixn Driver for Windows Server 2016、バージョン4.1.199.0以降
- HPE Blade Intel ixn Driver for Windows Server 2019、バージョン4.1.197.0(B)以降

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

この製品は、Windows Server 2012 R2をサポートしなくなりました。

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware

バージョン: 1.2.3 (オプション)

ファイル名: CP045076.compsig; CP045076.zip

重要な注意!

このファームウェアとともに使用する場合は、HPE Blade Intel ixgbenドライバー for VMware、バージョン2020.12.09以降を推奨しています。

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

拡張

この製品は現在、VMware vSphere 7.0 U1をサポートしています。
この製品は現在、VMware vSphere 6.7 U3をサポートしています。
この製品は現在、VMware vSphere 6.5 U3をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware

バージョン: 1.5.2 (オプション)

ファイル名: CP047647.compsig; CP047647.zip

重要な注意!

このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Blade QLogic NX2 10/20 GbE*マルチファンクションドライバー*for VMware*、バージョン2021.09.01以降を推奨しています。

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

この製品は、iSCSI機能ポートの最大伝送ユニット(MTU)の値がAHSログで0バイトと表示される問題に対処します。

拡張

この製品は現在、VMware ESXi 7.0 U3をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions

バージョン: 1.0.5.3 (オプション)

ファイル名: cp047538.compsig; cp047538.exe

重要な注意!

このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Blade QLogic NX2 10/20GbE*マルチファンクションドライバー*for Windows Server x64 Editions*、バージョン7.13.206.0以降を推奨しています。

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

この製品は、iSCSI機能ポートの最大伝送ユニット(MTU)の値がAHSログで0バイトと表示される問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux

バージョン: 1.5.2 (オプション)

ファイル名: firmware-nic-qlogic-nx2-bl-1.5.2-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-qlogic-nx2-bl-1.5.2-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

このパッケージのファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Blade QLogic NX2 10/20GbE Multifunction Drivers for Linux*、バージョン7.14.80-5以降を推奨しています。

事前要件

このパッケージは、ご使用のネットワークアダプターのための適切なドライバーがインストールされ、ファームウェアをアップデートする前にすべてのイーサネットポートをアップ(*ifup ethX* または *ifconfig ethX up*)している必要があります。

修正

この製品は、iSCSI機能ポートの最大伝送ユニット(MTU)の値がAHSログで0バイトと表示される問題に対処します。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 8 Update 4をサポートします。
この製品は現在、SuSE Linux Enterprise Server 15 SP3をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Bladeファームウェアフラッシュfor Emulexメザニンコンバージドネットワークアダプター - Microsoft Windows Server 2016/2019(x64)

バージョン: 2021.10.01 (推奨)

ファイル名: cp046757.compsig; cp046757.exe

重要な注意！

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|-------------------------------------|------|----------------------|-------------|-------------|-------------|
| HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター | 20Gb | 12.0.1277.0 | 12.0.1345.0 | 12.0.1269.0 | 12.0.1171.0 |
| HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター | 20Gb | 12.0.1277.0 | 12.0.1345.0 | 12.0.1269.0 | 12.0.1171.0 |

事前要件

ファームウェアアップデートは、インボックスまたはOut of Box(OOB)ドライバーを使用して実行できます。 サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

このファームウェアコンポーネントが開発用のSUMで識別される前に、HPEで提供しているEmulex NICドライバーをインストールする必要があります。最新のドライバーは、HPE.com Webサイト:<http://www.hpe.com/>から入手できます。

CoE/iSCSI OOBドライバーおよびFCoEイネーブルメントキットは、www.hpe.com/jp/servers/spp_dlのService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

拡張

ファイバーチャネルおよびコンバージドネットワークアダプターをアップデートする別々のコンポーネントがあります。これは、コンバージドネットワークアダプターアップデートコンポーネントです。

CNA(XE100シリーズ)ファームウェアをアップデートしました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|-------------------------------------|------|----------------------|-------------|-------------|-------------|
| HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター | 20Gb | 12.0.1277.0 | 12.0.1345.0 | 12.0.1269.0 | 12.0.1171.0 |
| HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター | 20Gb | 12.0.1277.0 | 12.0.1345.0 | 12.0.1269.0 | 12.0.1171.0 |

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Bladeファームウェアフラッシュfor Emulexメザニンコンバージドネットワークアダプター - VMware vSphere 6.5

バージョン: 2021.10.01 (推奨)

ファイル名: CP046753.compsig; CP046753.zip

重要な注意!

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|-------------------------------------|------|----------------------|-------------|-------------|-------------|
| HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター | 20Gb | 12.0.1277.0 | 12.0.1345.0 | 12.0.1269.0 | 12.0.1171.0 |
| HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター | 20Gb | 12.0.1277.0 | 12.0.1345.0 | 12.0.1269.0 | 12.0.1171.0 |

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

CNA(XE100シリーズ)ファームウェアをアップデートしました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|-------------------------------------|------|----------------------|-------------|-------------|-------------|
| HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター | 20Gb | 12.0.1277.0 | 12.0.1345.0 | 12.0.1269.0 | 12.0.1171.0 |
| HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター | 20Gb | 12.0.1277.0 | 12.0.1345.0 | 12.0.1269.0 | 12.0.1171.0 |

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Bladeファームウェアフラッシュfor Emulexメザニンコンバージドネットワークアダプター - VMware vSphere 6.7

バージョン: 2021.10.01 (推奨)

ファイル名: CP046754.compsig; CP046754.zip

重要な注意!

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|-------------------------------------|------|----------------------|-------------|-------------|-------------|
| HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター | 20Gb | 12.0.1277.0 | 12.0.1345.0 | 12.0.1269.0 | 12.0.1171.0 |
| HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター | 20Gb | 12.0.1277.0 | 12.0.1345.0 | 12.0.1269.0 | 12.0.1171.0 |

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

CNA(XE100シリーズ)ファームウェアをアップデートしました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|-------------------------------------|------|----------------------|-------------|-------------|-------------|
| HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター | 20Gb | 12.0.1277.0 | 12.0.1345.0 | 12.0.1269.0 | 12.0.1171.0 |
| HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター | 20Gb | 12.0.1277.0 | 12.0.1345.0 | 12.0.1269.0 | 12.0.1171.0 |

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Bladeファームウェアフラッシュfor Emulexメザニンコンバージドネットワークアダプター - VMware vSphere 7.0

バージョン: 2021.10.01 (推奨)

ファイル名: CP046755.compsig; CP046755.zip

重要な注意!

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|-------------------------------------|------|----------------------|-------------|-------------|-------------|
| HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター | 20Gb | 12.0.1277.0 | 12.0.1345.0 | 12.0.1269.0 | 12.0.1171.0 |
| HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター | 20Gb | 12.0.1277.0 | 12.0.1345.0 | 12.0.1269.0 | 12.0.1171.0 |

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

CNA(XE100シリーズ)ファームウェアをアップデートしました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|-------------------------------------|------|----------------------|-------------|-------------|-------------|
| HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター | 20Gb | 12.0.1277.0 | 12.0.1345.0 | 12.0.1269.0 | 12.0.1171.0 |
| HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター | 20Gb | 12.0.1277.0 | 12.0.1345.0 | 12.0.1269.0 | 12.0.1171.0 |

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Broadcom NetXtreme-Eオンライン ファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware

バージョン: 5.14.1 (推奨)

ファイル名: CP050625.compsig; CP050625.zip

重要な注意！

このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for VMware*、バージョン2022.03.04以降を推奨しています。

このソフトウェアパッケージには、下記のファームウェアバージョンを含むNVMイメージバージョン218.0.303000が含まれていません。

| NIC | Bootcodeバージョン | NCSIバージョン | MBAバージョン | UEFIバージョン | CCMバージョン | RoCEバージョン |
|---|---------------|-------------|------------|------------|------------|-----------|
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター | 218.0.229.0 | 218.0.173.0 | 218.0.38.0 | 218.0.93.0 | 218.0.28.0 | 218.0.5.0 |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター | | | | | | |
| HPE Ethernet 10/25Gb 2-port 631FLR-SFP28アダプター | | | | | | |
| HPE Ethernet 10/25Gb 2-port 631SFP28アダプター | | | | | | |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター | | | | | | |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+FLRアダプター | | | | | | |

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

- この製品は、いくらかのマルチキャストUDPストリームが送信された後にパケットが欠落する問題に対処します。
- この製品は、HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプターのポート識別子LEDの問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2-port 631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2-port 631FLR-SFP28アダプター

HPE Broadcom NetXtreme-Eオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64

バージョン: 1.12.1 (推奨)

ファイル名: firmware-nic-bcm-nxe-1.12.1-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-bcm-nxe-1.12.1-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

このファームウェアとともに使用する場合は、*Linux用HPE Broadcom NetXtreme-Eドライバー*、バージョン1.10.2-219.0.55.0以降を推奨しています。

事前要件

このパッケージは、ご使用のネットワークアダプターのための適切なドライバーがインストールされ、ファームウェアをアップデートする前にすべてのイーサネットポートをアップしている必要があります。

- コマンドラインに従ってイーサネットデバイスを起動します。

```
# ifup ethXまたはifconfig ethX upまたはwicked ifup ethX
```

ローカルシステムでアダプター用のネットワークインターフェイスが構成されない場合は、インターフェイスを起動するためのネットワーク構成ファイルを作成する必要があります。

- たとえば、sles15sp1では、`/etc/sysconfig/network/`の下に`ifcfg-ethX`ファイルを作成します

修正

- この製品は、いくらかのマルチキャストUDPストリームが送信された後にパケットが欠落する問題に対処します。
- この製品は、HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプターのポート識別子LEDの問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2-port 631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2-port 631FLR-SFP28アダプター

HPE Broadcom NetXtreme-Eオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Edition

バージョン: 5.2.6.0 (推奨)

ファイル名: cp050626.compsig; cp050626.exe

重要な注意!

このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E Driver for Windows*、バージョン219.0.44.0以降を推奨しています。

このソフトウェアパッケージには、下記のファームウェアバージョンを含むNVMイメージバージョン218.0.303000が含まれていません。

| NIC | Bootcodeバージョン | NCSIバージョン | MBAバージョン | UEFIバージョン | CCMバージョン | RoCEバージョン |
|---|---------------|-------------|------------|------------|------------|-----------|
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター | 218.0.229.0 | 218.0.173.0 | 218.0.38.0 | 218.0.93.0 | 218.0.28.0 | 218.0.5.0 |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター | | | | | | |
| HPE Ethernet 10/25Gb 2-port 631FLR-SFP28アダプター | | | | | | |
| HPE Ethernet 10/25Gb 2-port 631SFP28アダプター | | | | | | |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター | | | | | | |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター | | | | | | |

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

- この製品は、いくらかのマルチキャストUDPストリームが送信された後にパケットが欠落する問題に対処します。
- この製品は、HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプターのポート識別子LEDの問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2-port 631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2-port 631FLR-SFP28アダプター

HPE Broadcom NetXtreme-Eファームウェアパッケージfor BCM5741xアダプター

バージョン: 218.0.303000 (推奨)

ファイル名: bcm218.0.303000.Optimized.pup.fwpkg

重要な注意!

ファームウェアのインストールについては、OSとドライバーの依存関係はありません。

本番稼働中のファームウェア互換性のために、ファームウェアパッケージ製品で使用するドライバーとして以下を推奨しています。

- Windows Server用HPE Broadcom NetXtreme-Eドライバー、バージョン219.0.44.0以降
- Linux用HPE Broadcom NetXtreme-Eドライバー、バージョン1.10.2-219.0.55.0以降
- VMware用HPE Broadcom NetXtreme-Eドライバー、バージョン2022.03.04以降

修正

- この製品は、いくらかのマルチキャストUDPストリームが送信された後にパケットが欠落する問題に対処します。
- この製品は、HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプターのポート識別子LEDの問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

HPE Broadcom NX1オンライン ファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware

バージョン: 1.30.0 (推奨)

ファイル名: CP050425.compsig; CP050425.zip

重要な注意!

このソフトウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンを含むコンボイメージv20.19.51が含まれています:

| NIC | ブートコードバージョン | PXEバージョン | NCSIバージョン | UEFIバージョン | CCMバージョン |
|---------------------------------------|-------------|----------|-----------|-----------|------------|
| HPE Ethernet 1Gb 2ポート330iアダプター (22BD) | 2.10 | 21.6.0 | 1.5.33 | 21.6.28 | 218.0.10.0 |
| HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター (22BE) | | | | | |
| HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター | 1.46 | 21.6.0 | 1.5.33 | 21.6.28 | 218.0.10.0 |
| HPE Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター | | | | | |
| HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター (22E8) | 1.42 | 21.6.0 | 1.5.33 | 21.6.28 | 218.0.10.0 |
| HPE Ethernet 1Gb 2ポート332Tアダプター | | | | | |

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

この製品は、IMLログでのHPE 331iアダプターのリンクステータスに関する異常なレポートに対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 330iアダプター(22BD)

- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8)
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 332Tアダプター

HPE Broadcom NX1オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64

バージョン: 2.29.0 (推奨)

ファイル名: firmware-nic-broadcom-2.29.0-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-broadcom-2.29.0-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

このファームウェアとともに使用する場合は、HPE Broadcom tg3 Ethernetドライバー、バージョン3.139b以降を推奨しています。

事前要件

このパッケージでファームウェアをアップデートする前に、ご使用のネットワークアダプターのための適切なドライバーがインストールされ、すべてのイーサネットポートが起動している必要があります。

- コマンドラインに従ってイーサネットデバイスを起動します。

```
# ifup ethXまたはifconfig ethX upまたはwicked ifup ethX
```

ローカルシステムでアダプター用のネットワークインターフェイスが構成されない場合は、インターフェイスを起動するためのネットワーク構成ファイルを作成する必要があります。

- たとえば、sles15sp1では、/etc/sysconfig/network/の下にifcfg-ethXファイルを作成します

修正

この製品は、IMLログでのHPE 331iアダプターのリンクステータスに関する異常なレポートに対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 330iアダプター(22BD)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8)
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 332Tアダプター

HPE Broadcom NX1オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Edition

バージョン: 5.2.6.0 (推奨)

ファイル名: cp050426.compsig; cp050426.exe

重要な注意!

このファームウェアとともに使用する場合は、HPE Broadcom NX1 1Gbドライバーfor Windows Server x64 Editions、バージョン219.0.1.0C以降を推奨しています。

このソフトウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンを含むコンボイメージv20.19.51が含まれています:

| NIC | ブートコードバージョン | PXEバージョン | NCSIバージョン | UEFIバージョン | CCMバージョン |
|--|-------------|----------|-----------|-----------|------------|
| HPE Ethernet 1Gb 2ポート330iアダプター(22BD) | 2.10 | 21.6.0 | 1.5.33 | 21.6.28 | 218.0.10.0 |
| HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE) HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター HPE Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター | 1.46 | 21.6.0 | 1.5.33 | 21.6.28 | 218.0.10.0 |

| | | | | | |
|---------------------------------------|------|--------|--------|---------|------------|
| HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター (22E8) | 1.42 | 21.6.0 | 1.5.33 | 21.6.28 | 218.0.10.0 |
| HPE Ethernet 1Gb 2ポート332Tアダプター | | | | | |

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

この製品は、IMLログでのHPE 331iアダプターのリンクステータスに関する異常なレポートに対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 330iアダプター(22BD)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8)
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 332Tアダプター

HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 MCX512F-ACHTアダプター用Mellanoxファームウェアパッケージ (FWPKG)

バージョン: 16.32.1010 (推奨)

ファイル名: 16_32_1010-MCX512F-ACH_Ax_Bx.pldm.fwpkg

重要な注意!

ドライバーを含む特定のソフトウェアおよびドキュメントは、Mellanoxから提供されます。<http://www.mellanox.com/>のURLを選択した場合、HPE.comから移動します。Mellanoxのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードするには、<http://www.mellanox.com/>上の指示に従ってください。Mellanoxのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードした場合、Webサイトあるいは他で提供されているライセンス条項を含むMellanox社の使用許諾に従わなければいけません。HPE製品またはソリューションの購入の契約条件に従って、HPEがMellanoxのソフトウェアに保証規定を提供する場合を除いて、<http://www.mellanox.com/>からダウンロードしたいかなるソフトウェアおよびドキュメントの使用に関してHPEは責任を負いません。

このリリースの既知の問題のリストは、<https://docs.mellanox.com/display/ConnectX5Firmwarev16321010/Known+Issues>から入手できます。

事前要件

FWPKGは、アダプターにフラッシュされたファームウェアバージョンが16.27.1016以降の場合にのみ機能し、iLO5ファームウェアバージョンは2.30以降である必要があります。

修正

以下の問題点がバージョン16.32.1010で修正されました

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- INIのRX_LOS極性の定義が正しくないために、リンクステータスが誤って報告され、その結果リンクがダウンしました。
- 光モジュールの使用中にピアポートが停止すると、システムが応答しない状態になりました。
- rts2rts_qp移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合の無効なRNRタイムアウト。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- GetInventory NC-SIコマンドは、ファームウェアバージョンが0で始まっている場合に、その先頭の0xfを報告しました。
- PCIeレーンマージン機能の問題。
- SMがsl2vl madをクラスター内のノードに送信したときに、InfiniBandネットワークでの送信で数ミリ秒の一時的な中断が発生したsl2vl madに関連する問題。

拡張

重要: セキュリティ強化の機能改善 - このリリースには、重要な信頼性の向上とセキュリティ強化の機能改善が含まれています。HPEでは、デバイスのファームウェアのセキュリティと信頼性を向上させるために、デバイスのファームウェアをこのバージョンに

アップグレードすることを推奨しています。

バージョン16.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 関数ごとに作成できる作業キューリソース(QP、RQ、SQ ...)の最大数を設定するための新しいNvConfig/パラメーター LOG_MAX_QUEUEを追加しました。デフォルト値は2¹⁷です。
- NICが応答しない状態になることを防ぐために、パディングとシグネチャーの両方を使用するVFの機能をブロックしました。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- このDCIへのRDMA WRITEがサポートされていないことを示すヒントをDCIソフトウェアコンテキストでソフトウェアに公開することによる、ARフローを使用したDCTのパフォーマンスの向上。
- 設定とクエリのレート制限をホスト単位およびポート単位で有効にするQSHRアクセスレジスタのサポートを追加しました。
- ソフトウェアステアリングでこのリソースを直接管理できるように、ファームウェアでVXLANカプセル化展開用の新しいソフトウェアステアリングICMリソースを公開しました。
- VXLANカプセル化展開のためのソフトウェアステアリングに対する新しいICMリソースの公開を有効にしました。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- 高速リンクアップ機能を使用する場合のリンクアップ時間を改善しました。
- モジュールによってエラーコードが報告されない場合に、DSFP AOC(CMIS)v4のサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernetアダプター専用 | PSID |
|------------|---|---------------|
| P13188-B21 | HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX512F-ACHTアダプター | MT_0000000416 |

HPE Ethernet 100Gb 1ポートQSFP28 PCIe3 x16 MCX515A-CCATアダプター用Mellanoxファームウェアパッケージ(FWPKG)

バージョン: 16.32.1010 (推奨)

ファイル名: 16_32_1010-MCX515A-CCA_HPE_Ax.pldm.fwpkg

重要な注意!

InfiniBandモードとイーサネットモードの両方をサポートするPLDM対応VPI(Virtual Protocol Interconnect)アダプターの場合、すべてのファームウェアバージョンが2つの異なる形式でHPE.comで提供されます。

1. iLOを介してアップデート可能なHPE署名済みPLDMファームウェアパッケージ(.FWPKGファイル名拡張子)。
2. オペレーティングシステムからmstflintユーティリティを介してアップデート可能なファームウェアバイナリ(.binファイル名拡張子)。

好みに応じて、お使いの環境に適した適切なファームウェアファイル形式を選択してください。

免責条項: ドライバーを含む特定のソフトウェアおよびドキュメントは、NVIDIAから提供されます。 <http://www.nvidia.com/>のURLを選択した場合、HPE.comから移動します。NVIDIAのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードするには、<http://www.nvidia.com/>上の指示に従ってください。NVIDIAのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードした場合、Webサイトあるいは他で提供されているライセンス条項を含むNVIDIA社の使用許諾に従わなければいけません。HPE製品またはソリューションの購入の契約条件に従って、HPEがNVIDIAのソフトウェアに保証規定を提供する場合を除いて、<http://www.nvidia.com/>からダウンロードしたいかなるソフトウェアおよびドキュメントの使用に関してもHPEは責任を負いません。

このリリースの既知の問題のリストは、

<https://docs.nvidia.com/networking/display/ConnectX5Firmwarev16321010/Known+Issues>から入手できます。

事前要件

FWPKGは、アダプターにフラッシュされたファームウェアバージョンが16.27.1016以降の場合にのみ機能し、iLO5ファームウェアバージョンは2.30以降である必要があります。

修正

以下の問題点がバージョン16.32.1010で修正されました

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- INIのRX_LOS極性の定義が正しくないために、リンクステータスが誤って報告され、その結果リンクがダウンしました。

- 光モジュールの使用中にピアポートが停止すると、システムが応答しない状態になりました。
- rts2rts_qp移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合の無効なRNRタイムアウト。
- MAD APIからget_vport_madを呼び出したときに、致命的なアサート0x81C5が発生しました。ファームウェアは、グローバル関数番号を使用してvPortの数を計算しようとした。この問題を回避するために、関数番号に関する仮定を削除するようにAPIがアップデートされました。注記:この問題は、IBデバイスにのみ影響します。
- イベント中に、ストレスにより、ファームウェアがイベントを送信せずにvPortのArmホストをリセットしました。これにより、ソフトウェアがイベントを受信しなかったため、ソフトウェアのvPortの再装備が妨げられ、vPortにArmが設定されていなかったため、ファームウェアがイベントを送信しませんでした。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- GetInventory NC-SIコマンドは、ファームウェアバージョンが0で始まっている場合に、その先頭の0xfを報告しました。
- PCIeレーンマージン機能の問題。
- SMがsl2vl madをクラスター内のノードに送信したときに、InfiniBandネットワークでの送信で数ミリ秒の一時的な中断が発生したsl2vl madに関連する問題。

拡張

重要: セキュリティ強化の機能改善 - このリリースには、重要な信頼性の向上とセキュリティ強化の機能改善が含まれています。HPEでは、デバイスのファームウェアのセキュリティと信頼性を向上させるために、デバイスのファームウェアをこのバージョンにアップグレードすることを推奨しています。

バージョン16.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 専用MADによる不要なGMPクラスをブロックするためのサポートを追加しました。
- 関数ごとに作成できる作業キューリソース(QP、RQ、SQ ...)の最大数を設定するための新しいNvConfig/パラメーターLOG_MAX_QUEUEを追加しました。デフォルト値は2^17です。
- すべての輻輳制御MADに、それらが信頼できるソースからのものであることを認証するための輻輳制御キーを追加しました。
- フェイクSMPがSMとして認識されないように、権限のないホストからSMPを送信するオプション(サブネットマネージャーからQP0で送信されたMAD)をブロックするSMPファイアウォールを追加しました。
- ベンダー固有のMADクラス0x9は、ファームウェアでサポートされなくなりました。ファームウェアがそのようなMADを検出した場合、ファームウェアは"NOT SUPPORTED"エラーをユーザーに返します。
- NICが応答しない状態になることを防ぐために、パディングとシグネチャーの両方を使用するVFの機能をブロックしました。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- このDCIへのRDMA WRITEがサポートされていないことを示すヒントをDCIソフトウェアコンテキストでソフトウェアに公開することによる、ARフローを使用したDCTのパフォーマンスの向上。
- InfiniBandモードの場合の動的タイムアウトメカニズムのサポートを追加しました。
- 設定とクエリのレート制限をホスト単位およびポート単位で有効にするQSHRアクセスレジスタのサポートを追加しました。
- ソフトウェアステアリングでこのリソースを直接管理できるように、ファームウェアでVXLANカプセル化展開用の新しいソフトウェアステアリングICMリソースを公開しました。
- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。有効にするには:PF_NUM_OF_VF_VALIDはtrueである必要があり、PF_NUM_OF_VFはゼロ以外の値にする必要があります。
- mixlinkが(サブネット全体に対して)LIDによってアクセスレジスタを読み取り/書き込みできるようにするために、2つの新しいMADアクセスレジスタを追加しました。
- VXLANカプセル化展開のためのソフトウェアステアリングに対する新しいICMリソースの公開を有効にしました。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- 高速リンクアップ機能を使用する場合のリンクアップ時間を改善しました。
- ポートがETHとして設定されている場合に、VSTは使用できないため、1つのポートがETHとして構成され、他のポートがIBとして構成されている場合のデュアルポートアダプタカードでVSTを無効にしました。
- モジュールによってエラーコードが報告されない場合に、DSFP AOC(CMIS)v4のサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernetアダプター専用 | PSID |
|------------|---|--------------|
| P31246-B21 | HPE Ethernet 100Gb 1ポートQSFP28 PCIe3 x16 MCX515A-CCATアダプター | MT_000000591 |

HPE Ethernet 10Gb 2ポート548SFP+アダプター用オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 6.5)

バージョン: 1.0.6 (推奨)

ファイル名: CP050391.compsig; CP050391.zip

事前要件

ConnectX4ファームウェアバージョン14.28.1002では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題点がバージョン14.32.1010で修正されました:

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- 光モジュールの使用中にピアポートが停止すると、まれにシステムが応答しない状態になることがあります。
- 非対称VFが有効になっている場合は、パケットペーシングレートが使用されました。
- rts2rts_qpの移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合のRNRタイムアウトが正しくありません。
- ConnectX-4LXのIPSecフローでRSSに問題が発生することにより、パフォーマンスが低下します。このシナリオでは、SPIの最適化によって特定のホストからのパケットが同じCPUコアにハッシュされました。ConnectX-4 Lxアダプターカードのl4_typeに従ったSPIの最適化が無視されるように修正されました。
- GetInventory NC-SIコマンドは、ファームウェアバージョンが0で始まっている場合に、その先頭の0xfを報告しました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが14.32.1010にアップデートされました。

- P11338-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート548SFP+アダプター)

バージョン14.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 3つの新しいアサートフィルター(ヘルスバッファ、NVlog、FWトレース)が追加されました。重大度レベルが新しいフィルター以上の場合、アサーションが公開されます。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。有効にするには、PF_NUM_OF_VF_VALIDをtrueにし、PF_NUM_OF_VFをゼロ以外の値にする必要があります。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- 高速リンクアップ機能を使用する場合のリンクアップ時間を改善しました。
- ゼロタッチRoCE機能を有効にするために、slow_restartおよびslow_restart_idleパラメーターのサポートが追加されました。

サポートしているデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernetアダプター専用 | PSID |
|------------|-------------------------------------|---------------|
| P11338-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+アダプター | HPE0000000038 |

HPE Ethernet 10Gb 2ポート548SFP+アダプター用オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 6.7)

バージョン: 1.0.6 (推奨)

ファイル名: CP050392.compsig; CP050392.zip

事前要件

ConnectX4ファームウェアバージョン14.28.1002では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題点がバージョン14.32.1010で修正されました:

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- 光モジュールの使用中にピアポートが停止すると、まれにシステムが応答しない状態になることがあります。
- 非対称VFが有効になっている場合は、パケットペーシングレートが使用されました。
- rts2rts_qpの移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合のRNRタイムアウトが正しくありません。
- ConnectX-4LXのIPSecフローでRSSに問題が発生することにより、パフォーマンスが低下します。このシナリオでは、SPIの最適化によって特定のホストからのパケットが同じCPUコアにハッシュされました。ConnectX-4 Lxアダプターカードのl4_typeに従ったSPIの最適化が無視されるように修正されました。
- GetInventory NC-SIコマンドは、ファームウェアバージョンが0で始まっている場合に、その先頭の0xfを報告しました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが14.32.1010にアップデートされました。

- P11338-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート548SFP+アダプター)

バージョン14.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 3つの新しいアサートフィルター(ヘルスパッファ、NVlog、FWトレース)が追加されました。重大度レベルが新しいフィルター以上の場合、アサーションが公開されます。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。有効にするには、PF_NUM_OF_VF_VALIDをtrueにし、PF_NUM_OF_VFをゼロ以外の値にする必要があります。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- 高速リンクアップ機能を使用する場合のリンクアップ時間を改善しました。
- ゼロタッチRoCE機能を有効にするために、slow_restartおよびslow_restart_idleパラメーターのサポートが追加されました。

サポートしているデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernetアダプター専用 | PSID |
|------------|-------------------------------------|---------------|
| P11338-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+アダプター | HPE0000000038 |

HPE Ethernet 10Gb 2ポート548SFP+アダプター用オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 7.0)

バージョン: 1.0.3 (推奨)

ファイル名: CP050393.compsig; CP050393.zip

事前要件

ConnectX4ファームウェアバージョン14.28.1002では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題点がバージョン14.32.1010で修正されました:

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- 光モジュールの使用中にピアポートが停止すると、まれにシステムが応答しない状態になることがあります。
- 非対称VFが有効になっている場合は、パケットペーシングレートが使用されました。
- rts2rts_qpの移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合のRNRタイムアウトが正しくありません。
- ConnectX-4LXのIPSecフローでRSSに問題が発生することにより、パフォーマンスが低下します。このシナリオでは、SPIの最適化によって特定のホストからのパケットが同じCPUコアにハッシュされました。ConnectX-4 Lxアダプターカードのl4_typeに従ったSPIの最適化が無視されるように修正されました。
- GetInventory NC-SIコマンドは、ファームウェアバージョンが0で始まっている場合に、その先頭の0xfを報告しました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが14.32.1010にアップデートされました。

- P11338-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート548SFP+アダプター)

バージョン14.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 3つの新しいアサートフィルター(ヘルスパッファ、NVlog、FWトレース)が追加されました。重大度レベルが新しいフィルター以上の場合、アサーションが公開されます。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。有効にするには、PF_NUM_OF_VF_VALIDをtrueにし、PF_NUM_OF_VFをゼロ以外の値にする必要があります。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- 高速リンクアップ機能を使用する場合のリンクアップ時間を改善しました。
- ゼロタッチRoCE機能を有効にするために、slow_restartおよびslow_restart_idleパラメーターのサポートが追加されました。

サポートしているデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernetアダプター専用 | PSID |
|------------|-------------------------------------|---------------|
| P11338-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+アダプター | HPE0000000038 |

HPE Ethernet 10Gb 2ポート548SFP+アダプター用オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (Linux x86_64)

バージョン: 1.0.6 (推奨)

ファイル名: firmware-nic-mellanox-eth-only-mft-1.0.6-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-mellanox-eth-only-mft-1.0.6-1.1.x86_64.rpm

事前要件

ConnectX4-Lxファームウェアバージョン14.32.1010では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題点がバージョン14.32.1010で修正されました:

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- 光モジュールの使用中にピアポートが停止すると、まれにシステムが応答しない状態になることがあります。
- 非対称VFが有効になっている場合は、パケットペーシングレートが使用されました。
- rts2rts_qp移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合のRNRタイムアウトが正しくありません。
- ConnectX-4 LxのIPSecフローでのRSSの問題により、パフォーマンスが低下しました。このシナリオでは、SPIの最適化により、特定のホストからのパケットが同じCPUコアにハッシュされました。修正は、ConnectX-4LxアダプタカードのI4_typeに従ったSPI最適化を無視することでした。
- GetInventory NC-SIコマンドは、ファームウェアバージョンが0で始まっている場合に、その先頭の0xfを報告しました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが14.32.1010にアップデートされました。

- P11338-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート548SFP+アダプター)

バージョン14.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 3つの新しいアサートフィルター(ヘルスパッファァ、NVlog、FWトレース)が追加されました。重大度レベルが新しいフィルター以上の場合、アサーションが公開されます。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。PF_NUM_OF_VF_VALIDはtrueである必要があり、PF_NUM_OF_VFはゼロ以外の値にする必要があります。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- 高速リンクアップ機能を使用する場合のリンクアップ時間を改善しました。
- ゼロタッチRoCE機能を有効にするために、slow_restartおよびslow_restart_idleパラメーターのサポートが追加されました。

サポートしているデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernetアダプター専用 | PSID |
|------------|-------------------------------------|---------------|
| P11338-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+アダプター | HPE0000000038 |

HPE Ethernet 10Gb 2ポート548SFP+アダプター用オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (Windows x64)

バージョン: 1.0.0.6 (推奨)

事前要件

ConnectX4ファームウェアバージョン14.28.1002では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題点がバージョン14.32.1010で修正されました:

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- 光モジュールの使用中にピアポートが停止すると、まれにシステムが応答しない状態になることがあります。
- 非対称VFが有効になっている場合は、パケットペーシングレートが使用されました。
- rts2rts_qpの移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合のRNRタイムアウトが正しくありません。
- ConnectX-4LXのIPSecフローでRSSに問題が発生することにより、パフォーマンスが低下します。このシナリオでは、SPIの最適化によって特定のホストからのパケットが同じCPUコアにハッシュされました。ConnectX-4 Lxアダプターカードのl4_typeに従ったSPIの最適化が無視されるように修正されました。
- GetInventory NC-SIコマンドは、ファームウェアバージョンが0で始まっている場合に、その先頭の0xfを報告しました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが14.32.1010にアップデートされました。

- P11338-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート548SFP+アダプター)

バージョン14.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 3つの新しいアサートフィルター(ヘルスパッファァ、NVlog、FWトレース)が追加されました。重大度レベルが新しいフィルター以上の場合、アサーションが公開されます。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。有効にするには、PF_NUM_OF_VF_VALIDをtrueにし、PF_NUM_OF_VFをゼロ以外の値にする必要があります。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- 高速リンクアップ機能を使用する場合のリンクアップ時間を改善しました。
- ゼロタッチRoCE機能を有効にするために、slow_restartおよびslow_restart_idleパラメーターのサポートが追加されました。

サポートしているデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernetアダプター専用 | PSID |
|------------|-------------------------------------|---------------|
| P11338-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+アダプター | HPE0000000038 |

HPE Firmware Flash for Emulex Converged Network Adapters for Linux (x64)

バージョン: 2021.10.01 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-cna-emulex-2021.10.01-1.8.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-cna-emulex-2021.10.01-1.8.x86_64.rpm

重要な注意!

このコンポーネントはRHEL7u8、RHEL7u9、RHEL8u3、SLES12SP5、SLES15SP2の各OSでのみサポートされています。

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|-------------------------------------|------|----------------------|-------------|-------------|-------------|
| HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター | 20Gb | 12.0.1277.0 | 12.0.1345.0 | 12.0.1269.0 | 12.0.1171.0 |
| HPE CN1200E-Tデュアルポートアダプター | 20Gb | 12.0.1277.0 | 12.0.1345.0 | 12.0.1269.0 | 12.0.1171.0 |

事前要件

ファームウェアアップデートは、インボックスまたはOut of Box(OOB)ドライバーを使用して実行できます。サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

OOB NICドライバーは、http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dlのService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

追加の要件:

ファームウェアアップデートキットのインストール前にターゲット環境にlibsysfsまたはsysfsutilsパッケージをインストールしておく必要があります。存在していない場合、libsysfsまたはsysfsutilsパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。

コンポーネントがEmulex HBA/CNAを検出できるようにするために32-bit netlink library (libnl.so) がインストールされている環境が必要です

フラッシュエンジンを動作させるためにsyslogデーモンが実行されている環境が必要です

注記:FCoE/iSCSIプロトコルをサポートするデバイス上でプロトコルを有効にするには、適切なEmulex FCoE/iSCSIドライバーをインストールしてください。また、FCoEプロトコルは、HPE Emulexイネーブルメントキットがインストールされている必要があります。また、ドライバーおよびイネーブルメントキットは、http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dlのService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

イネーブルメントキットは、OSインストールメディアからlibHBAAPIパッケージをインストールしたターゲット環境を必要とします。

FCoEドライバーキットをインストールし、再起動してからイネーブルメントキットをインストールします。

拡張

このコンポーネントはRHEL7u8、RHEL7u9、RHEL8u3、SLES12SP5、SLES15SP2の各OSでのみサポートされています。

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|-------------------------------------|------|----------------------|-------------|-------------|-------------|
| HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター | 20Gb | 12.0.1277.0 | 12.0.1345.0 | 12.0.1269.0 | 12.0.1171.0 |
| HPE CN1200E-Tデュアルポートアダプター | 20Gb | 12.0.1277.0 | 12.0.1345.0 | 12.0.1269.0 | 12.0.1171.0 |

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 PCIe4 x16 MCX653105A-HDATアダプター用 Mellanoxファームウェアパッケージ(FWPKG)

バージョン: 20.32.1010 (推奨)

ファイル名: 20_32_1010-MCX653105A-HDA_HPE_Ax.pldm.fwpkg

重要な注意!

InfiniBandモードとイーサネットモードの両方をサポートするPLDM対応VPI(Virtual Protocol Interconnect)アダプターの場合、すべてのファームウェアバージョンが2つの異なる形式でHPE.comで提供されます。

1. iLOを介してアップデート可能なHPE署名済みPLDMファームウェアパッケージ(.FWPKGファイル名拡張子)。
2. オペレーティングシステムからmstflintユーティリティを介してアップデート可能なファームウェアバイナリ(.binファイル名拡張子)。

好みに応じて、お使いの環境に適した適切なファームウェアファイル形式を選択してください。

免責事項: ドライバーを含む特定のソフトウェアおよびドキュメントは、NVIDIAから提供されます。<http://www.nvidia.com/>のURLを選択した場合、HPE.comから移動します。NVIDIAのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードするには、<http://www.nvidia.com/>上の指示に従ってください。NVIDIAのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードした場合、Webサイトあるいは他で提供されているライセンス条項を含むNVIDIA社の使用許諾に従わなければいけません。HPE製品またはソリューションの購入の契約条件に従って、HPEがNVIDIAのソフトウェアに保証規定を提供する場合を除いて、<http://www.nvidia.com/>からダウンロードしたいかなるソフトウェアおよびドキュメントの使用に関してもHPEは責任を負いません。

このリリースの既知の問題のリストは、

<https://docs.nvidia.com/networking/display/ConnectX6Firmwarev20321010/Known+Issues>から入手できます。

事前要件

FWPKGは、アダプターにフラッシュされたファームウェアバージョンが20.27.1016以降の場合にのみ機能し、iLO5ファームウェアバージョンは2.30以降である必要があります。

修正

以下の問題点がバージョン20.32.1010で修正されました:

- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- AERレジスタでのPCIeスイッチアップストリームポートのPCIeリンクダウンの誤った表示。
- rts2rts_qp移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合の無効なRNRタイムアウト。
- 起動時のフラッシュ周波数が予想よりも低くなりました(50Mhz未満)。この問題は、ファームウェアがboot2でそれを通常の周波数に増加できるようにすることで修正されました。
- ハードウェアでのスライスのスタックにつながったDC QPフラッシュとDCパケットの間の競合状態。このような状況を回避するため、ファームウェアはQPフラッシュが完了するまでTCUドロップセットを保持します。
- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- INIのRX_LOS極性の定義が正しくないために、リンクステータスが誤って報告され、その結果リンクがダウンしました。

拡張

セキュリティ強化の機能改善: このリリースには、重要な信頼性の向上とセキュリティ強化の機能改善が含まれています。HPEでは、デバイスのファームウェアのセキュリティと信頼性を向上させるために、デバイスのファームウェアをこのリリースにアップグレードすることを推奨しています。

バージョン20.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 専用MADによる不要なGMPクラスをブロックするためのサポートを追加しました。
- 関数ごとに作成できる作業キューリソース(QP、RQ、SQ ...)の最大数を設定するための新しいNvConfig/パラメーターLOG_MAX_QUEUEを追加しました。デフォルト値は2^17です。
- すべての輻輳制御MADに、それらが信頼できるソースからのものであることを認証するための輻輳制御キーを追加しました。
- フェイクSMPがSMとして認識されないように、権限のないホストからSMPを送信するオプション(サブネットマネージャーからQP0で送信されたMAD)をブロックするSMPファイアウォールを追加しました。
- ベンダー固有のMADクラス0x9は、ファームウェアでサポートされなくなりました。ファームウェアがそのようなMADを検出した場合、ファームウェアは"NOT SUPPORTED"エラーをユーザーに返します。
- NICが応答しない状態になることを防ぐために、パディングとシグネチャーの両方を使用するVFの機能をブロックしました。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- このDCIへのRDMA WRITEがサポートされていないことを示すヒントをDCIソフトウェアコンテキストでソフトウェアに公開することによる、ARフローを使用したDCTのパフォーマンスの向上。
- InfiniBandモードの場合の動的タイムアウトメカニズムのサポートを追加しました。
- 設定とクエリのレート制限をホスト単位およびポート単位で有効にするQSHRアクセスレジスタのサポートを追加しました。
- ソフトウェアステアリングでこのリソースを直接管理できるように、ファームウェアでVXLANカプセル化展開用の新しいソフトウェアステアリングICMリソースを公開しました。
- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。有効にするには:PF_NUM_OF_VF_VALIDはtrueである必要があり、PF_NUM_OF_VFはゼロ以外の値にする必要があります。
- mlxlinkが(サブネット全体に対して)LIDによってアクセスレジスタを読み取り/書き込みできるようにするために、2つの新しいMADアクセスレジスタを追加しました。
- VXLANカプセル化展開のためのソフトウェアステアリングに対する新しいICMリソースの公開を有効にしました。
- モジュールによってエラーコードが報告されない場合に、DSFP AOC(CMIS)v4のサポートを追加しました。
- 使用されているモジュールの機能に従って、外部ループバック速度を制限しました。
- 有効なビットエラーレート(BER)の計算方法を変更しました。このため、有効なビットエラーレート(BER)の値はわずかに大きくなりますが、リンク品質はこの変更前と同じままです。

- このファームウェアバージョンには、次のPCIeの変更が含まれています。
 - DSPのACSポート番号フィールドとDSPのACSイーグレス制御ベクトルフィールドを修正しました。
 - PCIeスイッチのUSPでのVSCのサポートを追加しました。
 - PCIeスイッチのレガシー割り込みのマッピングを修正しました。
 - DSPのMRRS&MPS構成を修正しました。

サポートしているデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernetアダプター専用 | PSID |
|------------|---|---------------|
| P23664-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 PCIe4 x16 MCX653105A-HDATアダプター | MT_0000000451 |

HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 PCIe4 x16 OCP3 MCX653435A-HDAIアダプター用Mellanoxファームウェアパッケージ(FWPKG)

バージョン: 20.32.1010 (推奨)

ファイル名: 20_32_1010-MCX653435A-HDA_HPE_Ax.pldm.fwpkg

重要な注意!

InfiniBandモードとイーサネットモードの両方をサポートするPLDM対応VPI(Virtual Protocol Interconnect)アダプターの場合、すべてのファームウェアバージョンが2つの異なる形式でHPE.comで提供されます。

1. iLOを介してアップデート可能なHPE署名済みPLDMファームウェアパッケージ(.FWPKGファイル名拡張子)。
2. オペレーティングシステムからmstflintユーティリティを介してアップデート可能なファームウェアバイナリ(.binファイル名拡張子)。

好みに応じて、お使いの環境に適した適切なファームウェアファイル形式を選択してください。

免責条項: ドライバーを含む特定のソフトウェアおよびドキュメントは、NVIDIAから提供されます。 <http://www.nvidia.com/>のURLを選択した場合、HPE.comから移動します。NVIDIAのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードするには、<http://www.nvidia.com/>上の指示に従ってください。NVIDIAのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードした場合、Webサイトあるいは他で提供されているライセンス条項を含むNVIDIA社の使用許諾に従わなければいけません。HPE製品またはソリューションの購入の契約条件に従って、HPEがNVIDIAのソフトウェアに保証規定を提供する場合を除いて、<http://www.nvidia.com/>からダウンロードしたいかなるソフトウェアおよびドキュメントの使用に関してもHPEは責任を負いません。

このリリースの既知の問題のリストは、

<https://docs.nvidia.com/networking/display/ConnectX6Firmwarev20321010/Known+Issues>から入手できます。

事前要件

FWPKGは、アダプターにフラッシュされたファームウェアバージョンが20.27.1016以降の場合にのみ機能し、iLO5ファームウェアバージョンは2.30以降である必要があります。

修正

以下の問題点がバージョン20.32.1010で修正されました:

- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- AERレジスタでのPCIeスイッチアップストリームポートのPCIeリンクダウンの誤った表示。
- rts2rts_qp移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合の無効なRNRタイムアウト。
- 起動時のフラッシュ周波数が予想よりも低くなりました(50Mhz未満)。この問題は、ファームウェアがboot2でそれを通常の周波数に増加できるようにすることで修正されました。
- ハードウェアでのスライスのスタックにつながったDC QPフラッシュとDCパケットの間の競合状態。このような状況を回避するため、ファームウェアはQPフラッシュが完了するまでTCUドロップセットを保持します。
- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- INIのRX_LOS極性の定義が正しくないために、リンクステータスが誤って報告され、その結果リンクがダウンしました。

拡張

セキュリティ強化の機能改善:このリリースには、重要な信頼性の向上とセキュリティ強化の機能改善が含まれています。HPEでは、デバイスのファームウェアのセキュリティと信頼性を向上させるために、デバイスのファームウェアをこのリリースにアップグレードすることを推奨しています。

バージョン20.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 専用MADによる不要なGMPクラスをブロックするためのサポートを追加しました。
- 関数ごとに作成できる作業キューリソース(QP、RQ、SQ ...)の最大数を設定するための新しいNvConfigパラメーターLOG_MAX_QUEUEを追加しました。デフォルト値は2¹⁷です。
- すべての輻輳制御MADに、それらが信頼できるソースからのものであることを認証するための輻輳制御キーを追加しました。
- フェイクSMPがSMとして認識されないように、権限のないホストからSMPを送信するオプション(サブネットマネージャーからQP0で送信されたMAD)をブロックするSMPファイアウォールを追加しました。
- ベンダー固有のMADクラス0x9は、ファームウェアでサポートされなくなりました。ファームウェアがそのようなMADを検出した場合、ファームウェアは"NOT SUPPORTED"エラーをユーザーに返します。
- NICが応答しない状態になることを防ぐために、パディングとシグネチャーの両方を使用するVFの機能をブロックしました。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- このDCIへのRDMA WRITEがサポートされていないことを示すヒントをDCIソフトウェアコンテキストでソフトウェアに公開することによる、ARフローを使用したDCTのパフォーマンスの向上。
- InfiniBandモードの場合の動的タイムアウトメカニズムのサポートを追加しました。
- 設定とクエリのレート制限をホスト単位およびポート単位で有効にするQSHRアクセスレジスタのサポートを追加しました。
- ソフトウェアステアリングでこのリソースを直接管理できるように、ファームウェアでVXLANカプセル化展開用の新しいソフトウェアステアリングICMリソースを公開しました。
- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。有効にするには:PF_NUM_OF_VF_VALIDはtrueである必要があり、PF_NUM_OF_VFはゼロ以外の値にする必要があります。
- mixlinkが(サブネット全体に対して)LIDによってアクセスレジスタを読み取り/書き込みできるようにするために、2つの新しいMADアクセスレジスタを追加しました。
- VXLANカプセル化展開のためのソフトウェアステアリングに対する新しいICMリソースの公開を有効にしました。
- モジュールによってエラーコードが報告されない場合に、DSFP AOC(CMIS)v4のサポートを追加しました。
- 使用されているモジュールの機能に従って、外部ループバック速度を制限しました。
- 有効なビットエラーレート(BER)の計算方法を変更しました。このため、有効なビットエラーレート(BER)の値はわずかに大きくなりますが、リンク品質はこの変更前と同じままです。
- このファームウェアバージョンには、次のPCIeの変更が含まれています。
 - DSPのACSポート番号フィールドとDSPのACSイーグレス制御ベクトルフィールドを修正しました。
 - PCIeスイッチのUSPでのVSCのサポートを追加しました。
 - PCIeスイッチのレガシー割り込みのマッピングを修正しました。
 - DSPのMRRS&MPS構成を修正しました。

サポートしているデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernetアダプター専用 | PSID |
|------------|--|---------------|
| P31323-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 PCIe4 x16 OCP3 MCX653435A-HDAIアダプター | MT_0000000592 |

HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 2ポートQSFP56 PCIe4 x16 MCX653106A-HDATアダプター用 Mellanoxファームウェアパッケージ(FWPKG)

バージョン: 20.32.1010 (推奨)

ファイル名: 20_32_1010-MCX653106A-HDA_HPE_Ax.pldm.fwpkg

重要な注意!

InfiniBandモードとイーサネットモードの両方をサポートするPLDM対応VPI(Virtual Protocol Interconnect)アダプターの場合、すべてのファームウェアバージョンが2つの異なる形式でHPE.comで提供されます。

1. iLOを介してアップデート可能なHPE署名済みPLDMファームウェアパッケージ(.FWPKGファイル名拡張子)。
2. オペレーティングシステムからmstflintユーティリティを介してアップデート可能なファームウェアバイナリ(.binファイル名拡張子)。

好みに応じて、お使いの環境に適した適切なファームウェアファイル形式を選択してください。

ConnectX-6 VPIは、次の組み合わせマトリックスに従って、1つのポートをInfiniBandとして、もう1つのポートをイーサネットとして設定することをサポートします。

| ポート#2 - InfiniBand | | | | |
|--------------------|------------|-------|-------|------|
| ポート#1 - イーサネット | HDR/HDR100 | EDR | FDR | QDR |
| 200GbE/50GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |
| 100GbE/25GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |
| 40GbE/10GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |
| 1GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |

| ポート#2 - イーサネット | | | | |
|--------------------|--------------|--------------|-------------|-------|
| ポート#1 - InfiniBand | 200GbE/50GbE | 100GbE/25GbE | 40GbE/10GbE | 1GbE |
| HDR / HDR100 | サポート | サポート | 未サポート | サポート |
| EDR | サポート | サポート | 未サポート | サポート |
| FDR | 未サポート | 未サポート | 未サポート | 未サポート |
| QDR/SDR | サポート | サポート | 未サポート | サポート |

免責条項: ドライバーを含む特定のソフトウェアおよびドキュメントは、NVIDIAから提供されます。<http://www.nvidia.com/>のURLを選択した場合、HPE.comから移動します。NVIDIAのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードするには、<http://www.nvidia.com/>上の指示に従ってください。NVIDIAのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードした場合、Webサイトあるいは他で提供されているライセンス条項を含むNVIDIA社の使用許諾に従わなければいけません。HPE製品またはソリューションの購入の契約条件に従って、HPEがNVIDIAのソフトウェアに保証規定を提供する場合を除いて、<http://www.nvidia.com/>からダウンロードしたいいかなるソフトウェアおよびドキュメントの使用に関してもHPEは責任を負いません。

このリリースの既知の問題のリストは、<https://docs.nvidia.com/networking/display/ConnectX6Firmwarev20321010/Known+Issues>から入手できます。

事前要件

FWPKGは、アダプターにフラッシュされたファームウェアバージョンが20.27.1016以降の場合にのみ機能し、iLO5ファームウェアバージョンは2.30以降である必要があります。

修正

以下の問題点がバージョン20.32.1010で修正されました:

- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- AERレジスタでのPCIeスイッチアップストリームポートのPCIeリンクダウンの誤った表示。
- rts2rts_qp移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合の無効なRNRタイムアウト。
- 起動時のフラッシュ周波数が予想よりも低くなりました(50Mhz未満)。この問題は、ファームウェアがboot2でそれを通常の周波数に増加できるようにすることで修正されました。
- ハードウェアでのスライスのスタックにつながったDC QPフラッシュとDCパケットの間の競合状態。このような状況を回避するため、ファームウェアはQPフラッシュが完了するまでTCUドロップセットを保持します。
- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- INIのRX_LOS極性の定義が正しくないために、リンクステータスが誤って報告され、その結果リンクがダウンしました。

拡張

セキュリティ強化の機能改善: このリリースには、重要な信頼性の向上とセキュリティ強化の機能改善が含まれています。HPEでは、デバイスのファームウェアのセキュリティと信頼性を向上させるために、デバイスのファームウェアをこのリリースにアップグレードすることを推奨しています。

バージョン20.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 専用MADによる不要なGMPクラスをブロックするためのサポートを追加しました。
- 関数ごとに作成できる作業キューリソース(QP、RQ、SQ ...)の最大数を設定するための新しいNvConfig/パラメーター LOG_MAX_QUEUEを追加しました。デフォルト値は2^17です。
- すべての輻輳制御MADに、それらが信頼できるソースからのものであることを認証するための輻輳制御キーを追加しました。
- フェイクSMPがSMとして認識されないように、権限のないホストからSMPを送信するオプション(サブネットマネージャーからQP0で送信されたMAD)をブロックするSMPファイアウォールを追加しました。
- ベンダー固有のMADクラス0x9は、ファームウェアでサポートされなくなりました。ファームウェアがそのようなMADを検出した場合、ファームウェアは"NOT SUPPORTED"エラーをユーザーに返します。
- NICが応答しない状態になることを防ぐために、パディングとシグネチャーの両方を使用するVFの機能をブロックしました。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- このDCIへのRDMA WRITEがサポートされていないことを示すヒントをDCIソフトウェアコンテキストでソフトウェアに公開することによる、ARフローを使用したDCTのパフォーマンスの向上。
- InfiniBandモードの場合の動的タイムアウトメカニズムのサポートを追加しました。
- 設定とクエリのレート制限をホスト単位およびポート単位で有効にするQSHRアクセスレジスタのサポートを追加しました。
- ソフトウェアステアリングでこのリソースを直接管理できるように、ファームウェアでVXLANカプセル化展開用の新しいソフトウェアステアリングICMリソースを公開しました。
- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。有効にするには:PF_NUM_OF_VF_VALIDはtrueである必要があり、PF_NUM_OF_VFはゼロ以外の値にする必要があります。
- mixlinkが(サブネット全体に対して)LIDによってアクセスレジスタを読み取り/書き込みできるようにするために、2つの新しいMADアクセスレジスタを追加しました。
- VXLANカプセル化展開のためのソフトウェアステアリングに対する新しいICMリソースの公開を有効にしました。
- モジュールによってエラーコードが報告されない場合に、DSFP AOC(CMIS)v4のサポートを追加しました。
- 使用されているモジュールの機能に従って、外部ループバック速度を制限しました。
- 有効なビットエラーレート(BER)の計算方法を変更しました。このため、有効なビットエラーレート(BER)の値はわずかに大きくなりますが、リンク品質はこの変更前と同じままです。
- このファームウェアバージョンには、次のPCIeの変更が含まれています。
 - DSPのACSポート番号フィールドとDSPのACSイーグレス制御ベクトルフィールドを修正しました。
 - PCIeスイッチのUSPでのVSCのサポートを追加しました。
 - PCIeスイッチのレガシー割り込みのマッピングを修正しました。
 - DSPのMRRS&MPS構成を修正しました。

サポートしているデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernetアダプター専用 | PSID |
|------------|---|---------------|
| P31324-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 2ポートQSFP56 PCIe4 x16 MCX653106A-HDATアダプター | MT_0000000594 |

HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 2ポートQSFP56 PCIe4 x16 OCP3 MCX653436A-HDAIアダプター専用Mellanoxファームウェアパッケージ(FWPKG)

バージョン: 20.32.1010 (推奨)

ファイル名: 20_32_1010-MCX653436A-HDA_HPE_Ax.pldm.fwpkg

重要な注意!

InfiniBandモードとイーサネットモードの両方をサポートするPLDM対応VPI(Virtual Protocol Interconnect)アダプターの場合、すべてのファームウェアバージョンが2つの異なる形式でHPE.comで提供されます。

1. iLOを介してアップデート可能なHPE署名済みPLDMファームウェアパッケージ(.FWPKGファイル名拡張子)。
2. オペレーティングシステムからmstflintユーティリティを介してアップデート可能なファームウェアバイナリ(.binファイル名拡張子)。

好みに応じて、お使いの環境に適した適切なファームウェアファイル形式を選択してください。

ConnectX-6 VPIは、次の組み合わせマトリックスに従って、1つのポートをInfiniBandとして、もう1つのポートをイーサネットとして設定することをサポートします。

| ポート#2 - InfiniBand | | | | |
|--------------------|------------|-----|-----|-----|
| ポート#1 - イーサネット | HDR/HDR100 | EDR | FDR | QDR |

| | | | | |
|--------------|------|-------|-------|------|
| 200GbE/50GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |
| 100GbE/25GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |
| 40GbE/10GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |
| 1GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |

| ポート#2 - イーサネット | | | | |
|--------------------|--------------|--------------|-------------|-------|
| ポート#1 - InfiniBand | 200GbE/50GbE | 100GbE/25GbE | 40GbE/10GbE | 1GbE |
| HDR / HDR100 | サポート | サポート | 未サポート | サポート |
| EDR | サポート | サポート | 未サポート | サポート |
| FDR | 未サポート | 未サポート | 未サポート | 未サポート |
| QDR/SDR | サポート | サポート | 未サポート | サポート |

免責条項: ドライバーを含む特定のソフトウェアおよびドキュメントは、NVIDIAから提供されます。<http://www.nvidia.com/>のURLを選択した場合、HPE.comから移動します。NVIDIAのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードするには、<http://www.nvidia.com/>上の指示に従ってください。NVIDIAのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードした場合、Webサイトあるいは他で提供されているライセンス条項を含むNVIDIA社の使用許諾に従わなければなりません。HPE製品またはソリューションの購入の契約条件に従って、HPEがNVIDIAのソフトウェアに保証規定を提供する場合を除いて、<http://www.nvidia.com/>からダウンロードしたいかなるソフトウェアおよびドキュメントの使用に関してもHPEは責任を負いません。

このリリースの既知の問題のリストは、<https://docs.nvidia.com/networking/display/ConnectX6Firmwarev20321010/Known+Issues>から入手できます。

事前要件

FWPKGは、アダプターにフラッシュされたファームウェアバージョンが20.27.1016以降の場合にのみ機能し、iLO5ファームウェアバージョンは2.30以降である必要があります。

修正

以下の問題点がバージョン20.32.1010で修正されました:

- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- AERレジスタでのPCIeスイッチアップストリームポートのPCIeリンクダウンの誤った表示。
- rts2rts_qp移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合の無効なRNRタイムアウト。
- 起動時のフラッシュ周波数が予想よりも低くなりました(50Mhz未満)。この問題は、ファームウェアがboot2でそれを通常の周波数に増加できるようにすることで修正されました。
- ハードウェアでのスライスのスタックにつながったDC QPフラッシュとDCパケットの間の競合状態。このような状況を回避するため、ファームウェアはQPフラッシュが完了するまでTCUドロップセットを保持します。
- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- INIのRX_LOS極性の定義が正しくないために、リンクステータスが誤って報告され、その結果リンクがダウンしました。

拡張

セキュリティ強化の機能改善:このリリースには、重要な信頼性の向上とセキュリティ強化の機能改善が含まれています。HPEでは、デバイスのファームウェアのセキュリティと信頼性を向上させるために、デバイスのファームウェアをこのリリースにアップグレードすることを推奨しています。

バージョン20.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 専用MADによる不要なGMPクラスをブロックするためのサポートを追加しました。
- 関数ごとに作成できる作業キューリソース(QP、RQ、SQ ...)の最大数を設定するための新しいNvConfigパラメーターLOG_MAX_QUEUEを追加しました。デフォルト値は2^17です。

- すべての輻輳制御MADに、それらが信頼できるソースからのものであることを認証するための輻輳制御キーを追加しました。
- フェイクSMPがSMとして認識されないように、権限のないホストからSMPを送信するオプション(サブネットマネージャーからQP0で送信されたMAD)をブロックするSMPファイアウォールを追加しました。
- ベンダー固有のMADクラス0x9は、ファームウェアでサポートされなくなりました。ファームウェアがそのようなMADを検出した場合、ファームウェアは"NOT SUPPORTED"エラーをユーザーに返します。
- NICが応答しない状態になることを防ぐために、パディングとシグネチャーの両方を使用するVFの機能をブロックしました。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- このDCIへのRDMA WRITEがサポートされていないことを示すヒントをDCIソフトウェアコンテキストでソフトウェアに公開することによる、ARフローを使用したDCTのパフォーマンスの向上。
- InfiniBandモードの場合の動的タイムアウトメカニズムのサポートを追加しました。
- 設定とクエリのレート制限をホスト単位およびポート単位で有効にするQSHRアクセスレジスタのサポートを追加しました。
- ソフトウェアステアリングでこのリソースを直接管理できるように、ファームウェアでVXLANカプセル化展開用の新しいソフトウェアステアリングICMリソースを公開しました。
- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。有効にするには:PF_NUM_OF_VF_VALIDはtrueである必要があり、PF_NUM_OF_VFはゼロ以外の値にする必要があります。
- mlxlinkが(サブネット全体に対して)LIDによってアクセスレジスタを読み取り/書き込みできるようにするために、2つの新しいMADアクセスレジスタを追加しました。
- VXLANカプセル化展開のためのソフトウェアステアリングに対する新しいICMリソースの公開を有効にしました。
- モジュールによってエラーコードが報告されない場合に、DSFP AOC(CMIS)v4のサポートを追加しました。
- 使用されているモジュールの機能に従って、外部ループバック速度を制限しました。
- 有効なビットエラーレート(BER)の計算方法を変更しました。このため、有効なビットエラーレート(BER)の値はわずかに大きくなりますが、リンク品質はこの変更前と同じままです。
- このファームウェアバージョンには、次のPCIeの変更が含まれています。
 - DSPのACSポート番号フィールドとDSPのACSイーグレス制御ベクトルフィールドを修正しました。
 - PCIeスイッチのUSPでのVSCのサポートを追加しました。
 - PCIeスイッチのレガシー割り込みのマッピングを修正しました。
 - DSPのMRRS&MPS構成を修正しました。

サポートしているデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernetアダプター専用 | PSID |
|------------|--|---------------|
| P31348-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 2ポートPCIe4 x16 OCP3 QSFP56 MCX653436A-HDAIアダプター | MT_0000000593 |

HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポートQSFP56 PCIe4 x16 MCX653105A-ECATアダプター用Mellanoxファームウェアパッケージ(FWPKG)

バージョン: 20.32.1010 (推奨)

ファイル名: 20_32_1010-MCX653105A-ECA_HPE_Ax.pldm.fwpkg

重要な注意!

InfiniBandモードとイーサネットモードの両方をサポートするPLDM対応VPI(Virtual Protocol Interconnect)アダプターの場合、すべてのファームウェアバージョンが2つの異なる形式でHPE.comで提供されます。

1. iLOを介してアップデート可能なHPE署名済みPLDMファームウェアパッケージ(.FWPKGファイル名拡張子)。
2. オペレーティングシステムからmstflintユーティリティを介してアップデート可能なファームウェアバイナリ(.binファイル名拡張子)。

好みに応じて、お使いの環境に適した適切なファームウェアファイル形式を選択してください。

免責条項: ドライバーを含む特定のソフトウェアおよびドキュメントは、NVIDIAから提供されます。 <http://www.nvidia.com/>のURLを選択した場合、HPE.comから移動します。NVIDIAのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードするには、<http://www.nvidia.com/>上の指示に従ってください。NVIDIAのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードした場合、Webサイトあるいは他で提供されているライセンス条項を含むNVIDIA社の使用許諾に従わなければいけません。HPE製品またはソリューションの購入の契約条件に従って、HPEがNVIDIAのソフトウェアに保証規定を提供する場合を除いて、<http://www.nvidia.com/>からダウンロードしたいいかなるソフトウェアおよびドキュメントの使用に関してもHPEは責任を負いません。

このリリースの既知の問題のリストは、

<https://docs.nvidia.com/networking/display/ConnectX6Firmwarev20321010/Known+Issues>から入手できます。

事前要件

FWPKGは、アダプターにフラッシュされたファームウェアバージョンが20.27.1016以降の場合にのみ機能し、iLO5ファームウェアバージョンは2.30以降である必要があります。

修正

以下の問題点がバージョン20.32.1010で修正されました:

- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- AERレジスタでのPCIeスイッチアップストリームポートのPCIeリンクダウンの誤った表示。
- rts2rts_qp移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合の無効なRNRタイムアウト。
- 起動時のフラッシュ周波数が予想よりも低くなりました(50MHz未満)。この問題は、ファームウェアがboot2でそれを通常の周波数に増加できるようにすることで修正されました。
- ハードウェアでのスライスのスタックにつながったDC QPフラッシュとDCパケットの間の競合状態。このような状況を回避するため、ファームウェアはQPフラッシュが完了するまでTCUドロップセットを保持します。
- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- INIのRX_LOS極性の定義が正しくないために、リンクステータスが誤って報告され、その結果リンクがダウンしました。

拡張

セキュリティ強化の機能改善:このリリースには、重要な信頼性の向上とセキュリティ強化の機能改善が含まれています。HPEでは、デバイスのファームウェアのセキュリティと信頼性を向上させるために、デバイスのファームウェアをこのリリースにアップグレードすることを推奨しています。

バージョン20.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 専用MADによる不要なGMPクラスをブロックするためのサポートを追加しました。
- 関数ごとに作成できる作業キューリソース(QP、RQ、SQ ...)の最大数を設定するための新しいNvConfig/パラメーターLOG_MAX_QUEUEを追加しました。デフォルト値は2^17です。
- すべての輻輳制御MADに、それらが信頼できるソースからのものであることを認証するための輻輳制御キーを追加しました。
- フェイクSMPがSMとして認識されないように、権限のないホストからSMPを送信するオプション(サブネットマネージャーからQP0で送信されたMAD)をブロックするSMPファイアウォールを追加しました。
- ベンダー固有のMADクラス0x9は、ファームウェアでサポートされなくなりました。ファームウェアがそのようなMADを検出した場合、ファームウェアは"NOT SUPPORTED"エラーをユーザーに返します。
- NICが応答しない状態になることを防ぐために、パディングとシグネチャーの両方を使用するVFの機能をブロックしました。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- このDCIへのRDMA WRITEがサポートされていないことを示すヒントをDCIソフトウェアコンテキストでソフトウェアに公開することによる、ARフローを使用したDCTのパフォーマンスの向上。
- InfiniBandモードの場合の動的タイムアウトメカニズムのサポートを追加しました。
- 設定とクエリのレート制限をホスト単位およびポート単位で有効にするQSHRアクセスレジスタのサポートを追加しました。
- ソフトウェアステアリングでこのリソースを直接管理できるように、ファームウェアでVXLANカプセル化展開用の新しいソフトウェアステアリングICMリソースを公開しました。
- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。有効にするには:PF_NUM_OF_VF_VALIDはtrueである必要があり、PF_NUM_OF_VFはゼロ以外の値にする必要があります。
- mixlinkが(サブネット全体に対して)LIDによってアクセスレジスタを読み取り/書き込みできるようにするために、2つの新しいMADアクセスレジスタを追加しました。
- VXLANカプセル化展開のためのソフトウェアステアリングに対する新しいICMリソースの公開を有効にしました。
- モジュールによってエラーコードが報告されない場合に、DSFP AOC(CMIS)v4のサポートを追加しました。
- 使用されているモジュールの機能に従って、外部ループバック速度を制限しました。
- 有効なビットエラーレート(BER)の計算方法を変更しました。このため、有効なビットエラーレート(BER)の値はわずかに大きくなりますが、リンク品質はこの変更前と同じままです。
- このファームウェアバージョンには、次のPCIeの変更が含まれています。
 - DSPのACSポート番号フィールドとDSPのACSイーグレス制御ベクトルフィールドを修正しました。
 - PCIeスイッチのUSPでのVSCのサポートを追加しました。
 - PCIeスイッチのレガシー割り込みのマッピングを修正しました。
 - DSPのMRRS&MPS構成を修正しました。

サポートしているデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernetアダプター専用 | PSID |
|------------|--|---------------|
| P23665-B21 | HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポートQSFP56 PCIe4 x16 MCX653105A-ECATアダプター | MT_0000000452 |

HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 PCIe4 x16 MCX653106A-ECATアダプター 用Mellanoxファームウェアパッケージ(FWPKG)

バージョン: 20.32.1010 (推奨)

ファイル名: 20_32_1010-MCX653106A-ECA_HPE_Ax.pldm.fwpkg

重要な注意!

InfiniBandモードとイーサネットモードの両方をサポートするPLDM対応VPI(Virtual Protocol Interconnect)アダプターの場合、すべてのファームウェアバージョンが2つの異なる形式でHPE.comで提供されます。

- iLOを介してアップデート可能なHPE署名済みPLDMファームウェアパッケージ(.FWPKGファイル名拡張子)。
- オペレーティングシステムからmstflintユーティリティを介してアップデート可能なファームウェアバイナリ(.binファイル名拡張子)。

好みに応じて、お使いの環境に適した適切なファームウェアファイル形式を選択してください。

ConnectX-6 VPIは、次の組み合わせマトリックスに従って、1つのポートをInfiniBandとして、もう1つのポートをイーサネットとして設定することをサポートします。

| ポート#2 - InfiniBand | | | | |
|--------------------|------------|-------|-------|------|
| ポート#1 - イーサネット | HDR/HDR100 | EDR | FDR | QDR |
| 50GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |
| 100GbE/25GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |
| 40GbE/10GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |
| 1GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |

| ポート#2 - イーサネット | | | | |
|--------------------|-------|--------------|-------------|-------|
| ポート#1 - InfiniBand | 50GbE | 100GbE/25GbE | 40GbE/10GbE | 1GbE |
| HDR / HDR100 | サポート | サポート | 未サポート | サポート |
| EDR | サポート | サポート | 未サポート | サポート |
| FDR | 未サポート | 未サポート | 未サポート | 未サポート |
| QDR/SDR | サポート | サポート | 未サポート | サポート |

免責事項: ドライバーを含む特定のソフトウェアおよびドキュメントは、NVIDIAから提供されます。 <http://www.nvidia.com/>のURLを選択した場合、HPE.comから移動します。NVIDIAのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードするには、<http://www.nvidia.com/>上の指示に従ってください。NVIDIAのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードした場合、Webサイトあるいは他で提供されているライセンス条項を含むNVIDIA社の使用許諾に従わなければいけません。HPE製品またはソリューションの購入の契約条件に従って、HPEがNVIDIAのソフトウェアに保証規定を提供する場合を除いて、<http://www.nvidia.com/>からダウンロードしたいかなるソフトウェアおよびドキュメントの使用に関してもHPEは責任を負いません。

このリリースの既知の問題のリストは、

<https://docs.nvidia.com/networking/display/ConnectX6Firmwarev20321010/Known+Issues>から入手できます。

事前要件

FWPKGは、アダプターにフラッシュされたファームウェアバージョンが20.27.1016以降の場合にのみ機能し、iLO5ファームウェアバージョンは2.30以降である必要があります。

修正

以下の問題点がバージョン20.32.1010で修正されました:

- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- AERレジスタでのPCIeスイッチアップストリームポートのPCIeリンクダウンの誤った表示。
- rts2rts_qp移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合の無効なRNRタイムアウト。
- 起動時のフラッシュ周波数が予想よりも低くなりました(50MHz未満)。この問題は、ファームウェアがboot2でそれを通常の周波数に増加できるようにすることで修正されました。
- ハードウェアでのスライスのスタックにつながったDC QPフラッシュとDCパケットの間の競合状態。このような状況を回避するため、ファームウェアはQPフラッシュが完了するまでTCUドロップセットを保持します。
- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- INIのRX_LOS極性の定義が正しくないために、リンクステータスが誤って報告され、その結果リンクがダウンしました。

拡張

セキュリティ強化の機能改善:このリリースには、重要な信頼性の向上とセキュリティ強化の機能改善が含まれています。HPEでは、デバイスのファームウェアのセキュリティと信頼性を向上させるために、デバイスのファームウェアをこのリリースにアップグレードすることを推奨しています。

バージョン20.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 専用MADによる不要なGMPクラスをブロックするためのサポートを追加しました。
- 関数ごとに作成できる作業キューリソース(QP、RQ、SQ ...)の最大数を設定するための新しいNvConfigパラメーターLOG_MAX_QUEUEを追加しました。デフォルト値は2^17です。
- すべての輻輳制御MADに、それらが信頼できるソースからのものであることを認証するための輻輳制御キーを追加しました。
- フェイクSMPがSMとして認識されないように、権限のないホストからSMPを送信するオプション(サブネットマネージャーからQP0で送信されたMAD)をブロックするSMPファイアウォールを追加しました。
- ベンダー固有のMADクラス0x9は、ファームウェアでサポートされなくなりました。ファームウェアがそのようなMADを検出した場合、ファームウェアは"NOT SUPPORTED"エラーをユーザーに返します。
- NICが応答しない状態になることを防ぐために、パディングとシグネチャーの両方を使用するVFの機能をブロックしました。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- このDCIへのRDMA WRITEがサポートされていないことを示すヒントをDCIソフトウェアコンテキストでソフトウェアに公開することによる、ARフローを使用したDCTのパフォーマンスの向上。
- InfiniBandモードの場合の動的タイムアウトメカニズムのサポートを追加しました。
- 設定とクエリのレート制限をホスト単位およびポート単位で有効にするQSHRアクセスレジスタのサポートを追加しました。
- ソフトウェアステアリングでこのリソースを直接管理できるように、ファームウェアでVXLANカプセル化展開用の新しいソフトウェアステアリングICMリソースを公開しました。
- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。有効にするには:PF_NUM_OF_VF_VALIDはtrueである必要があり、PF_NUM_OF_VFはゼロ以外の値にする必要があります。
- mlxlinkが(サブネット全体に対して)LIDによってアクセスレジスタを読み取り/書き込みできるようにするために、2つの新しいMADアクセスレジスタを追加しました。
- VXLANカプセル化展開のためのソフトウェアステアリングに対する新しいICMリソースの公開を有効にしました。
- モジュールによってエラーコードが報告されない場合に、DSFP AOC(CMIS)v4のサポートを追加しました。
- 使用されているモジュールの機能に従って、外部ループバック速度を制限しました。
- 有効なビットエラーレート(BER)の計算方法を変更しました。このため、有効なビットエラーレート(BER)の値はわずかに大きくなりますが、リンク品質はこの変更前と同じままです。
- このファームウェアバージョンには、次のPCIeの変更が含まれています。
 - DSPのACSポート番号フィールドとDSPのACSイーグレス制御ベクトルフィールドを修正しました。
 - PCIeスイッチのUSPでのVSCのサポートを追加しました。
 - PCIeスイッチのレガシー割り込みのマッピングを修正しました。
 - DSPのMRRS&MPS構成を修正しました。

サポートしているデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernetアダプター専用 | PSID |
|------------|---|---------------|
| P23666-B21 | HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポートQSF56 PCIe4 x16 MCX653106A-ECATアダプター | MT_0000000453 |

重要な注意!

このソフトウェアパッケージは、以下にリストされるサポートされるネットワークアダプターの次のファームウェアのバージョンを含みます:

| NIC | EEPROM/NVMバージョン | OROMバージョン | シングルNVMバージョン |
|---|-----------------|-----------|--------------|
| HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター | 8000106F | 1.3089.0 | N/A |
| HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター | 80001147 | 1.3089.0 | N/A |
| HPE Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター | 80000D00 | 1.3089.0 | N/A |
| HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366i通信ボード | 80000EBF | 1.3089.0 | N/A |
| HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366iアダプター | 8000105E | 1.3089.0 | N/A |
| HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター | 80001148 | 1.3089.0 | N/A |
| HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター | 80001146 | 1.3089.0 | N/A |
| HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368iアダプター | 80003373 | 1.3089.0 | N/A |
| HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMTアダプター | 80003370 | 1.3089.0 | N/A |
| HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369iアダプター | 80003371 | 1.3089.0 | N/A |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター | 800009E0 | 1.3089.0 | N/A |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター | 800009E1 | 1.3089.0 | N/A |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター | 80000636 | 1.3089.0 | N/A |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター | 800005B6 | 1.3089.0 | N/A |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568iアダプター | 80003372 | 1.3089.0 | N/A |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター | 80003370 | 1.3089.0 | N/A |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMTアダプター | 80003370 | 1.3089.0 | N/A |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート 563iアダプター | 800035C0 | 1.1375.0 | N/A |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター | 8000B749 | 1.3089.0 | 10.57.2 |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター | 800016F1 | 1.3089.0 | 10.55.3 |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター | 8000B748 | 1.3089.0 | 10.57.2 |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター | 800016EF | 1.3089.0 | 10.55.3 |

コンボイメージv1.3089.0は以下を含みます: ブートエージェント: 1GbE - v1.5.89、10GbE - v2.4.45、40GbE - v1.1.31 & UEFI ドライバー: 1GbE - v9.7.06、10GbE - v8.1.00、40GbE - v4.8.08

コンボイメージv1.1375.0は以下を含みます: ブートエージェント: 1GbE - v1.5.72、10GbE - v2.3.46、40GbE - v1.0.21 & UEFI ドライバー: 1GbE - v6.9.13、10GbE - v5.0.20、40GbE - v1.5.14

シングルNVMバージョンは、以前に使用されていたバージョンEEPROM/NVMまたはOROMバージョンの代わりに統合されたバージョンを表す新しいファームウェア形式です。

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

- この製品は、HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMSFP+アダプターでリンクフリップが見られる問題に対処します。
- この製品は、システムのシャットダウン時にリンク速度がHPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMTアダプターと一致しない問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366iアダプター
- HPE Ethernet 1 Gb 4ポート366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート369iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568iアダプター

HPE Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64

バージョン: 1.22.50 (推奨)

ファイル名: firmware-nic-intel-1.22.50-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-intel-1.22.50-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

HPEは、このファームウェアで使用するために、ご使用のデバイスに適用可能な次のドライバーの少なくとも1つをお勧めします:

- Linux用HPE Intel igbドライバー、バージョン6.7.2以降
- Linux用HPE Intel ixgbeドライバー、バージョン5.13.4以降
- Linux用HPE Intel i40eドライバー、バージョン2.17.4以降

事前要件

このパッケージは、ご使用のネットワークアダプターのための適切なドライバーがインストールされ、ファームウェアをアップデートする前にすべてのイーサネットポートをアップしている必要があります。

- コマンドラインに従ってイーサネットデバイスを起動します。

```
# ifup ethXまたはifconfig ethX upまたはwicked ifup ethX
```

ローカルシステムでアダプター用のネットワークインターフェイスが構成されない場合は、インターフェイスを起動するためのネットワーク構成ファイルを作成する必要があります。

- たとえば、sles15sp1では、/etc/sysconfig/network/の下にifcfg-ethXファイルを作成します

修正

- この製品は、HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMSFP+アダプターでリンクフリップが見られる問題に対処します。
- この製品は、システムのシャットダウン時にリンク速度がHPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMTアダプターと一致しない問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366iアダプター
- HPE Ethernet 1 Gb 4ポート366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート369iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+アダプター

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568iアダプター

HPE Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Edition

バージョン: 5.2.6.0 (推奨)

ファイル名: cp050582.compsig; cp050582.exe

重要な注意!

このソフトウェアパッケージは、以下にリストされるサポートされるネットワークアダプターの次のファームウェアのバージョンを含みます:

| NIC | EEPROM/NVMバージョン | OROMバージョン | シングルNVMバージョン |
|---|-----------------|-----------|--------------|
| HPE Ethernet 1Gb 2ポート361i アダプター | 8000106F | 1.3089.0 | N/A |
| HPE Ethernet 1Gb 2-port 361Tアダプター | 80001147 | 1.3089.0 | N/A |
| HPE Ethernet 1Gb 2ポート363i アダプター | 80000D00 | 1.3089.0 | N/A |
| HPE Ethernet 1Gb 4-port 366i通信ボード | 80000EBF | 1.3089.0 | N/A |
| HPE Ethernet 1Gb 4ポート366iアダプター | 8000105E | 1.3089.0 | N/A |
| HPE Ethernet 1Gb 4ポート366FLRアダプター | 80001148 | 1.3089.0 | N/A |
| HPE Ethernet 1Gb 4ポート366Tアダプター | 80001146 | 1.3089.0 | N/A |
| HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368i アダプター | 80003373 | 1.3089.0 | N/A |
| HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMTアダプター | 80003370 | 1.3089.0 | N/A |
| HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369iアダプター | 80003371 | 1.3089.0 | N/A |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート560FLR-SFP+アダプター | 800009E0 | 1.3089.0 | N/A |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+アダプター | 800009E1 | 1.3089.0 | N/A |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート561Tアダプター | 80000636 | 1.3089.0 | N/A |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート561FLR-Tアダプター | 800005B6 | 1.3089.0 | N/A |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568iアダプター | 80003372 | 1.3089.0 | N/A |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター | 80003370 | 1.3089.0 | N/A |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター | 80003370 | 1.3089.0 | N/A |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート563iアダプター | 800035C0 | 1.1375.0 | N/A |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター | 8000B749 | 1.3089.0 | 10.57.2 |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター | 800016F1 | 1.3089.0 | 10.55.3 |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+ アダプター | 8000B748 | 1.3089.0 | 10.57.2 |
| HPE Ethernet 10Gb 2-port 562Tアダプター | 800016EF | 1.3089.0 | 10.55.3 |

コンボイメージv1.3089.0は以下を含みます: Boot Agent: 1GbE - v1.5.89、10GbE - v2.4.45、40GbE - v1.1.31 & UEFIドライバー: 1GbE - v9.7.06、10GbE - v8.1.00、40GbE - v4.8.08

コンボイメージv1.1375.0は以下を含みます: Boot Agent: 1GbE - v1.5.72、10GbE - v2.3.46、40GbE - v1.0.21 & UEFIドライバー: 1GbE - v6.9.13、10GbE - v5.0.20、40GbE - v1.5.14

シングルNVMバージョンは、以前に使用されていたバージョンEEPROM/NVMまたはOROMバージョンの代わりに統合されたバージョンを表す新しいファームウェア形式です。

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

拡張

この製品は、現在、Microsoft Windows Server 2022でサポートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366iアダプター
- HPE Ethernet 1 Gb 4ポート366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート369iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568iアダプター

HPE Mellanox Ethernetアダプター専用のオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 6.5)

バージョン: 1.0.11 (推奨)

ファイル名: CP050368.compsig; CP050368.zip

重要な注意!

ファームウェアアップグレードユーティリティは、Mellanox Ethernet専用NICアダプター用に2つのパッケージに分割されました。1つはSynergyプラットフォームをサポートし、もう1つはProLiantおよびApolloプラットフォームをサポートします。このパッケージは、ProLiantおよびApolloサーバー上でMellanox Ethernet専用NICアダプターをサポートします。

事前要件

ConnectX4/ConnectX5ファームウェアバージョン14.28.1002/16.28.1002では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題点がバージョン2.42.5044で修正されました。

- ファームウェアがlink_downイベントを検出することを妨げることで、IBボンドインターフェイスがフェイルオーバーモードになることを妨げる問題。

以下の問題点がバージョン14.32.1010で修正されました:

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- 光モジュールの使用中にピアポートが停止すると、まれにシステムが応答しない状態になることがあります。
- 非対称VFが有効になっている場合は、パケットペーシングレートが使用されました。
- rts2rts_qpの移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合のRNRタイムアウトが正しくありません。
- ConnectX-4LXのIPSecフローでRSSに問題が発生することにより、パフォーマンスが低下します。このシナリオでは、SPIの最適化によって特定のホストからのパケットが同じCPUコアにハッシュされました。ConnectX-4 Lxアダプターカードのl4_typeに従ったSPIの最適化が無視されるように修正されました。
- GetInventory NC-SIコマンドは、ファームウェアバージョンが0で始まっている場合に、その先頭の0xfを報告しました。

以下の問題点がバージョン16.32.1010で修正されました:

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- INIのRX_LOS極性の定義が正しくないために、リンクステータスが誤って報告され、その結果リンクがダウンしました。
- 光モジュールの使用中にピアポートが停止すると、まれにシステムが応答しない状態になることがあります。
- rts2rts_qpの移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合のRNRタイムアウトが正しくありません。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- GetInventory NC-SIコマンドは、ファームウェアバージョンが0で始まっている場合に、その先頭の0xfを報告しました。
- PCIeレーンマージン機能の問題。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5044にアップデートされました。

- 779799-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター)
- 779793-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが14.32.1010にアップデートされました。

- 817749-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28アダプター)
- 817753-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.32.1010にアップデートされました。

- 874253-B21(HPE Ethernet 100Gb 1-port 842QSFP28アダプター)

バージョン14.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 3つの新しいアサートフィルター(ヘルスパッファー、NVlog、FWトレース)が追加されました。重大度レベルが新しいフィルター以上の場合、アサーションが公開されます。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。有効にするには、PF_NUM_OF_VF_VALIDをtrueにし、PF_NUM_OF_VFをゼロ以外の値にする必要があります。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- 高速リンクアップ機能を使用する場合のリンクアップ時間を改善しました。
- ゼロタッチRoCE機能を有効にするために、slow_restartおよびslow_restart_idleパラメーターのサポートが追加されました。

バージョン16.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 関数ごとに作成できる作業キューリソース(QP、RQ、SQ ...)の最大数を設定するための新しいNvConfigパラメーターLOG_MAX_QUEUEを追加しました。デフォルト値は2^17です。
- NICが応答しない状態になることを防ぐために、パディングとシグネチャーの両方を使用するVFの機能をブロックしました。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- このDCIへのRDMA WRITEがサポートされていないことを示すヒントをDCIソフトウェアコンテキストでソフトウェアに公開することによる、ARフローを使用したDCTのパフォーマンスの向上。
- 設定とクエリのレート制限をホスト単位およびポート単位で有効にするQSHRアクセスレジスタのサポートを追加しました。
- ソフトウェアステアリングでこのリソースを直接管理できるように、ファームウェアでVXLANカプセル化展開用の新しいソフトウェアステアリングICMリソースを公開しました。
- VXLANカプセル化展開のためのソフトウェアステアリングに対する新しいICMリソースの公開を有効にしました。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- 高速リンクアップ機能を使用する場合のリンクアップ時間を改善しました。
- モジュールによってエラーコードが報告されない場合に、DSFP AOC(CMIS)v4のサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernetアダプター専用 | PSID |
|------------|--|---------------|
| 779793-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター | HP_1200111023 |
| 779799-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター | HP_2240110004 |
| 817749-B21 | HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28アダプター | HP_2690110034 |
| 817753-B21 | HPE Ethernet 25Gb 2-port 640SFP28 アダプター | HP_2420110034 |
| 874253-B21 | HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28アダプター | HPE0000000014 |

バージョン: 1.0.7 (推奨)

ファイル名: CP050369.compsig; CP050369.zip

重要な注意!

ファームウェアアップグレードユーティリティは、Mellanox Ethernet専用NICアダプター用に2つのパッケージに分割されました。1つはSynergyプラットフォームをサポートし、もう1つはProLiantおよびApolloプラットフォームをサポートします。このパッケージは、ProLiantおよびApolloサーバー上でMellanox Ethernet専用NICアダプターをサポートします。

事前要件

ConnectX4/ConnectX5ファームウェアバージョン14.28.1002/16.28.1002では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題点がバージョン2.42.5044で修正されました。

- ファームウェアがlink_downイベントを検出することを妨げることで、IBボンドインターフェイスがフェイルオーバーモードになることを妨げる問題。

以下の問題点がバージョン14.32.1010で修正されました:

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- 光モジュールの使用中にピアポートが停止すると、まれにシステムが応答しない状態になることがあります。
- 非対称VFが有効になっている場合は、パケットペーシングレートが使用されました。
- rts2rts_qpの移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合のRNRタイムアウトが正しくありません。
- ConnectX-4LXのIPSecフローでRSSに問題が発生することにより、パフォーマンスが低下します。このシナリオでは、SPIの最適化によって特定のホストからのパケットが同じCPUコアにハッシュされました。ConnectX-4 Lxアダプターカードのl4_typeに従ったSPIの最適化が無視されるように修正されました。
- GetInventory NC-SIコマンドは、ファームウェアバージョンが0で始まっている場合に、その先頭の0xfを報告しました。

以下の問題点がバージョン16.32.1010で修正されました:

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- INIのRX_LOS極性の定義が正しくないために、リンクステータスが誤って報告され、その結果リンクがダウンしました。
- 光モジュールの使用中にピアポートが停止すると、まれにシステムが応答しない状態になることがあります。
- rts2rts_qpの移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合のRNRタイムアウトが正しくありません。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- GetInventory NC-SIコマンドは、ファームウェアバージョンが0で始まっている場合に、その先頭の0xfを報告しました。
- PCIeレーンマージン機能の問題。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5044にアップデートされました。

- 779799-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター)
- 779793-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが14.32.1010にアップデートされました。

- 817749-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28アダプター)
- 817753-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.32.1010にアップデートされました。

- 874253-B21(HPE Ethernet 100Gb 1-port 842QSFP28アダプター)

バージョン14.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 3つの新しいアサートフィルター(ヘルスパッファ、NVlog、FWトレース)が追加されました。重大度レベルが新しいフィルター以上の場合、アサーションが公開されます。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。有効にするには、PF_NUM_OF_VF_VALIDをtrueにし、PF_NUM_OF_VFをゼロ以外の値にする必要があります。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。

- 高速リンクアップ機能を使用する場合のリンクアップ時間を改善しました。
- ゼロタッチRoCE機能を有効にするために、slow_restartおよびslow_restart_idleパラメーターのサポートが追加されました。

バージョン16.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 関数ごとに作成できる作業キューリソース(QP、RQ、SQ ...)の最大数を設定するための新しいNvConfigパラメーター LOG_MAX_QUEUEを追加しました。デフォルト値は2¹⁷です。
- NICが応答しない状態になることを防ぐために、パディングとシグネチャーの両方を使用するVFの機能をブロックしました。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- このDCIへのRDMA WRITEがサポートされていないことを示すヒントをDCIソフトウェアコンテキストでソフトウェアに公開することによる、ARフローを使用したDCTのパフォーマンスの向上。
- 設定とクエリのレート制限をホスト単位およびポート単位で有効にするQSHRアクセスレジスタのサポートを追加しました。
- ソフトウェアステアリングでこのリソースを直接管理できるように、ファームウェアでVXLANカプセル化展開用の新しいソフトウェアステアリングICMリソースを公開しました。
- VXLANカプセル化展開のためのソフトウェアステアリングに対する新しいICMリソースの公開を有効にしました。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- 高速リンクアップ機能を使用する場合のリンクアップ時間を改善しました。
- モジュールによってエラーコードが報告されない場合に、DSFP AOC(CMIS)v4のサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernetアダプター専用 | PSID |
|------------|--|---------------|
| 779793-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター | HP_1200111023 |
| 779799-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター | HP_2240110004 |
| 817749-B21 | HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28アダプター | HP_2690110034 |
| 817753-B21 | HPE Ethernet 25Gb 2-port 640SFP28 アダプター | HP_2420110034 |
| 874253-B21 | HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28アダプター | HPE0000000014 |

HPE Mellanox Ethernetアダプター専用のオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 7.0)

バージョン: 1.0.3 (推奨)

ファイル名: CP050370.compsig; CP050370.zip

重要な注意!

ファームウェアアップグレードユーティリティは、Mellanox Ethernet専用NICアダプター用に2つのパッケージに分割されました。1つはSynergyプラットフォームをサポートし、もう1つはProLiantおよびApolloプラットフォームをサポートします。このパッケージは、ProLiantおよびApolloサーバー上でMellanox Ethernet専用NICアダプターをサポートします。

事前要件

ConnectX4/ConnectX5ファームウェアバージョン14.28.1002/16.28.1002では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題点がバージョン2.42.5044で修正されました。

- ファームウェアがlink_downイベントを検出することを妨げることで、IBボンドインターフェイスがフェイルオーバーモードになることを妨げる問題。

以下の問題点がバージョン14.32.1010で修正されました:

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- 光モジュールの使用中にピアポートが停止すると、まれにシステムが応答しない状態になることがあります。
- 非対称VFが有効になっている場合は、パケットペーシングレートが使用されました。
- rts2rts_qpの移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合のRNRタイムアウトが正しくありません。
- ConnectX-4LXのIPSecフローでRSSに問題が発生することにより、パフォーマンスが低下します。このシナリオでは、SPIの最適化によって特定のホストからのパケットが同じCPUコアにハッシュされました。ConnectX-4 Lxアダプターカードのl4_typeに従ったSPIの最適化が無視されるように修正されました。
- GetInventory NC-SIコマンドは、ファームウェアバージョンが0で始まっている場合に、その先頭の0xfを報告しました。

以下の問題点がバージョン16.32.1010で修正されました:

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- INIのRX_LOS極性の定義が正しくないために、リンクステータスが誤って報告され、その結果リンクがダウンしました。
- 光モジュールの使用中にピアポートが停止すると、まれにシステムが応答しない状態になることがあります。
- rts2rts_qpの移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合のRNRタイムアウトが正しくありません。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- GetInventory NC-SIコマンドは、ファームウェアバージョンが0で始まっている場合に、その先頭の0xfを報告しました。
- PCIeレーンマージン機能の問題。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5044にアップデートされました。

- 779799-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター)
- 779793-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが14.32.1010にアップデートされました。

- 817749-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28アダプター)
- 817753-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.32.1010にアップデートされました。

- 874253-B21(HPE Ethernet 100Gb 1-port 842QSFP28アダプター)

バージョン14.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 3つの新しいアサートフィルター(ヘルスパッファ、NVlog、FWトレース)が追加されました。重大度レベルが新しいフィルター以上の場合、アサーションが公開されます。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。有効にするには、PF_NUM_OF_VF_VALIDをtrueにし、PF_NUM_OF_VFをゼロ以外の値にする必要があります。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- 高速リンクアップ機能を使用する場合のリンクアップ時間を改善しました。
- ゼロタッチRoCE機能を有効にするために、slow_restartおよびslow_restart_idleパラメーターのサポートが追加されました。

バージョン16.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 関数ごとに作成できる作業キューリソース(QP、RQ、SQ ...)の最大数を設定するための新しいNvConfigパラメーターLOG_MAX_QUEUEを追加しました。デフォルト値は2¹⁷です。
- NICが応答しない状態になることを防ぐために、パディングとシグネチャーの両方を使用するVFの機能をブロックしました。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- このDCIへのRDMA WRITEがサポートされていないことを示すヒントをDCIソフトウェアコンテキストでソフトウェアに公開することによる、ARフローを使用したDCTのパフォーマンスの向上。
- 設定とクエリのレート制限をホスト単位およびポート単位で有効にするQSHRアクセスレジスタのサポートを追加しました。
- ソフトウェアステアリングでこのリソースを直接管理できるように、ファームウェアでVXLANカプセル化展開用の新しいソフトウェアステアリングICMリソースを公開しました。
- VXLANカプセル化展開のためのソフトウェアステアリングに対する新しいICMリソースの公開を有効にしました。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- 高速リンクアップ機能を使用する場合のリンクアップ時間を改善しました。
- モジュールによってエラーコードが報告されない場合に、DSFP AOC(CMIS)v4のサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernetアダプター専用 | PSID |
|------------|--|---------------|
| 779793-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター | HP_1200111023 |
| 779799-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター | HP_2240110004 |
| 817749-B21 | HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28アダプター | HP_2690110034 |
| 817753-B21 | HPE Ethernet 25Gb 2-port 640SFP28 アダプター | HP_2420110034 |
| 874253-B21 | HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28アダプター | HPE000000014 |

HPE QLogic FastLinQオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64

バージョン: 1.20.1 (推奨)

ファイル名: firmware-nic-qlogic-flq-1.20.1-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-qlogic-flq-1.20.1-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

この製品のファームウェアとともに使用する場合は、*HPE QLogic FastLinQ 10/25/50GbE Drivers for Linux*、バージョン 8.55.15.0-1以降を推奨しています。

事前要件

このパッケージは、ご使用のネットワークアダプターのための適切なドライバーがインストールされ、ファームウェアをアップデートする前にすべてのイーサネットポートをアップしている必要があります。

- コマンドラインに従ってイーサネットデバイスを起動します。

```
# ifup ethXまたはifconfig ethX upまたはwicked ifup ethX
```

ローカルシステムでアダプター用のネットワークインターフェイスが構成されない場合は、インターフェイスを起動するためのネットワーク構成ファイルを作成する必要があります。

- たとえば、sles15sp1では、/etc/sysconfig/network/の下にifcfg-ethXファイルを作成します

修正

この製品は、ファームウェアのアップデート後にMACが変更される問題に対処します

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-T コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300R コンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic FastLinQオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware

バージョン: 4.15.1 (推奨)

ファイル名: CP050213.compsig; CP050213.zip

重要な注意!

このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE QLogic FastLinQ 10/25/50GbEマルチファンクションドライバーfor VMware*、バージョン2021.04.05以降を推奨しています。

このソフトウェアパッケージには、以下を含むコンボイメージv8.55.27が含まれています。

- ブートコード(MFW):8.55.43.0
- UEFI:4.1.13.1
- PXE:2.0.19

ユーザーがコンボイメージのバージョンを確認できるのは、対話型モードのファームウェアアップデート、またはサポートされているアダプター上でHPSUM/SPPを使用してファームウェアをアップデートしている間だけです。

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

この製品は、ファームウェアのアップデート後にMACが変更される問題に対処します

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-T コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300R コンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic FastLinQオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions

バージョン: 5.2.6.0 (推奨)

ファイル名: cp050214.compsig; cp050214.exe

重要な注意!

HPEは、このファームウェアで使用するために、ご使用のデバイスに適用可能な次のドライバーの少なくとも1つをお勧めします:

- HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEドライバーfor Windows Server x64 Editions、バージョン8.58.20.0

このコンボイメージバージョンv8.55.27には以下が含まれます。

- ブートコード(MFW):8.55.43.0
- UEFI:4.1.13.1
- PXE:2.0.19

ユーザーがコンボイメージのバージョンを確認できるのは、対話型モードのファームウェアアップデート、またはサポートされているアダプター上でHPSUM/SPPを使用してファームウェアをアップデートしている間だけです。

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

この製品は、ファームウェアのアップデート後にMACが変更される問題に対処します

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-T コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300R コンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2オンライン ファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware

バージョン: 1.30.2 (推奨)

ファイル名: CP050210.compsig; CP050210.zip

重要な注意!

このファームウェアとともに使用する場合は、HPE QLogic NX2 10/20GbE Multifunction Drivers for VMware、バージョン2021.09.04以降を推奨しています。

このソフトウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンを含むコンボイメージv7.18.82が含まれています:

| NIC | ブートコードバージョン | PXEバージョン | UEFIバージョン | iSCSIバージョン | FCoEバージョン | CCMバージョン | L2バージョン |
|---|-------------|----------|-----------|------------|-----------|----------|---------|
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+ アダプター HPE Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター | 7.16.03 | 7.14.13 | 8.9.0 | 該当なし | 該当なし | 7.14.4 | 7.12.25 |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート533FLR-Tアダプター HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター | 7.16.03 | 7.14.13 | 8.9.0 | 7.14.0 | 7.14.3 | 7.14.4 | 7.12.25 |

| | | | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|--|--|
| HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター | | | | | | | |
| HPE StoreFabric CN1100Rデュアルポートコンバージドネットワークアダプター | | | | | | | |
| HPE StoreFabric CN1100R-Tコンバージドネットワークアダプター | | | | | | | |

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

- この製品は、DCBxが有効で、LLDPが有効になっている場合、アダプター構成ページに反映されるように外観上の変更に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート533FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1100Rデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-Tコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64

バージョン: 2.30.2 (推奨)

ファイル名: firmware-nic-qlogic-nx2-2.30.2-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-qlogic-nx2-2.30.2-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

このパッケージのファームウェアとともに使用する場合は、*HPE QLogic NX2 10/20GbE Multifunction Drivers for Linux*、バージョン 7.15.02以降を推奨しています。

事前要件

このパッケージは、ご使用のネットワークアダプターのための適切なドライバーがインストールされ、ファームウェアをアップデートする前にすべてのイーサネットポートをアップ(*ifup ethX*、*ifconfig ethX up*、または*wicked ifup ethX*)している必要があります。

ローカルシステムが、インターフェイスを起動するようにネットワーク構成ファイルを作成するために必要な、アダプターのネットワークインターフェイスを構成しない場合。

- たとえばsles15sp1で、*/etc/sysconfig/network*の下に*ifcfg-ethX*ファイルを作成すること。

修正

- この製品は、DCBxが有効で、LLDPが有効になっている場合、アダプター構成ページに反映されるように外観上の変更に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+ アダプター
 - HPE Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター
 - HPE Ethernet 10Gb 2ポート533FLR-Tアダプター
 - HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
 - HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
 - HPE StoreFabric CN1100Rデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
 - HPE StoreFabric CN1100R-Tコンバージドネットワークアダプター
-

HPE QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Edition

バージョン: 5.2.6.0 (推奨)

ファイル名: cp050211.compsig; cp050211.exe

重要な注意!

HPEは、このファームウェアで使用するために、ご使用のデバイスに適用可能な次のドライバーの少なくとも1つをお勧めします:

- HPE QLogic NX2 10/20GbEマルチファンクションドライバーfor Windows Server x64 Editions、バージョン7.13.206.0以降

このソフトウェアパッケージは、以下のファームウェアバージョンを実装するコンボイメージv7.19.02を含みます:

| NIC | ブートコードバージョン | PXEバージョン | UEFIバージョン | iSCSIバージョン | FCoEバージョン | CCMバージョン | L2バージョン |
|--|-------------|----------|-----------|------------|-----------|----------|---------|
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート530SFP+ アダプター HPE Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター | 7.16.05 | 7.14.13 | 8.9.2 | 該当なし | 該当なし | 7.14.4 | 7.12.25 |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポート533FLR-Tアダプター HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター HPE StoreFabric CN1100Rデュアルポートコンバージドネットワークアダプター HPE StoreFabric CN1100R-T コンバージドネットワークアダプター | 7.16.05 | 7.14.13 | 8.9.2 | 7.14.0 | 7.14.3 | 7.14.4 | 7.12.25 |

ユーザーがコンボイメージのバージョンを確認できるのは、対話型モードのファームウェアアップデート、またはサポートされているアダプター上でHPESUM/SPPを使用してファームウェアをアップデートしている間だけです。

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

- この製品は、Windowsからシャットダウンした後のHPE Ethernet 10Gb 2ポート533FLR-TアダプターのWOL障害に対処します。
- この製品は、DCBxが有効で、LLDPが有効になっている場合、アダプター構成ページに反映されるように外観上の変更に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート533FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1100Rデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-Tコンバージドネットワークアダプター

HPEファームウェアフラッシュfor Emulexコンバージドネットワークアダプター - Microsoft Windows Server 2016/2019(x64)

バージョン: 2021.10.01 (推奨)

ファイル名: cp046768.compsig; cp046768.exe

重要な注意!

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| | | | | | |
|-------|----|-----------|---------|------|--------|
| アダプター | 速度 | Universal | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|-------|----|-----------|---------|------|--------|

| | | Boot Image | ア | | |
|-------------------------------------|------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター | 20Gb | 12.0.1277.0 | 12.0.1345.0 | 12.0.1269.0 | 12.0.1171.0 |
| HPE CN1200E-Tデュアルポートアダプター | 20Gb | 12.0.1277.0 | 12.0.1345.0 | 12.0.1269.0 | 12.0.1171.0 |

事前要件

ファームウェアアップデートは、インボックスまたはOut of Box(OOB)ドライバーを使用して実行できます。 サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

このファームウェアコンポーネントが開発用のSUMで識別される前に、HPEで提供しているEmulex NICドライバーをインストールする必要があります。最新のドライバーは、HPE.com Webサイト:<http://www.hpe.com/>から入手できます。

CoE/iSCSI OOBドライバーおよびFCoEイネーブルメントキットは、<http://www.hpe.com/servers/spp/download>のService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|-------------------------------------|------|----------------------|-------------|-------------|-------------|
| HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター | 20Gb | 12.0.1277.0 | 12.0.1345.0 | 12.0.1269.0 | 12.0.1171.0 |
| HPE CN1200E-Tデュアルポートアダプター | 20Gb | 12.0.1277.0 | 12.0.1345.0 | 12.0.1269.0 | 12.0.1171.0 |

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPEファームウェアフラッシュfor VMware vSphere 6.5用Emulexコンバージドネットワークアダプター

バージョン: 2021.10.01 (推奨)

ファイル名: CP046764.compsig; CP046764.zip

重要な注意!

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|-------------------------------------|------|----------------------|-------------|-------------|-------------|
| HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター | 20Gb | 12.0.1277.0 | 12.0.1345.0 | 12.0.1269.0 | 12.0.1171.0 |
| HPE CN1200E-Tデュアルポートアダプター | 20Gb | 12.0.1277.0 | 12.0.1345.0 | 12.0.1269.0 | 12.0.1171.0 |

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|-------------------------------------|------|----------------------|-------------|-------------|-------------|
| HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター | 20Gb | 12.0.1277.0 | 12.0.1345.0 | 12.0.1269.0 | 12.0.1171.0 |
| HPE CN1200E-Tデュアルポートアダプター | 20Gb | 12.0.1277.0 | 12.0.1345.0 | 12.0.1269.0 | 12.0.1171.0 |

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPEファームウェアフラッシュfor VMware vSphere 6.7用Emulexコンバージドネットワークアダプター

バージョン: 2021.10.01 (推奨)

ファイル名: CP046765.compsig; CP046765.zip

重要な注意!

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|-------------------------------------|------|----------------------|-------------|-------------|-------------|
| HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター | 20Gb | 12.0.1277.0 | 12.0.1345.0 | 12.0.1269.0 | 12.0.1171.0 |
| HPE CN1200E-Tデュアルポートアダプター | 20Gb | 12.0.1277.0 | 12.0.1345.0 | 12.0.1269.0 | 12.0.1171.0 |

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|-------------------------------------|------|----------------------|-------------|-------------|-------------|
| HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター | 20Gb | 12.0.1277.0 | 12.0.1345.0 | 12.0.1269.0 | 12.0.1171.0 |
| HPE CN1200E-Tデュアルポートアダプター | 20Gb | 12.0.1277.0 | 12.0.1345.0 | 12.0.1269.0 | 12.0.1171.0 |

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPEファームウェアフラッシュfor VMware vSphere 7.0用Emulexコンバージドネットワークアダプター

バージョン: 2021.10.01 (推奨)

ファイル名: CP046766.compsig; CP046766.zip

重要な注意!

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|-------------------------------------|------|----------------------|-------------|-------------|-------------|
| HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター | 20Gb | 12.0.1277.0 | 12.0.1345.0 | 12.0.1269.0 | 12.0.1171.0 |
| HPE CN1200E-Tデュアルポートアダプター | 20Gb | 12.0.1277.0 | 12.0.1345.0 | 12.0.1269.0 | 12.0.1171.0 |

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|-------------------------------------|------|----------------------|-------------|-------------|-------------|
| HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター | 20Gb | 12.0.1277.0 | 12.0.1345.0 | 12.0.1269.0 | 12.0.1171.0 |
| HPE CN1200E-Tデュアルポートアダプター | 20Gb | 12.0.1277.0 | 12.0.1345.0 | 12.0.1269.0 | 12.0.1171.0 |

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター

Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64

バージョン: 1.23.50 (推奨)

ファイル名: firmware-nic-is-intel-1.23.50-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-is-intel-1.23.50-1.1.x86_64.rpm

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

- この製品は、Intel I350-T4 Ethernet 1Gb 4ポートBASE-Tアダプターで誤った変換が見られる問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- インテル(R) I350 Gigabit Network Connection(2ポート)
- インテル(R) I350 Gigabit Network Connection(4ポート)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポートBaseT I350-T4アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポートBaseT I350-T4 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2 OCP3アダプター

Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Edition

バージョン: 5.2.6.0 (推奨)

ファイル名: cp050583.compsig; cp050583.exe

重要な注意！

このソフトウェアパッケージは、以下にリストされるサポートされるネットワークアダプターの次のファームウェアのバージョンを含みます：

| NIC | EEPROM/NVMバージョン | OROMバージョン | NVMバージョン |
|---|-----------------|-----------|----------|
| HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ OCP3 X710-DA2アダプター | 8000B437 | 1.3082.0 | 8.30 |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2アダプター | 8000B735 | 1.3082.0 | 8.30 |
| Intel I350-T4 Ethernet 1Gb 4ポートBASE-Tアダプター | 80001099 | 1.3082.0 | N/A |
| Intel I350-T4 Ethernet 1Gb 4ポートBASE-T OCP3アダプター | 80001097 | 1.3082.0 | N/A |
| インテル(R) I350 Gigabit Network Connection(2ポート) | 8000108E | 1.3082.0 | N/A |
| インテル(R) I350 Gigabit Network Connection(4ポート) | 8000108F | 1.3082.0 | N/A |

コンボイメージv1.3082.0は以下を含みます: Boot Agent: 1GbE - v1.5.89、ブートエージェントI40E - v1.1.31 & UEFIドライバー: 1GbE - v9.7.06、40ギガビットドライバー - v4.8.08。

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

拡張

この製品は、現在、Microsoft Windows Server 2022でサポートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- インテル(R) I350 Gigabit Network Connection(2ポート)
- インテル(R) I350 Gigabit Network Connection(4ポート)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポートBaseT I350-T4アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポートBaseT I350-T4 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2アダプター

Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware

バージョン: 3.16.50 (推奨)

ファイル名: CP049898.compsig; CP049898.zip

重要な注意！

このソフトウェアパッケージは、以下にリストされるサポートされるネットワークアダプターの次のファームウェアのバージョンを含みます：

| NIC | EEPROM/NVMバージョン | OROMバージョン | NVMバージョン |
|---|-----------------|-----------|----------|
| HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ OCP3 X710-DA2アダプター | 8000B437 | 1.3082.0 | 8.30 |
| HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2アダプター | 8000B735 | 1.3082.0 | 8.30 |
| Intel I350-T4 Ethernet 1Gb 4ポートBASE-Tアダプター | 80001099 | 1.3082.0 | N/A |
| Intel I350-T4 Ethernet 1Gb 4ポートBASE-T OCP3アダプター | 80001097 | 1.3082.0 | N/A |
| インテル(R) I350 Gigabit Network Connection(2ポート) | 8000108E | 1.3082.0 | N/A |
| インテル(R) I350 Gigabit Network Connection(4ポート) | 8000108F | 1.3082.0 | N/A |

コンボイメージv1.3082.0は以下を含みます:ブートエージェント:1GbE - v1.5.89、ブートエージェントI40E - v1.1.31 & UEFIドライバ:1GbE - v9.7.06、40ギガビットドライバー - v4.8.08。

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

- この製品は、Intel I350-T4 Ethernet 1Gb 4ポートBASE-Tアダプターで誤った変換が見られる問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- インテル(R) I350 Gigabit Network Connection(2ポート)
- インテル(R) I350 Gigabit Network Connection(4ポート)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポートBaseT I350-T4アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポートBaseT I350-T4 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2アダプター

Intelファームウェアパッケージfor E810-2CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプター

バージョン: 3.00 (推奨)

ファイル名: HPE_E810_2CQDA2_O_SEC_3p00_PLDMoMCTP_80008271.fwpkg

重要な注意!

ファームウェアのインストールについては、OSとドライバーの依存関係はありません。
本番稼働中のファームウェア互換性のために、ファームウェアパッケージ製品で使用するドライバーとして以下を推奨しています。

- Microsoft Windows Server用Intel iceaドライバー、バージョン1.9.65.0以降
- Linux用Intel iceドライバー、バージョン1.6.4-1以降
- VMware用Intel iceaドライバー、バージョン2021.09.04以降

修正

この製品は、ファームウェアをアップグレードするときにAHSログのファームウェアバージョンが正しくない問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Intel E810-2CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE

Intelファームウェアパッケージfor E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 OCP3アダプター

バージョン: 3.00 (B) (推奨)

ファイル名: HPE_E810_CQDA2_OCP_3p00_NCSIwPLDMoMCTP_800095B6.fwpkg

重要な注意!

ファームウェアのインストールについては、OSとドライバーの依存関係はありません。
本番稼働中のファームウェア互換性のために、ファームウェアパッケージ製品で使用するドライバーとして以下を推奨しています。

- Microsoft Windows Server用Intel iceaドライバー、バージョン1.9.65.0以降
- Linux用Intel iceドライバー、バージョン1.6.4-1以降
- VMware用Intel iceaドライバー、バージョン2021.09.04以降

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 OCP3アダプターfor HPE

Intelファームウェアパッケージfor E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプター

バージョン: 3.00 (B) (推奨)

ファイル名: HPE_E810_CQDA2_3p00_PLDMoMCTP_800095B8.fwpkg

重要な注意!

ファームウェアのインストールについては、OSとドライバーの依存関係はありません。
本番稼働中のファームウェア互換性のために、ファームウェアパッケージ製品で使用するドライバーとして以下を推奨しています。

- Microsoft Windows Server用Intel iceaドライバー、バージョン1.9.65.0以降
- SUSE Linux用Intel iceドライバー、バージョン1.6.4-1以降
- VMware用Intel iceaドライバー、バージョン2021.09.04以降

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE

Intelファームウェアパッケージfor E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプター

バージョン: 3.00 (推奨)

ファイル名: HPE_E810_XXVDA2_SD_OCP_3p00_NCSIwPLDMoMCTP_80008265.fwpkg

重要な注意!

ファームウェアのインストールについては、OSとドライバーの依存関係はありません。
本番稼働中のファームウェア互換性のために、ファームウェアパッケージ製品で使用するドライバーとして以下を推奨しています。

- Microsoft Windows Server用Intel iceaドライバー、バージョン1.9.65.0以降
- Linux用Intel iceドライバー、バージョン1.6.4-1以降
- VMware用Intel iceaドライバー、バージョン2021.09.04以降

修正

この製品は、ファームウェアをアップグレードするときにAHSログのファームウェアバージョンが正しくない問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

Intelファームウェアパッケージfor E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプター

バージョン: 3.00 (推奨)

ファイル名: HPE_E810_XXVDA2_SD_3p00_PLDMoMCTP_80008250.fwpkg

重要な注意!

ファームウェアのインストールについては、OSとドライバーの依存関係はありません。
本番稼働中のファームウェア互換性のために、ファームウェアパッケージ製品で使用するドライバーとして以下を推奨しています。

- Microsoft Windows Server用Intel iceaドライバー、バージョン1.9.65.0以降
- Linux用Intel iceドライバー、バージョン1.6.4-1以降
- VMware用Intel iceaドライバー、バージョン2021.09.04以降

修正

この製品は、ファームウェアをアップグレードするときにAHSログのファームウェアバージョンが正しくない問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE

Intelファームウェアパッケージfor E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプター

バージョン: 3.00 (推奨)

ファイル名: HPE_E810_XXV4_OCP_3p00_NCSIwPLDMoMCTP_80008280.fwpkg

重要な注意!

ファームウェアのインストールについては、OSとドライバーの依存関係はありません。
本番稼働中のファームウェア互換性のために、ファームウェアパッケージ製品で使用するドライバーとして以下を推奨しています。

- Microsoft Windows Server用Intel iceaドライバー、バージョン1.9.65.0以降
- Linux用Intel iceドライバー、バージョン1.6.4-1以降
- VMware用Intel iceaドライバー、バージョン2021.09.04以降

修正

この製品は、ファームウェアをアップグレードするときにAHSログのファームウェアバージョンが正しくない問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

Intelファームウェアパッケージfor E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプター

バージョン: 3.00 (推奨)

ファイル名: HPE_E810_XXVDA4_FH_3p00_PLDMoMCTP_80008278.fwpkg

重要な注意!

ファームウェアのインストールについては、OSとドライバーの依存関係はありません。
本番稼働中のファームウェア互換性のために、ファームウェアパッケージ製品で使用するドライバーとして以下を推奨しています。

- Microsoft Windows Server用Intel iceaドライバー、バージョン1.9.65.0以降
- Linux用Intel iceドライバー、バージョン1.6.4-1以降
- VMware用Intel iceaドライバー、バージョン2021.09.04以降

修正

この製品は、ファームウェアをアップグレードするときにAHSログのファームウェアバージョンが正しくない問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプターfor HPE

Mellanox Open Ethernetカードのオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 6.5)

バージョン: 1.0.6 (推奨)

ファイル名: CP050329.compsig; CP050329.zip

重要な注意!

アダプターファームウェアの書き換えシナリオでは、SUMは常にMellanox Openアダプターファームウェアスマートコンポーネントを適切に検出し、サーバーのiLO5ファームウェアバージョンが2.30より古い場合は、それを展開用を選択します。

事前要件

ConnectX4/ConnectX5ファームウェアバージョン14.27.4000/16.27.2008では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題点がバージョン14.32.1010で修正されました:

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- 光モジュールの使用中にピアポートが停止すると、まれにシステムが応答しない状態になることがあります。
- 非対称VFが有効になっている場合は、パケットペーシングレートが使用されました。
- rts2rts_qpの移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合のRNRタイムアウトが正しくありません。
- ConnectX-4LXのIPSecフローでRSSに問題が発生することにより、パフォーマンスが低下します。このシナリオでは、SPIの最適化によって特定のホストからのパケットが同じCPUコアにハッシュされました。ConnectX-4 LxアダプターカードのI4_typeに従ったSPIの最適化が無視されるように修正されました。
- GetInventory NC-SIコマンドは、ファームウェアバージョンが0で始まっている場合に、その先頭の0xfを報告しました。

以下の問題点がバージョン16.32.1010で修正されました:

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- INIのRX_LOS極性の定義が正しくないために、リンクステータスが誤って報告され、その結果リンクがダウンしました。
- 光モジュールの使用中にピアポートが停止すると、まれにシステムが応答しない状態になることがあります。
- rts2rts_qpの移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合のRNRタイムアウトが正しくありません。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- GetInventory NC-SIコマンドは、ファームウェアバージョンが0で始まっている場合に、その先頭の0xfを報告しました。
- PCIeレーンマージン機能の問題。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが14.32.1010にアップデートされました。

- P21930-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4121A-XCATアダプター)
- P11341-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.32.1010にアップデートされました。

- P21927-B21(HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 MCX516A-CCHTアダプター)

バージョン14.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 3つの新しいアサートフィルター(ヘルスパッファ、NVlog、FWトレース)が追加されました。重大度レベルが新しいフィルター以上の場合、アサーションが公開されます。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。有効にするには、PF_NUM_OF_VF_VALIDをtrueにし、PF_NUM_OF_VFをゼロ以外の値にする必要があります。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- 高速リンクアップ機能を使用する場合のリンクアップ時間を改善しました。
- ゼロタッチRoCE機能を有効にするために、slow_restartおよびslow_restart_idleパラメーターのサポートが追加されました。

バージョン16.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 関数ごとに作成できる作業キューリソース(QP、RQ、SQ ...)の最大数を設定するための新しいNvConfigパラメーターLOG_MAX_QUEUEを追加しました。デフォルト値は2¹⁷です。
- NICが応答しない状態になることを防ぐために、パディングとシグネチャーの両方を使用するVFの機能をブロックしました。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- このDCIへのRDMA WRITEがサポートされていないことを示すヒントをDCIソフトウェアコンテキストでソフトウェアに公開することによる、ARフローを使用したDCTのパフォーマンスの向上。
- 設定とクエリのレート制限をホスト単位およびポート単位で有効にするQSHRアクセスレジスタのサポートを追加しました。
- ソフトウェアステアリングでこのリソースを直接管理できるように、ファームウェアでVXLANカプセル化展開用の新しいソフトウェアステアリングICMリソースを公開しました。
- VXLANカプセル化展開のためのソフトウェアステアリングに対する新しいICMリソースの公開を有効にしました。

- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- 高速リンクアップ機能を使用する場合のリンクアップ時間を改善しました。
- モジュールによってエラーコードが報告されない場合に、DSFP AOC(CMIS)v4のサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernetアダプター専用 | PSID |
|------------|--|---------------|
| P21930-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4121A-XCHTアダプター | MT_0000000414 |
| P11341-B21 | HPE Ethernet 10Gb/25Gb 2ポートSFP28 MCX4621A-ACAB OCP3アダプター(P11341-B21) | MT_0000000238 |
| P21927-B21 | HPE Ethernet 100Gb 2ポート QSFP28 MCX516A-CCHTアダプター | MT_0000000417 |

Mellanox Open Ethernetカードのオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 6.7)

バージョン: 1.0.6 (推奨)

ファイル名: CP050330.compsig; CP050330.zip

重要な注意!

アダプターファームウェアの書き換えシナリオでは、SUMは常にMellanox Openアダプターファームウェアスマートコンポーネントを適切に検出し、サーバーのiLO5ファームウェアバージョンが2.30より古い場合は、それを展開用に選択します。

事前要件

ConnectX4/ConnectX5ファームウェアバージョン14.27.4000/16.27.2008では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題点がバージョン14.32.1010で修正されました:

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- 光モジュールの使用中にピアポートが停止すると、まれにシステムが応答しない状態になることがあります。
- 非対称VFが有効になっている場合は、パケットペーシングレートが使用されました。
- rts2rts_qpの移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合のRNRタイムアウトが正しくありません。
- ConnectX-4LXのIPSecフローでRSSに問題が発生することにより、パフォーマンスが低下します。このシナリオでは、SPIの最適化によって特定のホストからのパケットが同じCPUコアにハッシュされました。ConnectX-4 Lxアダプターカードのl4_typeに従ったSPIの最適化が無視されるように修正されました。
- GetInventory NC-SIコマンドは、ファームウェアバージョンが0で始まっている場合に、その先頭の0xfを報告しました。

以下の問題点がバージョン16.32.1010で修正されました:

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- INIのRX_LOS極性の定義が正しくないために、リンクステータスが誤って報告され、その結果リンクがダウンしました。
- 光モジュールの使用中にピアポートが停止すると、まれにシステムが応答しない状態になることがあります。
- rts2rts_qpの移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合のRNRタイムアウトが正しくありません。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- GetInventory NC-SIコマンドは、ファームウェアバージョンが0で始まっている場合に、その先頭の0xfを報告しました。
- PCIeレーンマージン機能の問題。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが14.32.1010にアップデートされました。

- P21930-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4121A-XCATアダプター)
- P11341-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.32.1010にアップデートされました。

- P21927-B21(HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 MCX516A-CCHTアダプター)

バージョン14.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 3つの新しいアサートフィルター(ヘルスパッファ、NVlog、FWトレース)が追加されました。重大度レベルが新しいフィルター以上の場合、アサーションが公開されます。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。有効にするには、PF_NUM_OF_VF_VALIDをtrueにし、PF_NUM_OF_VFをゼロ以外の値にする必要があります。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- 高速リンクアップ機能を使用する場合のリンクアップ時間を改善しました。
- ゼロタッチRoCE機能を有効にするために、slow_restartおよびslow_restart_idleパラメーターのサポートが追加されました。

バージョン16.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 関数ごとに作成できる作業キューリソース(QP、RQ、SQ ...)の最大数を設定するための新しいNvConfigパラメーターLOG_MAX_QUEUEを追加しました。デフォルト値は2^17です。
- NICが応答しない状態になることを防ぐために、パディングとシグネチャーの両方を使用するVFの機能をブロックしました。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- このDCIへのRDMA WRITEがサポートされていないことを示すヒントをDCIソフトウェアコンテキストでソフトウェアに公開することによる、ARフローを使用したDCTのパフォーマンスの向上。
- 設定とクエリのレート制限をホスト単位およびポート単位で有効にするQSHRアクセスレジスタのサポートを追加しました。
- ソフトウェアステアリングでこのリソースを直接管理できるように、ファームウェアでVXLANカプセル化展開用の新しいソフトウェアステアリングICMリソースを公開しました。
- VXLANカプセル化展開のためのソフトウェアステアリングに対する新しいICMリソースの公開を有効にしました。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- 高速リンクアップ機能を使用する場合のリンクアップ時間を改善しました。
- モジュールによってエラーコードが報告されない場合に、DSFP AOC(CMIS)v4のサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernetアダプター専用 | PSID |
|------------|--|---------------|
| P21930-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4121A-XCHTアダプター | MT_0000000414 |
| P11341-B21 | HPE Ethernet 10Gb/25Gb 2ポートSFP28 MCX4621A-ACAB OCP3アダプター(P11341-B21) | MT_0000000238 |
| P21927-B21 | HPE Ethernet 100Gb 2ポート QSFP28 MCX516A-CCHTアダプター | MT_0000000417 |

Mellanox Open Ethernetカードのオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 7.0)

バージョン: 1.0.3 (推奨)

ファイル名: CP050331.compsig; CP050331.zip

重要な注意!

アダプターファームウェアの書き換えシナリオでは、SUMは常にMellanox Openアダプターファームウェアスマートコンポーネントを適切に検出し、サーバーのiLO5ファームウェアバージョンが2.30より古い場合は、それを展開用に選択します。

修正

以下の問題点がバージョン14.32.1010で修正されました:

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- 光モジュールの使用中にピアポートが停止すると、まれにシステムが応答しない状態になることがあります。
- 非対称VFが有効になっている場合は、パケットペーシングレートが使用されました。
- rts2rts_qpの移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合のRNRタイムアウトが正しくありません。
- ConnectX-4LXのIPSecフローでRSSに問題が発生することにより、パフォーマンスが低下します。このシナリオでは、SPIの最適化によって特定のホストからのパケットが同じCPUコアにハッシュされました。ConnectX-4 Lxアダプターカードのl4_typeに従ったSPIの最適化が無視されるように修正されました。
- GetInventory NC-SIコマンドは、ファームウェアバージョンが0で始まっている場合に、その先頭の0xfを報告しました。

以下の問題点がバージョン16.32.1010で修正されました:

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- INIのRX_LOS極性の定義が正しくないために、リンクステータスが誤って報告され、その結果リンクがダウンしました。
- 光モジュールの使用中にピアポートが停止すると、まれにシステムが応答しない状態になることがあります。

- rts2rts_qpの移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合のRNRタイムアウトが正しくありません。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- GetInventory NC-SIコマンドは、ファームウェアバージョンが0で始まっている場合に、その先頭の0xfを報告しました。
- PCIeレーンマージン機能の問題。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが14.32.1010にアップデートされました。

- P21930-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4121A-XCATアダプター)
- P11341-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.32.1010にアップデートされました。

- P21927-B21(HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 MCX516A-CCHTアダプター)

バージョン14.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 3つの新しいアサートフィルター(ヘルスパッファ、NVlog、FWトレース)が追加されました。重大度レベルが新しいフィルター以上の場合、アサーションが公開されます。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。有効にするには、PF_NUM_OF_VF_VALIDをtrueにし、PF_NUM_OF_VFをゼロ以外の値にする必要があります。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- 高速リンクアップ機能を使用する場合のリンクアップ時間を改善しました。
- ゼロタッチRoCE機能を有効にするために、slow_restartおよびslow_restart_idleパラメーターのサポートが追加されました。

バージョン16.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 関数ごとに作成できる作業キューリソース(QP、RQ、SQ ...)の最大数を設定するための新しいNvConfigパラメーターLOG_MAX_QUEUEを追加しました。デフォルト値は2^17です。
- NICが応答しない状態になることを防ぐために、パディングとシグネチャーの両方を使用するVFの機能をブロックしました。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- このDCIへのRDMA WRITEがサポートされていないことを示すヒントをDCIソフトウェアコンテキストでソフトウェアに公開することによる、ARフローを使用したDCTのパフォーマンスの向上。
- 設定とクエリのレート制限をホスト単位およびポート単位で有効にするQSHRアクセスレジスタのサポートを追加しました。
- ソフトウェアステアリングでこのリソースを直接管理できるように、ファームウェアでVXLANカプセル化展開用の新しいソフトウェアステアリングICMリソースを公開しました。
- VXLANカプセル化展開のためのソフトウェアステアリングに対する新しいICMリソースの公開を有効にしました。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- 高速リンクアップ機能を使用する場合のリンクアップ時間を改善しました。
- モジュールによってエラーコードが報告されない場合に、DSFP AOC(CMIS)v4のサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernetアダプター専用 | PSID |
|------------|--|---------------|
| P21930-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4121A-XCHTアダプター | MT_0000000414 |
| P11341-B21 | HPE Ethernet 10Gb/25Gb 2ポートSFP28 MCX4621A-ACAB OCP3アダプター(P11341-B21) | MT_0000000238 |
| P21927-B21 | HPE Ethernet 100Gb 2ポート QSFP28 MCX516A-CCHTアダプター | MT_0000000417 |

Mellanox Open Ethernetカードのオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(Linux x86_64)

バージョン: 1.0.6 (推奨)

ファイル名: firmware-nic-open-mellanox-eth-mft-1.0.6-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-open-mellanox-eth-mft-1.0.6-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

アダプターファームウェアの書き換えシナリオでは、SUMは常にMellanox Openアダプターファームウェアスマートコンポーネントを適切に検出し、サーバーのiLO5ファームウェアバージョンが2.30より古い場合は、それを展開用を選択します。

事前要件

ConnectX4-Lx/ConnectX5ファームウェアバージョン14.32.1010/16.32.1010では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題点がバージョン14.32.1010で修正されました:

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- 光モジュールの使用中にピアポートが停止すると、まれにシステムが応答しない状態になることがあります。
- 非対称VFが有効になっている場合は、バケットペーシングレートが使用されました。
- rts2rts_qp移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合のRNRタイムアウトが正しくありません。
- ConnectX-4 LxのIPSecフローでのRSSの問題により、パフォーマンスが低下しました。このシナリオでは、SPIの最適化により、特定のホストからのパケットが同じCPUコアにハッシュされました。修正は、ConnectX-4 Lxアダプターカードのl4_typeに従ったSPI最適化を無視することでした。
- GetInventory NC-SIコマンドは、ファームウェアバージョンが0で始まっている場合に、その先頭の0xfを報告しました。

以下の問題点がバージョン16.32.1010で修正されました:

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- INIのRX_LOS極性の定義が正しくないために、リンクステータスが誤って報告され、その結果リンクがダウンしました。
- 光モジュールの使用中にピアポートが停止すると、まれにシステムが応答しない状態になることがあります。
- rts2rts_qp移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合のRNRタイムアウトが正しくありません。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- GetInventory NC-SIコマンドは、ファームウェアバージョンが0で始まっている場合に、その先頭の0xfを報告しました。
- PCIeレーンマージン機能の問題。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが14.32.1010にアップデートされました。

- P21930-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4121A-XCATアダプター)
- P11341-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.32.1010にアップデートされました。

- P21927-B21(HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 MCX516A-CCHTアダプター)

バージョン14.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 3つの新しいアサートフィルター(ヘルスパッファ、NVlog、FWトレース)が追加されました。重大度レベルが新しいフィルター以上の場合、アサーションが公開されます。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。PF_NUM_OF_VF_VALIDはtrueである必要があり、PF_NUM_OF_VFはゼロ以外の値にする必要があります。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- 高速リンクアップ機能を使用する場合のリンクアップ時間を改善しました。
- ゼロタッチRoCE機能を有効にするために、slow_restartおよびslow_restart_idleパラメーターのサポートが追加されました。

バージョン16.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 関数ごとに作成できる作業キューリソース(QP、RQ、SQ ...)の最大数を設定するための新しいNvConfig/パラメーターLOG_MAX_QUEUEを追加しました。デフォルト値は2^17です。
- NICが応答しない状態になることを防ぐために、パディングとシグネチャーの両方を使用するVFの機能をブロックしました。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- このDCIへのRDMA WRITEがサポートされていないことを示すヒントをDCIソフトウェアコンテキストでソフトウェアに公開することによる、ARフローを使用したDCTのパフォーマンスの向上。
- 設定とクエリのレート制限をホスト単位およびポート単位で有効にするQSHRアクセスレジスタのサポートを追加しました。

- ソフトウェアステアリングでこのリソースを直接管理できるように、ファームウェアでVXLANカプセル化展開用の新しいソフトウェアステアリングICMリソースを公開しました。
- VXLANカプセル化展開のためのソフトウェアステアリングに対する新しいICMリソースの公開を有効にしました。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- 高速リンクアップ機能を使用する場合のリンクアップ時間を改善しました。
- モジュールによってエラーコードが報告されない場合に、DSFP AOC(CMIS)v4のサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernetアダプター専用 | PSID |
|------------|--|---------------|
| P21930-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4121A-XCHTアダプター | MT_0000000414 |
| P11341-B21 | HPE Ethernet 10Gb/25Gb 2ポートSFP28 MCX4621A-ACAB OCP3アダプター | MT_0000000238 |
| P21927-B21 | HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 MCX516A-CCHTアダプター | MT_0000000417 |

Mellanox Open Ethernetカードのオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (Windows x64)

バージョン: 1.0.0.6 (推奨)

ファイル名: cp050332.compsig; cp050332.exe

重要な注意!

アダプターファームウェアの書き換えシナリオでは、SUMは常にMellanox Openアダプターファームウェアスマートコンポーネントを適切に検出し、サーバーのiLO5ファームウェアバージョンが2.30より古い場合は、それを展開用に選択します。

事前要件

ConnectX4/ConnectX5ファームウェアバージョン14.27.4000/16.27.2008では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題点がバージョン14.32.1010で修正されました:

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- 光モジュールの使用中にピアポートが停止すると、まれにシステムが応答しない状態になることがあります。
- 非対称VFが有効になっている場合は、パケットペーシングレートが使用されました。
- rts2rts_qpの移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合のRNRタイムアウトが正しくありません。
- ConnectX-4LXのIPSecフローでRSSに問題が発生することにより、パフォーマンスが低下します。このシナリオでは、SPIの最適化によって特定のホストからのパケットが同じCPUコアにハッシュされました。ConnectX-4 Lxアダプターカードのl4_typeに従ったSPIの最適化が無視されるように修正されました。
- GetInventory NC-SIコマンドは、ファームウェアバージョンが0で始まっている場合に、その先頭の0xfを報告しました。

以下の問題点がバージョン16.32.1010で修正されました:

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- INIのRX_LOS極性の定義が正しくないために、リンクステータスが誤って報告され、その結果リンクがダウンしました。
- 光モジュールの使用中にピアポートが停止すると、まれにシステムが応答しない状態になることがあります。
- rts2rts_qpの移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合のRNRタイムアウトが正しくありません。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- GetInventory NC-SIコマンドは、ファームウェアバージョンが0で始まっている場合に、その先頭の0xfを報告しました。
- PCIeレーンマージン機能の問題。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが14.32.1010にアップデートされました。

- P21930-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4121A-XCATアダプター)
- P11341-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.32.1010にアップデートされました。

- P21927-B21(HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 MCX516A-CCHTアダプター)

バージョン14.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 3つの新しいアサートフィルター(ヘルスバッファ、NVlog、FWトレース)が追加されました。重大度レベルが新しいフィルター以上の場合、アサーションが公開されます。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。有効にするには、PF_NUM_OF_VF_VALIDをtrueにし、PF_NUM_OF_VFをゼロ以外の値にする必要があります。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- 高速リンクアップ機能を使用する場合のリンクアップ時間を改善しました。
- ゼロタッチRoCE機能を有効にするために、slow_restartおよびslow_restart_idleパラメーターのサポートが追加されました。

バージョン16.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 関数ごとに作成できる作業キューリソース(QP、RQ、SQ ...)の最大数を設定するための新しいNvConfigパラメーターLOG_MAX_QUEUEを追加しました。デフォルト値は2^17です。
- NICが応答しない状態になることを防ぐために、パディングとシグネチャーの両方を使用するVFの機能をブロックしました。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- このDCIへのRDMA WRITEがサポートされていないことを示すヒントをDCIソフトウェアコンテキストでソフトウェアに公開することによる、ARフローを使用したDCTのパフォーマンスの向上。
- 設定とクエリのレート制限をホスト単位およびポート単位で有効にするQSHRアクセスレジスタのサポートを追加しました。
- ソフトウェアステアリングでこのリソースを直接管理できるように、ファームウェアでVXLANカプセル化展開用の新しいソフトウェアステアリングICMリソースを公開しました。
- VXLANカプセル化展開のためのソフトウェアステアリングに対する新しいICMリソースの公開を有効にしました。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- 高速リンクアップ機能を使用する場合のリンクアップ時間を改善しました。
- モジュールによってエラーコードが報告されない場合に、DSFP AOC(CMIS)v4のサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernetアダプター専用 | PSID |
|------------|--|---------------|
| P21930-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4121A-XCHTアダプター | MT_0000000414 |
| P11341-B21 | HPE Ethernet 10Gb/25Gb 2ポートSFP28 MCX4621A-ACAB OCP3アダプター(P11341-B21) | MT_0000000238 |
| P21927-B21 | HPE Ethernet 100Gb 2ポート QSFP28 MCX516A-CCHTアダプター | MT_0000000417 |

Mellanoxファームウェアパッケージ(FWPKG)- MCX623106AS-CDAT Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56アダプターfor HPE

バージョン: 22.32.1010 (推奨)

ファイル名: 22_32_1010-MCX623106AS-CDA_Ax.pldm.fwpkg

事前要件

FWPKGは、アダプターにフラッシュされたファームウェアバージョンが22.27.1016以降の場合にのみ機能し、iLO5ファームウェアバージョンは2.30以降である必要があります。

修正

以下の問題点がバージョン22.32.1010で修正されました:

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- INIのRX_LOS極性の定義が正しくないために、リンクステータスが誤って報告され、その結果リンクがダウンしました。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- 有効な接続追跡フローから、サポートされていない接続追跡シンドロームがトリガーされました。
- ホストでRCBが128Bに設定されている場合に、ATSパケットが誤って処理されました。
- NVMeエミュレーションが有効になっていると、同期リセットがサポートされませんでした。NVMe EMUが有効になっているときに同期モード(sync=1)でmlxfwresetを実行すると、ツールでは同期リセットがサポートされていると報告されましたが、リセット自体は失敗しました。
- ソフトウェアでカウンターが頻りに照会されるため、キャッシュミスが増加し、パフォーマンスが低下しました。
- 許可されていないmulti-port-vhcaの設定が原因で、mlxconfig LAG_RESOURCE_ALLOCATIONが設定されるとアサートが発生しました。
- 2つの異なるポートに2つの同じフレックスパーサーparse-graph-nodesを構成すると、そのうち1つが機能しませんでした。

- rts2rts_qpの移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合のRNRタイムアウトが正しくありません。
- Link-Maintenanceフローの論理ポート構成から物理ポート構成へのマッピングをアップデートすると、SerdesでBERの問題が発生しました。
- ステアリングモードでのパケットヘッダーの書き換え時にvirtio(vDPAおよびvirtioフルエミュレーション)チェックサムオフロードが機能しないという問題が発生しました。
- CreateQPでQPNの単調増加が保証されないため、以前に破棄されたQPのQPNでQPが割り当てられるという問題が発生しました。
- HCA_CAP.cmdif_checksumを0x3に構成し、22.31.1004より前のファームウェアバージョンを使用すると、一部のコマンドが応答しない状態になったり、失敗したりするという問題が発生しました。
- virtioデバイス上でトラフィックを実行すると、Rx側がスタックするというドアベルドロップのまれなケースが発生しました。
- PCI帯域幅を使用し、PCIeレイテンシを導入した結果として、内部で誤って構成されたためにvirtio Txのppsが低下したEQによって予期しない過度の割り込みが発生しました。
- NICでEQが正しく構成されていないために、virtioエミュレーションアプリケーションのトラフィックを実行すると、ホストで予期しない過度の割り込みが受信されました。

拡張

バージョン22.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- ネットワーク接続の状態に関係なく、さまざまなvHCA上のプロセス間で通信できるようにするために使用されるOpenSNAPI通信チャネルのサポートが追加されました。
- ハードウェアで追加のステアリングレジスタ(reg_c_6)が公開されました。
- 関数ごとに作成できる作業キューリソース(QP、RQ、SQ ...)の最大数を設定するための新しいNvConfigパラメータLOG_MAX_QUEUEを追加しました。デフォルト値は2¹⁷です。
- 新しいステアリング一致定義元形式(形式33)のサポートが追加されました。
- ホットプラグされたエミュレートされたデバイスの分解(別名アンプラグフロー)は、プラグフローの逆順で行われます。ただし、特定の従来のホストソフトウェアスタックでは、PCIe PFデバイスのサブライズリムーバルがサポートされていません。このようなホストソフトウェアスタックをサポートするために、エミュレーションマネージャーソフトウェアでは適切な分解が実行されます。
- リモートまたはローカルディスク/NVDIMへのインラインデータ暗号化および復号化を行うことができるように、aes_xtsプロトコルを使用したディスク暗号化サービスが有効になりました。
- NICがハングアップしないように、パディングとシグネチャーの両方を使用するVFの機能がブロックされました。
- 3つの新しいアサートフィルター(ヘルスパッファ、NVlog、FWトレース)が追加されました。重大度レベルが新しいフィルター以上の場合、アサーションが公開されます。
- 同期イーサネットプロトコルに基づくクロック周波数同期のサポートが追加されました。注記:この機能は、50G以上のリンク速度ではサポートされていないため、診断カウンターと並行して実行できません。
- Flow Direct、LACP、およびGREオフロードのサポートが追加されました。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- 設定とクエリのレート制限をホスト単位およびポート単位で有効にするQSHRアクセスレジスタのサポートを追加しました。
- ソフトウェアステアリングでこのリソースを直接管理できるように、ファームウェアでVXLANカプセル化展開用の新しいソフトウェアステアリングICMリソースを公開しました。
- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。有効にするには:PF_NUM_OF_VF_VALIDはtrueである必要があり、PF_NUM_OF_VFはゼロ以外の値にする必要があります。
- MSIXとvirtio VFデバイスキューの数を動的に変更するオプションが有効になりました。注記:この変更は、デバイスにドライバーをロードする前に行う必要があります。この新しい機能には、次の制限があります。
 - キュー/MSIXの総数が2Kを超えることはできません
 - virtio VFデバイスあたりのキュー/MSIXが64を超えることはできません
 - virtioデバイスのスケールがmlxconfigから127未満に制限されています
- 新しいLAGモード(PORT_SELECT_FT LAG(ハッシュLAG))では、さまざまなポートから低速/高速パスのパケットが送信されないように、QP(キューアフィニティ(従来のLAG))に従ってパケットが分散されるのではなく、パケットヘッダーのハッシュに従ってパケットがポートに分散されます(ベータ機能)。このように機能が変更されたため、CQEの送信タイムスタンプが一時的にマルチeSwitchでサポートされなくなりました。
- "PPS in"ステータスへの"PPS out"の依存関係が削除されました。
- "所有者"は"ホストインデックス+ 1"値を使用するため、外部ホストを構成するために、ゼロ値が無視されるようにDPORT_OWNER構成を変更しました。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- TxとRxの統計が正しく反映されるように、RXステアリングフローを経由せずに直接QPに移動するようにRxフローを変更しました。
- 実行時にFCSがPTPで上書きされた場合のFCSのデフォルトの動作を制御するために、PCMRアクセスレジスタにrx_ts_over_crcが追加されました。
- モジュールによってエラーコードが報告されない場合に、DSFP AOC(CMIS)v4のサポートを追加しました。
- アクションリストの最大サイズ(2¹⁶)のハードウェア制限を回避するために、アクションリストの代わりにSTEでインラインアクションの使用が有効になりました。
- geneve_tlv_option_0_dataパラメータを照合するときに必要であるため、フローテーブルエントリーでgeneve_tlv_option_0_existの照合が有効になりました。
- CQドアベルリカバリのトリガーとvirtioトラフィックの中断を回避するために、内部CQドアベルリカバリが無効になりました。
- リンクリセットフロー中にリセットされたクレジットへのファームウェアの依存関係が削除されました。

サポートしているデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernetアダプター専用 | PSID |
|------------|---|---------------|
| P25960-B21 | HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 MCX623106AS-CDATアダプター | MT_0000000437 |

Mellanoxファームウェアパッケージ(FWPKG)- Mellanox MCX631102AS-ADAT Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE

バージョン: 26.32.1010 (推奨)

ファイル名: 26_32_1010-MCX631102AS-ADA_Ax.pldm.fwpkg

修正

以下の問題点がバージョン26.32.1010で修正されました:

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- INIのRX_LOS極性の定義が正しくないために、リンクステータスが誤って報告され、その結果リンクがダウンしました。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- レベル4でPhylessリセット(NIC phylessリセットによるウォームリブート)を使用すると、ハードウェアエラーとリンクのドロップが発生することがありました。
- NVMeエミュレーションが有効になっていると、同期リセットがサポートされませんでした。NVMe EMUが有効になっているときに同期モード(sync=1)でmlxfwresetを実行すると、ツールでは同期リセットがサポートされていると報告されましたが、リセット自体は失敗しました。
- NVconfigを使用してデフォルトのホストチェーン化バッファサイズまたはWQEサイズ(HOST_CHAINING_DESCRIPTOR、HOST_CHAINING_TOTAL_BUFFER_SIZE)を変更すると、ドライバーの初期化に失敗しました。
- rts2rts_qpの移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合のRNRタイムアウトが正しくありません。

拡張

バージョン26.32.1010の新機能および変更:

- ネットワーク接続の状態に関係なく、さまざまなvHCA上のプロセス間で通信できるようにするために使用されるOpenSNAPI通信チャネルのサポートが追加されました。
- 関数ごとに作成できる作業キューリソース(QP、RQ、SQ ...)の最大数を設定するための新しいNvConfig/パラメーターLOG_MAX_QUEUEを追加しました。デフォルト値は2¹⁷です。
- 新しいステアリング一致定義元形式(形式33)のサポートが追加されました。
- NICが応答しない状態になることを防ぐために、パディングとシグネチャーの両方を使用するVFの機能をブロックしました。
- 3つの新しいアサートフィルター(ヘルスパッファ、NVlog、FWトレース)が追加されました。重大度レベルが新しいフィルター以上の場合、アサーションが公開されます。
- 新しいLAGモード(PORT_SELECT_FT LAG(ハッシュLAG))では、さまざまなポートから低速/高速パスのケットが送信されないように、QP(キューアフィニティ(従来のLAG))に従ってケットが分散されるのではなく、ケットヘッダーのハッシュに従ってケットがポートに分散されます(ベータ機能)。このように機能に変更されたため、CQEの送信タイムスタンプが一時的にマルチeSwitchでサポートされなくなりました。
- 設定とクエリのレート制限をホスト単位およびポート単位で有効にするQSHRアクセスレジスタのサポートを追加しました。
- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。有効にするには:PF_NUM_OF_VF_VALIDはtrueである必要があり、PF_NUM_OF_VFはゼロ以外の値にする必要があります。
- "PPS in"ステータスへの"PPS out"の依存関係が削除されました。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- モジュールによってエラーコードが報告されない場合に、DSFP AOC(CMIS)v4のサポートを追加しました。

Mellanoxファームウェアパッケージ(FWPKG)- Mellanox MCX631432AS-ADAI Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

バージョン: 26.32.1010 (推奨)

ファイル名: 26_32_1010-MCX631432AS-ADA_Ax.pldm.fwpkg

修正

以下の問題点がバージョン26.32.1010で修正されました:

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- INIのRX_LOS極性の定義が正しくないために、リンクステータスが誤って報告され、その結果リンクがダウンしました。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- レベル4でPhylessリセット(NIC phylessリセットによるウォームリブート)を使用すると、ハードウェアエラーとリンクのドロップが発生することがありました。
- NVMeエミュレーションが有効になっていると、同期リセットがサポートされませんでした。NVMe EMUが有効になっているときに同期モード(sync=1)でmlxfwresetを実行すると、ツールでは同期リセットがサポートされていると報告されましたが、リセット自体は失敗しました。
- NVconfigを使用してデフォルトのホストチェーン化バッファサイズまたはWQEサイズ(HOST_CHAINING_DESCRIPTOR、HOST_CHAINING_TOTAL_BUFFER_SIZE)を変更すると、ドライバーの初期化に失敗しました。
- rts2rts_qpの移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合のRNRタイムアウトが正しくありません。

拡張

バージョン26.32.1010の新機能および変更:

- ネットワーク接続の状態に関係なく、さまざまなvHCA上のプロセス間で通信できるようにするために使用されるOpenSNAPI通信チャネルのサポートが追加されました。
- 関数ごとに作成できる作業キューリソース(QP、RQ、SQ ...)の最大数を設定するための新しいNvConfigパラメーターLOG_MAX_QUEUEを追加しました。デフォルト値は2¹⁷です。
- 新しいステアリング一致定義元形式(形式33)のサポートが追加されました。
- NICが応答しない状態になることを防ぐために、パディングとシグネチャーの両方を使用するVFの機能をブロックしました。
- 3つの新しいアサートフィルター(ヘルスバッファ、NVlog、FWトレース)が追加されました。重大度レベルが新しいフィルター以上の場合、アサーションが公開されます。
- 新しいLAGモード(PORT_SELECT_FT LAG(ハッシュLAG))では、さまざまなポートから低速/高速パスの packets が送信されないように、QP(キューアフィニティ(従来のLAG))に従って packets が分散されるのではなく、パケットヘッダーのハッシュに従って packets がポートに分散されます(ベータ機能)。このように機能が変更されたため、CQEの送信タイムスタンプが一時的にマルチeSwitchでサポートされなくなりました。
- 設定とクエリのレート制限をホスト単位およびポート単位で有効にするQSHRアクセスレジスタのサポートを追加しました。
- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。有効にするには:PF_NUM_OF_VF_VALIDはtrueである必要があり、PF_NUM_OF_VFはゼロ以外の値にする必要があります。
- "PPS in"ステータスへの"PPS out"の依存関係が削除されました。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- モジュールによってエラーコードが報告されない場合に、DSFP AOC(CMIS)v4のサポートを追加しました。

Mellanoxファームウェアパッケージ(FWPKG)for Mellanox MCX562A-ACAI Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 OCP3アダプターfor HPE

バージョン: 16.32.1010 (推奨)

ファイル名: 16_32_1010-MCX562A-ACA_Ax_Bx.pldm.fwpkg

重要な注意!

ドライバーを含む特定のソフトウェアおよびドキュメントは、Mellanoxから提供されます。<http://www.mellanox.com/>のURLを選択した場合、HPE.comから移動します。Mellanoxのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードするには、<http://www.mellanox.com/>上の指示に従ってください。Mellanoxのソフトウェアおよびドキュメントをダウンロードした場合、Webサイトあるいは他で提供されているライセンス条項を含むMellanox社の使用許諾に従わなければいけません。HPE製品またはソリューションの購入の契約条件に従って、HPEがMellanoxのソフトウェアに保証規定を提供する場合を除いて、<http://www.mellanox.com/>からダウンロードしたいいかなるソフトウェアおよびドキュメントの使用に関してHPEは責任を負いません。

このリリースの既知の問題のリストは、<https://docs.mellanox.com/display/ConnectX5Firmwarev16321010/Known+Issues>から入手できます。

事前要件

FWPKGは、アダプターにフラッシュされたファームウェアバージョンが16.27.1016以降の場合にのみ機能し、iLO5ファームウェアバージョンは2.30以降である必要があります。

修正

以下の問題点がバージョン16.32.1010で修正されました

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- INIのRX_LOS極性の定義が正しくないために、リンクステータスが誤って報告され、その結果リンクがダウンしました。
- 光モジュールの使用中にピアポートが停止すると、システムが応答しない状態になりました。
- rts2rts_qp移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合の無効なRNRタイムアウト。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- GetInventory NC-SIコマンドは、ファームウェアバージョンが0で始まっている場合に、その先頭の0xfを報告しました。
- PCIeレーンマージン機能の問題。
- SMがsl2vl madをクラスター内のノードに送信したときに、InfiniBandネットワークでの送信で数ミリ秒の一時的な中断が発生したsl2vl madに関連する問題。

拡張

重要: セキュリティ強化の機能改善 - このリリースには、重要な信頼性の向上とセキュリティ強化の機能改善が含まれています。HPEでは、デバイスのファームウェアのセキュリティと信頼性を向上させるために、デバイスのファームウェアをこのバージョンにアップグレードすることを推奨しています。

バージョン16.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 関数ごとに作成できる作業キューリソース(QP、RQ、SQ ...)の最大数を設定するための新しいNvConfigパラメーターLOG_MAX_QUEUEを追加しました。デフォルト値は2¹⁷です。
- NICが応答しない状態になることを防ぐために、パディングとシグネチャーの両方を使用するVFの機能をブロックしました。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- このDCIへのRDMA WRITEがサポートされていないことを示すヒントをDCIソフトウェアコンテキストでソフトウェアに公開することによる、ARフローを使用したDCTのパフォーマンスの向上。
- 設定とクエリのレート制限をホスト単位およびポート単位で有効にするQSHRアクセスレジスタのサポートを追加しました。
- ソフトウェアステアリングでこのリソースを直接管理できるように、ファームウェアでVXLANカプセル化展開用の新しいソフトウェアステアリングICMリソースを公開しました。
- VXLANカプセル化展開のためのソフトウェアステアリングに対する新しいICMリソースの公開を有効にしました。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- 高速リンクアップ機能を使用する場合のリンクアップ時間を改善しました。
- モジュールによってエラーコードが報告されない場合に、DSFP AOC(CMIS)v4のサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernetアダプター専用 | PSID |
|------------|---|---------------|
| P10112-B21 | Mellanox MCX562A-ACAI Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE | MT_0000000241 |

Mellanoxファームウェアパッケージ(FWPKG)for Mellanox MCX623105AS-VDAT Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56アダプターfor HPE

バージョン: 22.32.1010 (推奨)

ファイル名: 22_32_1010-MCX623105AS-VDA_Ax.pldm.fwpkg

事前要件

FWPKGは、アダプターにフラッシュされたファームウェアバージョンが22.27.1016以降の場合にのみ機能し、iLO5ファームウェアバージョンは2.30以降である必要があります。

修正

以下の問題点がバージョン22.32.1010で修正されました:

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- INIのRX_LOS極性の定義が正しくないために、リンクステータスが誤って報告され、その結果リンクがダウンしました。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- 有効な接続追跡フローから、サポートされていない接続追跡シンドロームがトリガーされました。
- ホストでRCBが128Bに設定されている場合に、ATSパケットが誤って処理されました。
- NVNeエミュレーションが有効になっていると、同期リセットがサポートされませんでした。NVME EMUが有効になっているときに同期モード(sync=1)でmlxfwresetを実行すると、ツールでは同期リセットがサポートされていると報告されましたが、リセット自体は失敗しました。
- ソフトウェアでカウンターが頻繁に照会されるため、キャッシュミスが増加し、パフォーマンスが低下しました。

- 許可されていないmulti-port-vhcaの設定が原因で、mlxconfig LAG_RESOURCE_ALLOCATIONが設定されるとアサートが発生しました。
- 2つの異なるポートに2つの同じフレックスパーサーparse-graph-nodesを構成すると、そのうち1つが機能しませんでした。
- rts2rts_qpの移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合のRNRタイムアウトが正しくありません。
- Link-Maintenanceフローの論理ポート構成から物理ポート構成へのマッピングをアップデートすると、SerdesでBERの問題が発生しました。
- ステアリングモードでのパケットヘッダーの書き換え時にvirtio(vDPAおよびvirtioフルエミュレーション)チェックサムオフロードが機能しないという問題が発生しました。
- CreateQPでQPNの単調増加が保証されないため、以前に破棄されたQPのQPNでQPが割り当てられるという問題が発生しました。
- HCA_CAP.cmdif_checksumを0x3に構成し、22.31.1004より前のファームウェアバージョンを使用すると、一部のコマンドが応答しない状態になったり、失敗したりするという問題が発生しました。
- virtioデバイス上でトラフィックを実行すると、Rx側がスタックするというドアベルドロップのまれなケースが発生しました。
- PCI帯域幅を使用し、PCIeレイテンシを導入した結果として、内部で誤って構成されたためにvirtio Txのppsが低下したEQによって予期しない過度の割り込みが発生しました。
- NICでEQが正しく構成されていないために、virtioエミュレーションアプリケーションのトラフィックを実行すると、ホストで予期しない過度の割り込みが受信されました。

拡張

バージョン22.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- ネットワーク接続の状態に関係なく、さまざまなvHCA上のプロセス間で通信できるようにするために使用されるOpenSNAPI通信チャネルのサポートが追加されました。
- ハードウェアで追加のステアリングレジスタ(reg_c_6)が公開されました。
- 関数ごとに作成できる作業キューリソース(QP、RQ、SQ ...)の最大数を設定するための新しいNvConfig/パラメーターLOG_MAX_QUEUEを追加しました。デフォルト値は2¹⁷です。
- 新しいステアリング一致定義元形式(形式33)のサポートが追加されました。
- ホットプラグされたエミュレートされたデバイスの分解(別名アンプラグフロー)は、プラグフローの逆順で行われます。ただし、特定の従来のホストソフトウェアスタックでは、PCIe PFデバイスのサブライズリムーバルがサポートされていません。このようなホストソフトウェアスタックをサポートするために、エミュレーションマネージャーソフトウェアでは適切な分解が実行されます。
- リモートまたはローカルディスク/NVDIMへのインラインデータ暗号化および復号化を行うことができるように、aes_xtsプロトコルを使用したディスク暗号化サービスが有効になりました。
- NICがハングアップしないように、パディングとシグネチャーの両方を使用するVFの機能がブロックされました。
- 3つの新しいアサートフィルター(ヘルスパッファ、NVlog、FWトレース)が追加されました。重大度レベルが新しいフィルター以上の場合、アサーションが公開されます。
- 同期イーサネットプロトコルに基づくクロック周波数同期のサポートが追加されました。注記:この機能は、50G以上のリンク速度ではサポートされていないため、診断カウンターと並行して実行できません。
- Flow Direct、LACP、およびGREオフロードのサポートが追加されました。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- 設定とクエリのレート制限をホスト単位およびポート単位で有効にするQSHRアクセスレジスタのサポートを追加しました。
- ソフトウェアステアリングでこのリソースを直接管理できるように、ファームウェアでVXLANカプセル化展開用の新しいソフトウェアステアリングICMリソースを公開しました。
- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。有効にするには:PF_NUM_OF_VF_VALIDはtrueである必要があり、PF_NUM_OF_VFはゼロ以外の値にする必要があります。
- MSIXとvirtio VFデバイスキューの数を動的に変更するオプションが有効になりました。注記:この変更は、デバイスにドライバーをロードする前に行う必要があります。この新しい機能には、次の制限があります。
 - キュー/MSIXの総数が2Kを超えることはできません
 - virtio Vfデバイスあたりのキュー/MSIXが64を超えることはできません
 - virtioデバイスのスケールがmlxconfigから127未満に制限されています
- 新しいLAGモード(PORT_SELECT_FT LAG(ハッシュLAG))では、さまざまなポートから低速/高速パスのパケットが送信されないように、QP(キューアフィニティ(従来のLAG))に従ってパケットが分散されるのではなく、パケットヘッダーのハッシュに従ってパケットがポートに分散されます(ベータ機能)。このように機能が変更されたため、CQEの送信タイムスタンプが一時的にマルチeSwitchでサポートされなくなりました。
- "PPS in"ステータスへの"PPS out"の依存関係が削除されました。
- "所有者"は"ホストインデックス+ 1"値を使用するため、外部ホストを構成するために、ゼロ値が無視されるようにDPORT_OWNER構成を変更しました。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- TxとRxの統計が正しく反映されるように、RXステアリングフローを経由せずに直接QPに移動するようにRxフローを変更しました。
- 実行時にFCSがPTPで上書きされた場合のFCSのデフォルトの動作を制御するために、PCMRアクセスレジスタにrx_ts_over_crcが追加されました。
- モジュールによってエラーコードが報告されない場合に、DSFP AOC(CMIS)v4のサポートを追加しました。
- アクションリストの最大サイズ(2¹⁶)のハードウェア制限を回避するために、アクションリストの代わりにSTEでインラインアクションの使用が有効になりました。
- geneve_tlv_option_0_dataパラメーターを照合するときに必要なため、フローテーブルエントリーでgeneve_tlv_option_0_existの照合が有効になりました。

- CQドアベルリカバリのトリガーとvirtioトラフィックの中断を回避するために、内部CQドアベルリカバリが無効になりました。
- リンクリセットフロー中にリセットされたクレジットへのファームウェアの依存関係が削除されました。

サポートしているデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernetアダプター専用 | PSID |
|------------|---|---------------|
| P10180-B21 | HPE Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 MCX623105AS-VDATアダプター | MT_0000000435 |

Online Firmware Upgrade Utility (ESXi 6.7) for HPE Mellanox VPI (Ethernet and Infiniband mode) devices on VMware ESXi 6.7

バージョン: 1.0.5 (推奨)

ファイル名: CP045903.compsig; CP045903.zip

重要な注意!

ファームウェアバージョン2.42.5000、2.42.5056、2.42.5700での既知の問題:

- QSFP(Quad Small Form-factor Pluggable)モジュールRTXM320-581を使用して、ファームウェアのアップグレード/ダウングレードを有効にするためにドライバーの再起動を実行したとき、リンクが使用可能になりません。
回避策: サーバーを再起動します。
- mlxconfigを使用してcq_timestampを有効または無効にすることはサポートされていません。
- 2つの別個のLEDスキーム(Phy LEDと論理LED)を備えたカードでは、Phy LEDだけが点灯します。つまり、オレンジ色のLEDは、ETHリンクがアイドルモードの間はアクティブではありません。
- SR-IOVセットアップでは、パケットフィルター(PF)がVMに渡されるときにmlxconfigを使用すると、ハイパーバイザーの再起動を必要とします。
- v2.30.8000またはそれ以降のバージョンから2.30.8000以前のバージョンにダウングレードするには、サーバーのリポートが必要です。
回避策: サーバーを再起動します。
- ConnectX-3 Ethernetアダプターカードでは、ファームウェア管理ツールによって返されるGUID値とデバイスファームウェアを通してGUIDを読み込むファブリック/ドライバーユーティリティ(例えば、ibstatを使用)によって返される値の間にミスマッチがあります。ユーティリティがMACアドレスから得られた値を返すとき、Mlxburn/flintはGUIDとして0xffffを返します。すべてのドライバー/ファームウェア/ソフトウェアのために、前者の値が使用されるべきです。
回避策: ファブリック/ドライバーユーティリティによって返されたGUID値を使用してください(0xffffではなく)。
- SBRはConnectX-3アダプターのために最低50msアサートされる必要があります
- Pilot1 SL230で、PCIeリンクは時々Gen3の速度に達しません。
- ドライバーの互換性の問題のため、SRIOVがVPIカードで有効になっている場合、RHEL6.3インボックスドライバーがカーネルパニックを引き起こします。
回避策: [IB_TAB]で"do_-sense=false"パラメーターを設定してください。
- アドバンスドステアリングモードで、MCGごとに8以上のQPを持つ場合、サイドバンド管理接続性が失われることがあります。
- システムBIOSでSR-IOVが無効にされたとき、Linuxカーネルv3.8のUbuntu v12.04.3で、Mellanoxを含むいくつかの製造業者のNICが動作しない可能性があるPCI問題が認識されています。
回避策: BIOSのSR-IOVを有効にします。
- Mellanox Firmware Tool(MFT)は、ツール動作が停止を強制された場合にロックされたフラッシュセマフォを残すことがあります。セマフォがロックされていると、ファームウェアはフラッシュにアクセスすることができず、ハングアップします。
回避策: MFTコマンドを使用してセマフォをクリアします: 'flint -clear_semaphore'
- MC2210411-SR4モジュールを使用する場合、ケーブル情報MADは正しくないケーブル情報をレポートします。
- 10C/分以上のスピードで温度が上昇するとGen2が故障します(MT27518A1-FDIR-BVのみ)。
- MT27518A1-FDIR-BVでは10C/分以上のスピードで温度が上昇するとPCIe Gen2リンクが不安定になります。
- Bloomフィルターは、現在サポートされません。
- ファームウェアv2.11.0000からダウングレードし、MFT3.0.0-3を使用する場合、次のメッセージがmlxconfigツールにより表示されます。You are trying to override configurable FW by non-configurable FW. If you continue, old FW configurations will be cleared, do you want to continue ? (y/n) [n] : y You are trying to restore default configuration, do you want to continue ? (y/n) [n] : y.
- MLNX_OFED-2.0.3でInfiniBandを操作する場合、DMFSを有効にしないでください
- ConnectX®-3 Pro VFデバイスIDは、ドライバーの制限のためConnectX®-3 VFデバイスIDと同じように示されます。
回避策: デバイスを識別するために物理機能のデバイスIDを使用してください。
- VPD(仮想プライベートデータベース)の読み取り専用のフィールドが書き込み可能です。
回避策: それらを保持したい場合は、読み取り専用フィールドに書き込まないでください。

- port1 FDRおよびport2 40Gで仮想バス識別子(VPI)モードで作業する場合、エラーカウンターが正常に機能せず、高速に増加します。
- デバイスを128Byte CQ/EQスライ드에設定するとサイドバンド管理が正常に機能せず、コミュニケーション消失につながります。
- CQおよびEQを異なるスライスサイズに構成することはできません。
- ポートがETHスイッチに接続されているときに、NCSI/IPMIが有効になっている状態でポートプロトコルをETHからIBに変更することは推奨されません。
回避策:1. スイッチからケーブルを抜きます。2. ドライバーを再起動します。3. 適切なツールを使用して、プロトコルを変更します。
- アダプターカードMCX349A-XCCNは、特定のスイッチでリンクアップ時間が数秒間長くなることがあります。
- アダプターカードMCX349A-XCCNは、ethtoolの "identify"コマンド(ethtool -p/--identify)に応答しません。
- IPv6上でのリモートデスクトッププロトコル(RDP)は、現在機能しません。
回避策:ソフトウェアのデフォルトのRoCEモードをRoCE v2(RoCEを使用していない場合も)に設定します
- Sniffer QPでは、"push to that rule"と同等の挿入スキームのあるQPを追加した後に正規のルールを削除できません。
- PCI Physical FunctionごとのBoot Entry Vector (BEV)のみがサポートされているので、最初のポートを無効化すると、二番目のポートも消えてしまいます。
- NICは、56GbEポートリンクのNICポートからケーブルが外れてしまっている場合に、リンクダウンをドライバーに通知しません。
- 100GbE 光ケーブルを使用している場合に、56GbE リンクが起動しません。
- MLNX_OFED v3.3-1.0.0.0を使用している場合、サーバーのリポートが非同期イベントハンドラーから呼ばれた mlx4_en_get_drvinfo()のカーネルパニックにより、動けなくなることがあります。
- ibdumpを実行するときは、ループバックトラフィックがカーネルドライバーにミラーリングされます。
- ifconfigを実行してOSから設定されたMACアドレスがOCBBバッファに反映されません。
- アダプターカードは、C7000エンクロージャー内の40GE対応スイッチポートで、10Gリンクを立ち上げることができません。スイッチポートが許可する場合、1Gリンクのみを立ち上げることができます。
- プライマリI2CバスでI2Cヘッダーを介したMTUSB通信は、live-fishモードのみでサポートされます

修正

バージョン2.42.5000での修正:

- PortRcvPktsカウンターはリセット後にクリアされませんでした。
- 10個を超える仮想ファンクションがFLRを実行し、完了タイムアウト値が16ミリ秒より小さい範囲に構成されている場合に、仮想ファンクション(VF)の構成サイクルでシステムのタイムアウトが発生する問題。
- ドライバーを(別のスレッドから)並行して再起動しているときに、"mlxftop -d mt4103_pci_cr0"を実行した場合、サーバーがハングしてNMIになります。この場合、デバイスのダウンストリームブリッジは完了タイムアウトエラーを報告しました。
- bmc_rebootの実行後にBMCがIPv6でpingを受信できなかったflow_steeringの問題。
- HCAを閉じている間、RXパケットは存在しなかったリソースへの不正アクセスを引き起こし、その結果QPCGWまたはirisがスタックしました。
- ポートがActiveやArmedの状態でない場合に、マスターMLIDとLIDが0または0xFFFFである問題。
- ibdumpがすべてのMADパケットをキャプチャーできない問題。
- 再起動後にリンクアップしませんでした。
- sw_resetの実行中に到着したPCIeコンフィギュレーションサイクルが2つの完了を生成する原因となる、まれな問題を修正しました。
- iniファイル内にdisable_stat-ic_steering_iniフィールドを追加したときに、スクラッチパッドでのこのフィールドのメモリ割り当ての問題により、ネットワークコントローラーサイドバンドインターフェイス(NC-SI)が動作しなくなる問題。

バージョン2.42.5056での修正:

- VPIアダプターデバイスでポートがInfiniBandとして構成されている場合に、UEFIブートからOSブートへのハンドオーバーで無効なI/Oアドレスからの読み取りの結果として発生する問題を修正しました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5000にアップデートされます。

764282-B21
764286-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5056にアップデートされます。

764283-B21
764284-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5700にアップデートされます:

764285-B21

ファームウェアバージョン2.42.5000での新機能:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
 - 新しいTLV: CX3_GLOBAL_CONFを使用して、mlxconfig構成を介して着信パケットのタイムスタンプを有効または無効にします。

- ユーザーMAC構成。
 - ドライバーのリセット前に自動的にmstdumpを収集します。
 - TPT(iron)からDEAD_IRISC(plastic)を検出し、アサートを発生させるメカニズム。
 - user_mtuのサイズをファームウェアに示す"set port"コマンドに新しいフィールドの追加。
- コマンドタイムアウトの場合のデバッグ機能が向上しました。

ファームウェアバージョン2.42.5700の新機能および変更。

- mlx_cmd_get_mlx_link_statusコマンドの戻り値を、Ethernetアダプターカードで"Link Type = Ethernet"を返すように変更しました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるデバイス

| HPE部品番号 | デバイス名 | PSID |
|------------|---|----------------|
| 764282-B21 | HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+Mアダプター | HPE_1350110023 |
| 764283-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+Mアダプター | HPE_1360110017 |
| 764284-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFPアダプター | HPE_1370110017 |
| 764285-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター | HPE_1380110017 |
| 764286-B21 | HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター | HPE_1390110023 |

Online Firmware Upgrade Utility (Linux x86_64) for HPE Mellanox IB only ConnectX4 device on Linux x86_64 platform

バージョン: 1.0.9 (推奨)

ファイル名: firmware-nic-mellanox-ib-cx4-cx5-1.0.9-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-mellanox-ib-cx4-cx5-1.0.9-1.1.x86_64.rpm

拡張

次のデバイス用のファームウェアが12.26.1040にアップデートされました:

843400-B21 (HPE Apollo A10 InfiniBand EDR (100Gb) 2ポートアダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.26.1040にアップデートされます。

872723-B21(HPE Apollo InfiniBand EDR 100Gb 2ポート841zメザニンアダプター)

872725-B21(HPE InfiniBand EDR 100Gb 1ポート841QSFP28アダプター)

ファームウェアバージョン12.26.1040および16.26.1040の新機能および変更:

- ICMDコマンドを使用して、cmdifと同様の診断カウンターを処理することにより、ファームウェアを有効にしました。これらはvsecスペースを介して呼び出すことができます。カウンターの値は、トレーサー経由でのみ返されます。ICMD Query Capsはサポートを示し、サポートされているカウンターのリストを公開します。
- ユーザーコンテキストオブジェクト(DEVX)は、ユーザーごとのコンテナー化されたサンドボックスであり、一般オブジェクトコマンド、UMEMおよびUCTXコンテキストを使用してPRMコマンドに安全にアクセスします。この機能で許可される機能は、ユーザーの権限によって異なります。
次の機能は引き続きカーネルによって管理されます。
 - リソースのクリーニング
 - UCTXスタンピング
 - これらのUCTXからの物理アドレスとIRQのブロック
- コマンドインターフェイスを使用した、DEVXユーザーへのサポートされている関連および非関連の非同期イベントの報告のサポートが追加されました。
- Zero-Touch-RoCE機能を使用する場合は、ユーザーがデバッグ目的でZero-Touch-RoCEカウンターを使用できるようになりました。
- このリリースには、重要な信頼性の向上とセキュリティ強化の機能改善が含まれています。Mellanoxでは、デバイスファームウェアのセキュリティと信頼性を向上させるために、デバイスファームウェアをこのリリースにアップグレードすることを推奨しています。

ファームウェアバージョン16.26.1040の変更および新機能:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
 - MKEYおよびUMEMのアドレス変換サービス(ATS)のサポート。
 - 仮想機能(VF)の重要製品データ(VPD)の公開。
 - ヘアピンドロップカウンター。
 - DevXを操作するためのヘアピンとTM RNDV QP。
 - eSwitch/Forwarding Table(FDB)のソフトウェア管理ステアリングテーブルの作成。

Online Firmware Upgrade Utility (Windows x64) for HPE Mellanox IB only ConnectX4 device on Windows x86_64 platform

バージョン: 1.0.0.9 (推奨)

ファイル名: cp050409.compsig; cp050409.exe

拡張

次のデバイス用のファームウェアが12.26.1040にアップデートされました:

843400-B21 (HPE Apollo A10 InfiniBand EDR (100Gb) 2ポートアダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.26.1040にアップデートされます。

872723-B21(HPE Apollo InfiniBand EDR 100Gb 2ポート841zメザニンアダプター)

872725-B21(HPE InfiniBand EDR 100Gb 1ポート841QSFP28アダプター)

ファームウェアバージョン12.26.1040および16.26.1040の新機能および変更:

- ICMDコマンドを使用して、cmdifと同様の診断カウンターを処理することにより、ファームウェアを有効にしました。これらはvsecスペースを介して呼び出すことができます。カウンターの値は、トレーサー経由でのみ返されます。ICMD Query Capsはサポートを示し、サポートされているカウンターのリストを公開します。
- ユーザーコンテキストオブジェクト(DEVX)は、ユーザーごとのコンテナ化されたサンドボックスであり、一般オブジェクトコマンド、UMEMおよびUCTXコンテキストを使用してPRMコマンドに安全にアクセスします。この機能で許可される機能は、ユーザーの権限によって異なります。次の機能は引き続きカーネルによって管理されます。
 - リソースのクリーニング
 - UCTXスタンピング
 - これらのUCTXからの物理アドレスとIRQのブロック
- コマンドインターフェイスを使用した、DEVXユーザーへのサポートされている関連および非関連の非同期イベントの報告のサポートが追加されました。
- Zero-Touch-RoCE機能を使用する場合は、ユーザーがデバッグ目的でZero-Touch-RoCEカウンターを使用できるようになりました。
- このリリースには、重要な信頼性の向上とセキュリティ強化の機能改善が含まれています。Mellanoxでは、デバイスファームウェアのセキュリティと信頼性を向上させるために、デバイスファームウェアをこのリリースにアップグレードすることを推奨しています。

ファームウェアバージョン16.26.1040の変更および新機能:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
 - MKEYおよびUMEMのアドレス変換サービス(ATS)のサポート。
 - 仮想機能(VF)の重要製品データ(VPD)の公開。
 - ヘアピンドロップカウンター。
 - DevXを操作するためのヘアピンとTM RNDV QP。
 - eSwitch/Forwarding Table(FDB)のソフトウェア管理ステアリングテーブルの作成。

Online Firmware Upgrade Utility (Windows x64) for HPE Mellanox VPI (Ethernet and Infiniband mode) ConnectX4 devices on Windows x86_64 platform

バージョン: 1.0.0.11 (推奨)

ファイル名: cp050380.compsig; cp050380.exe

修正

バージョン12.26.1040で提出された修正:

- IPoIBは、動的接続トランスポート(DC)CNAKキューペア(QP)がアクティブな場合に機能できませんでした。
- まれに、firmware coalesce Host stuckイベントが発生すると、非同期イベントが報告されるまで遅延し、PCIeがホストのいずれかで次にハングするまでトリガーされないことがあります。
- GMP Mellanox Vendor Specific External Capability mask enumの名前を、IsDiagnosticCountersSupportedからIsDiagnosticDataSupportedに変更しました。
- PCIe Transaction Layer Packet(TLP)がポイズニングの兆候で設定されている場合に機能が誤動作する問題を修正しました。

バージョン16.26.1040で提出された修正:

- まれに、firmware coalesce Host stuckイベントが発生すると、非同期イベントが報告されるまで遅延し、PCIeがホストのいずれかで次にハングするまでトリガーされないことがあります。
- 予期しないキューペアは、損失の多いテストでエラーに移行しました。
- PFで作成されるダンプの最大量を制限しました。
- GMP Mellanox Vendor Specific External Capability mask enumの名前を、IsDiagnosticCountersSupportedからIsDiagnosticDataSupportedに変更しました。
- ストレス下でのRDMA over Converged Ethernet(RoCE)再送信の安定性の問題は、Zero-Touch-RoCEに影響を与えていました。

- PCIe Transaction Layer Packet(TLP)がポイズニングの兆候で設定されている場合に機能が誤動作する問題を修正しました。
- TTL書き換えでジャンプフレームを実行すると、大量のパケットがドロップしました。
- サービス品質(QoS)ツリー2Kの要素の数を制限しました。
注記:TCごとに250を超えるVport_tcを作成することは許可されていません。
- キューペア(QP)フロックエリは常にポート1を使用していました。ファームウェアは、デュアルポートRoCEネットデバイスの適切なポート1または2に応答するようになりました。
- ナックカウンターが常に"0"として報告されました。
- まれなシナリオとして、ドライバーが"zerr"コマンドを実行し、QPがSend Queue(SQ)ドレイン状態にあった場合、ファームウェアは、すべてのWQEでエラーの完了キューエントリ(CQE)を送信する代わりに、破損したワークキューエントリ(WQ)のイベントをポストすることがあります。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが12.26.1040にアップデートされました:

825110-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28アダプター)
825111-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.26.1040にアップデートされます。

879482-B21 (HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFPアダプター)
872726-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2-port 841QSFP28アダプター)

ファームウェアバージョン12.26.1040および16.26.1040の新機能および変更:

- ICMDコマンドを使用して、cmdifと同様の診断カウンターを処理することにより、ファームウェアを有効にしました。これらはvsecスペースを介して呼び出すことができます。カウンターの値は、トレーサー経由でのみ返されます。ICMD Query Capsはサポートを示し、サポートされているカウンターのリストを公開します。
- ユーザーコンテキストオブジェクト(DEVX)は、ユーザーごとのコンテナ化されたサンドボックスであり、一般オブジェクトコマンド、UMEMおよびUCTXコンテキストを使用してPRMコマンドに安全にアクセスします。この機能で許可される機能は、ユーザーの権限によって異なります。
次の機能は引き続きカーネルによって管理されます。
 - リソースのクリーニング
 - UCTXスタンピング
 - これらのUCTXからの物理アドレスとIRQのブロック
- コマンドインターフェイスを使用した、DEVXユーザーへのサポートされている関連および非関連の非同期イベントの報告のサポートが追加されました。
- Zero-Touch-RoCE機能を使用する場合は、ユーザーがデバッグ目的でZero-Touch-RoCEカウンターを使用できるようになりました。
- このリリースには、重要な信頼性の向上とセキュリティ強化の機能改善が含まれています。Mellanoxでは、デバイスファームウェアのセキュリティと信頼性を向上させるために、デバイスファームウェアをこのリリースにアップグレードすることを推奨しています。

ファームウェアバージョン16.26.1040の変更および新機能:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
 - MKEYおよびUMEMのアドレス変換サービス(ATS)のサポート。
 - 仮想機能(VF)の重要製品データ(VPD)の公開。
 - ヘアピンドロップカウンター。
 - DevXを操作するためのヘアピンとTM RNDV QP。
 - eSwitch/Forwarding Table(FDB)のソフトウェア管理ステアリングテーブルの作成。

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 6.5) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード) ConnectX6デバイス - VMware ESXi 6.5

バージョン: 1.0.3 (推奨)

ファイル名: CP050419.compsig; CP050419.zip

重要な注意!

ConnectX-6 VPIは、次の組み合わせマトリックスに従って、1つのポートをInfiniBandとして、もう1つのポートをイーサネットとして設定することをサポートします。

| ポート#2 - InfiniBand | | | | |
|--------------------|------------|-------|-------|------|
| ポート#1 - イーサネット | HDR/HDR100 | EDR | FDR | QDR |
| 50GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |
| 100GbE/25GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |
| 40GbE/10GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |
| 1GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |

| ポート#2 - イーサーネット | | | | |
|--------------------|-------|--------------|-------------|-------|
| ポート#1 - InfiniBand | 50GbE | 100GbE/25GbE | 40GbE/10GbE | 1GbE |
| HDR / HDR100 | サポート | サポート | 未サポート | サポート |
| EDR | サポート | サポート | 未サポート | サポート |
| FDR | 未サポート | 未サポート | 未サポート | 未サポート |
| QDR/SDR | サポート | サポート | 未サポート | サポート |

事前要件

ConnectX6ファームウェアバージョン20.27.6008では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題点がバージョン20.32.1010で修正されました:

- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- AERレジスタでのPCIeスイッチアップストリームポートのPCIeリンクダウンの誤った表示。
- rts2rts_qp移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合の無効なRNRタイムアウト。
- 起動時のフラッシュ周波数が予想よりも低くなりました(50Mhz未満)。この問題は、ファームウェアがboot2でそれを通常の周波数に増加できるようにすることで修正されました。
- ハードウェアでのスライスのスタックにつながったDC QPフラッシュとDCパケットの間の競合状態。このような状況を回避するため、ファームウェアはQPフラッシュが完了するまでTCUドロップセットを保持します。
- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- INIのRX_LOS極性の定義が正しくないために、リンクステータスが誤って報告され、その結果リンクがダウンしました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが20.32.1010にアップデートされました。

- HP InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 PCIe3 x16 MCX653105A-HDATアダプター- P06154-B21
- HP InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポートQSFP56 PCIe3 x16 MCX653105A-ECATアダプター- P06250-B21
- HP InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 PCIe3 x16 MCX653106A-ECATアダプター- P06251-B21

バージョン20.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 専用MADによる不要なGMPクラスをブロックするためのサポートを追加しました。
- 関数ごとに作成できる作業キューリソース(QP、RQ、SQ ...)の最大数を設定するための新しいNvConfigパラメーターLOG_MAX_QUEUEを追加しました。デフォルト値は2¹⁷です。
- すべての輻輳制御MADに、それらが信頼できるソースからのものであることを認証するための輻輳制御キーを追加しました。
- フェイクSMPがSMとして認識されないように、権限のないホストからSMPを送信するオプション(サブネットマネージャーからQP0で送信されたMAD)をブロックするSMPファイアウォールを追加しました。
- ベンダー固有のMADクラス0x9は、ファームウェアでサポートされなくなりました。ファームウェアがそのようなMADを検出した場合、ファームウェアは"NOT SUPPORTED"エラーをユーザーに返します。
- NICが応答しない状態になることを防ぐために、パディングとシグネチャーの両方を使用するVFの機能をブロックしました。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- このDCIへのRDMA WRITEがサポートされていないことを示すヒントをDCIソフトウェアコンテキストでソフトウェアに公開することによる、ARフローを使用したDCTのパフォーマンスの向上。
- InfiniBandモードの場合の動的タイムアウトメカニズムのサポートを追加しました。
- 設定とクエリのレート制限をホスト単位およびポート単位で有効にするQSHRアクセスレジスタのサポートを追加しました。
- ソフトウェアステアリングでこのリソースを直接管理できるように、ファームウェアでVXLANカプセル化展開用の新しいソフトウェアステアリングICMリソースを公開しました。
- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。有効にするには:PF_NUM_OF_VF_VALIDはtrueである必要があり、PF_NUM_OF_VFはゼロ以外の値にする必要があります。
- mixlinkが(サブネット全体に対して)LIDによってアクセスレジスタを読み取り/書き込みできるようにするために、2つの新しいMADアクセスレジスタを追加しました。
- VXLANカプセル化展開のためのソフトウェアステアリングに対する新しいICMリソースの公開を有効にしました。
- モジュールによってエラーコードが報告されない場合に、DSFP AOC(CMIS)v4のサポートを追加しました。
- 使用されているモジュールの機能に従って、外部ループバック速度を制限しました。
- 有効なビットエラーレート(BER)の計算方法を変更しました。このため、有効なビットエラーレート(BER)の値はわずかに大きくなりますが、リンク品質はこの変更前と同じままです。
- このファームウェアバージョンには、次のPCIeの変更が含まれています。
 - DSPのACSポート番号フィールドとDSPのACSイーグレス制御ベクトルフィールドを修正しました。
 - PCIeスイッチのUSPでのVSCのサポートを追加しました。
 - PCIeスイッチのレガシー割り込みのマッピングを修正しました。

- DSPのMRRS&MPS構成を修正しました。

サポートしているデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | デバイス名 | PSID |
|------------|---|---------------|
| P06154-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター | HPE0000000034 |
| P06250-B21 | HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター | HPE0000000035 |
| P06251-B21 | HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポート940QSFP56 x16アダプター | HPE0000000036 |

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 6.5) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード) デバイス - VMware ESXi 6.5

バージョン: 1.0.7 (推奨)

ファイル名: CP045902.compsig; CP045902.zip

重要な注意!

ファームウェアバージョン2.42.5000、2.42.5056、2.42.5700での既知の問題:

- QSFP(Quad Small Form-factor Pluggable)モジュールRTXM320-581を使用して、ファームウェアのアップグレード/ダウングレードを有効にするためにドライバーの再起動を実行したとき、リンクが使用可能になりません。
回避策: サーバーを再起動します。
- mlxconfigを使用してcq_timestampを有効または無効にすることはサポートされていません。
- 2つの別個のLEDスキーム(Phy LEDと論理LED)を備えたカードでは、Phy LEDだけが点灯します。つまり、オレンジ色のLEDは、ETHリンクがアイドルモードの間はアクティブではありません。
- SR-IOVセットアップでは、パケットフィルター(PF)がVMに渡されるときにmlxconfigを使用すると、ハイパーバイザーの再起動を必要とします。
- v2.30.8000またはそれ以降のバージョンから2.30.8000以前のバージョンにダウングレードするには、サーバーのリポートが必要です。
回避策: サーバーを再起動します。
- ConnectX-3 Ethernetアダプターカードでは、ファームウェア管理ツールによって返されるGUID値とデバイスファームウェアを通してGUIDを読み込むファブリック/ドライバーユーティリティ(例えば、ibstatを使用)によって返される値の間にミスマッチがあります。ユーティリティがMACアドレスから得られた値を返すとき、Mlxburn/flintはGUIDとして0xffffを返します。すべてのドライバー/ファームウェア/ソフトウェアのために、前者の値が使用されるべきです。
回避策: ファブリック/ドライバーユーティリティによって返されたGUID値を使用してください(0xffffではなく)。
- SBRはConnectX-3アダプターのために最低50msアサートされる必要があります
- Pilot1 SL230で、PCIeリンクは時々Gen3の速度に達しません。
- ドライバーの互換性の問題のため、SRIOVがVPIカードで有効になっている場合、RHEL6.3インボックスドライバーがカーネルバニクを引き起こします。
回避策:[IB_TAB]で"do_- sense=false"パラメーターを設定してください。
- アドバンスステアリングモードで、MCGごとに8以上のQPを持つ場合、サイドバンド管理接続性が失われることがあります。
- システムBIOSでSR-IOVが無効にされたとき、Linuxカーネルv3.8のUbuntu v12.04.3で、Mellanoxを含むいくつかの製造業者のNICが動作しない可能性があるPCI問題が認識されています。
回避策:BIOSのSR-IOVを有効にします。
- Mellanox Firmware Tool(MFT)は、ツール動作が停止を強制された場合にロックされたフラッシュセマフォを残すことができました。セマフォがロックされていると、ファームウェアはフラッシュにアクセスすることができず、ハングアップします。
回避策:MFTコマンドを使用してセマフォをクリアします:'flint -clear_semaphore'
- MC2210411-SR4モジュールを使用する場合、ケーブル情報MADは正しくないケーブル情報をレポートします。
- 10C/分以上のスピードで温度が上昇するとGen2が故障します(MT27518A1-FDIR-BVのみ)。
- MT27518A1-FDIR-BVでは10C/分以上のスピードで温度が上昇するとPCIe Gen2リンクが不安定になります。
- Bloomフィルターは、現在サポートされません。
- ファームウェアv2.11.0000からダウングレードし、MFT3.0.0-3を使用する場合、次のメッセージがmlxconfigツールにより表示されます。You are trying to override configurable FW by non-configurable FW. If you continue, old FW configurations will be cleared, do you want to continue ? (y/n) [n] : y You are trying to restore default configuration, do you want to continue ? (y/n) [n] : y
- MLNX_OFED-2.0.3でInfiniBandを操作する場合、DMFSを有効にしないでください
- ConnectX®-3 Pro VFデバイスIDは、ドライバーの制限のためConnectX®-3 VFデバイスIDと同じように示されます。
回避策:デバイスを識別するために物理機能のデバイスIDを使用してください。
- VPD(仮想プライベートデータベース)の読み取り専用のフィールドが書き込み可能です。
回避策:それらを保持したい場合は、読み取り専用フィールドに書き込まないでください。
- port1 FDRおよびport2 40Gで仮想パス識別子(VPI)モードで作業する場合、エラーカウンターが正常に機能せず、高速に増加します。
- デバイスを128Byte CQ/EQスライドに設定するとサイドバンド管理が正常に機能せず、コミュニケーション消失につながります。
- CQおよびEQを異なるスライドサイズに構成することはできません。

- ポートがETHスイッチに接続されているときに、NCSI/IPMIが有効になっている状態でポートプロトコルをETHからIBに変更することは推奨されません。
回避策:1. スイッチからケーブルを抜きます。2. ドライバーを再起動します。3. 適切なツールを使用して、プロトコルを変更します。
- アダプターカードMCX349A-XCCNは、特定のスイッチでリンクアップ時間が数秒間長くなることがあります。
- アダプターカードMCX349A-XCCNは、ethtoolの "identify"コマンド(ethtool -p/--identify)に応答しません。
- IPv6上でのリモートデスクトッププロトコル(RDP)は、現在機能しません。
回避策:ソフトウェアのデフォルトのRoCEモードをRoCE v2(RoCEを使用していない場合も)に設定します
- Sniffer QPでは、"push to that rule"と同等の挿入スキームのあるQPを追加した後に正規のルールを削除できません。
- PCI Physical FunctionごとのBoot Entry Vector (BEV)のみがサポートされているので、最初のポートを無効化すると、二番目のポートも消えてしまいます。
- NICは、56GbEポートリンクのNICポートからケーブルが外れてしまっている場合に、リンクダウンをドライバーに通知しません。
- 100GbE 光ケーブルを使用している場合に、56GbE リンクが起動しません。
- MLNX_OFED v3.3-1.0.0.0を使用している場合、サーバーのリポートが非同期イベントハンドラーから呼ばれた `mlx4_en_get_drvinfo()`のカーネルパニックにより、動けなくなることがあります。
- `ibdump`を実行するときは、ループバックトラフィックがカーネルドライバーにミラーリングされます。
- `ifconfig`を使用してOSから設定されたMACアドレスがOCBBバッファに反映されません。
- アダプターカードは、C7000エンクロージャー内の40GE対応スイッチポートで、10Gリンクを立ち上げることができません。スイッチポートが許可する場合、1Gリンクのみを立ち上げることができます。
- プライマリI2CバスでI2Cヘッダーを介したMTUSB通信は、live-fishモードのみでサポートされます

修正

バージョン2.42.5000での修正:

- PortRcvPktsカウンターはリセット後にクリアされませんでした。
- 10個を超える仮想ファンクションがFLRを実行し、完了タイムアウト値が16ミリ秒より小さい範囲に構成されている場合に、仮想ファンクション(VF)の構成サイクルでシステムのタイムアウトが発生する問題。
- ドライバーを(別のスレッドから)並行して再起動しているときに、"`mlx4fwtop -d mt4103_pci_cr0`"を実行した場合、サーバーがハングしてNMIになります。この場合、デバイスのダウンストリームブリッジは完了タイムアウトエラーを報告しました。
- `bmc_reboot`の実行後にBMCがIPv6でpingを受信できなかった`flow_steering`の問題。
- HCAを閉じている間、RXパケットは存在しなかったリソースへの不正アクセスを引き起こし、その結果QPCGWまたは`irisc`がスタックしました。
- ポートがActiveやArmedの状態でない場合に、マスターMLIDとLIDが0または0xFFFFである問題。
- `ibdump`がすべてのMADパケットをキャプチャーできない問題。
- 再起動後にリンクアップしませんでした。
- `sw_reset`の実行中に到着したPCIeコンフィギュレーションサイクルが2つの完了を生成する原因となる、まれな問題を修正しました。
- iniファイル内に`disable_stat-ic_steering_ini`フィールドを追加したときに、スクラッチパッドでのこのフィールドのメモリ割り当ての問題により、ネットワークコントローラーサイドバンドインターフェイス(NC-SI)が動作しなくなる問題。

バージョン2.42.5056での修正:

- VPIアダプターデバイスでポートがInfiniBandとして構成されている場合に、UEFIブートからOSブートへのハンドオーバーで無効なI/Oアドレスからの読み取りの結果として発生する問題を修正しました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5000にアップデートされます。

764282-B21
764286-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5056にアップデートされます。

764283-B21
764284-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5700にアップデートされます:

764285-B21

ファームウェアバージョン2.42.5000での新機能:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
 - 新しいTLV: CX3_GLOBAL_CONFを使用して、`mlxconfig`構成を介して着信パケットのタイムスタンプを有効または無効にします。
 - ユーザーMAC構成。
 - ドライバーのリセット前に自動的に`mstdump`を収集します。
 - TPT(iron)からDEAD_IRISC(plastic)を検出し、アサートを発生させるメカニズム。
 - `user_mtu`のサイズをファームウェアに示す"`set port`"コマンドに新しいフィールドの追加。
- コマンドタイムアウトの場合のデバッグ機能が向上しました。

ファームウェアバージョン2.42.5700の新機能および変更。

- mlx_cmd_get_mlx_link_statusコマンドの戻り値を、Ethernetアダプターカードで"Link Type = Ethernet"を返すように変更しました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるデバイス

| HPE部品番号 | デバイス名 | PSID |
|------------|---|----------------|
| 764282-B21 | HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+Mアダプター | HPE_1350110023 |
| 764283-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+Mアダプター | HPE_1360110017 |
| 764284-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFPアダプター | HPE_1370110017 |
| 764285-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター | HPE_1380110017 |
| 764286-B21 | HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター | HPE_1390110023 |

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 6.7) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード) ConnectX6デバイス - VMware ESXi 6.7

バージョン: 1.0.3 (推奨)

ファイル名: CP050420.compsig; CP050420.zip

重要な注意!

ConnectX-6 VPIは、次の組み合わせマトリックスに従って、1つのポートをInfiniBandとして、もう1つのポートをイーサネットとして設定することをサポートします。

| ポート#2 - InfiniBand | | | | |
|--------------------|------------|-------|-------|------|
| ポート#1 - イーサネット | HDR/HDR100 | EDR | FDR | QDR |
| 50GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |
| 100GbE/25GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |
| 40GbE/10GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |
| 1GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |

| ポート#2 - イーサネット | | | | |
|--------------------|-------|--------------|-------------|-------|
| ポート#1 - InfiniBand | 50GbE | 100GbE/25GbE | 40GbE/10GbE | 1GbE |
| HDR / HDR100 | サポート | サポート | 未サポート | サポート |
| EDR | サポート | サポート | 未サポート | サポート |
| FDR | 未サポート | 未サポート | 未サポート | 未サポート |
| QDR/SDR | サポート | サポート | 未サポート | サポート |

事前要件

ConnectX6ファームウェアバージョン20.27.6008では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題点がバージョン20.32.1010で修正されました:

- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- AERレジスタでのPCIeスイッチアップストリームポートのPCIeリンクダウンの誤った表示。
- rts2rts_qp移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合の無効なRNRタイムアウト。
- 起動時のフラッシュ周波数が予想よりも低くなりました(50Mhz未満)。この問題は、ファームウェアがboot2でそれを通常の周波数に増加できるようにすることで修正されました。
- ハードウェアでのスライスのスタックにつながったDC QPフラッシュとDCパケットの間の競合状態。このような状況を回避するため、ファームウェアはQPフラッシュが完了するまでTCUドロップセットを保持します。
- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- INIのRX_LOS極性の定義が正しくないために、リンクステータスが誤って報告され、その結果リンクがダウンしました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが20.32.1010にアップデートされました。

- HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 PCIe3 x16 MCX653105A-HDATアダプター- P06154-B21
- HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポートQSFP56 PCIe3 x16 MCX653105A-ECATアダプター- P06250-B21
- HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 PCIe3 x16 MCX653106A-ECATアダプター- P06251-B21

バージョン20.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 専用MADによる不要なGMPクラスをブロックするためのサポートを追加しました。
- 関数ごとに作成できる作業キューリソース(QP、RQ、SQ ...)の最大数を設定するための新しいNvConfig/パラメーター LOG_MAX_QUEUEを追加しました。デフォルト値は2^17です。
- すべての輻輳制御MADに、それらが信頼できるソースからのものであることを認証するための輻輳制御キーを追加しました。
- フェイクSMPがSMとして認識されないように、権限のないホストからSMPを送信するオプション(サブネットマネージャーからQP0で送信されたMAD)をブロックするSMPファイアウォールを追加しました。
- ベンダー固有のMADクラス0x9は、ファームウェアでサポートされなくなりました。ファームウェアがそのようなMADを検出した場合、ファームウェアは"NOT SUPPORTED"エラーをユーザーに返します。
- NICが応答しない状態になることを防ぐために、パディングとシグネチャーの両方を使用するVFの機能をブロックしました。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- このDCIへのRDMA WRITEがサポートされていないことを示すヒントをDCIソフトウェアコンテキストでソフトウェアに公開することによる、ARフローを使用したDCTのパフォーマンスの向上。
- InfiniBandモードの場合の動的タイムアウトメカニズムのサポートを追加しました。
- 設定とクエリのレート制限をホスト単位およびポート単位で有効にするQSHRアクセスレジスタのサポートを追加しました。
- ソフトウェアステアリングでこのリソースを直接管理できるように、ファームウェアでVXLANカプセル化展開用の新しいソフトウェアステアリングICMリソースを公開しました。
- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。有効にするには:PF_NUM_OF_VF_VALIDはtrueである必要があり、PF_NUM_OF_VFはゼロ以外の値にする必要があります。
- mixlinkが(サブネット全体に対して)LIDによってアクセスレジスタを読み取り/書き込みできるようにするために、2つの新しいMADアクセスレジスタを追加しました。
- VXLANカプセル化展開のためのソフトウェアステアリングに対する新しいICMリソースの公開を有効にしました。
- モジュールによってエラーコードが報告されない場合に、DSFP AOC(CMIS)v4のサポートを追加しました。
- 使用されているモジュールの機能に従って、外部ループバック速度を制限しました。
- 有効なビットエラーレート(BER)の計算方法を変更しました。このため、有効なビットエラーレート(BER)の値はわずかに大きくなりますが、リンク品質はこの変更前と同じままです。
- このファームウェアバージョンには、次のPCIeの変更が含まれています。
 - DSPのACSポート番号フィールドとDSPのACSイーグレス制御ベクトルフィールドを修正しました。
 - PCIeスイッチのUSPでのVSCのサポートを追加しました。
 - PCIeスイッチのレガシー割り込みのマッピングを修正しました。
 - DSPのMRRS&MPS構成を修正しました。

サポートしているデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | デバイス名 | PSID |
|------------|---|---------------|
| P06154-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター | HPE0000000034 |
| P06250-B21 | HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター | HPE0000000035 |
| P06251-B21 | HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポート940QSFP56 x16アダプター | HPE0000000036 |

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 7.0) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード) ConnectX6デバイス - VMware ESXi 7.0

バージョン: 1.0.3 (推奨)

ファイル名: CP050421.compsig; CP050421.zip

重要な注意!

ConnectX-6 VPIは、次の組み合わせマトリックスに従って、1つのポートをInfiniBandとして、もう1つのポートをイーサネットとして設定することをサポートします。

| ポート#2 - InfiniBand | | | | |
|--------------------|------------|-------|-------|------|
| ポート#1 - イーサネット | HDR/HDR100 | EDR | FDR | QDR |
| 50GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |
| 100GbE/25GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |
| 40GbE/10GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |
| 1GbE | サポート | 未サポート | 未サポート | サポート |

| ポート#2 - イーサネット | | | | |
|--------------------|-------|--------------|-------------|-------|
| ポート#1 - InfiniBand | 50GbE | 100GbE/25GbE | 40GbE/10GbE | 1GbE |
| HDR / HDR100 | サポート | サポート | 未サポート | サポート |
| EDR | サポート | サポート | 未サポート | サポート |
| FDR | 未サポート | 未サポート | 未サポート | 未サポート |
| QDR/SDR | サポート | サポート | 未サポート | サポート |

事前要件

ConnectX6ファームウェアバージョン20.27.6008では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題点がバージョン20.32.1010で修正されました:

- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- AERレジスタでのPCIeスイッチアップストリームポートのPCIeリンクダウンの誤った表示。
- rts2rts_qp移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合の無効なRNRタイムアウト。
- 起動時のフラッシュ周波数が予想よりも低くなりました(50Mhz未満)。この問題は、ファームウェアがboot2でそれを通常の周波数に増加できるようにすることで修正されました。
- ハードウェアでのスライスのスタックにつながったDC QPフラッシュとDCパケットの間の競合状態。このような状況を回避するため、ファームウェアはQPフラッシュが完了するまでTCUドロップセットを保持します。
- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- INIのRX_LOS極性の定義が正しくないために、リンクステータスが誤って報告され、その結果リンクがダウンしました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが20.32.1010にアップデートされました。

- HP E InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 PCIe3 x16 MCX653105A-HDATアダプター- P06154-B21
- HP E InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポートQSFP56 PCIe3 x16 MCX653105A-ECATアダプター- P06250-B21
- HP E InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 PCIe3 x16 MCX653106A-ECATアダプター- P06251-B21

バージョン20.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 専用MADによる不要なGMPクラスをブロックするためのサポートを追加しました。
- 関数ごとに作成できる作業キューリソース(QP、RQ、SQ ...)の最大数を設定するための新しいNvConfig/パラメーターLOG_MAX_QUEUEを追加しました。デフォルト値は2¹⁷です。
- すべての輻輳制御MADに、それらが信頼できるソースからのものであることを認証するための輻輳制御キーを追加しました。
- フェイクSMPがSMとして認識されないように、権限のないホストからSMPを送信するオプション(サブネットマネージャーからQP0で送信されたMAD)をブロックするSMPファイアウォールを追加しました。
- ベンダー固有のMADクラス0x9は、ファームウェアでサポートされなくなりました。ファームウェアがそのようなMADを検出した場合、ファームウェアは"NOT SUPPORTED"エラーをユーザーに返します。
- NICが応答しない状態になることを防ぐために、パディングとシグネチャーの両方を使用するVFの機能をブロックしました。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- このDCIへのRDMA WRITEがサポートされていないことを示すヒントをDCIソフトウェアコンテキストでソフトウェアに公開することによる、ARフローを使用したDCTのパフォーマンスの向上。
- InfiniBandモードの場合の動的タイムアウトメカニズムのサポートを追加しました。
- 設定とクエリのレート制限をホスト単位およびポート単位で有効にするQSHRアクセスレジスタのサポートを追加しました。
- ソフトウェアステアリングでこのリソースを直接管理できるように、ファームウェアでVXLANカプセル化展開用の新しいソフトウェアステアリングICMリソースを公開しました。
- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。有効にするには:PF_NUM_OF_VF_VALIDはtrueである必要があり、PF_NUM_OF_VFはゼロ以外の値にする必要があります。
- mlxlinkが(サブネット全体に対して)LIDによってアクセスレジスタを読み取り/書き込みできるようにするために、2つの新しいMADアクセスレジスタを追加しました。
- VXLANカプセル化展開のためのソフトウェアステアリングに対する新しいICMリソースの公開を有効にしました。
- モジュールによってエラーコードが報告されない場合に、DSFP AOC(CMIS)v4のサポートを追加しました。
- 使用されているモジュールの機能に従って、外部ループバック速度を制限しました。
- 有効なビットエラーレート(BER)の計算方法を変更しました。このため、有効なビットエラーレート(BER)の値はわずかに大きくなりますが、リンク品質はこの変更前と同じままです。
- このファームウェアバージョンには、次のPCIeの変更が含まれています。
 - DSPのACSポート番号フィールドとDSPのACSイーグレス制御ベクトルフィールドを修正しました。
 - PCIeスイッチのUSPでのVSCのサポートを追加しました。
 - PCIeスイッチのレガシー割り込みのマッピングを修正しました。
 - DSPのMRRS&MPS構成を修正しました。

サポートしているデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | デバイス名 | PSID |
|------------|---|---------------|
| P06154-B21 | HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター | HPE0000000034 |
| P06250-B21 | HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター | HPE0000000035 |
| P06251-B21 | HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポート940QSFP56 x16アダプター | HPE0000000036 |

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 7.0) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード) デバイス - VMware ESXi 7.0

バージョン: 1.0.1 (推奨)

ファイル名: CP045904.compsig; CP045904.zip

重要な注意!

ファームウェアバージョン2.42.5000、2.42.5056、2.42.5700での既知の問題:

- QSFP(Quad Small Form-factor Pluggable)モジュールRTXM320-581を使用して、ファームウェアのアップグレード/ダウングレードを有効にするためにドライバーの再起動を実行したとき、リンクが使用可能になりません。
回避策: サーバーを再起動します。
- mlxconfigを使用してcq_timestampを有効または無効にすることはサポートされていません。
- 2つの別個のLEDスキーム(Phy LEDと論理LED)を備えたカードでは、Phy LEDだけが点灯します。つまり、オレンジ色のLEDは、ETHリンクがアイドルモードの間はアクティブではありません。
- SR-IOVセットアップでは、パケットフィルター(PF)がVMに渡されるときにmlxconfigを使用すると、ハイパーバイザーの再起動を必要とします。
- v2.30.8000またはそれ以降のバージョンから2.30.8000以前のバージョンにダウングレードするには、サーバーのリポートが必要です。
回避策: サーバーを再起動します。
- ConnectX-3 Ethernetアダプターカードでは、ファームウェア管理ツールによって返されるGUID値とデバイスファームウェアを通してGUIDを読み込むファブリック/ドライバーユーティリティ(例えば、ibstatを使用)によって返される値の間にミスマッチがあります。ユーティリティがMACアドレスから得られた値を返すとき、Mlxburn/flintはGUIDとして0xffffを返します。すべてのドライバー/ファームウェア/ソフトウェアのために、前者の値が使用されるべきです。
回避策: ファブリック/ドライバーユーティリティによって返されたGUID値を使用してください(0xffffではなく)。
- SBRはConnectX-3アダプターのために最低50msアサートされる必要があります
- Pilot1 SL230で、PCIeリンクは時々Gen3の速度に達しません。
- ドライバーの互換性の問題のため、SRIOVがVPIカードで有効になっている場合、RHEL6.3インボックスドライバーがカーネルパニックを引き起こします。
回避策: [IB_TAB]で"do_- sense=false"パラメーターを設定してください。
- アドバンスステアリングモードで、MCGごとに8以上のQPを持つ場合、サイドバンド管理接続性が失われることがあります。
- システムBIOSでSR-IOVが無効にされたとき、Linuxカーネルv3.8のUbuntu v12.04.3で、Mellanoxを含むいくつかの製造業者のNICが動作しない可能性があるPCI問題が認識されています。
回避策: BIOSのSR-IOVを有効にします。
- Mellanox Firmware Tool(MFT)は、ツール動作が停止を強制された場合にロックされたフラッシュセマフォを残すことができました。セマフォがロックされていると、ファームウェアはフラッシュにアクセスすることができず、ハングアップします。
回避策: MFTコマンドを使用してセマフォをクリアします: 'flint -clear_semaphore'
- MC2210411-SR4モジュールを使用する場合、ケーブル情報MADは正しくないケーブル情報をレポートします。
- 10C/分以上のスピードで温度が上昇するとGen2が故障します(MT27518A1-FDIR-BVのみ)。
- MT27518A1-FDIR-BVでは10C/分以上のスピードで温度が上昇するとPCIe Gen2リンクが不安定になります。
- Bloomフィルターは、現在サポートされません。
- ファームウェアv2.11.0000からダウングレードし、MFT3.0.0-3を使用する場合、次のメッセージがmlxconfigツールにより表示されます。You are trying to override configurable FW by non-configurable FW. If you continue, old FW configurations will be cleared, do you want to continue ? (y/n) [n] : y You are trying to restore default configuration, do you want to continue ? (y/n) [n] : y
- MLNX_OFED-2.0.3でInfiniBandを操作する場合、DMFSを有効にしないでください
- ConnectX®-3 Pro VFデバイスIDは、ドライバーの制限のためConnectX®-3 VFデバイスIDと同じように示されます。
回避策: デバイスを識別するために物理機能のデバイスIDを使用してください。
- VPD(仮想プライベートデータベース)の読み取り専用のフィールドが書き込み可能です。
回避策: それらを保持したい場合は、読み取り専用フィールドに書き込まないでください。
- port1 FDRおよびport2 40Gで仮想バス識別子(VPI)モードで作業する場合、エラーカウンターが正常に機能せず、高速に増加します。
- デバイスを128Byte CQ/EQスライドに設定するとサイドバンド管理が正常に機能せず、コミュニケーション消失につながります。
- CQおよびEQを異なるスライドサイズに構成することはできません。
- ポートがETHスイッチに接続されているときに、NCSI/IPMIが有効になっている状態でポートプロトコルをETHからIBに変更することは推奨されません。

回避策:1. スイッチからケーブルを抜きます。2. ドライバーを再起動します。3. 適切なツールを使用して、プロトコルを変更します。

- アダプターカードMCX349A-XCCNは、特定のスイッチでリンクアップ時間が数秒間長くなることがあります。
- アダプターカードMCX349A-XCCNは、ethtoolの "identify"コマンド(ethtool -p/--identify)に応答しません。
- IPv6上でのリモートデスクトッププロトコル(RDP)は、現在機能しません。

回避策:ソフトウェアのデフォルトのRoCEモードをRoCE v2(RoCEを使用していない場合も)に設定します

- Sniffer QPでは、"push to that rule"と同等の挿入スキームのあるQPを追加した後に正規のルールを削除できません。
- PCI Physical FunctionごとのBoot Entry Vector (BEV)のみがサポートされているので、最初のポートを無効化すると、二番目のポートも消えてしまいます。
- NICは、56GbEポートリンクのNICポートからケーブルが外れてしまっている場合に、リンクダウンをドライバーに通知しません。
- 100GbE 光ケーブルを使用している場合に、56GbE リンクが起動しません。
- MLNX_OFED v3.3-1.0.0.0を使用している場合、サーバーのリポートが非同期イベントハンドラーから呼ばれた `mlx4_en_get_drvinfo()`のカーネルパニックにより、動けなくなることがあります。
- `ibdump`を実行するときは、ループバックトラフィックがカーネルドライバーにミラーリングされます。
- `ifconfig`を使用してOSから設定されたMACアドレスがOCBB/バッファに反映されません。
- アダプターカードは、C7000エンクロージャー内の40GE対応スイッチポートで、10Gリンクを立ち上げることができません。スイッチポートが許可する場合、1Gリンクのみを立ち上げることができます。
- プライマリI2CバスでI2Cヘッダーを介したMTUSB通信は、live-fishモードのみでサポートされます

修正

バージョン2.42.5000での修正:

- PortRcvPktsカウンターはリセット後にクリアされませんでした。
- 10個を超える仮想ファンクションがFLRを実行し、完了タイムアウト値が16ミリ秒より小さい範囲に構成されている場合に、仮想ファンクション(VF)の構成サイクルでシステムのタイムアウトが発生する問題。
- ドライバーを(別のスレッドから)並行して再起動しているときに、"`mlx4fwtop -d mt4103_pci_cr0`"を実行した場合、サーバーがハングしてNMIになります。この場合、デバイスのダウンストリームブリッジは完了タイムアウトエラーを報告しました。
- `bmc_reboot`の実行後にBMCがIPv6でpingを受信できなかった`flow_steering`の問題。
- HCAを閉じている間、RXパケットは存在しなかったリソースへの不正アクセスを引き起こし、その結果QPCGWまたは`irisc`がスタックしました。
- ポートがActiveやArmedの状態でない場合に、マスターMLIDとLIDが0または0xFFFFである問題。
- `ibdump`がすべてのMADパケットをキャプチャーできない問題。
- 再起動後にリンクアップしませんでした。
- `sw_reset`の実行中に到着したPCIeコンフィギュレーションサイクルが2つの完了を生成する原因となる、まれな問題を修正しました。
- `ini`ファイル内に`disable_stat-ic_steering_ini`フィールドを追加したときに、スラッチパッドでのこのフィールドのメモリ割り当ての問題により、ネットワークコントローラーサイドバンドインターフェイス(NC-SI)が動作しなくなる問題。

バージョン2.42.5056での修正:

- VPIアダプターデバイスでポートがInfiniBandとして構成されている場合に、UEFIブートからOSブートへのハンドオーバーで無効なI/Oアドレスからの読み取りの結果として発生する問題を修正しました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5000にアップデートされます。

764282-B21
764286-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5056にアップデートされます。

764283-B21
764284-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5700にアップデートされます:

764285-B21

ファームウェアバージョン2.42.5000での新機能:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
 - 新しいTLV: `CX3_GLOBAL_CONF`を使用して、`mlxconfig`構成を介して着信パケットのタイムスタンプを有効または無効にします。
 - ユーザーMAC構成。
 - ドライバーのリセット前に自動的に`mstdump`を収集します。
 - TPT(iron)から`DEAD_IRISC(plastic)`を検出し、アサートを発生させるメカニズム。
 - `user_mtu`のサイズをファームウェアに示す"`set port`"コマンドに新しいフィールドの追加。
- コマンドタイムアウトの場合のデバッグ機能が向上しました。

ファームウェアバージョン2.42.5700の新機能および変更。

- mlx_cmd_get_mlx_link_statusコマンドの戻り値を、Ethernetアダプターカードで"Link Type = Ethernet"を返すように変更しました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるデバイス

| HPE部品番号 | デバイス名 | PSID |
|------------|---|----------------|
| 764282-B21 | HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+Mアダプター | HPE_1350110023 |
| 764283-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+Mアダプター | HPE_1360110017 |
| 764284-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFPアダプター | HPE_1370110017 |
| 764285-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター | HPE_1380110017 |
| 764286-B21 | HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター | HPE_1390110023 |

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (Linux x86_64) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード)デバイス - Linux x86_64プラットフォーム

バージョン: 1.0.12 (推奨)

ファイル名: firmware-hca-mellanox-vpi-eth-ib-1.0.12-1.1.x86_64.compsig; firmware-hca-mellanox-vpi-eth-ib-1.0.12-1.1.x86_64.rpm

修正

バージョン2.42.5000での修正:

- PortRcvPktsカウンターはリセット後にクリアされませんでした。
- 10個を超える仮想ファンクションがFLRを実行し、完了タイムアウト値が16ミリ秒より小さい範囲に構成されている場合に、仮想ファンクション(VF)の構成サイクルでシステムのタイムアウトが発生する問題。
- ドライバーを(別のスレッドから)並行して再起動しているときに、"mlxfwtop -d mt4103_pci_cr0"を実行した場合、サーバーがハングしてNMIになります。この場合、デバイスのダウンストリームブリッジは完了タイムアウトエラーを報告しました。
- bmc_rebootの実行後にBMCがIPv6でpingを受信できなかったflow_steeringの問題。
- HCAを閉じている間、RXパケットは存在しなかったリソースへの不正アクセスを引き起こし、その結果QPCGWまたはiriscがスタックしました。
- ポートがActiveやArmedの状態でない場合に、マスターMLIDとLIDが0または0xFFFFである問題。
- ibdumpがすべてのMADパケットをキャプチャーできない問題。
- 再起動後にリンクアップしませんでした。
- sw_resetの実行中に到着したPCIeコンフィギュレーションサイクルが2つの完了を生成する原因となる、まれな問題を修正しました。
- iniファイル内にdisable_stat-ic_steering_iniフィールドを追加したときに、スクラッチパッドでのこのフィールドのメモリ割り当ての問題により、ネットワークコントローラーサイドバンドインターフェイス(NC-SI)が動作しなくなる問題。

バージョン2.42.5056での修正:

- VPIアダプターデバイスでポートがInfiniBandとして構成されている場合に、UEFIブートからOSブートへのハンドオーバーで無効なI/Oアドレスからの読み取りの結果として発生する問題を修正しました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5000にアップデートされます。

764282-B21
764286-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5056にアップデートされます。

764283-B21
764284-B21
764285-B21

ファームウェアバージョン2.42.5000での新機能:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
 - 新しいTLV: CX3_GLOBAL_CONFを使用して、mlxconfig構成を介して着信パケットのタイムスタンプを有効または無効にします。
 - ユーザーMAC構成。
 - ドライバーのリセット前に自動的にmstdumpを収集します。
 - TPT(iron)からDEAD_IRISC(plastic)を検出し、アサートを発生させるメカニズム。
 - user_mtuのサイズをファームウェアに示す"set port"コマンドに新しいフィールドの追加。
- コマンドタイムアウトの場合のデバッグ機能が向上しました。

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (Windows x64) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード)デバイス - Windows x86_64プラットフォーム

バージョン: 1.0.0.12 (推奨)

ファイル名: cp045905.compsig; cp045905.exe

修正

バージョン2.42.5000での修正:

- PortRcvPktsカウンターはリセット後にクリアされませんでした。
- 10個を超える仮想ファンクションがFLRを実行し、完了タイムアウト値が16ミリ秒より小さい範囲に構成されている場合に、仮想ファンクション(VF)の構成サイクルでシステムのタイムアウトが発生する問題。
- ドライバーを(別のスレッドから)並行して再起動しているときに、"mlxftop -d mt4103_pci_cr0"を実行した場合、サーバーがハングしてNMIになります。この場合、デバイスのダウンストリームブリッジは完了タイムアウトエラーを報告しました。
- bmc_rebootの実行後にBMCがIPv6でpingを受信できなかったflow_steeringの問題。
- HCAを閉じている間、RXパケットは存在しなかったリソースへの不正アクセスを引き起こし、その結果QPCGWまたはiriscがスタックしました。
- ポートがActiveやArmedの状態でない場合に、マスターMLIDとLIDが0または0xFFFFである問題。
- ibdumpがすべてのMADパケットをキャプチャできない問題。
- 再起動後にリンクアップしませんでした。
- sw_resetの実行中に到着したPCIeコンフィギュレーションサイクルが2つの完了を生成する原因となる、まれな問題を修正しました。
- iniファイル内にdisable_stat-ic_steering_iniフィールドを追加したときに、スクラッチパッドでのこのフィールドのメモリ割り当ての問題により、ネットワークコントローラーサイドバンドインターフェイス(NC-SI)が動作しなくなる問題。

バージョン2.42.5056での修正:

- VPIアダプターデバイスでポートがInfiniBandとして構成されている場合に、UEFIブートからOSブートへのハンドオーバーで無効なI/Oアドレスからの読み取りの結果として発生する問題を修正しました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5000にアップデートされます。

764282-B21

764286-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5056にアップデートされます。

764283-B21

764284-B21

764285-B21

ファームウェアバージョン2.42.5000での新機能:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
 - 新しいTLV: CX3_GLOBAL_CONFを使用して、mlxconfig構成を介して着信パケットのタイムスタンプを有効または無効にします。
 - ユーザーMAC構成。
 - ドライバーのリセット前に自動的にmstdumpを収集します。
 - TPT(iron)からDEAD_IRISC(plastic)を検出し、アサートを発生させるメカニズム。
 - user_mtuのサイズをファームウェアに示す"set port"コマンドに新しいフィールドの追加。
- コマンドタイムアウトの場合のデバッグ機能が向上しました。

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 6.5) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード) ConnectX4およびConnectX5デバイス - VMware ESXi 6.5

バージョン: 1.0.10 (推奨)

ファイル名: CP050377.compsig; CP050377.zip

修正

バージョン12.28.2006での修正:

- 再試行のタイムアウトが大きすぎる場合、再試行オプションが機能する前にDCRが破壊されてしまう問題を修正しました。この場合、DCRの生存時間が延長され、最大再試行タイムアウトが短縮されました。
- PHY消費電力の上限を1.5wに引き上げました。
- PortCounters.PortRcvErr/PPCNT.infiniband_counters.PortRcvErrがポートicrcエラーを報告しなかった問題を修正しました。

以下の問題点がバージョン16.32.1010で修正されました

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- INIのRX_LOS極性の定義が正しくないために、リンクステータスが誤って報告され、その結果リンクがダウンしました。
- 光モジュールの使用中にピアポートが停止すると、システムが応答しない状態になりました。
- rts2rts_qp移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合の無効なRNRタイムアウト。
- MAD APIからget_vport_madを呼び出したときに、致命的なアサート0x81C5が発生しました。ファームウェアは、グローバル関数番号を使用してvPortの数を計算しようとした。この問題を回避するために、関数番号に関する仮定を削除するようにAPIがアップデートされました。注記:この問題は、IBデバイスにのみ影響します。
- イベント中に、ストレスにより、ファームウェアがイベントを送信せずにvPortのArmホストをリセットしました。これにより、ソフトウェアがイベントを受信しなかったため、ソフトウェアのvPortの再装備が妨げられ、vPortにArmが設定されていなかったため、ファームウェアがイベントを送信しませんでした。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- GetInventory NC-SIコマンドは、ファームウェアバージョンが0で始まっている場合に、その先頭の0xfを報告しました。
- PCIeレーンマージン機能の問題。
- SMがsl2vl madをクラスター内のノードに送信したときに、InfiniBandネットワークでの送信で数ミリ秒の一時的な中断が発生したsl2vl madに関連する問題。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが12.28.2006にアップデートされました。

- 825110-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28アダプター)
- 825111-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.32.1010にアップデートされました。

- 879482-B21(HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート547FLR-QSFPアダプター)
- 872726-B21(HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 841QSFP28アダプター)

バージョン12.28.2006には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 最大XRQ数を512に増加しました。

バージョン16.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 専用MADによる不要なGMPクラスをブロックするためのサポートを追加しました。
- 関数ごとに作成できる作業キューリソース(QP、RQ、SQ ...)の最大数を設定するための新しいNvConfig/パラメーターLOG_MAX_QUEUEを追加しました。デフォルト値は2¹⁷です。
- すべての輻輳制御MADに、それらが信頼できるソースからのものであることを認証するための輻輳制御キーを追加しました。
- フェイクSMPがSMとして認識されないように、権限のないホストからSMPを送信するオプション(サブネットマネージャーからQP0で送信されたMAD)をブロックするSMPファイアウォールを追加しました。
- ベンダー固有のMADクラス0x9は、ファームウェアでサポートされなくなりました。ファームウェアがそのようなMADを検出した場合、ファームウェアは"NOT SUPPORTED"エラーをユーザーに返します。
- NICが応答しない状態になることを防ぐために、パディングとシグネチャーの両方を使用するVFの機能をブロックしました。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- このDCIへのRDMA WRITEがサポートされていないことを示すヒントをDCIソフトウェアコンテキストでソフトウェアに公開することによる、ARフローを使用したDCTのパフォーマンスの向上。
- InfiniBandモードの場合の動的タイムアウトメカニズムのサポートを追加しました。
- 設定とクエリのレート制限をホスト単位およびポート単位で有効にするQSHRアクセスレジスタのサポートを追加しました。
- ソフトウェアステアリングでこのリソースを直接管理できるように、ファームウェアでVXLANカプセル化展開用の新しいソフトウェアステアリングICMリソースを公開しました。
- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。有効にするには:PF_NUM_OF_VF_VALIDはtrueである必要があり、PF_NUM_OF_VFはゼロ以外の値にする必要があります。
- mlxlinkが(サブネット全体に対して)LIDによってアクセスレジスタを読み取り/書き込みできるようにするために、2つの新しいMADアクセスレジスタを追加しました。
- VXLANカプセル化展開のためのソフトウェアステアリングに対する新しいICMリソースの公開を有効にしました。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- 高速リンクアップ機能を使用する場合のリンクアップ時間を改善しました。
- ポートがETHとして設定されている場合に、VSTは使用できないため、1つのポートがETHとして構成され、他のポートがIBとして構成されている場合のデュアルポートアダプターカードでVSTを無効にしました。
- モジュールによってエラーコードが報告されない場合に、DSFP AOC(CMIS)v4のサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能



| HPE部品番号 | デバイス名 | PSID |
|------------|--|---------------|
| 825110-B21 | HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28アダプター | HP_2180110032 |
| 825111-B21 | HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター | HP_2190110032 |
| 872726-B21 | HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート841QSFP28アダプター | HPE0000000009 |
| 879482-B21 | HPE Infiniband FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート547FLR-QSFPアダプター | HPE0000000022 |

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 6.7) for HPE Mellanox VPI (Ethernetおよび Infinibandモード) ConnectX4およびConnectX5デバイス - VMware ESXi 6.7

バージョン: 1.0.6 (推奨)

ファイル名: CP050378.compsig; CP050378.zip

修正

バージョン12.28.2006での修正:

- 再試行のタイムアウトが大きすぎる場合、再試行オプションが機能する前にDCRが破壊されてしまう問題を修正しました。この場合、DCRの生存時間が延長され、最大再試行タイムアウトが短縮されました。
- PHY消費電力の上限を1.5wに引き上げました。
- PortCounters.PortRcvErr/PPCNT.infiniband_counters.PortRcvErrがポートicrcエラーを報告しなかった問題を修正しました。

以下の問題点がバージョン16.32.1010で修正されました

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- INIのRX_LOS極性の定義が正しくないために、リンクステータスが誤って報告され、その結果リンクがダウンしました。
- 光モジュールの使用中にピアポートが停止すると、システムが応答しない状態になりました。
- rts2rts_qp移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合の無効なRNRタイムアウト。
- MAD APIからget_vport_madを呼び出したときに、致命的なアサート0x81C5が発生しました。ファームウェアは、グローバル関数番号を使用してvPortの数を計算しようとしたため、この問題を回避するために、関数番号に関する仮定を削除するようにAPIがアップデートされました。注記:この問題は、IBデバイスにのみ影響します。
- イベント中に、ストレスにより、ファームウェアがイベントを送信せずにvPortのArmホストをリセットしました。これにより、ソフトウェアがイベントを受信しなかったため、ソフトウェアのvPortの再装備が妨げられ、vPortにArmが設定されていなかったため、ファームウェアがイベントを送信しませんでした。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- GetInventory NC-SIコマンドは、ファームウェアバージョンが0で始まっている場合に、その先頭の0xfを報告しました。
- PCIeレーンマージン機能の問題。
- SMがsl2vl madをクラスター内のノードに送信したときに、InfiniBandネットワークでの送信で数ミリ秒の一時的な中断が発生したsl2vl madに関連する問題。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが12.28.2006にアップデートされました。

- 825110-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28アダプター)
- 825111-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.32.1010にアップデートされました。

- 879482-B21(HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート547FLR-QSFPアダプター)
- 872726-B21(HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 841QSFP28アダプター)

バージョン12.28.2006には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 最大XRQ数を512に増加しました。

バージョン16.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 専用MADによる不要なGMPクラスをブロックするためのサポートを追加しました。
- 関数ごとに作成できる作業キューリソース(QP、RQ、SQ ...)の最大数を設定するための新しいNvConfig/パラメーターLOG_MAX_QUEUEを追加しました。デフォルト値は2¹⁷です。
- すべての輻輳制御MADに、それらが信頼できるソースからのものであることを認証するための輻輳制御キーを追加しました。
- フェイクSMPがSMとして認識されないように、権限のないホストからSMPを送信するオプション(サブネットマネージャーからQP0で送信されたMAD)をブロックするSMPファイアウォールを追加しました。

- ベンダー固有のMADクラス0x9は、ファームウェアでサポートされなくなりました。ファームウェアがそのようなMADを検出した場合、ファームウェアは"NOT SUPPORTED"エラーをユーザーに返します。
- NICが応答しない状態になることを防ぐために、パディングとシグネチャーの両方を使用するVFの機能をブロックしました。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- このDCIへのRDMA WRITEがサポートされていないことを示すヒントをDCIソフトウェアコンテキストでソフトウェアに公開することによる、ARフローを使用したDCTのパフォーマンスの向上。
- InfiniBandモードの場合の動的タイムアウトメカニズムのサポートを追加しました。
- 設定とクエリのレート制限をホスト単位およびポート単位で有効にするQSHRアクセスレジスタのサポートを追加しました。
- ソフトウェアステアリングでこのリソースを直接管理できるように、ファームウェアでVXLANカプセル化展開用の新しいソフトウェアステアリングICMリソースを公開しました。
- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。有効にするには:PF_NUM_OF_VF_VALIDはtrueである必要があり、PF_NUM_OF_VFはゼロ以外の値にする必要があります。
- mlxlinkが(サブネット全体に対して)LIDによってアクセスレジスタを読み取り/書き込みできるようにするために、2つの新しいMADアクセスレジスタを追加しました。
- VXLANカプセル化展開のためのソフトウェアステアリングに対する新しいICMリソースの公開を有効にしました。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- 高速リンクアップ機能を使用する場合のリンクアップ時間を改善しました。
- ポートがETHとして設定されている場合に、VSTは使用できないため、1つのポートがETHとして構成され、他のポートがIBとして構成されている場合のデュアルポートアダプターカードでVSTを無効にしました。
- モジュールによってエラーコードが報告されない場合に、DSFP AOC(CMIS)v4のサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | デバイス名 | PSID |
|------------|--|---------------|
| 825110-B21 | HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28アダプター | HP_2180110032 |
| 825111-B21 | HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター | HP_2190110032 |
| 872726-B21 | HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート841QSFP28アダプター | HPE0000000009 |
| 879482-B21 | HPE Infiniband FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート547FLR-QSFPアダプター | HPE0000000022 |

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 7.0)for HPE Mellanox VPI(EthernetおよびInfinibandモード)ConnectX4およびConnectX5デバイス - VMware ESXi 7.0

バージョン: 1.0.3 (推奨)

ファイル名: CP050379.compsig; CP050379.zip

修正

バージョン12.28.2006での修正:

- 再試行のタイムアウトが大きすぎる場合、再試行オプションが機能する前にDCRが破壊されてしまう問題を修正しました。この場合、DCRの生存時間が延長され、最大再試行タイムアウトが短縮されました。
- PHY消費電力の上限を1.5wに引き上げました。
- PortCounters.PortRcvErr/PPCNT.infiniband_counters.PortRcvErrがポートicrcエラーを報告しなかった問題を修正しました。

以下の問題点がバージョン16.32.1010で修正されました

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- INIのRX_LOS極性の定義が正しくないために、リンクステータスが誤って報告され、その結果リンクがダウンしました。
- 光モジュールの使用中にピアポートが停止すると、システムが応答しない状態になりました。
- rts2rts_qp移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合の無効なRNRタイムアウト。
- MAD APIからget_vport_madを呼び出したときに、致命的なアサート0x81C5が発生しました。ファームウェアは、グローバル関数番号を使用してvPortの数を計算しようとした。この問題を回避するために、関数番号に関する仮定を削除するようにAPIがアップデートされました。注記:この問題は、IBデバイスにのみ影響します。
- イベント中に、ストレスにより、ファームウェアがイベントを送信せずにvPortのArmホストをリセットしました。これにより、ソフトウェアがイベントを受信しなかったため、ソフトウェアのvPortの再装備が妨げられ、vPortにArmが設定されていなかったため、ファームウェアがイベントを送信しませんでした。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- GetInventory NC-SIコマンドは、ファームウェアバージョンが0で始まっている場合に、その先頭の0xfを報告しました。
- PCIeレーンマージン機能の問題。
- SMがsl2vl madをクラスター内のノードに送信したときに、InfiniBandネットワークでの送信で数ミリ秒の一時的な中断が発生したsl2vl madに関連する問題。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが12.28.2006にアップデートされました。

- 825110-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28アダプター)
- 825111-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.32.1010にアップデートされました。

- 879482-B21(HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート547FLR-QSFPアダプター)
- 872726-B21(HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 841QSFP28アダプター)

バージョン12.28.2006には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 最大XRQ数を512に増加しました。

バージョン16.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 専用MADによる不要なGMPクラスをブロックするためのサポートを追加しました。
- 関数ごとに作成できる作業キューリソース(QP、RQ、SQ ...)の最大数を設定するための新しいNvConfig/パラメーター LOG_MAX_QUEUEを追加しました。デフォルト値は2^17です。
- すべての輻輳制御MADに、それらが信頼できるソースからのものであることを認証するための輻輳制御キーを追加しました。
- フェイクSMPがSMとして認識されないように、権限のないホストからSMPを送信するオプション(サブネットマネージャーからQP0で送信されたMAD)をブロックするSMPファイアウォールを追加しました。
- ベンダー固有のMADクラス0x9は、ファームウェアでサポートされなくなりました。ファームウェアがそのようなMADを検出した場合、ファームウェアは"NOT SUPPORTED"エラーをユーザーに返します。
- NICが応答しない状態になることを防ぐために、パディングとシグネチャーの両方を使用するVFの機能をブロックしました。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- このDCIへのRDMA WRITEがサポートされていないことを示すヒントをDCIソフトウェアコンテキストでソフトウェアに公開することによる、ARフローを使用したDCTのパフォーマンスの向上。
- InfiniBandモードの場合の動的タイムアウトメカニズムのサポートを追加しました。
- 設定とクエリのレート制限をホスト単位およびポート単位で有効にするQSHRアクセスレジスタのサポートを追加しました。
- ソフトウェアステアリングでこのリソースを直接管理できるように、ファームウェアでVXLANカプセル化展開用の新しいソフトウェアステアリングICMリソースを公開しました。
- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。有効にするには:PF_NUM_OF_VF_VALIDはtrueである必要があり、PF_NUM_OF_VFはゼロ以外の値にする必要があります。
- mixlinkが(サブネット全体に対して)LIDによってアクセスレジスタを読み取り/書き込みできるようにするために、2つの新しいMADアクセスレジスタを追加しました。
- VXLANカプセル化展開のためのソフトウェアステアリングに対する新しいICMリソースの公開を有効にしました。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- 高速リンクアップ機能を使用する場合のリンクアップ時間を改善しました。
- ポートがETHとして設定されている場合に、VSTは使用できないため、1つのポートがETHとして構成され、他のポートがIBとして構成されている場合のデュアルポートアダプターカードでVSTを無効にしました。
- モジュールによってエラーコードが報告されない場合に、DSFP AOC(CMIS)v4のサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | デバイス名 | PSID |
|------------|---|---------------|
| 825110-B21 | HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28アダプター | HP_2180110032 |
| 825111-B21 | HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター | HP_2190110032 |
| 872726-B21 | HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート841QSFP28アダプター | HPE0000000009 |
| 879482-B21 | HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFPアダプター | HPE0000000022 |

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(Linux x86_64) for HPE Mellanox Ethernetアダプター専用

バージョン: 1.0.16 (推奨)

ファイル名: firmware-nic-mellanox-ethernet-only-1.0.16-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-mellanox-ethernet-only-1.0.16-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

ファームウェアアップグレードユーティリティは、Mellanox Ethernet専用NICアダプター用に2つのパッケージに分割されました。1つはSynergyプラットフォームをサポートし、もう1つはProLiantおよびApolloプラットフォームをサポートします。このパッケージは、ProLiantおよびApolloサーバー上でMellanox Ethernet専用NICアダプターをサポートします。

事前要件

ConnectX4-Lx/ConnectX5ファームウェアバージョン14.32.1010/16.32.1010では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題点がバージョン2.42.5044で修正されました。

- ファームウェアがlink_downイベントを検出することを妨げることで、IBボンドインターフェイスがフェイルオーバーモードになることを妨げる問題。

以下の問題点がバージョン14.32.1010で修正されました:

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- 光モジュールの使用中にピアポートが停止すると、まれにシステムが応答しない状態になることがあります。
- 非対称VFが有効になっている場合は、パケットペーシングレートが使用されました。
- rts2rts_qp移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合のRNRタイムアウトが正しくありません。
- ConnectX-4 LxのIPSecフローでのRSSの問題により、パフォーマンスが低下しました。このシナリオでは、SPIの最適化により、特定のホストからのパケットが同じCPUコアにハッシュされました。修正は、ConnectX-4 Lxアダプターカードのl4_typeに従ったSPI最適化を無視することでした。
- GetInventory NC-SIコマンドは、ファームウェアバージョンが0で始まっている場合に、その先頭の0xfを報告しました。

以下の問題点がバージョン16.32.1010で修正されました:

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- INIのRX_LOS極性の定義が正しくないために、リンクステータスが誤って報告され、その結果リンクがダウンしました。
- 光モジュールの使用中にピアポートが停止すると、まれにシステムが応答しない状態になることがあります。
- rts2rts_qp移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合のRNRタイムアウトが正しくありません。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- GetInventory NC-SIコマンドは、ファームウェアバージョンが0で始まっている場合に、その先頭の0xfを報告しました。
- PCIeレーンマージン機能の問題。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5044にアップデートされました。

- 779799-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター)
- 779793-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが14.32.1010にアップデートされました。

- 817749-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28アダプター)
- 817753-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.32.1010にアップデートされました。

- 874253-B21(HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28アダプター)

バージョン14.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 3つの新しいアサートフィルター(ヘルスパッファァー、NVlog、FWトレース)が追加されました。重大度レベルが新しいフィルター以上の場合、アサーションが公開されます。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。PF_NUM_OF_VF_VALIDはtrueである必要があり、PF_NUM_OF_VFはゼロ以外の値にする必要があります。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- 高速リンクアップ機能を使用する場合のリンクアップ時間を改善しました。
- ゼロタッチRoCE機能を有効にするために、slow_restartおよびslow_restart_idleパラメーターのサポートが追加されました。

バージョン16.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 関数ごとに作成できる作業キューリソース(QP、RQ、SQ ...)の最大数を設定するための新しいNvConfigパラメーター LOG_MAX_QUEUEを追加しました。デフォルト値は2¹⁷です。
- NICが応答しない状態になることを防ぐために、パディングとシグネチャーの両方を使用するVFの機能をブロックしました。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- このDCIへのRDMA WRITEがサポートされていないことを示すヒントをDCIソフトウェアコンテキストでソフトウェアに公開することによる、ARフローを使用したDCTのパフォーマンスの向上。
- 設定とクエリのレート制限をホスト単位およびポート単位で有効にするQSHRアクセスレジスタのサポートを追加しました。
- ソフトウェアステアリングでこのリソースを直接管理できるように、ファームウェアでVXLANカプセル化展開用の新しいソフトウェアステアリングICMリソースを公開しました。
- VXLANカプセル化展開のためのソフトウェアステアリングに対する新しいICMリソースの公開を有効にしました。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- 高速リンクアップ機能を使用する場合のリンクアップ時間を改善しました。
- モジュールによってエラーコードが報告されない場合に、DSFP AOC(CMIS)v4のサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernetアダプター専用 | PSID |
|------------|--|---------------|
| 779793-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター | HP_1200111023 |
| 779799-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター | HP_2240110004 |
| 817749-B21 | HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28アダプター | HP_2690110034 |
| 817753-B21 | HPE Ethernet 25Gb 2-port 640SFP28 アダプター | HP_2420110034 |
| 874253-B21 | HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28アダプター | HPE0000000014 |

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(Linux x86_64)for HPE Mellanox VPI(EthernetおよびInfinibandモード)ConnectX4デバイス - Linux x86_64プラットフォーム

バージョン: 1.0.12 (推奨)

ファイル名: firmware-hca-mellanox-vpi-connectx4-1.0.12-1.1.x86_64.compsig; firmware-hca-mellanox-vpi-connectx4-1.0.12-1.1.x86_64.rpm

修正

バージョン12.26.1040で提出された修正:

- IPoIBは、動的接続トランスポート(DC)CNAKキューペア(QP)がアクティブな場合に機能できませんでした。
- まれに、firmware coalesce Host stuckイベントが発生すると、非同期イベントが報告されるまで遅延し、PCIeがホストのいずれかで次にハングするまでトリガーされないことがあります。
- GMP Mellanox Vendor Specific External Capability mask enumの名前を、IsDiagnosticCountersSupportedからIsDiagnosticDataSupportedに変更しました。
- PCIe Transaction Layer Packet(TLP)がポイズニングの兆候で設定されている場合に機能が誤動作する問題を修正しました。

バージョン16.26.1040で提出された修正:

- まれに、firmware coalesce Host stuckイベントが発生すると、非同期イベントが報告されるまで遅延し、PCIeがホストのいずれかで次にハングするまでトリガーされないことがあります。
- 予期しないキューペアは、損失の多いテストでエラーに移行しました。
- PFで作成されるダンプの最大量を制限しました。
- GMP Mellanox Vendor Specific External Capability mask enumの名前を、IsDiagnosticCountersSupportedからIsDiagnosticDataSupportedに変更しました。
- ストレス下でのRDMA over Converged Ethernet(RoCE)再送信の安定性の問題は、Zero-Touch-RoCEに影響を与えていました。
- PCIe Transaction Layer Packet(TLP)がポイズニングの兆候で設定されている場合に機能が誤動作する問題を修正しました。
- TTL書き換えでジャンボフレームを実行すると、大量のパケットがドロップしました。
- サービス品質(QoS)ツリー2Kの要素の数を制限しました。
注記:TCごとに250を超えるVport_tcを作成することは許可されていません。
- キューペア(QP)フロークエリは常にポート1を使用していました。ファームウェアは、デュアルポートRoCEネットデバイスの適切なポート1または2に応答するようになりました。
- ナックカウンターが常に"0"として報告されました。
- まれなシナリオとして、ドライバーが"2err"コマンドを実行し、QPがSend Queue(SQ)ドレイン状態にあった場合、ファームウェアは、すべてのWQEでエラーの完了キューエントリ(CQE)を送信する代わりに、破損したワークキューエントリ(WQ)のイベントをポストすることがあります。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが12.26.1040にアップデートされました:

825110-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28アダプター)

825111-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.26.1040にアップデートされます。

879482-B21 (HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFPアダプター)

872726-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2-port 841QSFP28アダプター)

ファームウェアバージョン12.26.1040および16.26.1040の新機能および変更:

- ICMDコマンドを使用して、cmdifと同様の診断カウンターを処理することにより、ファームウェアを有効にしました。これらはvsecスペースを介して呼び出すことができます。カウンターの値は、トレーサー経由でのみ返されます。ICMD Query Capsはサポートを示し、サポートされているカウンターのリストを公開します。
- ユーザーコンテキストオブジェクト(DEVX)は、ユーザーごとのコンテナ化されたサンドボックスであり、一般オブジェクトコマンド、UMEMおよびUCTXコンテキストを使用してPRMコマンドに安全にアクセスします。この機能で許可される機能は、ユーザーの権限によって異なります。
次の機能は引き続きカーネルによって管理されます。
 - リソースのクリーニング
 - UCTXスタンピング
 - これらのUCTXからの物理アドレスとIRQのブロック
- コマンドインターフェイスを使用した、DEVXユーザーへのサポートされている関連および非関連の非同期イベントの報告のサポートが追加されました。
- Zero-Touch-RoCE機能を使用する場合は、ユーザーがデバッグ目的でZero-Touch-RoCEカウンターを使用できるようになりました。
- このリリースには、重要な信頼性の向上とセキュリティ強化の機能改善が含まれています。Mellanoxでは、デバイスファームウェアのセキュリティと信頼性を向上させるために、デバイスファームウェアをこのリリースにアップグレードすることを推奨しています。

ファームウェアバージョン16.26.1040の変更および新機能:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
 - MKEYおよびUMEMのアドレス変換サービス(ATS)のサポート。
 - 仮想機能(VF)の重要製品データ(VPD)の公開。
 - ヘアピンドロップカウンター。
 - DevXを操作するためのヘアピンとTM RNDV QP。
 - eSwitch/Forwarding Table(FDB)のソフトウェア管理ステアリングテーブルの作成。

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(Linux x86_64)for HPE OPAアダプター

バージョン: 1.11.0 (推奨)

ファイル名: firmware-nic-intel-opa-hfi-1.11.0-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-intel-opa-hfi-1.11.0-1.1.x86_64.rpm

修正

バージョン1.11.0に含まれる修正点:

- **Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) ROMで次の問題が修正されました:**一部のプラットフォームで、hfi1デバイスがBIOS/UEFIブートメニューに表示されず、PXEブートデバイスとして利用できませんでした。これは、hfi1アダプター用のUEFIドライバーをプラットフォームがロードしないことが原因でした。

拡張

バージョン1.11.0の変更および新機能はありません

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(Windows x64) for HPE Mellanox Ethernetアダプター専用

バージョン: 1.0.0.16 (推奨)

ファイル名: cp050367.compsig; cp050367.exe

重要な注意!

ファームウェアアップグレードユーティリティは、Mellanox Ethernet専用NICアダプター用に2つのパッケージに分割されました。1つはSynergyプラットフォームをサポートし、もう1つはProLiantおよびApolloプラットフォームをサポートします。このパッケージは、ProLiantおよびApolloサーバー上でMellanox Ethernet専用NICアダプターをサポートします。

事前要件

ConnectX4/ConnectX5ファームウェアバージョン14.28.1002/16.28.1002では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題点がバージョン2.42.5044で修正されました。

- ファームウェアがlink_downイベントを検出することを妨げることで、IBポンドインターフェイスがフェイルオーバーモードになることを妨げる問題。

以下の問題点がバージョン14.32.1010で修正されました:

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- 光モジュールの使用中にピアポートが停止すると、まれにシステムが応答しない状態になることがあります。
- 非対称VFが有効になっている場合は、バケットペーシングレートが使用されました。
- rts2rts_qpの移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合のRNRタイムアウトが正しくありません。
- ConnectX-4LXのIPSecフローでRSSに問題が発生することにより、パフォーマンスが低下します。このシナリオでは、SPIの最適化によって特定のホストからのパケットが同じCPUコアにハッシュされました。ConnectX-4 Lxアダプターカードのl4_typeに従ったSPIの最適化が無視されるように修正されました。
- GetInventory NC-SIコマンドは、ファームウェアバージョンが0で始まっている場合に、その先頭の0xfを報告しました。

以下の問題点がバージョン16.32.1010で修正されました:

- RxLOSをサポートする光トランシーバーを接続し、リモート側のポートがダウンしたときに、ファームウェアは応答しない状態になり、予期しない動作が発生しました。
- INIのRX_LOS極性の定義が正しくないために、リンクステータスが誤って報告され、その結果リンクがダウンしました。
- 光モジュールの使用中にピアポートが停止すると、まれにシステムが応答しない状態になることがあります。
- rts2rts_qpの移行中にRNRタイムアウトを設定しようとした場合のRNRタイムアウトが正しくありません。
- システムは128Kを超えるQPを作成できませんでした。
- GetInventory NC-SIコマンドは、ファームウェアバージョンが0で始まっている場合に、その先頭の0xfを報告しました。
- PCIeレーンマージン機能の問題。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5044にアップデートされました。

- 779799-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター)
- 779793-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが14.32.1010にアップデートされました。

- 817749-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28アダプター)
- 817753-B21 (HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.32.1010にアップデートされました。

- 874253-B21(HPE Ethernet 100Gb 1-port 842QSFP28アダプター)

バージョン14.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 3つの新しいアサートフィルター(ヘルスパッファ、NVlog、FWトレース)が追加されました。重大度レベルが新しいフィルター以上の場合、アサーションが公開されます。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。
- PFごとの非対称VFのサポートを追加しました。有効にするには、PF_NUM_OF_VF_VALIDをtrueにし、PF_NUM_OF_VFをゼロ以外の値にする必要があります。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- 高速リンクアップ機能を使用する場合のリンクアップ時間を改善しました。
- ゼロタッチRoCE機能を有効にするために、slow_restartおよびslow_restart_idleパラメーターのサポートが追加されました。

バージョン16.32.1010には、以下の新機能と変更が含まれます。

- 関数ごとに作成できる作業キューリソース(QP、RQ、SQ ...)の最大数を設定するための新しいNvConfigパラメーターLOG_MAX_QUEUEを追加しました。デフォルト値は2^17です。
- NICが応答しない状態になることを防ぐために、パディングとシグネチャーの両方を使用するVFの機能をブロックしました。
- VM-TCではなくVM単位のレート制限を有効にしました。この機能は、新しいスケジューリング要素タイプ(rate_limitに接続し、そのレート制限を共有するレート制限要素)へのサポートを追加することによって実装されます。

- このDCIへのRDMA WRITEがサポートされていないことを示すヒントをDCIソフトウェアコンテキストでソフトウェアに公開することによる、ARフローを使用したDCTのパフォーマンスの向上。
- 設定とクエリのレート制限をホスト単位およびポート単位で有効にするQSHRアクセスレジスタのサポートを追加しました。
- ソフトウェアステアリングでこのリソースを直接管理できるように、ファームウェアでVXLANカプセル化展開用の新しいソフトウェアステアリングICMリソースを公開しました。
- VXLANカプセル化展開のためのソフトウェアステアリングに対する新しいICMリソースの公開を有効にしました。
- 外部ループバック速度を、使用されているモジュールの機能に制限しました。
- 高速リンクアップ機能を使用する場合のリンクアップ時間を改善しました。
- モジュールによってエラーコードが報告されない場合に、DSFP AOC(CMIS)v4のサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

| HPE部品番号 | Mellanox Ethernetアダプター専用 | PSID |
|------------|--|---------------|
| 779793-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター | HP_1200111023 |
| 779799-B21 | HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター | HP_2240110004 |
| 817749-B21 | HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28アダプター | HP_2690110034 |
| 817753-B21 | HPE Ethernet 25Gb 2-port 640SFP28 アダプター | HP_2420110034 |
| 874253-B21 | HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28アダプター | HPE0000000014 |

ファームウェア - NVDIMM

[先頭](#)

HPE Gen10 Plusサーバー上にインテルOptane DC Persistent Memoryを搭載したHPE Persistent Memory用のファームウェアパッケージ

バージョン: 02.02.00.1553 (B) (**推奨**)

ファイル名: dcpmm_02.02.00.1553.fwpkg

重要な注意!

このソフトウェアパッケージには、Intel Optane DC Persistent Memoryファームウェアバージョン2.2.0.1553が含まれています

修正

この製品は、インテルOptane DC Persistent Memoryの3つの異なる容量が3つの個別のデバイスGUIDで識別できるという問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、次のメモリデバイスをサポートします:

- Intel Optane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 512GB 3200 Persistent Memory Kit
- Intel Optane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 256GB 3200 Persistent Memory Kit
- Intel Optane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 128GB 3200 Persistent Memory Kit

HPE Gen10サーバー上にIntel Optane DC Persistent Memoryを搭載したHPE Persistent Memory用のファームウェアパッケージ

バージョン: 01.02.00.5446 (**推奨**)

ファイル名: dcpmm_01.02.00.5446.fwpkg

重要な注意!

このソフトウェアパッケージには、Intel Optane DC Persistent Memoryファームウェアバージョン1.2.0.5446が含まれています

拡張

- VMware ESXi 6.5 U3のサポートの追加
- Microsoft Windows Server 2022のサポートの追加

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、次のメモリデバイスをサポートします:

- Intel Optane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 512GB 2666 Persistent Memory Kit
- Intel Optane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 256GB 2666 Persistent Memory Kit

- Intel Optane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 128GB 2666 Persistent Memory Kit

Linux用オンラインフラッシュコンポーネント - 16GB NVDIMM-N DDR4-2666

バージョン: 1.04 (C) (オプション)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-nvdimm-16gb-1.04-3.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-nvdimm-16gb-1.04-3.1.x86_64.rpm

拡張

- RHEL8.4のサポートの追加。
- SLES15 SP3のサポートの追加。
- VMWare ESXi 7.0 U3のサポートの追加。
- VMWare vSphere 6.5 U3のサポートの追加

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、次のメモリデバイスをサポートします:

- HPE 16GB NVDIMMシングルランクx4 DDR4-2666モジュールキット

オンラインフラッシュコンポーネント for Linux - HPE Gen10 Plusサーバー上のインテルOptane DC Persistent Memoryを搭載したHPE Persistent Memory

バージョン: 2.2.0.1553 (B) (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-dcpmm-2.2.0.1553-2.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-dcpmm-2.2.0.1553-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

このソフトウェアパッケージには、Intel Optane DC Persistent Memoryファームウェアバージョン2.2.0.1553が含まれています

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

この製品は、インテルOptane DC Persistent Memoryの3つの異なる容量が3つの個別のデバイスGUIDで識別できるという問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、次のメモリデバイスをサポートします:

- Intel Optane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 512GB 3200 Persistent Memory Kit
- Intel Optane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 256GB 3200 Persistent Memory Kit
- Intel Optane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 128GB 3200 Persistent Memory Kit

オンラインフラッシュコンポーネント for Linux - HPE Gen10サーバー上のIntel Optane DC Persistent Memoryを搭載したHPE Persistent Memory

バージョン: 1.2.0.5446 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-dcpmm-1.2.0.5446-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-dcpmm-1.2.0.5446-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

このソフトウェアパッケージには、Intel Optane DC Persistent Memoryファームウェアバージョン1.2.0.5446が含まれています

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

拡張

- RHEL8.4およびSUSE15 SP3のサポートを追加します。

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、次のメモリデバイスをサポートします:

- Intel Optane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 512GB 2666 Persistent Memory Kit
- Intel Optane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 256GB 2666 Persistent Memory Kit
- Intel Optane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 128GB 2666 Persistent Memory Kit

オンラインフラッシュコンポーネントfor Microsoft Windows x64 - 16GB NVDIMM-N DDR4-2666

バージョン: 1.04 (B) (オプション)

ファイル名: cp048495.compsig; cp048495.exe

拡張

- Microsoft Windows 2022のサポートの追加

オンラインフラッシュコンポーネントfor Microsoft Windows x64 - HPE Gen10サーバー上のIntel Optane DC Persistent Memoryを搭載したHPE Persistent Memory

バージョン: 1.2.0.5446 (推奨)

ファイル名: cp047627.compsig; cp047627.exe

重要な注意!

このソフトウェアパッケージには、Intel Optane DC Persistent Memoryファームウェアバージョン1.2.0.5446が含まれています

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートの追加

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、次のメモリデバイスをサポートします:

- Intel Optane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 512GB 2666 Persistent Memory Kit
- Intel Optane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 256GB 2666 Persistent Memory Kit
- Intel Optane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 128GB 2666 Persistent Memory Kit

オンラインフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE Gen10 Plusサーバー上のIntel Optane DC Persistent Memoryを搭載したHPE Persistent Memory

バージョン: 2.2.0.1553 (B) (推奨)

ファイル名: cp047912.compsig; cp047912.exe

重要な注意!

このソフトウェアパッケージには、Intel Optane DC Persistent Memoryファームウェアバージョン2.2.0.1553が含まれています

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

この製品は、インテルOptane DC Persistent Memoryの3つの異なる容量が3つの個別のデバイスGUIDで識別できるという問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、次のメモリデバイスをサポートします:

- Intel Optane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 512GB 3200 Persistent Memory Kit
- Intel Optane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 256GB 3200 Persistent Memory Kit
- Intel Optane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 128GB 3200 Persistent Memory Kit

ファームウェアパッケージ - 16GB NVDIMM-N DDR4-2666

バージョン: 1.04 (C) (推奨)

ファイル名: nvdimm-16gb_1.04.fwpkg

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートの追加。
- VMWare vSphere 6.5 U3のサポートの追加

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、次のメモリデバイスをサポートします:

- HPE 16GB NVDIMMシングルランクx4 DDR4-2666モジュールキット

ファームウェア - PCIe NVMeストレージディスク

[先頭](#)

Linux用オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネント(x64)- MK000400KWDUK、VK000480KWDE、MK000800KWDUL、VK000960KWDF、MK001600KWDUN、およびVK001920KWUDHドライブ

バージョン: HPK4 (F) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b45e49679c-HPK4-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b45e49679c-HPK4-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

VMware ESXi用オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネント - VS000480KWDUP、VS000960KWUDUQ、MS000400KWDUR、およびMS000800KWDUTドライブ

バージョン: HPK4 (E) (推奨)

ファイル名: CP048484.compsig; CP048484.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - ET000750KWJTF、EO000750KWTXC、およびEO000375KWJUCドライブ

バージョン: 4ICSHPK4 (C) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c4355d15c4-4ICSHPK4-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c4355d15c4-4ICSHPK4-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - KCD6XVUL800G、KCD6XVUL1T60、KCD6XVUL3T20、KCD6XVUL6T40、KCD6XVUL12T8、KCD6XLUL960G、KCD6XLUL1T92、KCD6XLUL3T84、KCD6XLUL7T68、KCD6XLUL15T3ドライブ

バージョン: GPK3 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6fc985bd3b-GPK3-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6fc985bd3b-GPK3-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - KCM6XVUL800G、KCM6XVUL1T60、KCM6XVUL3T20、KCM6XVUL6T40、KCM6XRUL960G、KCM6XRUL1T92、KCM6XRUL3T84、KCM6XRUL7T68ドライブ

バージョン: GPK3 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3815d4b024-GPK3-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3815d4b024-GPK3-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - LO0400KEFJQ、LO0800KEFJR、LO1600KEFJT、LO2000KEFJU、LT0800KEXVA、LT1600KEXVB、およびLT2000KEXVCドライブ

バージョン: HPK4 (F) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d64642c780-HPK4-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d64642c780-HPK4-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MO001600KWVNB、MO003200KWVNC、MO006400KWVND、MT001600KWSTB、MT003200KWSTC、およびMT006400KWSTDドライブ

バージョン: HPK3 (C) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-cea219e4b1-HPK3-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-cea219e4b1-HPK3-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MO001600KWZQPおよびMO003200KWZQQドライブ

バージョン: HPK5 (D) (クリティカル)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-95b6ae2e85-HPK5-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-95b6ae2e85-HPK5-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- 最適化されたTオフセット設定。
- MQES設定を8192に変更します。
- LEDの動作のずれた仕様の問題を修正しました。
- 4つ以上のSSDがインストールされている場合のパフォーマンス低下の問題を修正しました。
- ドライブが低電力アイドルモードに頻繁に出入りしないようにするためのアイドル電力管理の修正。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00112800en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MT001600KWHAC、MT003200KWHAD、およびMT006400KWHAEドライブ

バージョン: HPK1 (C) (クリティカル)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8e8ddc5265-HPK1-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8e8ddc5265-HPK1-3.1.x86_64.rpm

修正

- ファームウェアは、予期しない電源損失後にドライブが障害状態になる問題を修正します。この問題が発生すると、その後の電源再投入後もドライブは回復せず、システム構成やホストのアプリケーションからアクセスできなくなります。
- 解決策については、HPE Customer Bulletinを参照してください https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00042733en_us

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MZPLJ1T6HBJR-000H3、MZPLJ3T2HBJR-000H3、およびMZPLJ6T4HALA-000H3ドライブ

バージョン: EPK75H3Q (B) (クリティカル)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6628fce235-EPK75H3Q-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6628fce235-EPK75H3Q-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- アイドル電源モードでの誤ったUECCの問題を修正しました。
- 古いファームウェアダウンロードブロッキング(EPK70H3Q~EPK74H3Q)。
- ファームウェアは、各レーンのTXデータアライメントのオプションから変更されます。
- PCIe構成の読み取り操作時に、TLP完了後に割り込みをクリアするようにファームウェアが変更されました。
- 詳しくは、HPE Customer Bulletin: https://support.hpe.com/hpsc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00113342en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MZXL5800HBHQ-000H3、MZXL51T6HBJR-000H3、MZXL53T2HBLS-000H3、MZXL56T4HALA-000H3、MZXL512THALA-000H3、MZXL5960HBHQ-000H3、MZXL51T9HBJR-000H3、MZXL53T8HBLS-000H3、MZXL57T6HALA-000H3および MZXL515THALA-00H3ドライブ

バージョン: MPK75H5Q (C) (クリティカル)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-e320db791d-MPK75H5Q-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-e320db791d-MPK75H5Q-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- アイドル電源モードでの誤ったUECCの問題を修正しました(12.8TBおよび15.36TBのみ)。
- PHYオプションを実行するPCLKを適用すると、レーン0が欠落している場合にPLLクロックの無効化を回避できます。
- 古いファームウェアダウンロードのブロック。
- ファームウェアは、各レーンのTXデータアライメントのオプションから変更されます。
- PCIe構成の読み取り操作時に、TLP完了後に割り込みをクリアするようにファームウェアが変更されました。
- 詳しくは、HPE Customer Bulletin: https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00113342en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO000960KXAVL、VO001920KXAVP、VO003840KXAVQ、VO007680KXAVR、MO000800KXAVN、MO001600KXAVT、MO003200KXAVU、MO006400KXAVVドライブ

バージョン: HPK3 (B) (クリティカル)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-035a863453-HPK3-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-035a863453-HPK3-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このファームウェアリリースには、前回のファームウェアリリース以降に累積されたさまざまなドライブ相互運用性の機能強化とコード修正のほか、HPEの要求に応じてMCTP over PCIe VDM機能を無効にする変更、およびIntel Ice LakeベースのGen10 Plus DL360プラットフォームとの互換性向上のためのPHY設定の変更が含まれています。
- 詳しくは、HPE Customer Bulletin: https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00115201en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO001000KWJSE、VO002000KWJSF、VO004000KWJSH、VT004000KWJSU、MO001600KWJSN、およびMO003200KWJSQドライブ

バージョン: 4ICDHPK1 (B) (クリティカル)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1656c1b14a-4ICDHPK1-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1656c1b14a-4ICDHPK1-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このファームウェアは、特定の条件またはワークロード中にドライブが無効になり機能しなくなる可能性を修正します。
- ドライブをファームウェアバージョンHPK1にアップグレードした後、ファームウェアバージョンHPK0にダウングレードできません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO001920KWVMT、VO003840KWVMU、およびVO007680KWVMVドライブ

バージョン: HPK3 (C) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-fe9c474847-HPK3-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-fe9c474847-HPK3-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO001920KWZQRおよびVO003840KWZQTドライブ

バージョン: HPK5 (D) **(クリティカル)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2af7385a1e-HPK5-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2af7385a1e-HPK5-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- 最適化されたTオフセット設定。
- MQES設定を8192に変更します。
- LEDの動作のずれた仕様の問題を修正しました。
- 4つ以上のSSDがインストールされている場合のパフォーマンス低下の問題を修正しました。
- ドライブが低電力アイドルモードに頻繁に出入りしないようにするためのアイドル電力管理の修正。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00112800en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO002000KWVVC、VO004000KWVUR、MO001600KWVUU、MO003200KWVUV、およびMO006400KWVVAドライブ

バージョン: 4ICRHPK3 (C) **(クリティカル)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-92d876cfea-4ICRHPK3-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-92d876cfea-4ICRHPK3-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPEのファームウェアバージョンが4ICRHPK3より前のSSDに影響し、SSDの故障が発生した後、4,700時間の動作からSSDもデータも復旧できない可能性があります。
- 詳しくは、HPE Customer Bulletin: https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00111900en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO0400KEFJB、VO1200KEFJC、およびVO2000KEFJDドライブ

バージョン: HPK4 (F) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9a826ccd8a-HPK4-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9a826ccd8a-HPK4-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VS000480KWDUP、VS000960KWUDUQ、MS000400KWDUR、およびMS000800KWDUTドライブ

バージョン: HPK4 (F) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-95a2e5abcb-HPK4-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-95a2e5abcb-HPK4-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VS000480KXALB、VS003840KWXFQ、VS001920KWXFP、およびVS000960KWXFNドライブ

バージョン: 85032G00 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-805abb7e9c-85032G00-1.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-805abb7e9c-85032G00-1.1.x86_64.rpm

修正

- FWベースのVPDを実装します。
- ARP設定を"対応&検出可能"から"修正済み&検出可能"に変更しました。
- クリティカルな変数が適切に初期化されるように、フォアグラウンドメディアスキャン(FMS)アルゴリズムを微調整しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64)- MK000800KWWFE、MK001600KWWFF、MK003200KWWFH、MK006400KWWFK、VK000960KWWFL、VK001920KWWFN、VK003840KWWFP、およびVK007680KWWFQドライブ

バージョン: HPK3 (F) (クリティカル)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-54addf5312-HPK3-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-54addf5312-HPK3-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このFWの変更により、iLOバージョン2.30で見られたMCTP VDMコンプライアンスの問題が解決されます。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00111061en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64)- MO0400KEFHN、MO0800KEFHP、MO1600KEFHQ、MO2000KEFHR、MT0800KEXUU、およびMT1600KEXUVドライブ

バージョン: HPK4 (F) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2a5b65f157-HPK4-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2a5b65f157-HPK4-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MO001600KWZQPおよびMO003200KWZQQドライブ

バージョン: HPK5 (C) **(クリティカル)**

ファイル名: CP048472.compsig; CP048472.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- 最適化されたTオフセット設定。
- MQES設定を8192に変更します。
- LEDの動作のずれた仕様の問題を修正しました。
- 4つ以上のSSDがインストールされている場合のパフォーマンス低下の問題を修正しました。
- ドライブが低電力アイドルモードに頻繁に出入りしないようにするためのアイドル電力管理の修正。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00112800en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO001920KWZQRおよびVO003840KWZQTドライブ

バージョン: HPK5 (C) **(クリティカル)**

ファイル名: CP048473.compsig; CP048473.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- 最適化されたTオフセット設定。
- MQES設定を8192に変更します。
- LEDの動作のずれた仕様の問題を修正しました。
- 4つ以上のSSDがインストールされている場合のパフォーマンス低下の問題を修正しました。
- ドライブが低電力アイドルモードに頻繁に出入りしないようにするためのアイドル電力管理の修正。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00112800en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - ET000750KWJTF、EO000750KWTXC、およびEO000375KWJUCドライブ

バージョン: 4ICSHPK4 (B) **(推奨)**

ファイル名: CP048513.compsig; CP048513.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - KCD6XVUL800G、KCD6XVUL1T60、KCD6XVUL3T20、KCD6XVUL6T40、KCD6XVUL12T8、KCD6XLUL960G、KCD6XLUL1T92、KCD6XLUL3T84、KCD6XLUL7T68、KCD6XLUL15T3ドライブ

バージョン: GPK3 (B) **(推奨)**

ファイル名: CP049279.compsig; CP049279.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - KCM6XVUL800G、KCM6XVUL1T60、KCM6XVUL3T20、KCM6XVUL6T40、KCM6XRUL960G、KCM6XRUL1T92、KCM6XRUL3T84、KCM6XRUL7T68ドライブ

バージョン: GPK3 (B) **(推奨)**

ファイル名: CP049284.compsig; CP049284.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - LO0400KEFJQ、LO0800KEFJR、LO1600KEFJT、LO2000KEFJU、LT0800KEXVA、LT1600KEXVB、およびLT2000KEXVCドライブ

バージョン: HPK4 (E) **(推奨)**

ファイル名: CP045718.compsig; CP045718.zip

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MK000400KWDUK、VK000480KWDE、MK000800KWDUL、VK000960KWDF、MK001600KWDUN、およびVK001920KWUDHドライブ

バージョン: HPK4 (G) (推奨)

ファイル名: CP048486.compsig; CP048486.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MK000800KWWFE、MK001600KWWFF、MK003200KWWFH、MK006400KWWFK、VK000960KWWFL、VK001920KWWFN、VK003840KWWFPおよびVK007860KWWFQドライブ

バージョン: HPK3 (C) (クリティカル)

ファイル名: CP048467.compsig; CP048467.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このFWの変更により、iLOバージョン2.30で見られたMCTP VDMコンプライアンスの問題が解決されます。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00111061en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MO001600KWVNB、MO003200KWVNC、MO006400KWVND、MT001600KWSTB、MT003200KWSTC、およびMT006400KWSTDドライブ

バージョン: HPK3 (B) (推奨)

ファイル名: CP048478.compsig; CP048478.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MO0400KEFHN、MO0800KEFHP、MO1600KEFHQ、MO2000KEFHR、MT0800KEXUUおよびMT1600KEXUVドライブ

バージョン: HPK4 (E) (推奨)

ファイル名: CP048489.compsig; CP048489.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MT001600KWHAC、MT003200KWHADおよびMT006400KWHAEドライブ

バージョン: HPK1 (クリティカル)

ファイル名: CP050549.compsig; CP050549.zip

修正

- ファームウェアは、予期しない電源損失後にドライブが障害状態になる問題を修正します。この問題が発生すると、その後の電源再投入後もドライブは回復せず、システム構成やホストのアプリケーションからアクセスできなくなります。
- 解決策については、HPE Customer Bulletinを参照してください https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00042733en_us

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MZXL5800HBHQ-000H3、MZXL51T6HBJR-000H3、MZXL53T2HBLS-000H3、MZXL56T4HALA-000H3、MZXL512THALA-000H3、MZXL5960HBHQ-000H3、MZXL51T9HBJR-000H3、MZXL53T8HBLS-000H3、MZXL57T6HALA-000H3および MZXL515THALA-00H3ドライブ

バージョン: MPK75H5Q (B) (クリティカル)

ファイル名: CP048456.compsig; CP048456.zip

修正

- アイドル電源モードでの誤ったUECCの問題を修正しました(12.8TBおよび15.36TBのみ)。
- PHYオプションを実行するPCLKを適用すると、レーン0が欠落している場合にPLLクロックの無効化を回避できます。
- 古いファームウェアダウンロードのブロック。
- ファームウェアは、各レーンのTXデータアライメントのオプションから変更されます。
- PCIe構成の読み取り操作時に、TLP完了後に割り込みをクリアするようにファームウェアが変更されました。
- 詳しくは、HPE Customer Bulletin: https://support.hpe.com/hpsc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00113342en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO000960KXAVL、VO001920KXAVP、VO003840KXAVQ、VO007680KXAVR、MO000800KXAVN、MO001600KXAVT、MO003200KXAVU、MO006400KXAVVドライブ

バージョン: HPK3 (B) (クリティカル)

ファイル名: CP049302.compsig; CP049302.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このファームウェアリリースには、前回のファームウェアリリース以降に累積されたさまざまなドライブ相互運用性の機能強化とコード修正のほか、HPEの要求に応じてMCTP over PCIe VDM機能を無効にする変更、およびIntel Ice LakeベースのGen10 Plus DL360プラットフォームとの互換性向上のためのPHY設定の変更が含まれています。
- 詳しくは、HPE Customer Bulletin: https://support.hpe.com/hpsc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00115201en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO001000KWJSE、VO002000KWJSF、VO004000KWJSH、VT004000KWJSU、MO001600KWJSN、およびMO003200KWJSQドライブ

バージョン: 4ICDHPK1 (B) (推奨)

ファイル名: CP048471.compsig; CP048471.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このファームウェアは、特定の条件またはワークロード中にドライブが無効になり機能しなくなる可能性を修正します。
- ドライブをファームウェアバージョンHPK1にアップグレードした後、ファームウェアバージョンHPK0にダウングレードできません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO002000KWVVC、VO004000KWVUR、MO001600KWVUU、MO003200KWVUV、およびMO006400KWVVAドライブ

バージョン: 4ICRHPK3 (B) (クリティカル)

ファイル名: CP048511.compsig; CP048511.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPEのファームウェアバージョンが4ICRHPK3より前のSSDに影響し、SSDの故障が発生した後、4,700時間の動作からSSDもデータも復旧できない可能性があります。
- 詳しくは、HPE Customer Bulletin: https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00111900en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO0400KEFJB、VO1200KEFJC、およびVO2000KEFJDドライブ

バージョン: HPK4 (E) (推奨)

ファイル名: CP045719.compsig; CP045719.zip

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VS000480KXALB、VS000960KWXFN、VS001920KWXFP、およびVS003840KWXFQドライブ

バージョン: 85032G00 (推奨)

ファイル名: CP049351.compsig; CP049351.zip

修正

- FWベースのVPDを実装します。
- ARP設定を"対応&検出可能"から"修正済み&検出可能"に変更しました。

- クリティカルな変数が適切に初期化されるように、フォアグラウンドメディアスキャン(FMS)アルゴリズムを微調整しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi (x64) - VO001920KWVMT、VO003840KWVMU、およびVO007680KWVMVドライブ

バージョン: HPK3 (B) (推奨)

ファイル名: CP048469.compsig; CP048469.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - ET000750KWJTF、EO000750KWTXCおよびEO000375KWJUCドライブ

バージョン: 4ICSHPK4 (B) (推奨)

ファイル名: cp048692.compsig; cp048692.exe; cp048692.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - KCD6XVUL800G、KCD6XVUL1T60、KCD6XVUL3T20、KCD6XVUL6T40、KCD6XVUL12T8、KCD6XLUL960G、KCD6XLUL1T92、KCD6XLUL3T84、KCD6XLUL7T68、KCD6XLUL15T3ドライブ

バージョン: GPK3 (B) (推奨)

ファイル名: cp049282.compsig; cp049282.exe; cp049282.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - KCM6XVUL800G、KCM6XVUL1T60、KCM6XVUL3T20、KCM6XVUL6T40、KCM6XRUL960G、KCM6XRUL1T92、KCM6XRUL3T84、KCM6XRUL7T68ドライブ

バージョン: GPK3 (B) (推奨)

ファイル名: cp049285.compsig; cp049285.exe; cp049285.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。
-

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - LO0400KEFJQ、LO0800KEFJR、LO1600KEFJT、LO2000KEFJU、LT0800KEXVA、LT1600KEXVB、およびLT2000KEXVCドライブ

バージョン: HPK4 (D) (推奨)

ファイル名: cp048428.compsig; cp048428.exe; cp048428.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MO001600KWVNB、MO003200KWVNC、MO006400KWVND、MT001600KWSTB、MT003200KWSTC、およびMT006400KWSTDドライブ

バージョン: HPK3 (B) (推奨)

ファイル名: cp048684.compsig; cp048684.exe; cp048684.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MO001600KWZQPおよびMO003200KWZQQドライブ

バージョン: HPK5 (C) (クリティカル)

ファイル名: cp048685.compsig; cp048685.exe; cp048685.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- 最適化されたTオフセット設定。
- MQES設定を8192に変更します。
- LEDの動作のずれた仕様の問題を修正しました。
- 4つ以上のSSDがインストールされている場合のパフォーマンス低下の問題を修正しました。
- ドライブが低電力アイドルモードに頻繁に出入りしないようにするためのアイドル電力管理の修正。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00112800en_usを参照してください。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MT001600KWHAC、MT003200KWHADおよびMT006400KWHAEドライブ

バージョン: HPK1 (クリティカル)

ファイル名: cp050550.compsig; cp050550.exe; cp050550.md5

修正

- ファームウェアは、予期しない電源損失後にドライブが障害状態になる問題を修正します。この問題が発生すると、その後の電源再投入後もドライブは回復せず、システム構成やホストのアプリケーションからアクセスできなくなります。

- 解決策については、HPE Customer Bulletinを参照してください https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00042733en_us

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MZXL5800HBHQ-000H3、MZXL51T6HBJR-000H3、MZXL53T2HBLS-000H3、MZXL56T4HALA-000H3、MZXL512THALA-000H3、MZXL5960HBHQ-000H3、MZXL51T9HBJR-000H3、MZXL53T8HBLS-000H3、MZXL57T6HALA-000H3および MZXL515THALA-0ドライブ

バージョン: MPK75H5Q (B) (クリティカル)

ファイル名: cp048464.compsig; cp048464.exe; cp048464.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- アイドル電源モードでの誤ったUECCの問題を修正しました(12.8TBおよび15.36TBのみ)。
- PHYオプションを実行するPCLKを適用すると、レーン0が欠落している場合にPLLクロックの無効化を回避できます。
- 古いファームウェアダウンロードのブロック。
- ファームウェアは、各レーンのTXデータアライメントのオプションから変更されます。
- PCIe構成の読み取り操作時に、TLP完了後に割り込みをクリアするようにファームウェアが変更されました。
- 詳しくは、HPE Customer Bulletin: https://support.hpe.com/hpsc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00113342en_usを参照してください。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO000960KXAVL、VO001920KXAVP、VO003840KXAVQ、VO007680KXAVR、MO000800KXAVN、MO001600KXAVT、MO003200KXAVU、MO006400KXAVVドライブ

バージョン: HPK3 (B) (クリティカル)

ファイル名: cp049303.compsig; cp049303.exe; cp049303.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このファームウェアリリースには、前回のファームウェアリリース以降に累積されたさまざまなドライブ相互運用性の機能強化とコード修正のほか、HPEの要求に応じてMCTP over PCIe VDM機能を無効にする変更、およびIntel Ice LakeベースのGen10 Plus DL360プラットフォームとの互換性向上のためのPHY設定の変更が含まれています。
- 詳しくは、HPE Customer Bulletin: https://support.hpe.com/hpsc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00115201en_usを参照してください。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO001000KWJSE、VO002000KWJSF、VO004000KWJSH、VT004000KWJSU、MO001600KWJSN、および MO003200KWJSQドライブ

バージョン: 4ICDHPK1 (B) (クリティカル)

ファイル名: cp048438.compsig; cp048438.exe; cp048438.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このファームウェアは、特定の条件またはワークロード中にドライブが無効になり機能しなくなる可能性を修正します。
- ドライブをファームウェアバージョンHPK1にアップグレードした後、ファームウェアバージョンHPK0にダウングレードできません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO001920KWVMT、VO003840KWVMU、およびVO007680KWVMVドライブ

バージョン: HPK3 (B) (**推奨**)

ファイル名: cp048462.compsig; cp048462.exe; cp048462.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO001920KWZQRおよびVO003840KWZQTドライブ

バージョン: HPK5 (C) (**クリティカル**)

ファイル名: cp048687.compsig; cp048687.exe; cp048687.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- 最適化されたTオフセット設定。
- MQES設定を8192に変更します。
- LEDの動作のずれた仕様の問題を修正しました。
- 4つ以上のSSDがインストールされている場合のパフォーマンス低下の問題を修正しました。
- ドライブが低電力アイドルモードに頻繁に出入りしないようにするためのアイドル電力管理の修正。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00112800en_usを参照してください。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO002000KWVVC、VO004000KWVUR、MO001600KWVUU、MO003200KWVUV、およびMO006400KWVVAドライブ

バージョン: 4ICRHPK3 (B) (**クリティカル**)

ファイル名: cp048693.compsig; cp048693.exe; cp048693.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPEのファームウェアバージョンが4ICRHPK3より前のSSDに影響し、SSDの故障が発生した後、4,700時間の動作からSSDもデータも復旧できない可能性があります。

- 詳しくは、HPE Customer Bulletin: https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00111900en_usを参照してください。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VS000480KWDUP、VS000960KWDUQ、MS000400KWDUR、およびMS000800KWDUTドライブ

バージョン: HPK4 (D) (**推奨**)

ファイル名: cp048487.compsig; cp048487.exe; cp048487.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VS000480KXALB、VS003840KWXFQ、VS001920KWXFP、およびVS000960KWXFNドライブ

バージョン: 85032G00 (B) (**推奨**)

ファイル名: cp050167.compsig; cp050167.exe; cp050167.md5

修正

- FWベースのVPDを実装します。
- ARP設定を"対応&検出可能"から"修正済み&検出可能"に変更しました。
- クリティカルな変数が適切に初期化されるように、フォアグラウンドメディアスキャン(FMS)アルゴリズムを微調整しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MK000400KWDUK、VK000480KWDUE、MK000800KWDUL、VK000960KWDUF、MK001600KWDUN、およびVK001920KWDUHドライブ

バージョン: HPK4 (D) (**推奨**)

ファイル名: cp048479.compsig; cp048479.exe; cp048479.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- MK000800KWWFE、MK001600KWWFF、MK003200KWWFH、MK006400KWWFK、VK000960KWWFL、VK001920KWWFN、VK003840KWWFP、およびVK007680KWWFQドライブ

バージョン: HPK3 (C) (**クリティカル**)

ファイル名: cp048463.compsig; cp048463.exe; cp048463.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このFWの変更により、iLOバージョン2.30で見られたMCTP VDMコンプライアンスの問題が解決されます。

- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00111061en_usを参照してください。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- MO0400KEFHN、MO0800KEFHP、MO1600KEFHQ、MO2000KEFHR、MT0800KEXUU、およびMT1600KEXUVドライブ

バージョン: HPK4 (D) **(推奨)**

ファイル名: cp048475.compsig; cp048475.exe; cp048475.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- VO0400KEFJB、VO1200KEFJC、およびVO2000KEFJDドライブ

バージョン: HPK4 (D) **(推奨)**

ファイル名: cp048476.compsig; cp048476.exe; cp048476.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインNVMeSSDフラッシュコンポーネントfor VMwareESXi - MZPLJ1T6HBJR-000H3、MZPLJ3T2HBJR-000H3、およびMZPLJ6T4HALA-000H3ドライブ

バージョン: EPK75H3Q (B) **(クリティカル)**

ファイル名: CP048458.compsig; CP048458.zip

修正

- アイドル電源モードでの誤ったUECCの問題を修正しました。
- 古いファームウェアダウンロードブロック(EPK70H3Q~EPK74H3Q)。
- ファームウェアは、各レーンのTXデータアライメントのオプションから変更されます。
- PCIe構成の読み取り操作時に、TLP完了後に割り込みをクリアするようにファームウェアが変更されました。
- 詳しくは、HPE Customer Bulletin: https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00113342en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインNVMeSSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MZPLJ1T6HBJR-000H3、MZPLJ3T2HBJR-000H3、およびMZPLJ6T4HALA-000H3ドライブ

バージョン: EPK75H3Q (B) **(クリティカル)**

ファイル名: cp048301.compsig; cp048301.exe; cp048301.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- アイドル電源モードでの誤ったUECCの問題を修正しました。
- 古いファームウェアダウンロードブロック(EPK70H3Q~EPK74H3Q)。
- ファームウェアは、各レーンのTXデータアライメントのオプションから変更されます。
- PCIe構成の読み取り操作時に、TLP完了後に割り込みをクリアするようにファームウェアが変更されました。
- 詳しくは、HPE Customer Bulletin: https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00113342en_usを参照してください。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

ファームウェア - パワーマネジメント

[先頭](#)

ROMフラッシュパッケージ - アドバンスト消費電力上限マイクロコントローラーファームウェア for HPE Gen10 およびGen10 Plusサーバー

バージョン: 1.0.8 (オプション)

ファイル名: PICGen10-1.0.8-1.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Gen10およびGen10 Plusサーバー用アドバンスト消費電力上限マイクロコントローラーファームウェア

リリースバージョン:

1.0.8

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.0.4

以前のリビジョン:

1.0.7

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

Proliant Gen10 Plusサーバーで実際の温度が100℃を超えると温度測定値が不正確になる問題を修正しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

HPE Gen10サーバーでは、Integrated Lights-Out 5(iLO 5)ファームウェアバージョン1.40およびシステムROMバージョン1.20以降が必要です。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

Proliant Gen10 Plusサーバーで実際の温度が100℃を超えると温度測定値が不正確になる問題を修正しました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュ for Linux - アドバンスド消費電力上限マイクロコントローラーファームウェア for HPE Gen10およびGen10 Plusサーバー

バージョン: 1.0.8 (オプション)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-powerpic-gen10-1.0.8-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-powerpic-gen10-1.0.8-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!**重要な注意:**

なし

提供名:

HPE Gen10およびGen10 Plusサーバー用アドバンスド消費電力上限マイクロコントローラーファームウェア

リリースバージョン:

1.0.8

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.0.4

以前のリビジョン:

1.0.7

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

Proliant Gen10 Plusサーバーで実際の温度が100℃を超えると温度測定値が不正確になる問題を修正しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

HPE Gen10サーバーでは、Integrated Lights-Out 5(iLO 5)ファームウェアバージョン1.40およびシステムROMバージョン1.20以降が必要です。

修正**重要な注意:**

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

Proliant Gen10 Plusサーバーで実際の温度が100℃を超えると温度測定値が不正確になる問題を修正しました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュ for Windows x64 - アドバンスト消費電力上限マイクロコントローラーファームウェア for HPE Gen10およびGen10 Plusサーバー

バージョン: 1.0.8 (オプション)

ファイル名: cp049266.compsig; cp049266.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Gen10およびGen10 Plusサーバー用アドバンスト消費電力上限マイクロコントローラーファームウェア

リリースバージョン:

1.0.8

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.0.4

以前のリビジョン:

1.0.7

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

ProLiant Gen10 Plusサーバーで実際の温度が100℃を超えると温度測定値が不正確になる問題を修正しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

HPE Gen10サーバーでは、Integrated Lights-Out 5(iLO 5)ファームウェアバージョン1.40およびシステムROMバージョン1.20以降が必要です。

拡張

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

ProLiant Gen10 Plusサーバーで実際の温度が100℃を超えると温度測定値が不正確になる問題を修正しました。

既知の問題点:

なし

ファームウェア - SASストレージディスク

[先頭](#)

削除済み オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO003840XZCLT、VO007680XZCMB、MO000800XZCLQおよびMO001600XZCLVドライブ

バージョン: HPD1 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8f501d6cf1-HPD1-1.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8f501d6cf1-HPD1-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- コマンドのタイムアウトと修正不可能なエラーの改善を修正しました。
- SAS4自動電力スイッチおよびサーマル要件の機能が追加されました。

***削除済み* オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64) - E000400PXDBQ、E000800PXDCK、E001600PXDCH、M000800PXDBP、M001600PXDCC、M003200PXDCD、M006400PXDCE、V000960PXDBN、V001920PXDBR、V003840PXDBT、V007680PXDBU、およびV0015300PXDBVドライブ**

バージョン: HPD2 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-42aff4675b-HPD2-1.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-42aff4675b-HPD2-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- コマンドのタイムアウトと修正不可能なエラーの改善を修正しました。
- SAS4自動電力スイッチおよびサーマル要件の機能が追加されました。

***削除済み* オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - E000400PXDBQ、E000800PXDCK、E001600PXDCH、M000800PXDBP、M001600PXDCC、M003200PXDCD、M006400PXDCE、V000960PXDBN、V001920PXDBR、V003840PXDBT、V007680PXDBU、およびV0015300PXDBVドライブ**

バージョン: HPD2 (推奨)

ファイル名: CP050382.compsig; CP050382.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- コマンドのタイムアウトと修正不可能なエラーの改善を修正しました。
- SAS4自動電力スイッチおよびサーマル要件の機能が追加されました。

***削除済み* オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - V0003840XZCLT、V0007680XZCMB、M000800XZCLQおよびM001600XZCLVドライブ**

バージョン: HPD1 (推奨)

ファイル名: CP050453.compsig; CP050453.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- コマンドのタイムアウトと修正不可能なエラーの改善を修正しました。
- SAS4自動電力スイッチおよびサーマル要件の機能が追加されました。

***削除済み* オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EO000400PXDBQ、EO000800PXDCCK、EO001600PXDCH、MO000800PXDBP、MO001600PXDCCL、MO003200PXDCD、MO006400PXDCE、VO000960PXDBN、VO001920PXDBR、VO003840PXDBT、VO007680PXDBU、およびVO015300PXDBVドライブ**

バージョン: HPD2 (推奨)

ファイル名: cp050385.compsig; cp050385.exe; cp050385.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- コマンドのタイムアウトと修正不可能なエラーの改善を修正しました。
- SAS4自動電力スイッチおよびサーマル要件の機能が追加されました。

***削除済み* オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO003840XZCLT、VO007680XZCMB、MO000800XZCLQおよびMO001600XZCLVドライブ**

バージョン: HPD1 (推奨)

ファイル名: cp050457.compsig; cp050457.exe; cp050457.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- コマンドのタイムアウトと修正不可能なエラーの改善を修正しました。
- SAS4自動電力スイッチおよびサーマル要件の機能が追加されました。

オンライン HDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - VO000960JWTKB、VO001920JWTKL、VO003840JWTKN、VO007680JWTKP、MO000400JWTKQ、MO000800JWTKR、MO001600JWTKT、MO003200JWTKU、MO006400JWTKD、EO000400JWTKV、EO000800JWTKA、EO001600JWTKC ドライブ

バージョン: HPD9 (B) (推奨)

ファイル名: CP049147.compsig; CP049147.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンライン HDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO000960JWTKB、VO001920JWTKL、VO003840JWTKN、VO007680JWTKP、MO000400JWTKQ、MO000800JWTKR、MO001600JWTKT、MO003200JWTKU、MO006400JWTKD、EO000400JWTKV、EO000800JWTKA、EO001600JWTKBドライブ

バージョン: HPD9 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9ad359dac1-HPD9-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9ad359dac1-HPD9-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンライン HDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO000960JWTKB、VO001920JWTKL、VO003840JWTKN、VO007680JWTKP、MO000400JWTKQ、MO000800JWTKR、MO001600JWTKT、MO003200JWTKU、MO006400JWTKD、EO000400JWTKV、EO000800JWTKA、EO001600JWTKB ドライブ

バージョン: HPD9 (B) (推奨)

ファイル名: cp049146.compsig; cp049146.exe; cp049146.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。
-

オンラインHDD/SDDフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - EG000600JWEBHおよびEG000300JWEBFドライブ

バージョン: HPD5 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-aa9e289524-HPD5-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-aa9e289524-HPD5-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SDDフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - EG001800JWJNRおよびEG002400JWJNTドライブ

バージョン: HPD6 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b1c9eaf74c-HPD6-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b1c9eaf74c-HPD6-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SDDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EG001800JWJNLおよびEG002400JWJNNドライブ

バージョン: HPD5 (推奨)

ファイル名: CP050184.compsig; CP050184.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- このファームウェアは、潜在的な信頼性の懸念を軽減します。

オンラインHDD/SDDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MO0200JEFNV、MO0400JEFPA、MO0800JEFPB、MO1600JEFPC、EO0200JEFPD、EO0400JEFPE、およびEO0800JEFPFドライブ

バージョン: HPD3 (I) (推奨)

ファイル名: CP048401.compsig; CP048401.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SDDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG0300FCSPH、EG0450FCSPK、EG0600FCSPK、およびEG0900FCSPNドライブ

バージョン: HPD2 (I) (**推奨**)

ファイル名: CP048255.compsig; CP048255.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SDDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG000600JWEBHおよびEG000300JWEBFドライブ

バージョン: HPD5 (B) (**推奨**)

ファイル名: cp049346.compsig; cp049346.exe; cp049346.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SDDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- VO000480JWDAR、VO000960JWDAT、VO001920JWDAUおよびVO003840JWDAVドライブ

バージョン: HPD8 (D) (**クリティカル**)

ファイル名: cp044739.compsig; cp044739.exe; cp044739.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for ESXi - MB014000JWRTH、MB012000JWRTFおよびMB010000JWRTE ドライブ

バージョン: HPD2 (F) (推奨)

ファイル名: CP048340.compsig; CP048340.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - EK0800JVYPN、EO1600JVYPP、MK0800JVYPPQ、およびMO1600JVYPRドライブ

バージョン: HPD7 (D) (クリティカル)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-481c8ea9a7-HPD7-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-481c8ea9a7-HPD7-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPD7以前のHPEファームウェアバージョンを使用しているSSDに影響を与え、40,000時間(つまり、4年、205日16時間)の動作でSSDの障害が発生すると、SSDの障害が発生した後、SSDもデータも回復できなくなります。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00097382en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB004000JWWQB、

MB002000JWWQA、およびMB001000JWWPVドライブ

バージョン: HPD6 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-adb3ab8147-HPD6-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-adb3ab8147-HPD6-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB008000JWWQPおよびMB006000JWWQNドライブ

バージョン: HPD6 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ae6b41e855-HPD6-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ae6b41e855-HPD6-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB6000JEQUV およびMB8000JEQVAドライブ

バージョン: HPDB (I) (推奨)

ファイル名: CP048378.compsig; CP048378.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - VO000960RWUEV、VO001920RWUFA、VO003840RWUFB、VO007680RWUFC、VO000960RWUFD、VO001920RWUFE

およびVO003840RWUFFドライブ

バージョン: HPD6 (クリティカル)

ファイル名: CP049363.compsig; CP049363.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- PMICビジーの問題の発生確率を低減しました。
- ドライブの電源投入時のシステムデータエラーを修正しました。
- PLP操作が開始されると、4KBのアラインされていないホスト書き込み領域に対する待機中のUnmap要求がキャンセルされ、PLPを正しく完了できるようになります。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EG000600JWEBHおよびEG000300JWEBFドライブ

バージョン: HPD5 (B) (推奨)

ファイル名: CP049345.compsig; CP049345.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EG000600JWFUVおよびEG001200JWFVAドライブ

バージョン: HPD4 (B) (推奨)

ファイル名: CP048250.compsig; CP048250.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EG000600JWJNPおよび

EG001200JWJNQドライブ

バージョン: HPD4 (B) (推奨)

ファイル名: CP048251.compsig; CP048251.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EG001800JWJNRおよびEG002400JWJNTドライブ

バージョン: HPD6 (B) (推奨)

ファイル名: CP048254.compsig; CP048254.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EG0300JEHLV、EG0600JEHMA、EG0900JEHMB、およびEG1200JEHMCドライブ

バージョン: HPD5 (J) (推奨)

ファイル名: CP048261.compsig; CP048261.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EH000300JWCPK、EH000600JWCPL、およびEH000900JWCPNドライブ

バージョン: HPD7 (B) (推奨)

ファイル名: CP048286.compsig; CP048286.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EH000600JWC PFおよびEH000900JWC PHドライブ

バージョン: HPD9 (B) (推奨)

ファイル名: CP048272.compsig; CP048272.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EH000900JWHP KおよびEH000600JWHP Hドライブ

バージョン: HPD7 (B) (推奨)

ファイル名: CP049135.compsig; CP049135.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EH0300JDYTH、EH0450JDYTK、およびEH0600JDYTLドライブ

バージョン: HPD6 (J) (推奨)

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - E000400JWDKP、E000800JWDKQ、E001600JWDKR、MO00400JWDKU、MO00800JWDKV、MO01600JWDLA および MO003200JWDLB ドライブ

バージョン: HPD2 (F) (**推奨**)

ファイル名: CP048297.compsig; CP048297.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB002000JWFVNおよびMB004000JWFVP ドライブ

バージョン: HPD4 (B) (**推奨**)

ファイル名: CP048318.compsig; CP048318.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB2000JFEMLおよびMB4000JFEMN ドライブ

バージョン: HPD6 (I) (**クリティカル**)

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違って開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。これらの問題は、サプライヤーの継続的な信頼性テスト中で検出されました。
- ファームウェアは、緊急の電源オフの改善も含まれます。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB2000JFEPAおよびMB4000JFEPBドライブ

バージョン: HPD5 (I) (**推奨**)

ファイル名: CP048362.compsig; CP048362.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB4000JEFNCおよびMB6000JEFNDドライブ

バージョン: HPD9 (I) (**推奨**)

ファイル名: CP048367.compsig; CP048367.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB4000JEQNLおよびMB6000JEQNN ドライブ

バージョン: HPDB (I) (推奨)

ファイル名: CP048368.compsig; CP048368.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - VO007680JWCNKおよび VO015300JWCNLドライブ

バージョン: HPD8 (E) (クリティカル)

ファイル名: CP048415.compsig; CP048415.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPD8より前のHPEファームウェアバージョンのSSDに影響し、SSD障害が発生した後、32,768時間(つまり、3年、270日8時間)でSSDが故障し、SSDもデータも回復できません。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00092491en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi -MB004000JWFVKおよび MB006000JWFVLドライブ

バージョン: HPD4 (B) (推奨)

ファイル名: CP048320.compsig; CP048320.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi -VK000960JWSSQ、VK001920JWSSR、VK003840JWSST、VK007680JWSSUおよびVO015300JWSSVドライブ

バージョン: HPD8 (E) (クリティカル)

ファイル名: CP048446.compsig; CP048446.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPD8より前のHPEファームウェアバージョンのSSDに影響し、SSD障害が発生した後、32,768時間(つまり、3年、270日8時間)でSSDが故障し、SSDもデータも回復できません。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00092491en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - EK0800JVYPN、EO1600JVYPP、MK0800JVYPQ、およびMO1600JVYPRドライブ

バージョン: HPD7 (D) (クリティカル)

ファイル名: cp048651.compsig; cp048651.exe; cp048651.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPD7以前のHPEファームウェアバージョンを使用しているSSDに影響を与え、40,000時間(つまり、4年、205日16時間)の動作でSSDの障害が発生すると、SSDの障害が発生した後、SSDもデータも回復できなくなります。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00097382en_usを参照してください。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。
-

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB004000JWWQB、 MB002000JWWQA、およびMB001000JWWPVドライブ

バージョン: HPD6 (B) (推奨)

ファイル名: cp048653.compsig; cp048653.exe; cp048653.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB008000JWWQPおよび MB006000JWWQNドライブ

バージョン: HPD6 (B) (推奨)

ファイル名: cp048649.compsig; cp048649.exe; cp048649.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi - MB008000JWWQPおよびMB006000JWWQN ドライブ

バージョン: HPD6 (B) (推奨)

ファイル名: CP048426.compsig; CP048426.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB004000JWKGU ドライブ

バージョン: HPD2 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2c27a7a9a4-HPD2-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB006000JWKGN ドライブ

バージョン: HPD2 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a886842a99-HPD2-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a886842a99-HPD2-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB008000JWRD ドライブ

バージョン: HPD2 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8b26d1ef02-HPD2-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8b26d1ef02-HPD2-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO000960RWUEV、VO001920RWUFA、VO003840RWUFB、VO007680RWUFC、VO000960RWUFD、VO001920RWUFE およびVO003840RWUFFドライブ

バージョン: HPD6 (クリティカル)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8fafc9efb2-HPD6-1.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8fafc9efb2-HPD6-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- PMICビジーの問題の発生確率を低減しました。
- ドライブの電源投入時のシステムデータエラーを修正しました。
- PLP操作が開始されると、4KBのアラインされていないホスト書き込み領域に対する待機中のUnmap要求がキャンセルされ、PLPを正しく完了できるようになります。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG000300JWBHRドライブ

バージョン: HPD5 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2e4c61fc63-HPD5-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2e4c61fc63-HPD5-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG000300JWFVBドライブ

バージョン: HPD3 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c5cd837c29-HPD3-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c5cd837c29-HPD3-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG000300JWSJP、EG000600JWJNHおよびEG001200JWJNKドライブ

バージョン: HPD5 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-24fe569b72-HPD5-1.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-24fe569b72-HPD5-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- このファームウェアは、潜在的な信頼性の懸念を軽減します。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG000600JWFUVおよびEG001200JWFVAドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f0c91d2fe3-HPD4-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f0c91d2fe3-HPD4-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG000600JWJNPおよびEG001200JWJNQドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bdfb8e99d9-HPD4-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bdfb8e99d9-HPD4-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG001800JWFVCドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-693b9a2853-HPD4-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-693b9a2853-HPD4-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイトローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG001800JWJNLおよびEG002400JWJNNドライブ

バージョン: HPD5 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-852266afdf-HPD5-1.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-852266afdf-HPD5-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイトローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイトローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- このファームウェアは、潜在的な信頼性の懸念を軽減します。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG0300JEHLV、EG0600JEHMA、EG0900JEHMB、およびEG1200JEHMCドライブ

バージョン: HPD5 (I) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-31f91b8622-HPD5-9.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-31f91b8622-HPD5-9.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイトローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイトローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG0300JFCKA、EG0600JEMCV、EG0900JFCKB、およびEG1200JEMDAドライブ

バージョン: HPD6 (I) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ac3fda26eb-HPD6-9.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ac3fda26eb-HPD6-9.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイトローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイトローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG0600JETKA、EG0900JETKBおよびEG1200JETKCドライブ

バージョン: HPD8 (B) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7505dfb5ae-HPD8-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7505dfb5ae-HPD8-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG1800JEHMDドライブ

バージョン: HPD6 (I) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8a2c06af48-HPD6-9.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8a2c06af48-HPD6-9.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG1800JEMDBドライブ

バージョン: HPD5 (H) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0a38b25661-HPD5-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0a38b25661-HPD5-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG1800JFMMHドライブ

バージョン: HPD8 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7fc5497116-HPD8-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7fc5497116-HPD8-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EH0600JDYTNドライブ

バージョン: HPD7 (H) (クリティカル)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f3faa195ff-HPD7-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f3faa195ff-HPD7-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- 古くなったデータが誤ってキャッシュから使用されるというデータ整合性のリスクを修正します。
- アライメントされていない重複書き込み読み取り操作で古いデータが返されるデータ整合性に関するリスクが修正されます。
- 不完全なデータが読み取られる可能性がある、回復されたエラーが発生した場合の順次読み取りおよび書き込みワークロード中のデータ整合性リスクを修正します。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EO000400JWDKP、EO000800JWDKQ、EO001600JWDKR、MO000400JWDKU、MO000800JWDKV、MO001600JWDLA、およびMO003200JWDLBドライブ

バージョン: HPD2 (F) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-5dcf26fa42-HPD2-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-5dcf26fa42-HPD2-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantお

よびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB002000JWFVNおよびMB004000JWFVP ドライブ

バージョン: HPD4 (B) (**推奨**)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d7af557f47-HPD4-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d7af557f47-HPD4-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB004000JWFVKおよびMB006000JWFVLドライブ

バージョン: HPD4 (B) (**推奨**)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f6d00bd17e-HPD4-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f6d00bd17e-HPD4-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB008000JWJRPおよびMB006000JWJRPドライブ

バージョン: HPD9 (B) (**クリティカル**)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-faf39e0ff7-HPD9-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-faf39e0ff7-HPD9-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このファームウェアリリースは、コマンドタイムアウトに対する追加の保護を提供します。
- 詳しくは、HPE Customer Bulletin: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00117258en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB010000JWAYKおよびMB008000JWAYHドライブ

バージョン: HPD6 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6ec35faf90-HPD6-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6ec35faf90-HPD6-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB012000JWDFDドライブ

バージョン: HPD3 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-aaf1014ede-HPD3-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-aaf1014ede-HPD3-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB014000JWRTH、MB012000JWRTFおよびMB010000JWRTE ドライブ

バージョン: HPD2 (F) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-10385ef3e6-HPD2-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-10385ef3e6-HPD2-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブ

ヘオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB014000JWTFDおよびMB012000JWTFDドライブ

バージョン: HPD8 (B) (クリティカル)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-4ba9615f90-HPD8-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-4ba9615f90-HPD8-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このファームウェアリリースは、コマンドタイムアウトに対する追加の保護を提供します。
- 詳しくは、HPE Customer Bulletin: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00117258en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB014000JWUDBドライブ

バージョン: HPD3 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-cfd7436fcc-HPD3-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-cfd7436fcc-HPD3-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB016000JWXKHドライブ

バージョン: HPD9 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8a0371a425-HPD9-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8a0371a425-HPD9-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB016000JXLBAおよびMB018000JXLAUドライブ

バージョン: HPD2 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d550523365-HPD2-1.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d550523365-HPD2-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- VENDOR IDENTIFICATIONフィールドが "HP "から "HPE "に変更、および信頼性が向上しました。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB1000JVYZL、MB2000JVYZN、MB3000JVYZP、およびMB4000JVYZQドライブ

バージョン: HPD3 (F) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b85516c7d2-HPD3-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b85516c7d2-HPD3-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB2000JFDSLおよびMB4000JFDSNドライブ

バージョン: HPD4 (H) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-46fc43ab26-HPD4-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-46fc43ab26-HPD4-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB2000JFEMLおよびMB4000JFEMNドライブ

バージョン: HPD6 (H) **(クリティカル)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-624b75c7e2-HPD6-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-624b75c7e2-HPD6-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違って開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。これらの問題は、サプライヤーの継続的な信頼性テスト中で検出されました。
- ファームウェアは、緊急の電源オフの改善も含まれます。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB2000JFEP AおよびMB4000JFEP Bドライブ

バージョン: HPD5 (H) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-326de7c0f2-HPD5-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-326de7c0f2-HPD5-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB4000JEFNCおよびMB6000JEFNDドライブ

イブ

バージョン: HPD9 (H) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-af802bb412-HPD9-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-af802bb412-HPD9-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB4000JEQNLおよびMB6000JEQNNドライブ

バージョン: HPDB (H) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2cfaac41db-HPDB-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2cfaac41db-HPDB-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB4000JEXYAおよびMB6000JEXYBドライブ

バージョン: HPD9 (F) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0f923833e9-HPD9-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0f923833e9-HPD9-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB6000JEQUVおよびMB8000JEQVAドライブ

バージョン: HPDB (H) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-df22f7effd-HPDB-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-df22f7effd-HPDB-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB6000JVYYVドライブ

バージョン: HPD2 (H) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0595c2a887-HPD2-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0595c2a887-HPD2-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB6000JVYZDおよびMB4000JVYZCドライブ

バージョン: HPD4 (F) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-e800e8d3b9-HPD4-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-e800e8d3b9-HPD4-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB8000JFECQドライブ

バージョン: HPD7 (G) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-252770cdda-HPD7-7.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-252770cdda-HPD7-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MM1000JEFRBおよびMM2000JEFRCドライブ

バージョン: HPD9 (B) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b04257b77b-HPD9-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b04257b77b-HPD9-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MM1000JFJTHおよびMM002000JWCNFドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-fa46c607d6-HPD4-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-fa46c607d6-HPD4-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MO000400JWUFT、MO000800JWUFU、MO001600JWUFV、MO003200JWUGA、MO006400JWUGB、EO000400JWUGC、EO000800JWUGD、およびEO001600JWUGEドライブ

バージョン: HPD3 (C) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ef93133161-HPD3-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ef93133161-HPD3-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MO0200JEFNV、MO0400JEFPA、MO0800JEFPB、MO1600JEFPC、EO0200JEPD、EO0400JEFPE、およびEO0800JEPFドライブ

バージョン: HPD3 (H) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-71af849f3b-HPD3-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-71af849f3b-HPD3-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MO0400JFFCF、MO0800JFFCH、MO1600JFFCK、およびMO3200JFFCLドライブ

バージョン: HPD9 (D) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-edf6dcd906-HPD9-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-edf6dcd906-HPD9-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK0400JEABD、VK0800JEABEおよびVO1600JEABFドライブ

バージョン: HPD4 (B) (クリティカル)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8a7ecf7465-HPD4-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8a7ecf7465-HPD4-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- 電源オン時間が70,000hrsを超えた場合、PM2Rは次の電源サイクルの後にハードウェアエラー(04/4C/A8)を報告し、Read/Writeコマンドを受け付けません。この修正により、ワークロードログの読み取り処理の最大登録数が70,000に達したときに、ストレージの場所の報告がアップデートされます。最後に登録された70,000番目のストレージの場所が、次の(70,001番目の)ストレージの場所として読み取られるように修正されます。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザーリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00111296en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO000800JWZJP、VO001600JWZJQ、VO003200JWZJRおよびVO006400JWZJTドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a07a420ed1-HPD4-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a07a420ed1-HPD4-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO007680JWCNKおよびVO0015300JWCNLドライブ

バージョン: HPD8 (D) **(クリティカル)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-4c048aaeb0-HPD8-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-4c048aaeb0-HPD8-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPD8より前のHPEファームウェアバージョンのSSDに影響し、SSD障害が発生した後、32,768時間(つまり、3年、270日8時間)でSSDが故障し、SSDもデータも回復できません。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00092491en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO0480JFDGT、VO0960JFDGU、VO1920JFDGV、およびVO3840JFDHAドライブ

バージョン: HPD9 (D) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8ed8893abd-HPD9-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8ed8893abd-HPD9-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO1920JEUQQドライブ

バージョン: HPD3 (H) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-5d9e841607-HPD3-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-5d9e841607-HPD3-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64)- EG0300FCSPH、EG0450FCSPK、EG0600FCSPH、およびEG0900FCSPNドライブ

バージョン: HPD2 (H) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7c1a1734f9-HPD2-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7c1a1734f9-HPD2-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantお

よびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) -VK000960JWSSQ、 VK001920JWSSR、 VK003840JWSST、 VK007680JWSSUおよびVO015300JWSSVドライブ

バージョン: HPD8 (E) (クリティカル)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1e51a57347-HPD8-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1e51a57347-HPD8-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPD8より前のHPEファームウェアバージョンのSSDに影響し、SSD障害が発生した後、32,768時間(つまり、3年、270日8時間)でSSDが故障し、SSDもデータも回復できません。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00092491en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64)- VO000480JWDAR、 VO000960JWDAT、 VO001920JWDAUおよびVO003840JWDAVドライブ

バージョン: HPD8 (D) (クリティカル)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2eb810cdd7-HPD8-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2eb810cdd7-HPD8-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPD8より前のHPEファームウェアバージョンのSSDに影響し、SSD障害が発生した後、32,768時間(つまり、3年、270日8時間)でSSDが故障し、SSDもデータも回復できません。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00092491en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64) - EH000300JWCPK、EH000600JWCPLおよびEH000900JWCPNドライブ

バージョン: HPD7 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3d97759111-HPD7-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3d97759111-HPD7-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64) - EH000600JWCPFおよびEH000900JWCPHドライブ

バージョン: HPD9 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a05f29cef3-HPD9-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a05f29cef3-HPD9-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64) - EH000900JWHPKおよびEH000600JWHPHドライブ

バージョン: HPD7 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c7df7ceedb-HPD7-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c7df7ceedb-HPD7-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。
-

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64) - EH000900JWHPP、EH000600JWHPNおよびEH000300JWHPLドライブ

バージョン: HPD7 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8d68452816-HPD7-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8d68452816-HPD7-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64) - EH0300JDXBA、EH0450JDXBBおよびEH0600JDXBCドライブ

バージョン: HPD5 (H) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1cbab97ff0-HPD5-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1cbab97ff0-HPD5-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64) - EH0300JDYTH、EH0450JDYTKおよびEH0600JDYTLドライブ

バージョン: HPD6 (I) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b9340d29be-HPD6-9.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b9340d29be-HPD6-9.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。
-

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64) - EH0300JEDHC、EH0450JEDHDおよびEH0600JEDHEドライブ

バージョン: HPD4 (I) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8c4a212ff9-HPD4-9.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8c4a212ff9-HPD4-9.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64) - MB010000JWZHA、MB012000JWZHB、MB014000JWZHC、およびMB016000JWZHEドライブ

バージョン: HPD2 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-cf0b6cabe1-HPD2-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-cf0b6cabe1-HPD2-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64)- MO000800JXBEV、MO001600JXBFP、MO003200JXBFQ、MO006400JXBFR、MO000960JXBFA、MO001920JXBFT、MO003840JXBFU、MO007680JXBGA、MO015360JXBFV、EO000400JXBEU、EO000800JXBFLおよびEO001600JXBFNドライブ

バージョン: HPD1 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-24384980ec-HPD1-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-24384980ec-HPD1-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64)- VO000960JWZJF、VO001920JWZJH、VO003840JWZJK、VO007680JWZJLおよびVO015360JWZJNドライブ

バージョン: HPD4 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-35fd24601f-HPD4-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-35fd24601f-HPD4-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64)-MO000400JWFVN、MO000800JWFVP、MO001600JWFVQ、MO003200JWFVR、MO000960JWFVT、MO001920JWFVUおよびMO003840JWFVWドライブ

バージョン: HPD5 (E) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b8a60fbe9a-HPD5-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b8a60fbe9a-HPD5-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG000300JWBHRドライブ

バージョン: HPD5 (B) (推奨)

ファイル名: CP048248.compsig; CP048248.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました
-

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG000300JWFVBドライブ

バージョン: HPD3 (B) (推奨)

ファイル名: CP048245.compsig; CP048245.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG000300JWSJP、EG000600JWJNH およびEG001200JWJNKドライブ

バージョン: HPD5 (推奨)

ファイル名: CP050179.compsig; CP050179.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- このファームウェアは、潜在的な信頼性の懸念を軽減します。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG001800JWFVC ライブ

バージョン: HPD4 (B) (推奨)

ファイル名: CP048253.compsig; CP048253.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG0300JFCKA、EG0600JEMCV、EG0900JFCKB、およびEG1200JEMDAドライブ

バージョン: HPD6 (I) (推奨)

ファイル名: CP048263.compsig; CP048263.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG0600JETKA、EG0900JETKB、およびEG1200JETKCドライブ

バージョン: HPD8 (B) **(推奨)**

ファイル名: CP048264.compsig; CP048264.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG1800JEHMDドライブ

バージョン: HPD6 (J) **(推奨)**

ファイル名: CP048265.compsig; CP048265.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG1800JEMDBドライブ

バージョン: HPD5 (I) **(推奨)**

ファイル名: CP048266.compsig; CP048266.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブ

へオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG1800JFHMHドライブ

バージョン: HPD8 (B) (推奨)

ファイル名: CP048270.compsig; CP048270.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EH000900JWHPP、EH000600JWHPNおよびEH000300JWHPLドライブ

バージョン: HPD7 (B) (推奨)

ファイル名: CP049136.compsig; CP049136.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EH0300JDXBA、EH0450JDXBB、およびEH0600JDXBCドライブ

バージョン: HPD5 (I) (推奨)

ファイル名: CP048291.compsig; CP048291.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EH0300JEDHC、EH0450JEDHD、およびEH0600JEDHEドライブ

バージョン: HPD4 (J) (**推奨**)

ファイル名: CP048293.compsig; CP048293.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EH0600JDYTNドライブ

バージョン: HPD7 (H) (**クリティカル**)

ファイル名: CP048294.compsig; CP048294.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- 古くなったデータが誤ってキャッシュから使用されるというデータ整合性のリスクを修正します。
- アライメントされていない重複書き込み読み取り操作で古いデータが返されるデータ整合性に関するリスクが修正されます。
- 不完全なデータが読み取られる可能性がある、回復されたエラーが発生した場合の順次読み取りおよび書き込みワークロード中のデータ整合性リスクを修正します。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EK0800JVYPN、EO1600JVYPP、MK0800JVYPQ、およびMO1600JVYPRドライブ

バージョン: HPD7 (D) (**クリティカル**)

ファイル名: CP048429.compsig; CP048429.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPD7以前のHPEファームウェアバージョンを使用しているSSDに影響を与え、40,000時間(つまり、4年、205日16時間)の動作でSSDの障害が発生すると、SSDの障害が発生した後、SSDもデータも回復できなくなります。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00097382en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB004000JWKGUドライブ

バージョン: HPD2 (B) (推奨)

ファイル名: CP048321.compsig; CP048321.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB004000JWWQB、MB002000JWWQA、およびMB001000JWWPVドライブ

バージョン: HPD6 (B) (推奨)

ファイル名: CP048431.compsig; CP048431.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB006000JWKGUドライブ

バージョン: HPD2 (B) (推奨)

ファイル名: CP048330.compsig; CP048330.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB008000JWJRQおよびMB006000JWJRP ドライブ

バージョン: HPD9 (B) (クリティカル)

ファイル名: CP049132.compsig; CP049132.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このファームウェアリリースは、コマンドタイムアウトに対する追加の保護を提供します。
- 詳しくは、HPE Customer Bulletin: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00117258en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB008000JWRTD ドライブ

バージョン: HPD2 (B) (推奨)

ファイル名: CP048332.compsig; CP048332.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB01000JWAYKおよびMB008000JWAYHドライブ

バージョン: HPD6 (B) (推奨)

ファイル名: CP048334.compsig; CP048334.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB01000JWZHA、MB012000JWZHB、MB014000JWZHC、およびMB016000JWZHEドライブ

バージョン: HPD2 (B) (推奨)

ファイル名: CP049051.compsig; CP049051.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB012000JWDFDドライブ

バージョン: HPD3 (B) (推奨)

ファイル名: CP048404.compsig; CP048404.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました
-

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB014000JWTFDおよびMB012000JWTFCドライブ

バージョン: HPD8 (B) (クリティカル)

ファイル名: CP049120.compsig; CP049120.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このファームウェアリリースは、コマンドタイムアウトに対する追加の保護を提供します。
- 詳しくは、HPE Customer Bulletin: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00117258en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB014000JWUDB ドライブ

バージョン: HPD3 (B) (推奨)

ファイル名: CP048341.compsig; CP048341.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB016000JWXKHドライブ

バージョン: HPD9 (B) (推奨)

ファイル名: CP049124.compsig; CP049124.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB016000JXLBAおよびMB018000JXLAUドライブ

バージョン: HPD2 (推奨)

ファイル名: CP049256.compsig; CP049256.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- VENDOR IDENTIFICATIONフィールドが "HP "から "HPE "に変更、および信頼性が向上しました。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB1000JVYZL、MB2000JVYZN、MB3000JVYZP、およびMB4000JVYZQドライブ

バージョン: HPD3 (F) (推奨)

ファイル名: CP048344.compsig; CP048344.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB2000JFDSLおよびMB4000JFDSNドライブ

バージョン: HPD4 (I) (推奨)

ファイル名: CP048347.compsig; CP048347.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB4000JEXYAおよびMB6000JEXYBドライブ

バージョン: HPD9 (F) (**推奨**)

ファイル名: CP048369.compsig; CP048369.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB6000JVYYVドライブ

バージョン: HPD2 (I) (**推奨**)

ファイル名: CP048379.compsig; CP048379.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB6000JVYZDおよびMB4000JVYZCドライブ

バージョン: HPD4 (G) (**推奨**)

ファイル名: CP048380.compsig; CP048380.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB8000JFECQドライブ

バージョン: HPD7 (H) (推奨)

ファイル名: CP048382.compsig; CP048382.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MM1000JEFRBおよびMM2000JEFRCドライブ

バージョン: HPD9 (B) (推奨)

ファイル名: CP048391.compsig; CP048391.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MM1000JFJTHおよびMM002000JWCNFドライブ

バージョン: HPD4 (B) (推奨)

ファイル名: CP048392.compsig; CP048392.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました
-

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MO000400JWFVN、MO000800JWFVP、MO001600JWFVQ、MO003200JWFVR、MO000960JWFVT、MO001920JWFVU、およびMO003840JWFVVドライブ

バージョン: HPD5 (F) (推奨)

ファイル名: CP048393.compsig; CP048393.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MO000400JWUFT、MO000800JWUFU、MO001600JWUFV、MO003200JWUGA、MO006400JWUGB、EO000400JWUGC、EO000800JWUGD、およびEO001600JWUGEドライブ

バージョン: HPD3 (C) (推奨)

ファイル名: CP048397.compsig; CP048397.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MO000800JXBEV、MO001600JXBFP、MO003200JXBFBQ、MO006400JXBFR、MO000960JXBFA、MO001920JXBFT、MO003840JXBFU、MO007680JXBGA、MO015360JXBFBV、EO000400JXBEU、EO000800JXBFLおよびEO001600JXBFNドライブ

バージョン: HPD1 (B) (推奨)

ファイル名: CP049157.compsig; CP049157.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MO0400JFFCF、MO0800JFFCH、MO1600JFFCK、およびMO3200JFFCLドライブ

バージョン: HPD9 (D) (推奨)

ファイル名: CP048439.compsig; CP048439.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK0400JEABD、VK0800JEABE、およびVO1600JEABFドライブ

バージョン: HPD4 (B) (クリティカル)

ファイル名: CP049410.compsig; CP049410.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- 電源オン時間が70,000hrsを超えた場合、PM2Rは次の電源サイクルの後にハードウェアエラー(04/4C/A8)を報告し、Read/Writeコマンドを受け付けません。この修正により、ワークロードログの読み取り処理の最大登録数が70,000に達したときに、ストレージの場所の報告がアップデートされます。最後に登録された70,000番目のストレージの場所が、次の(70,001番目の)ストレージの場所として読み取られるように修正されます。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00111296en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO000480JWDAR、VO000960JWDAT、VO001920JWDAUおよびVO003840JWDAVドライブ

バージョン: HPD8 (G) (クリティカル)

ファイル名: CP048445.compsig; CP048445.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPD8より前のHPEファームウェアバージョンのSSDに影響し、SSD障害が発生した後、32,768時間(つまり、3年、270日8時間)でSSDが故障し、SSDもデータも回復できません。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00092491en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO000800JWZJP、VO001600JWZJQ、VO003200JWZJRおよびVO006400JWZJTドライブ

バージョン: HPD4 (B) (**推奨**)

ファイル名: CP048454.compsig; CP048454.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO000960JWZJF、VO001920JWZJH、VO003840JWZJK、VO007680JWZJLおよびVO015360JWZJNドライブ

バージョン: HPD4 (B) (**推奨**)

ファイル名: CP048455.compsig; CP048455.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO0480JFDGT、VO0960JFDGU、VO1920JFDGV、およびVO3840JFDHAドライブ

バージョン: HPD9 (D) (**推奨**)

ファイル名: CP048437.compsig; CP048437.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO1920JEUQQドライブ

バージョン: HPD3 (I) **(推奨)**

ファイル名: CP048419.compsig; CP048419.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG000600JWFUVおよびEG001200JWFVAドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**

ファイル名: cp048452.compsig; cp048452.exe; cp048452.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EH000300JWCPK、EH000600JWCPL、およびEH000900JWCPNドライブ

バージョン: HPD7 (B) **(推奨)**

ファイル名: cp048510.compsig; cp048510.exe; cp048510.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB004000JWKGUドライブ

バージョン: HPD2 (B) (推奨)

ファイル名: cp048666.compsig; cp048666.exe; cp048666.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB006000JWKGN ドライブ

バージョン: HPD2 (B) (推奨)

ファイル名: cp048677.compsig; cp048677.exe; cp048677.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB008000JWRD Dドライブ

バージョン: HPD2 (B) (推奨)

ファイル名: cp048670.compsig; cp048670.exe; cp048670.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB012000JWDFDドライブ

バージョン: HPD3 (B) (推奨)

ファイル名: cp048634.compsig; cp048634.exe; cp048634.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB016000JWXKHドライブ

バージョン: HPD9 (B) (推奨)

ファイル名: cp049126.compsig; cp049126.exe; cp049126.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB6000JVYYVドライブ

バージョン: HPD2 (G) (推奨)

ファイル名: cp048615.compsig; cp048615.exe; cp048615.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB8000JFECQドライブ

バージョン: HPD7 (F) (推奨)

ファイル名: cp048619.compsig; cp048619.exe; cp048619.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG000300JWBHRドライブ

バージョン: HPD5 (B) (推奨)

ファイル名: cp048436.compsig; cp048436.exe; cp048436.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG000300JWFVB ドライブ

バージョン: HPD3 (B) (推奨)

ファイル名: cp048433.compsig; cp048433.exe; cp048433.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG000300JWSJP、EG000600JWJNHおよびEG001200JWJNKドライブ

バージョン: HPD5 (推奨)

ファイル名: cp050181.compsig; cp050181.exe; cp050181.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへ

オフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- このファームウェアは、潜在的な信頼性の懸念を軽減します。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG000600JWJNPおよびEG001200JWJNQドライブ

バージョン: HPD4 (B) (推奨)

ファイル名: cp048457.compsig; cp048457.exe; cp048457.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG001800JWFVCドライブ

バージョン: HPD4 (B) (推奨)

ファイル名: cp048459.compsig; cp048459.exe; cp048459.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG001800JWJNLおよびEG002400JWJNNドライブ

バージョン: HPD5 (推奨)

ファイル名: cp050186.compsig; cp050186.exe; cp050186.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- このファームウェアは、潜在的な信頼性の懸念を軽減します。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG001800JWJNRおよびEG002400JWJNTドライブ

バージョン: HPD6 (B) (推奨)

ファイル名: cp048242.compsig; cp048242.exe; cp048242.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG0300JEHLV、EG0600JEHMA、EG0900JEHMB、およびEG1200JEHMCドライブ

バージョン: HPD5 (H) (推奨)

ファイル名: cp048482.compsig; cp048482.exe; cp048482.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG0300JFCKA、EG0600JEMCV、EG0900JFCKB、およびEG1200JEMDAドライブ

バージョン: HPD6 (G) (推奨)

ファイル名: cp048483.compsig; cp048483.exe; cp048483.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。
-

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG0600JETKA、EG0900JETKB、およびEG1200JETKCドライブ

バージョン: HPD8 (B) (推奨)

ファイル名: cp048485.compsig; cp048485.exe; cp048485.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG1800JEHMDドライブ

バージョン: HPD6 (H) (推奨)

ファイル名: cp048507.compsig; cp048507.exe; cp048507.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG1800JEMDBドライブ

バージョン: HPD5 (G) (推奨)

ファイル名: cp048508.compsig; cp048508.exe; cp048508.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG1800JFHMHドライブ

バージョン: HPD8 (B) (推奨)

ファイル名: cp048509.compsig; cp048509.exe; cp048509.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EH000600JWCPFおよびEH000900JWCPHドライブ

バージョン: HPD9 (B) **(推奨)**

ファイル名: cp048516.compsig; cp048516.exe; cp048516.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EH000900JWHPKおよびEH000600JWHPHドライブ

バージョン: HPD7 (B) **(推奨)**

ファイル名: cp049134.compsig; cp049134.exe; cp049134.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EH0300JDYTH、EH0450JDYTK、およびEH0600JDYTLドライブ

バージョン: HPD6 (H) **(推奨)**

ファイル名: cp048515.compsig; cp048515.exe; cp048515.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EH0600JDYTNドライブ

バージョン: HPD7 (F) (クリティカル)

ファイル名: cp048553.compsig; cp048553.exe; cp048553.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- 古くなったデータが誤ってキャッシュから使用されるというデータ整合性のリスクを修正します。
- アライメントされていない重複書き込み読み取り操作で古いデータが返されるデータ整合性に関するリスクが修正されます。
- 不完全なデータが読み取られる可能性がある、回復されたエラーが発生した場合の順次読み取りおよび書き込みワークロード中のデータ整合性リスクを修正します。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - E0000400JWDKP、E0000800JWDKQ、E0001600JWDKR、MO000400JWDKU、MO000800JWDKV、MO001600JWDLA、およびMO003200JWDLBドライブ

バージョン: HPD2 (E) (推奨)

ファイル名: cp048555.compsig; cp048555.exe; cp048555.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB002000JWFVNおよびMB004000JWFVPドライブ

バージョン: HPD4 (B) (推奨)

ファイル名: cp048560.compsig; cp048560.exe; cp048560.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB004000JWFVKおよびMB006000JWFVLドライブ

バージョン: HPD4 (B) (推奨)

ファイル名: cp048562.compsig; cp048562.exe; cp048562.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB008000JWJRQおよびMB006000JWJRPドライブ

バージョン: HPD9 (B) (クリティカル)

ファイル名: cp049130.compsig; cp049130.exe; cp049130.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このファームウェアリリースは、コマンドタイムアウトに対する追加の保護を提供します。
- 詳しくは、HPE Customer Bulletin: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00117258en_usを参照してください。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB010000JWAYKおよびMB008000JWAYHドライブ

バージョン: HPD6 (B) (推奨)

ファイル名: cp048672.compsig; cp048672.exe; cp048672.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB014000JWRTH、MB012000JWRTFおよびMB010000JWRTE ドライブ

バージョン: HPD2 (E) **(推奨)**

ファイル名: cp048547.compsig; cp048547.exe; cp048547.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB014000JWTFDおよびMB012000JWTFCドライブ

バージョン: HPD8 (B) **(クリティカル)**

ファイル名: cp049123.compsig; cp049123.exe; cp049123.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたHP Smartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このファームウェアリリースは、コマンドタイムアウトに対する追加の保護を提供します。
- 詳しくは、HPE Customer Bulletin: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00117258en_usを参照してください。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB014000JUWDB ドライブ

バージョン: HPD3 (B) (推奨)

ファイル名: cp048563.compsig; cp048563.exe; cp048563.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB016000JXLBAおよびMB018000JXLAUドライブ

バージョン: HPD2 (推奨)

ファイル名: cp049254.compsig; cp049254.exe; cp049254.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- VENDOR IDENTIFICATIONフィールドが "HP "から "HPE "に変更、および信頼性が向上しました。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB1000JVYZL、MB2000JVYZN、MB3000JVYZP、およびMB4000JVYZQドライブ

バージョン: HPD3 (E) (推奨)

ファイル名: cp048569.compsig; cp048569.exe; cp048569.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB2000JFDSLおよびMB4000JFDSNドライブ

バージョン: HPD4 (G) (推奨)

ファイル名: cp048589.compsig; cp048589.exe; cp048589.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB2000JFEMLおよびMB4000JFEMN ドライブ

バージョン: HPD6 (G) **(クリティカル)**

ファイル名: cp048590.compsig; cp048590.exe; cp048590.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違って開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。これらの問題は、サプライヤーの継続的な信頼性テスト中で検出されました。
- ファームウェアは、緊急の電源オフの改善も含まれます。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB2000JFEP AおよびMB4000JFEP B ドライブ

バージョン: HPD5 (G) **(推奨)**

ファイル名: cp048591.compsig; cp048591.exe; cp048591.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB4000JEFNCおよびMB6000JEFND ドライブ

バージョン: HPD9 (G) (推奨)

ファイル名: cp048607.compsig; cp048607.exe; cp048607.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB4000JEQNLおよびMB6000JEQNN ドライブ

バージョン: HPDB (G) (推奨)

ファイル名: cp048608.compsig; cp048608.exe; cp048608.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB4000JEXYAおよびMB6000JEXYB ドライブ

バージョン: HPD9 (E) (推奨)

ファイル名: cp048609.compsig; cp048609.exe; cp048609.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB6000JEQUV および MB8000JEQVAドライブ

バージョン: HPDB (G) (推奨)

ファイル名: cp048614.compsig; cp048614.exe; cp048614.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB6000JVYZDおよびMB4000JVYZC ドライブ

バージョン: HPD4 (E) **(推奨)**

ファイル名: cp048617.compsig; cp048617.exe; cp048617.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MM1000JEFRBおよびMM2000JEFRC ドライブ

バージョン: HPD9 (B) **(推奨)**

ファイル名: cp048625.compsig; cp048625.exe; cp048625.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MM1000JFJTHおよび MM002000JWCNFドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**

ファイル名: cp048626.compsig; cp048626.exe; cp048626.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MO000400JWUFT、MO000800JWUFU、MO001600JWUFV、MO003200JWUGA、MO006400JWUGB、EO000400JWUGC、EO000800JWUGD、およびEO001600JWUGEドライブ

バージョン: HPD3 (C) **(推奨)**

ファイル名: cp048628.compsig; cp048628.exe; cp048628.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MO0200JEFNV、MO0400JEFPA、MO0800JEFPB、MO1600JEFPC、EO0200JEFPD、EO0400JEFPE、およびEO0800JEFPFドライブ

バージョン: HPD3 (G) **(推奨)**

ファイル名: cp048630.compsig; cp048630.exe; cp048630.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MO0400JFFCF、MO0800JFFCH、MO1600JFFCK、およびMO3200JFFCLドライブ

バージョン: HPD9 (D) **(推奨)**

ファイル名: cp048661.compsig; cp048661.exe; cp048661.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO007680JWCNKおよびVO015300JWCNLドライブ

バージョン: HPD8 (D) (クリティカル)

ファイル名: cp048644.compsig; cp048644.exe; cp048644.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPD8より前のHPEファームウェアバージョンのSSDに影響し、SSD障害が発生した後、32,768時間(つまり、3年、270日8時間)でSSDが故障し、SSDもデータも回復できません。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00092491en_usを参照してください。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO0480JFDGT、VO0960JFDGU、VO1920JFDGV、およびVO3840JFDHAドライブ

バージョン: HPD9 (D) (推奨)

ファイル名: cp048660.compsig; cp048660.exe; cp048660.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO1920JEUQQドライブ

バージョン: HPD3 (G) (推奨)

ファイル名: cp048645.compsig; cp048645.exe; cp048645.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) -VK000960JWSSQ、VK001920JWSSR、VK003840JWSST、VK007680JWSSUおよびVO015300JWSSVドライブ

バージョン: HPD8 (D) (クリティカル)

ファイル名: cp048665.compsig; cp048665.exe; cp048665.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPD8より前のHPEファームウェアバージョンのSSDに影響し、SSD障害が発生した後、32,768時間(つまり、3年、270日8時間)でSSDが故障し、SSDもデータも回復できません。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00092491en_usを参照してください。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO000960RWUEV、VO001920RWUFA、VO003840RWUFB、VO007680RWUFC、VO000960RWUFD、VO001920RWUFEおよびVO003840RWUFFドライブ

バージョン: HPD6 (クリティカル)

ファイル名: cp049365.compsig; cp049365.exe; cp049365.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- PMICビジーの問題の発生確率を低減しました。
- ドライブの電源投入時のシステムデータエラーを修正しました。
- PLP操作が開始されると、4KBのアラインされていないホスト書き込み領域に対する待機中のUnmap要求がキャンセルされ、PLPを正しく完了できるようになります。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EH000900JWHPP、EH000600JWHPNおよびEH000300JWHPLドライブ

バージョン: HPD7 (B) (推奨)

ファイル名: cp049138.compsig; cp049138.exe; cp049138.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - MB01000JWZHA、MB012000JWZHB、MB014000JWZHC、およびMB016000JWZHEドライブ

バージョン: HPD2 (B) **(推奨)**

ファイル名: cp049052.compsig; cp049052.exe; cp049052.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - VO000800JWZJP、VO001600JWZJQ、VO003200JWZJRおよびVO006400JWZJTドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**

ファイル名: cp048468.compsig; cp048468.exe; cp048468.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- MO000400JWFWN、MO000800JWFWP、MO001600JWFWQ、MO003200JWFWR、MO000960JWFWT、MO001920JWFWU、およびMO003840JWFWVドライブ

バージョン: HPD5 (E) **(推奨)**

ファイル名: cp048627.compsig; cp048627.exe; cp048627.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- EG0300FCSPH、EG0450FCSPK、EG0600FCSPK、およびEG0900FCSPNドライブ

バージョン: HPD2 (G) **(推奨)**

ファイル名: cp048481.compsig; cp048481.exe; cp048481.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- EH0300JDXBA、EH0450JDXBB、およびEH0600JDXBCドライブ

バージョン: HPD5 (G) **(推奨)**

ファイル名: cp048517.compsig; cp048517.exe; cp048517.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- EH0300JEDHC、EH0450JEDHD、およびEH0600JEDHEドライブ

バージョン: HPD4 (I) **(推奨)**

ファイル名: cp048520.compsig; cp048520.exe; cp048520.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- MO000800JXBEB、MO001600JXBFP、MO003200JXBFQ、MO006400JXBFR、MO000960JXBFA、MO001920JXBFT、MO003840JXBFU、MO007680JXBGA、MO015360JXBFB、EO000400JXBEU、EO000800JXBFLおよびEO001600JXBFNドライブ

バージョン: HPD1 (B) (推奨)

ファイル名: cp049152.compsig; cp049152.exe; cp049152.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- VK0400JEABD、VK0800JEABE、およびVO1600JEABFドライブ

バージョン: HPD4 (B) (クリティカル)

ファイル名: cp049412.compsig; cp049412.exe; cp049412.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- 電源オン時間が70,000hrsを超えた場合、PM2Rは次の電源サイクルの後にハードウェアエラー(04/4C/A8)を報告し、Read/Writeコマンドを受け付けません。この修正により、ワークロードログの読み取り処理の最大登録数が70,000に達したときに、ストレージの場所の報告がアップデートされます。最後に登録された70,000番目のストレージの場所が、次の(70,001番目の)ストレージの場所として読み取られるように修正されます。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザーリ: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00111296en_usを参照してください。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- VO000960JWZJF、VO001920JWZJH、VO003840JWZJK、VO007680JWZJLおよびVO015360JWZJNドライブ

バージョン: HPD4 (B) (推奨)

ファイル名: cp048466.compsig; cp048466.exe; cp048466.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

ファームウェア - SATAストレージディスク

[先頭](#)

オンラインHDD/SDDフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MM1000GFJTEドライブ

バージョン: HPG5 (F) (オプション)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-95af9a555e-HPG5-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-95af9a555e-HPG5-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SDDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB1000GVYZE、MB2000GVYZF、MB3000GVYZH、およびMB4000GVYZKドライブ

バージョン: HPG4 (I) (推奨)

ファイル名: CP048343.compsig; CP048343.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB004000GWWQH、MB002000GWWQF、およびMB001000GWWQEドライブ

バージョン: HPG3 (C) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-12304c1aca-HPG3-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-12304c1aca-HPG3-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - VK000480GZCNE、VK000960GZCNF、VK001920GZCNHおよびVK003840GZCNKドライブ

バージョン: HPG2 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-befd42bd64-HPG2-1.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-befd42bd64-HPG2-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- 新しい温度センサーで新しいPCB H/Wをサポートします。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Linux(x64)- MK000480GWXFF、MK000960GWXFFH、MK001920GWXFFKおよびMK003840GWXFFLドライブ

バージョン: HPG2 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8e1e8083c5-HPG2-1.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8e1e8083c5-HPG2-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

このFWリリースは、ドライブのフォアグラウンドメディアスキャンをアクティブ化するのに十分なアイドル時間がホストシステムから提供されない場合の問題に対処する、拡張メディアスキャンアルゴリズムを展開します。これは、ドライブの長期的な信頼性を確保するために必要です。また、いくつかの軽微な問題にも対処します。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB004000GWWQH、MB002000GWWQF、およびMB001000GWWQEドライブ

バージョン: HPG3 (C) (推奨)

ファイル名: CP048430.compsig; CP048430.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MK003840GWHITEドライブ

バージョン: HPG8 (B) **(推奨)**

ファイル名: CP048383.compsig; CP048383.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MK0960GECQKドライブ

バージョン: HPG3 (L) **(クリティカル)**

ファイル名: CP048387.compsig; CP048387.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- ファームウェアは、非整列シーケンシャル書き込み操作に関連する断続的なデータの破損問題を修正します。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MM1000GFJTEドライブ

バージョン: HPG5 (F) **(オプション)**

ファイル名: CP048389.compsig; CP048389.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - VK000480GZCNE、VK000960GZCNF、VK001920GZCNHおよびVK003840GZCNKドライブ

バージョン: HPG2 (推奨)

ファイル名: CP050579.compsig; CP050579.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- 新しい温度センサーで新しいPCB H/Wをサポートします。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - XP0120GFJSLおよびXP0240GFJSNドライブ

バージョン: HPS4 (J) (推奨)

ファイル名: CP048423.compsig; CP048423.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB004000GWWQH、MB002000GWWQF、およびMB001000GWWQEドライブ

バージョン: HPG3 (C) (推奨)

ファイル名: cp048652.compsig; cp048652.exe; cp048652.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - VK000480GZCNE、VK000960GZCNF、VK001920GZCNHおよびVK003840GZCNKドライブ

バージョン: HPG2 (推奨)

ファイル名: cp050580.compsig; cp050580.exe; cp050580.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- 新しい温度センサーで新しいPCB H/Wをサポートします。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Windows(x64)- MK000480GWXFF、MK000960GWXFH、MK001920GWXFKおよびMK003840GWXFLドライブ

バージョン: HPG2 (推奨)

ファイル名: cp049300.compsig; cp049300.exe; cp049300.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

このFWリリースは、ドライブのフォアグラウンドメディアスキャンをアクティブ化するのに十分なアイドル時間がホストシステムから提供されない場合の問題に対処する、拡張メディアスキャンアルゴリズムを展開します。これは、ドライブの長期的な信頼性を確保するために必要です。また、いくつかの軽微な問題にも対処します。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi - MB001000GWCBCおよびMB002000GWCBDドライブ

バージョン: HPG6 (F) (推奨)

ファイル名: CP048300.compsig; CP048300.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantお

よびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi - MB001000GFWFKおよびMB002000GFWFLドライブ

バージョン: HPG6 (F) (推奨)

ファイル名: CP048302.compsig; CP048302.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi - MB001000GWJAN、MB002000GFWFAおよびMB004000GFWFBドライブ

バージョン: HPG1 (F) (推奨)

ファイル名: CP048313.compsig; CP048313.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi - MB008000GWWQUおよびMB006000GWWQTドライブ

バージョン: HPG2 (D) (推奨)

ファイル名: CP048425.compsig; CP048425.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi - MB014000GWRTN、MB012000GWRTLおよびMB010000GWRTKドライブ

バージョン: HPG2 (F) (**推奨**)

ファイル名: CP048337.compsig; CP048337.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi - MB1000GDUNU、MB2000GDUNV、MB3000GDUPA、およびMB4000GDUPBドライブ

バージョン: HPG4 (K) (**推奨**)

ファイル名: CP048342.compsig; CP048342.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi - MB4000GEFNAおよびMB6000GEFNBドライブ

バージョン: HPG6 (I) (**推奨**)

ファイル名: CP048365.compsig; CP048365.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi - VK000240GWJPD、VK000480GWJPE、VK000960GWJPF、VK001920GWJPH、VK003840GWJPK、MK000240GWKVK、MK000480GWJPN、MK000960GWJPPおよびMK001920GWJPPQドライブ

バージョン: HPG5 (F) (クリティカル)

ファイル名: CP048444.compsig; CP048444.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- まれなリンク損失の問題を修正し、ドライブの信頼性を向上させます。
- ドライブにHPG5ファームウェアがダウンロードされると、新しいHPG5ファームウェアがそのドライブでアクティブになります。
- ドライブの次の電源再投入後に、新しいドライブブートローダーコードがアクティブ化されます。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00072768en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB004000GWKGV ドライブ

バージョン: HPG1 (E) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ca21e169e2-HPG1-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ca21e169e2-HPG1-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000240GWJPD、VK000480GWJPE、VK000960GWJPF、VK001920GWJPH、VK003840GWJPK、MK000240GWKVK、MK000480GWJPN、MK000960GWJPP、およびMK001920GWJPPQドライブ

バージョン: HPG5 (F) (クリティカル)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-aef2a690c9-HPG5-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-aef2a690c9-HPG5-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- まれなリンク損失の問題を修正し、ドライブの信頼性を向上させます。
- ドライブにHPG5ファームウェアがダウンロードされると、新しいHPG5ファームウェアがそのドライブでアクティブになります。
- ドライブの次の電源再投入後に、新しいドライブブートローダーコードがアクティブ化されます。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00072768en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EK000200GWEPD、EK000400GWEPF、EK000800GWEPFおよびEK001600GWEPHドライブ

バージョン: HPG3 (G) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-5bf9355926-HPG3-7.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-5bf9355926-HPG3-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB001000GWCBCおよびMB002000GWCBDドライブ

バージョン: HPG6 (F) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-68b12e54d2-HPG6-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-68b12e54d2-HPG6-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。
-

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB001000GWFVKおよびMB002000GFWFLドライブ

バージョン: HPG6 (E) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bfc4af697b-HPG6-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bfc4af697b-HPG6-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB001000GWJAN、MB002000GFWFAおよびMB004000GFWFBドライブ

バージョン: HPG1 (F) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d39e7a7e75-HPG1-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d39e7a7e75-HPG1-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB002000GWFGHおよびMB001000GWFGFドライブ

バージョン: HPG3 (H) (オプション)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0b575b5895-HPG3-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0b575b5895-HPG3-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB006000GWBXQおよび

MB008000GWBYLドライブ

バージョン: HPG8 (F) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a1fd19f9ca-HPG8-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a1fd19f9ca-HPG8-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB006000GWJRRおよびMB008000GWJRTドライブ

バージョン: HPG4 (D) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c993b31232-HPG4-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c993b31232-HPG4-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB006000GWKGRドライブ

バージョン: HPG1 (E) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7f2a26e6d0-HPG1-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7f2a26e6d0-HPG1-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB008000GWRTCドライブ

バージョン: HPG1 (E) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-82894b9e0a-HPG1-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB008000GWWQUおよびMB006000GWWQTドライブ

バージョン: HPG2 (D) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-18e328f036-HPG2-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-18e328f036-HPG2-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB010000GWAYNおよびMB008000GWAYLドライブ

バージョン: HPG5 (G) **(クリティカル)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-cc819d4bff-HPG5-7.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-cc819d4bff-HPG5-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このコードは、アライメントされていない書き込みコマンドに関連する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。このサブライヤーの継続的なラボテストで発見されました。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。
-

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB012000GWDFEドライブ

バージョン: HPG3 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-059b8654a6-HPG3-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-059b8654a6-HPG3-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB012000GWTFEおよびMB014000GWTFEドライブ

バージョン: HPG7 (C) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b78255e146-HPG7-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b78255e146-HPG7-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB014000GWRTN、MB012000GWRTLおよびMB010000GWRTKドライブ

バージョン: HPG2 (F) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6b7ce3da0e-HPG2-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6b7ce3da0e-HPG2-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB014000GWUDAドライブ

バージョン: HPG2 (E) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-41cdb1c9da-HPG2-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-41cdb1c9da-HPG2-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB016000GWXKKドライブ

バージョン: HPG3 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-e4f147cdd2-HPG3-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-e4f147cdd2-HPG3-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB1000GDUNU、MB2000GDUNV、MB3000GDUPA、および MB4000GDUPB ドライブ

バージョン: HPG4 (J) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3ab4c70e64-HPG4-10.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3ab4c70e64-HPG4-10.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB1000GVYZE、MB2000GVYZF、MB3000GVYZH、およびMB4000GVYZKドライブ

バージョン: HPG4 (J) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0a7010918e-HPG4-10.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0a7010918e-HPG4-10.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB2000GCWLT、MB3000GCWLUおよびMB4000GCWLVドライブ

バージョン: HPG4 (J) (**推奨**)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2e70ce7412-HPG4-10.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2e70ce7412-HPG4-10.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB2000GFEMHおよびMB4000GFEMKドライブ

バージョン: HPG6 (I) (**クリティカル**)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-70e3962f98-HPG6-9.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-70e3962f98-HPG6-9.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違っって開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。これらの問題は、サプライヤーの継続的な信頼性テスト中で検出されました。
- ファームウェアは、コードのダウンロード後に設定の保存を修正し、緊急電源オフの改善を含みます。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。
-

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB4000GEFNAおよびMB6000GEFNBドライブ

バージョン: HPG6 (J) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-40277d55d3-HPG6-10.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-40277d55d3-HPG6-10.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB4000GEQNHおよびMB6000GEQNKドライブ

バージョン: HPGB (I) (クリティカル)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bfc95f0628-HPGB-9.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bfc95f0628-HPGB-9.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違っって開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。これらの問題は、サプライヤーの継続的な信頼性テスト中で検出されました。
- ファームウェアは、コードのダウンロード後に設定の保存を修正し、緊急電源オフの改善を含みます。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB6000GEBTPドライブ

バージョン: HPG4 (I) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3243fce9a0-HPG4-9.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3243fce9a0-HPG4-9.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB6000GEQUTおよびMB8000GEQUUドライブ

バージョン: HPGB (I) (クリティカル)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1d7f19120b-HPGB-9.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1d7f19120b-HPGB-9.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違っって開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。これらの問題は、サプライヤーの継続的な信頼性テスト中でのみ検出されました。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB6000GEXXVドライブ

バージョン: HPG2 (J) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a629fcea59-HPG2-10.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a629fcea59-HPG2-10.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB6000GVYUドライブ

バージョン: HPG2 (I) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bdc37cb37f-HPG2-9.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bdc37cb37f-HPG2-9.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB6000GVYZBおよびMB4000GVYZAドライブ

バージョン: HPG4 (F) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0a7d4aa47f-HPG4-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0a7d4aa47f-HPG4-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB8000GFECRドライブ

バージョン: HPG6 (F) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6d922fc9a8-HPG6-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6d922fc9a8-HPG6-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MK000240GWCEU、MK000480GWCEV、MK000960GWCF AおよびMK001920GWCFBドライブ

バージョン: HPG3 (G) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7677644a25-HPG3-7.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7677644a25-HPG3-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MK003840GWTEドライブ

バージョン: HPG8 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ac20a1e1c6-HPG8-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ac20a1e1c6-HPG8-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MK0960GECQKドライブ

バージョン: HPG3 (K) (クリティカル)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3e34285be7-HPG3-11.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3e34285be7-HPG3-11.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- ファームウェアは、非整列シーケンシャル書き込み操作に関連する断続的なデータの破損問題を修正します。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MM1000GEFQVおよびMM2000GEFRAドライブ

バージョン: HPG8 (H) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ec908c3650-HPG8-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ec908c3650-HPG8-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MR000240GWFLU、MR000480GWFLV、VR000480GWFMD、MR000960GWFMA、VR000960GWFME、MR001920GWFMB、およびVR001920GWFMCドライブ

バージョン: HPGG (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9196d4f720-HPGG-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9196d4f720-HPGG-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000150GWCNN、VK000240GWCNP、VK000480GWCNQ、VK000960GWCNR、およびVK001600GWCNTドライブ

バージョン: HPG1 (F) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6e3845def5-HPG1-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6e3845def5-HPG1-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000240GWCFD、VK000480GWCFE、VK000960GWCFE、VK001920GWCFHおよびVK003840GWCFKドライブ

バージョン: HPG3 (G) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f42438de3d-HPG3-7.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f42438de3d-HPG3-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000240GWEZB、VK000480GWEZC、VK000960GWEZD、VK001920GWEZE、MK000240GWEZF、MK000480GWEZH、MK000960GWEZK、およびMK001920GWHRUドライブ

バージョン: HPGG (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3db7640485-HPGG-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3db7640485-HPGG-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000240GWSRQ、VK000480GWSRR、VK000960GWSRT、VK001920GWSRU、およびVK003840GWSRVドライブ

バージョン: HPG4 (C) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-db687966b4-HPG4-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-db687966b4-HPG4-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000240GWTSV、VK000480GWTTA、VK000960GWTTB、VK001920GWTTTC、VK003840GWTTD、MK000480GWTTTH、MK000960GWTTK、MK001920GWTTTLおよびMK003840GWTTNドライブ

バージョン: HPG6 (C) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c566d63ca0-HPG6-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c566d63ca0-HPG6-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000240GXAWE、VK000480GXAWK、VK000960GXAWL、VK001920GXAWN、VK003840GXAWP、VK007680GXAWQ、MK000480GXAWF、MK000960GXAXB、MK001920GXAWR、MK003840GXAWT、VR000240GXBBL、MR000480GXBGH、およびMR000960GXBGKドライブ

バージョン: HPG1 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8f9bf23306-HPG1-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8f9bf23306-HPG1-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000480GWSXF、VK000960GWSXH、VK001920GWSXK、MK000480GWUGF、MK000960GWUGH、MK001920GWUGKドライブ

バージョン: HPG3 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9e87eecb3f-HPG3-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9e87eecb3f-HPG3-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000480GWTHA、VK000960GWTHB、VK001920GWTHCおよびVK003840GWTHDドライブ

バージョン: HPG3 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-492a9952f6-HPG3-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-492a9952f6-HPG3-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000960GXCLD、VK001920GXCGP、VK003840GXCGQ、およびVK007680GXCGRドライブ

バージョン: HPG2 (B) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-4b4177239b-HPG2-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-4b4177239b-HPG2-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK003840GWSXLドライブ

バージョン: HPG3 (B) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d1cf327bc4-HPG3-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d1cf327bc4-HPG3-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK007680GWSXNドライブ

バージョン: HPG3 (B) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b460823f70-HPG3-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b460823f70-HPG3-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK0120GFDKE、VK0240GFDKF、VK0480GFDKH、VK0960GFDKK、VK1920GFDKL、およびVK3840GFDKNドライブ

バージョン: HPG1 (J) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a2d4b5c742-HPG1-10.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a2d4b5c742-HPG1-10.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VR000150GWEPPおよびVR000480GWEPRドライブ

バージョン: HPG1 (G) (クリティカル)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b7eb905efe-HPG1-7.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b7eb905efe-HPG1-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- ドライブが機能しなくなる問題を修正しました。
- VPDログD0hで報告されたドライブサンタイズ時間を修正しました。
- セキュリティログページBBhのサポートを追加します。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - XP0120GFJSLおよびXP0240GFJSNドライブ

バージョン: HPS4 (J) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d355375539-HPS4-10.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d355375539-HPS4-10.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64)- MK000480GWSSC、MK000960GWSSD、MK001920GWSSEおよびMK003840GWSSFドライブ

バージョン: HPG3 (C) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f693ccc138-HPG3-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f693ccc138-HPG3-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64)- VK0240GEPQN、VK0480GEPQP、およびVK0960GEPQQドライブ

バージョン: HPG1 (I) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1a516522d1-HPG1-9.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1a516522d1-HPG1-9.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EK000200GWEPD、EK000400GWEPE、EK000800GWEPF、およびEK001600GWEPHドライブ

バージョン: HPG3 (G) (推奨)

ファイル名: CP048295.compsig; CP048295.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB002000GWFGHおよびMB001000GWFGFドライブ

バージョン: HPG3 (H) (オプション)

ファイル名: CP048317.compsig; CP048317.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB004000GWKGVドライブ

バージョン: HPG1 (F) (推奨)

ファイル名: CP048319.compsig; CP048319.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB006000GWBXQおよびMB008000GWBYLドライブ

バージョン: HPG8 (F) (推奨)

ファイル名: CP048328.compsig; CP048328.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantお

よびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB006000GWJRRおよびMB008000GWJRTドライブ

バージョン: HPG4 (D) **(推奨)**

ファイル名: CP048447.compsig; CP048447.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB006000GWKGR ドライブ

バージョン: HPG1 (F) **(推奨)**

ファイル名: CP048329.compsig; CP048329.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB008000GWRTCドライブ

バージョン: HPG1 (F) **(推奨)**

ファイル名: CP048331.compsig; CP048331.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB01000GWAYNおよびMB008000GWAYLドライブ

バージョン: HPG5 (G) (クリティカル)

ファイル名: CP048333.compsig; CP048333.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このコードは、アライメントされていない書き込みコマンドに関連する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。このサブライヤーの継続的なラボテストで発見されました。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB012000GWDFEドライブ

バージョン: HPG3 (B) (推奨)

ファイル名: CP048335.compsig; CP048335.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB012000GWTFEおよびMB014000GWTFFドライブ

バージョン: HPG7 (C) (推奨)

ファイル名: CP048336.compsig; CP048336.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB014000GWUDAドライブ

バージョン: HPG2 (F) **(推奨)**

ファイル名: CP048339.compsig; CP048339.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB016000GWXKKドライブ

バージョン: HPG3 (B) **(推奨)**

ファイル名: CP049128.compsig; CP049128.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB2000GCWLT、MB3000GCWLU、およびMB4000GCWLVドライブ

バージョン: HPG4 (K) **(推奨)**

ファイル名: CP048345.compsig; CP048345.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB2000GFEMHおよびMB4000GFEMK ドライブ

バージョン: HPG6 (I) (クリティカル)

ファイル名: CP048346.compsig; CP048346.zip

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違っって開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。これらの問題は、サプライヤーの継続的な信頼性テスト中で検出されました。
- ファームウェアは、コードのダウンロード後に設定の保存を修正し、緊急電源オフの改善を含みます。
- ドライブがAHCIコントローラーの背後で接続されているときにオンラインファームウェアアップデートが失敗します。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB4000GEQNHおよびMB6000GEQNK ドライブ

バージョン: HPGB (I) (クリティカル)

ファイル名: CP048366.compsig; CP048366.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違っって開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。これらの問題は、サプライヤーの継続的な信頼性テスト中で検出されました。
- ファームウェアは、コードのダウンロード後に設定の保存を修正し、緊急電源オフの改善を含みます。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB6000GEBTPドライブ

バージョン: HPG4 (I) (推奨)

ファイル名: CP048370.compsig; CP048370.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB6000GEQUTおよびMB8000GEQUU ドライブ

バージョン: HPGB (I) (クリティカル)

ファイル名: CP048371.compsig; CP048371.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違って開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。これらの問題は、サプライヤーの継続的な信頼性テスト中でのみ見つかりました。
- ドライブがAHCIコントローラーの背後で接続されているときにオンラインファームウェアアップデートが失敗します。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB6000GEXXVドライブ

バージョン: HPG2 (K) (推奨)

ファイル名: CP048403.compsig; CP048403.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB6000GVYYUドライブ

バージョン: HPG2 (I) (推奨)

ファイル名: CP048372.compsig; CP048372.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB6000GVYZBおよびMB4000GVYZAドライブ

バージョン: HPG4 (F) (**推奨**)

ファイル名: CP048377.compsig; CP048377.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB8000GFECRドライブ

バージョン: HPG6 (G) (**推奨**)

ファイル名: CP048381.compsig; CP048381.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MK000240GWCEU、MK000480GWCEV、MK000960GWCF AおよびMK001920GWCFBドライブ

バージョン: HPG3 (G) (**推奨**)

ファイル名: CP048390.compsig; CP048390.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MK000480GWSSC、MK000960GWSSD、MK001920GWSSE、およびMK003840GWSSFドライブ

バージョン: HPG3 (C) (推奨)

ファイル名: CP048432.compsig; CP048432.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MK000480GWXFF、MK000960GWXFFH、MK001920GWXFFKおよびMK003840GWXFFLドライブ

バージョン: HPG2 (推奨)

ファイル名: CP049299.compsig; CP049299.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

このFWリリースは、ドライブのフォアグラウンドメディアスキャンをアクティブ化するのに十分なアイドル時間がホストシステムから提供されない場合の問題に対処する、拡張メディアスキャンアルゴリズムを展開します。これは、ドライブの長期的な信頼性を確保するために必要です。また、いくつかの軽微な問題にも対処します。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MM1000GEFQVおよびMM2000GEFRAドライブ

バージョン: HPG8 (H) (推奨)

ファイル名: CP048388.compsig; CP048388.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MR000240GWFLU、MR000480GWFLV、VR000480GWFMFMD、MR000960GWFMFA、VR000960GWFMFE、MR001920GWFMFBおよびVR001920GWFMFCドライブ

バージョン: HPGG (B) (推奨)

ファイル名: CP048402.compsig; CP048402.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK000150GWCNN、VK000240GWCNP、VK000480GWCNQ、VK000960GWCNR、およびVK001600GWCNTドライブ

バージョン: HPG1 (F) (推奨)

ファイル名: CP048405.compsig; CP048405.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK000240GWCFD、VK000480GWCFE、VK000960GWCFE、VK001920GWCFH およびVK003840GWCFK ドライブ。

バージョン: HPG3 (G) (推奨)

ファイル名: CP048407.compsig; CP048407.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK000240GWEZB、VK000480GWEZC、VK000960GWEZD、VK001920GWEZE、MK000240GWEZF、MK000480GWEZH、MK000960GWEZK および MK001920GWHRU ドライブ

バージョン: HPGG (B) (推奨)

ファイル名: CP048406.compsig; CP048406.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK000240GWSRQ、VK000480GWSRR、VK000960GWSRT、VK001920GWSRU、およびVK003840GWSRVドライブ

バージョン: HPG4 (C) (推奨)

ファイル名: CP048434.compsig; CP048434.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK000240GWTSV、VK000480GWTTA、VK000960GWTTB、VK001920GWTTTC、VK003840GWTTD、MK000480GWTTTH、MK000960GWTTTK、MK001920GWTTTLおよびMK003840GWTTTNドライブ

バージョン: HPG6 (C) (推奨)

ファイル名: CP048408.compsig; CP048408.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK000240GXAWC、VK000480GXAWK、VK000960GXAWL、VK001920GXAWN、VK003840GXAWP、VK007680GXAWQ、MK000480GXAWF、MK000960GXAXB、MK001920GXAWR、MK003840GXAWT、VR000240GXBBL、MR000480GXBGH、およびMR000960GXBGKドライブ

バージョン: HPG1 (B) (推奨)

ファイル名: CP049160.compsig; CP049160.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK000480GWSXF、VK000960GWSXH、VK001920GWSXK、MK000480GWUGF、MK000960GWUGH、MK001920GWUGKドライブ

バージョン: HPG3 (B) (推奨)

ファイル名: CP048409.compsig; CP048409.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK000960GXCLD、VK001920GXCGP、VK003840GXCGQ、およびVK007680GXCGRドライブ

バージョン: HPG2 (B) (推奨)

ファイル名: CP049272.compsig; CP049272.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK003840GWSXLドライブ

バージョン: HPG3 (B) **(推奨)**

ファイル名: CP048410.compsig; CP048410.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK007680GWSXNドライブ

バージョン: HPG3 (B) **(推奨)**

ファイル名: CP048411.compsig; CP048411.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK0120GFDKE、VK0240GFDKF、VK0480GFDKH、VK0960GFDKK、VK1920GFDKL、およびVK3840GFDKNドライブ

バージョン: HPG1 (J) **(推奨)**

ファイル名: CP048412.compsig; CP048412.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK0240GEPQN、VK0480GEPQP、およびVK0960GEPQQドライブ

バージョン: HPG1 (J) (推奨)

ファイル名: CP048413.compsig; CP048413.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VR000150GWEPPおよびVR000480GWEPRドライブ

バージョン: HPG1 (G) (クリティカル)

ファイル名: CP048424.compsig; CP048424.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- ドライブが機能しなくなる可能性のあるタイミングの問題を修正しました。
- VPDログD0hで報告されたドライブサンタイズ時間を修正しました。
- セキュリティログページBBhのサポートを追加します。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi -VK000480GWTHA、VK000960GWTHB、VK001920GWTHCおよびVK003840GWTHDドライブ

バージョン: HPG3 (B) (推奨)

ファイル名: CP049275.compsig; CP049275.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインフラッシュのみがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB004000GWKGVドライブ

バージョン: HPG1 (E) **(推奨)**

ファイル名: cp048561.compsig; cp048561.exe; cp048561.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB006000GWKGRドライブ

バージョン: HPG1 (E) **(推奨)**

ファイル名: cp048674.compsig; cp048674.exe; cp048674.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB008000GWRTCドライブ

バージョン: HPG1 (E) **(推奨)**

ファイル名: cp048669.compsig; cp048669.exe; cp048669.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB012000GWDFEドライブ

バージョン: HPG3 (B) (推奨)

ファイル名: cp048673.compsig; cp048673.exe; cp048673.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB014000GWUDAドライブ

バージョン: HPG3 (E) (推奨)

ファイル名: cp048545.compsig; cp048545.exe; cp048545.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB016000GWXKKドライブ

バージョン: HPG3 (B) (推奨)

ファイル名: cp049127.compsig; cp049127.exe; cp049127.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB6000GEBTPドライブ

バージョン: HPG4 (H) (推奨)

ファイル名: cp048610.compsig; cp048610.exe; cp048610.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB6000GEXXVドライブ

バージョン: HPG2 (I) **(推奨)**

ファイル名: cp048633.compsig; cp048633.exe; cp048633.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB6000GVYYUドライブ

バージョン: HPG2 (H) **(推奨)**

ファイル名: cp048612.compsig; cp048612.exe; cp048612.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB8000GFECRドライブ

バージョン: HPG6 (E) **(推奨)**

ファイル名: cp048618.compsig; cp048618.exe; cp048618.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK000240GWJPD、VK000480GWJPE、VK000960GWJPF、VK001920GWJPH、VK003840GWJPK、MK000240GWKVK、MK000480GWJPN、MK000960GWJPPおよびMK001920GWJPDドライブ

バージョン: HPG5 (E) (クリティカル)

ファイル名: cp048664.compsig; cp048664.exe; cp048664.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- まれなリンク損失の問題を修正し、ドライブの信頼性を向上させます。
- ドライブにHPG5ファームウェアがダウンロードされると、新しいHPG5ファームウェアがそのドライブでアクティブになります。
- ドライブの次の電源再投入後に、新しいドライブブートローダーコードがアクティブ化されます。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00072768en_usを参照してください。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EK000200GWEPD、EK000400GWPEE、EK000800GWEPFおよびEK001600GWEPHドライブ

バージョン: HPG3 (F) (推奨)

ファイル名: cp048554.compsig; cp048554.exe; cp048554.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB001000GWCBCおよびMB002000GWCBDドライブ

バージョン: HPG6 (E) (推奨)

ファイル名: cp048556.compsig; cp048556.exe; cp048556.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB001000GFWFKおよびMB002000GFWFLドライブ

バージョン: HPG6 (E) **(推奨)**

ファイル名: cp048557.compsig; cp048557.exe; cp048557.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB001000GWJAN、MB002000GFWFAおよびMB004000GFWFBドライブ

バージョン: HPG1 (E) **(推奨)**

ファイル名: cp048558.compsig; cp048558.exe; cp048558.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB006000GWJRRおよびMB008000GWJRTドライブ

バージョン: HPG4 (D) **(推奨)**

ファイル名: cp048470.compsig; cp048470.exe; cp048470.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB008000GWWQUおよびMB006000GWWQTドライブ

バージョン: HPG2 (D) **(推奨)**

ファイル名: cp048648.compsig; cp048648.exe; cp048648.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB014000GWRTN、MB012000GWRTLおよびMB010000GWRTKドライブ

バージョン: HPG2 (E) **(推奨)**

ファイル名: cp048544.compsig; cp048544.exe; cp048544.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB1000GDUNU、MB2000GDUNV、MB3000GDUPA、および MB4000GDUPB ドライブ

バージョン: HPG4 (I) **(推奨)**

ファイル名: cp048564.compsig; cp048564.exe; cp048564.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB1000GVYZE、MB2000GVYZF、MB3000GVYZH、およびMB4000GVYZKドライブ

バージョン: HPG4 (I) (推奨)

ファイル名: cp048568.compsig; cp048568.exe; cp048568.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB2000GCWLT、MB3000GCWLU、およびMB4000GCWLVドライブ

バージョン: HPG4 (I) (推奨)

ファイル名: cp048574.compsig; cp048574.exe; cp048574.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MK003840GWHTTEドライブ

バージョン: HPG8 (B) (推奨)

ファイル名: cp048620.compsig; cp048620.exe; cp048620.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MK0960GECQKドライブ

バージョン: HPG3 (K) (クリティカル)

ファイル名: cp048621.compsig; cp048621.exe; cp048621.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- ファームウェアは、非整列シーケンシャル書き込み操作に関連する断続的なデータの破損問題を修正します。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MM1000GEFQVおよびMM2000GEFRAドライブ

バージョン: HPG8 (G) (推奨)

ファイル名: cp048622.compsig; cp048622.exe; cp048622.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MM1000GFJTEドライブ

バージョン: HPG5 (E) (オプション)

ファイル名: cp048623.compsig; cp048623.exe; cp048623.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MR000240GWFLU、MR000480GWFLV、VR000480GWFMFMD、MR000960GWFMFA、VR000960GWFMFE、MR001920GWFMFB、およびVR001920GWFMFCドライブ

バージョン: HPGG (B) (推奨)

ファイル名: cp048632.compsig; cp048632.exe; cp048632.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK000150GWCNN、VK000240GWCNP、VK000480GWCNQ、VK000960GWCNR、およびVK001600GWCNTドライブ

バージョン: HPG1 (E) (推奨)

ファイル名: cp048635.compsig; cp048635.exe; cp048635.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK000240GWCDF、VK000480GWCDFE、VK000960GWCDF、VK001920GWCDFHおよびVK003840GWCDFKドライブ

バージョン: HPG3 (F) (推奨)

ファイル名: cp048637.compsig; cp048637.exe; cp048637.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK000240GWEZB、

VK000480GWEZC、VK000960GWEZD、VK001920GWEZE、MK000240GWEZF、 MK000480GWEZH、MK000960GWEZK、およびMK001920GWHRUドライブ

バージョン: HPGG (B) (推奨)

ファイル名: cp048636.compsig; cp048636.exe; cp048636.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK000240GWSRQ、 VK000480GWSRR、VK000960GWSRT、VK001920GWSRU、およびVK003840GWSRVドライブ

バージョン: HPG4 (C) (推奨)

ファイル名: cp048657.compsig; cp048657.exe; cp048657.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK000240GWTSV、 VK000480GWTTA、VK000960GWTTB、VK001920GWTTTC、VK003840GWTTD、 MK000480GWTTTH、MK000960GWTTTK、MK001920GWTTTLおよびMK003840GWTTTNドライブ

バージョン: HPG6 (C) (推奨)

ファイル名: cp048241.compsig; cp048241.exe; cp048241.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK000240GXAWE、 VK000480GXAWK、VK000960GXAWL、VK001920GXAWN、VK003840GXAWP、

VK007680GXAWQ、MK000480GXAWF、MK000960GXAXB、MK001920GXAWR、 MK003840GXAWT、VR000240GXBBL、MR000480GXBGH、およびMR000960GXBGKドライブ

バージョン: HPG1 (B) (推奨)

ファイル名: cp049159.compsig; cp049159.exe; cp049159.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK000480GWSXF、 VK000960GWSXH、VK001920GWSXK、MK000480GWUGF、MK000960GWUGH、 MK001920GWUGKドライブ

バージョン: HPG3 (B) (推奨)

ファイル名: cp048638.compsig; cp048638.exe; cp048638.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK000960GXCLD、 VK001920GXCGP、VK003840GXCGQ、およびVK007680GXCGRドライブ

バージョン: HPG2 (B) (推奨)

ファイル名: cp049274.compsig; cp049274.exe; cp049274.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK003840GWSXL ドライブ

バージョン: HPG3 (B) (推奨)

ファイル名: cp048639.compsig; cp048639.exe; cp048639.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK007680GWSXNドライブ

バージョン: HPG3 (B) (推奨)

ファイル名: cp048640.compsig; cp048640.exe; cp048640.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK0120GFDKE、VK0240GFDKF、VK0480GFDKH、VK0960GFDKK、VK1920GFDKL、およびVK3840GFDKNドライブ

バージョン: HPG1 (H) (推奨)

ファイル名: cp048641.compsig; cp048641.exe; cp048641.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK0240GEPQN、VK0480GEPQP、およびVK0960GEPQQドライブ

バージョン: HPG1 (H) (推奨)

ファイル名: cp048642.compsig; cp048642.exe; cp048642.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VR000150GWEPPおよびVR000480GWEPRドライブ

バージョン: HPG1 (F) **(クリティカル)**

ファイル名: cp048647.compsig; cp048647.exe; cp048647.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- ドライブが機能しなくなる可能性のあるタイミングの問題を修正しました。
- VPDログD0hで報告されたドライブサンタイズ時間を修正しました。
- セキュリティログページBBhのサポートを追加します。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - XP0120GFJSLおよびXP0240GFJSNドライブ

バージョン: HPS4 (H) **(推奨)**

ファイル名: cp048646.compsig; cp048646.exe; cp048646.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64)- MK000240GWCEU、MK000480GWCEV、MK000960GWCFEAおよびMK001920GWCFBドライブ

バージョン: HPG3 (F) **(推奨)**

ファイル名: cp048624.compsig; cp048624.exe; cp048624.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) -VK000480GWTHA、VK000960GWTHB、VK001920GWTHC、およびVK003840GWTHDドライブ

バージョン: HPG3 (B) (**推奨**)

ファイル名: cp049277.compsig; cp049277.exe; cp049277.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - MB002000GWFGHおよびMB001000GWFGFドライブ

バージョン: HPG3 (G) (**オプション**)

ファイル名: cp048559.compsig; cp048559.exe; cp048559.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - MB006000GWBXQおよびMB008000GWBYLドライブ

バージョン: HPG8 (E) (**推奨**)

ファイル名: cp048667.compsig; cp048667.exe; cp048667.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - MB010000GWAYNおよびMB008000GWAYLドライブ

バージョン: HPG5 (F) **(クリティカル)**

ファイル名: cp048671.compsig; cp048671.exe; cp048671.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このコードは、アライメントされていない書き込みコマンドに関連する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。このサブライヤーの継続的なラボテストで発見されました。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - MB2000GFEMHおよびMB4000GFEMKドライブ

バージョン: HPG6 (H) **(クリティカル)**

ファイル名: cp048588.compsig; cp048588.exe; cp048588.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違っって開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。これらの問題は、サブライヤーの継続的な信頼性テスト中で検出されました。
- ファームウェアは、コードのダウンロード後に設定の保存を修正し、緊急電源オフの改善を含みます。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - MB4000GEFNAおよびMB6000GEFNB

ドライブ

バージョン: HPG6 (I) (推奨)

ファイル名: cp048592.compsig; cp048592.exe; cp048592.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - MB4000GEQNHおよびMB6000GEQNKドライブ

バージョン: HPG6 (H) (クリティカル)

ファイル名: cp048593.compsig; cp048593.exe; cp048593.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違って開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。これらの問題は、サプライヤーの継続的な信頼性テスト中で検出されました。
- ファームウェアは、コードのダウンロード後に設定の保存を修正し、緊急電源オフの改善を含みます。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - MB6000GEQUUおよびMB8000GEQUUドライブ

バージョン: HPG6 (H) (クリティカル)

ファイル名: cp048611.compsig; cp048611.exe; cp048611.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違って開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。これらの問題は、サプライヤーの継続的な信頼性テスト中でのみ見つかりました。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - MB6000GVYZBおよびMB4000GVYZA ドライブ

バージョン: HPG4 (E) (推奨)

ファイル名: cp048613.compsig; cp048613.exe; cp048613.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- MB012000GWTFEおよび MB014000GWTFEドライブ

バージョン: HPG7 (C) (推奨)

ファイル名: cp048543.compsig; cp048543.exe; cp048543.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- MK000480GWSSC、 MK000960GWSSD、MK001920GWSSEおよびMK003840GWSSFドライブ

バージョン: HPG3 (C) (推奨)

ファイル名: cp048654.compsig; cp048654.exe; cp048654.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

ファームウェア - ストレージコントローラー

先頭

HPE D6020 12 Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64)

バージョン: 2.74 (K) (推奨)

ファイル名: CP050141.md5; RPMS/x86_64/firmware-d6020-2.74-11.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-d6020-2.74-11.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要:ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。シングルドメイン構成では、ユーザーがD6020(または任意のストレージボックス)でOSをホスティングしてSEPをフラッシュすると、フラッシュ/コードロードの後でSmartComponentがSEPをリセットするため、常にハング/クラッシュします。

警告 このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記:すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D6020.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

事前要件

重要:ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記:すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D6020.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

修正

以下の修正がこのリリースに含まれました:

- gSEPモデルとSESデータベース内の温度センサーロジック
- IOMが引き出されたときに、残っているIOMが正しくない異常温度を報告する

このファームウェアに関する修正のリスト、拡張、既知の問題および回避方法については、[リリースノート](#)を参照してください。

拡張

このバージョンでは、以下の機能強化が追加されています。

- RHEL 7.8のサポートを追加しました
- RHEL 8.2のサポートを追加しました
- SLES15 SP2のサポートを追加しました

サポートしているデバイスおよび機能

D6020エンクロージャーは、どのHPEストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます:

- HP SmartアレイP841コントローラー
- HP SmartアレイP441コントローラー
- HP Smart HBA H241
- HP SmartアレイP741mコントローラー
- HPE SmartアレイP408e-pコントローラー
- HPE SmartアレイE208e-pコントローラー
- HPE SmartアレイP408e-mコントローラー
- HPE SmartアレイP416ie-mコントローラー

HPE D6020 12 Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64)

バージョン: 2.74 (K) (推奨)

ファイル名: cp050142.compsig; cp050142.exe

重要な注意!

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。シングルドメイン構成では、ユーザーがD6020(または任意のストレージボックス)でOSをホスティングしてSEPをフラッシュすると、フラッシュ/コードロードの後でSmartComponentがSEPをリセットするため、常にハング/クラッシュします。

警告 このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\D6020.logに記録され、フラッシュの要約は、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\cpqsetup.logに記録されます。

事前要件

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\D6020.logに記録され、フラッシュの要約は、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\cpqsetup.logに記録されます。

修正

以下の修正がこのリリースに含まれました:

- gSEPモデルとSESデータベース内の温度センサーロジック
- IOMが引き出されたときに、残っているIOMが正しくない異常温度を報告する

このファームウェアに関する修正のリスト、拡張、既知の問題および回避方法については、[リリースノート](#)を参照してください。

サポートしているデバイスおよび機能

D6020エンクロージャーは、どのHPEストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます:

- HP SmartアレイP841コントローラー
- HP SmartアレイP441コントローラー
- HP Smart HBA H241
- HP SmartアレイP741mコントローラー
- HPE SmartアレイP408e-pコントローラー
- HPE SmartアレイE208e-pコントローラー
- HPE SmartアレイP408e-mコントローラー
- HPE SmartアレイP416ie-mコントローラー

HPE D6020 12Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネントfor VMware (ESXi)

バージョン: 2.74 (K) (推奨)

ファイル名: CP050140.compsig; CP050140.md5; CP050140.zip

重要な注意!

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。シングルドメイン構成では、ユーザーがD6020(または任意のストレージボックス)でOSをホスティングしてSEPをフラッシュすると、フラッシュ/コードロードの後でSmartComponentがSEPをリセットするため、常にハング/クラッシュします。

警告 このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D6020.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

事前要件

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D6020.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

修正

以下の修正がこのリリースに含まれました:

- gSEPモデルとSESデータベース内の温度センサーロジック
- IOMが引き出されたときに、残っているIOMが正しくない異常温度を報告する

このファームウェアに関する修正のリスト、拡張、既知の問題および回避方法については、[リリースノート](#)を参照してください。

サポートしているデバイスおよび機能

D6020エンクロージャーは、どのHPEストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます:

- HP SmartアレイP841コントローラー
- HP SmartアレイP441コントローラー
- HP Smart HBA H241
- HP SmartアレイP741mコントローラー
- HPE SmartアレイP408e-pコントローラー
- HPE SmartアレイE208e-pコントローラー
- HPE SmartアレイP408e-mコントローラー
- HPE SmartアレイP416ie-mコントローラー

HPE D8000 12 Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64)

バージョン: 0118 (A) (推奨)

ファイル名: cp050053.compsig; cp050053.exe

重要な注意!

重要:ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。シングルメイン構成では、ユーザーがD8000(または任意のストレージボックス)でOSをホスティングしてSEPをフラッシュすると、フラッシュ/コードロードの後でSmartComponentがSEPをリセットするため、常にハング/クラッシュします。

警告 このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源の切断、または再起動は行わないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\D8000.logに記録され、フラッシュの要約は、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\cpqsetup.logに記録されます。

事前要件

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源の切断、または再起動は行わないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\D8000.logに記録され、フラッシュの要約は、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\cpqsetup.logに記録されます。

修正

以下の修正がこのリリースに含まれました:

- ユーザーはddumpログを収集できませんでした。
- "reboot soft"を使用して障害をクリアした後も、論理障害LEDは点灯したままになります。
- SSACLIエンクロージャーの詳細でD8000エキスパンダーのベンダーIDが[DEFAULT]と表示されています。
- アップグレード後に、スロット1~96のドライブが表示されない場合がある問題が修正されました。

このファームウェアに関する修正のリスト、拡張、既知の問題および回避方法については、[リリースノート](#)を参照してください。

サポートしているデバイスおよび機能

D8000エンクロージャーは、どのHPEストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます:

- HPE SmartアレイP408e-pコントローラー
- HPE SmartアレイE208e-pコントローラー

HPE D8000 12Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネントfor VMware (ESXi)

バージョン: 0118 (A) (推奨)

ファイル名: CP050051.md5; CP050051.zip; CP050051_part1.compsig; CP050051_part2.compsig

重要な注意!

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。シングルメイン構成では、ユーザーがD8000(または任意のストレージボックス)でOSをホスティングしてSEPをフラッシュすると、フラッシュ/コードロードの後でSmartComponentがSEPをリセットするため、常にハング/クラッシュします。

警告 このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源の切断、または再起動は行わないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記:すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D8000.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

事前要件

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源の切断、または再起動は行わないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記:すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D8000.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

修正

以下の修正がこのリリースに含まれました:

- ユーザーはddumpログを収集できませんでした。
- "reboot soft"を使用して障害をクリアした後も、論理障害LEDは点灯したままになります。
- SSACLIエンクロージャーの詳細でD8000エクspanderのベンダーIDが[DEFAULT]と表示されています。
- アップグレード後に、スロット1~96のドライブが表示されない場合がある問題が修正されました。

このファームウェアに関する修正のリスト、拡張、既知の問題および回避方法については、[リリースノート](#)を参照してください。

サポートしているデバイスおよび機能

D8000エンクロージャーは、どのHPEストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます:

- HPE SmartアレイP408e-pコントローラー
- HPE SmartアレイE208e-pコントローラー

HPE D800012 Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64)

バージョン: 0118 (A) (推奨)

ファイル名: CP050052.md5; RPMS/x86_64/firmware-d8000-0118-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-d8000-0118-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。シングルメイン構成では、ユーザーがD8000(または任意のストレージボックス)でOSをホスティングしてSEPをフラッシュすると、フラッシュ/コードロードの後でSmartComponentがSEPをリセットするため、常にハング/クラッシュします。

警告 このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源の切断、または再起動は行わないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記:すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D8000.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

事前要件

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源の切断、または再起動は行わないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D8000.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

修正

以下の修正がこのリリースに含まれました:

- ユーザーはddumpログを収集できませんでした。
- "reboot soft"を使用して障害をクリアした後も、論理障害LEDは点灯したままになります。
- SSACLIエンクロージャーの詳細でD8000エクスペンダーのベンダーIDが[DEFAULT]と表示されています。
- アップグレード後に、スロット1~96のドライブが表示されない場合がある問題が修正されました。

このファームウェアに関する修正のリスト、拡張、既知の問題および回避方法については、[リリースノート](#)を参照してください。

拡張

このバージョンでは、以下の機能強化が追加されています。

- RHEL 7.8のサポートを追加しました
- RHEL 8.2のサポートを追加しました
- SLES15 SP2のサポートを追加しました

サポートしているデバイスおよび機能

D8000エンクロージャーは、どのHPEストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます:

- HPE SmartアレイP408e-pコントローラー
- HPE SmartアレイE208e-pコントローラー

HPE Gen10 PlusブートコントローラーNS204i-p、NS204i-d、NS204i-t、NS204i-r用のユニバーサルファームウェアパッケージ

バージョン: 1.0.14.1060 (推奨)

ファイル名: HPE_NS204i_Gen10P_PLDM_1060.fwpkg

重要な注意!

このファームウェアバージョンは、NS204iコントローラーで使用されます。

iLOを使用して、1.0.14.1055以上のHPE_NS204i_Gen10P_PLDM_xxxx.fwpkgをフラッシュします。継続的にHPEは、.fwpkgファイルのみを介して、PLDM Type5 FWフラッシュを提供します。

以下のリンクで、必要な最小バージョン(1.0.14.1055)を見つけてください。

- Windows <https://support.hpe.com/hpesc/public/swd/detail?swItemId=MTX-1b2c98e9d2594b9db679e89bbe#tab-history>
- Linux <https://support.hpe.com/hpesc/public/swd/detail?swItemId=MTX-207ea7e739f048049a66d61008#tab-history>
- VMware https://support.hpe.com/hpesc/public/swd/detail?swItemId=MTX_141038fe565b457ca9fe4d28de#tab-history

拡張

- PLDM T5 FWPKGでコントローラーFWをiLOから直接フラッシュできるようにする
- IMLイベントの機能強化

HPE MR216i-a Gen10 Plusトライモードコントローラー

バージョン: 52.16.3-3913 (B) (推奨)

ファイル名: HPE_MR216i-a_Gen10P_52.16.3-3913.fwpkg

重要な注意！

MR216i-aコントローラーで使用されるこのファームウェアバージョン。

拡張

- DL20 Gen10 Plusサーバーのサポートを追加しました。

HPE MR216i-p Gen10 Plusトライモードコントローラー

バージョン: 52.16.3-3913 (B) **(推奨)**

ファイル名: HPE_MR216i-p_Gen10P_52.16.3-3913.fwpkg

重要な注意！

このファームウェアバージョンは、MR216i-pコントローラーで使用されます。

拡張

- DL20 Gen10 Plusサーバーのサポートを追加しました。

HPE MR416i-a Gen10 Plusトライモードコントローラー

バージョン: 52.16.3-3913 (B) **(推奨)**

ファイル名: HPE_MR416i-a_Gen10P_52.16.3-3913.fwpkg

重要な注意！

MR416i-aコントローラーで使用されるこのファームウェアバージョン。

拡張

- DL20 Gen10 Plusサーバーのサポートを追加しました。

HPE MR416i-p Gen10 Plusトライモードコントローラー

バージョン: 52.16.3-3913 (B) **(推奨)**

ファイル名: HPE_MR416i-p_Gen10P_52.16.3-3913.fwpkg

重要な注意！

このファームウェアバージョンは、MR416i-pコントローラーで使用されます。

拡張

- DL20 Gen10 Plusサーバーのサポートを追加しました。

Linux (x64)向けHPE D3600/D3700/D3610/D3710 12Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネント

バージョン: 5.04 (D) **(推奨)**

ファイル名: CP050058.md5; RPMS/x86_64/firmware-d3000-5.04-4.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-d3000-5.04-4.1.x86_64.rpm

重要な注意！

重要:ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。シングルドメイン構成では、ユーザーがD3000(または任意のストレージボックス)でOSをホスティングしてSEPをフラッシュすると、フラッシュ/コードロードの後でSmartComponentがSEPをリセットするため、常にハング/クラッシュします。

警告 このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記:すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D3000.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

事前要件

重要:ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記:すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D3000.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

修正

以下の修正がこのリリースに含まれました:

- Enabled-ClusterS2Dコマンドは、NonStopソリューションのD3610ディスクエンクロージャー内のSATAドライブ上で実行すると正常に完了するようになりました。
- SASドライブのドライブケースであるスマートキャリアは、D3610/D3710ドライブエンクロージャーで認証されるようになりました。
- ファンモジュールAおよびBの問題を報告するために、新しい7セグメントエラーコードE0およびE1がそれぞれ追加されました。これらの新しいコードはD3610/D3710にのみ適用され、ファームウェア5.04を実行しているときにのみ表示されます。
- I/Oモジュール内のストレージエンクロージャープロセッサに障害が発生すると、プロセッサを確実にオンラインに戻すために、ハードリセット(電源を切ってから電源を入れる)が実行されます。

このファームウェアに関する修正のリスト、拡張、既知の問題および回避方法については、[リリースノート](#)を参照してください。

拡張

このバージョンでは、以下の機能強化が追加されています。

- RHEL 7.8のサポートを追加
- RHEL 8.2のサポートを追加
- SLES15 SP2のサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

D3600/D3700/D3610/D3710エンクロージャーは、以下のどのHPEストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます:

- HP SmartアレイP841コントローラー
- HP SmartアレイP441コントローラー
- HP Smart HBA H241
- HPE SmartアレイP408e-pコントローラー
- HPE SmartアレイE208e-pコントローラー
- HPE SmartアレイP408e-mコントローラー
- HP SmartアレイP741mコントローラー
- HPE SmartアレイP416ie-mコントローラー

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor ESXi (x86) - HPE Smart Array P824i-p MR Gen10

バージョン: 24.23.0-0043 (A) (**推奨**)

ファイル名: CP044920.compsig; CP044920.zip

修正

- 過熱の問題は、>=60Cしきい値のための誤ったIMLでした。新しいバージョンでしきい値を>65Cに変更しました。
カスタマーアドバイザー[a00101958en_us](#)を参照してください。

拡張

- Apollo 4510システムのサポートを追加しました

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - HPE Smart Array P824i-p MR Gen10

バージョン: 24.23.0-0043 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-cafee9b6e4-24.23.0_0043-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-cafee9b6e4-24.23.0_0043-2.1.x86_64.rpm

修正

CFI 24378:sum-8.5.1 "smartupdate upgrade" RHEL7 に P824i コントローラーFWがインストールされていない

VMware (ESXi)向けHPE D3600/D3700/D3610/D3710 12Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネント

バージョン: 5.04 (D) (推奨)

ファイル名: CP050057.compsig; CP050057.md5; CP050057.zip

重要な注意!

重要:ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。シングルドメイン構成では、ユーザーがD3000(または任意のストレージボックス)でOSをホスティングしてSEPをフラッシュすると、フラッシュ/コードロードの後でSmartComponentがSEPをリセットするため、常にハング/クラッシュします。

警告 このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記:すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D3000.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

事前要件

重要:ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記:すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D3000.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

修正

以下の修正がこのリリースに含まれました:

- Enabled-ClusterS2Dコマンドは、NonStopソリューションのD3610ディスクエンクロージャー内のSATAドライブ上で実行すると正常に完了するようになりました。
- SASドライブのドライブケースであるスマートキャリアは、D3610/D3710ドライブエンクロージャーで認証されるようになりました。
- ファンモジュールAおよびBの問題を報告するために、新しい7セグメントエラーコードE0およびE1がそれぞれ追加されました。これらの新しいコードはD3610/D3710にのみ適用され、ファームウェア5.04を実行しているときにのみ表示されます。
- I/Oモジュール内のストレージエンクロージャープロセッサに障害が発生すると、プロセッサを確実にオンラインに戻すために、ハードリセット(電源を切ってから電源を入れる)が実行されます。

このファームウェアに関する修正のリスト、拡張、既知の問題および回避方法については、[リリースノート](#)を参照してください。

サポートしているデバイスおよび機能

D3600/D3700/D3610/D3710エンクロージャーは、以下のどのHPEストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます:

- HP SmartアレイP841コントローラー
- HP SmartアレイP441コントローラー
- HP Smart HBA H241
- HP SmartアレイP741mコントローラー
- HPE SmartアレイP408e-pコントローラー
- HPE SmartアレイE208e-pコントローラー

- HPE SmartアレイP408e-mコントローラー
- HPE SmartアレイP416ie-mコントローラー

Windows (x64)向けHPE D3600/D3700/D3610/D3710 12Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネント

バージョン: 5.04 (D) (推奨)

ファイル名: cp050070.compsig; cp050070.exe

重要な注意!

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。シングルドメイン構成では、ユーザーがD3000(または任意のストレージボックス)でOSをホスティングしてSEPをフラッシュすると、フラッシュ/コードロードの後でSmartComponentがSEPをリセットするため、常にハング/クラッシュします。

警告 このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\D3000.logに記録され、フラッシュの要約は、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\cpqsetup.logに記録されます。

事前要件

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告! このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\D3000.logに記録され、フラッシュの要約は、%systemdrive%\CPQSYSTEM\Log\cpqsetup.logに記録されます。

修正

以下の修正がこのリリースに含まれました:

- Enabled-ClusterS2Dコマンドは、NonStopソリューションのD3610ディスクエンクロージャー内のSATAドライブ上で実行すると正常に完了するようになりました。
- SASドライブのドライブケースであるスマートキャリアは、D3610/D3710ドライブエンクロージャーで認証されるようになりました。
- ファンモジュールAおよびBの問題を報告するために、新しい7セグメントエラーコードE0およびE1がそれぞれ追加されました。これらの新しいコードはD3610/D3710にのみ適用され、ファームウェア5.04を実行しているときにのみ表示されます。
- I/Oモジュール内のストレージエンクロージャープロセッサに障害が発生すると、プロセッサを確実にオンラインに戻すために、ハードリセット(電源を切ってから電源を入れる)が実行されます。

このファームウェアに関する修正のリスト、拡張、既知の問題および回避方法については、[リリースノート](#)を参照してください。

サポートしているデバイスおよび機能

D3600/D3700/D3610/D3710エンクロージャーは、以下のどのHPEストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます:

- HP SmartアレイP841コントローラー
- HP SmartアレイP441コントローラー
- HP Smart HBA H241
- HPE SmartアレイP408e-pコントローラー
- HPE SmartアレイE208e-pコントローラー
- HPE SmartアレイP408e-mコントローラー
- HP SmartアレイP741mコントローラー
- HPE SmartアレイP416ie-mコントローラー

オンラインROM Flashコンポーネント for Windows (x64) - HPE SmartアレイP824i-p MR Gen10

バージョン: 24.23.0-0043 (A) (推奨)

ファイル名: cp044919.compsig; cp044919.exe; cp044919.md5

修正

過熱の問題は、>=60Cしきい値のための誤ったIMLでした。新しいバージョンでしきい値を>65Cに変更しました。

カスタマーアドバイザリ[a00101958en_us](#)を参照してください。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux(x64) - HPE Apollo 2000 Gen10バックプレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン: 1.00 (B) (オプション)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-9f082dff4-1.00-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-9f082dff4-1.00-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

注記:バージョン1.00が以前にインストールされていた場合、1.00(B)にアップグレードする必要はありません。

拡張

- SUSE LINUX Enterprise Server 15 OSのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - HPE 12Gb/s SASエキスパンダーファームウェア for HPE SmartアレイコントローラーおよびHPE HBAコントローラー

バージョン: 5.10 (推奨)

ファイル名: cp049280.compsig; cp049280.exe; cp049280.md5

重要な注意!

- エキスパンダーカードの現在のファームウェアバージョンが5.10の場合は、FWを以前のバージョンにダウングレードしないでください。

修正

- 有効なフラグは最初は常にtrueに設定されているため、initstringパーティションでCRCチェックを実行し、それが本当に有効かどうかをテストできます。
- Winbondの代替フラッシュをサポートするために、スマートキャリア認証をブートプロセスの後半に移動し、Exception Dumperタスクをプロセスの前半に移動してください

拡張

- Windows 2022のサポートを追加してください

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - HPE Apollo 2000 Gen10バックプレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン: 1.00 (C) (推奨)

ファイル名: cp038106.compsig; cp038106.exe; cp038106.md5

拡張

- win2022のサポートを追加しました

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - HPE Apollo 4200バックプレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン: 1.79 (B) (推奨)

ファイル名: cp049339.compsig; cp049339.exe; cp049339.md5

重要な注意!

- ファームウェアがバージョン1.03またはそれ以前からアップグレードされた場合には、電源再投入/コールドリブートが必要です。

拡張

Win2022サポートを追加しました

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - HPE Apollo 45xx Gen10バックプレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン: 1.56 (C) (推奨)

ファイル名: cp037765.compsig; cp037765.exe; cp037765.md5

拡張

- HPE SmartアレイP824i-p コントローラーのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - HPE Apollo 4200 Gen10 Plusバックプレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン: 0.39 (B) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-f36d4ef431-0.39-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-f36d4ef431-0.39-2.1.x86_64.rpm

事前要件

- 0.39(B)にアップグレードする前に、スタンドアロンアップデートアプローチによってまず移行バージョン0.39にフラッシュし、新しいPIDの命名をアクティブにしてください。
- 0.39(B)は、Gen10plus 4200エキスパンダーFWの最小バージョンです。
- **0.39移行バージョンのリンク:** <https://www.hpe.com/global/swpublishing/MTX-6a237b8f0ea248dcae938df67b>

修正

- 世代が異なるエキスパンダーバックプレーンを区別するために、製品IDを"A4200 Gen10P LFF"および"A4200 Gen10P SFF"に変更

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - HPE Apollo 4200バックプレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン: 1.79 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-f18fdefd0b-1.79-1.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-f18fdefd0b-1.79-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- ファームウェアがバージョン1.03またはそれ以前からアップグレードされた場合には、電源再投入/コールドリブートが必要です。

修正

システムの再起動後にドライブが表示されない場合があります。

カスタマーアドバイザリa00098241en_usを参照してください。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - HPE D2500sbストレージブレード用HPE SASIエキスパンダーファームウェア

バージョン: 2.02 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-1d0696d939-2.02-1.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-1d0696d939-2.02-1.1.x86_64.rpm

修正

- ベイ1~10の場合、電源を入れ直した後、またはホットプラグ後にハードドライブが表示されない場合があります

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - HPE 12 Gb/s SASIエキスパンダーファームウェアfor HPE SmartアレイコントローラーおよびHPE HBAコントローラー

バージョン: 5.10 (推奨)

ファイル名: CP049281.compsig; CP049281.zip

重要な注意!

- エクスパンダーカードの現在のファームウェアバージョンが5.10の場合は、FWを以前のバージョンにダウングレードしないでください。

修正

- 有効なフラグは最初は常にtrueに設定されているため、initstringパーティションでCRCチェックを実行し、それが本当に有効かどうかをテストできます。
- Winbondの代替フラッシュをサポートするために、スマートキャリア認証をブートプロセスの後半に移動し、Exception Dumperタスクをプロセスの前半に移動してください

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - HPE Apollo 2000 Gen10バックプレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン: 1.00 (C) (オプション)

ファイル名: CP037611.compsig; CP037611.zip

重要な注意!

ファームウェアバージョン1.00を既にインストールしている場合、1.00 (C)へアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware vSphere 6.7 OSのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - HPE Apollo 4200 Gen10 Plusバックプレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン: 0.39 (B) (推奨)

ファイル名: CP049505.compsig; CP049505.zip

事前要件

- 0.39(B)にアップグレードする前に、スタンドアロンアップデートアプローチによってまず移行バージョン0.39にフラッシュし、新しいPIDの命名をアクティブにしてください。
- 0.39(B)は、Gen10plus 4200エキスパンダーFWの最小バージョンです。
- **0.39移行バージョンのリンク:** <https://www.hpe.com/global/swpublishing/MTX-baec686eb389427aa933bbf9f0>

修正

- 世代が異なるエキスパンダーバックプレーンを区別するために、製品IDを"A4200 Gen10P LFF"および"A4200 Gen10P SFF"に変更

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - HPE Apollo 4200バックプレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン: 1.79 (C) (推奨)

ファイル名: CP047952.zip; CP047952_part1.compsig; CP047952_part2.compsig

重要な注意!

- ファームウェアがバージョン1.03またはそれ以前からアップグレードされた場合には、電源再投入/コールドリブートが必要です。

拡張

公開要件でメモをアップデート

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - HPE Apollo 45xx Gen10バックプレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン: 1.56 (D) (推奨)

ファイル名: CP038103.compsig; CP038103.zip

拡張

- HPE SmartアレイP824i-p コントローラーのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - HPE D2500sbストレージブレード用HPE SAS エキスパンダーファームウェア

バージョン: 2.02 (A) (推奨)

ファイル名: CP044325.compsig; CP044325.zip

重要な注意!

- ESXi6.0を使用するには、アップグレード3以降である必要があります。以前のバージョンのOSには必要なSmartPQIドライバーがありません。

事前要件

ESXi6.0を使用するには、アップグレード3以降である必要があります。以前のバージョンのOSには必要なSmartPQIドライバーがありません。

拡張

ESXi 7.0のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - HPE SmartアレイP408i-p、P408e-p、 P408i-a、P408i-c、E208i-p、E208e-p、E208i-c、E208i-a、P408i-sb、P408e-m、P204i-c、P204i- b、P816i-a、およびP416ie-m SR Gen10

バージョン: 5.00 (推奨)

ファイル名: CP049390.compsig; CP049390.zip

修正

- バックアップ電源ステータスが誤って障害ではなく充電中と報告されるまれな問題を修正しました。
- 廃止されたSCSIパススルーコマンドが失敗する問題を修正しました。
- シングルドメイン構成で論理ドライブに障害が発生したときに、冗長パスの喪失メッセージが誤って報告されます。
- LUNのリセット後にSmartPathを使用できない問題を修正しました
- 書き込み後の読み取りI/OでドライブにUREが発生した場合に起きる可能性があるコントローラーのロックアップ0x1BC0を修正しました。
- Apollo 4200 Gen10 Plusの3.5型エキスパンダーバックプレーンがコントローラーによって検出されない問題を修正しました。
- 再起動時のRAIDメタデータの消去で発生したエラーが理由で範囲ロックされたSEDに障害が発生し、構成をクリアした後も失敗したままになる問題を修正しました。
- ファイルシステムで劣化したRAID 5または6論理ドライブから不正なデータが読み取られる可能性がある問題を修正しました。
- バックアップ電源が完全に放電されたときにファイルシステムまたはアプリケーションが不正なデータを読み取る可能性があり、変換中にシステム電源が喪失する問題を修正しました。
- ファームウェアがデバイス検出またはホットプラグ中に不具合のあるHBAドライブをエキスパンダーに接続できなかったときに、ドライブ障害LEDが点灯しない問題を修正しました。
- "自動交換ドライブ"のスペアドライブが1つしかないRAID 10またはRAID 6論理ドライブで、2つのドライブに同時に障害が発生した場合に自動再構築が開始されない問題を修正しました。
- 複数の構成済みドライブがSESエンクロージャーからホットリムーブされ、その後ホットアドされたときにドライブ障害LEDが数秒間点灯する問題を修正しました
- ドライブ障害を複数回繰り返した後、再構築が開始されなかった問題を修正しました。
- ケーブルがホットアドされた後、コントローラーがデバイスの検出に失敗する可能性がある問題を修正しました。
- SmartCacheライト-バック論理ドライブを削除できない潜在的な問題を修正しました。
- コントローラー内のすべての論理ドライブがオフラインのときに、POSTメッセージエラーコード0x1789が正常として表示され、HIIに情報が表示されない問題を修正しました。
- UEFI構成ツールでアレイの最後の論理ドライブを削除できない問題を修正しました。
- UEFI構成ツールでRAID 6アレイを作成するための構築方法がリストされない問題を修正しました。

拡張

- 温度監視を強化するDMTF PLDMモニタリングおよび制御のサポートを追加しました
- RedfishのStorage、StorageController、Port、Drive、Volume、およびCollectionCapabilitiesに関するDMTF PLDM Redfish Device Enablementのサポートを追加しました
- ボリュームのPOSTおよびDEL操作に関するDMTF PLDM Redfish Device Enablementのサポートを追加しました
- DMTF RedfishのStorageDevice.1.0.1イベントのサポートを追加しました
- データ保存をサポートするコントローラーでバックアップ電源なしで論理ドライブの変換を可能にするためのファームウェアのサポートを追加しました。
- SATAドライブのNCQ優先順位情報をホストに返すためのサポートを追加しました。

- 論理ドライブ障害を発生させることなく安全に取り外して交換できるドライブの予測スペア再構築(PSR)中にドライブ障害予測(PF)LEDを点滅させるためのサポートを追加しました。
- ドライブ書き込みキャッシュのデフォルト設定を構成するためのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware Windows (x64) - HPE Apollo 2000 Gen10 PlusバックプレーンエキスパンダーFW

バージョン: 1.27 (B) (推奨)

ファイル名: cp049338.compsig; cp049338.exe; cp049338.md5

拡張

Win2022のサポートを追加しました

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - HPE Apollo 4200 Gen10 Plusバックプレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン: 0.39 (B) (推奨)

ファイル名: cp049492.compsig; cp049492.exe; cp049492.md5

事前要件

- 0.39(B)にアップグレードする前に、スタンドアロンアップデートアプローチによってまず移行バージョン0.39にフラッシュし、新しいPIDの命名をアクティブにしてください。
- 0.39(B)は、Gen10plus 4200エキスパンダーFWの最小バージョンです。
- **0.39移行バージョンのリンク:** <https://www.hpe.com/global/swpublishing/MTX-7c4fac26bfd4fcda15b73bd44>

修正

- 世代が異なるエキスパンダーバックプレーンを区別するために、製品IDを"A4200 Gen10P LFF"および"A4200 Gen10P SFF"に変更

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - HPE D2500sbストレージブレード用HPE SASエキスパンダーファームウェア

バージョン: 2.02 (推奨)

ファイル名: cp041631.compsig; cp041631.exe; cp041631.md5

修正

- ベイ1~10の場合、電源を入れ直した後、またはホットプラグ後にハードドライブが表示されない場合があります

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - HPE Smart Array P408i-p、P408e-p、P408i-a、P408i-c、E208i-p、E208e-p、E208i-c、E208i-a、P408i-sb、P408e-m、P204i-c、P204i-b、P816i-aおよびP416ie-m SR Gen10

バージョン: 5.00 (推奨)

ファイル名: cp049389.compsig; cp049389.exe; cp049389.md5

修正

- バックアップ電源ステータスが誤って障害ではなく充電中と報告されるまれな問題を修正しました。
- 廃止されたSCSIパススルーコマンドが失敗する問題を修正しました。
- シングルドメイン構成で論理ドライブに障害が発生したときに、冗長パスの喪失メッセージが誤って報告されます。
- LUNのリセット後にSmartPathを使用できない問題を修正しました
- 書き込み後の読み取りI/OでドライブにUREが発生した場合に起きる可能性があるコントローラーのロックアップ0x1BC0を修正しました。
- Apollo 4200 Gen10 Plusの3.5型エキスパンダーバックプレーンがコントローラーによって検出されない問題を修正しました。
- 再起動時のRAIDメタデータの消去で発生したエラーが理由で範囲ロックされたSEDに障害が発生し、構成をクリアした後も失敗したままになる問題を修正しました。
- ファイルシステムで劣化したRAID 5または6論理ドライブから不正なデータが読み取られる可能性がある問題を修正しました。
- バックアップ電源が完全に放電されたときにファイルシステムまたはアプリケーションが不正なデータを読み取る可能性があり、変換中にシステム電源が喪失する問題を修正しました。

- ファームウェアがデバイス検出またはホットプラグ中に不具合のあるHBAドライブをエキスパンダーに接続できなかったときに、ドライブ障害LEDが点灯しない問題を修正しました。
- "自動交換ドライブ"のスペアドライブが1つしかないRAID 10またはRAID 6論理ドライブで、2つのドライブに同時に障害が発生した場合に自動再構築が開始されない問題を修正しました。
- 複数の構成済みドライブがSESエンクロージャーからホットリムーブされ、その後ホットアドされたときにドライブ障害LEDが数秒間点灯する問題を修正しました
- ドライブ障害を複数回繰り返した後、再構築が開始されなかった問題を修正しました。
- ケーブルがホットアドされた後、コントローラーがデバイスの検出に失敗する可能性がある問題を修正しました。
- SmartCacheライト-バック論理ドライブを削除できない潜在的な問題を修正しました。
- コントローラー内のすべての論理ドライブがオフラインのときに、POSTメッセージエラーコード0x1789が正常として表示され、HIIに情報が表示されない問題を修正しました。
- UEFI構成ツールでアレイの最後の論理ドライブを削除できない問題を修正しました。
- UEFI構成ツールでRAID 6アレイを作成するための構築方法がリストされない問題を修正しました。

拡張

- 温度監視を強化するDMTF PLDMモニタリングおよび制御のサポートを追加しました
- RedfishのStorage、StorageController、Port、Drive、Volume、およびCollectionCapabilitiesに関するDMTF PLDM Redfish Device Enablementのサポートを追加しました
- ボリュームのPOSTおよびDEL操作に関するDMTF PLDM Redfish Device Enablementのサポートを追加しました
- DMTF RedfishのStorageDevice.1.0.1イベントのサポートを追加しました
- データ保存をサポートするコントローラーでバックアップ電源なしで論理ドライブの変換を可能にするためのファームウェアのサポートを追加しました。
- SATAドライブのNCQ優先順位情報をホストに返すためのサポートを追加しました。
- 論理ドライブ障害を発生させることなく安全に取り外して交換できるドライブの予測スペア再構築(PSR)中にドライブ障害予測(PF)LEDを点滅させるためのサポートを追加しました。
- ドライブ書き込みキャッシュのデフォルト設定を構成するためのサポートを追加しました。

オンラインファームウェアフラッシュfor ESXi - HPE NS204i-p、NS204i-d、NS204i-t、NS204i-r Gen10+ブートコントローラー

バージョン: 1.0.14.1055 (クリティカル)

ファイル名: CP047954.compsig; CP047954.zip

重要な注意!

VMware 7.0u1は、HPE NS204i-p、NS204i-d、NS204i-t、およびNS204i-r Gen10+ブートコントローラーでサポートされています

VMware 7.0は、HPE NS204i-p、NS204i-d、NS204i-t、およびNS204i-r Gen10+ブートコントローラーでサポートされていません

修正

ファームウェアは、ドライブの再構築が実行された後、NS204iアダプターカードを搭載したサーバーでRedfish読み取りが実行されると、新しいドライブでのデータチャンクの再構築をスキップする場合があります。

オンラインファームウェアフラッシュfor Linux (x64) - HPE NS204i-p、NS204i-d、NS204i-t、NS204i-r Gen10+ブートコントローラー

バージョン: 1.0.14.1055 (クリティカル)

ファイル名: CP047953.md5; CP047953.scexe; deb/firmware-9041739931_1.0.14.1055-1.1_amd64.deb;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-9041739931-1.0.14.1055-1.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-9041739931-1.0.14.1055-1.1.x86_64.rpm

修正

ファームウェアは、ドライブの再構築が実行された後、NS204iアダプターカードを搭載したサーバーでRedfish読み取りが実行されると、新しいドライブでのデータチャンクの再構築をスキップする場合があります。

オンラインファームウェアフラッシュfor Windows - HPE NS204i-p、NS204i-d、NS204i-t、NS204i-r Gen10+ブートコントローラー

バージョン: 1.0.14.1055 (B) (クリティカル)

ファイル名: cp049340.compsig; cp049340.exe; cp049340.md5

重要な注意!

アップグレード要件を「Critical」に設定する必要がある理由については、SID7544を参照してください。

修正

ファームウェアは、ドライブの再構築が実行された後、NS204iアダプターカードを搭載したサーバーでRedfish読み取りが実行されると、新しいドライブでのデータチャンクの再構築をスキップする場合があります。詳細については、SID7544を参照してください。

拡張

- Windows Server 2022オペレーティングシステムのサポートを追加しました。

サブメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - HPE 12 Gb/s SAS エクスパンダーファームウェア for HPE SmartアレイコントローラーおよびHPE HBAコントローラー

バージョン: 5.10 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-1f19a4a64d-5.10-1.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-1f19a4a64d-5.10-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- エクスパンダーカードの現在のファームウェアバージョンが5.10の場合は、FWを以前のバージョンにダウングレードしないでください。

修正

- 有効なフラグは最初は常にtrueに設定されているため、initstringパーティションでCRCチェックを実行し、それが本当に有効かどうかをテストできます。
- Winbondの代替フラッシュをサポートするために、スマートキャリア認証をブートプロセスの後半に移動し、Exception Dumperタスクをプロセスの前半に移動してください

サブメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - HPE Apollo 45xx Gen10バックプレーンエクスパンダーファームウェア

バージョン: 1.56 (C) (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-815b1ae26d-1.56-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-815b1ae26d-1.56-3.1.x86_64.rpm

拡張

- HPE SmartアレイP824i-p コントローラーのサポートを追加しました。

サブメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - HPE Smart アレイ P408i-p、P408e-p、P408i-a、E208i-p、E208e-p、E208i-a、P816i-a SR Gen10

バージョン: 5.00 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-f7c07bdbbd-5.00-1.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-f7c07bdbbd-5.00-1.1.x86_64.rpm

修正

- バックアップ電源ステータスが誤って障害ではなく充電中と報告されるまれな問題を修正しました。
- 廃止されたSCSIパススルーコマンドが失敗する問題を修正しました。
- シングルドメイン構成で論理ドライブに障害が発生したときに、冗長パスの喪失メッセージが誤って報告されます。
- LUNのリセット後にSmartPathを使用できない問題を修正しました
- 書き込み後の読み取りI/OでドライブにUREが発生した場合に起きる可能性があるコントローラーのロックアップ0x1BC0を修正しました。
- Apollo 4200 Gen10 Plusの3.5型エクスパンダーバックプレーンがコントローラーによって検出されない問題を修正しました。
- 再起動時のRAIDメタデータの消去で発生したエラーが理由で範囲ロックされたSEDに障害が発生し、構成をクリアした後も失敗したままになる問題を修正しました。
- ファイルシステムで劣化したRAID 5または6論理ドライブから不正なデータが読み取られる可能性がある問題を修正しました。
- バックアップ電源が完全に放電されたときにファイルシステムまたはアプリケーションが不正なデータを読み取る可能性があり、変換中にシステム電源が喪失する問題を修正しました。
- ファームウェアがデバイス検出またはホットプラグ中に不具合のあるHBAドライブをエクスパンダーに接続できなかったときに、ドライブ障害LEDが点灯しない問題を修正しました。

- "自動交換ドライブ"のスペアドライブが1つしかないRAID 10またはRAID 6論理ドライブで、2つのドライブに同時に障害が発生した場合に自動再構築が開始されない問題を修正しました。
- 複数の構成済みドライブがSESエンクロージャーからホットリムーブされ、その後ホットアドされたときにドライブ障害LEDが数秒間点灯する問題を修正しました
- ドライブ障害を複数回繰り返した後、再構築が開始されなかった問題を修正しました。
- ケーブルがホットアドされた後、コントローラーがデバイスの検出に失敗する可能性がある問題を修正しました。
- SmartCacheライトバック論理ドライブを削除できない潜在的な問題を修正しました。
- コントローラー内のすべての論理ドライブがオフラインのときに、POSTメッセージエラーコード0x1789が正常として表示され、HIIに情報が表示されない問題を修正しました。
- UEFI構成ツールでアレイの最後の論理ドライブを削除できない問題を修正しました。
- UEFI構成ツールでRAID 6アレイを作成するための構築方法がリストされない問題を修正しました。

拡張

- 温度監視を強化するDMTF PLDMモニタリングおよび制御のサポートを追加しました
- RedfishのStorage、StorageController、Port、Drive、Volume、およびCollectionCapabilitiesに関するDMTF PLDM Redfish Device Enablementのサポートを追加しました
- ボリュームのPOSTおよびDEL操作に関するDMTF PLDM Redfish Device Enablementのサポートを追加しました
- DMTF RedfishのStorageDevice.1.0.1イベントのサポートを追加しました
- データ保存をサポートするコントローラーでバックアップ電源なしで論理ドライブの変換を可能にするためのファームウェアのサポートを追加しました。
- SATAドライブのNCQ優先順位情報をホストに返すためのサポートを追加しました。
- 論理ドライブ障害を発生させることなく安全に取り外して交換できるドライブの予測スペア再構築(PSR)中にドライブ障害予測(PF)LEDを点滅させるためのサポートを追加しました。
- ドライブ書き込みキャッシュのデフォルト設定を構成するためのサポートを追加しました。

ファームウェアパッケージ - HPE SR932i-p Gen10 Plus/SR416i-a Gen10 Plusコントローラー

バージョン: 03.01.09.056 (推奨)

ファイル名: HPE_SR416_SR932_Gen10P_03.01.09.056.fwpkg

修正

- LUNのリセット後にSmartPathが使用される問題を修正しました
- 大容量のNVMeを検出するまれな問題を修正しました。この問題は、主にNVMeのホットアドの後に発生します。
- I/Oの進行中にVMを強制的にシャットダウンするとコントローラーがロックアップする可能性がある問題を修正しました
- DMTF PLDM Redfish Device EnablementのStorageControllerのodata.idが空だった問題を修正しました
- 再起動後にDMTF RedfishのStorageDevice.1.0.1 VolumeFailureまたはVolumeDegradedイベントが持続しない問題を修正しました
- アレイの修復を実行中に対象となるドライブが表示されない問題を修正しました
- 論理ドライブの再構築の進行中にパリティの初期化が完了しなかったときに、POSTメッセージエラーコード0x1945が記録されなかった問題を修正しました

拡張

- CollectionCapabilitiesに関するDMTF PLDM Redfish Device Enablementのサポートを追加しました
- ボリュームのPOSTおよびDEL操作に関するDMTF PLDM Redfish Device Enablementのサポートを追加しました
- 新しいDMTF RedfishのStorageDevice.1.0.1 WriteCacheイベントを追加しました
- SEDドライブのホストキー管理(HKM)を追加しました
- キュー深度が高く転送サイズが大きい場合の順次書き込みのパフォーマンスを改善しました

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるデバイス- SmartRAID SR932i-pおよびSR416i-a

ファームウェア - ストレージファイバーチャネル

先頭

Emulex Mezzanineファイバーチャネルホストバスアダプター用HPEファームウェアオンラインフラッシュ - Microsoft Windows Server 2016/2019 x64

バージョン: 2021.10.01 (推奨)

ファイル名: cp046789.compsig; cp046789.exe

重要な注意!

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|----------------------|-------------|-------------|------------|
| HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class | 16Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

このファームウェアコンポーネントが開発用のSUMで識別される前に、HPEで提供しているEmulexドライバーをインストールする必要があります。OOBドライバーは、http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dl/ のService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|----------------------|-------------|-------------|------------|
| HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class | 16Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

Emulexファイバーチャネルホストバスアダプター for VMware vSphere 6.5用HPEファームウェアフラッシュ

バージョン: 2021.10.01 (推奨)

ファイル名: CP046801.compsig; CP046801.zip

重要な注意!

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|----------------------|-------------|-------------|------------|
| HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|-------|----|----------------------|---------|------|--------|
|-------|----|----------------------|---------|------|--------|

| | | | | | |
|--|------|-------------|-------------|-------------|------------|
| HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Firmware Flash for Emulex Fibre Channel Host Bus Adapters for Linux (x64)

バージョン: 2022.03.01 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-fc-emulex-2022.03.01-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-fc-emulex-2022.03.01-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

ライブラリがないとアダプターの検出が完了しない可能性があるため、ファームウェアをインストールする前に、ターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールする必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|----------------------|-------------|-------------|------------|
| HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |

事前要件

ファームウェアアップデートは、インボックスまたはOut of Box(OOB)ドライバーを使用して実行できます。 サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

ライブラリがないとアダプターの検出が完了しない可能性があるため、ファームウェアをインストールする前に、ターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールする必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

できます。)

追加の要件:

フラッシュエンジンを動作させるためにsyslogデーモンが実行されている環境が必要です
コンポーネントでEmulexホストバスアダプター(HBA)を検出できるようにするには、32-bit netlink library(libnl.so)がインストールされている環境が必要です

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|----------------------|-------------|-------------|------------|
| HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 12.8.528.21 | 12.8.528.21 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 12.8.528.21 | 12.8.528.21 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 12.8.528.21 | 12.8.528.21 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 12.8.528.21 | 12.8.528.21 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 12.8.528.21 | 12.8.528.21 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 12.8.528.21 | 12.8.528.21 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1700E 64Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 64Gb | 12.8.528.21 | 12.8.528.21 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1700E 64Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 64Gb | 12.8.528.21 | 12.8.528.21 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPEファームウェアフラッシュfor Emulexファイバーチャネルホストバスアダプター - Microsoft Windows Server 2016/2019/2022 x64

バージョン: 2022.03.01 (推奨)

ファイル名: cp049957.compsig; cp049957.exe

重要な注意!

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|----------------------|-------------|-------------|------------|
| HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |

| | | | | |
|---|------|-------------|-------------|------------------------|
| — | | | | |
| HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプタ | 32Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 12.8.502.0 |
| — | | | | |
| HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプタ | 32Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 12.8.502.0 |
| — | | | | |

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

このファームウェアコンポーネントが展開のためにSUMで識別される前に、HPEで提供しているEmulexドライバーをインストールする必要があります。OOBドライバーは、<http://www.hpe.com/servers/spp/download/> のService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|---|------|----------------------|-------------|-------------|------------|
| HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプタ | 16Gb | 12.8.528.21 | 12.8.528.21 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| — | | | | | |
| HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプタ | 16Gb | 12.8.528.21 | 12.8.528.21 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| — | | | | | |
| HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプタ | 32Gb | 12.8.528.21 | 12.8.528.21 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| — | | | | | |
| HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプタ | 32Gb | 12.8.528.21 | 12.8.528.21 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| — | | | | | |
| HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプタ | 32Gb | 12.8.528.21 | 12.8.528.21 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| — | | | | | |
| HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプタ | 32Gb | 12.8.528.21 | 12.8.528.21 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| — | | | | | |
| HPE SN1700E 64Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプタ | 64Gb | 12.8.528.21 | 12.8.528.21 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| — | | | | | |
| HPE SN1700E 64Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプタ | 64Gb | 12.8.528.21 | 12.8.528.21 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| — | | | | | |

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPEファームウェアフラッシュfor Emulexファイバーチャネルホストバスアダプターfor VMware vSphere 6.7

バージョン: 2022.03.01 (推奨)

ファイル名: CP049954.compsig; CP049954.zip

重要な注意!

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|---|------|----------------------|-------------|-------------|------------|
| HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプタ | 16Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| — | | | | | |

| | | | | | |
|--|------|-------------|-------------|-------------|------------|
| HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|----------------------|-------------|-------------|------------|
| HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 12.8.528.21 | 12.8.528.21 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 12.8.528.21 | 12.8.528.21 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 12.8.528.21 | 12.8.528.21 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 12.8.528.21 | 12.8.528.21 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 12.8.528.21 | 12.8.528.21 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 12.8.528.21 | 12.8.528.21 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1700E 64Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 64Gb | 12.8.528.21 | 12.8.528.21 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1700E 64Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 64Gb | 12.8.528.21 | 12.8.528.21 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPEファームウェアフラッシュfor Emulexファイバーチャネルホストバスアダプターfor VMware vSphere 7.0

バージョン: 2022.03.01 (推奨)

ファイル名: CP049955.compsig; CP049955.zip

重要な注意!

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|----------------------|-------------|-------------|------------|
| HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|----------------------|-------------|-------------|------------|
| HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 12.8.528.21 | 12.8.528.21 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 12.8.528.21 | 12.8.528.21 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 12.8.528.21 | 12.8.528.21 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 12.8.528.21 | 12.8.528.21 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 12.8.528.21 | 12.8.528.21 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 12.8.528.21 | 12.8.528.21 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1700E 64Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 64Gb | 12.8.528.21 | 12.8.528.21 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |
| HPE SN1700E 64Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 64Gb | 12.8.528.21 | 12.8.528.21 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPEファームウェアフラッシュ for Emulexメザニンファイバーチャネルホストバスアダプター for Linux (x64)

バージョン: 2021.10.01 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-fc-mezz-emulex-2021.10.01-1.14.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-fc-mezz-emulex-2021.10.01-1.14.x86_64.rpm

重要な注意！

ライブラリがないとアダプターの検出が完了しない可能性があるため、ファームウェアをインストールする前に、ターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールする必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|----------------------|-------------|-------------|------------|
| HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class | 16Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |

事前要件

ファームウェアアップデートは、インボックスまたはOut of Box(OOB)ドライバーを使用して実行できます。 サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

ライブラリがないとアダプターの検出が完了しない可能性があるため、ファームウェアをインストールする前に、ターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールする必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

追加の要件:

フラッシュエンジンを動作させるためにsyslogデーモンが実行されている環境が必要です
コンポーネントでEmulexホストバスアダプター(HBA)を検出できるようにするには、32-bit netlink library(libnl.so)がインストールされている環境が必要です

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|----------------------|-------------|-------------|------------|
| HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class | 16Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

HPEファームウェアフラッシュfor Emulexメザニンファイバーチャネルホストバスアダプターfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2021.10.01 (推奨)

ファイル名: CP046785.compsig; CP046785.zip

重要な注意！

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|----------------------|-------------|-------------|------------|
| HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class | 16Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|----------------------|-------------|-------------|------------|
| HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class | 16Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

HPEファームウェアフラッシュfor Emulexメザニンファイバーチャネルホストバスアダプターfor VMware vSphere 6.7

バージョン: 2021.10.01 (推奨)

ファイル名: CP046786.compsig; CP046786.zip

重要な注意!

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|----------------------|-------------|-------------|------------|
| HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class | 16Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|----------------------|-------------|-------------|------------|
| HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class | 16Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

HPEファームウェアフラッシュfor Emulexメザニンファイバーチャネルホストバスアダプターfor VMware vSphere 7.0

バージョン: 2021.10.01 (推奨)

ファイル名: CP046787.compsig; CP046787.zip

重要な注意!

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|----------------------|-------------|-------------|------------|
| HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class | 16Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | Universal Boot Image | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|----------------------|-------------|-------------|------------|
| HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class | 16Gb | 12.8.528.12 | 12.8.528.12 | 12.8.528.10 | 12.8.502.0 |

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

HPEファームウェアフラッシュfor QLogicファイバーチャネルホストバスアダプター - Microsoft Windows Server 2016/2019/2022 (x86_64)

バージョン: 2021.10.01 (推奨)

ファイル名: cp046938.compsig; cp046938.exe

重要な注意!

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | MBI | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|----------|----------|------|--------|
| HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 1.75.07 | 9.06.02 | 7.04 | 3.64 |
| HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 1.75.07 | 9.06.02 | 7.04 | 3.64 |
| HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 1.75.07 | 9.06.02 | 7.04 | 3.64 |
| HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 1.75.07 | 9.06.02 | 7.04 | 3.64 |
| HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 02.05.03 | 09.06.02 | 7.11 | 0.0 |
| HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 02.05.03 | 09.06.02 | 7.11 | 0.0 |

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

OOBドライバーは、<http://www.hpe.com/servers/spp/download>のService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | MBI | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|----------|----------|------|--------|
| HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 1.75.07 | 9.06.02 | 7.04 | 3.64 |
| HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 1.75.07 | 9.06.02 | 7.04 | 3.64 |
| HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 1.75.07 | 9.06.02 | 7.04 | 3.64 |
| HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 1.75.07 | 9.06.02 | 7.04 | 3.64 |
| HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 02.05.03 | 09.06.02 | 7.11 | 0.0 |
| HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 02.05.03 | 09.06.02 | 7.11 | 0.0 |

サポートしているデバイスおよび機能

このファームウェアは、以下のHPEアダプターをサポートします。

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPEファームウェアフラッシュfor QLogicファイバーチャネルホストバスアダプターfor VMware vSphere 7.0

バージョン: 2021.10.01 (推奨)

ファイル名: CP046822.compsig; CP046822.zip

重要な注意!

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | MBI | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|----------|----------|------|--------|
| HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 1.75.07 | 9.06.02 | 7.04 | 3.64 |
| HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 1.75.07 | 9.06.02 | 7.04 | 3.64 |
| HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 1.75.07 | 9.06.02 | 7.04 | 3.64 |
| HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 1.75.07 | 9.06.02 | 7.04 | 3.64 |
| HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 02.05.03 | 09.06.02 | 7.11 | 0.0 |
| HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 02.05.03 | 09.06.02 | 7.11 | 0.0 |

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

デプロイメントのためにHPE SUMによりこのファームウェアコンポーネントが識別される前に、SUMが供給するQLogicドライバーをインストールする必要があります。OOBドライバーは、http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dl/ のService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | MBI | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|----------|----------|------|--------|
| HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 1.75.07 | 9.06.02 | 7.04 | 3.64 |
| HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 1.75.07 | 9.06.02 | 7.04 | 3.64 |
| HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 1.75.07 | 9.06.02 | 7.04 | 3.64 |
| HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 1.75.07 | 9.06.02 | 7.04 | 3.64 |
| HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 02.05.03 | 09.06.02 | 7.11 | 0.0 |
| HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 02.05.03 | 09.06.02 | 7.11 | 0.0 |

サポートしているデバイスおよび機能

このファームウェアは、以下のHPEアダプターをサポートします。

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

バージョン: 2021.10.01 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-fc-mezz-qlogic-2021.10.01-1.6.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-fc-mezz-qlogic-2021.10.01-1.6.x86_64.rpm

重要な注意!

ライブラリがないとアダプターの検出が完了しない可能性があるため、ファームウェアをインストールする前に、ターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールする必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | MBI | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|---------|----------|------|--------|
| HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem | 16Gb | 6.04.04 | 8.08.232 | 7.04 | 3.43 |

事前要件

ファームウェアアップデートは、インボックスまたはOut of Box(OOB)ドライバーを使用して実行できます。 サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

ライブラリがないとアダプターの検出が完了しない可能性があるため、ファームウェアをインストールする前に、ターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールする必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

このファームウェアコンポーネントが開発用のSUMで識別される前に、HPEで提供しているイネーブルメントキットをインストールする必要があります。

OOBドライバーおよびイネーブルメントキットは、http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dlのService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

- /var/tmpフォルダーに読み取り/書き込み権限を付与することをお勧めします。/tmpまたは/var/tmpディレクトリで読み取り/書き込み(rw)権限が有効になっていない場合、Service Pack for ProLiant(SPP)を介したファームウェアの展開が失敗する場合があります。

拡張

16Gb製品対応のFirmware/BIOS/UEFIパッケージをアップデートしました。

| アダプター | 速度 | MBI | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|---------|----------|------|--------|
| HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem | 16Gb | 6.04.04 | 8.08.232 | 7.04 | 3.43 |

サポートしているデバイスおよび機能

このバージョンのイネーブルメントキットは、以下のデバイスをサポートします:

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

HPEファームウェアフラッシュfor QLogicメザニンファイバーチャネルホストバスアダプター - Microsoft Windows Server 2016/2019 (x86_64)

バージョン: 2021.10.01 (推奨)

ファイル名: cp046780.compsig; cp046780.exe

重要な注意!

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | MBI | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|---------|----------|------|--------|
| HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem | 16Gb | 6.04.04 | 8.08.232 | 7.04 | 3.43 |

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

OOBドライバーは、http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dlのService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

拡張

16Gb製品対応のFirmware/BIOS/UEFIパッケージをアップデートしました。

| アダプター | 速度 | MBI | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|---------|----------|------|--------|
| HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem | 16Gb | 6.04.04 | 8.08.232 | 7.04 | 3.43 |

サポートしているデバイスおよび機能

このバージョンのインネーブルメントキットは、以下のデバイスをサポートします：

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター：

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

HPEファームウェアフラッシュfor QLogicメザニンファイバーチャネルホストバスアダプターfor VMware vSphere 6.5

バージョン：2021.10.01 (推奨)

ファイル名：CP046776.compsig; CP046776.zip

重要な注意！

リリースノート：

[HPE QLogicアダプターリリースノート](#)

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | MBI | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|---------|----------|------|--------|
| HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem | 16Gb | 6.04.04 | 8.08.232 | 7.04 | 3.43 |

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください：

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

デプロイメントのためにHPE SUMによりこのファームウェアコンポーネントが識別される前に、SUMが供給するQLogicドライバーをインストールする必要があります。OOBドライバーは、http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dlのService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

拡張

16Gb製品対応のFirmware/BIOS/UEFIパッケージをアップデートしました。

| アダプター | 速度 | MBI | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|---------|----------|------|--------|
| HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem | 16Gb | 6.04.04 | 8.08.232 | 7.04 | 3.43 |

サポートしているデバイスおよび機能

このバージョンのインネーブルメントキットは、以下のデバイスをサポートします：

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター：

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

HPEファームウェアフラッシュfor QLogicメザニンファイバーチャネルホストバスアダプターfor VMware vSphere 6.7

バージョン：2021.10.01 (推奨)

ファイル名：CP046777.compsig; CP046777.zip

重要な注意！

リリースノート：

[HPE QLogicアダプターリリースノート](#)

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | MBI | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|---------|----------|------|--------|
| HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem | 16Gb | 6.04.04 | 8.08.232 | 7.04 | 3.43 |

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

デプロイメントのためにHPE SUMによりこのファームウェアコンポーネントが識別される前に、SUMが供給するQLogicドライバーをインストールする必要があります。OOBドライバーは、http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dl/ のService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

拡張

16Gb製品対応のFirmware/BIOS/UEFIパッケージをアップデートしました。

| アダプター | 速度 | MBI | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|---------|----------|------|--------|
| HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem | 16Gb | 6.04.04 | 8.08.232 | 7.04 | 3.43 |

サポートしているデバイスおよび機能

このバージョンのインーブルメントキットは、以下のデバイスをサポートします:

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

QLogicファイバーチャネルホストバスアダプター for VMware vSphere 6.5用HPEファームウェアフラッシュ

バージョン: 2021.10.01 (推奨)

ファイル名: CP046820.compsig; CP046820.zip

重要な注意!

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | MBI | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|----------|----------|------|--------|
| HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 1.75.07 | 9.06.02 | 7.04 | 3.64 |
| HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 1.75.07 | 9.06.02 | 7.04 | 3.64 |
| HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 1.75.07 | 9.06.02 | 7.04 | 3.64 |
| HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 1.75.07 | 9.06.02 | 7.04 | 3.64 |
| HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 02.05.03 | 09.06.02 | 7.11 | 0.0 |
| HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 02.05.03 | 09.06.02 | 7.11 | 0.0 |

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

デプロイメントのためにHPE SUMによりこのファームウェアコンポーネントが識別される前に、SUMが供給するQLogicドライバーをインストールする必要があります。OOBドライバーは、http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dl/ のService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | MBI | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|----------|----------|------|--------|
| HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 1.75.07 | 9.06.02 | 7.04 | 3.64 |
| HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 1.75.07 | 9.06.02 | 7.04 | 3.64 |
| HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 1.75.07 | 9.06.02 | 7.04 | 3.64 |
| HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 1.75.07 | 9.06.02 | 7.04 | 3.64 |
| HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 02.05.03 | 09.06.02 | 7.11 | 0.0 |

| | | | | | |
|--|------|----------|----------|------|-----|
| HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 02.05.03 | 09.06.02 | 7.11 | 0.0 |
|--|------|----------|----------|------|-----|

サポートしているデバイスおよび機能

このファームウェアは、以下のHPEアダプターをサポートします。

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

QLogicファイバーチャネルホストバスアダプター for VMware vSphere 6.7用HPEファームウェアフラッシュ

バージョン: 2021.10.01 (推奨)

ファイル名: CP046821.compsig; CP046821.zip

重要な注意!

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | MBI | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|----------|----------|------|--------|
| HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 1.75.07 | 9.06.02 | 7.04 | 3.64 |
| HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 1.75.07 | 9.06.02 | 7.04 | 3.64 |
| HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 1.75.07 | 9.06.02 | 7.04 | 3.64 |
| HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 1.75.07 | 9.06.02 | 7.04 | 3.64 |
| HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 02.05.03 | 09.06.02 | 7.11 | 0.0 |
| HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 02.05.03 | 09.06.02 | 7.11 | 0.0 |

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

デプロイメントのためにHPE SUMによりこのファームウェアコンポーネントが識別される前に、SUMが供給するQLogicドライバーをインストールする必要があります。OOBドライバーは、http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dl/ のService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | MBI | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|----------|----------|------|--------|
| HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 1.75.07 | 9.06.02 | 7.04 | 3.64 |
| HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 1.75.07 | 9.06.02 | 7.04 | 3.64 |
| HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 1.75.07 | 9.06.02 | 7.04 | 3.64 |
| HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 1.75.07 | 9.06.02 | 7.04 | 3.64 |
| HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 02.05.03 | 09.06.02 | 7.11 | 0.0 |
| HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 02.05.03 | 09.06.02 | 7.11 | 0.0 |

サポートしているデバイスおよび機能

このファームウェアは、以下のHPEアダプターをサポートします。

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

QLogicファイバーチャネルホストバスアダプター用HPEファームウェアフラッシュ - Linux (x86_64)

バージョン: 2021.10.01 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-fc-qlogic-2021.10.01-1.10.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-fc-qlogic-2021.10.01-1.10.x86_64.rpm

重要な注意!

ライブラリがないとアダプターの検出が完了しない可能性があるため、ファームウェアをインストールする前に、ターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールする必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | MBI | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|----------|----------|------|--------|
| HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 1.75.07 | 9.06.02 | 7.04 | 3.64 |
| HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 1.75.07 | 9.06.02 | 7.04 | 3.64 |
| HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 1.75.07 | 9.06.02 | 7.04 | 3.64 |
| HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 1.75.07 | 9.06.02 | 7.04 | 3.64 |
| HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 02.05.03 | 09.06.02 | 7.11 | 0.0 |
| HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 02.05.03 | 09.06.02 | 7.11 | 0.0 |

事前要件

ファームウェアアップデートは、インボックスまたはOut of Box(OOB)ドライバーを使用して実行できます。 サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

ライブラリがないとアダプターの検出が完了しない可能性があるため、ファームウェアをインストールする前に、ターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールする必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

このファームウェアコンポーネントが開発用のSUMで識別される前に、HPEで提供しているイネーブルメントキットをインストールする必要があります。

OOBドライバーおよびイネーブルメントキットは、http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dlのService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

- /var/tmpフォルダーに読み取り/書き込み権限を付与することをお勧めします。/tmpまたは/var/tmpディレクトリで読み取り/書き込み(rw)権限が有効になっていない場合、Service Pack for ProLiant(SPP)を介したファームウェアの展開が失敗する場合があります。

拡張

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | MBI | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|----------|----------|------|--------|
| HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 1.75.07 | 9.06.02 | 7.04 | 3.64 |
| HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター | 16Gb | 1.75.07 | 9.06.02 | 7.04 | 3.64 |
| HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 1.75.07 | 9.06.02 | 7.04 | 3.64 |
| HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 1.75.07 | 9.06.02 | 7.04 | 3.64 |
| HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 02.05.03 | 09.06.02 | 7.11 | 0.0 |
| HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター | 32Gb | 02.05.03 | 09.06.02 | 7.11 | 0.0 |

サポートしているデバイスおよび機能

このファームウェアは、以下のHPEアダプターをサポートします。

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

QLogicファイバーチャネルメザニンホストバスアダプターfor VMware vSphere 7.0用HPEファームウェアフラッシュ

バージョン: 2021.10.01 (推奨)

ファイル名: CP046778.compsig; CP046778.zip

重要な注意!

リリースノート:

[HPE QLogicアダプターリリースノート](#)

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

| アダプター | 速度 | MBI | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|---------|----------|------|--------|
| HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem | 16Gb | 6.04.04 | 8.08.232 | 7.04 | 3.43 |

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

デプロイメントのためにHPE SUMによりこのファームウェアコンポーネントが識別される前に、SUMが供給するQLogicドライバーをインストールする必要があります。OOBドライバーは、http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dl/ のService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

拡張

16Gb製品対応のFirmware/BIOS/UEFIパッケージをアップデートしました。

| アダプター | 速度 | MBI | ファームウェア | UEFI | 起動BIOS |
|--|------|---------|----------|------|--------|
| HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem | 16Gb | 6.04.04 | 8.08.232 | 7.04 | 3.43 |

サポートしているデバイスおよび機能

このバージョンのインストーラメントキットは、以下のデバイスをサポートします:

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

ファームウェア - システム

[先頭](#)

Online ROM Flash for Windows x64 - HPE Gen10 Innovation Engine Firmware for HPE Gen10 Servers

バージョン: 0.2.3.0 (推奨)

ファイル名: cp051158.compsig; cp051158.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Gen10 Innovation Engine(IE)ファームウェア

リリースバージョン:

0.2.3.0

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

0.2.3.0

以前のリビジョン:

0.2.2.3

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

Innovation Engine(IE)が24時間ごとに不適切にリセットされる可能性がある問題に対処しました。一部のシステムでは、これによりCPU使用率が一時的に低下したり、ネットワークトラフィックの持続が1秒未満になる可能性があります。

既知の問題点:

なし

事前要件

システムROM V1.26以降

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

Innovation Engine(IE)が24時間ごとに不適切にリセットされる可能性がある問題に対処しました。一部のシステムでは、これによりCPU使用率が一時的に低下したり、ネットワークトラフィックの持続が1秒未満になる可能性があります。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュ ファームウェアパッケージ - HPE Gen10イノベーションエンジンファームウェアfor HPE Gen10サーバー

バージョン: 0.2.3.0 (推奨)

ファイル名: IEGen10_0.2.3.0.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Gen10 Innovation Engine(IE)ファームウェア

リリースバージョン:

0.2.3.0

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

0.2.3.0

以前のリビジョン:

0.2.2.3

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

Innovation Engine(IE)が24時間ごとに不適切にリセットされる可能性がある問題に対処しました。一部のシステムでは、これによりCPU使用率が一時的に低下したり、ネットワークトラフィックの持続が1秒未満になる可能性があります。

既知の問題点:

なし

事前要件

システムROM V1.26以降

iLO 5 v1.20以降

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

Innovation Engine(IE)が24時間ごとに不適切にリセットされる可能性がある問題に対処しました。一部のシステムでは、これによりCPU使用率が一時的に低下したり、ネットワークトラフィックの持続が1秒未満になる可能性があります。

既知の問題点:

なし

**ROMフラッシュ ファームウェアパッケージ - Server Platform Services(SPS)ファームウェアfor HPE Gen10
サーバー**

バージョン: 05.01.04.400 (推奨)

ファイル名: DL20ML30Gen10SPS_05.01.04.400.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、Intel Platform Update (IPU)バージョン IPU.2021.2ガイドラインに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE DL20ML30Gen10SPS Server Platform Services(SPS)ファームウェア

リリースバージョン:

05.01.04.400

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

05.01.04.400

以前のリビジョン:

05.01.04.303

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

なし

修正された問題点:

サーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアのこのリビジョンは、CVE-2021-0060として文書化されているSPSセキュリティ脆弱性を緩和します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、Intel Platform Update (IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

サーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアのこのリビジョンは、CVE-2021-0060として文書化されているSPSセキュリティ脆弱性を緩和します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュ ファームウェアパッケージ - Server Platform Services(SPS)ファームウェアfor HPE Gen10サーバー

バージョン: 04.01.04.601 (オプション)

ファイル名: SPSGen10_04.01.04.601.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、Intel Platform Update (IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE Gen10 Server Platform Services(SPS)ファームウェア

リリースバージョン:

04.01.04.601

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

04.01.04.505

以前のリビジョン:

04.01.04.505

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

このバージョンは、IPU.2021.2ガイダンスに準拠しています。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

事前要件

HPE Gen10システムROMバージョン1.26以降

HPE Gen10 Innovation Engine(IE)ファームウェアバージョン0.1.5.2以降

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

拡張

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、Intel Platform Update (IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

このバージョンは、IPU.2021.2ガイダンスに準拠しています。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE Gen10 Plus Innovation Engineファームウェアfor HPE Gen10 Plusサーバー

バージョン: 1.0.0.20 (**推奨**)

ファイル名: IEGen10Plus_1.0.0.20.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Gen10 Plus Innovation Engineファームウェアfor HPE Gen10 Plusサーバー

リリースバージョン:

1.0.0.20

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

このファームウェアでの初期バージョンです。

以前のリビジョン:

このファームウェアでの初期バージョンです。

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このファームウェアでの初期バージョンです。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

拡張

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - Server Platform Services(SPS)ファームウェア for HPE MicroServer Gen10 Plus

バージョン: 05.01.04.400 (推奨)

ファイル名: MicroserverGen10PlusSPS_05.01.04.400.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、Intel Platform Update (IPU)バージョン IPU.2021.2ガイドランスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

Server Platform Services(SPS)ファームウェアfor HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus(U48)サーバー

リリースバージョン:

05.01.04.400

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

05.01.04.400

以前のリビジョン:

05.01.04.303

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

なし

修正された問題点:

サーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアのこのリビジョンは、CVE-2021-0060として文書化されているSPSセキュリティ脆弱性を緩和します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、Intel Platform Update (IPU)バージョン IPU.2021.2ガイドランスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

サーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアのこのリビジョンは、CVE-2021-0060として文書化されているSPSセキュリティ脆弱性を緩和します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

拡張

ファームウェア製品のProduct SummaryからDownload Product Binariesページにあるリリースドキュメントを参照してください。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - Server Platform Services(SPS)ファームウェアfor HPE Gen10 Plusサーバー

バージョン: 04.04.04.062 (オプション)

ファイル名: SPSGen10Plus_04.04.04.062.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Gen10 Server Platform Services(SPS)ファームウェア

リリースバージョン:

04.04.04.062

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

04.04.04.058

以前のリビジョン:

04.04.04.058

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

このバージョンのシステムROMには、Intel Whitley BKC WW52に沿ったアップデートが含まれています。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

事前要件

HPE Gen10システムROMバージョン1.26以降

HPE Gen10 Innovation Engine(IE)ファームウェアバージョン0.1.5.2以降

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

拡張

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

このバージョンのシステムROMには、Intel Whitley BKC WW52に沿ったアップデートが含まれています。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - Server Platform Services(SPS)ファームウェアfor HPE ProLiant DL20 Gen10 Plusサーバー

バージョン: 06.00.03.039 (推奨)

ファイル名: SC_DL20GEN10Plus_ME_06.00.03.039.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE DL20 Gen10 Plusサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェア

リリースバージョン:

06.00.03.039

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

06.00.03.039

以前のリビジョン:

06.00.03.035

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このバージョンのシステムROMには、Tatlow PLR2 BKC WW50に沿ったアップデートが含まれています。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

拡張

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このバージョンのシステムROMには、Tatlow PLR2 BKC WW50に沿ったアップデートが含まれています。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - Server Platform Services(SPS)ファームウェアfor HPE ProLiant ML30 Gen10 Plusサーバー

バージョン: 06.00.03.039 (推奨)

ファイル名: SC_ML30GEN10Plus_ME_06.00.03.039.fwpkg

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ML30 Gen10 Plusサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェア

リリースバージョン:

06.00.03.039

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

06.00.03.039

以前のリビジョン:

06.00.03.035

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このバージョンのシステムROMには、Tatlow PLR2 BKC WW50に沿ったアップデートが含まれています。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

拡張

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このバージョンのシステムROMには、Tatlow PLR2 BKC WW50に沿ったアップデートが含まれています。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュfor Linux - HPE Gen10 Plus Innovation Engineファームウェアfor HPE Gen10 Plusサーバー

バージョン: 1.0.0.20 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-iegen10plus-1.0.0.20-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-iegen10plus-1.0.0.20-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Gen10 Plus Innovation Engineファームウェアfor HPE Gen10 Plusサーバー

リリースバージョン:

1.0.0.20

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

このファームウェアでの初期バージョンです。

以前のリビジョン:

このファームウェアでの初期バージョンです。

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このファームウェアでの初期バージョンです。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

拡張

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュfor Linux - HPE Gen10イノベーションエンジンファームウェアfor HPE Gen10サーバー

バージョン: 0.2.3.0 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-iegen10-0.2.3.0-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-iegen10-0.2.3.0-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Gen10 Innovation Engine(IE)ファームウェア

リリースバージョン:

0.2.3.0

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

0.2.3.0

以前のリビジョン:

0.2.2.3

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

Innovation Engine(IE)が24時間ごとに不適切にリセットされる可能性がある問題に対処しました。一部のシステムでは、これによりCPU使用率が一時的に低下したり、ネットワークトラフィックの持続が1秒未満になる可能性があります。

既知の問題点:

なし

事前要件

システムROM V1.26以降

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

Innovation Engine(IE)が24時間ごとに不適切にリセットされる可能性がある問題に対処しました。一部のシステムでは、これによりCPU使用率が一時的に低下したり、ネットワークトラフィックの持続が1秒未満になる可能性があります。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュfor Linux - Server Platform Services (SPS) ファームウェアfor HPE ProLiant DL20 Gen10 Plus

バージョン: 06.00.03.039 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-dl20gen10plus_me-06.00.03.039-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-dl20gen10plus_me-06.00.03.039-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE DL20 Gen10 Plusサーバプラットフォームサービス(SPS)ファームウェア

リリースバージョン:

06.00.03.039

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

06.00.03.039

以前のリビジョン:

06.00.03.035

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このバージョンのシステムROMには、Tatlow PLR2 BKC WW50に沿ったアップデートが含まれています。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

拡張

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このバージョンのシステムROMには、Tatlow PLR2 BKC WW50に沿ったアップデートが含まれています。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュfor Linux - Server Platform Services (SPS) ファームウェアfor HPE ProLiant DL20/ML30 Gen10

バージョン: 05.01.04.400 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-dl20ml30gen10sps-05.01.04.400-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-dl20ml30gen10sps-05.01.04.400-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、Intel Platform Update (IPU)バージョン IPU.2021.2ガイドランスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE DL20ML30Gen10SPS Server Platform Services(SPS)ファームウェア

リリースバージョン:

05.01.04.400

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

05.01.04.400

以前のリビジョン:

05.01.04.303

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

なし

修正された問題点:

サーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアのこのリビジョンは、CVE-2021-0060として文書化されているSPSセキュリティ脆弱性を緩和します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、Intel Platform Update (IPU)バージョン IPU.2021.2ガイドランスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

サーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアのこのリビジョンは、CVE-2021-0060として文書化されているSPSセキュリティ脆弱性を緩和します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュ for Linux - Server Platform Services (SPS) ファームウェア for HPE ProLiant ML30 Gen10 Plus

バージョン: 06.00.03.039 (**推奨**)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-ml30gen10plus_me-06.00.03.039-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-ml30gen10plus_me-06.00.03.039-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ML30 Gen10 Plusサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェア

リリースバージョン:

06.00.03.039

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

06.00.03.039

以前のリビジョン:

06.00.03.035

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このバージョンのシステムROMには、Tatlow PLR2 BKC WW50に沿ったアップデートが含まれています。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

拡張

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このバージョンのシステムROMには、Tatlow PLR2 BKC WW50に沿ったアップデートが含まれています。

既知の問題点:

なし

**オンラインROMフラッシュfor Linux - Server Platform Services(SPS)ファームウェア for HPE
MicroServer Gen10 Plus**

バージョン: 05.01.04.400 (推奨)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-microservergen10plussps-05.01.04.400-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-microservergen10plussps-05.01.04.400-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!**重要な注意:**

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、Intel Platform Update (IPU)バージョン IPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

Server Platform Services(SPS)ファームウェアfor HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus(U48)サーバー

リリースバージョン:

05.01.04.400

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

05.01.04.400

以前のリビジョン:

05.01.04.303

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

なし

修正された問題点:

サーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアのこのリビジョンは、CVE-2021-0060として文書化されているSPSセキュリティ脆弱性を緩和します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正**重要な注意:**

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、Intel Platform Update (IPU)バージョン IPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

サーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアのこのリビジョンは、CVE-2021-0060として文書化されているSPSセキュリティ脆弱性を緩和します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュfor Linux - Server Platform Services(SPS)ファームウェアfor HPE Gen10 Plus サーバー

バージョン: 04.04.04.062 (オプション)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-spsgen10plus-04.04.04.062-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-spsgen10plus-04.04.04.062-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Gen10 Server Platform Services(SPS)ファームウェア

リリースバージョン:

04.04.04.062

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

04.04.04.058

以前のリビジョン:

04.04.04.058

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

このバージョンのシステムROMには、Intel Whitley BKC WW52に沿ったアップデートが含まれています。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

拡張

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

このバージョンのシステムROMには、Intel Whitley BKC WW52に沿ったアップデートが含まれています。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュfor Linux - Server Platform Services(SPS)ファームウェアfor HPE Gen10サー バー

バージョン: 04.01.04.601 (オプション)

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-spsgen10-04.01.04.601-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-spsgen10-04.01.04.601-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、Intel Platform Update (IPU)バージョン IPU.2021.2ガイドンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE Gen10 Server Platform Services(SPS)ファームウェア

リリースバージョン:

04.01.04.601

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

04.01.04.505

以前のリビジョン:

04.01.04.505

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

このバージョンは、IPU.2021.2ガイドンスに準拠しています。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

事前要件

HPE Gen10システムROMバージョン1.26以降

HPE Gen10 Innovation Engine(IE)ファームウェアバージョン0.1.5.2以降

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

拡張

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、Intel Platform Update (IPU)バージョン IPU.2021.2ガイドンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

このバージョンは、IPU.2021.2ガイドンスに準拠しています。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュfor Windows x64 - HPE Gen10 Plus Innovation Engineファームウェアfor HPE Gen10 Plusサーバー

バージョン: 1.0.0.20 (推奨)

ファイル名: cp040070.compsig; cp040070.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Gen10 Plus Innovation Engineファームウェアfor HPE Gen10 Plusサーバー

リリースバージョン:

1.0.0.20

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

このファームウェアでの初期バージョンです。

以前のリビジョン:

このファームウェアでの初期バージョンです。

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このファームウェアでの初期バージョンです。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

拡張

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE Gen10サーバー向けServer Platform Services(SPS)ファームウェア

バージョン: 04.01.04.601 (オプション)

ファイル名: cp050869.compsig; cp050869.exe

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、Intel Platform Update (IPU)バージョン IPU.2021.2ガイドンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE Gen10 Server Platform Services(SPS)ファームウェア

リリースバージョン:

04.01.04.601

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

04.01.04.505

以前のリビジョン:

04.01.04.505

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

このバージョンは、IPU.2021.2ガイドンスに準拠しています。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

事前要件

HPE Gen10システムROMバージョン1.26以降

HPE Gen10 Innovation Engine(IE)ファームウェアバージョン0.1.5.2以降

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

拡張**重要な注意:**

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、Intel Platform Update (IPU)バージョン IPU.2021.2ガイドンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

このバージョンは、IPU.2021.2ガイドンスに準拠しています。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - Server Platform Services(SPS)ファームウェア for HPE MicroServer Gen10 Plus

バージョン: 05.01.04.400 (推奨)

ファイル名: cp050857.compsig; cp050857.exe

重要な注意!**重要な注意:**

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、Intel Platform Update (IPU)バージョン IPU.2021.2ガイドンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

Server Platform Services(SPS)ファームウェアfor HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus(U48)サーバー

リリースバージョン:

05.01.04.400

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

05.01.04.400

以前のリビジョン:

05.01.04.303

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

なし

修正された問題点:

サーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアのこのリビジョンは、CVE-2021-0060として文書化されているSPSセキュリティ脆弱性を緩和します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、Intel Platform Update (IPU)バージョンIPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

サーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアのこのリビジョンは、CVE-2021-0060として文書化されているSPSセキュリティ脆弱性を緩和します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - Server Platform Services (SPS) ファームウェアfor HPE ProLiant DL20 Gen10 Plus

バージョン: 06.00.03.039 (**推奨**)

ファイル名: cp050815.compsig; cp050815.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE DL20 Gen10 Plusサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェア

リリースバージョン:

06.00.03.039

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

06.00.03.039

以前のリビジョン:

06.00.03.035

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このバージョンのシステムROMには、Tatlow PLR2 BKC WW50に沿ったアップデートが含まれています。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

事前要件

拡張

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このバージョンのシステムROMには、Tatlow PLR2 BKC WW50に沿ったアップデートが含まれています。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - Server Platform Services (SPS) ファームウェアfor HPE ProLiant DL20/ML30 Gen10

バージョン: 05.01.04.400 (推奨)

ファイル名: cp050854.compsig; cp050854.exe

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、Intel Platform Update (IPU)バージョン IPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE DL20ML30Gen10SPS Server Platform Services(SPS)ファームウェア

リリースバージョン:

05.01.04.400

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

05.01.04.400

以前のリビジョン:

05.01.04.303

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

なし

修正された問題点:

サーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアのこのリビジョンは、CVE-2021-0060として文書化されているSPSセキュリティ脆弱性を緩和します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、Intel Platform Update (IPU)バージョン IPU.2021.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

サーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアのこのリビジョンは、CVE-2021-0060として文書化されているSPSセキュリティ脆弱性を緩和します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - Server Platform Services (SPS) ファームウェアfor HPE ProLiant ML30 Gen10 Plus

バージョン: 06.00.03.039 (B) (推奨)

ファイル名: cp051223.compsig; cp051223.exe

重要な注意!**重要な注意:**

Ver 06.00.03.039(B)には、ファームウェアのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 06.00.03.039と同等です。ファームウェアをバージョン06.00.03.039にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)にアップグレードする必要はありません。

提供名:

HPE ML30 Gen10 Plusサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェア

リリースバージョン:

06.00.03.039

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

06.00.03.039

以前のリビジョン:

06.00.03.035

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このバージョンのシステムROMには、Tatlow PLR2 BKC WW50に沿ったアップデートが含まれています。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

拡張**重要な注意:**

Ver 06.00.03.039(B)には、ファームウェアのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 06.00.03.039と同等です。ファームウェアをバージョン06.00.03.039にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)にアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このバージョンのシステムROMには、Tatlow PLR2 BKC WW50に沿ったアップデートが含まれています。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - Server Platform Services(SPS)ファームウェアfor HPE Gen10 Plusサーバー

バージョン: 04.04.04.062 (オプション)

ファイル名: cp050886.compsig; cp050886.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Gen10 Server Platform Services(SPS)ファームウェア

リリースバージョン:

04.04.04.062

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

04.04.04.058

以前のリビジョン:

04.04.04.058

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

このバージョンのシステムROMには、Intel Whitley BKC WW52に沿ったアップデートが含まれています。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

拡張

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

機能強化/新しい機能:

このバージョンのシステムROMには、Intel Whitley BKC WW52に沿ったアップデートが含まれています。

既知の問題点:

なし

オンラインフラッシュコンポーネントfor Linux - Gen10Plus UBM1バックプレーンPICファームウェア

バージョン: 1.46 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-b303c4dfec-1.46-1.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-b303c4dfec-1.46-1.1.x86_64.rpm

修正

コマンドレポートの誤った値を修正しました。

オンラインフラッシュコンポーネントfor Linux - Gen10Plus UBM2バックプレーンPICファームウェア

バージョン: 1.20 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-40023de47f-1.20-1.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-40023de47f-1.20-1.1.x86_64.rpm

修正

コマンドレポートの誤った値を修正しました。

オンラインフラッシュコンポーネントfor Linux - Gen10Plus UBM3バックプレーンPICファームウェア

バージョン: 1.24 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-ff3fa73ca1-1.24-1.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-ff3fa73ca1-1.24-1.1.x86_64.rpm

事前要件

iLO 5バージョン1.10以降が必要です。

修正

コマンドレポートの誤った値を修正しました。

オンラインフラッシュコンポーネントfor Linux - Gen10Plus UBM4バックプレーンPICファームウェア

バージョン: 1.24 (推奨)

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-8586fe2547-1.24-1.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-8586fe2547-1.24-1.1.x86_64.rpm

事前要件

iLO 5バージョン1.10以降が必要です。

修正

コマンドレポートの誤った値を修正しました。

オンラインフラッシュコンポーネントfor VMware Esxi - Gen10Plus UBM1バックプレーンPICファームウェア

バージョン: 1.46 (推奨)

ファイル名: CP050721.compsig; CP050721.zip

修正

コマンドレポートの誤った値を修正しました。

オンラインフラッシュコンポーネントfor VMware Esxi - Gen10Plus UBM2バックプレーンPICファームウェア

バージョン: 1.20 (推奨)

ファイル名: CP051209.compsig; CP051209.zip

修正

コマンドレポートの誤った値を修正しました。

オンラインフラッシュコンポーネントfor VMware Esxi - Gen10Plus UBM3バックプレーンPICファームウェア

バージョン: 1.24 (推奨)

ファイル名: CP050751.compsig; CP050751.zip

修正

コマンドレポートの誤った値を修正しました。

オンラインフラッシュコンポーネントfor VMware Esxi - Gen10Plus UBM4バックプレーンPICファームウェア

バージョン: 1.24 (推奨)

ファイル名: CP050755.compsig; CP050755.zip

修正

コマンドレポートの誤った値を修正しました。

オンラインフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - Gen10Plus UBM1 バックプレーンPICファームウェア

バージョン: 1.46 (推奨)

ファイル名: cp050719.compsig; cp050719.exe; cp050719.md5

修正

コマンドレポートの誤った値を修正しました。

オンラインフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - Gen10Plus UBM2 バックプレーンPICファームウェア

バージョン: 1.20 (推奨)

ファイル名: cp051208.compsig; cp051208.exe; cp051208.md5

事前要件

iLO 5バージョン2.30以降が必要です。

修正

コマンドレポートの誤った値を修正しました。

オンラインフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - Gen10Plus UBM3 バックプレーンPICファームウェア

バージョン: 1.24 (推奨)

ファイル名: cp050753.compsig; cp050753.exe; cp050753.md5

事前要件

iLO 5バージョン1.10以降が必要です。

修正

コマンドレポートの誤った値を修正しました。

オンラインフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - Gen10Plus UBM4 バックプレーンPICファームウェア

バージョン: 1.24 (推奨)

ファイル名: cp050757.compsig; cp050757.exe; cp050757.md5

事前要件

iLO 5バージョン1.10以降が必要です。

修正

コマンドレポートの誤った値を修正しました。

ファームウェアパッケージ - Gen10 NVMe Backplane PICファームウェア

バージョン: 1.24 (C) (推奨)

ファイル名: ISS_NVMe_BP_PIC_flashV1B24.fwpkg

事前要件

iLO 5バージョン1.10以降が必要です。

拡張

- HPE ProLiant DL325 Gen10 Plusサーバーをサポート

ファームウェアパッケージ - Gen10Plus UBM2 Backplane PICファームウェア

バージョン: 1.20 (**推奨**)

ファイル名: UBM2_V1.20.fwpkg

事前要件

iLO 5バージョン2.10以降が必要です。

修正

コマンドレポートの誤った値を修正しました。

ファームウェアパッケージ - Gen10Plus UBM3 Backplane PICファームウェア

バージョン: 1.24 (**推奨**)

ファイル名: UBM3_V1.24.fwpkg

事前要件

iLO 5バージョン2.10以降が必要です。

修正

コマンドレポートの誤った値を修正しました。

ファームウェアパッケージ - Gen10Plus UBM4 Backplane PICファームウェア

バージョン: 1.24 (**推奨**)

ファイル名: UBM4_V1.24.fwpkg

事前要件

iLO 5バージョン2.10以降が必要です。

修正

コマンドレポートの誤った値を修正しました。

オペレーティングシステム - 拡張

[先頭](#)

Microsoft Windows用のAMD PSBEDプラグインサービス

バージョン: 1.0.0.41 (**推奨**)

ファイル名: cp049984.compsig; cp049984.exe

拡張

最初のリリース

ソフトウェア - Lights-Outマネジメント

[先頭](#)

HPE Lights-Out オンライン構成ユーティリティfor Windows x64 Editions

バージョン: 5.5.0.0 (C) (**オプション**)

ファイル名: cp048230.compsig; cp048230.exe

事前要件

このユーティリティは、以下の最小ファームウェアリビジョンを必要とします。

- Integrated Lights-Out 3ファームウェアバージョン1.00以降
- Integrated Lights-Out 4ファームウェアバージョン1.00以降
- Integrated Lights-Out 5ファームウェアバージョン1.30以降

マネジメントインターフェイスドライバーがサーバーに必ずインストールされていなければなりません。

HPONCFG GUIを起動するには、Microsoft .Net Framework 2.0以降が必要です。

拡張

Microsoft Windows Server 2022のサポート

HPE Lights-Outオンライン設定ユーティリティ for Linux (AMD64/EM64T)

バージョン: 5.6.0-0 (オプション)

ファイル名: hponcfg-5.6.0-0.x86_64.compsig; hponcfg-5.6.0-0.x86_64.rpm

事前要件

このユーティリティは、以下の最小ファームウェアリビジョンを必要とします。

- Integrated Lights-Out 3ファームウェアバージョン1.00以降
- Integrated Lights-Out 4ファームウェアバージョン1.00以降
- Integrated Lights-Out 5ファームウェアバージョン1.20以降

マネジメントインターフェイスドライバーおよびマネジメントエージェントはサーバーに必ずインストールされていなければなりません。

iLO 5の場合は、上記のパッケージに加え、openssl v1.0.x以降が必要です。

opensslを手動でコンパイルおよびインストールしたり、意図的に/usr/bin/opensslに再配置している場合は、PATH環境変数を設定し、正しい/意図したopensslにHPONCFGをダイレクトする必要があります。

修正

64ビットのopensslがインストールされている場合、HPONCFGがopensslライブラリを検出できないという問題を修正しました。

拡張

製品名をHPE Lights-Outオンライン構成ユーティリティ for Linux (AMD64/EM64T)にアップデートしました。

ソフトウェア - マネジメント

[先頭](#)

HPE Agentless ManagementバンドルSmartコンポーネント on ESXi 7.0 for Gen10およびGen10 Plusサーバー

バージョン: 2021.10.01 (推奨)

ファイル名: cp047520.compsig; cp047520.zip

修正

Agentless Management Service

- iLOリセット時の過度のポーリング失敗ログを修正
- CVE-2018-18065、CVE-2018-18066、CVE-2015-5621のnet-snmpオープンソースコードに適用された修正

拡張

Agentless Management Service

- 新しいcpqIdeAtaDiskCapacityHighBytesおよびcpqIdeAtaDiskCapacityLowBytes MIB OIDのサポートが追加されました
- hrSystemUptime MIB OIDのサポートが追加されました
- cpqIdeAtaDiskSSDWearStatusChangeトラップのサポートが追加されました
- Pensando NICデバイスのサポートが追加されました

HPE CRUドライバーバンドルSmartコンポーネント for ESXi 7.0

バージョン: 2020.04.01 (A) (推奨)

ファイル名: cp044598.compsig; cp044598.zip

拡張

サポートされている新しいサーバーを追加します

HPE iLOドライバーバンドルSmartコンポーネントfor ESXi 7.0

バージョン: 2021.09.01 (推奨)

ファイル名: cp047518.compsig; cp047518.zip

修正

- リロード時およびクイックブートが有効になっているときにコントローラーが正しく機能できるように、ドライバーのアンロード機能を修正しました。

HPE Management Bundle Smartコンポーネントfor ESXi 6.5 for Gen10およびGen10 Plusサーバー

バージョン: 2021.10.01 (推奨)

ファイル名: cp047523.compsig; cp047523.zip

修正

Agentless Management Service

- iLOリセット時の過度のポーリング失敗ログを修正
- CVE-2018-18065、CVE-2018-18066、CVE-2015-5621のnet-snmpオープンソースコードに適用された修正

iLOドライバー

- リロード時にコントローラーが正しく機能できるように、ドライバーのアンロード機能を修正しました。

拡張

Agentless Management Service

- 新しいcpqIdeAtaDiskCapacityHighBytesおよびcpqIdeAtaDiskCapacityLowBytes MIB OIDのサポートが追加されました
- hrSystemUptime MIB OIDのサポートが追加されました
- cpqIdeAtaDiskSSDWearStatusChangeトラップのサポートが追加されました
- Pensando NICデバイスのサポートが追加されました

HPE Management Bundle Smartコンポーネントfor ESXi 6.7 for Gen10およびGen10 Plusサーバー

バージョン: 2021.10.01 (推奨)

ファイル名: cp047522.compsig; cp047522.zip

修正

Agentless Management Service

- iLOリセット時の過度のポーリング失敗ログを修正
- CVE-2018-18065、CVE-2018-18066、CVE-2015-5621のnet-snmpオープンソースコードに適用された修正

iLOドライバー

- リロード時およびクイックブートが有効になっているときにコントローラーが正しく機能できるように、ドライバーのアンロード機能を修正しました。

拡張

Agentless Management Service

- 新しいcpqIdeAtaDiskCapacityHighBytesおよびcpqIdeAtaDiskCapacityLowBytes MIB OIDのサポートが追加されました
- hrSystemUptime MIB OIDのサポートが追加されました
- cpqIdeAtaDiskSSDWearStatusChangeトラップのサポートが追加されました
- Pensando NICデバイスのサポートが追加されました

HPEファイバーチャネルおよびストレージ イネーブルメント バンドル Smart コンポーネント for ESXi 7.0

バージョン: 2021.10.01 (推奨)

ファイル名: cp047521.compsig; cp047521.zip

拡張

VMware ESXi 7.0 U2およびESXi 7.0 U3をサポートします

Smart Storage Administrator (SSA) CLI Smartコンポーネントfor ESXi 7.0

バージョン: 2022.03.01 (推奨)

ファイル名: cp050291.compsig; cp050291.zip

修正

- WindowsのSSACLIにSuperdome Flexのゼロ以外のセグメント(拡張シャーシ)のロット番号が表示されなかった問題を修正しました。
- SSACLIで"expresslocalencryption eula=?"コマンドの実行時にエラーメッセージが表示されていた問題を修正しました。

ソフトウェア - ストレージコントローラー

[先頭](#)

HPE MegaRAID Storage Administrator StorCLI for VMware6.5

バージョン: 2021.04.00 (推奨)

ファイル名: cp045835.compsig; cp045835.zip

拡張

- Apollo 4510システムのサポートを追加しました

HPE MegaRAID Storage Administrator StorCLI for VMware6.7

バージョン: 2021.04.00 (推奨)

ファイル名: cp045812.compsig; cp045812.zip

拡張

最初のリリース

HPE MegaRAID Storage Administrator StorCLI for VMware6.7

バージョン: 2021.04 (推奨)

ファイル名: cp045860.compsig; cp045860.zip

拡張

- MegaRAID Gen10+コントローラーの保守、監視、設定をサポートします。MR416i-a、MR416i-p、MR216i-a、MR216i-p

HPE MegaRAID Storage Administrator StorCLI for VMware7.0

バージョン: 2021.04.00 (推奨)

ファイル名: cp044633.compsig; cp044633.zip

拡張

最初のリリース

Windows Server 64ビットEditions向けHPE SmartアレイSRイベント通知サービス

バージョン: 1.2.1.66 (推奨)

ファイル名: cp049025.compsig; cp049025.exe

拡張

- Windows Server 2022のサポートを追加しました。

[先頭](#)

ソフトウェア - ストレージファイバーチャネル

HPE QLogicメザニンファイバーチャネルドライバーコンポーネントfor VMware vSphere 6.7

バージョン: 2021.10.01 (推奨)

ファイル名: cp046774.compsig; cp046774.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

修正

以下を修正しました。

- パフォーマンスの低下につながるファブリックポート識別番号(FPIN)ベースの輻輳スロットリングの望ましくない動作に対処しました。
- 古い接続IDがファイバーチャネルNon-Volatile Memory Express(FC-NVMe)トラフィックで使用される可能性があるという望ましくない動作を修正しました。
- <https://kb.vmware.com/s/article/81721>で説明されている問題を回避するために応答キュー処理の望ましくない動作を修正しました

拡張

以下を追加しました。

- ファブリックポート識別番号(FPIN)およびユニバーサルストレージエリアネットワーク(SAN)輻輳緩和(USCM)輻輳管理アルゴリズムを改善しました
- Non-Volatile Memory Express(NVMe)ターゲット情報を報告し、Non-Volatile Memory Express(NVMe)パススルーコマンドを送信するためのvmkmgmtアプリケーションプログラミングインターフェイス(API)を実装しました

ドライバーバージョン3.1.46.0

サポートしているデバイスおよび機能

このバージョンのインストーラメントキットは、以下のデバイスをサポートします:

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

HPE Storage Emulexファイバーチャネルドライバーコンポーネントfor VMware vSphere 7.0

バージョン: 2022.03.01 (推奨)

ファイル名: cp049953.compsig; cp049953.zip

拡張

ドライバーバージョン12.8.528.7にアップデートしました

このコンポーネントは、ESXi 7.0U2でのみサポートされています

HPE Storage Emulexファイバーチャネルドライバーコンポーネントfor VMware vSphere 7.0

バージョン: 2022.03.01 (推奨)

ファイル名: cp049966.compsig; cp049966.zip

拡張

ドライバーバージョン12.8.528.13にアップデートしました

このコンポーネントは、ESXi 7.0U2でのみサポートされています

HPE Storage EmulexメザニファイバーチャネルNVMeドライバーコンポーネントfor VMware vSphere 7.0

バージョン: 2021.10.01 (推奨)

ファイル名: cp046784.compsig; cp046784.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

このコンポーネントは、ESXi 7.0U2でのみサポートされています

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

ドライバーバージョン12.8.528.7にアップデートしました

このコンポーネントは、ESXi 7.0U2でのみサポートされています

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPEファイバーチャネル16Gb LPe1605メザニホストバスアダプター

HPE Storage Emulexメザニファイバーチャネルドライバーコンポーネントfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2021.10.01 (推奨)

ファイル名: cp046792.compsig; cp046792.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

ドライバーバージョン12.8.317.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

HP Storage Emulexメザンファイバーチャネルドライバーコンポーネントfor VMware vSphere 6.7

バージョン: 2021.10.01 (推奨)

ファイル名: cp046793.compsig; cp046793.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

ドライバーバージョン12.8.528.14にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

HP Storage Emulexメザンファイバーチャネルドライバーコンポーネントfor VMware vSphere 7.0

バージョン: 2021.10.01 (推奨)

ファイル名: cp046794.compsig; cp046794.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

ドライバーバージョン12.8.528.13にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class
-

VMware vSphere 6.5用HPE QLogicファイバーチャネルドライバーコンポーネント

バージョン: 2021.10.01 (推奨)

ファイル名: cp046817.compsig; cp046817.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

修正

以下を修正しました。

- パフォーマンスの低下につながるファブリックポート識別番号(FPIN)ベースの輻輳スロットリングの望ましくない動作に対処しました。
- 古い接続IDがファイバーチャネルNon-Volatile Memory Express(FC-NVMe)トラフィックで使用される可能性があるという望ましくない動作を修正しました。
- <https://kb.vmware.com/s/article/81721>で説明されている問題を回避するために応答キュー処理の望ましくない動作を修正しました

拡張

以下を追加しました。

- ファブリックポート識別番号(FPIN)およびユニバーサルストレージエリアネットワーク(SAN)輻輳緩和(USCM)輻輳管理アルゴリズムを改善しました
- Non-Volatile Memory Express(NVMe)ターゲット情報を報告し、Non-Volatile Memory Express(NVMe)パススルーコマンドを送信するためのvmkmgmtアプリケーションプログラミングインターフェイス(API)を実装しました

ドライバーバージョン2.1.101.0

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

VMware vSphere 6.5用HPE QLogicメザニンファイバーチャネルドライバーコンポーネント

バージョン: 2021.10.01 (推奨)

ファイル名: cp046773.compsig; cp046773.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

修正

以下を修正しました。

- パフォーマンスの低下につながるファブリックポート識別番号(FPIN)ベースの輻輳スロットリングの望ましくない動作に対処しました。
- 古い接続IDがファイバーチャネルNon-Volatile Memory Express(FC-NVMe)トラフィックで使用される可能性があるという望ましくない動作を修正しました。
- <https://kb.vmware.com/s/article/81721>で説明されている問題を回避するために応答キュー処理の望ましくない動作を修正しました

拡張

以下を追加しました。

- ファブリックポート識別番号(FPIN)およびユニバーサルストレージエリアネットワーク(SAN)輻輳緩和(USCM)輻輳管理アルゴリズムを改善しました
- Non-Volatile Memory Express(NVMe)ターゲット情報を報告し、Non-Volatile Memory Express(NVMe)パススルーコマンドを送信するためのvmkmgmtアプリケーションプログラミングインターフェイス(API)を実装しました

ドライバーバージョン2.1.101.0

サポートしているデバイスおよび機能

このバージョンのインネーブルメントキットは、以下のデバイスをサポートします：

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター：

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

VMware vSphere 6.5用HPE Storage Emulexファイバーチャネルドライバーコンポーネント

バージョン：2021.10.01 (推奨)

ファイル名：cp046811.compsig; cp046811.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください：

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

ドライバーバージョン12.8.317.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター：

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター：

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
 - HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
 - HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
 - HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
-

VMware vSphere 6.7用HPE QLogicファイバーチャネルドライバーコンポーネント

バージョン: 2021.10.01 (推奨)

ファイル名: cp046818.compsig; cp046818.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

修正

以下を修正しました。

- パフォーマンスの低下につながるファブリックポート識別番号(FPIN)ベースの輻輳スロットリングの望ましくない動作に対処しました。
- 古い接続IDがファイバーチャネルNon-Volatile Memory Express(FC-NVMe)トラフィックで使用される可能性があるという望ましくない動作を修正しました。
- <https://kb.vmware.com/s/article/81721>で説明されている問題を回避するために応答キュー処理の望ましくない動作を修正しました

拡張

以下を追加しました。

- ファブリックポート識別番号(FPIN)およびユニバーサルストレージエリアネットワーク(SAN)輻輳緩和(USCM)輻輳管理アルゴリズムを改善しました
- Non-Volatile Memory Express(NVMe)ターゲット情報を報告し、Non-Volatile Memory Express(NVMe)パススルーコマンドを送信するためのvmkmgmtアプリケーションプログラミングインターフェイス(API)を実装しました

ドライバーバージョン3.1.46.0

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

VMware vSphere 6.7用HPE Storage Emulexファイバーチャネルドライバーコンポーネント

バージョン: 2022.03.01 (推奨)

ファイル名: cp049965.compsig; cp049965.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

拡張

ドライバーバージョン12.8.528.14にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

VMware vSphere 7.0用HPE QLogicファイバーチャネルドライバーコンポーネント

バージョン: 2021.10.01 (推奨)

ファイル名: cp046819.compsig; cp046819.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

修正

以下を修正しました。

- Get Port Speed Capabilities(GPSC)の失敗により、ターゲットのインテリジェントインターリーブダイレクトメモリアクセス(IIDMA)が1GB/sに設定されるという望ましくない動作を修正しました。これは以下で説明されています。[アドバイザリ: HPEホストバスアダプター - ESXi 6.5 / 6.7 / 7.0を実行し、特定のHPEホストバスアダプターが組み込まれているHPEプラットフォームでは、Brocade FOS v8.0.1\(またはそれ以前\)に接続すると、パフォーマンスが大幅に低下することがある](#)
- パフォーマンスの低下につながるファブリックポート識別番号(FPIN)ベースの輻輳スロットリングの望ましくない動作に対処しました。
- 古い接続IDがファイバーチャネルNon-Volatile Memory Express(FC-NVMe)トラフィックで使用される可能性があるという望ましくない動作を修正しました。
- <https://kb.vmware.com/s/article/81721>で説明されている問題を回避するために応答キュー処理の望ましくない動作を修正しました

拡張

以下を追加しました。

- ファブリックポート識別番号(FPIN)およびユニバーサルストレージエリアネットワーク(SAN)輻輳緩和(USCM)輻輳管理アルゴリズムを改善しました
- Non-Volatile Memory Express(NVMe)ターゲット情報を報告し、Non-Volatile Memory Express(NVMe)パススルーコマンドを送信するためのvmkmgmtアプリケーションプログラミングインターフェイス(API)を実装しました

ドライバーバージョン4.1.34.0

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

VMware vSphere 7.0用のHPE QLogicメザニンファイバーチャネルドライバーコンポーネント

バージョン: 2021.10.01 (推奨)

ファイル名: cp046775.compsig; cp046775.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

修正

以下を修正しました。

- Get Port Speed Capabilities(GPSC)の失敗により、ターゲットのインテリジェントインターリーブダイレクトメモリアクセス(IIDMA)が1GB/sに設定されるという望ましくない動作を修正しました。これは以下で説明されています。[アドバイザリ:HPEホストバスアダプター - ESXi 6.5 / 6.7 / 7.0を実行し、特定のHPEホストバスアダプターが組み込まれているHPEプラットフォームでは、Brocade FOS v8.0.1\(またはそれ以前\)に接続すると、パフォーマンスが大幅に低下することがある](#)
- パフォーマンスの低下につながるファブリックポート識別番号(FPIN)ベースの輻輳スロットリングの望ましくない動作に対処しました。
- 古い接続IDがファイバーチャネルNon-Volatile Memory Express(FC-NVMe)トラフィックで使用される可能性があるという望ましくない動作を修正しました。
- <https://kb.vmware.com/s/article/81721>で説明されている問題を回避するために応答キュー処理の望ましくない動作を修正しました

拡張

以下を追加しました。

- ファブリックポート識別番号(FPIN)およびユニバーサルストレージエリアネットワーク(SAN)輻輳緩和(USCM)輻輳管理アルゴリズムを改善しました
- Non-Volatile Memory Express(NVMe)ターゲット情報を報告し、Non-Volatile Memory Express(NVMe)パススルーコマンドを送信するためのvmkmgmtアプリケーションプログラミングインターフェイス(API)を実装しました

ドライバーバージョン4.1.34.0

サポートしているデバイスおよび機能

このバージョンのインストーラメントキットは、以下のデバイスをサポートします:

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

ソフトウェア - ストレージファイバーチャネルHBA

先頭

Fibreutils for HPE Storageファイバーチャネルホストバスアダプター for Linux - Red Hat Enterprise Linux (RHEL)

バージョン: 4.2-1 (c) (オプション)

ファイル名: fibreutils-4.2-1_rhel.x86_64.compsig; fibreutils-4.2-1_rhel.x86_64.rpm

事前要件

- 以下のパッケージをインストールする必要があります:glibc libgcc libstdc++ bash perl

拡張

このパッケージでは、Red Hat Enterprise Linux(RHEL)ディストリビューションのみがサポートされています

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class
- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

Fibreutils for HPE Storageファイバーチャネルホストバスアダプター for Linux - SuSE Linux Enterprise Server(SLES)

バージョン: 4.2-1 (b) (オプション)

ファイル名: fibreutils-4.2-1_sles.x86_64.compsig; fibreutils-4.2-1_sles.x86_64.rpm

事前要件

- 以下のパッケージをインストールする必要があります:glibc libgcc libstdc++ bash perl

拡張

このパッケージでは、SuSE Linux Enterprise Server(SLES)ディストリビューションのみがサポートされています

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class
- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

バージョン: 1.0.0.0-4 (j) (オプション)

ファイル名: hpe-emulex-smartsan-enablement-kit-1.0.0.0-4.x86_64.compsig; hpe-emulex-smartsan-enablement-kit-1.0.0.0-4.x86_64.rpm

重要な注意!

オペレーティングシステムに受信トレイファイバーチャネルドライバーのみインストールされている場合、Smart SANイネーブルメントキットは実行されません。アウトオブボックス (OOB) ファイバーチャネルドライバー以外では、Smart SAN機能を利用する必要があります。OOBドライバーがインストールされている場合、イネーブルメントキットでは、将来の使用のためにSmart SAN機能が事前に有効/無効になります。OOBドライバーが有効なSmart SANがインストールされ(前提条件の注記参照)、再起動後に有効になります。

3PAR用のSmart SANユーザーガイドを次のリンクから入手してください。 [HPE Smart SAN for 3PAR 2.0 User Guide](https://www.hpe.com/storage/spock/)

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

Smart SAN機能を有効にする場合、この有効化キットのコンポーネントの前にHPEで指定されたファイバーチャネルドライバーをインストールしなければなりません。ドライバーは、HPE.comのウェブサイトwww.hpe.comで利用できます。

HPE Emulex FC HBAおよびメザニンカード用Linux FCドライバーキット、RedHat 7、RedHat 8およびSUSE 12、SUSE 15用バージョン12.8.xxx.x

ただし、Smart SANが有効なドライバーが実行時にインストールされていない場合、ドライバーをインストールした後に、将来の使用のためにコンポーネントのイネーブルメントキットファイルを取得します。

拡張

SLES15SP3にサポートを追加しました

バージョン1.0.0.0-4にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Emulex Smart SANイネーブルメントキットfor Microsoft Windows Server 2016/2019 (x86_64)

バージョン: 1.0.0.1 (k) (オプション)

ファイル名: cp047610.compsig; cp047610.exe

重要な注意!

オペレーティングシステムに受信トレイファイバーチャネルドライバーのみインストールされている場合、Smart SANイネーブルメントキットは実行されません。アウトオブボックス (OOB) ファイバーチャネルドライバー以外では、Smart SAN機能を利用する必要があります。OOBドライバーがインストールされている場合、イネーブルメントキットでは、将来の使用のためにSmart SAN機能が事前に有効/無効になります。OOBドライバーが有効なSmart SANがインストールされ(前提条件の注記参照)、再起動後に有効になります。

3PAR用のSmart SANユーザーガイドを次のリンクから入手してください。 [HPE Smart SAN for 3PAR 2.0 User Guide](http://www.hpe.com/storage/spock/)

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

Smart SAN機能を有効にする場合、この有効化キットのコンポーネントの前にHPEで指定されたファイバーチャネルドライバーをインストールしなければなりません。最新のEmulex FCドライバー12.8.351.7は、http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dl/のService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

ただし、Smart SANが有効なドライバーが実行時にインストールされていない場合、ドライバーをインストールした後に、将来の使用のためにコンポーネントのイネーブルメントキットファイルを取得します。

拡張

バージョン1.0.0.1にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Emulex(BRCM)ファイバーチャネルオーバーイーサーネットワークイネーブルメントキットforホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター - Red Hat Enterprise Linux 7 Server

バージョン: 12.0.1339.0 (b) (推奨)

ファイル名: HPE-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-12.0.1339.0-1.rhel7.x86_64.compsig; HPE-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-12.0.1339.0-1.rhel7.x86_64.rpm

事前要件

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

拡張

アップデートしたバージョン: 12.0.1339.0

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Emulex(BRCM)ファイバーチャネルオーバーイーサーネットワークイネーブルメントキットforホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター - Red Hat Enterprise Linux 8 Server

バージョン: 12.0.1339.0 (b) (オプション)

ファイル名: HPE-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-12.0.1339.0-1.rhel8.x86_64.compsig; HPE-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-12.0.1339.0-1.rhel8.x86_64.rpm

事前要件

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

拡張

アップデートしたバージョン: 12.0.1339.0

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Emulex(BRCM)ファイバーチャネルオーバーイーサーネットワークイネーブルメントキットforホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター - SUSE Linux Enterprise Server 12

バージョン: 12.0.1339.0 (b) (推奨)

ファイル名: HPE-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-12.0.1339.0-1.sles12sp5.x86_64.compsig; HPE-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-12.0.1339.0-1.sles12sp5.x86_64.rpm

事前要件

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

拡張

アップデートしたバージョン: 12.0.1339.0

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Emulex(BRCM)ファイバーチャネルオーバーイーサーネットワークイネーブルメントキットforホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター - SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 12.0.1339.0 (b) (オプション)

ファイル名: HPE-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-12.0.1339.0-1.sles15sp2.x86_64.compsig; HPE-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-12.0.1339.0-1.sles15sp2.x86_64.rpm

事前要件

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

拡張

アップデートしたバージョン: 12.0.1339.0

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE EmulexファイバーチャネルSmart SANイネーブルメントキットforホストバスアダプター - Microsoft Windows Server 2022 (x86_64)

バージョン: 1.0.0.1 (推奨)

ファイル名: cp047508.compsig; cp047508.exe

重要な注意!

オペレーティングシステムに受信トレイファイバーチャネルドライバーのみインストールされている場合、Smart SANイネーブルメントキットは実行されません。ボックス(OOB)ファイバーチャネルドライバー以外では、Smart SAN機能を利用する必要があります。OOBドライバーがインストールされている場合、イネーブルメントキットでは、将来の使用のためにSmart SAN機能が事前に有効/無効になります。OOBドライバーが有効なSmart SANがインストールされ(前提条件の注記参照)、再起動後に有効になります。

3PAR用のSmart SANユーザーガイドを次のリンクから入手してください。 [HPE Smart SAN for 3PAR 2.0 User Guide](#)

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

Smart SAN機能を有効にする場合、この有効化キットのコンポーネントの前にHPEで指定されたファイバーチャネルドライバーをインストールしなければなりません。ドライバーは、HPE.comのウェブサイトwww.hpe.comで利用できます。

HPE Storageファイバーチャネルアダプターキットfor x64 Emulex Storportドライバーv12.8.518.0 cp047332.exe

ただし、Smart SANが有効なドライバーが実行時にインストールされていない場合、ドライバーをインストールした後に、将来の使用のためにコンポーネントのイネーブルメントキットファイルを取得します。

拡張

以下のサポートを追加しました。

- Windows Server 2022のサポートを追加しました

バージョン1.0.0.1にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

プター - Red Hat Enterprise Linux 7 Server

バージョン: 12.8.526.0 (c) (推奨)

ファイル名: HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-12.8.526.0-1.rhel7.x86_64.compsig; HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-12.8.526.0-1.rhel7.x86_64.rpm

重要な注意!

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

事前要件

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

拡張

バージョン12.8.526.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE LPe1605 16Gbファイバーチャネルメザニンホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Emulexファイバーチャネルイネーブルメントキットforホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター - Red Hat Enterprise Linux 8 Server

バージョン: 12.8.526.0 (c) (推奨)

ファイル名: HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-12.8.526.0-1.rhel8.x86_64.compsig; HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-12.8.526.0-1.rhel8.x86_64.rpm

重要な注意!

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

事前要件

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

拡張

以下のサポートを追加しました。

- RHEL 8.5のサポートを追加しました

バージョン12.8.526.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE LPe1605 16Gbファイバーチャネルメザニンホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Emulexファイバーチャネルイネーブルメントキットforホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター - SUSE Linux Enterprise Server 12

バージョン: 12.8.526.0 (c) (推奨)

ファイル名: HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-12.8.526.0-1.sles12sp5.x86_64.compsig; HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-12.8.526.0-1.sles12sp5.x86_64.rpm

重要な注意!

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

SuSE Linux Enterprise Server 12サービスパック5での同じイネーブルメントキットバージョンの書き換えは、-forceまたは--replacepkgsと--nodepsオプションを使用して実行する必要があります。

例: rpm -Uvh HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-...rpm --force --nodeps

rpm -Uvh HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-...rpm --replacepkgs --nodeps

詳しくは、次のナレッジベースを参照してください。 <https://www.suse.com/support/kb/doc/?id=000019640>

事前要件

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

拡張

バージョン12.8.526.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE LPe1605 16Gbファイバーチャネルメザニンホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Emulexファイバーチャネルイネーブルメントキットforホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター - SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 12.8.526.0 (c) (推奨)

ファイル名: HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-12.8.526.0-1.sles15sp2.x86_64.compsig; HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-12.8.526.0-1.sles15sp2.x86_64.rpm; HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-12.8.526.0-1.sles15sp3.x86_64.compsig; HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-12.8.526.0-1.sles15sp3.x86_64.rpm

重要な注意!

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

SuSE Linux Enterprise Server 15サービスパック2およびSuSE Linux Enterprise Server 15サービスパック3での同じイネーブルメントキットバージョンの書き換えは、--reinstallオプションを使用して実行する必要があります。

例:rpm -Uvh HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-...rpm --reinstall

詳しくは、次のナレッジベースを参照してください。<https://www.suse.com/support/kb/doc/?id=000019640>

事前要件

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

拡張

以下のサポートを追加しました。

- SLES 15 SP3のサポートを追加しました。

バージョン12.8.526.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE LPe1605 16Gbファイバーチャネルメザニンホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE NVMeファイバーチャネルイネーブルメントキットfor Emulexホストバスアダプター - Linuxサーバー

バージョン: 12.8.264.0 (c) (オプション)

ファイル名: nvme-fc-connect-12.8.264.0-1.rhel7u8.noarch.compsig; nvme-fc-connect-12.8.264.0-1.rhel7u8.noarch.rpm;

nvme-fc-connect-12.8.264.0-1.rhel7u9.noarch.compsig; nvme-fc-connect-12.8.264.0-1.rhel7u9.noarch.rpm

重要な注意!

このパッケージは、以下のオペレーティングシステムにのみ適用されます

Red Hat Enterprise Linux Server 7 update 8

Red Hat Enterprise Linux Server 7 update 9

事前要件

Linuxオペレーティングシステムに基づくターゲットシステムにnvme-connect rpmを正常に展開するには、"nvme-cli"パッケージがターゲットシステムで使用可能である必要があります。このパッケージは、OSディストリビューションの一部として入手できません。

拡張

バージョン12.8.264.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPEファイバーチャネル16Gb LPe1605メザニンホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE QLogic Smart SAN イネーブルメントキット(Linux)

バージョン: 3.3-3 (i) (オプション)

ファイル名: hpe-qlogic-smartsan-enablement-kit-3.3-3.x86_64.compsig; hpe-qlogic-smartsan-enablement-kit-3.3-3.x86_64.rpm

重要な注意!

3PAR用のSmart SANユーザーガイドを次のリンクから入手してください。 [HPE Smart SAN for 3PAR 2.0 User Guide](#)

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください。

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

Smart SAN機能を有効にする場合、この有効化キットのコンポーネントの前にHPEで指定されたファイバーチャネルドライバーをインストールしなければなりません。ドライバーは、HPE.comのウェブサイトwww.hpe.comで利用できます。

- Red Hat Enterprise Linux 7 Server (x86-64) FCドライバーキットfor HPE QLogic HBAおよびメザニンHBA、バージョン 10.02.01.00.a14-k1
- Red Hat Enterprise Linux 8 Server FCドライバーキットfor HPE QLogic HBAおよびメザニンHBA、バージョン 10.02.01.01.a2-k1
- HPE QLogic HBAおよびメザニンHBA用SUSE Linux Enterprise Server 12 FCドライバーキット、バージョン 10.02.01.00.a14-k1
- HPE QLogic HBAおよびメザニンHBA用SUSE Linux Enterprise Server 15 FCドライバーキット、バージョン 10.02.01.00.a14-k1

ただし、Smart SANが有効なドライバーが実行時にインストールされていない場合、ドライバーをインストールした後に、将来の使用のためにコンポーネントのイネーブルメントキットファイルを取得します。

拡張

バージョン3.3-3にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このバージョンのイネーブルメントキットは、以下のデバイスをサポートします:

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

Windows Server 2016/2019 (x86_64)

バージョン: 1.0.0.1 (j) (推奨)

ファイル名: cp042521.compsig; cp042521.exe

重要な注意!

オペレーティングシステムに受信トレイファイバーチャネルドライバーのみインストールされている場合、Smart SANイネーブルメントキットは実行されません。 アウトオブボックス (OOB) ファイバーチャネルドライバー以外では、Smart SAN機能を利用する必要があります。 OOBドライバーがインストールされている場合、イネーブルメントキットでは、将来の使用のためにSmart SAN機能が事前に有効/無効になります。 OOBドライバーが有効なSmart SANがインストールされ(前提条件の注記参照)、再起動後に有効になります。

3PAR用のSmart SANユーザーガイドを次のリンクから入手してください。 [HPE Smart SAN for 3PAR 2.0 User Guide](#)

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

Smart SAN機能を有効にする場合、この有効化キットのコンポーネントの前にHPEで指定されたファイバーチャネルドライバーをインストールしなければなりません。最新のQlogic FCドライバー9.4.5.20は、http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dl/のService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

ただし、Smart SANが有効なドライバーが実行時にインストールされていない場合、ドライバーをインストールした後に、将来の使用のためにコンポーネントのイネーブルメントキットファイルを取得します。

拡張

バージョン1.0.0.1 (e)にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

Gen6ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1100Q 16GB 2ポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GB 1ポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

Gen7ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1610Q 32Gb 2P FC HBA
- HPE SN1610Q 32Gb 1P FC HBA

HPE QLogic Smart SANイネーブルメントキットforファイバーチャネルホストバスアダプター - Microsoft Windows Server 2022 (x86_64)

バージョン: 1.0.0.1 (推奨)

ファイル名: cp047511.compsig; cp047511.exe

重要な注意!

オペレーティングシステムに受信トレイファイバーチャネルドライバーのみインストールされている場合、Smart SANイネーブルメントキットは実行されません。 ボックス (OOB) ファイバーチャネルドライバー以外では、Smart SAN機能を利用する必要があります。 OOBドライバーがインストールされている場合、イネーブルメントキットでは、将来の使用のためにSmart SAN機能が事前に有効/無効になります。 OOBドライバーが有効なSmart SANがインストールされ(前提条件の注記参照)、再起動後に有効になります。

3PAR用のSmart SANユーザーガイドを次のリンクから入手してください。 [HPE Smart SAN for 3PAR 2.0 User Guide](#)

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

Smart SAN機能を有効にする場合、この有効化キットのコンポーネントの前にHPEで指定されたファイバーチャネル ドライバーをインストールしなければなりません。ドライバーは、HPE.comのウェブサイトwww.hpe.comで利用できます。

- HPE Storage Fibre Channelアダプターキット for QLogic Storportドライバーfor Windows Server 2019 v9.4.5.20、cp047201.exe

ただし、Smart SAN が有効なドライバーが実行時にインストールされていない場合、ドライバーをインストールした後に、将来の使用のためにコンポーネントのイネーブルメントキットファイルを取得します。

拡張

下記のカードのサポートを追加しました:

- Windows Server 2022のサポートを追加しました

バージョン1.0.0.1にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE QLogicファイバーチャネルイネーブルメントキットforホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター - Linux

バージョン: 6.0.0.0-16 (b) (推奨)

ファイル名: HPE-CNA-FC-hpeqlgc-Enablement-Kit-6.0.0.0-16.noarch.compsig; HPE-CNA-FC-hpeqlgc-Enablement-Kit-6.0.0.0-16.noarch.rpm

重要な注意!

リリースノート:

[HPE QLogicアダプターリリースノート](#)

イネーブルメントキットは、OSインストールメディアからlibHBAAPIパッケージをインストールしたターゲット環境を必要とします。

Linuxイネーブルメントキットは"HP-CNA-FC-hpqlgc-Enablement-Kit"から"HPE-CNA-FC-hpeqlgc-Enablement-Kit"に変更されました。以前にリリースされたイネーブルメントキットからのアップグレードがサポートされています。ただし、以前のバージョン"HP-CNA-FC-hpqlgc-Enablement-Kit"へのダウングレードは成功しない場合があり、競合が報告される場合があります。

回避策: イネーブルメントキットをアンインストールして、古いバージョンをインストールしてください

SuSE Linux Enterprise Server 12サービスパック4およびSuSE Linux Enterprise Server 12サービスパック5での同じイネーブルメントキットバージョンの書き換えは、-forceまたは--replacepkgsと--nodepsオプションを使用して実行する必要があります。

例: rpm -Uvh HPE-CNA-FC-hpeqlgc-Enablement-Kit-.noarch.rpm --force --nodeps

rpm -Uvh HPE-CNA-FC-hpeqlgc-Enablement-Kit-.noarch.rpm --replacepkgs --nodeps

SuSE Linux Enterprise Server 15サービスパック1およびSuSE Linux Enterprise Server 15サービスパック2での同じイネーブルメントキットバージョンの書き換えは、--reinstallオプションを使用して実行する必要があります。

例: rpm -Uvh HPE-CNA-FC-hpeqlgc-Enablement-Kit-.noarch.rpm --force --nodeps

詳しくは、次のナレッジベースを参照してください。 <https://www.suse.com/support/kb/doc/?id=000019640>

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

<http://www.hpe.com/storage/spock/>

イネーブルメントキットは、OSインストールメディアからlibHBAAPIパッケージをインストールしたターゲット環境を必要とします。

拡張

バージョン6.0.0.0-16にキットをアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

ソフトウェア - システムマネジメント

[先頭](#)

Agentless Management Service (iLO 5) for Red Hat Enterprise Linux 7 Server

バージョン: 2.6.0 (オプション)

ファイル名: amsd-2.6.0-1701.1.rhel7.x86_64.compsig; amsd-2.6.0-1701.1.rhel7.x86_64.rpm

事前要件

- amsdは、HPE Gen10/Gen10 Plusサーバー上のみでサポートされています。
- amsdは、SNMPサポートを提供しているiLO 5サービスに情報を提供します。
- 要件:
 - 最低限必要なiLO 5ファームウェアバージョン = 1.1
 - サポートされる最小OSバージョン = Red Hat Enterprise Linux 7.3 Errata 3.10.0.514.6.1

修正

以下を修正しました。

- OSレベルとAHS間でOS論理ディスク使用率の差異が大きいとユーザーに表示される場合があります。この修正によって、OSレベルとAHS間の差異がわずかになるように結果が改善されました。
- NICポートリンクのステータスが[不明]から[OK]に変更されると、正しいNICポートのステータスまたはIMLの記録がユーザーに表示されない場合があります。リンクポートのステータスが変更されたことがiLO/IMLで記録されるようにSNMPトラップがアップデートされました。

拡張

次の拡張機能を利用できます。

- OSes AMS NICポートのステータスの相互作用に合わせます。AMSの起動時にリンクが見つからなかった場合は、NICポートリンクのステータスが[不明]としてマークされます。

Agentless Management Service (iLO 5) for Red Hat Enterprise Linux 8 Server

バージョン: 2.6.0 (オプション)

ファイル名: amsd-2.6.0-1701.1.rhel8.x86_64.compsig; amsd-2.6.0-1701.1.rhel8.x86_64.rpm

事前要件

- amsdは、HPE Gen10/Gen10 Plusサーバー上のみでサポートされています。
- amsdは、SNMPサポートを提供しているiLO 5サービスに情報を提供します。
- 要件:
 - 最低限必要なiLO 5ファームウェアバージョン = 1.1
 - サポートされる最小OSバージョン = Red Hat Enterprise Linux 8

修正

以下を修正しました。

- OSレベルとAHS間でOS論理ディスク使用率の差異が大きいとユーザーに表示される場合があります。この修正によって、OSレベルとAHS間の差異がわずかになるように結果が改善されました。
- NICポートリンクのステータスが[不明]から[OK]に変更されると、正しいNICポートのステータスまたはIMLの記録がユーザーに表示されない場合があります。リンクポートのステータスが変更されたことがiLO/IMLで記録されるようにSNMPトラップがアップデートされました。

拡張

次の拡張機能を利用できます。

- OSes AMS NICポートのステータスの相互作用に合わせます。AMSの起動時にリンクが見つからなかった場合は、NICポートリンクのステータスが[不明]としてマークされます。

Agentless Management Service (iLO 5) for SUSE Linux Enterprise Server 12

バージョン: 2.6.0 (オプション)

ファイル名: amsd-2.6.0-1701.1.sles12.x86_64.compsig; amsd-2.6.0-1701.1.sles12.x86_64.rpm

事前要件

- amsdは、HPE Gen10/Gen10 Plusサーバー上のみでサポートされています。
- amsdは、SNMPサポートを提供しているiLO 5サービスに情報を提供します。
- 要件:
 - 最低限必要なiLO 5ファームウェアバージョン = 1.1
 - サポートされる最小OSバージョン = SuSE Linux Enterprise Server 12 SP2

修正

以下を修正しました。

- OSレベルとAHS間でOS論理ディスク使用率の差異が大きいとユーザーに表示される場合があります。この修正によって、OSレベルとAHS間の差異がわずかになるように結果が改善されました。
- NICポートリンクのステータスが[不明]から[OK]に変更されると、正しいNICポートのステータスまたはIMLの記録がユーザーに表示されない場合があります。リンクポートのステータスが変更されたことがiLO/IMLで記録されるようにSNMPトラップがアップデートされました。

拡張

次の拡張機能を利用できます。

- OSes AMS NICポートのステータスの相互作用に合わせます。AMSの起動時にリンクが見つからなかった場合は、NICポートリンクのステータスが[不明]としてマークされます。

Agentless Management Service (iLO 5) for SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 2.6.0 (オプション)

ファイル名: amsd-2.6.0-1701.1.sles15.x86_64.compsig; amsd-2.6.0-1701.1.sles15.x86_64.rpm

事前要件

- amsdは、HPE Gen10/Gen10 Plusサーバー上のみでサポートされています。
- amsdは、SNMPサポートを提供しているiLO 5サービスに情報を提供します。
- 要件:
 - 最低限必要なiLO 5ファームウェアバージョン = 1.1
 - サポートされる最小OSバージョン = SuSE Linux Enterprise Server 15

修正

以下を修正しました。

- OSレベルとAHS間でOS論理ディスク使用率の差異が大きいとユーザーに表示される場合があります。この修正によって、OSレベルとAHS間の差異がわずかになるように結果が改善されました。
- NICポートリンクのステータスが[不明]から[OK]に変更されると、正しいNICポートのステータスまたはIMLの記録がユーザーに表示されない場合があります。リンクポートのステータスが変更されたことがiLO/IMLで記録されるようにSNMPトラップがアップデートされました。

拡張

次の拡張機能を利用できます。

- OSES AMS NICポートのステータスの相互作用に合わせます。AMSの起動時にリンクが見つからなかった場合は、NICポートリンクのステータスが[不明]としてマークされます。

Agentless Management Service for Microsoft Windows x64

バージョン: 2.51.0.0 (オプション)

ファイル名: cp049914.compsig; cp049914.exe

重要な注意!

SMAサービスのインストールおよびイネーブルメントについて:

- インタラクティブモードでAMSをインストール中に、選択的にSMAをインストールするように求めるポップアップメッセージが表示されます。
 - [Yes]が選択されている場合は、SMAサービスがインストールされ、実行状態に設定されます。
 - [No]が選択されている場合は、SMAサービスがインストールされますが、サービスは有効化されません。
- サイレントモードでのAMSのインストール中に、SMAがインストールされますが、サービスは有効化されません。
- 後でSMAサービスを有効化する場合、%ProgramFiles%\%OEM%\AMS\Service¥(通常は、c:\Program Files\%OEM%\AMS\Service)フォルダーにアクセスして"EnableSma.bat /f"を実行します
- 重要:SNMPサービスコミュニティ名および権限も設定する必要があります。これは、EnableSma.batでは実行されません。
- SMAが有効になっているときに無効化するには、%ProgramFiles%\%OEM%\AMS\Service¥(通常は、c:\Program Files\%OEM%\AMS\Service)フォルダーにアクセスして"DisableSma.bat /f"を実行します
- Windowsオペレーティングシステムをインストールしたあとは、すべてのMicrosoftアップデートがダウンロードおよびインストールされていることを確認してください(wuapp.exeを起動してアップデートプロセスを開始できます)。これを完了していないと、Windowsイベントログに深刻なエラー「The Agentless Management Service terminated unexpectedly.」が報告されることがあります。

AMSコントロールパネルアプレット:

- AMSコントロールパネルのアプレットUIのシステムでの表示が最適となるのは、画面解像度が1280 × 1024ピクセル以上、テキストサイズが100%のときです。
- AMSコントロールパネルアプレットから生成されたテストトラップには、iLO5ファームウェアバージョン2.10以降が必要です。
- iLO5高セキュリティモード(FIPSモードなど)の場合、MD5認証プロトコルは表示されません。

事前要件

このコンポーネントの前に、Channel Interface Driver for Windows X64をインストールする必要があります。

SMA(System Management Assistant)を有効化している場合は、Microsoft SNMP Serviceを有効化する必要があります。

修正

- AHCI SATAの容量バイトの提示を微調整します。

- スレッドリークの問題を修正しました。
- 誤った温度が原因でWindowsがシャットダウンする問題を修正しました。

拡張

- システムソフトウェア情報でのinstaller.dllバージョンのサポートを追加しました。
- ディスク過熱検出を機能強化しました。
- P824i-p MR Gen10コントローラーレポートのステータスに関する不要な条件を削除しました。
- iLOの表示に使用されるcpqIdeAtaDiskSSDPercntEndrnceUsedのソースを修正しました。

Agentless Management Serviceオフライン Bundle for VMware ESXi 6.5 for Gen 10およびGen10 Plus Servers

バージョン: gen10.11.8.0 (推奨)

ファイル名: ams-esxi6.5-bundle-gen10.11.8.0.15-1.zip

修正

Agentless Management Service

- iLOリセット時の過度のポーリング失敗ログを修正
- CVE-2018-18065、CVE-2018-18066、CVE-2015-5621のnet-snmpオープンソースコードに適用された修正

iLOドライバー

- リロード時にコントローラーが正しく機能できるように、ドライバーのアンロード機能を修正しました。

拡張

Agentless Management Service

- 新しいcpqIdeAtaDiskCapacityHighBytesおよびcpqIdeAtaDiskCapacityLowBytes MIB OIDのサポートが追加されました
- hrSystemUptime MIB OIDのサポートが追加されました
- cpqIdeAtaDiskSSDWearStatusChangeトラップのサポートが追加されました
- Pensando NICデバイスのサポートが追加されました

サポートしているデバイスおよび機能

VMware ESXiのサポートバージョン:

- VMware ESXi 6.5 U2
- VMware ESXi 6.5 U3

Agentless Management Serviceオフライン Bundle for VMware ESXi 6.7 for Gen 10およびGen10 Plus Servers

バージョン: gen10.11.8.0 (推奨)

ファイル名: ams-esxi6.7-bundle-gen10.11.8.0.15-1.zip

修正

Agentless Management Service

- iLOリセット時の過度のポーリング失敗ログを修正
- CVE-2018-18065、CVE-2018-18066、CVE-2015-5621のnet-snmpオープンソースコードに適用された修正

iLOドライバー

- リロード時およびクイックブートが有効になっているときにコントローラーが正しく機能できるように、ドライバーのアンロード機能を修正しました。

拡張

Agentless Management Service

- 新しいcpqIdeAtaDiskCapacityHighBytesおよびcpqIdeAtaDiskCapacityLowBytes MIB OIDのサポートが追加されました
- hrSystemUptime MIB OIDのサポートが追加されました
- cpqIdeAtaDiskSSDWearStatusChangeトラップのサポートが追加されました
- Pensando NICデバイスのサポートが追加されました

サポートしているデバイスおよび機能

VMware ESXiのサポート:

- VMware ESXi 6.7 U2
- VMware ESXi 6.7 U3

HPE Gen10およびGen10 Plusサーバー向けESXi 7.0 Update 1用のHPE Agentless Managementバンドル

バージョン: 701.11.8.0 (推奨)

ファイル名: amsdComponent_701.11.8.0.15-1_18612107.zip

修正

Agentless Management Service

- iLOリセット時の過度のポーリング失敗ログを修正
- CVE-2018-18065、CVE-2018-18066、CVE-2015-5621のnet-snmpオープンソースコードに適用された修正

拡張

Agentless Management Service

- 新しいcpqIdeAtaDiskCapacityHighBytesおよびcpqIdeAtaDiskCapacityLowBytes MIB OIDのサポートが追加されました
- hrSystemUptime MIB OIDのサポートが追加されました
- cpqIdeAtaDiskSSDWearStatusChangeトラップのサポートが追加されました
- Pensando NICデバイスのサポートが追加されました

HPE MegaRAID Storage Administrator StorCLI for Linux 64-bit

バージョン: 1.25.12 (オプション)

ファイル名: LINUX_Readme.txt; storcli-1.25.12-1.noarch.compsig; storcli-1.25.12-1.noarch.rpm

拡張

- Snap4の最初のリリース

HPE MegaRAID Storage Administrator StorCLI for Linux 64-bit

バージョン: 007.1616.0000.0000 (B) (オプション)

ファイル名: storcli-007.1616.0000.0000-1.x86_64.compsig; storcli-007.1616.0000.0000-1.x86_64.rpm

拡張

- DL20 Gen10 Plusサーバーのサポートを追加しました

HPE MegaRAID Storage Administrator StorCLI for VMware

バージョン: 007.1616.0000.0000 (推奨)

ファイル名: BCM-vmware-storcli64_007.1616.0000.0000-01_17650073.zip

拡張

ESXi OS 7.0 64ビットでサポート

HPE MegaRAID Storage Administrator StorCLI for Windows 64-bit

バージョン: 7.16.16.0 (B) (推奨)

ファイル名: cp050701.compsig; cp050701.exe

拡張

新しいOS Windows 2022をサポート

HPEファイバーチャネルおよびストレージ イネーブルメント コンポーネント for ESXi 7.0

バージョン: 3.8.0 (推奨)

ファイル名: fc-enablement-component_700.3.8.0.6-1_18506758.zip

拡張

VMware ESXi 7.0 U2およびESXi 7.0 U3をサポートします

HPEユーティリティオフライン Bundle for ESXi 6.5

バージョン: 10.8.0 (推奨)

ファイル名: HPE-Utility-Component_10.8.0.650-26.zip

重要な注意!

以下のVMware vSphere 6.5用HPE VMwareユーティリティガイドを参照してください。 www.hpe.com/info/vmware/proliant-docs

修正

hpessaccli

- 「オフ」LED操作がすべての識別LEDを一時的にオンにする問題を修正しました。
- ドライブファームウェアのフラッシュ後にNVMEドライブが失敗する問題を修正しました。
- ステータスが「使用不可」のボリュームを削除しているときに、操作の失敗メッセージが表示される問題を修正しました。
- SSAScriptingが1TBを超える一部のドライブで誤ったサイズを報告する問題を修正しました。これはSSACLIには影響しませんでした。

拡張

hpessaccli

- 初期のパッシブSEDサポートが追加されました。
- 新しい「変更されていない」ドライブ書き込みキャッシュ(DWC)ポリシーをアプリケーションに追加しました。
- RAIDボリュームの一部ではない障害のあるドライブを検出して報告するためのサポートが追加されました。

HPEユーティリティオフライン Bundle for ESXi 6.7

バージョン: 10.9.0 (推奨)

ファイル名: HPE-Utility-Component_10.9.0.670-5.zip; relnotes.txt

重要な注意!

以下のVMware vSphere 6.7 U1 for April 2019用HPE VMwareユーティリティユーザーガイドを参照してください。
<http://www.hpe.com/info/vmware/proliant-docs>

修正

- WindowsのSSACLIにSuperdome Flexのゼロ以外のセグメント(拡張シャーシ)のロット番号が表示されなかった問題を修正しました。
- SSACLIで"expresslocalencryption eula=?"コマンドの実行時にエラーメッセージが表示されていた問題を修正しました。

HPEユーティリティオフラインコンポーネントfor ESXi 7.0

バージョン: 10.8.0 (推奨)

ファイル名: HPE-Utility-Component_10.8.0.700-22_18497760.zip

重要な注意!

以下のVMware vSphere/ESX用HPE VMwareユーティリティガイドを参照してください。
<http://www.hpe.com/info/vmware/proliant-docs>

修正

アップデートされたSmart Storage Administrator CLIおよびCONREPを含みます。

Integrated Smart Update Tools for VMware ESXi 6.7

バージョン: 2.9.1.0 (推奨)

ファイル名: sut-esxi6.7-offline-bundle-2.9.1.0-6.zip

重要な注意!

ESXi用Integrated Smart Update Toolsは、iLOレポジトリ経由でファームウェアとドライバーのアップデートをサポートします

修正

今回のリリースで解決した問題については、[iSUT Release Notes](#)を参照してください。

拡張

今回のリリースで解決した問題については、[iSUT Release Notes](#)を参照してください。

Integrated Smart Update Tools for VMware ESXi 7.0

バージョン: 701.2.9.1 (推奨)

ファイル名: sutComponent_701.2.9.1.9-0-signed_component-19330218.zip

重要な注意!

ESXi 7.0用Integrated Smart Update Toolsは、iLOレポジトリ経由でファームウェアとドライバーのアップデートをサポートします

修正

今回のリリースで解決した問題については、[iSUT Release Notes](#)を参照してください。

拡張

今回のリリースでの機能強化内容については、[iSUT Release Notes](#)を参照してください。

Linux 64-bit用HPE MegaRAID Storage Administrator (HPE MRSA)

バージョン: 7.016.16.0 (B) (推奨)

ファイル名: HPE_Linux_64_readme.txt; MRStorageAdministrator-007.016.016.000-00.x86_64.rpm; MRStorageAdministrator-007.016.016.000-00.x86_64_part1.compsig; MRStorageAdministrator-007.016.016.000-00.x86_64_part2.compsig

事前要件

SLES15以降のプラットフォームの場合、インストール/アンインストール中に、依存しているrpmの1つである'insserv-compat'が必要です。これはMRSA起動スクリプトがSysV/initスクリプトに基づいているために必要なものであり、insservをSysV/initスクリプトとsystemctlの間のブリッジとして追加します。

拡張

- DL20 Gen10 Plusサーバーのサポートを追加しました。

Microsoft Windows 64ビット用NVMe Drive Eject NMI Fix forインテルXeonプロセッサスケラブルファミリー

バージョン: 1.1.0.0 (D) (オプション)

ファイル名: cp047948.compsig; cp047948.exe

拡張

- Windows Server 2012 R2のサポートを削除しました
- Windows Server 2022のサポートを追加しました。

Smart Storage Administrator (SSA) CLI for Linux 64ビット

バージョン: 5.30.6.0 (推奨)

ファイル名: ssacli-5.30-6.0.x86_64.compsig; ssacli-5.30-6.0.x86_64.rpm; ssacli-5.30-6.0.x86_64.txt

修正

- WindowsのSSACLIにSDFlexのゼロ以外のセグメント(拡張シャーシ)のロット番号が表示されなかった問題を修正しました。
- SSACLIで"expresslocalencryption eula=?"コマンドの実行時にエラーメッセージが表示されていた問題を修正しました。

Smart Storage Administrator (SSA) CLI for VMware 6.5

バージョン: 5.20.8.0 (推奨)

ファイル名: MIS_bootbank_ssaccli-5.20.8.0-6.5.0.4240417.oem.vib

修正

- LEDの"消灯"操作を行うとすべての識別LEDが一瞬点灯する問題を修正しました。
- ドライブファームウェアのフラッシュ後にNVMEドライブでエラーが発生する問題を修正しました。
- ステータスが"Not Available"であるボリュームの削除中に操作失敗メッセージが表示される問題を修正しました。
- 1TBを超える一部のドライブに関してSSAScriptingが誤ったサイズをレポートする問題を修正しました。これはSSACLIには影響しませんでした。

拡張

- 最初のパッシブSEDのサポートを追加しました。
- "unchanged"という新しいドライブ書き込みキャッシュ(DWC)ポリシーをアプリケーションに追加しました。
- RAIDボリュームに含まれていない障害発生ドライブを検出してレポートするためのサポートを追加しました。

Smart Storage Administrator (SSA) CLI for VMware 6.7

バージョン: 5.30.6.0 (推奨)

ファイル名: MIS_bootbank_ssaccli_5.30.6.0-6.7.0.7535516.oem.vib

修正

- WindowsのSSACLIにSDFlexのゼロ以外のセグメント(拡張シャーシ)のロット番号が表示されなかった問題を修正しました。
- SSACLIで"expresslocalencryption eula=?"コマンドの実行時にエラーメッセージが表示されていた問題を修正しました。

Smart Storage Administrator (SSA) CLI for Windows 64ビット

バージョン: 5.30.6.0 (推奨)

ファイル名: cp049695.compsig; cp049695.exe

修正

- WindowsのSSACLIにSDFlexのゼロ以外のセグメント(拡張シャーシ)のロット番号が表示されなかった問題を修正しました。
- SSACLIで"expresslocalencryption eula=?"コマンドの実行時にエラーメッセージが表示されていた問題を修正しました。

Smart Storage Administrator (SSA) for Linux 64ビット

バージョン: 5.30.6.0 (推奨)

ファイル名: ssa-5.30-6.0.x86_64.compsig; ssa-5.30-6.0.x86_64.rpm; ssa-5.30-6.0.x86_64.txt

事前要件

Smart Storage Administrator for Linuxは、サーバーにSystem Management Homepageソフトウェアがインストールされている必要があります。サーバーにSystem Management Homepageソフトウェアがインストールされていない場合、Smart Storage Administrator for Linuxをインストールする前に、HPE.comからダウンロードしてインストールしてください。

重要なアップデート: SSA(GUI)for Linuxは、System Management Homepageを必要とせず、実行することができます。SSAはLinux用のローカルアプリケーションモードをサポートします。System Management Homepageは引き続きサポートされていますが、SSA GUIの実行には必要ありません。

起動するには、コマンドプロンプトで以下を入力してください。

```
ssa -local
```

コマンドは新しいFirefoxブラウザーウィンドウでSSAを開始します。ブラウザーウィンドウを閉じると、SSAは自動的に終了します。これは、ループバックインターフェイスだけに有効であって、外部のネットワーク接続には当てはまりません。

拡張

- SOULAPIを最新バージョンにアップデートします。

Smart Storage Administrator (SSA) for Windows 64ビット

バージョン: 5.30.6.0 (推奨)

ファイル名: cp049694.compsig; cp049694.exe

拡張

- SOULAPIを最新バージョンにアップデートします。

Smart Storage Administrator Diagnostic Utility (SSADU) CLI for Linux 64ビット

バージョン: 5.30.6.0 (推奨)

ファイル名: ssaduccli-5.30-6.0.x86_64.compsig; ssaduccli-5.30-6.0.x86_64.rpm; ssaduccli-5.30-6.0.x86_64.txt

修正

- WindowsのSSACLIにSDFlexのゼロ以外のセグメント(拡張シャーシ)のロット番号が表示されなかった問題を修正しました。
- SSACLIで"expresslocalencryption eula=?"コマンドの実行時にエラーメッセージが表示されていた問題を修正しました。

Smart Storage Administrator Diagnostic Utility (SSADU) CLI for Windows 64ビット

バージョン: 5.30.6.0 (推奨)

ファイル名: cp049696.compsig; cp049696.exe

重要な注意!

Smart Storage Administratorの診断機能のこのスタンドアロンバージョンは、CLIからのみ利用できます。診断レポートのGUIバージョンは、Smart Storage Administrator(SSA)を使用してください。

修正

- WindowsのSSACLIにSDFlexのゼロ以外のセグメント(拡張シャーシ)のロット番号が表示されなかった問題を修正しました。
- SSACLIで"expresslocalencryption eula=?"コマンドの実行時にエラーメッセージが表示されていた問題を修正しました。

VMware 7.0用Smart Storage Administrator (SSA) CLI

バージョン: 5.30.6.0 (推奨)

ファイル名: ssacli-component_5.30.6.0-7.0.0_19263463.zip

拡張

最初のビルド

VMware 7.0用Smart Storage Administrator (SSA) CLI

バージョン: 5.30.6.0 (推奨)

ファイル名: hpessacli-component_5.30.6.0-7.0.0_19303168.zip

修正

- WindowsのSSACLIにSuperdome Flexのゼロ以外のセグメント(拡張シャーシ)のロット番号が表示されなかった問題を修正しました。
- SSACLIで"expresslocalencryption eula=?"コマンドの実行時にエラーメッセージが表示されていた問題を修正しました。

VMware ESXi 6.5用Integrated Smart Update Tools

バージョン: 2.9.1.0 (推奨)

ファイル名: sut-esxi6.5-offline-bundle-2.9.1.0-8.zip

重要な注意!

ESXi用Integrated Smart Update Toolsは、iLOレポジトリ経由でファームウェアとドライバーのアップデートをサポートします

修正

今回のリリースで解決した問題については、[iSUT Release Notes](#)を参照してください。

拡張

今回のリリースで解決した問題については、[iSUT Release Notes](#)を参照してください。

VMware用HPE MegaRAID Storage Administrator StorCLI

バージョン: 1.25.12 (**オプション**)

ファイル名: vmware-esx-storcli-1.25.12.vib; VMWARE_MN_NDS_Readme.txt

拡張

- Snap4の最初のリリース
-

VMware用HPE MegaRAID Storage Administrator StorCLI

バージョン: 007.1616.0000.0000 (**推奨**)

ファイル名: storcli-esxi6.7-bundle-007.1616.0000.0000.zip

拡張

- このバージョンのStorCLIは、MegaRAID® Gen10+コントローラ製品の保守、トラブルシューティング、および構成の各機能をサポートします。MR416i-a、MR416i-p、MR216i-a、MR216i-p
-

VMware用HPE MegaRAID Storage Administrator StorCLI

バージョン: 1.25.16 (**推奨**)

ファイル名: storcli-esxi6.7-bundle-1.25.16.zip

拡張

ProLiant機能のサポートを追加しました(メガセルステータス、AHS、Spade、サニタイズ & エキスパンダー)

VMware用HPE MegaRAID Storage Administrator StorCLI

バージョン: 1.25.16 (**推奨**)

ファイル名: storcli-esxi6.5-bundle-1.25.16.zip

拡張

最初のリリース

Windows 64-bit向けHPE MegaRAID Storage Administrator (HPE MRSA)

バージョン: 7.16.16.0 (C) (**推奨**)

ファイル名: cp050700.exe; cp050700_part1.compsig; cp050700_part2.compsig

拡張

新しいOS Windows 2022をサポート

Windows 64-bit用HPE MegaRAID Storage Administrator StorCLI

バージョン: 1.25.12.0 (**オプション**)

ファイル名: cp036918.compsig; cp036918.exe

Enhancements

- Apollo 4510システムのサポートを追加しました
-